

新潟医療福祉大学

年 報

2021（令和3）年度

Annual Report 2021

Niigata University of Health and Welfare

はじめに

学長 西澤 正豊

2021年度の年報が完成しました。作成にご尽力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

年報は、1年間の活動を振り返り、自ら点検と評価を加えて諸々の課題を整理し、さらに次年度に向けた対策と展望をまとめ、実践していく上で、極めて重要な資料となります。学内の皆様には、本年報を大学ホームページからダウンロードし、有効に活用していただきたいと思っております。

前々回から、年報作成のためのワード入力と、教員業績評価のためのエクセル入力の書式をエクセルに統一し、提出先も一本化しました。皆様の自己点検・評価の結果は、そのまま教員業績評価の基礎となる重要な資料となります。今後はこれをさらに人事考課に反映させ、皆様のエンゲージメントを高めるためにも活用したいと考えています。

本学は2030年に向けて持続可能な発展を遂げるために、新たに10年間の長期目標、その前半5年間の中期目標・計画、さらにその前半3年間のアクションプランを策定し、2021年度から実行してきました。アクションプランの1年目が終了した現在、その自己評価を実施し、計画通り進捗していない項目の整理と対応策の立案を始めています。

当面のアクションプランを達成するためには、皆様一人一人の活動と、皆様の連携による協働作業が不可欠です。皆様の活発な教育・研究・課外活動により、将来計画が着実に具体化されていくために、今後とも本学における諸活動に積極的に取り組んでいただきますよう、何卒宜しく願いいたします。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	2
3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」	2
2. 沿革	3
3. 組織	
1) 組織図	9
2) 役職者	10
3) 教員数	12
4. 学年暦	13
5. 管理運営	
1) 総務会	29
2) 大学院委員会	31
3) 合同教授会	33
4) 研究科委員会	35
5) 各種委員会活動	35
(1) 学長直轄委員会	35
ア 将来計画機構	35
イ 危機管理委員会	36
ウ 教員選考委員会	36
エ 人権委員会	36
オ 個人情報保護委員会	37
カ 安全衛生委員会	37
キ 自己点検・評価委員会	38
ク 外部評価準備委員会	38
① 事業戦略推進部	38
ア 入試委員会	38
イ 広報委員会	39
ウ 大学院入試広報委員会	40
エ IR戦略委員会	41
(2) 教育・学生支援機構	41
① 学生支援推進部	42
ア 健康管理センター運営委員会	42
イ 図書館・学習支援委員会	42

ウ	就職センター運営委員会	43
エ	教職支援センター運営委員会	44
オ	学生委員会	45
カ	交通安全委員会	46
②	教育開発推進部	46
ア	教務委員会	46
イ	FD・SD推進委員会	47
ウ	国家試験・資格試験対策委員会	48
エ	新潟連携教育研究センター運営委員会	49
オ	高等教育推進センター運営委員会	50
(3)	研究・産官学連携推進機構	51
①	研究・産学官連携推進部	51
ア	科研費対策委員会	51
イ	プロジェクト研究センター運営委員会	52
②	研究・産学官連携支援部	52
ア	学術委員会	52
イ	倫理審査委員会	53
ウ	遺伝子組換え実験安全委員会	53
エ	動物実験委員会	53
オ	毒物・劇物管理委員会	53
カ	利益相反マネジメント委員会	54
キ	知的財産委員会	54
ク	URA推進室	54
③	大学院教育研究支援部	54
ア	大学院教務委員会	54
イ	大学院教育研究環境委員会	55
(4)	社会連携・同窓会推進機構	55
①	社会連携推進部	56
ア	社会連携推進センター運営委員会	56
②	同窓会・生涯学習推進部	56
イ	同窓会・生涯学習連携推進委員会	56
(5)	国際交流推進機構	57
①	国際交流推進部	57
ア	国際交流センター運営委員会	57
(6)	アスレティックデパートメント推進機構	60
①	強化指定クラブ運営部	61

ア	強化指定クラブ運営委員会	61
②	アスレティックデパートメント推進部	61
ア	アスレティックデパートメント推進委員会	61
6.	大学情報の公開と広報	
1)	公開講座等	63
2)	広報活動	63
7.	研究活動	
1)	学長	64
2)	リハビリテーション学部	65
(1)	理学療法学科	65
(2)	作業療法学科	137
(3)	言語聴覚学科	146
(4)	義肢装具自立支援学科	154
3)	医療技術学部	168
(1)	臨床技術学科	168
(2)	視機能科学科	179
(3)	救急救命学科	189
(4)	診療放射線学科	195
4)	健康科学部	210
(1)	健康栄養学科	210
(2)	健康スポーツ学科	226
5)	看護学部	290
(1)	看護学科	290
6)	社会福祉学部	307
(1)	社会福祉学科	307
7)	医療経営管理学部	331
(1)	医療情報管理学科	331
8)	プロジェクト研究センター	341
(1)	アクアヘルス推進プロジェクト研究センター	341
(2)	言語発達支援センター	346
(3)	医療経済・QOL研究センター	347
(4)	ロコモティブ症候群予防研究センター	349
(5)	シティズンシップ教育実践研究センター	353
(6)	スポーツカウンセリング研究センター	357
(7)	アスリートサポート研究センター	359
(8)	身体教育研究センター	363

(9) 栄養科学研究センター	369
(10) 脳卒中リハビリテーションセンター	371
9) 運動機能医科学研究所	373
10) 学内における研究助成金の採択状況	407
(1) 研究奨励金 採択一覧表	407
(2) 学長裁量研究費 採択一覧表	409
(3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表	409
(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表	409
11) 外部資金の獲得状況	413
(1) 文部科学省及び日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表	413
(2) 厚生労働科学研究費補助金 採択一覧表	418
(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧	418
12) 新潟医療福祉学会	420
8. 図書館	
1) 蔵書数	421
2) 年間受入冊数	421
3) 利用状況	421
4) データ推移	421
9. 学生関係	
1) 収容定員	422
2) 入試広報活動	423
3) 入学者選抜方法	424
4) 入学者選抜試験結果	425
5) 在籍学生数	426
6) 異動学生数	427
7) 学生生活	429
(1) 学生生活に関する指導	429
(2) オリエンテーション	429
(3) 健康診断	429
(4) 心理相談	429
(5) 奨学金制度	429
(6) 学生寮	430
(7) 学友会	430
(8) 大学祭	430
(9) クラブ活動	430
(10) 学生表彰	432

(11) 海外研修	436
(12) 学習支援センター	436
8) 強化指定クラブ成績	437
9) 国家試験・資格試験結果	441
10) 就職状況	441
10. その他	
1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園	443
2) 新型コロナウイルスワクチン職域接種	443

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開設時の学則で示された建学の精神は「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」である（2001年）。

この学則に基づき、大学の基本理念を次の3項目とする。なお2005年に健康スポーツ学科が開設されたので、以下の文章では「保健医療福祉スポーツ」と表記する。

(1) 優れたQOLサポーターを育成する大学

- ①保健医療福祉スポーツ分野の高度専門職者を育成する。
- ②保健医療福祉スポーツ分野の諸専門領域を横断的、融合的に理解する人材を育成する。
- ③対象者を全人的に理解し、支援する人材を育成する。

本学では全学科における人材育成の教育理念・目標の核心を、「対象者のQOL向上を考え、QOL向上のため支援を実践する人材育成」と設定し、上記①～③を実践する。教育課程の最初には専門分化でなく、保健医療福祉スポーツの分野を広く統合して考えられる人材育成を基本的目標とし、その上で高度に分化した専門職育成を行う。以上をまとめて、“優れたQOLサポーターの育成”としている。

(2) 地域社会のニーズに応える大学

- ①大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ②地域の関連専門職団体や関係機関と連携して行う研究会の開催、研究会への協力
- ③情報通信ネットワークによる保健医療福祉スポーツ施設、在宅介護支援機関等への支援
- ④社会人等特別入学試験、科目等履修生制、聴講生制度
- ⑤公開講座（エクステンションプログラム）開講

ア. 保健医療福祉スポーツ専門職・小中高教員向けのセミナー・研究会の開催

イ. 高校生など対象の夏季特別プログラムの実施

ウ. 市民公開講座、市民参加交流講座の開催

⑥社会的貢献－教職員・学生のボランティア活動の積極的推進

保健医療福祉スポーツサービスは、行政機関や各種施設の職員、家族・親族、ボランティア団体、住民など多様な人々によって担われる。保健医療福祉スポーツ分野の大学である本学が、専門的学術情報を中心として地域の連携拠点として機能することにより、多様な活動を有機的に結び付け、より一層地域全体としてサービス水準の向上を図れるものと考ええる。

また、本学学生のみならず、広く社会人に対して門戸を開き、更に地域の保健医療福祉スポーツ水準向上のため、関係機関や行政と密接に連携をとりつつ可能な限り地域住民の保健医療福祉スポーツ活動に寄与するよう努める。

(3) 国際社会に貢献する大学

- ①人的交流－教員の交流・留学生の受入れや学生の派遣
- ②日本周辺諸国との保健医療福祉スポーツ分野における交流のシンポジウム・ワークショップなどの開催

保健医療福祉スポーツ分野でも「発信」型の国際交流が望まれる。中国、韓国、台湾、東南アジア諸国では、程度の差はあれ、工業化、都市化、核家族化、長寿化、伝統的な家族意識の崩壊などの諸要因によって、一人暮らしや老夫婦だけの高齢者世帯が増え、健康問題、保健医療問題、介護問題などの生活問題を抱えはじめている。このような変化はまさしく我が国が辿った過程であり、その先には保健医療福祉制度の見直しや、高度専門職者育成など諸課題が生じることが予測される。

我が国が周辺諸国から期待されている役割を果たす意味からも、これらの課題に取り組み、我々の高齢社会に於ける経験に基づく有用な情報を積極的に発信し、国際的に貢献するよう努める。

2) 教育内容の特色等

本学は教育理念と教育目標を基本理念とは別に定めているのが特徴であるが、基本理念(1)の具体概念と考えられる(再出)。教育理念(目的)は「医療福祉分野に対する社会的要請に応えるべく、豊かな人間性と高潔な倫理性に立脚し、高度な専門性に加えて他の専門領域をも横断的・融合的に理解し、研究し、実践し、教育する人材を養成する」、教育目標は「保健医療福祉スポーツの4分野を統合的に考え、他のスタッフと協力しながらQOL(=いかによく生きるか)を総合的に考え、豊かなコミュニケーションで対象者のQOLを支える「優れたQOLサポーター」を育成する」である。

上記の目的・目標を達成するため、それぞれの学科におけるカリキュラムは、その名称が示す内容の国家資格等の受験資格を取得することができるように設定し、育成する“人材像”は次の通りである。

- ①対象者のQOL(生活の質、生きる質、健康の質)を自ら考え、その向上を実践する人材
- ②多様な価値観に寛容であり、対話ができる人材
- ③保健医療福祉スポーツ分野の複数の職種の人たちとチームアプローチができる人材
- ④教養的知識と専門的知識・技能をバランス良く身につけている人材
- ⑤保健医療福祉スポーツおよび一般社会における情報化に対応できる人材
- ⑥異文化理解・コミュニケーションの手段として外国語を使い、自ら発信できる人材

3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」

「優れたQOLサポーター」とは、保健医療福祉スポーツ分野を総合的に捉え、他分野のスタッフと協力しながら、対象者のQOL(=いかによく生きるか)をいつも考え、その人を全人的に支える人材を意味する(再出)。

本学では「優れた」を満たす要件として、次の5項目を設定した(2010年)。

- ①科学的知識と技術を活用する力(Science & Art)
- ②チームワークとリーダーシップ(Teamwork & Leadership)
- ③対象者を支援する力(Empowerment)
- ④問題を解決する力(Problem-solving)
- ⑤自己実現意欲(Self-realization)

「5つの要件」を表す英語の頭文字を取ってSTEPSとまとめている。なお保健医療福祉スポーツ分野でエンパワメント(Empowerment)は、「対象者自身が自分らしく生きる力(自己決断力)および権利(自己決定権)」を意味するので、上記③を厳密に表現すれば「対象者のエンパワメントを支援する力」となることを付記する。

2. 沿革

年	月	事 項
1996年 (平成8年)	4月	大学設立構想検討開始
1997年 (平成9年)	1月	大学設置準備室設置
1999年 (平成11年)	6月	財団法人新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可(文部省)
2000年 (平成12年)	12月	新潟医療福祉大学 設置認可(文部省)
	12月	学校法人新潟総合学園 設立認可(文部省)
	12月	理学療法学科 理学療法士学校の指定
	12月	作業療法学科 作業療法士学校の指定
	12月	言語聴覚学科 言語聴覚士学校の指定
2001年 (平成13年)	2月	校地・校舎 竣工
	3月	健康栄養学科 管理栄養士養成施設・栄養士養成施設の指定
	4月	新潟医療福祉大学開学(2学部5学科設置) ・医療技術学部 理学療法学科(入学定員40名), 作業療法学科(入学定員40名), 言語聴覚学科(入学定員40名), 健康栄養学科(入学定員40名) ・社会福祉学部 社会福祉学科(入学定員100名)
	4月	新潟医療福祉大学竣工・開学式典
	4月	新潟医療福祉大学 第1回入学式
	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
2002年 (平成14年)	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
	9月	第2厚生棟 竣工
2003年 (平成15年)	4月	新潟医療福祉大学 第3回入学式
2004年 (平成16年)	4月	新潟医療福祉大学 第4回入学式
	11月	新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科(修士課程:保健学専攻・社会福祉学専攻)の設置認可
2005年 (平成17年)	1月	第3研究棟, 体育棟, 第2実験実習棟 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第1回卒業式
	3月	健康栄養学科(栄養教諭一種免許) 教員免許課程の認定 健康スポーツ学科(中・高教諭一種免許(保健体育)) 教員免許課程の認定
	4月	大学院医療福祉学研究科設置 保健学専攻, 社会福祉学専攻開設(入学定員40名)
	4月	医療技術学部健康スポーツ学科開設(入学定員60名)
	4月	医療技術学部理学療法学科入学定員増(入学定員80名)
	4月	新潟医療福祉大学 第5回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第1回入学式
	4月	ハルビン医科大学第一臨床医学院(中国)との学術交流協定の締結
	9月	看護学科 保健師学校・助産師学校・看護師学校の指定

<p>2006年 (平成18年)</p>	<p>2月 3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 6月 9月 9月</p>	<p>サザンクイーンズランド大学（オーストラリア）との研究協力についての覚書の締結 新潟医療福祉大学 第2回卒業式 看護学科（養護教諭一種免許）教員免許課程の認定 社会福祉学部社会福祉学科 介護福祉士学校の指定 第4研究棟 竣工 医療技術学部看護学科開設（入学定員80名） 社会福祉学部社会福祉学科介護福祉コース開設 入学定員増（入学定員120名） 新潟医療福祉大学 第6回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第2回入学式 ハッサン大学（アメリカ）との学術交流協定の締結 義肢装具自立支援学科 義肢装具士学校の指定 ハバロフスク極東総合医科大学（ロシア）との学術交流協定の締結</p>
<p>2007年 (平成19年)</p>	<p>3月 3月 3月 3月 4月 5月 5月 12月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第3回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第1回修了式（学位記授与式） 第5研究棟 竣工 財団法人日本高等教育評価機構から大学評価基準適合認定を受ける ※認定期間 平成18年4月1日～平成24年3月31日 第3厚生棟 竣工 大学院医療福祉学専攻（博士後期課程）開設（入学定員3名） 大学院健康科学専攻（修士課程）開設（入学定員10名） ※入学定員の変更 保健学専攻20名，社会福祉学専攻10名 2学部より3学部（医療技術学部・健康科学部・社会福祉学部）へ改組 健康科学部健康栄養学科（入学定員40名），健康スポーツ学科（入学定員100名）， 看護学科（入学定員80名）開設 ※医療技術学部健康栄養学科，健康スポーツ学科，看護学科 募集停止 医療技術学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設 東京キャンパス（東京都千代田区丸の内）の開設 新潟医療福祉大学 第7回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第3回入学式 カリフォルニア州立大学フレズノ校（アメリカ）との学術交流協定の締結 大学院健康科学専攻健康スポーツ学分野（中・高教諭専修免許（保健体育）） 教員免許課程の認定</p>
<p>2008年 (平成20年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第4回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第2回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第8回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第4回入学式</p>
<p>2009年 (平成21年)</p>	<p>3月 3月 4月 4月 5月 7月</p>	<p>新潟医療福祉大学 第5回卒業式 新潟医療福祉大学大学院 第3回修了式（学位記授与式） 新潟医療福祉大学 第9回入学式 新潟医療福祉大学大学院 第5回入学式 第3体育館棟 竣工 「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発の実践」が，文部科学省平成21年度戦略的大学連携支援事業として採択</p>

	7月	国立シリントン・リハビリテーションセンター（タイ）との学術交流協定の締結（義肢装具自立支援学科）
	9月	キングストン大学（イギリス）およびロンドン大学セントジョージ校（イギリス）の健康社会福祉科学学部との国際交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国の4カ国から8名の参加
2010年 (平成22年)	3月	新潟医療福祉大学 第6回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第4回修了式（学位記授与式）
	3月	第3厚生棟改修 竣工
	3月	新潟市北区との包括連携協定の締結
	4月	医療経営管理学部医療情報管理学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第10回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第6回入学式
	8月	弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結
	8月	アンヘレス大学財団（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の4カ国から5名の参加
	11月	運動機能医科学研究所 開設
2011年 (平成23年)	3月	新潟医療福祉大学 第7回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第5回修了式（学位記授与式）
	3月	第6研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部臨床技術学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第11回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第7回入学式
	8月	ハワイ大学マノア校ジョンAバーズ医学部臨床技術学科（アメリカ）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）
	10月	サント・トーマス大学（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の5カ国から10名の参加
	10月	『新潟医療福祉大学』開学10周年記念式典開催
	12月	イーストアングリア大学看護・助産学校（イギリス）との学術交流協定の締結
2012年 (平成24年)	3月	新潟医療福祉大学 第8回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第6回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第12回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第8回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・マーシャル諸島共和国・キリバス共和国・ツバル・パラオ共和国の6カ国から7名の参加
2013年 (平成25年)	3月	新潟医療福祉大学 第9回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第7回修了式（学位記授与式）
	3月	第7研究・実習棟 竣工
	3月	硬式野球グラウンド 竣工
	3月	五泉市との包括連携協定の締結

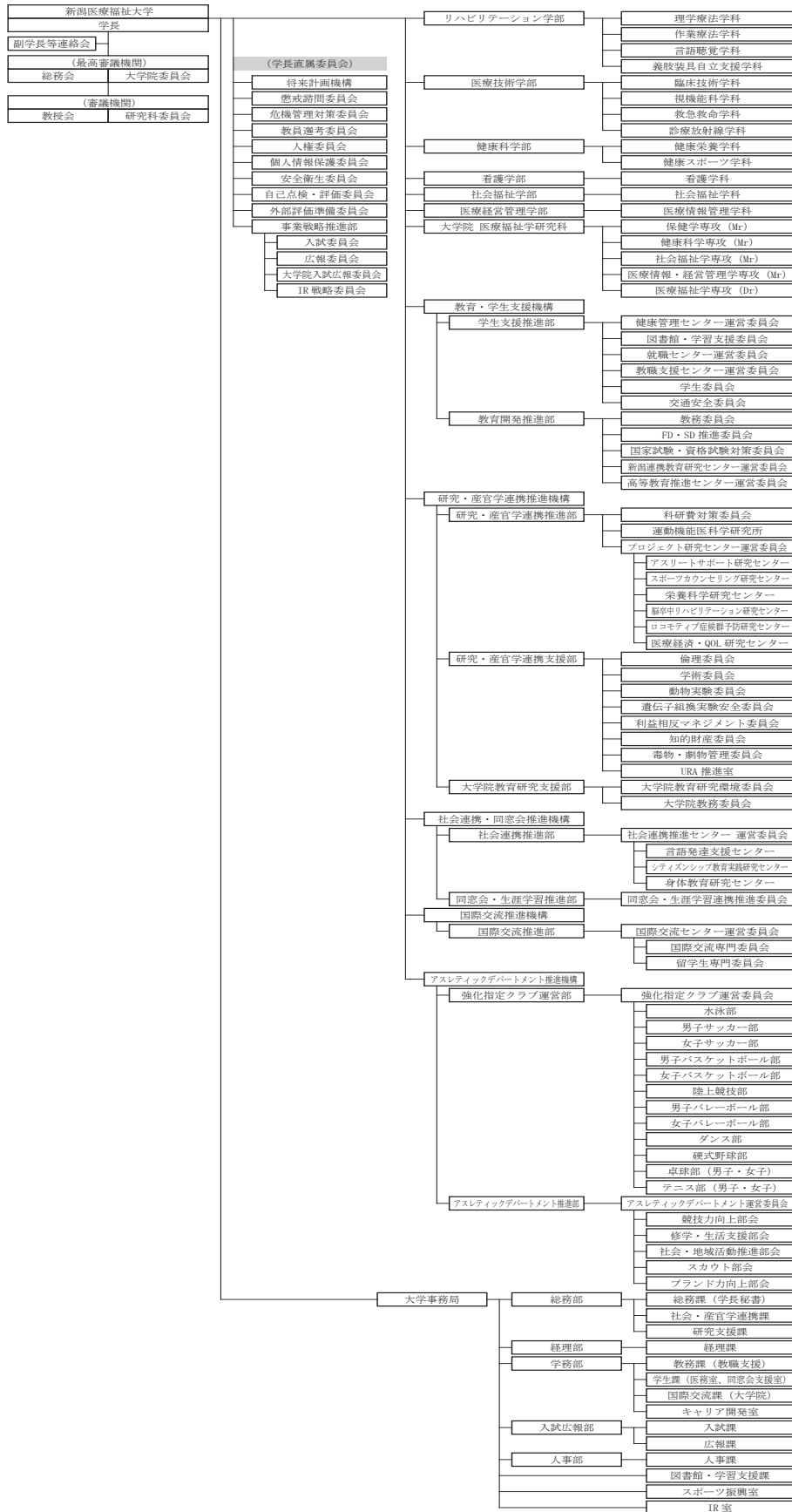
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員160名）
	4月	新潟医療福祉大学 第13回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第9回入学式
	5月	陸上競技グラウンド, テニスコート 竣工
	8月	台北榮民總醫院（台湾）との学術交流締結
	9月	視機能科学科 視能訓練士学校の指定
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2014年 (平成26年)	1月	2013年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	3月	新潟医療福祉大学 第10回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第8回修了式（学位記授与式）
	3月	第8研究・実習棟 竣工
	3月	屋内走路, 屋内野球練習場 竣工
	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成25年4月1日～平成32年3月31日
	4月	医療技術学部視機能科学科（入学定員50名）開設
	4月	大学院修士課程医療情報・経営管理学専攻（入学定員4名）開設 ※入学定員の変更 保健学専攻18名, 社会福祉学専攻8名
	4月	新潟医療福祉大学 第14回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第10回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修【フェーズⅡ】の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2015年 (平成27年)	1月	クラブハウス 竣工
	1月	2014年度私立大学等改革総合支援事業タイプ2に選定
	2月	マヒドン大学（タイ）との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第11回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第9回修了式（学位記授与式）
	3月	新潟県社会福祉協議会との包括連携協定の締結
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員200名）
	4月	新潟医療福祉大学 第15回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第11回入学式
	4月	クイーンズ大学（カナダ）との学術交流協定の締結（作業療法学科）
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防コース研修の実施 タイから14名の参加
	10月	新潟市社会福祉協議会との包括連携協定の締結
2016年 (平成28年)	3月	新潟医療福祉大学 第12回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第10回修了式（学位記授与式）
	3月	第2講義棟, 第4体育館棟 竣工
	4月	医療技術学部理学療法学科 入学定員増（入学定員120名）
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員8名）
	4月	新潟医療福祉大学 第16回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第12回入学式
2017年 (平成29年)	3月	新潟医療福祉大学 第13回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第11回修了式（学位記授与式）
	4月	第9研究・実習棟 竣工

	4月	医療技術学部救急救命学科（入学定員55名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第17回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第13回入学式
	11月	「リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点－Sports & Health for All in Niigata－」が文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業として採択
2018年 (平成30年)	3月	新潟医療福祉大学 第14回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第12回修了式（学位記授与式）
	3月	第4研究・実習棟増築改修 竣工
	3月	新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 竣工
	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第1期工事（13棟311室、共用棟）竣工
	4月	リハビリテーション学部理学療法学科（入学定員120名）開設
	4月	リハビリテーション学部作業療法学科（入学定員50名）開設
	4月	リハビリテーション学部言語聴覚学科（入学定員40名）開設
	4月	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科（入学定員40名）開設
	4月	医療技術学部臨床技術学科 入学定員増（入学定員100名）
	4月	医療技術学部診療放射線学科（入学定員90名）開設
	4月	看護学部看護学科（入学定員107名）開設
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増（入学定員10名）
	4月	新潟医療福祉大学 第18回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第14回入学式
	6月	スポーツ庁「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」に採択
2019年 (平成31年)	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第2期工事（13棟295室）竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第15回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第13回修了式（学位記授与式）
	3月	2019年度スポーツ庁大学スポーツ振興推進事業に採択
	4月	新潟医療福祉大学 第19回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第15回入学式
2020年 (令和2年)	3月	新潟医療福祉大学 第16回卒業式（コロナウイルス感染拡大により学位記授与のみ）
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第14回修了式（同上）
	3月	2020年度スポーツ庁大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業に採択
	4月	新潟医療福祉大学 第20回入学式（オンライン）
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第16回入学式（オンライン）
	5月	2020年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択
2021年 (令和3年)	3月	新潟医療福祉大学 第17回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第15回修了式（学位記授与式）
	3月	福井県鯖江市との包括連携協定の締結
	4月	健康科学部健康スポーツ学科入学定員増（入学定員250名）
	4月	新潟医療福祉大学 第21回入学式（オンライン）
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第17回入学式（オンライン）
	5月	2021年度スポーツ庁女性アスリートの育成・支援プロジェクト事業に採択
	10月	北側トレーニングセンター 竣工
	10月	屋内投てき場 竣工

2022年 (令和4年)	1月	自然人類学研究所 開設
	3月	新潟医療福祉大学 第18回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第16回修了式 (学位記授与式)

3. 組織

1) 組織図



2) 役職者

(1) 新潟医療福祉大学

学 長	西澤正豊
副学長	渡辺敏彦
副学長	丸田秋男
副学長	大山峰生
副学長	大西秀明
リハビリテーション学部長	大西秀明
医療技術学部長	笠原敏文
健康科学部長	西原康行
看護学部長	塚本康子
社会福祉学部長	丸田秋男
医療経営管理学部長	福島正巳
リハビリテーション学部	
理学療法学科長	椿 淳裕
作業療法学科長	大山峰生
言語聴覚学科長	山岸達弥
義肢装具自立支援学科長	東江由起夫
医療技術学部	
臨床技術学科長	中村藤夫
視機能科学科長	前田史篤
救急救命学科長	竹井 豊
診療放射線学科	笠原敏文
健康科学部	
健康栄養学科長	永井 徹
健康スポーツ学科長	西原康行
看護学部	
看護学科長	松井由美子
社会福祉学部	
社会福祉学科長	渡邊敏文
医療経営管理学部	
医療情報管理学科長	柴山純一
教育・学生支援機構長	大山峰生
研究・産官学連携推進機構長	大西秀明
社会連携・同窓会推進機構長	丸田秋男
国際交流推進機構長	渡辺敏彦
アスレティックデパートメント推進機構長	渡辺敏彦
学長直轄委員会	
教育・学生支援機構事業戦略推進部長	小野哲之
学生・教育推進機構	
学生支援推進部長	佐藤敏郎
教育開発推進部長	吉田重和

研究・産官学連携推進機構	
研究・産官学連携推進部長	椿 淳裕
研究・産官学連携支援部長	児玉直樹
大学院教育研究支援部長	佐藤大輔
社会連携・同窓会推進機構	
社会連携推進部長	西原康行
同窓会・生涯学習推進部長	西原康行
国際交流推進機構	
国際交流推進部長	久保雅義
アスレティックデパートメント推進機構	
強化指定クラブ運営部長	西原康行
アスレティックデパートメント推進部長	伊藤篤司
学生部長	佐藤敏郎
図書館長	山岸達弥
大学事務局長	小野哲之

(2) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

研究科長 佐藤大輔

修士課程

保健学専攻長	阿部 薫
健康科学専攻長	佐藤大輔
社会福祉学専攻長	寺田貴美代
医療情報・経営管理学専攻長	木下直彦

保健学専攻

理学療法学分野長	久保雅義
作業療法学分野長	能登真一
言語聴覚学分野長	山岸達弥
義肢装具自立支援学分野長	阿部 薫
医療技術安全管理学分野長	長濱大輔
視覚科学分野長	増田 修
救急救命学分野長	竹井 豊

健康科学専攻

健康栄養学分野長	稲葉洋美
健康スポーツ学分野長	佐藤大輔
看護学分野長	宇田優子

社会福祉学専攻

保健医療福祉政策・計画・運営分野長	寺田貴美代
保健医療福祉マネジメント学分野長	松本京介
医療情報・経営管理学専攻	
医療情報・経営管理学分野長	木下直彦

博士後期課程

医療福祉学専攻長 佐藤大輔

3) 教員数 (2021年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 276名

(注1) 学長・副学長を含む。

(注2) 大学院担当者155名を含む。

(2) 学部別教員数 (注3)

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
リハビリテーション学部	(1)	15	6	15	16	0	52
医療技術学部		29	10	18	19	4	80
健康科学部		19	16	21	17	2	75
看護学部		5	4	4	3	7	23
社会福祉学部		10	5	2	6	3	26
医療経営管理学部		8	3	3	4	1	19
合計		(1)	87	46	53	69	21

(注3) 理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、義肢装具自立支援学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部、医療技術学部に教員数を分けて計上

(3) 学科別教員数 (注4, 注5)

学科	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	
理学療法学科	(1)	9	4	9	13	0	35	
作業療法学科		4	0	2	5	0	11	
言語聴覚学科		4	3	4	2	0	13	
義肢装具自立支援学科		4	1	3	2	0	10	
臨床技術学科		7	3	6	2	3	21	
視機能科学科		6	0	2	3	1	12	
救急救命学科		5	1	4	4	0	14	
診療放射線学科		5	4	3	4	0	16	
健康栄養学科		5	4	5	4	1	19	
健康スポーツ学科		12	10	13	10	0	45	
看護学科		7	6	7	6	8	34	
社会福祉学科		10	5	2	6	3	26	
医療情報管理学科		8	3	3	4	1	19	
計		(1)	86	44	63	65	17	275

(注4) リハビリテーション学部：理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科
 医療技術学部：臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科 診療放射線学科
 健康科学部：健康栄養学科 健康スポーツ学科
 看護学部：看護学科
 社会福祉学部：社会福祉学科
 医療経営管理学部：医療情報管理学科

(注5) 理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、義肢装具自立支援学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部、医療技術学部を合算した数で計上

4. 学年暦

- 4月 1日(木) ・辞令交付式(WEB形式)実施
交付者/計59名(新任・重任管理職14名, 昇任等教員16名, 新任教員等29名)
- 2日(金) ・学生寮「N-Village伍桃」入寮式・オリエンテーション(WEB形式)実施
・新入生オリエンテーション<全体>①(WEB形式)実施
対象/全新生と3年次編入生
内容/授業開始に向けたパソコン設定や大学での修学および学生生活に関する動画や資料の閲覧
・新任教職員事務局オリエンテーション(WEB形式)実施
対象/新任教職員
内容/大学概要説明, 各種事務手続き説明, 学会への入会案内など
- 3日(土) ・2021年度入学式(WEB形式)挙行
方法/・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWEB形式(ライブ配信)で実施。(4月10日までアーカイブで公開)
・二部構成での実施(一部:式典, 二部:歓迎プログラム)
・学部生1,188名(編入生1名), 大学院生58名, 計1,246名の入学を許可
※例年入学式後に実施する後援会総会は, 書面審議とした
- 3日(土)～10日(土)
・第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック代表選手選考会出場(東京アクアティクスセンター)
結果/・本学水泳部から15名の選手が出場し, 7名が11種目で入賞
・男子100Mバタフライで水沼尚輝選手が東京オリンピック大会日本代表選手に決定(本学初のオリンピック選手)
- 5日(月) ・新入生オリエンテーション<学科別>②(WEB形式)実施
内容/学科別によるオリエンテーション, プレイスメントテスト
・新任教職員セミナー(FD・SD研修)実施
参加者/新任教職員42名
内容/大学理念や方針, 組織への理解を深めるためのセミナー
- 6日(火) ・前期授業開始【メディア授業開始, 対面式授業は開始日を延期】
授業形式/原則, 講義系科目はメディア形式, 実習・演習系は対面式
(1年生)対面式授業は4月19日からの予定であったが, 感染拡大状況から5月10日からに変更し実施
(2～4年生)対面式授業は4月6日からの予定であったが, 感染拡大状況から5月10日からに変更し実施
- 6日(火)～15日(木)
・履修登録期間
- 10日(土)～23日(金)
・新入生歓迎会(桃迎会)開催(WEB形式)
内容/学友会主催のクラブ・サークル活動を紹介
- 17日(土) ・新入生オリエンテーション<対面式>③(延期)
感染拡大状況から5月8日(土)に延期
- 21日(水) ・新任教員歓迎会(中止)
- 25日(日) ・医療機関業界・職種研究会(WEB形式)開催
参加者/臨床技術学科, 診療放射線学科 145名

- 参加企業／5 病院, 1 企業
- 27日(火) ・第30回危機管理対策委員会(WEB形式)開催
 内容／・4月30日から5月27日までの大学方針を決定
 ・緊急事態宣言地域(東京都, 大阪府, 兵庫県, 京都府)への移動を禁止するとともにその他県外移動の強い自粛と県内移動においても不要不急の移動回避を決定
 ・止むを得ない事情により県外移動する場合は「県外移動届」を提出し, 14日ルールもしくはPCR検査受検による陰性証明の提出を徹底することを決定
 ・行動制限レベルはレベル1(注意)を維持するが, 「移動」, 「授業(講義系)」, 「学生相談」, 「出張」, 「会議」, 「イベント」はレベル2(警戒)に引き上げることを決定
 ・学長メッセージ16を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(5月27日まで)
- 29日(木) ・授業日
- 5月 6日(木) ・保護者へ学長メッセージの送付
 内容／新型コロナウイルス感染症対策への理解と協力を求める文章を学生の保護者に郵送にて送付
- 7日(金)～9日(日)
 ・第68回春季北信越卓球選手権大会(団体の部)出場
 結果／インカレ代表決定戦 新潟医療福祉大学3-0金沢学院大学
 ※全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)への出場が決定(初出場)
- 8日(土) ・新入生オリエンテーション<対面式>③実施
 内容／・新入生を時間別に4回に分け, 12会場で実施
 ・対面によるオリエンテーション, 学校生活上の留意点等を指導
- 8日(土), 9日(日)
 ・5月オープンキャンパス(WEB形式)開催
 内容／申込者限定のサイトを公開 新規動画7本含む全39本と連携教育に関するライブ配信1本を公開
 参加者／受付け者1,126名(前年703名)
- 9日(日) ・第101回全日本サッカー選手権大会(天皇杯)新潟県代表決定戦出場
 結果／新潟医療福祉大学 0-2 新潟医療福祉大学FC
 ※新潟医療福祉大学FCが優勝し, 県代表として天皇杯への出場が決定(新潟医療福祉大学としては6年連続の出場)
- 11日(火) ・第31回危機管理対策委員会開催(メール審議)
 内容／・東京都, 大阪府, 兵庫県, 京都府を対象とした緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことと, 新たに愛知県と福岡県が緊急事態宣言対象地域として追加されたことを受け, 5月12日より移動禁止対象地域を東京都, 大阪府, 兵庫県, 京都府, 愛知県, 福岡県の6都府県に見直すことを決定
- 14日(金) ・春の全体職員会(WEB形式)開催
 内容／2021年度方針と目標の発表
- 20日(木) ・第32回危機管理対策委員会開催(メール審議)
 内容／・学内での新型コロナウイルス感染者発生に伴い, 状況の確認と今後の対応について協議
- 22日(土) ・義肢装具企業説明会(WEB形式)
 参加企業／40社
 内容／ライブでの企業説明会
 ・第101回全日本サッカー選手権大会(天皇杯)出場

- 結果／1回戦敗退
- 新潟医療福祉大学FC 1-3 長野パルセイロ (J3)
- 25日 (火) ・第33回危機管理対策委員会 (WEB形式) 開催
 内容／・5月28日から6月24日までの大学方針を決定
 ・緊急事態宣言地域及びまん延防止地域への移動禁止とその他県外と県内についても不要不急の移動は自粛することを決定
 ・止むを得ない事情 (就職活動や大会参加) により県外移動する場合は, 「県外移動届」を提出し, 帰県後は14日ルールを適用する. 14日ルールの短縮が必要な場合は, PCR検査を受検する
 ・行動制限レベルはレベル1 (注意) を維持するが, 「移動」, 「授業 (講義系)」, 「学生相談」, 「出張」, 「会議」, 「イベント」はレベル2 (警戒) を継続する
 ・各種ガイドラインの遵守を徹底する など
 ・学長メッセージ17を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針 (6月24日まで)
- 29日 (土) ・福祉施設・医療機関等求人説明会 (対面形式) 実施
 参加法人／県内の社会福祉法人, 福祉事業所19団体
 参加者 / 社会福祉学科4年生87名
 ※学内方針に基づき感染防御対策を徹底したうえで実施
- 6月 7日 (月) ・第34回危機管理対策委員会 (メール審議) 開催
 内容／・6月7日, 厚生労働省より「6月8日から企業や大学等における職域接種申請の受付を開始する」との連絡を受け, 本学でのワクチン接種に申請することを決定
 ・6月8日, 「学校法人新潟総合学園の学生, 教職員, 関係者を対象に学内での職域接種の意思あり」と申請し, 12日に申請が受理された
- 9日 (火) ・新型コロナウイルス「学内ワクチン接種対策チーム」を設置
 組織体制／・「統括責任者」西澤学長, 「実施責任者」埜晴雄健康管理センター長とする
 ・組織内に設置する「管理運営部」が全体の統括を行い, その下に「運営委員会」を置く
 ・「運営委員会」の6つの班が準備と実務にあたる
 ①調整班 ②会場班 ③受付班 ④医療班⑤ 救急班 ⑥経理班
- 9日 (水) ～・2021年度「夢を語る会」実施 (各学科単位での実施)
- 12日 (土), 13日 (日), 19日 (土), 20日 (日)
 ・6月オープンキャンパス (WEB形式) 開催
 内 容／申込者限定のサイトを公開
 新規動画6本, ライブ配信1本を含む53本の動画を配信
 参加者／受付者数2,139名 (昨年1,972名)
- 14日 (月) ・新型コロナウイルス学内ワクチン接種に関する学長メッセージの発信
- 16日 (水) ・留学生交歓会 (対面式) 実施
 内 容／本学の留学生と留学生サポーターによる交歓会
 参加者／留学生8名, 留学生サポーター2名
- 17日 (木) ・創立記念日
- 20日 (日) ・OWS (オープンウォータースイミング) オーシャンズカップ兼
 世界ジュニア選手権日本代表選考会出場
 結果／水泳部2名が世界ジュニア選手権日本代表に選出
- 21日 (月) ～7月23日 (金)

- ・高等学校教諭対象2022年度入試WEB説明会開催
内 容／大学紹介動画, 2022年度入試説明動画等の配信等
参加者／60校79名(昨年47校54名) ※7月15日現在の数字
- 21日(月)
 - ・秋田県人会(オンライン, 対面式併用)実施
参加者／13名
- 22日(火)
 - ・北陸圏人会(対面式)実施
参加者／11名
- 23日(水)
 - ・2020年度在学生表彰式実施
内 容／前年度(2020年度)における課外活動や社会活動において個人や団体で優れた成果を取めた学生を表彰(現2~4年生)
受賞者／個人表彰: 20名, 団体表彰: 2団体
※感染対策の観点から参加者は表彰者と学長, 教育担当副学長, 学生部長のみとし, その様子は学内にオンライン配信とした
 - ・群馬県人会(対面式)実施
参加者／11名
- 24日(木)
 - ・第35回危機管理対策委員会(オンライン)開催
内容／・6月25日から8月5日までの大学方針を決定
 - ・緊急事態宣言地域とまん延防止措置等重点措置地域への移動禁止
 - ・不要不急の県外および県内への移動は強い自粛を求める
 - ・県外移動の際は「県外移動届」の提出と, 新潟に戻った際の14日ルール, PCR検査による自宅待機の短縮の遵守の徹底
 - ・学内ワクチン接種準備状況の確認
 - ・学内のワクチン接種者に対する対応として, 接種率が一定程度に達するまでは非接種者と共通のルールを適用する
 - ・学内全体で感染防御に対する意識を高めていくことを確認
 - ・行動制限レベルはレベル1を維持するが「移動」, 「授業(講義系)」, 「学生相談」, 「出張」, 「会議」, 「イベント」はレベル2(警戒)を継続する
 - ・学長メッセージ18を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(8月5日まで)
- 26日(土)
 - ・第2回グローバルキャリア支援Meeting(オンライン)実施
内 容／「Knowing the World, Knowing Japan」~世界を知って, 日本を知る~
講 師／松浦由佳 氏(Synthetic MR AB 日本人)
参加者／27名
- 27日(日)
 - ・第45回総理大臣杯全日本サッカートーナメント北信越大会出場
結果／優勝(総理大臣杯に北信越第一代表として出場 5回目)
- 28日(月)
 - ・2021年度名誉教授称号記授与式実施
対象者／東條猛先生(元医療情報管理学科長)
鈴木力先生(前医療技術学部長)
※感染対策の観点から参加者を限定し, 授与式の様子は学内にオンライン配信とした
- 29日(火)
 - ・長野県人会(オンライン)実施
参加者／7名
 - ・第2回「教えて大学院(大学院オープンキャンパス)」開催
参加者／8名
- 30日(水)
 - ・新潟県人会佐渡支部(オンライン)実施
参加者／11名

- 7月 1日（木） ・山形県人会（対面式）実施
参加者／24名
- 1日（木）・2日（金）
・第90回全日本大学卓球選手権大会（団体の部）出場
結果／予選敗退
- 2日（金） ・沖縄県人会（オンライン）実施
参加者／11名
- 5日（月）～ ・新型コロナウイルス職域接種 学内ワクチン接種開始
接種期間／7月5日（月）～8月23日（月）のうち26日間
接種会場／第3厚生棟2階
接種人数／約4,500名（NUHW, JIGYO, NAFUの学生と教職員・非常勤講師, 法人関係者, NSGグループ関係者等）
- 5日（月） ・宮城県人会（対面式）実施
参加者／24名
- 6日（火） ・福島県人会（対面式）実施
参加者／23名
- 10日（土） ・第3回グローバルキャリア支援Meeting（オンライン）実施
内 容／「言語聴覚士 青年海外協力隊に参加する」
～アフリカにおける聴覚障害児支援～
講 師／平井香織 氏（国立病院機構災害医療センター）
参加者／30名
- 10日（土）、11日（日）、17日（土）、18日（日）
・7月オープンキャンパス（WEB形式）開催
内 容／申込者限定のサイトを公開
新規動画4本、ライブ配信1本を含む43本の動画を配信
参加者／受付者数2,251名（昨年1,609名）
- 11日（日） ・第57回全国社会人サッカー選手権大会北信越大会出場
結果／優勝（全国社会人サッカー選手権大会へ北信越第一代表として出場 2回目）
・新潟県バスケットボール選手権大会兼第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会新潟県予選出場
結果／優勝（皇后杯全日本バスケットボール選手権大会へ出場）
- 21日（水） ・薬物乱用防止講演会（オンライン）実施
内 容／薬物乱用のない社会を目指して
講 師／高津大輔 氏（新潟県警察本部刑事部組織犯罪対策第一課）
参加者／全1年生
- 25日（日） ・大学院オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／大学院進学ガイダンス, 学費・修学支援サポート制度説明, 大学院教員と大学院生によるセミナーなど
参加者／受付者数28名（昨年21名）
- 27日（火）～8月2日（月）
・学部, 大学院前期定期試験実施
試験数／227科目（対面式109科目, オンライン式118科目）
※ワクチン接種に伴う体調不良者については不利益が生じないように対応することを7月総務会で決定
- 30日（金） ・東京2020オリンピック 男子100mバタフライ準決勝

- 出場／水沼尚輝（本学職員／健康スポーツ学科卒業生）
結果／全体10位
- 8月 1日（日）・東京2020オリンピック 男子4×100mメドレーリレー決勝
出場／水沼尚輝（本学職員／健康スポーツ学科卒業生）
第3泳者バタフライで出場
結果／6位 ※3分29秒91（アジア新記録，日本新記録樹立）
- 3日（火）・第36回危機管理対策委員会（オンライン）開催
内容／・8月6日から9月23日までの大学方針を決定
・緊急事態宣言地域とまん延防止等重点措置地域の移動禁止
・不要不急の県外および県内への移動は強い自粛を求める
・県外移動の際は「県外移動届」の提出と，新潟に戻った際の14日ルール，PCR検査による自宅待機の短縮の遵守の徹底
・学内全体で感染防御に対する意識を高めていくことを確認
・行動制限レベルはレベル1を維持するが「移動」，「出張」，「会議」，「イベント」はレベル2（警戒）を継続する
・学長メッセージ19を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（9月23日まで）
- 3日（火）～5日（木）
・学部／大学院前期追試験，再試験実施
- 5日（木）・第3回 教えて！大学院（大学院オープンキャンパス）実施
参加者／10名
- 6日（金）・医療福祉施設求人説明会開催
内容／リハビリ職を中心とした求人説明会をオンデマンドで実施
参加施設／115施設
・第42回北信越国民体育大会（女子サッカー部）
結果／優勝
新潟県選抜（新潟医療福祉大学） 4－1 長野県選抜
- 7日（土），8日（日）
・来場型オープンキャンパス実施
内容／参加定員，対象学科を限定したキャンパスツアーを中心としたイベントを実施
参加者／101組（高校生101名，保護者63名，合計164名）
- 7日（土）～15日（日）
・8月オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／申込者限定のサイトを公開
大学紹介等新規動画7本，在校生・教員によるライブ配信1本を含む全64本を公開
参加者／受付3,519名（前年実績／2,644名）
- 9日（月）～15日（日）
・大学休業期間
- 21日（土）・第4回グローバルキャリア支援Meeting（オンライン）実施
内容／The sky is the limit - 日本を飛び出して見えた世界－
講師／京都橘大学 健康科学部 救急救命学科 黒崎 久訓 氏
参加者／57名
・東京2020パラリンピック聖火ランナーに参加
内容／知野光希さん（医療情報管理学科2年，新潟車椅子バスケットボールクラブ所属，

- U-23・日本代表) が開催都市 (東京都) 内聖火リレーにおいて新潟県代表聖火ランナーとして走行
- 26日 (木) ・東京2020オリンピック報告会実施
 内容/東京2020オリンピックに出場した水泳部 水沼尚輝選手 (本学職員/健康スポーツ学科卒業生) と日本代表のコーチで帯同した下山好充監督 (健康スポーツ学科教授) によるオリンピック報告会と記者会見を実施
- ・第45回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会出場
 結果/ベスト16
- ・第4回 教えて!大学院 (大学院オープンキャンパス) 実施
 参加者/18名
- 30日 (月) ~9月3日 (金)
- ・2021年度連携総合ゼミ (オンライン) 開催
 内容/他学科の学生, 他大学の学生とチームを結成して, 具体的な症例をもとにグループワークを通じて患者や対象者への支援策を検討し, 発表を通して多職種への理解を深めることを目的とする. 今年度は18の仮想症例による支援策が発表された
- 参加者/アンヘレス大学 (フィリピン), サント・トマス大学 (フィリピン), 中山医学大学 (台湾), ハイズオン医療技術大学 (ベトナム) の学生を含む137名
- 9月 1日 (水) ・学部9月卒業判定会議実施
 結果/13名の9月卒業を認定
 (理学療法学科2名, 作業療法学科3名, 言語聴覚学科3名, 義肢装具自立支援学科3名, 健康スポーツ学科2名)
- 3日 (金) ・学部9月卒業発表
- 8日 (水) ・大学院9月修了判定会議実施
 結果/3名の9月修了を認定 (修士課程1名, 博士後期課程2名)
- 10日 (金) ・大学院9月修了者発表
 ・大学院秋のオープンキャンパス (WEB形式) 実施
 内容/大学院進学ガイダンス, 学費・修学支援サポート制度説明, 大学院教員と大学院生によるセミナーなど
 参加者/受付者数25名 (昨年12名)
- 13日 (月) ~ ・連携基礎ゼミ (実践行動学II)
 ※各学科でオンラインまたは対面にて実施中
- 16日 (木) ・秋の職員会 (オンライン) 実施
 内容/個人情報の管理とメール活用の注意点
 講師/社会保険労務士法人 事業創造パートナーズ 渡辺 稔 様
 対象/全職員
- 18日 (土), 19日 (日)
- ・9月オープンキャンパス (WEB形式) 実施
- 22日 (水) ・9月卒業式・修了式挙行 (本学にて)
 卒業生/13名 (理学療法2名, 作業療法3名, 言語聴覚3名, 義肢装具自立支援3名, 健康スポーツ2名)
 修了生/3名 (修士課程健康科学専攻1名, 博士後期課程医療福祉学専攻2名)
 ※保護者, 教職員はライブ配信による視聴
- 25日 (土) ・総合型選抜入試A方式 (一次)・B方試実施
 志願者数/958名 (前年/907名)

※感染拡大防止のため、新潟・高崎・長野の3会場にて実施。また、面接はオンライン形式にて実施

- 27日（月） ・後期授業開始
授業形態／原則、講義系科目はメディア授業、実習・演習系科目は対面授業で実施
感染対策／3つのガイドライン（対面授業実施ガイドライン、施設管理ガイドライン、学科ガイドライン）に基づく対応を実施
- 29日（水） ・第5回グローバルキャリア支援Meeting（オンライン）実施
内 容／小さな島の大きな人々～ミクロネシア連邦ポンペイ州の生活習慣病対策～
講 師／小林房代 氏
参加者／33名
- 10月 7日（木）～10日（日）
・第97回日本学生選手権水泳競技大会出場
結果／入賞5種目（内リレー2種目）
- 10日（日） ・第21回大学祭「伍桃祭」※オンライン開催
内 容／特設サイトを設置し、クラブ・サークルを中心とした動画によるパフォーマンス、ゲストによるライブ配信等
総アクセス数（訪問者）／2,851名（前年／2,064名）
- 11日（月） ・2021プロ野球ドラフト会議
結果／桐敷拓馬（健康スポーツ学科4年）阪神タイガース3位指名
佐藤琢磨（健康スポーツ学科4年）福岡ソフトバンクホークス育成指名
- 16日（土） ・総合型選抜入試A方式（二次）実施
・看護学科3年次編入試験実施
志願者数／2名（前年／1名）
- 23日（土） ・大学院第一次入学選考試験
志願者数／37名（前年／37名）
- 23日（土）、24日（日）
・10月オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／申込者限定のサイトを公開
大学紹介等新規動画7本、在校生・教員によるライブ配信6本を含む全70本を公開
参加者／受付2,015名（前年／1,668名）
- 26日（火） ・第39回危機管理対策委員会開催
内容／10月29日から11月25日までの大学方針を決定
・「学内で感染クラスターを発生させないこと」を引き続き基本方針とする
・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル表」では原則レベル1の規制により対応する
・緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象自治体への移動は禁止するが、その他の県外への移動制限は行わない（新潟県内の移動も制限しない）
・感染拡大の恐れがある地域に移動して新潟に戻った場合には、戻った日から3～5日の間にPCR検査を受検するよう強く推奨する（検査で陰性が確認された以降は、行動制限は行わない）
・「感染拡大の恐れがある地域」以外の県外に移動した場合は、PCR検査の要請は行わない
・学内クラスターが発生する恐れが生じた場合は、これまでの入構禁止措置等を速やかに再稼働させる

- ・ワクチン接種を引き続き推奨する
- ・学長メッセージ21を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（11月25日まで）
- 30日（土）
 - ・第20回新潟医療福祉学会学術集会 ※オンライン開催
内容／チーム医療・多職種連携に求められる人材育成と医工連携
特別講演／医工連携とリハビリテーション
講師／出江紳一 氏（東北大学大学院教授）
シンポジウム／医療・福祉・工学分野における学際的な人材育成モデルの構築に向けて
- 31日（日）
 - ・第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場
結果／22位（出場26校）
 - ・第68回全日本バレーボール大学女子選手権大会北信越大会出場
結果／優勝（8年連続8回目のインカレ出場決定）
 - ・第55回北信越大学女子バスケットボール選手権大会出場
結果／2位（3年連続9回目のインカレ出場決定）
 - ・第55回北信越大学男子バスケットボール選手権大会出場
結果／優勝（3年ぶり6回目のインカレ出場決定）
 - ・第30回全日本大学女子サッカー選手権大会出場
結果／優勝（10年連続10回目のインカレ出場決定）
- 11月 3日（水・祝）
 - ・授業実施日
- 6日（土）
 - ・保護者会開催 ※オンデマンド形式
内容／①後援会長挨拶 ②学長挨拶 ③大学運営報告
④学科長メッセージ，学科の取り組みなどを動画にて紹介
視聴期間／11月6日～14日
 - ・後援会役員会
内容／学長挨拶，大学運営報告，意見交換
参加者／役員8名
- 7日（日）
 - ・北信越男子サッカーリーグ1部（後期）
結果／優勝（7回目のインカレ出場決定）
- 13日（土）
 - ・大学院オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／大学院での学び，入試概要説明，現役院生によるレクチャー等
参加者／7名
- 20日（土）
 - ・総合型選抜C方式（スポーツ重視型）入試前期日程実施
志願者数／123名（前年／142名）
 - ・学校推薦型選抜（指定校制）入試実施
志願者数／257名（前年／258名）
- 20日（土）～23日（火）
 - ・11月オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／申込者限定のサイトを公開
大学紹介等新規動画6本，在校生・教員によるライブ配信6本を含む全54本を公開
参加者／受付1,250名（前年／1,439名）
- 21日（日）
 - ・北信越大学サッカーリーグ出場
結果／優勝（リーグ5連覇，7回目のインカレ出場決定）
- 22日（月）
 - ・マヒドン大学（タイ）とのダブル・ディグリー・プログラム締結調印式（オンライン調

印式)

参加者／(本学) 西澤正豊学長, 佐藤大輔研究科長他
(マヒドン) プラシト・ワタナパ医学部長,

オルンチャイ・リムジンダポーン副大学院長他

内容／本学大学院(博士課程)とマヒドン大学大学院(博士課程)による締結。本学および協定校の両方で学び, それぞれの修了要件を満たした際に, それぞれの大学から学位が授与されるプログラム

- ・福島県人会開催 参加者／5名
- 23日(火) ・授業実施日
- ・北陸圏人会開催 参加者／9名
- 24日(水) ・第40回危機管理対策委員会開催
- 内容／11月26日から1月27日までの大学方針を決定
 - ・「学内で感染クラスターを発生させないこと」を引き続き基本方針とする
 - ・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル表」では原則レベル1の規制を維持する
 - ・緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象自治体への移動は禁止するが, その他の県外への移動制限は行わない
 - ・「感染拡大の恐れのある地域」への移動は原則自粛し, 移動した場合には普段食事を共にしない人たちとの会食は避ける等の感染防御策を徹底するよう求める
 - ・「感染拡大の恐れがある地域」に移動して新潟に戻った場合は戻った日から3～5日の間にPCR検査を強く推奨する
 - ・学生・院生・教職員に濃厚接触者やそれに準ずる接触者が確認された場合は, 当該者・関係者のPCR検査で陰性が確認できるまで, 接触者には自宅待機を指示する
- ・学長メッセージ22を発信
- 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(1月27日まで)
- 25日(木) ・群馬県人会開催 参加者／8名
- 26日(金) ・新潟北ライオンズクラブより寮生へお弁当の寄贈
- 内容／新潟北ライオンズクラブの「クラブ結成55周年ライオンハートを食卓へ大作戦」記念事業の一環。コロナ禍における食事支援として本学寮生605名にお弁当が寄贈された
- 27日(土) ・総合型選抜D方式(基礎学力重視型)入試実施
- 志願者数／216名(前年／228名)
- ・学校推薦型選抜(公募制)前期日程入試実施
- 志願者数／201名(前年／228名)
- ・社会人特別選抜入試実施
- 志願者数／3名(前年／3名)
- ・第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会出場(女子バスケットボール部)
- 結果／3回戦 新潟医療福祉大 55-113 シャンソン化粧品
- 29日(月) ・宮城県人会開催 参加者／6名
- 30日(火) ・防災訓練実施
- 内容／①シェイクアウト訓練 ②自衛消防組織訓練
- ③消火器操作訓練 ④車いす避難誘導訓練 ⑤防災備品紹介
- 参加者／教職員・学生120名

- 12月 2日 (木)
 - ・山形県人会開催 参加者/22名
 - ・第68回全日本大学女子バレーボール選手権大会出場 (女子バレーボール部)
結果/3回戦 (ベスト16)
 - 1回戦 新潟医療福祉大 3-1 中国学園大
 - 2回戦 新潟医療福祉大 3-2 早稲田大
 - 3回戦 新潟医療福祉大 0-3 尚絨学院大
- 4日 (土)
 - ・沖縄県人会開催 参加者11名
 - ・第7回グローバルキャリア支援Meeting (オンライン) 実施
内 容/職を求めて三千里-あるオーディオロジストの旅-
-The journey of an audiologist across the pacific-
講 師/古川いずみ 氏 (言語聴覚士, Audiologist)
参加者/23名
- 6日 (月)
 - ・第73回全日本大学バスケットボール選手権大会出場 (男子バスケットボール部)
結果/1回戦 新潟医療福祉大 59-73 近畿大
- 7日 (火)
 - ・第73回全日本大学バスケットボール選手権大会出場 (女子バスケットボール部)
結果/1回戦 新潟医療福祉大 54-96 大阪人間科学大
- 8日 (水)
 - ・実験動物慰霊祭実施
- 9日 (木)
 - ・新潟県人会佐渡支部開催 参加者7名
- 10日 (金)
 - ・秋田県人会開催 参加者7名
- 11日 (土)
 - ・大学院第二次入学選考試験
志願者数 (博士後期課程) /16名 (前年/12名)
志願者数 (修士課程) /4名 (前年/8名)
 - ・業界, 職種研修会
参加企業/8業種25社 参加学生/200名
 - ・第70回全日本大学サッカー選手権大会出場 (男子サッカー部)
結果/2回戦 (ベスト16)
 - 1回戦 新潟医療福祉大 1-0 名古屋学院大
 - 2回戦 新潟医療福祉大 1-2 流通経済大
- 11日 (土), 12日 (日), 18日 (土), 19日 (日)
 - ・12月オープンキャンパス (WEB形式) 実施
内容/申込者限定のサイトを公開
大学紹介等新規動画2本を含む全67本を公開
参加者/受付1,698名 (前年/1,444名)
- 18日 (土)
 - ・総合型選抜C方式 (スポーツ重視型) 入試後期日程実施
志願者数/22名 (前年/6名)
 - ・学校推薦型選抜 (公募制) 入試後期日程実施
志願者数/7名 (前年/7名)
 - ・3年次編入学試験 (健康スポーツ, 社会福祉, 医療情報管理) 実施
志願者数/3名 (前年/2名)
- 24日 (金)
 - ・年内授業最終日
- 26日 (日)
 - ・第30回全日本大学女子サッカー選手権大会出場 (女子サッカー部)
結果/1回戦 新潟医療福祉大 1-1 (PK3-5) 日本大
- 27日 (月) ~1月4日 (火)
 - ・大学休業日
- 1月 6日 (木)
 - ・授業再開

- 8日(土) ・2022年度入学予定者対象「スクーリング」実施 ※オンライン
参加人数/857名
内 容/入学前教育の重要性について、大学生活の過ごし方、学習支援センターの活用、
学科別プログラム等
- 13日(木) ・第41回危機管理対策委員会開催
内容/ ・県内の感染拡大と学生陽性者の発生に伴い、現行の行動制限レベルを「1(注
意)」から「2(警戒)」に引き上げることを決定
・17日より学生の入構を原則禁止し、授業は原則オンラインとすることなどを
決定
- 14日(金) ・大学閉鎖日
- 15日(土), 16日(日)
・大学共通テスト(試験会場) 受入者数/450名
- 19日(水) ・教職員交通安全講習会開催(オンライン)
- 20日(木) ・大学休業日
- 24日(月) ・挨拶・マナー向上活動 優秀作品表彰式(コロナ状況により郵送対応)
- 25日(火) ~31日(月)
・後期定期試験実施(原則オンラインで実施)
- 28日(金) ・第43回危機管理対策委員会開催
内容/ ・1月13日以降に発生した学内クラスターについての報告
・2月1日~2月28日までの大学方針を決定
・行動制限レベル2(警戒)を維持する
・感染クラスターを抑圧するため早期の隔離と検査を徹底することを確認
・学生寮の感染防止対策と感染発生時の対応についての確認
・学長メッセージ24の発信
内容/新型コロナウイルス対策に係る大学方針(2月28日まで)
- 30日(日) ・介護福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 2月 2日(水) ・第8回グローバルキャリア支援Meeting(オンライン)実施
内 容/Putting Hope into Action ~思うことがチャンス~
講 師/齋藤 悟 氏(東京北医療センター)
参加者/14名
- 2日(水) ~22日(火)
・教職員メンタルヘルス講習会(オンデマンド)
- 3日(木) ~4日(金)
・一般選抜試験(前期)実施
(志願数1,489件/昨年1,615件)
・大学入学共通テスト利用選別選抜(前期)実施
(志願数1,025名/昨年1,019件)
- 5日(土) ・大学院第三次入学選考試験(志願数7件/昨年2件)
・精神保健福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 6日(日) ・社会福祉士国家試験受験(社会福祉学科)
- 7日(月) ~9日(木)
・後期追試験, 再試験実施(原則オンラインで実施)
- 10日(木) ・助産師国家試験受験(看護学科)
- 11日(金) ・保健師国家試験受験(看護学科)
- 11日(金) ~20日(日)

- ・2月オープンキャンパス（WEB形式）実施
内容／申込者限定のサイトを公開
大学紹介等全66本を公開
参加者／受付219名（前年／316名）
- 13日（日）・看護師国家試験受験（看護学科）
- 16日（水）・学部卒業判定会議実施
結果／卒業対象者1,075名のうち1,051名の卒業者を認定
内訳／理学療法学科 118名
作業療法学科 40名
言語聴覚学科 37名
義肢装具自立支援学科 36名
臨床技術学科 86名
視機能科学科 45名
救急救命学科 52名
診療放射線学科 74名
健康栄養学科 41名
健康スポーツ学科 200名
看護学科 105名
社会福祉学科 130名
医療情報管理学科 87名
- ・教職員対象ハラスメント防止のための意識向上セミナー開催（オンライン）
- ・臨床検査技師国家試験受験（臨床技術学科）
- 17日（木）・診療放射線技師国家試験受験（診療放射線学科）
- ・視能訓練士国家試験受験（視機能科学科）
- 18日（金）・学部卒業発表
・転部転科試験実施
結果／受験者13名 合格者13名
合格者内訳／健康スポーツ学科5名
社会福祉学科 2名
医療情報管理学科6名
- 19日（土）・理学療法士国家試験受験（理学療法学科）
- ・作業療法士国家試験受験（作業療法学科）
- ・言語聴覚士国家試験受験（言語聴覚学科）
- 24日（木）・大学院修了判定会議実施
結果／修士課程 対象者49名のうち48名の修了を認定
博士後期課程 対象者20名のうち10名の修了を認定
- 25日（金）・大学院修了者発表
・新4年生オリエンテーション実施（オンライン）
- ・義肢装具士国家試験受験（義肢装具自立支援学科）
- ・第44回危機管理対策委員会開催
内容／・3月1日～3月31日までの大学方針を決定
・行動制限レベル2（警戒）を維持するが、新潟県内に発出されている3月6日までのまん延防止等重点措置の動向によって改めて委員会を開催し、方針を見直すことを確認
・学内への入構は禁止とするが、国家試験対策等の重要課題に関する学生の入構

については許可する

- 27日(日) ・管理栄養士国家試験受験(健康栄養学科)
- 3月 1日(火)～5日(土)
- ・水泳国際大会日本代表選手選考会出場
結果／・水沼尚輝(職員)が男子100Mバタフライで日本記録を樹立し、6月ブタペストで開催の世界選手権への出場を決定
 - ・山崎光(健康スポーツ学科3年)と津田萌咲(健康スポーツ学科3年)が7月中国で開催のFISUワールドユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード大会)に日本代表選手としての出場が決定
- 3日(木)
- ・一般選抜試験(後期)実施
(志願数134件／昨年150件)
 - ・大学入学共通テスト利用選別選抜(後期)実施
(志願数79件／昨年100件)
 - ※2022年度学部入学者選抜試験出願結果
総出願件数4,514件／昨年4,663件
- 6日(日)
- ・第45回危機管理対策委員会開催
内容／・新潟県内のまん延防止等重点措置の解除を受けて、3月7日～3月31日までの大学方針を決定
 - ・行動制限レベルは原則2(警戒)として一部の制限を緩和
 - ・行動制限レベル1(注意)に緩和する項目は「学外実習」「学生相談」「強化クラブ活動」「教職員の勤務体制」「研究活動」の5項目、その他はレベル2を維持する
 - ・学内での3回目ワクチン接種についての確認
 - ・入学式、卒業式の実施方針の確認
 - ・新年度授業開始に向けた各種確認
 - ・学長メッセージ25の発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(3月31日まで)
 - ・臨床工学技士国家試験受験(臨床技術学科)
- 12日(土)
- ・大学院第四次入学選考試験(志願数6件／昨年1件)
 - ※2022年度大学院入学者選抜試験出願結果
総出願件数70件／昨年60件
- 13日(日)
- ・救急救命士国家試験受験(救急救命学科)
- 17日(木)
- ・2021年度卒業式・大学院修了式挙行
会場／朱鷺メッセ
形式／・AM・PMの2部形式で実施
 - ・学内関係者のみの参加(来賓、保護者参加はなし)
 - ・LIVE配信にて保護者の視聴可
 - ・卒業式、修了式後に学科・分野に分かれての学位記授与式を実施
出席者／卒業生・修了生950名(対象1,109名)
- 19日(土), 20日(日)
- ・3月春のオープンキャンパス実施
内容／申込者限定のサイトを公開
全動画43本(3月新規動画3本／ライブ配信1本／過去公開動画39本
参加者／受付713名(前年／849名)
 - ・後援会役員会開催

- 内容／2021年度大学運営報告，2021年度後援会収支決算書（案），2022年度後援会収支予算書（案），2022年度後援会役員（案），大学運営に関する意見伺い
参加者／後援会役員9名，学長，大学事務局7名
- 21日（火）・学内ワクチン接種（3回目）を開始
西澤学長を統括責任者，埴健康管理センター長を実施責任者とする学内ワクチン接種対策チームを設置
期間／3月21日～4月19日（予定）
対象／約4,500名
①本学で接種した学生・教職員・他大学学生・教職員・NSGグループ関係者・大学業者関係
※卒業生については接種意向調査に基づいて対応
②本学以外で接種した本学学生・教職員で本学での接種を希望する者
※2回目接種終了日が2021年9月10日以前の者
- 22日（火）・学内合同企業就職説明会実施
- 24日（木）・第46回危機管理対策委員会開催
内容／・4月1日～5月26日までの大学方針を決定
・全自治体でまん延防止等重点措置が解除されたことを受け，行動制限レベルは一律レベル1（注意）とする
・PCR検査陽性者は10日間，濃厚接触者は7日間，隔離の上，期間中「健康観察チェックシート」の記載を求め，直近の3日間が無症状であり，自主的な検査（PCR検査，または抗原検査）で陰性が確認できれば，隔離を解除する
・県外から新潟に戻った場合は，7日間の自宅待機か，帰県して2～3日後のPCR検査で陰性が確認された場合に入構を許可する
・県外からの来訪者の入構は，PCR検査で陰性を証明できる場合を除き，原則禁止する
・現行の「対面授業実施ガイドライン」，「施設管理ガイドライン」，各学科の「学科ガイドライン」の見直しを行う
・4月6日の入学式は，朱鷺メッセにおいて午前のみの一部制で実施する（来賓・保護者は参加しない）
・新年度の授業開始前の1週間（4月4日～10日），および5月の連休明けの1週間（5月9日～15日）は「健康観察期間」として，5月連休明けの授業はオンラインのみで実施し，対面式授業は次の週から開始する（今後の感染状況によるが，対面式授業を増やしていく）などについて決定
- ・学長メッセージ27の発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（5月26日まで）
- 25日（金）・令和3年度設置計画履行状況等調査の結果通知
対象学科／リハビリテーション学部 理学療法学科
作業療法学科
言語聴覚学科
義肢装具自立支援学科
医療技術学部 診療放射線学科
看護学部 看護学科
結果／指摘事項なし
- 28日（月）・新3年生オリエンテーション実施
・修学アドバイスオリエンテーション（留年者対象）実施

・ UNIVAS (大学スポーツ協会) AWARD 2021-22 表彰式

結果／「優秀賞」2部門, 「入賞」2部門, 計4部門に選出・表彰

内容／(1) ウーマン・オブ・ザ・イヤー (文武両道を実践し, 模範となる運動部女子学生を表彰する)

優秀賞 本田優季 (理学療法学科／女子バレーボール部)

(2) MS&AD賞 (運動部活動における安全対策に関する先進的な取り組みを行った大学を表彰する)

優秀賞 新潟医療福祉大学 強化指定クラブ／コロナ禍におけるクラブ活動の継続と感染予防対策

(3) サポートスタッフ・オブ・ザ・イヤー (学生アスリートや運動部を支える活動をした学生を表彰する)

入賞 内山祈 (理学療法学科／女子バスケットボール部)

(4) コーチ・オブ・ザ・イヤー (人材育成や競技力向上に尽力した指導者を表彰する)

入賞 下山好充 (健康スポーツ学科教授／水泳部監督)

29日 (火) ・新2年生オリエンテーション実施

5. 管理運営

1) 総務会

総務会構成員

西澤正豊学長，渡辺敏彦国際交流兼強化スポーツ担当副学長，丸田秋男社会連携兼同窓会・生涯学習担当副学長兼社会福祉学部長，大山峰生教育担当副学長兼作業療法学科長，大西秀明研究・産官学連携担当副学長兼リハビリテーション学部長，佐藤大輔医療福祉学研究科長，笠原敏文医療技術学部長兼診療放射線学科長，西原康行健康科学学部長兼健康スポーツ学科長，塚本康子看護学部長，福島正巳医療経営管理学部長，山岸達弥言語聴覚学科長，東江由起夫義肢装具自立支援学科長，中村藤夫臨床技術学科長，前田史篤視機能科学科長，竹井 豊救急救命学科長，永井 徹健康栄養学科長，松井由美子看護学科長，渡邊敏文社会福祉学科長，柴山純一医療情報管理学科長，佐久間俊也法人常務理事兼法人事務局長，小野哲之大学事務局次長兼入試広報部長

(事務局) 片岡 昇総務部長兼総務課長，斎藤佳昭経理部長，本間智之人事部長，木原 亨学務部長，船山 諭人事部人事課長，大竹 宏総務部研究支援課長兼社会産官学連携課長，吉田俊雄学務部教務課長，長谷川陽一学務部学生課長，佐々木俊太郎学務部キャリア開発室長，嵐田浩吉学務部国際交流課長，近藤至入試広報部広報課長，樋山耕一入試広報部入試課長，船山澄子図書館・学習支援課長，稲田茂高スポーツ振興室長，牧浦秀紀法人企画課長，江川 守法人事務局参与，佐藤 宏法人総務部長

主な審議事項および決定事項等

(1) 方針・計画について

- ・2021年度教育関係予算の承認
- ・鍼灸健康学科設置について
- ・公認心理師養成学科の設置企画について
- ・大学年間予定表について

(2) 学則・規程について

- ・学則改正の承認
- ・各機構規程の承認
- ・機構規程に伴う各種規程の改定について
- ・間接経費が措置されていない外部資金等の扱いについての内規の承認
- ・IRに係る情報保護管理規程の承認
- ・教員選考規程改正の承認
- ・海外留学規程改正の承認
- ・英語等海外留学奨学金規程改正の承認
- ・研究所の設置規程の承認
- ・研究データの保存等に関するガイドラインの承認
- ・競争的研究費バイアウト実施規程の承認
- ・留学生規程改正の承認

(3) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・2021年度リサーチアシスタントの採用の承認
- ・ベストティーチャー報告
- ・教員選考委員会設置の承認
- ・教員選考委員会の選考結果の承認
- ・教員業績評価実施スケジュールの承認
- ・臨床教授等の選考結果の承認
- ・客員教授称号付与の承認
- ・名誉教授称号付与の承認

- ・再任審査スケジュールの承認
- ・再任審査委員会設置の承認
- ・再任審査委員会審査報告の承認
- ・教員業績評価集計時の「研究の業績」アッパー値の承認
- ・2021年度Sports & Health先端科学研究費採択結果の承認
- ・女性教員比率および若手教員比率の目標設定について
- ・2022年度組織体制について
- ・2022年度管理職者の報告
- ・2022年度各種委員会委員長の報告
- ・ストレスチェックの実施について
- ・教員個人情報の(株)NSGホールディングスとの共同利用について
- ・人権委員会学長勧告の承認
- ・危機管理対策委員会報告
- ・インターナショナルこども園状況報告
- ・標的型攻撃メール訓練結果報告
- ・防災訓練の実施について
- ・20周年記念事業について
- ・酒気帯びチェック義務化への対応について

(4) 教育について

- ・教育・学生支援機構運営委員会報告
- ・ティーチングアシスタント公募スケジュールの承認
- ・ティーチングアシスタント審査結果の承認
- ・教育の重要課題に対する2020年度分析と2021年度対策についての報告
- ・学習支援センターデジタルライブラリーの構築について
- ・2021年度国家資格・資格試験合格率目標の承認
- ・全学的カリキュラムの変更について
- ・診療放射線学科カリキュラム変更の承認
- ・臨床技術学科カリキュラム変更の承認
- ・2020年度資格試験結果報告
- ・2021年度教員採用試験結果報告
- ・国家試験・資格試験報告
- ・就職活動報告
- ・少人数指導の方向性について
- ・2022年度学事暦について
- ・2022年度前期教育活動に関するスケジュールについて
- ・2022年度前期授業の実施について

(5) 学生について

- ・入学式実施報告
- ・学籍異動状況報告
- ・2020年度卒業アンケート結果報告
- ・基礎ゼミアンケート結果報告
- ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
- ・こころとからだの健康調査実施の承認
- ・学生表彰の報告
- ・学費未納対応者の承認

- ・ 社会福祉学部園田奨学金選考結果についての承認
- (6) 研究・産官学連携について
 - ・ 研究・産官学連携機構運営委員会報告
 - ・ 2021年度研究費の承認
 - ・ 2021年度研究奨励金，学長裁量研究費募集の承認
 - ・ 2021年度研究科長裁量研究費募集の承認
 - ・ 2021年度外部資金獲得奨励金募集の承認
 - ・ 2021年度科研費採択状況の報告
 - ・ 2021年度研究奨励金等の採択者の承認
 - ・ 2021年度外部資金獲得奨励金審査結果の承認
 - ・ 2022年度科研費申請状況の報告
 - ・ 科研費学内説明会の報告
 - ・ 研究倫理教育受講状況報告
- (7) 入学選考試験について
 - ・ 2022年度入学者選抜試験概要案の承認
 - ・ 2021年度（2022年度入学者）学部合否判定会議の承認
 - ・ 2022年度転部転科選考試験の承認
 - ・ 大学共通テスト実施概要の報告
 - ・ 2022年度入学目標の承認
 - ・ 2022年度入学選考試験結果報告
 - ・ アドミッションオフィス再編の承認
- (8) 国際交流について
 - ・ 国際交流機構運営委員会報告
- (9) 社会連携・同窓会連携推進について
 - ・ 社会連携・同窓会運営委員会報告
- (10) 強化スポーツについて
 - ・ アスレティックデパートメント推進機構運営委員会報告
- (11) 事業戦略について
 - ・ IR戦略委員会報告
 - ・ 2021年度高等学校教諭対象WEB入試説明会報告
 - ・ WEBオープンキャンパス状況報告
 - ・ パブリシティー掲載報告
 - ・ 出張講義各学科対応状況報告
- (12) 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・ 危機管理対策委員会報告
 - ・ 県外移動届状況報告
 - ・ PCR検査申請状況報告
 - ・ 対面授業実施ガイドラインについて
 - ・ 新型コロナウイルスワクチン接種について
 - ・ 3回目ワクチン接種について

2) 大学院委員会

大学院委員会構成員

西澤正豊学長，佐藤大輔医療福祉学研究科長兼医療福祉学専攻長兼健康科学専攻長兼健康スポーツ学分野長（議長），大山峰生教育担当副学長，大西秀明研究・産官学連携担当副学長，阿部薫保健学専攻長兼義

肢装具自立支援学分野長，寺田貴美代社会福祉学専攻長兼保健医療福祉政策・計画・運営分野長，木下直彦医療情報・経営管理学専攻長兼医療情報・経営管理学分野長，久保雅義理学療法学分野長，能登真一作業療法学分野長，山岸達弥言語聴覚学分野長，長濱大輔医療技術安全管理学分野長，増田修視覚科学分野長，竹井豊救急救命学分野長，稲葉洋美健康栄養学分野長，宇田優子看護学分野長，松本京介保健医療福祉マネジメント学分野長，児玉直樹診療放射線学科教授（オブザーバー），佐久間俊也法人常務理事，小野哲之大学事務局長，中原英伸事務局次長兼入試広報部長

主な審議事項および報告事項等

(1) 方針，計画等について

- ・DPの達成に向けた教育課程の構築と公表について
- ・学籍異動リスクを予測する指標策定とモニタリングについて
- ・学位プログラム毎のDPについて
- ・3つの方針と一貫した教育課程の構築と公表について
- ・2023年度大学院定員増について
- ・新型コロナウイルスに係わる大学の方針について
- ・2021年度卒業式・修了式の実施方針について

(2) 学則，規程，内規等の改定について

- ・新潟医療福祉大学大学院学則の改正について
- ・新潟医療福祉大学大学院在学期間の短縮による修了者に対する事務手数料に関する取り決めについて
- ・新潟医療福祉大学大学院教務委員会規程の改正について
- ・新潟医療福祉大学大学院教育研究環境委員会規程の改正について
- ・新潟医療福祉大学大学院入試広報委員会規程の改正について

(3) 組織・人事等について

- ・修士課程保健学専攻自然人類学分野の設置について
- ・大学院担当教員資格審査委員会設置について
- ・大学院担当教員資格審査結果について
- ・臨床教授等候補者選考委員会設置について
- ・臨床教授等の称号付与審査結果について
- ・危機管理対策委員会報告について
- ・2022年度大学院組織体制案について
- ・2022年度大学院辞令交付式について

(4) 研究について

- ・研究科長裁量研究費，研究奨励金，学長裁量研究費について
- ・外部資金獲得奨励金について
- ・研究奨励金採択結果の承認について
- ・Sports&Health 先端科学研究費の採択結果の承認について
- ・科研費学内説明会について
- ・科研費申請サポートデスクについて
- ・科研費申請件数，獲得状況について

(5) 国際交流，留学生について

- ・私費外国人留学生授業料減免申請について
- ・外国人留学生サポーターの採用について
- ・タイ・マヒドン大学とのダブル・ディグリー・プログラム（博士後期課程，AT分野）設置について
- ・国費外国人留学生（研究留学生）の採用について

(6) 学生について

- ・大学院学生表彰者の選出について

- ・ティーチングアシスタントの募集について
 - ・リサーチ・アシスタントの募集について
 - ・大学院生の新型コロナウイルスワクチン接種状況について
 - ・新入生オリエンテーションについて
 - ・2021年度修了式，2022年度入学式について
- (7) カリキュラム・論文審査・教育について
- ・複数教員での指導体制構築について
 - ・論文審査スケジュールの確認について
 - ・修士課程，博士後期課程の中間発表会の日程について
 - ・修士課程，博士後期課程の学位論文審査委員会設置，審査日程，発表会について
 - ・修士課程保健学専攻理学療法学分野リハビリテーション栄養コースの設置について
 - ・修士課程健康科学専攻スポーツ栄養学コースの設置について
 - ・2021年度大学院修了判定会議，修了発表について
 - ・2022年度大学院学事暦について
- (8) 学生募集，入学選考試験について
- ・2021年度修士課程・博士後期課程入試結果について
 - ・2022年度大学院入試日程について
 - ・2022年度大学院入学選考試験に係る変更点について
 - ・大学院オープンキャンパスおよび「教えて！大学院」の日程について
 - ・大学院オープンキャンパスおよび「教えて！大学院」の実施報告について
 - ・大学院出願状況について

3) 合同教授会

合同教授会構成員

学長，副学長，学部長，学科長，教授，准教授，講師，その他陪席：助教，助手，事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・学長直轄委員会報告
- ・教育・学生支援機構内委員会報告
- ・研究・産官学連携推進機構内委員会報告
- ・社会連携・同窓会生涯学習推進機構内委員会報告
- ・国際交流推進機構内委員会報告
- ・アスレティックデパートメント推進機構報告
- ・入学者確定報告
- ・科研費採択状況報告
- ・2021年度研究奨励金・学長裁量研究費の公募について
- ・2021年度研究科長裁量研究費の公募について
- ・学籍異動状況報告
- ・名誉教授称号授与式について
- ・全学的なカリキュラム変更について
- ・全学的なカリキュラム変更に伴う学則変更承認
- ・診療放射線学科カリキュラム変更の承認
- ・基礎ゼミアンケート結果について
- ・兼業申請について
- ・新型コロナウイルス対応について
- ・対面授業実施ガイドラインについて

- ・教員業績評価について
- ・ベストティーチャー表彰式について
- ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
- ・研究生志願者の合格認定の承認
- ・9月卒業判定会議報告
- ・9月卒業保留者について
- ・9月卒業式について
- ・学内ワクチン接種状況について
- ・3回目ワクチン接種について
- ・2021年度科研費採択状況報告
- ・2022年度科研費応募スケジュールについて
- ・競争的研究費バイアウト実施規程について
- ・東京2020パラリンピック聖火ランナー実施報告
- ・トビタテ！留学JAPAN日本代表奨学生の留学について
- ・第21回新潟医療福祉学会学術集会についての報告
- ・少人数指導の方向性について
- ・電子帳簿保存法改正に伴う経費精算処理について
- ・自然人類学研究所設置について
- ・研究奨励金の募集について
- ・研究奨励金申請状況について
- ・研究費の内部監査について
- ・強化指定クラブ戦績等報告
- ・科研費説明会の開催について
- ・ストレスチェックの実施について
- ・伍桃祭について
- ・2020年度年報の刊行について
- ・防災訓練の実施について
- ・学生寮運営報告
- ・学生懲戒の承認
- ・研究奨励金審査結果について
- ・外部資金獲得奨励金審査結果について
- ・研究倫理教育受講について
- ・2021年度卒業式・修了式について
- ・2022年度入学式・卒業式日程について
- ・2022年度学部学事歴について
- ・2022年度前期教育活動に関するスケジュール
- ・2022年度転部転科選考試験について
- ・卒業判定会議結果報告
- ・入学選抜試験合否判定結果報告
- ・2021年度学生表彰について
- ・最終講義の実施について
- ・酒気帯びチェックの義務化について
- ・国家試験・資格試験結果報告

4) 研究科委員会

研究科委員会構成員

西澤正豊学長, 佐藤大輔研究科長, 小野哲之事務局長, 大学院担当専任教員, その他陪席: 事務局
主な審議事項および報告事項等

- ・2020年度の評価と2021年度の取り組みについて
- ・2021年度大学院学生募集結果・入学者数について
- ・危機管理対策委員会報告について
- ・学籍異動について
- ・大学院研究生入学志願について
- ・長期履修申請について
- ・長期履修期間短縮申請について
- ・在学期間短縮申請について
- ・2021年度科研費等各種研究費の採択状況報告
- ・大学院のオープンキャンパス(夏・秋・冬・春)について
- ・学部生向け大学院説明会「教えて!大学院」について
- ・大学院出願希望者情報について
- ・2021年度9月修了判定会議結果報告
- ・大学院学生表彰審査委員会の設置, 審査スケジュールについて
- ・2021年度大学院学生表彰について
- ・2021年度3月修了判定会議結果報告
- ・大学院進学ガイドライン(修士課程・博士後期課程)について
- ・修士課程一般教養科目の新設について
- ・修士課程メディア授業実施調査結果について
- ・学内新型コロナウイルスワクチン接種状況について
- ・院生行動フローチャートについて
- ・2021年度大学院修了式・2022年度入学式について
- ・2022年度大学院学事暦について
- ・対面授業ガイドライン(施設編・授業対応編)について

5) 各種委員会活動

(1) 学長直轄委員会

ア 将来計画機構

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

大西秀明(PT, 副学長, 委員長, 機構長), 西澤正豊(学長), 渡辺敏彦(副学長), 丸田秋男(SW, 副学長), 大山峰生(OT, 副学長), 佐藤大輔(HS, 研究科長), 中村藤夫(CT), 塚本康子・松井由美子(NR), 福島正巳・柴山純一(HI), 古西 勇(PT), 山岸達弥(ST), 東江由起夫(AT), 前田史篤(CO), 竹井 豊(EM), 笠原敏文(RT), 永井 徹(HN), 西原康行・佐藤敏郎(HS), 渡邊敏文(SW), 佐久間俊也(法人事務局), 小野哲之・中原英伸・片岡 昇(大学事務局)

②会議開催回数 1回(専門委員会・メール開催)

③特記事項

1) 新将来計画冊子の確認

2) 新潟医療福祉大学将来計画 長期目標(2021-2030) 第一期中期目標・中期計画(2021-2025)
アクションプラン(2021.2022.2023) 冊子発行

イ 危機管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西澤正豊（学長，委員長），渡辺敏彦（副学長），丸田秋男（副学長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），佐藤大輔（研究科長），古西 勇（PT），佐藤敏郎・埜 晴雄（HS），小野哲之（大学事務局）

②会議開催回数 18回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新型コロナウイルスに対応する大学方針について
- 2) 行動制限レベルについて
- 3) 新型コロナ陽性者発生に伴う対応について
- 4) 新型コロナウイルスワクチン接種について
- 5) 個人情報漏洩事故について
- 6) 2021年度卒業式・修了式実施案について
- 7) 移動禁止対象地域の見直しについて

ウ 教員選考委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大山峰生（OT，副学長，委員長），大西秀明（PT，副学長，委員長），椿 淳裕（PT），山岸達弥（ST），東江由起夫（AT），中村藤夫（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），笠原敏文（RT），永井 徹（HN），西原康行（HS），松井由美子（NR），渡邊敏文（SW），柴山純一（HI），船山 諭（事務局）

②会議開催回数 68回（採用41回，昇任27回）

③審議事項および決定事項

- 1) 各学科長の内申のつど総務会にて教員選考委員会の設置を決定した。
- 2) 教員選考委員会は，委員長に加え，該当学科長ならびに他学科の学科長の3名で構成した。
- 3) 教員選考委員に人事課長がオブザーバーとして加わり教員選考委員会を開催した。
- 4) 教員選考委員会では履歴書，教育研究業績書，抱負を記載した書類をもとに審査した。
- 5) 審査にあたっては学科における面接結果や模擬授業ならびに法人による面接結果を参考にした。
- 6) 審査にあたっては教育面の意欲と教育・研究実績を特に参照した。
- 7) 委員会出席者全員の合意で評価を決定し，報告書を作成，総務会に報告した。

④特記事項

- ・助教以上の職位の採用ならびに昇任については，法人職員同席のもとで学科における模擬授業（ミニレクチャー）を課し，助手についてはプレゼンテーションを課した。
- ・新型コロナウイルス感染症対応のため，年度途中より全てWEB開催とした。

エ 人権委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

河野聖夫（SW，委員長），奈良貴史（PT，副委員長），澤田純明（PT），浅尾章彦（OT），石本 豪（ST），村山 稔（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），松岡輝彦（EM），宮地幸久（RT），川上心也（HN），山崎史恵（HS），外間直樹（NR），寺島和浩（HI），小野哲之（大学事務局），佐々木俊太郎（キャリア開発室），渋谷友之（総務課），波間早苗（医務室），船山 諭（人事課，事務担当）

ハラスメント調査委員会委員候補者：犬飼康人（PT），今西里佳（OT），大石如香（ST），神田 賢（AT），長濱大輔（CT），生方北斗（CO），長谷川恵（EM），関本道治（RT），石澤幸江（HN），佐近慎平（HS），下山博子（NR），五十嵐紀子（SW），井上弘樹（HI），船山澄子（事務局）

②会議開催 委員会13回（定例12回，臨時1回），案件対応会議4回，ハラスメント調査委員会1件

③審議事項および決定事項等

- 1) ハラスメント相談員による相談体制等について
女性相談員の業務負担が多いことから、「ハラスメントの防止及び対策等に関する規則」第5条2に基づくハラスメント相談員として、作業療法学科馬場広子先生、看護学科中澤紀代子先生、医務室内山朱李氏を任命した。
- 2) 教職員のためのハラスメント相談対応マニュアルの作成と周知
「新潟医療福祉大学 ハラスメントの防止及び対策等に関する規則」の改定をおこなった。
- 3) ハラスメント防止のための意識向上FDの実施
2022年2月16日に全教職員を対象として「ハラスメントへの適切な予防と対応について」をテーマにセミナーを実施した。
- 4) 1年生に対するDate DV防止セミナーの実施
Date DV防止セミナーを始めてオンラインで計画し実施した（7月から11月）。
- 5) ハラスメント等相談案件10件に対応した。

オ 個人情報保護委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

宮地幸久（RT，委員長），寺島和浩（HI，副委員長），佐伯史子（PT），浅尾章彦（OT），石本 豪（ST），村山 稔（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），松岡輝彦（EM），川上心也（HN），山崎史恵（HS），外間直樹（NR），河野聖夫（SW），真藤高明（事務局），船山 諭（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新入生に対して，個人情報保護取扱文書の回収を行った。
- 2) 以下4事業の計画に従いワーキング・グループ（WG）を設けて実施した。
 - ・個人情報保護監査の実施と是正の対応
 - ・教育プログラムの立案と実施
 - ・情報セキュリティ対策のためのFD
 - ・トラブル発生時における個人情報の取扱い検討
- 3) 外部監査を含む個人情報保護監査3カ年計画を策定し，1年目の個人情報保護監査を実施した。
- 4) 前年度に引き続きe-Campus版個人情報保護教育プログラムを行った。設問方法や問題等の検討を行い2021年度版として実施した。プログラムの修了要件を全問正解に引き上げた。
- 5) 情報セキュリティ・コンサルティング会社に依頼し，標的型攻撃メール訓練およびこの訓練を踏まえたFDを実施した。
- 6) 個人情報の漏えい防止を目的とした検討を行い，メール誤送信防止ソフトおよびサブドメインの導入について提言した。

カ 安全衛生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

宇田優子（委員長，NR），遠藤和男（学校医・産業医，HN），萩原康雄（PT），渡部貴史（OT），今村 徹（ST），郷 貴博（AT），齋藤 幸，阿部拓也（CT），谷 佳子（CO），長谷川恵（EM），吉田秀義（RT），大森 豪・埴 晴雄（HS），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），小野哲之（大学事務局），波間早苗（医務室），渋谷友之・遠藤千里（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2021年度推進体制が異議なく合意された。
- 2) 2021年度心の健康づくり推進計画（案）が承認された。

- 3) 学内の全教職員を対象にして、2021年度心の健康問題に係る教職員研修会を開催することが承認された。
- 4) 相談窓口・相談体制について、引き続き私学事業団健康相談ダイヤルを活用することとし、学内教職員への案内・情報提供を行うことが確認された。
- 5) 「学校法人新潟総合学園 2021年度ストレスチェック実施計画」(案)が承認された。

④特記事項

- 1) 実施計画に基づき、9月～3月にストレスチェックならびに面接指導が実施された。
- 2) ストレスチェックの実施に伴う確認ならびに課題の共有を適宜に実施された。
- 3) 2021年度教職員研修会を実施した。
 日程：2022年2月2日～2022年2月22日（オンデマンド）
 テーマ：最新の精神疾患治療と職場の対応
 講師：医療法人崇徳会「こころのクリニック ウィズ」院長 後藤雅博 先生
 参加者数：175名
 アンケート回収：175名分（87%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答）
- 4) 学内の個別巡視と合わせて、安全衛生委員による学内一斉巡視が21年9月に実施された。巡視の結果内容は、事務局（総務課）へ提出の上でさらなる安全確保を要請し、安全確認の実施および改善ならびに検討がなされた旨が報告された。

キ 自己点検・評価委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

古西 勇（PT，委員長），大山峰生（OT），大西秀明（PT），永井 徹（HN），松井由美子（NR），山岸達弥（ST），東江由起夫（AT），中村藤夫（CT），前田史篤（CO），竹井 豊（EM），笠原敏文（RT），西原康行・佐藤敏郎（HS），渡邊敏文（SW），柴山純一（HI），小野哲之（大学事務局），片岡 昇（事務局）

②会議開催回数 1回

③特記事項

- 1) 将来計画長期計画（2010-2020）に対する自己点検評価報告書を発行
- 2) 将来計画アクションプラン（2021年度）の自己点検・評価を実施

ク 外部評価準備委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大山峰生（OT，委員長），大西秀明・古西 勇（PT），佐藤敏郎（HS），小野哲之（大学事務局），片岡 昇（事務局）

②会議開催回数 2回

- 1) 令和2年度改善報告書の確認
- 2) 改善報告書審査結果についての確認

① 事業戦略推進部

ア 入試委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），能村友紀（OT，副委員長），佐近慎平（HS，副委員長），堀田一樹・太田大樹（PT），今西里佳（OT），今村 徹・栞原 桂（ST），前田 雄・佐藤未希（AT），牧口智夫・小野 等（CT），戸田春男・志賀木綿子（CO），川上一岳・大松健太郎（EM），笠井 聡・前島 偉（RT），八坂敏一・寺尾幸子（HN），馬場康博（HS），杉本 洋・丸山幸恵（NR），寺田貴美代・

中井良育 (SW), 井上弘樹・波多野誠 (HI), 樋山耕一・山口和朗・菅恵美子・二見ミラノ・遠山龍・伊藤芹菜 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 入試委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 入試委員会年間計画を審議し、決定した。
- 3) 入試問題作成部会および入試問題検討部会の担当者を決定した。
- 4) 学校推薦型選抜(指定校制)における各学科の指定高等学校について審議し、承認した。
- 5) 入試に必要なとなる学科教員の必要見込教員数について決定した。
- 6) 入学者選抜における県外試験会場の外部委託について審議し、決定した。
- 7) 学生募集要項および出願書類の書式等について審議し、決定した。
- 8) 総合型選抜A方式・B方式および3年次編入学選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 9) 総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜・3年次編入学選抜の合否判定配点について審議し、決定した。
- 10) 総合型選抜C方式・D方式・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 11) 2021年度総合型選抜・学校推薦型選抜等と学力の3要素の整合性について審議し、決定した。
- 12) 試験問題印刷工程・採点業務立会担当者の選出について審議し、決定した。
- 13) 総合型選抜A方式・B方式に対する委員会総括を行い、AO総括会議へ意見・要望等を提案した。
- 14) 大学入学共通テスト 新潟医療福祉大学試験場の実施概要について審議し、承認した。
- 15) 一般選抜の実施概要について審議し、決定した。
- 16) 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の合否判定における優先科目設定を審議し、決定した。
- 17) 2023年度入学者選抜試験日程について審議し、決定した。
- 18) 2023年度入試概要について審議し、決定した。(その後、総務会承認を以って最終決定した。)

④特記事項

- 1) 高校教諭対象入試説明会の開催について審議し、決定した。
- 2) アドミッションオフィスの改編について審議し、決定した。

イ 広報委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

杉崎弘周 (HS, 委員長), 江玉睦明 (PT, 副委員長), 中村雅俊 (PT), 浅尾章彦・渡部貴史 (OT), 栗原 桂・田村俊暁 (ST), 高橋素彦・佐藤未希 (AT), 高野 操・佐々木一真 (CT), 金子 弘・生方北斗 (CO), 山内 一・安達哲浩 (EM), 安達登志樹・櫻井典子 (RT), 稲葉洋美・川上心也 (HN), 藤本知臣・松浦由生子 (HS), 下山博子・安藤 萌 (NR), 渡邊恵司・荒川大靖 (SW), 伊藤嘉高・澤田雄介 (HI), 近藤 至・鈴木亜弥・曾我洸樹・齋藤大将 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 広報委員会規程第5条に基づき、杉崎委員長より、理学療法学科江玉教授が副委員長に指名され、全会一致で決定した。
- 2) 年間を通して、オープンキャンパスはWEB型で実施する旨を審議し、決定した。
- 3) 下半期WEBオープンキャンパス実施計画について、入試対策講座等を実施する旨を決定した。
- 4) 各WEBオープンキャンパス受付者およびアンケート結果について確認した。
・受付 17,790名(昨年15,850名)
- 5) 大学ホームページへのJICA草の根協力事業HP, 男子バレーボール部オリジナルブログ, テニス部オリジナルブログ, 2021眼育(めいく)さばえHP, 新潟医療福祉大学オンラインセミナー

HP, 社会福祉法人新潟南福祉会HP, ナースを目指すキミはN5へGO! HP, へのリンク申請について決定した。

- 6) 広報誌「QOLサポーター新潟」の制作について検討し, 発行回数(年3回)および担当学科について決定した。
- 7) 新潟県内私大連携事業の一環で実施される出張講義について, 本学に参加依頼があり対応することを確認した。
- 8) 2022年度学生募集状況について, 「選抜区分別出願状況」「学科別出願状況」「県内高校別出願状況」「都道府県別出願状況」「男女別出願状況」「オープンキャンパス参加者からの出願率」などを報告し, 確認した。
- 9) ホームページのアクセス状況, 各学科のブログ(NUHW放送局), SNSのアクセス状況について報告した。
- 10) 2022年度大学パンフレットについて, コンセプト・デザイン・ページ構成等を決定した。
- 11) 2022年度広報制作物について, 「教員紹介」「出張講義一覧」の冊子等を作成することを決定した。
- 12) 2022年度ホームページコンテンツについて, 「未来発見ガイド」「未来研究ガイド」「県外生LIFE」「研究力」等のページを作成することを決定した。
- 13) 2022年度大学ホームページリニューアル内容について, コンセプト等を決定した。
- 14) 2022年度WEBオープンキャンパス開催日程について決定した。

④特記事項

- 1) 研究・産官学連携推進機構研究・産官学連携支援部より, 教員紹介ページにおける研究業績について, 英語で表記することが要請された。

ウ 大学院入試広報委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

阿部 薫(AT, 委員長), 戸田春男(CO, 副委員長), 久保雅義(PT), 外川 佑(OT), 佐藤克郎(ST), 長濱大輔(CT), 竹井 豊(EM), 宮地幸久(RT), 稲葉洋美(HN), 杉崎弘周(HS), 渡邊千春(NR), 渡邊 豊(SW), 木下直彦(HI), 嵐田浩吉・権瓶一葉・田沢美生(事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院入試広報委員会副委員長を選出し, 承認した。
- 2) 大学院入試広報委員会年間計画を審議し, 決定した。
- 3) 2022年度大学院入学選考試験に係る変更案について審議し, 決定した。
- 4) 大学院入学選考試験をオンライン試験とし, Microsoft Teamsで実施することを審議し, 検討した。
- 5) 出願希望者情報フォームの運用について審議し, 決定した。
- 6) 2023年度大学院入学選考試験実施概要案を審議し, 決定した。

④特記事項

- 1) 学部生向け大学院説明会「教えて!大学院」を計6回開催した。
- 2) 大学院オープンキャンパスを計4回開催した。
- 3) 大学院入試を完全オンライン型で実施した。
- 4) 佐藤大輔研究科長を講師として, FD・SD推進委員会ランチョンセミナー「大学院進学ガイドの活用——2030選ばれる大学院へ」を開催した。
- 5) 在学生を対象に大学院入試・広報活動に関するアンケート調査を実施した。
- 6) 本学主催イベントを記録した動画を大学院ホームページに公開した。

エ IR戦略委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤大輔（HS，委員長），笹川克己・真藤高明・野水清秀・村山萌子（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) IR戦略委員会規程について審議し，承認した。
- 2) IR戦略委員会の当面の4つの目標（退学者数の抑制，国家試験・資格試験合格率向上，志願者・入学者の増加，学生・院生の成長実感・満足度増加）について審議し，承認した。
- 3) IR指標項目について審議し，承認した。
- 4) IR指標項目に紐づく収集データの種類・担当者・工程について審議し，承認した。
- 5) IRに係る情報保護管理規程について審議し，承認した。
- 6) IR情報データベースへのアクセス権の付与について審議し，承認した。
- 7) 収集データのクレンジングについて審議し，承認した。
- 8) IRシステムのうち，データベースはウイングアーク1st（株）「Dr.Sum」，BIはウイングアーク1st（株）「Motion Board Cloud」，をそれぞれ導入することについて検討し，決定した。

(2) 教育・学生支援機構

①委員名簿

大山峰生（OT，機構長），佐藤敏郎（HS），吉田重和（HS），木原 亨・吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 13回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 教育・学生支援機構運営委員会の規程について審議し，承認した。
- 2) 保健医療福祉連携科目群のカリキュラム変更について審議し，承認した。
- 3) 卒業時アンケートの質問項目について審議し，承認した。
- 4) 学内でのワクチン接種等による体調不良者への授業・定期試験対応について審議し，承認した。
- 5) 後期授業方針について審議し，承認した。
- 6) 社会連携実践演習Ⅰ・Ⅱの配置について審議し，承認した。
- 7) UROP（研究プロジェクト演習Ⅰ～Ⅵ）の配置について審議し，承認した。
- 8) 鍼灸健康学科（2023年度新設）のカリキュラムについて審議し，承認した。
- 9) 新潟医療福祉大学学生懲戒手続に関する規則について審議し，承認した。
- 10) 診療放射線学科のカリキュラム変更について審議し，承認した。
- 11) 学則変更について審議し，承認した。
- 12) 2022年度の授業形態の設定について審議し，承認した。
- 13) 再試験の在り方と単位認定の方針について審議し，承認した。
- 14) 学習支援センターデジタルライブラリーの構築について審議し，承認した。
- 15) 臨床技術学科のカリキュラム変更について審議し，承認した。
- 16) 新潟医療福祉大学教員海外研修規程について審議し，承認した。
- 17) 2022年度のシラバス書式について審議し，承認した。
- 18) 留学規程の改正について審議し，承認した。
- 19) 学籍番号のランダム化について審議し，承認した。
- 20) 本学の遠隔授業の上限単位数について審議し，承認した。
- 21) 進級制度・転部転科制度WGの立ち上げについて審議し，承認した。
- 22) 実践行動学Ⅰ・Ⅱの運用について審議し，承認した。
- 23) 連携総合ゼミの開催日程（前期・後期）について審議し，承認した。
- 24) 少人数指導の学科導入について審議し，承認した。

- 25) 習熟度試験の在り方について審議し、承認した。
- 26) 2022年度卒業判定会議のスケジュールについて審議し、承認した。
- 27) 視機能科学科の眼鏡作製技能士（国家検定資格）について審議し、承認した。

① 学生支援推進部

ア 健康管理センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

埜 晴雄（HS，委員長），遠藤和男（HN，副委員長），萩原康雄（PT），渡部貴史（OT），今村 徹（ST），郷 貴博（AT），齋藤 幸（CT），阿部拓也（CT），谷 佳子（CO），長谷川恵（EM），吉田秀義（RT），大森 豪（HS），竹内瑞希（HN），和田直子（NR），原口彩子（SW），井上弘樹（HI），波間早苗・内山朱李（医務室），小松祐介・本間 葵（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新生生の健康状況の把握については、個人情報保護に留意し、学生記録票の身体状況記入欄を用いて各学科および体育教員と情報共有を行った。場合によっては健康状況の詳細を把握する必要があるため、学生記録票に病歴の記載がある場合には、中学・高校の学生生活管理指導表の写しなどの提出を求めた。
- 2) インフルエンザ流行防止のための予防喚起と、ワクチン予防接種を行い、発生状況の把握を行った。接種人数は学生、教職員で995名であり、前年度とほぼ同様の数であった。今期の感染は学生教職員とも罹患することなく終息したことを確認した。
- 3) インフルエンザ感染後の文部科学省による登校基準改訂により「発熱後5日間は自宅で休養，安静」から「発症した後5日を経過し，かつ，解熱した後2日を経過するまで」であることを再度周知した。
- 4) 卒業式において救護体制を整備した。
- 5) 熱中症の予防について学生へ呼びかけ，各棟にポスター掲示を行った。対策として医務室にスポーツ飲料を準備した。学生の熱中症の発生がなかったことを確認した。
- 6) ノロウイルス予防対策として各棟のトイレに手洗い奨励のポスターを掲示した。ノロウイルスの発生がごく一部にみられたことを確認した。
- 7) 学生委員会と共催で薬物乱用防止講演会を開催した。
- 8) 学生心理相談は臨床心理士と精神科医で行っている。COVID-19の感染予防のため遠隔相談（電話相談やZoomでの相談）を実施した。
- 9) 健康診断担当者の選出を各学科長あてに依頼し，担当者には説明会を実施した。
- 10) 医療技術学部救急救命学科と共催で心肺蘇生講習プログラムをオンデマンドで実施した。
- 11) COVID-19対策として新潟リハビリテーション病院でのPCR検査について，運用ガイドラインが示された。
- 12) メンタルヘルス支援室が新生生を対象にUPI・PHQ-9検査を実施した。

イ 図書館・学習支援委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山岸達弥（ST，委員長，図書館長），小澤口治樹（CT，副委員長），小島 翔・高林知也（PT），北上守俊（OT），石本 豪（ST），神田 賢（AT），金子 弘・生方北斗（CO），神藏貴久（EM），橋本 薫（RT），田村典子・澁谷顕一（HN），三瀬貴生・濱野礼奈（HS），中澤紀代子（NR），佐久間由紀・渡辺 恵（SW），坂井さなえ（HI），船山澄子・中村委代・野水清秀・野口正信・佐藤真由子（図書館・学習支援課）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学科図書予算の1割以上を電子書籍の購入に充てることを決定した。2021年度の学科図書費執行率は99%であり、学科図書費の20.8%が電子書籍の購入に充てられた。
- 2) オープンアクセス方針(案)を作成し、研究・産官学連携推進機構に審議を依頼した。
- 3) 他大学の電子書籍の扱いについて、新潟県大学図書館協議会加盟館を対象に調査を実施した。
- 4) 教育・研究支援ソフトの利用状況調査を実施した。
- 5) 各種資格試験問題集の保存期間について各学科に聞き取り調査を実施した。
- 6) 電子ジャーナル8種、データベース15種の継続について審議し、承認した。
- 7) 洋雑誌の購読について、継続41誌、中止4誌、新規購読1誌を審議し、承認した。
- 8) 和雑誌の購読について、継続304誌、中止1誌を審議し、承認した。
- 9) 重複で保存対象外の書籍504冊、2020年度退任教員の不明本35冊の除籍を審議し、承認した。
- 10) 2021年度退任教員の科研費で購入された書籍のうち、転任地に移管する165冊の除籍を承認した。
- 11) 学習支援センターの利用を推奨する学生を、各学科の基準に従い、半期ごとに選出した。
- 12) 2021年度学習支援ピアサポーター7学科14名の研修と学習支援活動を実施した。学科や科目によって受講者数に偏りがあったが、受講者アンケート結果は非常に好評だった。
- 13) 2022年度学習支援ピアサポーターを募集し、10学科37名を承認した。
- 14) 2021年度新入生を対象に4月7・8・9日に履修登録サポートデスクを実施した。在学生50名がボランティアスタッフとして参加し、新入生333名が利用した。
- 15) 2022年度入学生を対象に、3月25日から4月17日までWEB入学前セミナーを実施した。Remedial Coursesで12種22本の学習動画を公開し、在学生によるトークライブを2回行った。
- 16) 学習支援センターの個別指導を利用した学生のGPAデータを分析し、すべての学力層から利用されていることを確認した。
- 17) 専門性の高い学習動画を公開するコンテンツを、デジタルライブラリーの名称でe-Campusに新設した。学部生向けに10本、大学院生向けに14本の動画を公開した。
- 18) 「誰でも・気軽に・受講できる」をコンセプトにした短時間のセミナー「プチセミナー」を実施した。

④特記事項

- 1) 平日の開館時間を平日19時半までに短縮し、13時から13時半は換気・消毒作業のため閉館した。
- 2) 年末年始を含む大学休業期間中、9時から17時まで開館した。
- 3) リモートアクセスソフトEZproxyのクラウド化に伴い、電子資料への学外からのアクセス方法を10月1日に変更した。

ウ 就職センター運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

永井 徹 (HN, 委員長), 高橋英明 (PT, 副委員長), 藤目智博 (OT), 大石如香 (ST), 前田 雄 (AT), 齋藤大造 (CT), 谷 佳子 (CO), 田村一好 (EM), 安達登志樹 (RT), 小林志郎・山本悦史 (HS), 下山博子 (NR), 青木 茂 (SW), 柴山純一 (HI) 佐々木俊太郎・伊藤 求 (事務局)

②会議開催回数

就職センター運営委員会会議12回, クラウド型ポートフォリオのワーキンググループ会議12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 副委員長の選出。
- 2) 就職対策年間スケジュール(各学科と全体)の確定。
- 3) 将来計画・アクションプラン(2021年度)の検討。

- 4) 実践行動学パート3の企画, 実施.
- 5) 医療機関業界・職種研究会(4月25日)の企画・オンデマンド形式での実施.
(臨床技術学科, 診療放射線学科が担当) 医療関連8施設, 学生145名の参加.
- 6) 医療福祉施設求人説明会(8月24日)の案内先および実施方法検討, オンデマンド形式による期間限定で資料の配信を実施(言語聴覚学科を主幹に理学療法学科, 作業療法学科が担当).
医療関連108施設の協力により実施. 学生118名の参加.
- 7) 保護者会(11月6日)における就職関係資料の準備・提供.
- 8) 業界・職種研究会(12月11日)の案内先および実施方法検討, 動画コンテンツ等を使用したオンデマンド形式とライブでのウェブ配信形式での準備・実施(健康栄養学科を主幹に義肢装具自立支援学科, 健康スポーツ学科, 医療情報管理学科が担当). 企業25社, 学生200名の参加.
- 9) 学内企業求人説明会(2月25日, 3月22日)と2回に分けて実施. 案内先および実施方法検討, ライブでのウェブ面談形式による準備・実施(健康栄養学科を主幹に義肢装具自立支援学科, 健康スポーツ学科, 医療情報管理学科が担当). 合計企業46社, 学生285名の参加.
- 10) 教育基盤の確立と学生支援体制の強化のもと, 学生のモチベーション維持・向上のため国家試験前の就職内定を重視, 国試前後については時期に応じた未内定学生への支援を実施.
- 11) 各学科就職指導状況の情報交換による効果的な就職対策の検討・協議.
- 12) 2022年度の医療業界機関業界・職種研究会, 学内合同企業説明会, 医療福祉施設求人説明会および業界・職種研究会の日程を決定し, 学事歴に掲載.

④特記事項

- 1) オンラインの活用による支援方法の拡充

新型コロナウイルス感染予防対策の徹底により学生の入構が制限されたこと, 職員も在宅ワーク期間があったことから, 進路希望登録, 就職相談, 模擬面接などオンラインを使用し支援を拡充した. また個別支援だけでなく, 説明会やセミナーに関してもオンデマンド形式やライブ形式などオンラインの種類や方法を比較検討し実施したことで参加者数が増加した. その結果, 就職センターの利用数も徐々に戻りつつある.

- 2) キャリア支援中期計画について

学生支援の充実の観点から今後5年間の中期目標として「就職支援体制の強化(キャリアカウンセリングの専門相談員の増員, オンラインの活用による支援拡充)」「キャリア教育の拡充(低学年からのキャリア意識形成, ポートフォリオ教育の利用拡大, 実践行動学の分析によるキャリア教育改善)」「卒業生の定着度調査の分析による教育活動の改善」の3つを柱として具体的アクションプランに落とし込み実施する.

エ 教職支援センター運営委員会

- ①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

吉田重和(HS, 委員長, センター長), 森泉哲也(HN, 副委員長)・渡辺優奈(HN), 脇野哲郎・佐藤裕紀・杵渕洋美・高田大輔・針谷美智子・上田純平(HS), 丸山幸恵・和田直子(NR), 菅原直実・田中里枝(~10月)・阿部つばさ(12月~)(事務局)

- ②会議開催回数 12回

- ③審議事項および決定事項等

- 1) 教職支援センター運営委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) 教職支援センター運営委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 3) 教職支援センター指導體制について審議し, 承認した.
- 4) 2020年度卒業生アンケート結果について検討した.
- 5) 教員採用試験合格者目標値を設定し, 決定した.
- 6) 学内教員による教員採用試験対策学内講座について審議し, 決定した.

- 7) 外部業者による教員採用試験対策学内講座について審議し、決定した。
- 8) 外部業者による教員採用試験対策学内模試について審議し、決定した。
- 9) 教職支援センター利用ガイドラインについて審議し、決定した。
- 10) 教員採用試験人物評価試験対策について審議し、決定した。
- 11) 次年度予算案を審議し、決定した。
- 12) 教職課程自己点検・自己改善作業を実施した。
- 13) 新潟医療福祉大学将来計画について、教職支援センター運営委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した。

④特記事項

- 1) 2020年度教職支援センター年報を刊行した。また、新潟医療福祉大学・事業創造大学院大学機関リポジトリに登録した。
- 2) 教職支援センターニューズレター第8号・第9号を刊行した。
- 3) 教員採用試験対策オリエンテーションを実施した。
- 4) 教員採用試験「合格者の声を聴く会」を実施した。
- 5) 「現職教員の声を聴く会」を実施した。
- 6) 「新潟県・新潟市教員採用選考検査説明会」ならびに「教員採用試験結団式」を実施した。
- 7) 「埼玉県教員採用試験説明会」を実施した。
- 8) 「千葉県教員採用試験説明会」を実施した。
- 9) 講師登録希望者説明会を実施した。
- 10) 新潟市教育委員会・新潟県内私立大学との教員養成連絡協議会を実施した。(参加機関：新潟市教育委員会・敬和学園大学・新潟青陵大学・新潟薬科大学・新潟経営大学・新潟工科大学・新潟医療福祉大学)
- 11) 「教職ボランティア体験を語る会」を実施した。
- 12) 3学科連携「教職実践演習」を実施した。
- 13) 教員採用試験出願書類作成指導会を実施した。

オ 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤敏郎（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），池上 諒（PT），間宮靖幸（OT），吉岡 豊（ST），郷 貴博（AT），藤井 豊（CT），岸 哲志（CO），進藤 弘・岩崎 隆（EM），長谷川晃（RT），吉松 梓・森下義隆（HS），稲垣千文（NR），渡辺洋子・國兼明嗣（SW），川口規子（HI），佐々木俊太郎・長谷川陽一・風間篤史・岡村祐子（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 挨拶の励行，敷地内禁煙の遵守および地域生活におけるマナーの改善に向けた取り組みについて，学生部長からWEB形式による学年別オリエンテーション等を通して全学生を対象に指導を行った。また，学生委員による構内の巡視を兼ね美化運動を実施した。さらに地域からの苦情等については，全学生への注意喚起および該当学生に対する個別指導等を行い再発防止に努めた。
- 2) 日本学生支援機構奨学金の利用者数について情報共有を行った。
- 3) WEB形式による保護者会の実施に伴う企画・運営を行った。
- 4) 薬物乱用防止に関する学生への指導として，講演会等を実施した。
- 5) 学生生活アンケートを実施し，集計結果を関係各署に情報共有することで学生生活の向上に努めた。
- 6) 学生の挨拶，マナー向上の啓発を目的に，挨拶・マナー標語の公募を行い，優秀作品4作品に対し，表彰を実施した。

- 7) 学長表彰, 学生表彰に係る学生委員会の推薦候補者について審議した。
- 8) 学友会の学生と共同でクラブ・サークル紹介(冊子)の作成, 全県人会の開催促進に取り組んだ。
またWEB形式による桃迎会(クラブ・サークルの勧誘会)や伍桃祭(大学祭)などコロナ禍における学友会活動の継続と活性化に取り組んだ。

カ 交通安全委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

佐藤敏郎(HS, 委員長), 岩森 大(HN, 副委員長), 池上 諒(PT), 間宮靖幸(OT), 吉岡 豊(ST), 郷 貴博(AT), 藤井 豊(CT), 岸 哲志(CO), 進藤 弘・岩崎 隆(EM), 長谷川晃(RT), 吉松 梓・森下義隆(HS), 稲垣千文(NR), 渡辺洋子・國兼明嗣(SW), 川口規子(HI), 佐々木俊太郎・風間篤史・岡村祐子・駒沢 猛(事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 過去の本学交通事故件数や危険個所を集約し, 全学生を対象に交通安全講習会を実施した。
- 2) 教職員対象の交通安全講習会の企画と実施運営を行い, 教職員には雪道運転の注意点をテーマとし, 交通安全の意識向上に努めた。
- 3) 学生の車両登録を促進することで, 学内駐車場の安全管理に努めた。
- 4) 学内周辺の危険個所を調査し, 検討および改善に努めた。

② 教育開発推進部

ア 教務委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

古西 勇(PT, 委員長), 増田 修(CO, 副委員長), 山崎貴子(HN, 副委員長), 犬飼康人・北谷亮輔(PT), 能登真一・外川 佑(OT), 大石如香・内山 信(ST), 須田裕紀・神田 賢(AT), 高橋良光・大山富三(CT), 志賀木綿子(CO), 大和田均・長谷川恵(EM), 児玉直樹・関本道治(RT), 石澤幸江(HN), 佐藤晶子・佐藤裕紀・下門洋文(HS), 宇田優子・渡邊千春(NR), 佐藤 洋・五十嵐紀子・原口彩子(SW), 谷賢太郎・高野晃輔(HI), 吉田俊雄・村山萌子・前田 充・駒形高広(事務局)

②会議開催回数 13回

③審議事項および決定事項等

- 1) 規程第6条第3項に基づき, 委員長が副委員長を指名した。
- 2) 規程第9条第1項に基づき, 各専門部会(教育の質マネジメント・学内授業推進専門部会, 単位認定・編入学・転部転科等専門部会, 学外実習専門部会)が置かれ, 第2項に基づき部会長が委嘱された。
- 3) 履修登録願に関する特例処置について承認した。
- 4) 転部転科者単位認定について審議し, 承認した。
- 5) 3年次編入者単位認定について審議し, 承認した。
- 6) 非常勤講師任用審査について審議し, 承認した。
- 7) 文部科学省への実習施設変更承認申請書提出について確認した。
- 8) オンラインの特性に合わせた授業と試験の再構築と教育の質保証について確認した。
- 9) 保健医療福祉教養科目の履修経過と結果について確認した。
- 10) UROP運営について確認した。
- 11) 9月卒業申請者について確認した。
- 12) 「非常時における学期末試験等の取扱い」の変更について確認した。
- 13) 2020年度卒業生アンケート結果について共有した。

- 14) 定期試験実施要綱，試験実施について審議し，決定した。
- 15) 追試験願のオンライン申請について確認した。
- 16) 学外実習における学生自己負担への後援会補助の配慮について確認した。
- 17) CT・RT学科のカリキュラム変更について確認した。
- 18) 新型コロナ禍の対応も含めた学外実習に関する状況を各学科で報告した。
- 19) 「自然災害時等に伴う休講措置に関する取扱要項」について確認した。
- 20) 新設予定「鍼灸健康学科」カリキュラムについて確認した。
- 21) 時間割作成について審議し，決定した。
- 22) 保健医療福祉教養科目の次年度見込のクラスサイズについて確認した。
- 23) 選択科目履修率について確認した。
- 24) 卒業見込判定および卒業判定結果について確認した。
- 25) 全学共通科目カリキュラム変更について確認した。
- 26) 新潟医療福祉大学将来計画について，教務委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプラン内容について確認した。
- 27) 後援会補助金分配額を決定し，分配金使途報告について確認した。
- 28) 卒業生アンケート実施について審議し，決定した。
- 29) 不正行為者への事案について確認した。
- 30) 学生表彰における学業成績優秀者推薦について審議し，委員会決定した。
- 31) 修学支援制度「実務経験のある教員が担当する科目」について確認した。
- 32) 2022年度学事暦・シラバス・履修の手引き作成について確認した。
- 33) 2022年度研究生・科目等履修生・聴講生の規定改正案について審議し，決定した。

イ FD・SD推進委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

五十嵐紀子（SW，委員長），久保野勝男（CT，副委員長），斎藤トシ子（HN，副委員長），
 中原英伸（入試広報，副委員長），伊藤 渉（PT），間宮靖幸（OT），田村俊暁（ST），村山 稔（AT），
 阿部拓也（CT），石井雅子（CO），進藤 弘（EM），吉田皓文（RT），蘆田一郎（HN），秋山隆之（HS），
 石綿啓子（NR），澤田雄介（HI），小島雅彦・倉部崇史・前田華子・野水清秀・前田華子・
 渡辺龍一郎・岡村祐子・坂井由佳・駒沢 猛・本間美雪（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) FD・SD推進委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) FD・SD推進委員会規程について審議し，承認した。
- 3) FD・SD推進委員会部会構成および部会担当者を決定した。
- 4) FD・SD推進委員会年間計画を審議し，決定した。
- 5) 学生による授業評価実施要綱について審議し，承認した。
- 6) 外部研修会等の参加費用の補助に関する内規について審議し，承認した。
- 7) 「スローラーナー」の新たな名称として「要支援・要配慮学生」を提案することについて審議し，承認した。

④特記事項

- 1) 新任教職員セミナーをオンライン実施した。
- 2) 新任職員SD研修会を実施した。
- 3) ランチョンセミナー「基礎ゼミに関するFD」を実施した。
- 4) ランチョンセミナー「学内研究奨励金の申し込み方法について」を実施した。
- 5) 春の職員会をオンライン実施した。

- 6) ランチョンセミナー「大学院進学ガイドラインの活用—2030年選ばれる大学院へ—」を実施した。
- 7) ランチョンセミナー「TOEIC対策セミナー」を実施した。
- 8) TOEIC IPテスト（オンライン）を計3回実施した。
- 9) 科研費対策委員会および研究支援課との共催で「令和4年度科研費学内説明会」を実施した。
- 10) ランチョンセミナー「聖火ランナーを経験して」を実施した。
- 11) ランチョンセミナー「オンライン授業における効果的な運用をめざして」を実施した。
- 12) ランチョンセミナー「連携基礎ゼミに向けて」を実施した。
- 13) 秋の職員会をオンライン実施し、アーカイブコンテンツとして共有した。
- 14) 社会連携推進センター運営委員会との共催でランチョンセミナー「社会連携活動に関するセミナー」を実施した。
- 15) ランチョンセミナー「コロナ禍2年目の就職活動と状況について」を実施した。
- 16) 新任職員研修2～施設見学ツアー～を実施した。
- 17) ポータルサイト利用案内資料をFD・SD推進委員会WEBサイトに公開した。
- 18) ランチョンセミナー「ゼロからオリンピックへの道のり」を実施した。
- 19) ランチョンセミナー「コロナ禍での大学広報」を実施した。
- 20) 障がい特性に応じたITサポートに関するセミナーを外部講師を招聘し実施した。
- 21) 「国試勉強をサポートする食事の摂り方に関するランチョンセミナー ～国試に向けた体内時計（生活リズム）の大切さを踏まえて～」を実施した。
- 22) URA推進室との共催でランチョンセミナー「学内研究者のマッチング推進の取り組みに関する」を実施した。
- 23) 米国カリフォルニア州立大学フレズノ校への教員海外派遣研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。代替企画として、国際交流センター運営委員会との共催で春の教員英語研修および春の教員英語研修 振り返りセッションを実施した。
- 24) 「学生からのヘルプサインを見つけるためのヒント」を実施した。
- 25) ランチョンセミナー「実例から学ぶ基礎ゼミのアイデア」を実施した。
- 26) 外部FD研修会の案内および参加者の募集を実施し、研修参加費の助成を行った。
- 27) 第4回教育開発推進部審議に基づき、2021年度ベストティーチャー選考が中止となったため、例年実施していたベストティーチャーと語る会は実施しなかった。
- 28) 各種セミナーはアーカイブコンテンツとしてFD・SD推進委員会Webサイトで公開した。

ウ 国家試験・資格試験対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

川村宏樹（CT，委員長），吉岡 豊（ST，副委員長），相馬俊雄・玉越敬悟（PT），藤目智博（OT），今村 徹・内山 信（ST），前田 雄・須田裕紀（AT），渡邊博昭（CT），村田憲章・多々良俊哉（CO），大松健太郎（EM），長谷川晃（RT），鈴木一恵・増田紘之（HN），脇野哲郎（HS），山口典子（NR），渡邊 豊（SW），坂井さなえ（HI），吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 国家試験・資格試験対策委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 前年度の分析と今年度目標について，確認した。
- 3) 試験対策費予算案分について審議し，決定した。
- 4) 前年度卒業生アンケート結果と改善について，確認した。
- 5) 既卒生の指導は各ガイドラインに沿い入構の管理を徹底することについて，確認した。
- 6) 各学科の模擬試験実施予定を取り纏め，実施教室を決定した。

- 7) 保護者会で配布する国家試験・資格試験対策概要（冊子）の発行について審議し，決定した.
- 8) 国家試験対策システム UCAR（うか〜る）の新機能について，確認した.
- 9) スローラーナーを強化メンバーと名称変更して取り扱うことについて，確認した.
- 10) 本試験の2ヵ月前にアンケートを実施し，学生ニーズと対策について審議し，決定した.
- 11) 卒業時アンケートについて審議し，決定した.
- 12) 委員会規程の改訂について審議し，決定した.
- 13) 大学閉鎖期間（年末年始）の対策予定および自習室開放について，確認した.
- 14) 毎月の指導状況およびスローラーナー対策状況について，確認した.
- 15) 国家試験・資格試験結果の取り纏めについて，確認した.

④特記事項

4つの国家試験（理学療法士・救急救命士・助産師・介護福祉士），および2つの資格試験（健康運動指導士・アスレティックトレーナー）において合格率100%を達成した.

エ 新潟連携教育研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

松井由美子（NR，委員長），東江由起夫（AT，副委員長），井上達朗・田宮 創（PT），間宮靖幸・渡部貴史（OT），榎原 桂・伊藤さゆり（ST），佐藤未希（AT），小澤口治樹・森田邦恵（CT），村田憲章・岸 哲志（CO），山内 一・神藏貴久（EM），山口弘次郎・吉田皓文（RT），遠藤和男・石澤幸江（HN），伊藤篤司・若月弘久（HS），小栗妙子（NR），渡邊 豊・豊田典子（SW），伊藤嘉高（HI），本間美雪・村山萌子（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 連携総合ゼミ実行部会，連携基礎ゼミ実行部会，連携学対応部会，連携教育研究部会の部員を選出し，承認した.
- 2) 新潟医療福祉大学新潟連携教育研究センター規程の改正について審議し，承認した.
- 3) 新型コロナウイルス感染拡大抑止のための連携総合ゼミの実施形態について審議し，承認した.
- 4) 連携総合ゼミの企画・準備スケジュールおよび各担当の割り振りについて審議し，決定した.
- 5) 連携総合ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し，承認した.
- 6) 連携総合ゼミの履修登録締切後の取消申請1件（臨床実習のため）について審議し，承認した.
- 7) 連携総合ゼミの各事例への学生・教員配置について審議し，承認した.
- 8) 連携総合ゼミ開会式，発表会，修了式の内容について審議し，承認した.
- 9) 連携総合ゼミ Studentsサポーターを導入することについて審議し，承認した.
- 10) 2022年度連携総合ゼミの日程について審議し，前期開講日程を8月29日（月）～9月2日（金），後期開講日程を3月6日（月）～3月10日（金）に決定した.
- 11) 連携基礎ゼミをオンラインで実施することについて審議し，承認した.
- 12) 連携基礎ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し，承認した.
- 13) 連携基礎ゼミのゼミ分けについて審議し，承認した.
- 14) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートについて審議し，承認した.
- 15) 連携基礎ゼミにおける実践行動学 part II の取扱いについて審議し，教育開発推進部に上申した.
- 16) 保健医療福祉例系科目群のカリキュラム変更について審議し，教育開発推進部に上申した.
- 17) 2022年度から初開講される3年次連携総合ゼミのニーズ調査アンケートについて審議し，承認した.
- 18) 2022年度連携教育科目の授業計画について審議し，承認した.

④特記事項

- 1) 連携教育協力教員の募集を行った.

- 2) 連携総合ゼミ期間中の開会式，発表会，修了式等の運営（オンライン）を行った。
- 3) 連携総合ゼミについて新潟日報社の取材があり，紙面掲載された。
- 4) 連携総合ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 5) 連携総合ゼミの実施報告書および記録用Webページを作成した。
- 6) 連携基礎ゼミ初回オリエンテーション，最終発表会の実施方法についてとりまとめを行った。
- 7) 連携基礎ゼミグループワークテーマについてとりまとめを行った。
- 8) 連携基礎ゼミに向けたFDとしてFD・SD推進委員会サイトに資料掲載した。
- 9) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 10) 連携基礎ゼミの発表スライドデータを収集した。
- 11) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部必修）をオンデマンド型および同時双方向型を組み合わせたオンライン授業で実施した。
- 12) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部を除き選択）をオンデマンド型のオンライン授業で実施した。
- 13) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け，地域連携学の施設訪問をライブ配信形式に切り替え，オンライン授業で実施した。
- 14) 新潟医療福祉学会学術集会に2演題提出した。
- 15) 新4年生オリエンテーションで2022年度連携総合ゼミの周知活動を行った。
- 16) 2022年度から3年次後期に初開講される連携総合ゼミのニーズ調査を実施した。
- 17) チーム医療教育に関して日本経済新聞社の取材があり，紙面掲載された。
- 18) 連携教育に関連する勉強会やシンポジウムなどについて参加情報発信を行った。

オ 高等教育推進センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

吉田重和（HS，委員長），柴山純一（HI，副委員長），奈良貴史，相馬俊雄・宮口翔太（PT），馬場広子・外川 佑（OT），大石如香（ST），江原義弘（AT），牧口智夫・小野 等（CT），岸 哲志（CO），安達哲浩（EM），橋本 薫・大野 健（RT），岩森 大（HN），佐藤敏郎・市川 浩（HS），石塚敏子・佐藤真由美（NR），五十嵐紀子・渡邊恵司（SW），石浦章一・木下直彦（HI），吉田俊雄・萩原洋哉（～12月）・駒形高広（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 高等教育推進センター運営委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 高等教育推進センター運営委員会各専門部会（教育システム改革部会，共通科目部会，ICT教育推進部会，教育開発部会）の担当者と部会長を決定した。
- 3) 委員会規程について審議し，承認した。
- 4) アクションプランに基づき，委員会の担当業務について確認した。
- 5) 各部会の工程表を作成し，確認した。
- 6) 「質保証，低学年教育，少人数教育，人材教育」をキーワードに教育取組みについて検討した。
- 7) 少人数指導実施状況調査を実施し，調査結果を報告した。
- 8) 少人数指導教育に関する方策について検討，審議，承認した。
- 9) 習熟度試験の実施および規定について検討，審議，承認した。
- 10) 「基礎医学，英語（語学科目），スポーツ，情報処理」を軸に共通科目に関する現状整理，課題点や改善に向け，検討した。
- 11) データサイエンス教育に関するWGが発足され，取組み内容について検討した。
- 12) 語学教育に関するセンター設置の構想について検討，審議，承認した。
- 13) 英語教育の在り方について検討した。

- 14) 共通科目の検討に掛かる部門設置について検討した。
- 15) ICTを活用した教育基盤の在り方について検討した。
- 16) ICT活用に関するアンケート調査を実施し、結果を報告した。
- 17) 情報基盤センターの運用に関する実態調査について検討した。
- 18) 教育開発委員会から引き継ぐ業務内容について確認した。
- 19) 基礎ゼミ実施内容の報告がされた。
- 20) 基礎ゼミ改善についての検討、審議、実施した。
- 21) NHK大学セミナーの基礎ゼミ内実施について検討、審議、承認した。
- 22) 防災訓練の基礎ゼミ内実施について検討、審議、承認した。
- 23) 入学前教育（入学前課題、Webスクーリング）についての検討、審議、実施した。
- 24) 入学前課題「BasicStudy Camp」「Remedial Courses」「学問サキドリプログラム」「学科独自の課題」について検討、審議、実施した。
- 25) Webスクーリングのプログラムについての検討、審議、実施した。
- 26) プレテストの実施についての検討、審議、実施した。
- 27) 日本語検定の実施について検討、審議した。
- 28) 実践行動学担当者についての確認と新規担当者のための講習会について確認した。
- 29) 補習教育「Remedial Courses」の運営方法の検討、審議、実施した。

(3) 研究・産官学連携推進機構

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大西秀明（PT，委員長），佐藤大輔（HS），椿 淳裕（PT），児玉直樹（RT），江玉陸明（PT），大竹 宏（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 研究・産官学連携推進機構運営委員会の役割について
- 2) 間接経費のつかない外部研究費の取扱いについて
- 3) 倫理教育について
- 4) 関連する各種委員会規程の制定について
- 5) バイアウト制度について
- 6) 自然人類学研究所の設置について
- 7) 研究倫理審査にかかわるオプトアウトの公表について
- 8) 英語論文作成支援体制の構築について
- 9) オープンアクセスポリシーの策定と公表について
- 10) 研究ホームページの開設

① 研究・産学官連携推進部

ア 科研費対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

大鶴直史（PT，委員長），外川 佑（OT），大石如香（ST），須田裕紀（AT），高橋良光（CT），村田憲章（CO），神藏貴久（EM），児玉直樹（RT），八坂敏一（HN），越中敬一（HS），杉本 洋（NR），松本京介（SW），谷賢太郎（HI）

②会議開催回数 6回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2021年度科研費対策の結果と評価
- 2) 本年度の申請率および採択率の目標設定

- 3) 2021年度研究奨励金申請状況について
- 4) 科研費サポートデスクについて
- 5) 科研費学内説明会の実施について
- 6) 2022年度研究奨励金公募案について

イ プロジェクト研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），佐藤成登志（PT），犬飼康人（PT），能登真一（OT），吉岡 豊（ST），
稲葉洋美（HN），下山好充（HS），西原康行（HS），大森 豪（HS），山崎史恵（HS）

②会議開催回数 2回

③審議事項および決定事項等

- 1) プロジェクト研究センターの位置付けについて
- 2) プロジェクト研究センターおよび運営委員会規程の制定
- 3) プロジェクト研究センターのホームページリニューアル
- 4) 次世代デジタルリハビリテーション研究センターの設置について
- 5) 3D技術研究開発センターの設置について

② 研究・産学官連携支援部

ア 学術委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

竹井 豊（EM，委員長），佐藤克郎（ST，副委員長），佐宗亜衣子（PT），浅尾章彦（OT），
江原義弘（AT），金子 弘（CO），稲葉英夫（EM），稲川正一（RT），澁谷顕一（HN），池田祐介（HS），
越智元太（HS），山口典子（NR），青木 茂（SW），瀧口 徹（HI），大森由理・栗林恭子（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学術委員会副委員長を指名した。
- 2) 新潟医療福祉学会役員（会計1名，会計監事2名，和文誌編集委員長・和文誌編集委員，英文誌編集委員長・英文誌編集委員）を選出し，決定した。
- 3) 評議員開催日程およびオンライン（zoom）開催について審議し，決定した。
- 4) 評議員会議案について審議し，決定した。
- 5) 第21回新潟医療福祉学会学術集会のオンラインと誌上の併用開催について審議し，承認した。
- 6) 和文誌のJ-STAGE利用申請について審議し，決定した。
- 7) 和文誌・英文誌のJ-STAGEジャーナルコンサルティングへの応募について審議し，決定した。
- 8) 英文誌投稿規程の改訂について審議し，決定した。
- 9) 英文誌編集体制の強化とEditorial Board創設を審議し，決定した。
- 10) 投稿査読システムEditorial Managerの導入について審議し，決定した。
- 11) 学会賞表彰式（学会誌）のオンライン開催について審議し，決定した。
- 12) 第21回新潟医療福祉学会学術集会の日程を審議し，決定した。
- 13) 2021年度新潟医療福祉学会学会賞の選考について審議し，決定した。
- 14) 第21回新潟医療福祉学会総会議案を審議し，決定した。
- 15) 第21回新潟医療福祉学会総会の委員の役割分担を審議し，決定した。
- 16) 新潟医療福祉学会プライバシーポリシーの策定について審議し，決定した。
- 17) 2022年度学会入会案内冊子の内容について審議し，決定した。
- 18) 2022年度の外部評議員について審議し，決定した。

イ 倫理審査委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山崎史恵（HS，委員長），齊藤 慧（PT），塚本康子（NR），児玉直樹（RT），青木 茂（SW），佐藤卓也（新潟リハビリテーション病院），立石 学（新発田リハビリテーション病院），本間 葵（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2021年度の申請件数は222件（受付番号18595～18818）だった。
- 2) 2021年度の学外学識経験者について，前年度に引き続き新潟リハビリテーション病院の佐藤卓也先生，新発田リハビリテーション病院の立石学先生を倫理審査委員に委嘱した。
- 3) 倫理指針の改定に伴い，2021年6月から申請書が新書式となり，迅速審査や研究報告書の提出などを新たに導入した。

ウ 遺伝子組換え実験安全委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田口 徹（PT，委員長），川村宏樹（CT，副委員長），太田大樹（PT），八坂敏一・田村典子（HN），埜 晴雄（HS），坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 4回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 1件の遺伝子組換え実験計画書について審議し，1件を承認した。
- 2) 1件の遺伝子組換え実験室設置について審議し，1件を承認した。
- 3) 学内オートクレープの年次自主点検を実施した。

エ 動物実験委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

八坂敏一（HN，委員長），越中敬一（HS，副委員長），田口 徹・長坂和明（PT），今井信行（ST），藤井 豊（CT），宮地幸久（RT），増田紘之（HN），坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 12回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 28件の動物実験計画書について審議し，28件を承認した。
- 2) 本学施設にて飼育中のラットおよびマウスの微生物モニタリングを2回実施し，結果全て陰性であったことを報告した。
- 3) 動物実験実施者（教員および学生）を対象に，2021年度動物実験教育訓練講習会について検討し，実施した。
- 4) 2021年度（第11回）実験動物慰霊祭について検討し，執り行った。動物実験に関わる教職員および学生が参加した。

オ 毒物・劇物管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田口 徹（PT，委員長），八坂敏一（HN，副委員長），太田大樹（PT），齋藤大造（CT），宮地幸久（RT），山崎貴子（HN），越中敬一（HS），渋谷友之（事務局）

②会議開催回数 10回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 以下書式について審議し，承認した。
毒物・劇物等所持および使用届，毒物・劇物等保管庫設置申請書，毒物・劇物等購入届

- 2) 全教員を対象に、毒物・劇物等所有実態調査を実施した。
- 3) 全学的な化学物質管理システムの導入に向けて検討した。
- 4) 毒物・劇物等保管庫設置状況の実態調査の必要性について検討した。
- 5) 化学物質管理上の教育訓練の必要性について検討した。
- 6) 当面の課題（ドラフトチャンバーの年次点検、作業環境測定、特殊健康診断の実施など）について、必要性を検討した。

カ 利益相反マネジメント委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），吉岡 豊（ST），越智元太（HS），大竹 宏（事務局）
- ②会議開催回数 1回
- ③審議事項および決定事項等
 - 1) 関連する規程の制定
 - 2) 利益相反に関する自己申告書の提出について

キ 知的財産委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
児玉直樹（RT，委員長），大西秀明（PT），大鶴直史（PT），吉岡 豊（ST），越智元太（HS），真藤高明（事務局）
- ②会議開催回数 1回
- ③審議事項および決定事項等
 - 1) 関連する規程の制定

ク URA推進室

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
江玉睦明（PT，室長），堀田一樹（PT），藤井 豊（CT），山代幸哉（HS），大竹 宏・坂田衣里（事務局）
- ②会議開催回数 11回
- ③審議事項および決定事項等
 - 1) 他大学のURAの実態調査
 - 2) 令和3年科研費申請者の分析
 - 3) URA等の研究マネジメント人材育成に係るSD実施に向けた検討
 - 4) 研究者のマッチングを目的とした「ケン活サイト」の立ち上げ

③ 大学院教育研究支援部

ア 大学院教務委員会

- ①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）
能村友紀（OT，委員長），佐藤克郎（ST，副委員長），澁谷頭一（HN），中井良育（SW），木下直彦（HI），嵐田浩吉・佐藤雅士（事務局）
- ②会議開催回数 13回（うち1回メール審議）
- ③審議事項および決定事項等
 - 1) 論文作成マニュアルの一部修正について審議し，承認した。
 - 2) 大学院一般教養科目「サイエンスライティング」の新規開設について審議し，承認した。
 - 3) 大学院論文中間発表会を原則としてオンラインで開催することを定めた開催要領について審議

し、承認した。

- 4) 9月修了者の論文審査会をオンラインで開催することについて審議し、承認した。
- 5) 大学院論文中間発表会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施することについて審議し、承認した。
- 6) 9月修了および3月修了者の論文審査スケジュールについて審議し、承認した。
- 7) 3月修了申請者の論文提出の電子化について審議し、承認した。
- 8) 3月修了申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施することについて審議し、承認した。
- 9) 健康栄養学分野のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 10) 社会福祉学分野のカリキュラム変更について審議し、承認した。
- 11) 次年度から実施予定の研究報告会の開催要領について審議し、承認した。
- 12) 大学院進学ガイドラインの改訂について審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 中間発表会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し、評価を行った。
- 2) 3月修了申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し、評価を行った。
- 3) 2023年度カリキュラム見直しに係わる意向調査を実施した。
- 4) 大学院教育研究環境委員会と共同で修了生アンケートを実施した。

イ 大学院教育研究環境委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山代幸哉（HS，委員長），阿部 薫（AT，副委員長），江玉睦明（PT），杉本 洋（NR），
寺田貴美代（SW），木下直彦（HI），嵐田浩吉・権瓶一葉・田沢美生（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院教育研究環境委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 中期計画・アクションプランに基づく大学院教育研究環境委員会のミッションについて審議し、決定した。
- 3) 複数教員指導体制の構築について審議し、決定した。
- 4) 在学生・修了生アンケートの作成・実施について審議し、決定した。
- 5) TAハンドブックの作成について審議し、決定した。
- 6) 大学院退学抑止対策に関する検討について審議し、WGの答申に従い対応策を決定した。

④特記事項

- 1) 大学院進学ガイドラインのFDセミナーを実施した。
- 2) 大学院生用Q&A集を作成した。
- 3) 遠隔地における研究活動環境の拡充について、高等教育推進センター運営委員会と連携しながら検討した。
- 4) TAハンドブックを作成し、大学院生に配布した。
- 5) アセスメントプランの作成に着手した。

(4) 社会連携・同窓会推進機構

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

丸田秋男（SW，機構長），西原康行（HS），佐藤成登志（PT），大竹 宏（事務局），佐々木俊太郎（事務局），
オブザーバー 東江由起夫（AT），渡邊敏文（SW），前山美優・坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 社会連携・地域貢献に関する基本方針策定について
- 2) 社会連携・地域貢献に関する具体化と工程表策定について
- 3) 関連する各種規程の策定について
- 4) 同窓会の基盤整備について
- 5) 同窓会サポーターの選任手続及び支援方策等について

① 社会連携推進部

ア 社会連携推進センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤成登志（PT，委員長），東江由起夫（AT，副委員長），能登真一（OT），佐藤克郎（ST），小澤口治樹（CT），石井雅子（CO），山内 一（EM），大徳尚司（RT），斎藤トシ子（HN），杵渕洋美（HS），井澤玲奈（NR），渡邊敏文（SW），波多野誠（HI），大竹 宏（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 地域貢献活動の単位科目化の検討（2022年度より）
- 2) 地域連携プラットフォームの構築
- 3) 新潟医療福祉大学オンラインセミナーに開始
- 4) スプレッドシートを活用した社会連携・地域貢献活動報告
- 5) 豊栄地区公民館の受託事業「2020年度市民大学講座」 中止
- 6) 2020年度とよさか中老年教養大学のカリキュラム科目「健康長寿学」 中止
- 7) 将来計画の自己点検

② 同窓会・生涯学習推進部

イ 同窓会・生涯学習連携推進委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS，委員長），横田裕丈（PT），能村友紀（OT），吉岡 豊（ST），郷 貴博（AT），藤井 豊（CT），多々良俊哉（CO），安達哲浩（EM），星野芙美（HN），鶴瀬亮一（HS），石塚敏子（NR），荒川大靖（SW），佐々木俊太郎・前山美優（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 同窓会・生涯学習の推進に関する使命（ミッション）および同窓会ネットワークを拡げる具体的方策および実施のスケジュールについて検討した。
- 2) 同窓会本部の活動・事業について情報共有を行った。
- 3) 大学と同窓会員のネットワークを強化するために，同窓生と連絡を取る役割を担う『同窓会サポーター』を各学科教員1名ずつ設置した。同窓会サポーターを中心に，同窓会員へ情報登録依頼を行った。
- 4) 会員情報の共同利用について，個人情報保護委員会にて承認され，同窓会委員へ会員名簿を渡した。
- 5) 連携総合ゼミへ同窓生を派遣し，各テーマに即したアドバイスを行うことで在学生支援に努めた。
- 6) 同窓会委員による今年度卒業生の中から同窓会新役員選出を行った。
- 7) 同窓会役員と共同で，同窓会役員人事の再構成に取り組んだ。

(5) 国際交流推進機構

国際交流推進機構運営委員会構成員

渡辺敏彦国際交流推進機構長，久保雅義国際交流推進部長，嵐田浩吉（事務局）

会議開催回数 10回

主な審議事項および報告事項等

- ・国際交流推進機構運営委員会の運営について
- ・海外提携進捗状況について
- ・オンライン企画「グローバルキャリア支援Meeting」の開催および開催結果について
- ・海外の交流協定締結校との学生によるオンライン交流について
- ・連携総合ゼミの実施について
- ・留学生交流イベントの実施について
- ・外国人留学生サポーターの採用について
- ・大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）の選考について
- ・大使館推薦による国費外国人留学生（研究留学生）の応募ならびに採用について
- ・新潟医療福祉大学国際交流センター規程の改正について
- ・推薦枠の設けられた外国人留学生向け奨学金の選考方法について
- ・JASSO外国人留学生学習奨励費（6か月採用）の採択結果について
- ・2022年度ロータリー米山記念奨学生および平和中島財団外国人留学生奨学生の合格者について
- ・留学生向け日本語講座実施報告について
- ・2022年度新潟県国際交流協会留学生交流推進委員の推薦について
- ・JASSO 2021年度海外留学支援制度（協定受入）の追加採択について
- ・新潟医療福祉大学学生英語等海外留学奨学金の募集ならびに採用について
- ・新潟医療福祉大学学生海外留学規程の改正について
- ・2022年度外国人留学生入学希望者情報について
- ・将来計画ドメイン6「国際交流の推進」・2021年度アクションプランの達成状況について
- ・国際交流推進機構の廃止ならびに国際交流事業の学長直轄国際交流推進部への移管について

① 国際交流推進部

ア 国際交流センター運営委員会

<国際交流専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），菊元孝則（PT），今西里佳（OT），伊藤さゆり（ST），神田 賢（AT），高橋良光（CT），大和田均（EM），織部佑介（RT），田村典子（HN），熊崎 昌（HS），佐藤真由美（NR），今井理恵（SW），高野晃輔（HI），石上和男（HI；オブザーバー），嵐田浩吉・佐藤雅士（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

1) 国際交流提携

すべての学科が何らかの形で海外の大学や機関と提携することを目標に国際交流活動を支援し，2021年度においては10カ国・地域の18大学3機関と提携を結んでいる。

番号	提携先	国名	都市	開始年	終了年
1	国立極東医科大学	ロシア	ハバロフスク市	2006	2026
2	カリフォルニア州立大学フレズノ校	アメリカ	フレズノ市	2007	2023
3	アンヘレス大学財団	フィリピン	アンヘレス市	2010	2022
4	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部 臨床技術学科	アメリカ	ホノルル市	2011	2023
5	サント・トーマス大学<教育>	フィリピン	マニラ市	2011	2022
	サント・トーマス大学<研究>	フィリピン	マニラ市	2017	2022
6	イーストアングリア大学看護・助産学校	イギリス	ノーリッジ市	2011	2022
7	マヒドン大学（義肢）	タイ	バンコク	2015	2024
	マヒドン大学（放射線）	タイ	バンコク	2018	2022
8	京畿大学校	韓国	水原市	2015	2026
9	ホンバン国際大学	ベトナム	ホーチミン市	2016	2024
10	国立陽明交通大学	台湾	台北市	2016	2026
11	ハイズオン医療技術大学	ベトナム	ハイズオン市	2017	2022
12	中山医学大学	台湾	台中市	2017	2022
13	釜山カトリック大学校	韓国	釜山市	2018	2024
14	サイバージャヤ医学大学	マレーシア	セランゴール州	2019	2024
15	太平洋国立大学	ロシア	ハバロフスク市	2019	2024
16	弘光科技大学	台湾	台中市	2019	2024
17	輔英科技大学	台湾	高雄市	2019	2024
18	ベラデニア大学	スリランカ	キャンディ市	2021	2026
19	国立シリントン・リハビリテーションセンター	タイ	バンコク	2012	2022
20	台北榮民総医院	台湾	台北市	2013	2023
21	フィリピン脳性麻痺のための法人（PCPI）	フィリピン	マカティ市	2018	2022

2) 部会活動

- ・国際交流活動部会（増田，今西，大和田，佐藤）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い，国外との直接的な往来を伴う国際交流活動を展開することはできなかつた。しかし，本大学初となるマヒドン大学（タイ）とのダブル・ディグリー・プログラム締結を記念して，11月22日（月）にオンライン調印式を実施した。マヒドン大学からはプラシト・ワタナパ医学部長，サオルンチャイ・リムジンダポーン副大学院長，本学からは西澤正豊学長，佐藤大輔医療福祉学研究科長らが出席した。尚，本プログラムによってマヒドン大学から1名の入学者が確定した。

- ・海外研修および留学支援部会（高橋，久保，田村，熊崎，今井）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い，学生の海外研修を実施することはできなかつた。しかし，文部科学省主催の「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」に採用された奨学生2名が留学を開始した。尚，本学には左記の2名以外にも，トビタテ！奨学生が3名在籍しているが，この3名は2022年度に留学を開始することが決定している。

- ・オンライン企画部会（菊元，伊藤，大和田，織部，高野）

コロナ禍により，海外との直接的な往来はできなかつたので，オンラインで実施できる「グローバルキャリア支援Meeting」を昨年度に引き続き，年間8回実施した。本企画は海外で就業あるいは修学の経験を有する専門職の方を講師に招いて，学生とオンラインでミーティングを行っていただくことで，学生のグローバル意識の向上を目指したものである。参加者は合計で247名のほり，また講師料については英語等短期研修助成制度を利用し，合計120,000円を執行した。

回	実施日	講師（敬称略）	参加者数	講師料
1	5月28日（金）	倉形裕史（夢のまち訪問看護リハビリテーション統括所長）	44	15,000
2	6月26日（土）	松浦由佳（Synthetic MR AB [スウェーデンの企業]）	27	15,000
3	7月10日（土）	平井香織（国立病院機構災害医療センター）	30	15,000
4	8月21日（土）	黒崎久訓（京都橘大学健康科学部助教）	57	15,000
5	9月29日（水）	小林房代（JICA国際協力事業経験者）	33	15,000
6	10月31日（日）	吉村友里（メディカルマネジメント業）	19	15,000
7	12月4日（土）	古川いずみ（オーディオロジスト）	23	15,000
8	2月2日（水）	齊藤悟（東京北医療センター）	14	15,000

・国際貢献部会（久保，神田，佐藤）

2年目となる，ベトナム・ハイズオン医療技術大学をカウンターパートとするJICA草の根技術協力事業を実施した。コロナ禍により直接現地に赴くことはできないので，JICAおよびカウンターパートと連携を取りながら，研修動画の作成等を行った。

・広報部会（織部，菊元，今西，今井）

本学の魅力を海外や外国人学生に向けてさらにアピールするために，英語版ホームページの改修作業を行った。また，海外向けノベルティの見直しおよび作成を行った。

・国際交流締結部会プロジェクトチーム（渡辺副学長，久保，増田，高橋）

既存の学術交流協定締結校との締結内容を点検し，さらに新たにスリランカ・ペラデニア大学との交流協定を締結した。

3) その他の活動

・JASSO「2022年度海外留学支援制度」協定派遣に2件，協定受入に1件申請し，3件すべて採択された。尚，協定受入の採択は本学初である。

・海外の交流協定締結校（アメリカ・ハワイ大学，タイ・マヒドン大学）とオンラインによる学生交流を行った。

・新潟医療福祉大学学生海外留学規程ならびに学生英語等海外留学奨学金規程の改正を提議し，学生の海外留学をいっそう後押しできるような制度とすることができた。

・新潟日米協会のイベントへの学生の参加を促進した。

・FD委員会との共催で英語FD: Presentationの部およびSmall Talkの部を実施した。さらに，同委員会との共催で春の教員英語研修「英語による教授法」を実施した。

<留学生専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO），神田 賢（AT），田村典子（HN），高野晃輔（HI），嵐田浩吉（事務局，副委員長），佐藤雅士（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等（活動内容を含む）

・留学生募集のための活動と調査

アクセス日本留学フェア外国人学生のための進学説明会（東京，5月・9月）へのオンライン参加，アクセス日本語学校教員対象進学説明会（大阪，6月）へのオンライン参加，JASSO日本留学オンラインフェア（9月）への参加，ライセンスアカデミー外国人のための進学説明会（東京，10月）へのオンライン参加，Japan Study Support（JPSS）での日本語・英語による大学紹介ページの公開，留学生募集リーフレットの作成，進研アドによる留学生募集の個別セミナー受講，等を行った。

・留学生募集および受入れのための海外提携校との連携

2022年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）として，協定校のベトナム・ハイズオ

ン医療技術大学から1名、スリランカ・ペラデニア大学から1名を文部科学省に推薦した。

・大使館推薦国費外国人留学生の受け入れ

大使館推薦の国費外国人留学生（研究留学生、エクアドル人）の受け入れ申請を行い、文部科学省により承認された。大使館推薦による国費外国人留学生の受け入れは、本学初である。

・留学生の受け入れ体制の整備と留学生支援

外国人留学生サポーター制度を運用し、また留学生のための日本語講座を開始した。新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、新規入国の留学生に対しては2週間のホテル待機を命じるなどして、感染防止に努めた。

・留学生のためのイベント開催

6月に留学生交歓会を、1月には弥彦神社への初詣イベントを実施し、留学生の本学に対する満足度向上を図った。

(6) アスレティックデパートメント推進機構

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（副学長，機構長），西原康行（HS学科長，強化指定クラブ運営部長），伊藤篤司（HS，アスレティックデパートメント推進部長），小野哲之（大学事務局長），稲田茂高（スポーツ振興室長），西海幸頼・吉田千晃（スポーツ振興室），南 俊之（広報課）

②会議開催回数 16回（メール審議含）

③審議事項及び承認事項等

- 1) アスレティックデパートメント（以下「AD」）推進機構運営委員会の目的について審議し，承認した。
- 2) AD推進機構全体体制について審議し，承認した。
- 3) 強化指定クラブ運営委員長およびAD推進委員長，部会長を選出し承認した。
- 4) 強化指定クラブ運営委員会およびAD推進委員会・各部会の役割について審議し，承認した。
- 5) AD推進機構運営委員会の開催日程等について審議し，決定した。
- 6) AD推進機構運営委員会の規程案について審議し，承認した。
- 7) 強化指定クラブ公式戦に伴うPCR検査後の活動について審議し，承認した。
- 8) 強化指定クラブ体制について報告した。
- 9) 新型コロナウイルス対策共通事項改定について審議し，承認した。
- 10) 体調不良者対応フロー改定について審議し，承認した。
- 11) 強化指定クラブ運営委員会およびAD推進委員会の規程案について審議し，承認した。
- 12) スカウティング学生練習参加および大学見学について審議し，承認した。
- 13) 公式戦を除く県外遠征等実施について審議し，承認した。
- 14) 10月以降の公式戦PCR運用一部改正について審議し，承認した。
- 15) 強化指定クラブ活動停止について（1月17日～当面の間（目安24日））審議し，承認した。
- 16) 強化指定クラブ活動停止について（1月17日～1月31日迄）審議し，承認した。
- 17) 強化指定クラブ自主練習からの活動再開に関する概要について審議し，承認した。
- 18) 新入生の2月以降の早期入寮・練習参加見送りについて審議し，承認した。
- 19) 強化指定クラブ活動再開について審議し，承認された。
- 20) 学内トレーニングセンター利用再開について審議し，承認した。
- 21) 2023年度対象スカウト高校生練習参加について審議し，承認した。
- 22) 2022年度4月以降の公式戦・強化遠征とのPCR検査について審議し，承認した。

④特記事項

- 1) 水泳部，硬式野球部の特別活動について審議し，承認した。
- 2) 陸上競技部の特別活動について審議し，承認した。
- 3) 硬式野球部 新型コロナウイルス発生対応報告および対応検証について審議し，再発防止に取り組む

ことを条件に活動再開を許可した。

- 4) 陸上競技部 新型コロナウイルス発生対応報告および対応検証について審議し、再発防止に取り組むことを条件に活動再開を許可した。
- 5) 水泳部、男子サッカー部の大会参加について審議し、特別承認した。
- 6) UNIVAS AWARDSに4部門入賞(①ウーマン・オブ・ザ・イヤー ②サポーター・オブ・ザ・イヤー③コーチ・オブ・ザ・イヤー④MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」)し、ウーマン・オブ・ザ・イヤー、MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」の2部門で優秀賞を獲得したことを報告した。

① 強化指定クラブ運営部

ア 強化指定クラブ運営委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

西原康行(HS, 委員長), 下山好充(HS, 水泳部監督), 小林志郎(HS, 陸上競技部監督), 佐熊裕和(男子サッカー部監督), 草木克洋(女子サッカー部監督), 若月弘久(HS, 男子バスケットボール部監督), 伊藤篤司(HS, 女子バスケットボール部監督), 濱野礼奈(HS, 女子バレーボール部監督), 鶴瀬亮一(HS, 硬式野球部監督), 若井由梨(HS, ダンス部監督), 品田穂雄(卓球部監督), 久保 晃(HS, 男子バレーボール部監督), 西海幸頼(スポーツ振興室, テニス部監督), 稲田茂高(スポーツ振興室長), 吉田千晃(スポーツ振興室)

②会議開催回数 5回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 強化指定クラブの新体制, AD推進機構の組織について説明した。
- 2) 2020年度総括(10クラブ)・2021年度目標(12クラブ), 各部の取組等について共有を図った。
- 3) 学業とスポーツ両立の重要性について再確認を行い, 共有した。
- 4) AD推進機構にて承認された, 強化指定クラブPCR検査運用(公式戦・強化遠征等)について周知した。
- 5) AD推進機構にて承認された, スカウティング学生 練習参加および大学見学について実施方法を周知した。
- 6) AD推進機構にて承認された, 10月以降の公式戦PCR運用一部改正について実施方法を周知した。
- 7) 学生募集(スカウティング)の目標達成について, 現状報告と進捗確認を実施した。
- 8) 強化指定クラブ部費会計監査の実施と監査結果のフィードバックを実施した。
- 9) 強化指定クラブ新型コロナワクチン接種状況調査とワクチン接種推進を依頼した。
- 10) 新型コロナウイルス感染対策 体調不良者対応フローの再確認と徹底依頼した。
- 11) 強化指定クラブ活動再開に伴う活動方針について周知徹底を実施した。

④特記事項

- 1) 新入生オリエンテーションを6月2日(水)・3日(木)に実施した。
- 2) UNIVAS AWARDSに4部門入賞(①ウーマン・オブ・ザ・イヤー ②サポーター・オブ・ザ・イヤー③コーチ・オブ・ザ・イヤー④MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」)し, ウーマン・オブ・ザ・イヤー, MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」の2部門で優秀賞を獲得したことを報告した。

② アスレティックデパートメント推進部

ア アスレティックデパートメント推進委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

伊藤篤司(HS, 委員長), 鶴瀬亮一(HS, 選手強化支援部会長), 馬場康博(HS, 修学・生活支援

部会長), 秋山隆之 (HS, 社会・地域活動推進部会長), 小林志郎 (HS, スカウト部会長), 中原英伸 (入試広報部長, ブランド力向上部会長), 稲田茂高 (スポーツ振興室長), 西海幸頼・吉田千晃 (スポーツ振興室), 南 俊之 (広報課)

②会議開催回数 11回

③審議事項及び決定事項等

- 1) 中期アクションプランに基づき各部会の役割の確認と周知を実施した。
- 2) 選手強化支援部会において学内研究センターや機能と連携した科学的アプローチ支援対策を構築するための調査を実施した。
- 3) 選手強化支援部会において強化指定クラブにおける研究実績調査を実施した。
- 4) 選手強化支援部会において強化指定クラブにおける共同研究意向調査を実施した。
- 5) 修学・生活支援部会において強化指定クラブにおける学科との連携による成績管理と学修支援体制の現状調査を実施した。
- 6) 修学・生活支援部会において強化指定クラブにおける学業基準策定の検討を実施した。
- 7) 修学・学修支援部会においてUNIVAS AWARDS2021-2022に推薦する学内候補者選考を実施した。
- 8) 修学・生活支援部会において学業とスポーツを両立するための学科連携によるカリキュラム改編の検討を実施した。
- 9) 社会・地域活動推進部会において2019年-2021年度に各強化指定クラブで開催した社会・地域貢献活動の実態活動調査を実施した。
- 10) 社会・地域活動推進部会においてスポーツ教室, 地域への指導者(部員)の派遣制度の検討を実施した。
- 11) スカウト部会において優秀な高校生の入学に向けたスポーツ特待制度の課題調査の実施した。
- 12) スカウト部会においてスカウティング活動における現状課題調査を実施した。
- 13) スカウト部会において他大学におけるスポーツ留学生受入実態調査を実施した。
- 14) スカウト部会において強化指定クラブの監督へスポーツ留学生のニーズ調査を実施した。
- 15) ブランド力向上部会において3ヶ年計画の方針策定した。
- 16) ブランド力向上部会において強化指定クラブの一体感, 統一感を醸成するためのビジュアルアイデンティティ (VI) 策定に伴う監督へのヒアリングを実施した。

④特記事項

- 1) UNIVAS AWARDSに4部門入賞 (①ウーマン・オブ・ザ・イヤー ②サポーティング・スタッフ・オブ・ザ・イヤー③コーチ・オブ・ザ・イヤー④MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」) し, ウーマン・オブ・ザ・イヤー, MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」の2部門で優秀賞を獲得したことを報告した。

6. 大学情報の公開と広報

1) 公開講座等

全て中止

2) 広報活動

(1) 大学広報誌の発行 (QOLサポーター新潟)

- ・2021年4月5日 第55号 発行
- ・2021年9月30日 第56号 発行
- ・2021年12月6日 第57号 発行

(2) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット, 入試ガイド, 募集強化学科リーフレット (全8学科), 教員紹介, 出張講義・講演一覧, 学費等支援制度案内リーフレット, WEBオープンキャンパス告知DM, 選抜区分別出願案内DM等

(3) ホームページの管理・運営

- ・WEBでの動画コンテンツの充実化, ユーザビリティ向上, SEO (内部・外部) 施策の充実化, WEB広告出稿等, WEBプロモーションの強化
- ・「研究力サイト」による, 私立大学研究ブランディング事業をはじめとする本学の研究についての情報発信
- ・アドミッションポリシー, 入学者選抜試験概要等の入試情報の発信
- ・学部学科情報, 強化指定クラブ情報, WEBオープンキャンパス等の大学情報の発信
- ・教育研究上の目的, 授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス&ニュース掲載 年間303本
- ・部局ブログ (学科・強化指定クラブ・各種支援センター) による情報発信
- ・大学公式アプリ, Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE@, TikTok, Voicy等による情報発信

(4) WEBオープンキャンパスの実施

- ・年間37回開催 (5月 [2回], 6月 [4回], 7月 [4回], 8月 [3回], 9月 [2回], 10月 [4回], 11月 [4回], 12月 [4回], 1月 [3回], 2月 [1回], 3月 [6回])

(5) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス 78会場
- ・高校内ガイダンス 351校
- ・資料参加 (会場・高校) 615件
- ・高校出張講義 講座 77講座
- ・大学見学 48団体

(6) 高校教諭対象 入試WEB説明会の実施

- ・開催期間 2021年6月21日 (月) ~7月23日 (金)
- 参加者数 60校78名

(7) メディア広報

- ・パブリシティー掲載 TV, 新聞等 年間1,563件掲載 (内, 全国1,162件)

(8) その他

- ・高校訪問活動, コンソーシアム新潟への参加

7. 研究活動

1) 学長

氏名：西澤 正豊

1 研究題目 地域包括ケアシステム，地域共生社会

2 著書

1. 西澤正豊. 脊髄小脳変性症 (SCD)・多系統萎縮症 (MSA), 筋萎縮性側索硬化症 (ALS), 脊髄性筋萎縮症 (SMA), 球脊髄性筋萎縮症 (SBMA). In Year Note Topics 2022-2023内科・外科疾患, 12th ed. 東京: Medic Media; 2022: J-21-22, J23-24, J25-26.

3 論文

1. Kato T, Manabe R, Igarashi H, Kametani F, Hirokawa S, Sekine Y, Fujita N, Saito S, Kawashima Y, Hatano Y, Ando S, Nozaki H, Sugai A, Uemura M, Fukunaga M, Sato T, Koyama A, Saito R, Sugie A, Toyoshima Y, Kawata H, Murayama S, Matsumoto M, Kakita A, Hasegawa M, Ihara M, Kanazawa M, Nishizawa M, Tsuji S, Onodera O: Candesartan prevents arteriopathy progression in cerebral autosomal recessive arteriopathy with subcortical infarcts and leukoencephalopathy model. J Clin Invest 2021; 131 (22): e140555. (査読あり)
2. 西澤正豊. 「中枢神経系原発悪性リンパ腫」－脳神経内科医はどのように向かい合うべきか. BRAIN and NERVE. 2021; 73(10): 1067-74.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経学会 (名誉会員, 専門医, 指導医), 内科学会 (名誉会員, 認定内科医, 指導医), 神経免疫学会 (名誉会員), 認知症学会 (代議員, 指導医), 神経化学学会 (功労会員), 神経感染症学会 (功労会員), 日本難病ネットワーク学会 (顧問), 日本難病センター研究会 (副会長), 新潟医療福祉学会 (会頭), American Academy of Neurology (Active Corresponding Member)

2) 学会等でのその他の活動

1. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 講演「多職種連携による認知症の地域包括ケア」, 新潟市, 2021.9.5.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 国立病院機構「良質な医師を育てる研修 神経・筋 (神経難病)」診療中級研修「神経難病と倫理」, 三島市国立病院機構静岡病院, 2021.8.7.
2. 全国視能訓練士学校協会第14回教員研修会「近未来の視能訓練士Part2視能訓練士教育の見直し」講演「難病支援と多職種連携～視能訓練士の職域拡大～」, 新潟市, 2022.1.20.
3. 令和3年度第1回難病患者在宅支援 (大阪府受託) 事業研修会, 「神経難病医療と倫理」, 大阪大学医学部附属病院難病医療推進センター, 2022.3.11.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報, にいがた人の本棚 小澤勲著「痴呆を生きるということ」, 2021.11.14.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟ロータリークラブ卓話, 「認知症は予防できるか」, 新潟市イタリヤ軒, 2021.6.15.

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

厚生労働省厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会 (委員), 日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業 (プログラム・オフィサー, 課題評価委員会委員), 同産学医療連携イノベーション創出プログラム (課題評価委員), 同研究企画課FORCE (評価委員), 新潟市難病対策地域協議会 (会長), 新潟県難病医療連絡協議会 (会長)

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

NPO法人新潟難病医療ネットワーク (理事長), 日本多発性硬化症協会 (顧問), 日本脊髄小脳変性症・多

系統萎縮症友の会（顧問）

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 医学入門2021「自己決定権・医師幫助自死」, 2021.10.25.
2. 新潟大学医学部, 医学入門2021「新潟水俣病の50年」, 2021.11.29.

7 学内委員会活動 総務会（議長）, 大学院委員会, 合同教授会, 大学院研究科委員会, 危機管理対策委員会（委員長）

2) リハビリテーション学部

（1）理学療法学科

氏名：大西 秀明

1 研究題目 知覚学習・運動学習に関する研究

2 論文

1. Hirabayashi R, Edama M, Saito A, Yamada Y, Nawa R, Onishi H. Effects of clenching strength on exercise performance: Verification using spinal function assessments. *Sports Health (JCR)*. 2021; 19417381211014836. (review)
2. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Effects of transcranial random noise stimulation timing on corticospinal excitability and motor function. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2021; 414(113479), 113479. (review)
3. Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Igarashi K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of catechol-O-methyltransferase gene polymorphism on the correlation between alexithymia and hypervigilance to pain. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2021; 18(24), 13265. (review)
4. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The number or type of stimuli used for somatosensory stimulation affected the modulation of corticospinal excitability. *Brain Sciences (JCR)*. 2021; 11(11), 1494. (review)
5. Miyaguchi S, Inukai Y, Hashimoto I, Otsuru N, Onishi H. Sleep affects the motor memory of basketball shooting skills in young amateurs. *Journal of Clinical Neuroscience: Official Journal of the Neurosurgical Society of Australasia (JCR)*. 2022; 96, 187-193. (review)
6. Miyaguchi S, Inukai Y, Mitsumoto S, Otsuru N, Onishi H. Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2022; 424(113805), 113805. (review)
7. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu J B, Onishi H, Tsuji T. Relationship between balance function and QOL in cancer survivors and healthy subjects. *Medicine (JCR)*. 2021; 100(46), e27822. (review)
8. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Watanabe H, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: A voxel-based morphometric study. *Neuroscience Letters (JCR)*. 2022; 772(136445), 136445. (review)
9. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. *European Journal of Pain (London, England) (JCR)*. 2022; 26(2), 349-355. (review)
10. Oyanagi K, Kitai T, Yoshimura Y, Yokoi Y, Ohara N, Kohara N, Sakai N, Honda A, Onishi H, Iwata K. Effect of early intensive rehabilitation on the clinical outcomes of patients with acute stroke. *Geriatrics & Gerontology International (JCR)*. 2021; 21(8), 623-628. (review)
11. Sakai S, Saito K, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Grating orientation task trial numbers for short-

- and long-term tactile discrimination learning. *Journal of Clinical Neuroscience: Official Journal of the Neurosurgical Society of Australasia (JCR)*. 2021; 93, 195–199. (review)
12. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of relaxation by autonomous sensory meridian response. *Frontiers in Behavioral Neuroscience (JCR)*. 2021; 15, 761621. (review)
 13. Sasaki R, Kojima S, Onishi H. Do brain-derived neurotrophic factor genetic polymorphisms modulate the efficacy of motor cortex plasticity induced by non-invasive brain stimulation? A systematic review. *Frontiers in Human Neuroscience (JCR)*. 2021; 15, 742373. (review)
 14. Sasaki R, Miyaguchi S, Onishi H. Effect of brain-derived neurotrophic factor gene polymorphisms on motor performance and motor learning: A systematic review and meta-analysis. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2022; 420(113712), 113712. (review)
 15. Sasaki R, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2021; 412(113433), 113433. (review)
 16. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray matter volume variability in young healthy adults: Influence of gender difference and brain-derived neurotrophic factor genotype. *Cerebral Cortex (JCR)*. 2021 (in press) (review)
 17. 金子文成, 大西秀明, 大畑光司, 高橋容子, 松田雅弘, 森岡周. 経頭蓋磁気刺激の理学療法領域における使用に関する声明. *理学療法学 (協力学術団体)*. 2022; 49(2): 95-98. (査読あり)
 18. 大西秀明. 体性感覚情報処理と脳活動. *理学療法ジャーナル*. 2021; 55(5): 1067-1072. (解説記事)
- 3 学会等研究発表
1. 大西秀明. 経頭蓋磁気刺激 (TMS) 使用に関するガイドラインと日本基礎・神経理学療法学会としてのステートメン. 第19回日本神経理学療法学会学術大会 (岩手・Web開催), 2021.12.18-12.19. (シンポジウム)
 2. 大西秀明. 体性感覚と皮質活動. 第61回近畿理学療法学会学術大会 (兵庫, Web開催), 2022.1.16. (講演)
 3. 大西秀明. 理学療法教育のこれから. 医学書院・座談会 (東京・ハイブリッド開催), 2022.3.19. (座談会)
 4. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂葉への経頭蓋直流電気刺激は下肢視覚追従課題の成績を向上させる. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (仙台市・ハイブリット開催), 2021.12.16-12.18.
 5. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真依, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (仙台市・ハイブリット開催), 2021.12.16-12.18.
 6. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (仙台市・ハイブリット開催), 2021.12.16-12.18.
 7. 丸山雄基, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる一定時間の触覚刺激介入が選択反応能力に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web開催), 2021.10.23-10.24.
 8. 羽二生未来, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, Gomez-Tames Jose, 平田晃正, 大西秀明. 鳥皮質刺激に対する心拍応答変化は, 失感情に関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web開催), 2021.10.23-10.24.
 9. 高橋世奈, 大鶴直史, 原正之, 長坂和明, 五十嵐眸実, 大西秀明. 失感情症と偽の内受容フィードバックに対する応答性. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web開催), 2021.10.23-10.24
 10. 渡邊拓, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激が一次体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web開催), 2021.10.23-10.24.
 11. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前

- 野に対する tACS が痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
12. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 13. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心活動制御と関連する. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 14. 宮口翔太, 三本柊士, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳および補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 15. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いた Paired Pulse Depression と二点識別覚機能との関連. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 16. 長坂和明, 山本真憂, 川上守, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛ラットモデルにおける高次運動皮質の薬理的抑制が疼痛様行動に及ぼす影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 17. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的效果. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 18. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 19. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 20. 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に及ぼす影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 21. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに及ぼす影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 22. 犬飼康人, 鈴木遥香, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. スラックライントレーニングの即時的効果に nGVs が与える影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌市・Web 開催), 2021.10.23-10.24.
 23. 神居寧, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 刺激部位の異なる末梢神経電気刺激が下肢反応時間および脊髄反射に及ぼす影響. 第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web 開催), 2021.9.18-9.21.
 24. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質の神経応答. 第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web 開催), 2021.9.18-9.21.
 25. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛モデルラットにおける扁桃核-島皮質神経回路の神経活動の変化. 第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web 開催), 2021.9.18-9.21.
 26. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽によって喚起される情動と灰白質容積との関連 - Voxel based morphometry を用いた検証 -. 第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web 開催), 2021.9.18-9.21.
 27. 平林怜, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第 76 回日本体力医学会大会 (Web 開催), 2021.9.17-9.30.
 28. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核の電気刺激によって生じる皮質神経活動の電気生理学的特徴. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2021 (Web 開

催), 2021.9.3-9.5.

29. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる島皮質神経活動の電気生理学的特徴-脳卒中後疼痛モデルを対象とした研究-. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 (Web開催), 2021.9.3-9.5.
30. 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 静的及び動的な触覚刺激介入が触覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟市・Web開催), 2021.10.30.
31. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いがActive Touch介入効果に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟市・Web開催), 2021.10.30.
32. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる後部島皮質神経活動の電気生理学的特徴-脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした研究-. 第21回新潟医療福祉学会. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟市・Web開催), 2021.10.30.
33. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質神経活動の時空間的動態の解明-膜電位感受性色素を用いた光学イメージング-. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟市・Web開催), 2021.10.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 全国大学理学療法教育学会 (理事長), 日本基礎理学療法学会 (副理事長), 日本生体磁気学会 (評議員), 日本臨床神経生理学会 (代議員), 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県理学療法士会, 新潟スポーツ傷害フォーラム
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第21回新潟医療福祉学会学術大会. 大会長. 新潟市. 2021.10.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士協会 (協力学術団体), 「理学療法学」査読員
 2. 日本理学療法士協会 (協力学術団体) Physical Therapy Research, 査読員
 3. 日本基礎理学療法学会 (協力学術団体). 理学療法と非侵襲的脳刺激に関する小委員会・委員 (活動機関: 2021.4.1-2022.3.31)

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 大西秀明. 社会から求められる専門職育成~レジデント制度は未来に何をもちたすかを考える~ (講演). 2022理学療法士・作業療法士・言語聴覚士レジデントフォーラム. Web開催, 2022.3.12.
 2. 令和3年度日本理学療法士教員協議会, 主催 (企画・運営, 報告書作成). Web開催. 2021.3.26 (活動期間: 2021.11-2022.3.31)
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本理学療法士協会. 専門認定更新研修会 e-ラーニングコンテンツ「動物およびヒトを対象とした理学療法の基礎研究 (基礎理学療法)」作成. 企画・監修. 2021.7.7-10.31.
 2. 日本基礎理学療法学会 NIBS 会議. 理学療法士の rTMS 使用に関するトレーニングについて (話題提供). 東京・Webハイブリッド開催. 2022.3.5. (活動期間: 2021.4.1-2022.3.31)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 基盤研究 (B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発 (分担), 代表: 佐藤大輔
 2. 2021年度, 基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開 (分担), 代表: 小島翔
 3. 2021年度, 基盤研究 (C), マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案 (分担), 代表: 宮口翔太
 4. 2020年度, 挑戦的研究 (開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」

の可視化 (代表)

5. 2020年度, 挑戦的研究 (萌芽), 新しいニューロリハビリテーションを可能にするMEG対応ハブティック技術の創成 (分担), 代表: 原正之
 6. 2020年度, 基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微少循環の評価法の開発と検証 (分担), 代表: 椿淳裕
 7. 2020年度, 基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発 (分担), 代表: 斎藤慧
 8. 2019年度, 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して- (代表)
 9. 2019年度, 基盤研究 (B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略 (分担), 代表: 大鶴直史
- 7 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構 (機構長), 将来計画機構 (機構長), 自己点検・評価委員会 (委員), 外部評価準備委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所長)

氏名: 椿 淳裕

- 1 研究題目 運動時の脳活動と循環反応に関する研究, 内部障害と身体活動に関する研究, 呼吸機能と理学療法, 急性期のリスク管理
- 2 論文
 1. Oyanagi K, Tsubaki A. Effects of increased respiratory rate on cortical oxygenated hemoglobin during low-intensity exercise. *Respiratory Physiology & Neurobiology*. 2021; 291: 103691. (review)
 2. Inagaki Yi, Sato R, Uchiyama T, Kojima S, Morishita S, Qin W, Tsubaki A. Sex Differences in the Oxygenation of the Left and Right Prefrontal Cortex during Moderate-Intensity Exercise. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2021; 18: 5212. (review)
 3. Abe T, Yoshimura Y, Imai R, Yoneoka Y, Tsubaki A, Sato Y. Impact of Phase Angle on Physical Function in Patients with Acute Stroke. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 2021; 30(9): 105941. (review)
 4. Usui N, okoyama M, Nakata J, Suzuki Y, Tsubaki A, Kojima S, Inatsu A, Hisadome H, Uehata A. Association between social frailty as well as early physical dysfunction and exercise intolerance among older patients receiving hemodialysis. *Geriatrics & Gerontology International*. 2021; 21(8): 664-669. (review)
 5. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Igarashi K, Narita I. Comparison of muscle strength between hemodialysis patients and non-dialysis patients with chronic kidney disease. *Journal of Physical Therapy Science*. 2021; 33(10): 742-747. (review)
 6. Usui N, Uehata A, Nakata J, Inatsu A, Tsubaki A, Saitoh M, Izumi T, Chiba Y, Kojima S, Suzuki Y. Effect of blood volume change related to intensity of intradialytic aerobic exercise on hemodialysis adequacy: a pilot study. *International Urology and Nephrology* 2022; 54(6): 1427-1434. (review)
 7. Morishita S, Hirabayashi R, Tsubaki A, Aoki O, Fu J, Onishi H, Tsuji T. Relationship between balance function and QOL in cancer survivors and healthy subjects. *Medicine*. 2021; 100(46): e27822 (review)
 8. Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, Tsubaki A, Morishita S, Igarashi K, Narita I. Fear of falling and physical activity in hemodialysis patients: a pilot study. *Renal Replacement Therapy*. 2021; 7: 63. (review)
 9. Nashimoto S, Inoue T, Hotta K, Sugito Y, Iida S, Tsubaki A. The Safety of Exercise for older patients with Severe Aortic Stenosis undergoing Conservative Management: A narrative review. *Physiological Reports*. 2022; 10(8): e15272. (review)
- 3 学会等研究発表

1. 大箭周平, 岩田健太郎, 北井豪, 中島璃奈, 大塚修斗, 稲垣優太, 阿部貴文, 下我意崇亨, 本田明広, 幸原伸夫, 榎淳裕, 古川裕. 心不全患者における退院時SPPBが6ヶ月以内の全死亡と再入院に及ぼす影響. 第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (千葉市/Web開催), 2021.6.19-6.20.
2. 稲垣優太, 岩田健太郎, 北井豪, 梶月幹太, 大塚修斗, 阿部貴文, 大箭周平, 下我意崇亨, 本田明広, 幸原伸夫, 榎淳裕, 古川裕. 冠動脈バイパス術患者における術後リハビリテーション遅延と術前呼吸機能の関連. 第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (千葉市/Web開催), 2021.6.19-6.20.
3. 武田智徳, 榎淳裕, 能登真一, 鈴木真弓, 津島正明, 桑原陽子, 澤田凱志, 国府田剛, 森まゆか, 金井利沙, 寺崎義貴, 池田礼史, 加藤律史, 内田龍制, 牧田茂. 心臓デバイス術後1ヵ月の作業能力は健康関連QOLに関連がある. 第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (千葉市/Web開催), 2021.6.19-6.20.
4. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tokunaga Y, Kojima S, Qin W, Onishi H. Cerebral blood volume and oxygen exchange in the prefrontal cortex changes during and after 20-min moderate-intensity cycling exercise. Asia Prevent (Chiba · Japan/ Web), 2021.6.19-6.20.
5. Hotta K, Fujii Y, Matoh K, Ikeda M, Umek S, Inoue T, Morishita S, Tsubaki A. Skeletal muscle PO₂ kinetics during hyperoxemia. Asia Prevent (Chiba · Japan/ Web), 2021.6.19-6.20.
6. Hitosugi N, Hotta K, Osuga M, Hori K, Inoue T, Morishita S, Tsubaki A. Effect of Passive Calf Muscle Stretching on Popliteal Artery Blood Flow and Gastrocnemius Muscle Oxygenation. Asia Prevent (Chiba · Japan/ Web), 2021.6.19-6.20.
7. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Kojima S, Qin W, Onishi H. Cerebral blood volume and cerebral oxygen exchange in the motor-related area during and after a 20-min moderate-intensity cycling exercise: A near-infrared spectroscopy vector analyses. 48th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting (Web), 2021.7.25-7.30.
8. Ishii Y, Asami T, Sakai W, Hotta K, Morishita S, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Effect of moderate-intensity one-leg pedaling exercise on prefrontal cortex oxygenation and executive function. 3rd International Neuroergonomics Conference (Web), 2021.9.11-9.15.
9. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, 横田裕丈, 森下慎一郎, 榎淳裕, 大西秀明. 運動開始前における心臓の予測的応答と主観的疲労感の関連. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (Web), 2021.9.18-9.24.
10. 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 榎淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しないーリン光クエンチング法を用いた検討ー. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (Web), 2021.9.25-9.26.
11. 三留慶吾, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 榎淳裕. ラット骨格筋の毛細血管血流は高濃度酸素の吸入により減少する. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (Web), 2021.9.25-9.26.
12. 松下育美, 清水杏菜, 羽入田泰彦, 大滝悠真, 秦偉翔, クタンニ, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 榎淳裕. 一側の断続的なハンドグリップ運動が実行機能及び左右前頭前野の脳酸素化動態及び実行機能に与える影響. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (Web), 2021.9.25-9.26.
13. クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 榎淳裕. 高強度インターバル運動と中強度持続運動を用いた異なる運動様式間での脳酸素動態と心循環応答の比較. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (Web), 2021.9.25-9.26.
14. 秦偉翔, クタンニ, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 榎淳裕. 40分運動中の前頭前野酸素化ヘモグロビンと呼吸終末二酸化炭素分圧との関係. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (Web), 2021.9.25-9.26.
15. 松橋日和, 本間友也, 高見健太郎, 西山瑠奈, 堀田一樹, 井上達朗, 森下慎一郎, 秦偉翔, クタンニ, 榎淳裕. 静脈駆血による乳酸濃度の上昇および上肢クランク運動中の呼吸・循環の応答. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (Web), 2021.10.16.

16. クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 高強度インターバル運動中の前頭前野における酸素動態の変化: 近赤外分光法による計測. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (Web), 2021.10.16.
17. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心応答と関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (Web), 2021.10.23-10.24.
18. 秦偉翔, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, クタンニ, 松橋日和, 椿淳裕. ワーキングメモリ機能が異なる被験者に対する適切な運動時間の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (Web), 2021.10.23-10.24.
19. 齋藤寛代, 小澤祐治, 新山祐貴, 平田萌々花, 小澤哲也, 佐藤隆一, 堀田一樹, 椿淳裕, 山中祐路. ウェアラブル型NIRSを用いた急性期脳卒中患者におけるベッドアップ時の大脳皮質酸素動態変化. 第37回神奈川県理学療法士学会 (Web), 2021.11.22-11.29.
20. 佐藤隆一, 小澤哲也, 小澤祐治, 大山由廉, 霜田直史, 武井章哲, 椿淳裕, 堀田一樹. 365日リハビリテーション体制に向けた公立病院におけるレジデント制度導入について. 第4回日本理学療法管理研究会学術大会 (Web), 2021.12.4-12.5.
21. 小島将, 白井直人, 稲津昭仁, 椿淳裕, 繁竹真人, 千葉康雄, 上畑昭美. 維持血液透析患者における腹部の脂肪分布と全死亡, 心血管イベントの関連. 第12回透析運動療法研究会 (Web), 2022.1.30
22. Tsubaki A, Qu D, Tamiya H, Hotta K. Acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation changes. 第47回日本微小循環学会総会 (Web), 2022.3.19-3.20.
23. Qu D, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Cortical oxygenation changes of high-intensity interval exercise versus moderate-intensity continuous exercise. 第47回日本微小循環学会総会 (Web), 2022.3.19-3.20.
24. Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Effect of Sepsis on Microvascular Oxygen Pressure in Rat Diaphragm. 第47回日本微小循環学会総会 (Web), 2022.3.19-3.20.
25. Hitosugi N, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Skeletal muscle interstitial oxygen partial pressure from rest to contractions in the rat cecal ligation and puncture model. 第47回日本微小循環学会総会 (Web), 2022.3.19-3.20.
26. Takamizawa R, Hotta K, Hitosugi N, Tamiya H, Tsubaki A. Transcapillary PO₂ gradients in contracting muscles of diabetes. 第47回日本微小循環学会総会 (Web), 2022.3.19-3.20.
27. 橋本和哉, 岩田健太郎, 稲垣優太, 市瀬裕也, 木村優太, 佐藤大地, 本田明広, 椿淳裕. くも膜下出血患者の早期離床の可否を左右する要因の視覚化. STROKE2022 (Web), 2022.3.17-3.22.
28. 小島将, 白井直人, 椿淳裕. 理学療法士の視点から考える医療・職種連携. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (Web), 2022.3.26-3.27. 【シンポジウム】
29. 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しないーリン光クエンチング法を用いた検討ー. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (Web), 2022.3.26-3.27.
30. 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 成田一衛. 動的バランス機能は血液透析患者の転倒回数と関連する. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (Web), 2022.3.26-3.27.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 日本糖尿病学会, 日本基礎理学療法学会, 日本呼吸理学療法学会, 日本循環器理学療法学会, 日本糖尿病理学療法学会, 日本生理学会, 日本運動生理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床生理学会, 日本心不全学会, 日本高血圧学会, 日本睡眠学会, 日本抗加齢医学会, 日本微小循環学会, 新潟医療福祉学会, The European College of Sport Science, International Society on Oxygen Transport to Tissue, International Society of Physical Medicine and Rehabilitation, International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism, European Respiratory

Society, European Association for the Study of Diabetes, European Association of Preventive Cardiology, The Physiological Society, American Physiological Society, American Heart Association

2) 学術集会の主催

1. 新潟医療福祉学会, 第20回学術集会, 実行委員長, 新潟市, 2021.10.30.

3) 学会等でのその他の活動

1. 理学療法学, 査読委員
2. Physical Therapy Research, 査読委員
3. Frontier in Human Neuroscience, Review board
4. Frontier in Physiology, Review board
5. International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor
6. Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer
7. 日本基礎理学療法学会, 評議員
8. 日本循環器理学療法学会, 評議員
9. 日本呼吸理学療法学会, 評議員
10. 医用近赤外線分光法研究会, 世話人
11. 日本呼吸理学療法学会誌, 査読委員
12. 日本循環器理学療法学会誌, 編集委員
13. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会表彰委員会, 表彰委員長

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和3年度新潟県厚生連言語聴覚士研修会, 嚥下障害や循環器疾患を有する対象者への介入の視点, 講師, 新潟県厚生連言語聴覚士研修会, 新潟県厚生連言語聴覚士, 新潟医療センター, 2021.7.17.
2. 理学療法士講習会(基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎: 運動時の生体反応, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2022.2.23.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

1. 新潟市健康づくり推進委員会(委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020-2023年度, 基盤研究B: 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 研究代表者
2. 2019-2022年度, 地球快適化インスティテュート, 共同研究, 運動時のNear Infrared Spectroscopy(NIRS)測定における運動強度の影響および再現性, 個体間差の研究, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. Asia PRevent Award of Excellence (2021.6.19-6.20)

7 学内委員会活動 入試委員会(委員長), アドミッション・オフィス(室長), 研究・産官学連携推進機構, 研究・産官学連携推進部(部長), プロジェクト研究センター運営委員会(委員長), 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

氏名: 江玉 睦明

1 研究題目 機能解剖学に関する研究(機能解剖学), スポーツ傷害に関する研究(スポーツ科学)

2 論文

1. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surgical and Radiologic Anatomy. 2021. Oct; 43(10): 1691-1695. (review)
2. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Syagawa M, Togashi R,

- Yamada Y, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. *Surgical and Radiologic Anatomy*. 2021. Dec; 43(12): 2077-2081. (review)
3. Edama M, Matsuzawa K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Sato N. Elbow valgus stability of the transverse bundle of the ulnar collateral ligament. *BMC Musculoskeletal Disorders*. 2021 Oct 12; 22(1): 873. (review)
 4. Matsuzawa K, Edama M, Otsuki T, Maruyama S, Ikezu M, Kageyama I. Relationship between morphology of transverse bundle of ulnar collateral ligament and adjacent tissues. *Surgical and Radiologic Anatomy*. 2021 Oct; 43(10): 1603-1607. (review)
 5. Hirabayashi R, Edama M, Saito A, Yamada Y, Nawa R, Onishi H. Effects of clenching strength on exercise performance: Verification using spinal function assessments. *Sports Health*. May-Jun 2022; 14(3): 404-414. (review)
 6. Yoshioka K, Matsuzawa K, Ikuta T, Maruyama S, Edama M*. Changes in medial elbow joint space when elbow valgus stress is applied at different limb positions and loads in vivo. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 2021 Nov 22; 9(11): 23259671211045981. (review)
 7. Ikuta T, Yoshioka K, Matsuzawa K, Maruyama S, Edama M*. Influence of Continuous Elbow Valgus Stress on the Medial Elbow Joint Space. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 2021 Oct 11;9(10):23259671211045983. doi: 10.1177/23259671211045983. (review)
 8. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Hirata A, Yokoyama M, Edama M*. Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. *BMC Musculoskeletal Disorders*. 2021 Oct 18; 22(1): 886.(review)
 9. Inai T, Tkabayashi T, Edama M, Kubo M. Effects of step length and cadence on hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. *Peer j*. 2021 Jul 23; 9: e11870. (review)
 10. Ikarashi K, Sato D, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response inhibitory control varies with different sensory modalities. *Cerebral cortex*. 2022 Jan 10; 32(2): 275-285. (review)
 11. Ikezu M, Kudo S, Edama M, Ueda M, Kubo T, Hirata M, Watanuki M, Takeuchi H, Kaneiwa J, Iizuka Y, Hayashi H. Sites of flexor-pronator muscle injury and relationship between ulnar collateral ligament injury and flexor-pronator muscle injury in baseball players: A retrospective cohort study. *Journal of shoulder and elbow surgery*. 2022 Feb 18; S1058-2746(22)00231-2. (review)
 12. Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space when difference in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. *Journal of Shoulder and Elbow Surgery*. 2022 May 9; S1058-2746(22)00426-8. (review)
 13. Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes. *Healthcare*. *Healthcare* 2022, 10(4), 663.(review)
 14. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 変形性股関節症の進行を遅延させるためのバイオメカニクス研究 (総説). *基礎理学療法学*. 2021; 24(1): 26-32. (査読あり)
 15. 江玉睦明, 佐藤大輔. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」2021年度研究成果報告書.
- 3 報告書
 1. 江玉睦明. 基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者.
 2. 久保雅義, 高林知也, 須田裕紀, 江玉睦明, 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究分担者.
 - 4 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. JOSKAS/JOSSM meeting (web開催), 2021.6.17-6.19.
2. 江玉睦明, 高林知也. 胎児を用いたアキレス腱の捻れ構造の検討. 第46回日本足の外科学会 (web開催), 2021.11.11-11.12.
3. 江玉睦明, 高林知也. 胎児を用いた前距腓靭帯の線維束数の検討. 第46回日本足の外科学会 (web開催), 2021.11.11-11.12.
4. 江玉睦明. 足部・足関節の解剖を知る・アキレス腱の捻れ構造とその機能的役割について. 第46回日本足の外科学会 (web開催), 2021.11.11-11.12. 【シンポジウム】
5. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
6. 江玉睦明. 機能解剖学の視点からみた運動器障害. 第9回日本運動器理学療法学会 (web開催), 2021.9.11. 【オープニングセミナー】
7. Ikezu M, Kudo S, Edama M, Hayashi H. MRI Signal Intensity Changes Site of the Flexor-Pronator Muscles in Japanese Baseball Players. JOSKAS/JOSSM meeting (web開催), 2021.6.17-6.19.
8. 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 稲井卓真, 久保雅義. 数理モデルを用いたシミュレーション解析による膝蓋大腿関節ストレスの性差. 第26回日本理学療法基礎学会 (Web開催), 2021.10.23.
9. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩行速度と立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスの関係性. 第26回日本理学療法基礎学会 (Web開催), 2021.10.23-10.24.
10. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 昇段動作の速度と股関節内・外転モーメントインパルスの関係性. 第9回運動器理学療法学会 (Web開催), 2021.9.11-9.12.
11. 渡邊博史, 飯田晋, 佐藤卓, 渡辺聡, 田中正栄, 古賀寛, 遠藤和男, 江玉睦明, 大森豪, 古賀良生. 定量評価に基づいた膝伸展筋力に関する変形性膝関節症の疫学的検討と診療における大腿四頭筋setting exerciseの効果. 第32回日本運動器科学会 (Web開催), 2021.5.8-5.9. 【シンポジウム】
12. 丸山拓也, 伊藤渉, 三富咲恵, 金子未来, 佐藤俊光, 渡部莉那, 江玉睦明, 山本智章, 大森豪, 富山泰行. スポーツ選手におけるACL再建術後の復帰時のACL-RSIスコアと膝関節屈曲・伸展等速性筋力との関係. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2021.9.4-9.5.
13. 川村拓実, 伊藤渉, 江玉睦明. タックル姿勢における頭部の位置が肩関節外旋角度に及ぼす影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会 (web開催), 2021.12.11-12.12.
14. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会 (web開催), 2021.12.11-12.12.
15. 平林怜, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (web開催), 2121.9.17-9.19.
16. 本田優季, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉睦明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (web開催), 2121.9.17-9.19.
17. 武田真依, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉睦明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (web開催), 2121.9.17-9.19.
18. 南千裕, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉睦明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (web開催), 2121.9.17-9.19.
19. 横田裕丈, 小島翔, 江玉睦明, 平林怜, 関根千絵, 大鶴直史, 齊藤慧, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数及ぼす周波数特異的效果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web開催), 2021.10.23-10.24.

20. 川鍋ゆりか, 横田裕丈, 那須仁世, 高橋穂乃花, 平林怜, 関根千恵, [江玉睦明](#). 経皮的迷走神経刺激が痛覚知覚に及ぼす影響－自律神経活動の変調との関連－. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web開催), 2021.10.23-10.24.
21. 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, [江玉睦明](#), 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意方向に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web開催), 2021.10.23-10.24.
22. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 藤本知臣, [江玉睦明](#), 馬場康博, 山代幸哉. 感覚モダリティによる反応抑制の違い－性差に着目して－. 第76回日本体力医学会大会 (web開催), 2021.9.17-9.19.
23. 高林知也, [江玉睦明](#). ランニング中における前額面上の足関節, ショパール関節, リスフラン関節モーメントの違い. 第46回日本足の外科学会 (web開催), 2021.11.11-11.12.
24. 池津真大, 工藤慎太郎, [江玉睦明](#), 植田瑞穂, 久保貴敬, 竹内大樹, 兼岩淳平, 平田正純, 林英俊. 野球選手における肘尺側副靭帯損傷と屈曲回内筋群損傷の関係. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
25. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, [江玉睦明](#), 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回臨床神経生理学会 (web開催), 2021.12.16-12.18.
26. 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 山田勇輝, [江玉睦明](#), 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回臨床神経生理学会 (web開催), 2021.12.16-12.18.
27. 丸山紗永, 関根千恵, 舎川真侑, 横田裕丈, 平林怜, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, [江玉睦明](#). 月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
28. 内山祈, [江玉睦明](#), 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
29. 坪野啓, 工藤亮大, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山祈, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, [江玉睦明](#). 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
30. 三瀬貴生, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 阿久澤弘, 押川智貴, 松永直人, [江玉睦明](#), 大森豪, 金岡恒治. Scapular Dyskinesisが泳動作中の肩甲骨周囲筋活動及び肩甲骨挙動に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
31. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, [江玉睦明](#). 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
32. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 西須一紗, 林はるな, 大森豪, [江玉睦明](#). 陸上男子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
33. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, [江玉睦明](#). ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
34. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, [江玉睦明](#). 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
35. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, [江玉睦明](#). 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響－周波数特異性の検討－. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.

36. 稲葉洋美, [江玉睦明](#), 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
37. 星野美美, 稲葉洋美, [江玉睦明](#), 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食習慣との関連. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
38. 菊元孝則, 小林真里奈, [江玉睦明](#), 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会 (web開催), 2021.11.13-11.14.
39. 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, [江玉睦明](#). 重量物挙上動作における体幹筋活動解析－体幹筋トレーニングの即時効果検討－. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (web開催), 2021.10.30.
40. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, [江玉睦明](#), 山代幸哉. 月経周期による感覚運動抑制回路および運動機能の変動. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (web開催), 2021.10.30.
41. 高林知也, [江玉睦明](#), 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 膝関節屈曲角度と膝関節伸展モーメントの変化が膝蓋腱張力に与える影響. －モデルシミュレーション研究－. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (web開催), 2021.10.30.
42. 内山祈, [江玉睦明](#), 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (web開催), 2022.3.27-3.29.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会 (会員), 日本臨床スポーツ医学会 (会員), JOSKAS (会員), 日本足の外科学会 (会員), 日本解剖学会 (会員), 新潟スポーツ傷害フォーラム (理事), 新潟スポーツ理学療法研究会 (副代表), 足の構造と機能研究会 (理事), 体表解剖学研究会 (講師)
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 運営局長, 新潟市, 2021.10.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Scientific reports (#4e59cc72) 査読
 2. Journal of Clinical Medicine (# 1211023) 査読
 3. Journal of Clinical Medicine (# 1336595) 査読
 4. Journal of Clinical Medicine (# 1358980) 査読
 5. Journal of Clinical Medicine (# 1406760) 査読
 6. Journal of Clinical Medicine (# 1455201) 査読
 7. Anatomical science international (#21-00074) 査読
 8. Anatomical science international (#21-00167) 査読
 9. Physical Therapy Research (# E10116) 査読
 10. Physical Therapy Research (# E10135) 査読
 11. Physical Therapy Research (# E10170) 査読
 12. Surgical and Radiologic Anatomy (# D-21-00597) 査読
 13. Surgical and Radiologic Anatomy (# D-21-00671) 査読
 14. 新潟医療福祉学会 (# 2021-13) 査読
 15. 第9回日本運動器理学療法学会学術大会 演題査読
 16. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 演題査読
 17. 新潟医療福祉学会誌 (# 英2021-13) 査読
 18. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会 「スペシャルオーラルセッション」, 座長, Web開催,

2021.9.4-9.5.

19. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 「一般演題」, 座長, Web開催, 2021.10.23-10.24.

20. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 「一般演題」, 座長, Web開催, 2021.12.11-12.12.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. オンライン研修会, 筋・腱・靭帯の構造と機能解剖－肘関節編－, 講師, WoW Factor & Co, 理学療法士, 医師, Web開催, 2021.4.25.
 2. 第4回足の病気の専門家webセミナー, 足関節背屈制限改善のコツ!－理学療法セミナー, 司会, 医師, 理学療法士, 日本足の外科学会, Web開催, 2021.5.12.
 3. 新潟県厚生連理学療法士研修会, 「肉眼解剖学的見地から紐解く関節可動域制限」, 講師, 新潟県厚生連理学療法士会, 理学療法士, Web開催, 2021.6.13.
 4. 秋田県理学療法士会研修会, 下肢の機能解剖に基づいた理学療法, 講師, 秋田県理学療法士会, 理学療法士, Web開催, 2021.7.17.
 5. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー新潟市中体連部活動指導者研修会, 運営, 新潟スポーツ傷害フォーラム, 医師, 理学療法士, Web開催, 2021.8.27.
 6. オンライン研修会, 筋・腱・靭帯の構造と機能解剖－足関節編－, 講師, WoW Factor & Co主催, 理学療法士, 医師, Web開催, 2021.9.4.
 7. encounter オンラインセミナー, The 大腿直筋 構造と肉離れの復帰, 講師, encounter主催, 理学療法士, 医師, 2020.9.25.
 8. セラピストフォーライフ研修会, 解剖学的視点からみたスポーツ障害, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士, Web開催, 2021.10.3.
 9. 第2回体表解剖学研究会オンライン講演会, 膝関節屈曲可動域制限の追求～解剖学・体表解剖学の知識・技術の応用～, 講師, 一般社団法人体表解剖学研究会主催, 理学療法士, 作業療法士, 柔道整復師, Web開催, 2021.10.19.
 10. 第3回体表解剖学研究会オンライン講演会, 体表解剖学のススメ－3つの異なる領域例－, 企画・運営, 一般社団法人体表解剖学研究会, Web開催, 2021.12.15.
 11. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」シンポジウム, 次世代型女性ジュニア・アスリートのスポーツ傷害予防に向けて, 講師, 立命館大学主催, Web開催, 2022.2.12.
 12. 第12回SMAPセミナー, 肘外側の筋腱構造の解剖学的特徴, 講師, 先進整形外科エコー研究会主催, 整形外科医, 理学療法士, Web開催, 2022.2.20.
 13. 第13回アスレティックトレーナーズミーティング, アスレティックトレーナーに必要な足部・足関節の基礎知識, 講師, (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー岡山県協議会主催, Web開催, 2022.2.27.
 14. セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士, Web開催, 2022.3.6.
 15. セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士, Web開催, 2022.3.13.
 16. 日本基礎理学療法学会, 専門理学療法士(基礎理学療法学会)更新セミナーのためのe-ラーニング教材の作成, 資料作成, 日本基礎理学療法学会主催, 2021.9.1-10.30.
- ### 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. Webサイト, スポーツ栄養Web, 「国内の女子大学生アスリートの三主徴と受傷率の関係が明らかに新潟医療福祉大」2021.5.21.
 2. 理系進学情報誌, F-Lab, 「アキレス腱の「ねじれ構造」に注目し, アスリートを悩ますケガの予防に挑む!」2021.7.13.
 3. 理系進学情報Webサイト, F-Lab, 「アキレス腱の「ねじれ構造」に注目し, アスリートを悩ますケガ

の予防に挑む！」2021.8.30.

4. Webサイト, サンスポ.COM, 「オンラインシンポジウムのご案内「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」2022.1.18.
5. Webサイト, 沖縄タイムス, 「オンラインシンポジウムのご案内「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」2022.1.18.
6. Webサイト, 毎日新聞, 「オンラインシンポジウムのご案内「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」2022.2.7.

3) 社会活動への参加協力

1. 東京オリンピック競技大会, 選手村ポリクリニック医療支援スタッフ, 東京都, 2021.7.21-7.26.
2. 第68回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会, 東京都, メディカルサポート, 2021.11.30-12.2.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

(一社)日本スポーツ理学療法学会(評議員), (一社)日本基礎理学療法学会(評議員), (一社)日本基礎理学療法学会「理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会」(委員長), (一社)日本基礎理学療法学会「人体解剖学実習検討委員会」(委員), (一社)体表解剖学研究会(講師), 新潟スポーツ理学療法研究会(副代表), (一社)新潟県サッカー協会(医科学委員), 新潟スポーツ障害フォーラム(理事), 足の構造と機能研究会(理事), (一社)日本理学療法士協会連合(機関紙 査読委員)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 研究代表者.
2. 2021年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト(女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」, 月経周期におけるコンディション不良に対する運動器機能と中枢神経機能からアプローチする新たなトレーニング法・傷害予防法の開発, 研究代表者.
3. 2021年度, 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究分担者.
4. 2021年度, 公益財団法人 日本スポーツ医学財団研究助成金, 月経周期異常の女性アスリートにおける関節弛緩性の周期的変化, 研究分担者.

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会(奨励賞, 2021.12.11-12.12, 共同)
2. 『UNIVAS AWARDS 2021-22』ウーマン・オブ・ザ・イヤー(優秀賞受賞, 指導学生)
3. 『UNIVAS AWARDS 2021-22』サポーティングスタッフ・オブ・ザ・イヤー(入賞, 指導学生)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター非常勤勤務(スポーツ外来), 2021.4-2022.3.
2. 新潟リハビリテーション病院非常勤勤務(スポーツ外来), 2021.4-2022.3.
3. 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第一講座 聴講生, 2021.4-2022.3.
4. 新潟大学医学部解剖学第一講座 客員研究員, 2021.4-2022.3.

- 8 学内委員会活動 URA推進室(室長), 広報委員会(副委員長), 研究・産官学連携推進機構(運営委員), 大学院研究環境委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員), SHAIN(研究メンバー), アスリートサポート研究センター(副センター長), 科研費対策委員会(サポートディスク担当), アルビレックス新潟・アルビレックス新潟レディース・新潟リハビリテーション病院連携協定事業(メンバー)

氏名: 大鶴 直史

- 1 研究題目 痛み, 内受容感覚の脳内情報処理に関する研究
- 2 論文

1. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Effects of transcranial random noise stimulation timing on corticospinal excitability and motor function. Behav Brain Res (JCR). 2021; 414: 113479. (査読あり)
2. Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Igarashi K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of Catechol-O-Methyltransferase Gene Polymorphism on the Correlation between Alexithymia and Hypervigilance to Pain. Int J Environ Res Public Health (JCR). 2021; 18(24). (査読あり)
3. Miyaguchi S, Inukai Y, Mitsumoto S, Otsuru N, Onishi H. Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. Behavioural Brain Research (JCR). 2022; 424: 113805. (査読あり)
4. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Watanabe H, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: a voxel-based morphometric study. Neuroscience Letters (JCR). 2022: 136445. (査読あり)
5. Yoshino A, Otsuru N, Okada G, Tanaka K, Yokoyama S, Okamoto Y, Yamawaki S. Brain changes associated with impaired attention function in chronic pain. Brain Cogn (JCR). 2021; 154: 105806. (査読あり)
6. Kimura S, Hosoi M, Otsuru N, Iwasaki M, Matsubara T, Mizuno Y, Nishihara M, Murakami T, Yamazaki R, Ijio H, Anno K, Watanabe K, Kitamura T, Yamada S. A Novel Exercise Facilitation Method in Combination with Cognitive Behavioral Therapy Using the Ikiiki Rehabilitation Notebook for Intractable Chronic Pain: Technical Report and 22 Cases. Healthcare (Basel) (JCR). 2021; 9(9). (査読あり)
7. Sasaki R, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. Behav Brain Res (JCR). 2021; 412: 113433. (査読あり)
8. Pham M V, Miyaguchi S, Watanabe H, Saito K, Otsuru N, Onishi H. Effect of Repetitive Passive Movement Before Motor Skill Training on Corticospinal Excitability and Motor Learning Depend on BDNF Polymorphisms. Front Hum Neurosci (JCR). 2021; 15: 621358. (査読あり)
9. Sakai S, Saito K, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Grating orientation task trial numbers for short- and long-term tactile discrimination learning. J Clin Neurosci (JCR). 2021; 93: 195-199. (査読あり)
10. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. Eur J Pain (JCR). 2022; 26(2): 349-355. (査読あり)

3 報告書

1. 大鶴直史. 挑戦的研究 (萌芽), バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 研究成果報告書, 2018-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
2. 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
3. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
4. 丸山雄基, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる一定時間の触覚刺激介入が選択反応能力に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
5. 羽二生未来, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, Gomez-Tames Jose, 平田晃正, 大西秀明. 島皮質刺激に対する心拍応答変化は, 失感情に関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

6. 高橋世奈, 大鶴直史, 原正之, 長坂和明, 五十嵐眸実, 大西秀明. 失感情症と偽の内受容フィードバックに対する応答性. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
7. 渡邊拓, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激が一次体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
8. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対するtACSが痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
9. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対するtACSが痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
10. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
11. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心活動制御と関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
12. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核の電気刺激によって生じる皮質神経活動の電気生理学的特徴. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム, 2021, 2021.9.3-9.5.
13. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる後部島皮質神経活動の電気生理学的特徴—脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした研究—. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
14. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質神経活動の時空間的動態の解明—膜電位感受性色素を用いた光学イメージング—. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
15. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる島皮質神経活動の電気生理学的特徴—脳卒中後疼痛モデルを対象とした研究—. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム, 2021, 2021.9.3-9.5.
16. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質の神経応答. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
17. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛モデルラットにおける扁桃体—島皮質神経回路の神経活動の変化. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
18. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽によって喚起される情動と灰白質容積との関連—Voxel based morphometryを用いた検証—. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
19. 宮口翔太, 三本柊士, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳および補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
20. 長坂和明, 山本真憂, 川上守, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛ラットモデルにおける高次運動皮質の薬理的抑制が疼痛様行動に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
21. 横田裕丈, 江玉陸明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
22. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉陸明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会

23. 犬飼康人, 鈴木遥香, 宮口翔太, 太鶴直史, 大西秀明. スラックライントレーニングの即時的効果に nGVS が与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法学会 (庶務), 日本運動器疼痛学会 (代議員), 日本ペインリハビリテーション学会 (代議員), 日本生体磁気学会 (理事)
- 2) 学術集会の主催
 1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, プログラム編成委員, 2021.10.23-10.24.
 2. 日本理学療法士教員協議会, 運営および報告書作成, ウェビナー, 2022.3.26.
 3. 第21回新潟医療福祉学会, 運営および渉外, 2021.10.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. Frontiers in human neuroscience 誌, review editor
 2. Frontiers in Physiology 誌, review editor
 3. Frontiers in Pain Research 誌, review editor
 4. 日本理学療法士協会, 「理学療法学」査読委員
 5. 日本基礎理学療法学会雑誌, 査読委員
 6. Brain stimulation 誌, 論文査読 BRS-D-21-00698
 7. Brain stimulation 誌, 論文査読 BRS-D-21-00780
 8. Brain stimulation 誌, 論文査読 BRS-D-21-00863
 9. Brain stimulation 誌, 論文査読 BRS-D-21-00194
 10. Experimental Neurology 誌, 論文査読 EXNR-22-175
 11. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 演題査読
 12. 第26回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 座長
 13. Brain topography 誌, 論文査読, BTOP-D-21-00072

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 専門理学療法士 (基礎理学療法学会) 更新セミナー, 脳機能イメージング法と痛みの脳内情報処理, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, オンライン, 2022.1.23.
 2. 第2回新潟県慢性疼痛研修会, 運動療法を知ろう, 講師, 厚生労働省, 医師, 療法士, 心理士, オンライン, 2021.10.24.
 3. 第26回日本基礎理学療法学会 共催シンポジウム, 痛みの多様性を考える, 講師, 日本基礎理学療法学会, 理学療法士, オンライン, 2021.11.20-12.5.
 4. 第14回日本運動器疼痛学会 認知行動療法に基づく「第3世代いきいきリハビリノート」を用いた運動促進法講習会, 身体症状症への治療と成績, 講師, 日本運動器疼痛学会, 医師, 療法士, 心理士, オンライン, 2021.10.3.
 5. 畿央大学第1回 痛みのニューロリハビリテーション研究会, ヒトが痛みを経験する脳内メカニズム, 講師, 畿央大学, 療法士, オンライン, 2021.7.3.
 6. 第55回日本作業療法学会 企画セミナー, 慢性疼痛患者に対する認知行動療法, 講師, 日本作業療法士協会, 作業療法士, オンライン, 2021.9.10.
 7. 広島大学オンライン公開講座, デジタル時代のリハビリ医療, 講師, 広島大学, 一般の方, オンライン, 2022.1.29.
 8. 日本物理療法学会【JSEART ウェビナー】, 疼痛と非侵襲的脳刺激, 講師, 日本物理療法学会, 理学療法士, オンライン, 2021.6.18.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業キックオフミーティング, 委員, web, 2021.6.1.

2. 第1回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, web, 2021.8.29.
 3. 第2回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, web, 2022.1.23.
 4. 第1回オンライン慢性疼痛診療, 認知行動療法実施, 2021.6.10-9.2. (全12回)
 5. 第2回オンライン慢性疼痛診療, 認知行動療法実施, 2021.9.30-2022.1.6. (全12回)
 6. 第3回オンライン慢性疼痛診療, 認知行動療法実施, 2022.1.20-
 7. 新潟地方裁判所委員会, 裁判員制度に対する議論, 委員, 新潟地方裁判所, 2022.3.2.
- 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
1. 厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデルワーキンググループ委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略, 研究代表者
 2. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 脳内ネットワークモジュールの相互作用を標的として新たな神経リハビリテーション戦略, 研究分担者
 3. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 皮質-基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 研究分担者
 4. 2021年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 情動触に影響する生理・神経科学的個人差の検討, 研究分担者
 5. 2021年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 内受容感覚のリアルタイムフィードバックによる新たな運動学習システムの開発, 研究分担者
 6. 2020年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 新しいニューロリハビリテーションを可能にするMEG対応ハプティック技術の創成, 研究分担者
 7. 2019年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医歯学総合病院非常勤理学療法士
- 8 学内委員会活動 科研費対策委員会 (委員長), 利益相反マネジメント委員会, 知的財産委員会, 運動機能医科学研究所

氏名 : 久保 雅義

- 1 研究題目 身体運動の解析
- 2 論文

1. JA Kim, L Fetters, Kubo M, KL Havens, SP Eckel B Sargent. Infants born preterm and infants born full-term generate more selective leg joint movement during the scaffolded mobile task. *Infancy*, 2021, Sep 26(5): 756-769. (査読あり)
2. B Saargent, KL Havens, Kubo M, J Wisnowski, TW W, L Fetters. Motivating Selective Motor Control of Infants at High Risk of Cerebral Palsy using an In-Home Kicking-Activated Mobile Task: A Pilot Study. *Physical Therapy* 2022 Feb 102(2): (査読あり)
3. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Copers adopt an altered dynamic postural control compared to individuals with chronic ankle instability and controls in unanticipated single-leg landing, *Gait & Posture* 2022 Feb, 92: 378-382. (査読あり)
4. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Effects of step length and cadence on hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. 2021; 9: e11870. (査読あり)
5. JA KIM, S Park, L Fetters, SP Eckel, Kubo M, B Sargent. Quantifying infant exploratory learning. *Journal of Motor Learning and Development*. 2022 Jan 10(1): 167-183. (査読あり)

3 学会活動

- 1) 所属学会 バイオメカニズム学会（理事）、日本臨床スポーツ医学会、グローバル人材育成教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会、新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Physical Therapy in Spors 査読
 2. バイオメカニズム学会誌 査読
 3. Gait & Posture 査読
 4. Clinical Biomechanics 査読

4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. Rehabilitation Sciences Convention 2022, The roles of allied health professionals in the rehabilitation of Covid-19 patients. A speaker, College of Rehabilitation Sciences, University of St. TOMAS, Manila (Phillippines) 2022.12.3.

氏名：古西 勇

- 1 研究題目 地域在住の中高齢者の健康増進に関する研究、低中所得国における障害のある人々へのリハビリテーション支援に関する研究

2 論文

1. 神田賢, 北村拓也, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血循環動態の経時的変化 腰痛の有無での比較. *Journal of Spine Research* (協力学術研究団体). 2021; 12 (6): 851-858.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会、新潟医療福祉学会、日本公衆衛生学会、日本国際保健医療学会、日本骨粗鬆症学会、全国大学理学療法教育学会（理事）
- 2) 学術集会の主催
 1. 2021年度日本理学療法士教員協議会、事務局、新潟市オンライン開催、2022.3.26.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全国大学理学療法教育学会、事務局、庶務幹事、新潟市、2021.4.1-11.13.
 2. 新潟医療福祉学会和文誌、査読.

4 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会、令和3年度新潟県臨床実習指導者講習会、演習ファシリテーター、新潟市、2021.4.17-4.18.
 2. 新潟県理学療法士会、令和3年度新潟県臨床実習指導者講習会、演習ファシリテーター、新潟市、2021.9.11-9.12.
 3. 全国リハビリテーション学校協会、第1回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会、講師、オンライン、2022.3.3.
- 5 学内委員会活動 教務委員会（委員長）、自己点検・評価委員会（委員長）、危機管理対策委員会、ロコモ予防研究センター

氏名：佐藤 成登志

- 1 研究題目 腰痛・肩こりの理学療法に関する研究、ロコモ・フレイル予防に関する研究、慢性腰痛および脊柱変形のある対象者に対する研究、痛み・しびれ・麻痺に対する徒手治療の研究、通いの場の現状および介入プログラムに関する研究、職業性腰痛に関する研究
- 2 論文

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2021年度報告書. 2021. 代表.
 2. Kanda M, Kitamura T, Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck pain and shoulder pain (Katakori in Japanese). J of physical therapy science. 2021; 33(6): 489-494.
 3. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡邊慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. Journal of Spine Research. 2021; 12: 851-858.
 4. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡邊慶, 佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. Journal of Spine Research. (印刷中)
- 3 報告書
1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究分担者
 2. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on sitting-Comparison between subjects with and without LBP-. ISSLS Virtual Annual Meeting, 2021.6.2-6.4.
 2. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 大会長基調講演, 講師, 関東甲信越ブロック協議会, 協議会会員・他, 新潟市, 2021.9.4-9.5. 【特別講演】
 3. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Effects of neck and shoulder pain and the position of the head and neck on the intramuscular circulation of the cervical muscles. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 4. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions in Standing. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 5. 神田賢, 北村拓也, 渡邊慶, 佐藤成登志. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較. 第29回日本腰痛学会 (オンライン), 2021.10.22-10.23.
 6. 神田賢, 北村拓也, 渡邊慶, 佐藤成登志. 異なる立位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 (新潟), 2021.9.4-9.5.
 7. 神田賢, 北村拓也, 渡邊慶, 佐藤成登志. 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 (新潟), 2021.9.4-9.5.
 8. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する理学療法効果と効果が期待できる患者特性. 第29回日本腰痛学会 (東京都+オンライン), 2021.10.22-10.23.
 9. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡邊慶. 慢性腰痛に対する理学療法効果-介入から症状軽減までの期間検証-. 第14回日本運動器疼痛学会 (オンライン), 2021.11.20-12.5.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本理学療法士学会 (代議員), 新潟県理学療法士学会 (理事・会長), 日本腰痛学会, 日本運動器疼痛学会, 理学療法科学学会, 日本MTA学会 (理事), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 学会長, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士学会 認定理学療法士, 査読委員
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等

1. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2021.4.17-4.18.
 2. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 上越市, 2021.10.9-10.10.
 3. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2021.9.11-9.12.
 4. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 村上市, 2022.3.5-3.6.
 5. 第25回新潟県老人福祉施設研究大会, 特別分科会「介護領域での科学的視点 科学的介護・職業性腰痛」, 講師, 新潟県老人福祉施設協議会, 新潟県老人福祉施設協議会会員・他, オンライン開催, 2021.9.8-9.14.
 6. スポーツ指導者講習会, ロコモ・サルコペニア・フレイル予防, 講師, 新潟市開発公社スポーツプロモーション課, スポーツ指導員, 新潟市, 2021.11.12.
 7. 市町村の見える化に向けたマッピング講習会, 講師, 新潟県高齢福祉保健課, 新潟県内市町村・県地域振興局, 新潟市, 2021.11.19.
 8. 新潟県看護協会村上支部研修会, コロナ禍を健康に過ごすための予防方法, 新潟県看護協会村上支部, 紙面発表, 2021.12.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. TV TeNY (テレビ新潟), 新潟一番, フレイル特集, 2022.2.1
 2. 新聞, 新潟日報, 車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望, 2022.1.
 3. TV TeNY (テレビ新潟), 車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望, 2022.1.
 4. TV BSN新潟放送, 車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望, 2022.1.
 5. TV NHK新潟, 車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望, 2022.1.
- 3) 社会活動への参加協力
1. (公社) 日本理学療法士協会・組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2021.4-2022.3. (3回)
 2. (公社) 日本理学療法士協会・代議員総会, 総会, 県代表代議員, web, 2021.6.5.
 3. (公社) 日本理学療法士協会・士会支援事業, 全国士会代表, web, 2021.4-2022.3. (4回)
 4. (公社) 日本理学療法士協会・倫理委員会, 全国士会代表, Web, 2021.5.7.
 5. (公社) 新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2021.6.27.
 6. (公社) 新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2021.4-2022.3. (6回)
 7. (公社) 新潟県理学療法士会・関連会議, 会長, 新潟, 2021.4-2022.3. (21回)
 8. (公社) 新潟県理学療法士会・第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会会議, 学会長, web, 2021.4-9. (9回)
 9. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2021.4-2022.3. (2回)
 10. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2021.4-2022.3. (6回)
 11. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2021.4-2022.3. (6回)
 12. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・住民調査説明, 胎内市, 2021.4.28.
 13. 新潟市秋葉区役所健康福祉課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市秋葉区, 2021.10.27.
 14. 粟島浦村保健福祉課, 地域ケア個別会議, 専門職助言者, オンライン, 2021.9.17.
 15. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 胎内市, 2021.11.22.
 16. 新潟市秋葉区役所健康福祉課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市秋葉区, 2021.11.30.
 17. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 胎内市, 2021.12.7.

18. 新潟市北区島見町自治協議会, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市北区島見町, 2021.12.10.
19. 新潟市北区太郎代自治協議会, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市北区太郎代, 2021.12.14.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
 1. 新潟県高齢者保健福祉計画・新潟県高齢者保健福祉推進協議会委員会（新潟県リハビリテーション専門職代表・委員）
 2. 新潟県循環器病対策推進協議会委員会（新潟県リハビリテーション専門職代表・委員）（2回）
- 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員
（公社）日本理学療法士協会（代議員）,（公社）日本理学療法士協会（倫理委員・懲戒委員）,（公社）新潟県理学療法士会（会長・理事）, 新潟県リハビリテーション専門職協議会（副会長）, 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（会長）, 日本マイチューニングアプローチ学会（理事・北陸支部長）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度（継続）, 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究分担者
 2. 2021年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究代表者
 3. 2020年度（継続）, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 ロコモティブ症候群予防研究センター（センター長）, 社会連携推進センター（センター長）, 社会連携推進センター運営委員会（委員長）

氏名：芝田 純也

- 1 研究題目 非侵襲的脳刺激, 経頭蓋静磁場刺激, 経頭蓋磁気刺激, 経頭蓋電気刺激, 脳可塑性, 脳卒中リハビリテーション
- 2 著書
 1. 芝田純也, 美馬達哉; 鈴木則宏ら編. Annual Review 神経 2021. 東京: 中外医学社; 2021: 1-5.
- 3 論文
 1. Watanabe T, Mima T, Shibata S, Kirimoto H. Midfrontal theta as moderator between beta oscillations and precision control. Neuroimage. 2021; 235: 118022-118022. 査読あり
 2. Inada T, Kobayashi K, Kikuchi T, Matsushashi M, Matsumoto R, Takahashi Y, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S. Effects of a stable concentration of propofol on interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy. Epileptic disorders: international epilepsy journal with videotape. 2021; 23: 299-312. 査読あり
 3. Shibata S, Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H, Mima T. Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations. Scientific reports. 2021; 11: 8261-8261. 査読あり
 4. 【総説・解説】芝田純也, 美馬達哉. 脳律動操作による脳機能介入 - tACSの基礎と応用 -. Medical Science Digest. 2021; 5: 20-23.
 5. 【総説・解説】芝田純也, 美馬達哉. tSMS. Clinical Neuroscience. 2021; 39(7): 900-902.
 6. Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda T, Nakae T, Nishida S, Inano R, Shibata S, Kikuchi T, Arakawa Y, Yoshida K, Ikeda A, Miyamoto S. Effects of propofol on cortico-cortical evoked potentials in the dorsal language white matter pathway. Clinical Neurophysiology. 2021; 132(8): 1919-1926. 査読あり
 7. Takamatsu Y, Koganemaru S, Watanabe T, Shibata S, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Mima

T. Transcranial static magnetic stimulation over the motor cortex can facilitate the contralateral cortical excitability in human. Scientific reports. 2021; 11: 5370-5370. 査読あり

8. 片山広大, 富田望, 二瓶穂香, 高橋徹, 栗原勇人, 芝田純也, 美馬達哉, 大須理英子, 熊野宏昭. 経頭蓋静磁場刺激が自己注目状態時の前頭前野に与える影響の予備的検討. 早稲田大学臨床心理学研究. 2021; 21(1): 35-41. 査読あり

4 報告書

1. 芝田純也, 研究活動スタート支援, 非侵襲的脳深部刺激を可能にするシン磁場刺激の開発, 研究成果報告書, 2019-2020, 芝田純也 (代表)

5 学会等研究発表

1. Shibata S, Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H, Mima T. Transcranial Static Magnetic Stimulation over the Primary Motor Cortex Increases the Theta Power in Local Spontaneous Electroencephalogram Oscillations. Neuro2021 (オンライン), 2021.7.28-7.31.
2. 芝田純也, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激 (tSMS, transcranial static magnetic field stimulation) の基礎とその可能性. 計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021 第36回生体・生理工学シンポジウム (オンライン), 2021.9.3-9.5. 【シンポジウム】
3. 芝田純也, 湯川喜裕, 小金丸聡子, 水口雅俊, 下村亮太, 中村一仁, 美馬達哉. 健側半球への低頻度反復経頭蓋磁気刺激は慢性期脳卒中患者の上肢運動機能を改善させる. 第26回 日本基礎理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.10.23-10.24.
4. 芝田純也, 渡邊龍憲, 湯川喜裕, 水口雅俊, 下村亮太, 市村幸盛, 桐本光, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激による脳波への影響: tSMS-EEG計測によるネットワーク分析. 第51回日本臨床神経生理学学会学術大会 (オンライン), 2021.12.16-12.18.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本脳神経外科学会, 日本脳神経外科コンgres, 日本脳卒中学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本神経科学学会, 日本基礎理学療法学会, 日本脳神経血管内治療学会, Motor Control 研究会, 日本リハビリテーション医学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Frontiers in Systems Neuroscience, 査読

7 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学, COVID19ワクチン職域接種, 医師, 新潟市・新潟医療福祉大学, 7-8月

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

1. 京都大学臨床研究審査委員会技術専門員

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 研究代表者

氏名: 相馬 俊雄

- 1 研究題目 身体運動およびバランス機能に関するバイオメカニクス研究, 中枢神経疾患の下肢装具歩行に関する研究

2 論文

1. 倉林洸太, 相馬俊雄. 足関節サポーターの装着が片脚着地動作時の下肢関節に及ぼす影響. 理学療法科学. 2021; 36 (3): 397-402. (査読あり)
2. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者の歩行能力を向上させる体幹ベルト付下肢装具. 地域ケアリング. 2021; 23 (11): 80-82. (review)

3. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者に対する杖の機能と効果. 地域ケアリング. 2021;23 (11):91-94. (review)
 4. 相馬俊雄. 体幹ベルト付下肢装具歩行の身体動揺と下肢への荷重効果. 地域ケアリング. 2021;23 (14):63-65. (review)
 5. 相馬俊雄. 転倒予防のための杖の機能と効果. 地域ケアリング. 2021;23 (14):66-69. (review)
 6. 加藤岳, 相馬俊雄. バドミントンにおける前方ランジ動作の打点距離の違いが下肢関節に及ぼす影響. 石川県理学療法学会雑誌. 2022;21 (1):27-31. (査読あり)
 7. 相馬俊雄. 障害予防のための効果的なトレーニング. Precision Medicine. 2022;5 (4):40-44. (review)
 8. 相馬俊雄. 歩行補助具が身体に与える効果. Precision Medicine. 2022;5 (4):54-58. (review)
- 3 報告書
1. 相馬俊雄, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明, 2020-2022年度, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 内田貴洋, 相馬俊雄, 布施優一, 神田基生, 川上史嗣, 川原誓子, 池田法子, 松下功. 変形性股関節症の人工股関節全置換術施行患者における早期歩行獲得時の股関節回旋運動の変化. 第9回運動器理学療法学会学術大会 (彦根市: Web), 2021.9.11-9.12.
 2. 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 池田法子, 古西幸夫, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の麻痺側下肢への荷重効果. 第10回日本支援工理学療法学会学術大会 (盛岡市: Web), 2021.12.4-12.5.
 3. 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における下肢の筋電図学的解析. 第10回日本支援工理学療法学会学術大会 (盛岡市: Web), 2021.12.4-12.5.
 4. 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における遊脚下肢の筋電図学的検討. 第37回日本義肢装具学会学術大会 (Web), 2021.12.4-12.5.
 5. 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 池田法子, 古西幸夫, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の麻痺側足関節の運動制御機構. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市: Web), 2021.10.30.
 6. 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における下肢の筋電図学的解析. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市: Web), 2021.10.30.
 7. 内田貴洋, 相馬俊雄, 布施優一, 神田基生, 川上史嗣, 川原誓子, 池田法子, 松下功. 変形性股関節症患者における人工股関節全置換術が歩行早期の股関節回旋運動に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市: Web), 2021.10.30.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本運動器理学療法学会, 日本神経理学療法学会, 日本支援工理学療法学会, 日本バイオメカニズム学会, 日本義肢装具学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本生体磁気学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本リハビリテーション工学会, 日本運動療法学会, 臨床歩行分析研究会, 日本肘関節研究会, 新潟県理学療法士会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第21回新潟医療福祉学会, 学術・演題管理, 新潟市, 2021.4.1-10.30.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 2. 第9回日本運動器理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 3. 第11回日本支援工理学療法学会, 演題査読委員
 4. 日本基礎理学療法学会, 基礎理学療法学会誌, 論文査読委員
 5. 日本生理人類学会誌, 論文査読委員
 6. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長, 札幌市, 2021.10.23-10.24.
 7. 新潟県理学療法士会, 理学療法新潟, 論文査読委員

8. 新潟医療福祉学会誌, 論文査読委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, リハビリテーション医学, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 国際メディカル専門学校, 運動学, 2021.4.1-2022.3.31.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 高等教育推進センター, 開学20周年事業(20周年誌委員), 運動機能医科学研究所

氏名: 田口 徹

- 1 研究題目 遅発性筋痛の神経・分子機構解明, 線維筋痛症の病態機構解明, 筋・筋膜性疼痛の病態機構解明, 不活動性疼痛の病態機構解明, 触覚の神経生理学的研究, 痛みと免疫に関する研究, 筋痛・筋損傷に対する理学療法効果の実証, 気圧変動による慢性痛増悪機構
- 2 著書
 1. Hoheisel U, Taguchi T, Mense S. Nociception: the thoracolumbar and crural fascia as sensory organs. In: Fascia: The Tensional Network of the Human Body (2nd eds): The Science and Clinical Applications in Manual and Movement Therapy. Chapter 2.4, Elsevier; 2021: 179-187.
 2. 田口徹, いたみの教科書「疼痛医学」ダイジェスト版, 第II編 基礎科学, 2. 運動器の痛みのメカニズム, 1) 筋痛. 医学書院; 2021: 24-25. (教科書)
- 3 論文
 1. Ota H, Takebe H, Mizumura K, Taguchi T. Responses of cutaneous C-fiber afferents and spinal microglia after hindlimb cast immobilization in rats. Journal of Physiological Sciences (JCR) 2021; 71(1): 19-30. 査読あり
 2. Murase S, Kobayashi K, Nasu T, Kihara C, Taguchi T, Mizumura K. Reply from Shiori Murase, Kimiko Kobayashi, Teruaki Nasu, Chiaki Kihara, Toru Taguchi and Kazue Mizumura (Reply to 'Letter to the Editor; Characterization of muscle afferents'). Journal of Physiology (London) (JCR) 2021; 599(17): 4227-4229. 査読あり
 3. Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Mizumura K, Taguchi T. Neuronal sensitization and synaptic facilitation in the superficial dorsal horn of a rat reserpine-induced pain model. Neuroscience (JCR) 2021; 479: 125-139. 査読あり
 4. Ejiri Y, Uta D, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Nociceptive chemical hypersensitivity in the spinal cord of a rat reserpine-induced fibromyalgia model. Neuroscience Research (JCR) 2022. 査読あり. 印刷中.
 5. 田口徹. AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究成果報告書, 2021, 研究分担者
 6. 田口徹. ファイザー製薬グラント. 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 進捗報告書, 2021, 研究代表者
- 4 報告書
 1. 田口徹. 基盤研究(B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究成果報告書, 2021, 研究代表者
 2. 田口徹. 基盤研究(C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髓機構解明と治療薬の探索, 研究成果報告書, 2021, 研究分担者
 3. 田口徹. 基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究成

果報告書, 2021, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. 田口徹, 筋・筋膜性疼痛の特徴とメカニズム, 第55回日本ペインクリニック学会 (WEB), 2021.7.22-7.24. 【教育講演】
2. Taguchi T, Ota H, Takebe H. Unchanged nociceptor activities and activated spinal microglia in a rat pain model induced by persistent hindlimb immobilization. 第44回日本神経科学学会 (WEB), 2021.7.28-7.31.
3. Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. Involvement of TRPA1 but not TRPV2 in rodent models of lengthening contraction-induced muscular mechanical hyperalgesia. 第44回日本神経科学学会 (WEB), 2021.7.28-7.31.
4. 田口徹, 筋・筋膜性疼痛研究の最新トピックス, 新潟リハビリテーション研究会 (WEB), 2021.9.13. 【特別講演】
5. Katanosaka K, Taguchi T, Takatsu S, Mizumura K, Naruse K, Katanosaka Y. Involvement of transient receptor potential vanilloid 2 (TRPV2) in mechanical nociception of adult mice. The 4th International TRP Meeting (TRP2021) (WEB), 2021.9.15-9.17. 【国際学会】
6. Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. TRPA1 contributes to lengthening contraction-induced muscular mechanical hyperalgesia. The 4th International TRP Meeting (TRP2021) (WEB), 2021.9.15-9.17. 【国際学会】
7. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み感受性増大とその脊髄機構, 第36回脳機能とリハビリテーション研究会 (WEB), 2021.9.18-9.24.
8. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスがもたらす痛みとその脊髄機構, 第26回日本基礎理学療法学会 (WEB), 2021.10.23-10.24.
9. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および筋膜における神経成長因子の発現定量, 第26回日本基礎理学療法学会 (WEB), 2021.10.23-10.24.
10. 田口徹, 片野坂友紀, 太田大樹, 片野坂公明. 細径線維受容器終末のTRPV2チャネルを介した機械痛覚の末梢神経機構, 第26回日本基礎理学療法学会 (WEB), 2021.10.23-10.24.
11. 田口徹. 運動器疼痛の基礎～皮膚の痛みとは似て非なるものなり～, 第26回日本基礎理学療法学会 (WEB), 2021.10.23-10.24. 【シンポジウム】
12. 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. ラット前脛骨筋表層および深層での筋線維横断面積の組織学的比較, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
13. 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットの骨格筋における形態変化, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
14. 宮原謙一郎, 坪島功幸, 西条寿夫, 田口徹. トレッドミル運動による線維筋痛症モデルマウスの抑うつ軽減効果, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
15. 田口徹, 太田大樹. 外耳内圧可変装置の開発と安全性の検討, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
16. 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの筋湿重量と神経栄養因子の発現変化, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
17. 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの下腿筋膜における神経栄養因子の発現変化, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
18. 田口徹, 若月康次, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの筋侵害受容器応答の電気生理学的解析, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
19. 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. モノアミン枯渇による脊髄後角ニューロンの興奮性増大に対する抗うつ薬の効果, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
20. 田口徹, Ulrich HOHEISEL, Siegfried MENSE. 脊髄後角ニューロンの二重標識による腰部筋侵害受

容の脳内投射の可視化. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.

21. 梅津拓喜, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角ミクログリアの活性化に対するトレッドミル運動の予防効果の検証. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
22. 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの下腿筋膜における遺伝子発現の定量. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
23. 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける機械受容チャンネルTACANの発現. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
24. 萩原拓海, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットに対するトレッドミル運動を用いた筋痛予防効果の行動学的検証. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
25. 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 胸腰部傍脊柱起立筋群における圧痛閾値ヒートマップの作製. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
26. 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 腰背部への伸張性収縮負荷によるヒト筋・筋膜性腰痛モデルの開発. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
27. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットへの化学的痛み刺激による脊髄後角ニューロンの興奮性増大. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
28. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の骨格筋における神経成長因子の発現局在. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
29. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛発症因子の筋および筋膜における発現変化の部位差. 第14回日本運動器疼痛学会(WEB), 2021.11.20-12.5.
30. 田口徹, 太田大樹. 筋・筋膜性疼痛研究のアップデート. 第14回日本運動器疼痛学会(WEB), 2021.11.20-12.5. 【シンポジウム】
31. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける機械受容チャンネルTACANの発現増大. 第43回日本疼痛学会(WEB), 2021.12.10-12.11.
32. 田口徹, 太田大樹, 竹部陽菜. 長期ギプス固定による不活動性疼痛モデルラットでは侵害受容器活動は変化せず脊髄ミクログリアが活性化する. 第43回日本疼痛学会(WEB), 2021.12.10-12.11.
33. 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋における機械受容チャンネルTmem120Aの発現増大. 第7回日本筋学会(WEB), 2021.12.11-12.12.
34. 田口徹. 運動による骨格筋の力学的適応(繰返し効果)におけるヒアルロン酸(糖鎖)の役割. AMED-CREST「メカノバイオロジー機構の解明による革新的医療機器及び医療技術の創出」2021年度領域会議(WEB), 2022.1.19-1.20.
35. Ota H, Oi R, Katanosaka K, Taguchi T. Increased expression of TACAN in the rat muscle after lengthening contractions. 第99回日本生理学会(WEB), 2022.3.16-3.18.
36. Taguchi T, Ota H, Takebe H. Changes in nociceptor activities and dorsal horn microglia in response to persistent hindlimb immobilization in rats. 第99回日本生理学会(WEB), 2022.3.16-3.18.
37. 田口徹. 運動器疼痛と理学療法. 第5回同窓会オンラインミーティング(新潟), 2022.3.25.

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本生理学会(評議員), 日本疼痛学会(代議員), 日本基礎理学療法学会(評議員), 日本神経科学学会(会員), 日本線維筋痛症学会(会員), 日本筋学会(会員), 若手による骨格筋細胞研究会(会員), 日本理学療法士協会(会員), 新潟県理学療法士会(会員), 日本運動器疼痛学会(会員), 国際疼痛学会(会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. International Journal of Molecular Sciences, 査読, 2021.4.3.
 2. Journal of Pain Research, 査読, 2021.4.7.
 3. Journal of Neuroinflammation, 査読, 2021.4.12.
 4. Journal of Clinical Medicine, 査読, 2021.4.15.

5. *Frontiers in Neuroscience*, 査読, 2021.4.22.
 6. *Current Diabetes Reviews*, 査読, 2021.6.9.
 7. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 査読, 2021.6.17.
 8. *Diagnostics*, 査読, 2021.7.23.
 9. *Pain*, 査読, 2021.7.29.
 10. *Current Protein & Peptide Science*, 査読, 2021.8.9.
 11. *Current Issues in Molecular Biology*, 査読, 2021.8.18.
 12. *Journal of Inflammation Research*, 査読, 2021.8.21.
 13. *The Open Dentistry Journal*, 査読, 2021.10.13.
 14. *Current Alzheimer Research*, 査読, 2021.10.15.
 15. *CNS & Neurological Disorders-Drug Targets*, 査読, 2021.11.2.
 16. *Healthcare*, 査読, 2021.12.10.
 17. *Life*, 査読, 2022.1.15.
 18. *Brain Sciences*, 査読, 2022.2.2.
 19. *Current Bioactive Compounds*, 査読, 2022.2.16.
 20. *Pharmaceuticals*, 査読, 2021.3.4.
 21. *Recent Patents on Inflammation & Allergy Drug Discovery*, 査読, 2022.3.22.
 22. *The Anatomical Record*, 査読, 2022.3.22.
 23. 第43回日本疼痛学会（一般演題3：末梢），座長, 2021.12.10.
 24. 第43回日本疼痛学会，優秀演題査読, 2021.12.10.
 25. 日本基礎理学療法学会，第25回学術大会，査読委員, 2021.12.12-12.18.
 26. 日本理学療法士協会「認定・専門理学療法士更新時研修」eラーニングコンテンツ制作, 2021.10.8.
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第11回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー，「鍼鎮痛と生体応答～その科学的評価と鎮痛の基礎研究～」，世話人，学内教員および学生，新潟医療福祉大学, 2021.7.5.
 2. 第12回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー，「TRPチャンネル –その生理と病態における役割–」，世話人，学内教員および学生，新潟医療福祉大学, 2021.9.27.
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019, 基盤研究（B）, 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究代表者
 2. 2019, 基盤研究（C）, 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髄機構解明と治療薬の探索, 研究分担者
 3. 2016, AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究分担者
 4. 2020, 基盤研究（A）, 知覚学習イノベーション～次世代感覚運動学習法の創出を目指して～, 研究分担者
 5. 2019, ファイザー製薬グラント, 慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築, 研究代表者
- 9 学内委員会活動 遺伝子組換え実験安全委員会（委員長）, 毒劇物管理委員会（委員長）, 動物実験委員会（委員）, 運動機能医科学研究所（メンバー）, SHAINプロジェクト（神経・筋・骨組織研究&痛み研究チームリーダー）

氏名：奈良 貴史

- 1 研究題目 人類進化学, 骨考古学
- 2 著書

1. 奈良貴史, 辰巳晃司. 港区の近世人骨研究. 港区総務部総務課編, 港区史 第2巻 2021 (通史編), 港区, 東京, pp. 475-481.
- 3 論文
1. 辰巳晃司, 奈良貴史. 近世幕府旗本永井家の頭骨にみられる貴族的特徴について. *Anthropological Science (Japanese Series)*, 2021 129: 53-74. (査読あり)
 2. 新倉明彦, 奈良貴史, 佐伯史子, 辰巳晃司. 安中市吉ヶ谷津遺跡近世墓出土人骨の人類学的検討. 群馬県埋蔵文化財調査事業団編, 2022 研究紀要40, 渋川, pp. 129-140.
 3. 奈良貴史, 佐伯史子. 出土人骨について. 若宮大路周辺遺跡群 (No.242) ふれあい鎌倉ホスピタル建替え工事に伴う発掘調査 鎌倉市御成町778番地1他13筆. 2021: 153-155.
 4. 奈良貴史, 佐伯史子. 骨の分析. 営湛水防除事業関連遺跡発掘調査報告書VII 砂田遺跡・山本遺跡. 2021: 57-61.
 5. 奈良貴史, 小林鷹, 波田野悠夏, 佐伯史子, 澤田純明, 辰巳晃司. 2021 新潟県新潟市細池寺道上遺跡出土人骨の人類学的調査報告. 新潟市文化財センター編, 細池寺道上遺跡X 第29・31次調査, 新潟市教育委員会, 新潟, pp. 138-143.
 6. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 湖雲寺跡遺跡出土人骨の人類学的予察 一岩槻藩主大岡家と旗本永井家の頭骨について一. パスコ編, 湖雲寺跡遺跡, Great Eagle TokyoTMK, 東京, 2021 pp. 101-157.
 7. 波田野悠夏, 吉田貴恵, 鈴木敏彦, 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 群馬県後賀中割遺跡古墳出土人骨について. 群馬県埋蔵文化財調査事業団編, 後賀中割遺跡 (T007遺跡), 2021 渋川, pp. 146-149.
- 4 学会等研究発表
1. 辰巳晃司, 奈良貴史. 「近世幕府旗本永井家の頭骨にみられる貴族形質について」, 『第75回日本人類学会大会』, 2021.10.
 2. 佐宗亜衣子, 中川真琴, 佐伯史子, 辰巳晃司, 奈良貴史. 「江戸時代の子どもの齲歯 - 庶民, 武士, 大名家の比較 -」, 『第21回新潟医療福祉学会学術集会』, 2021.10.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本人類学会 (理事) 日本考古学協会, 日本解剖学会
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 岩手県明神下遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業, 2020.12- (継続中)
 2. 埼玉県越谷市大道遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業, 2021.4- (継続中)
 3. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨の整理作業, 2021.9- (継続中)
 4. 新潟県村上市上野遺跡出土人骨の整理作業, 2020.12- (継続中)
 5. 東京都港区湖雲寺遺跡出土江戸時代人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.4-12.
 6. 埼玉県志木市西原大塚遺跡出土人骨・動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.5-2022.1.
 7. 群馬県下里見天神前遺跡出土動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
 8. 群馬県柳田遺跡遺跡出土動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
 9. 群馬県本郷満行原遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
 10. 群馬県本郷鶴楽遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
 11. 群馬県上大島御伊勢遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7.
 12. 群馬県栗師・萬行遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-12.
 13. 群馬県松谷松下2遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
 14. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨一般公開, 事務・展示・解説スタッフ, 新潟医療福祉大学, 2021.11.21.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. NHK BSプレミアム. ヒューマニエンス. 「“出産”ヒトは難産を選んだ」 2021.6.17.
 2. NHK BSプレミアム. ヒューマニエンス. 「“出産”ヒトは難産を選んだ」 2021.4.22.

3. 新潟日報. 「土橋遺跡の人骨 意図的に四角く配置か 葬送儀礼解明へ「端緒に」阿賀野」2021.11.19.
4. 新潟日報. 「特集／2021考古学 県内 類例まれな新知見」2021.12.30.
5. NHK BSプレミアム. ヒューマニエンス. 「“絶滅人類”ホモ・サピエンスを映す鏡」2022.3.31.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究（B）, 長岡藩牧野家の歴代藩主と正室の遺骨の再調査（研究代表者）
2. 受託研究（株）中野技術 西原大津大塚遺跡出土人骨鑑定（研究代表者）
3. 受託研究（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県本郷満行原遺跡出土人骨の鑑定業務（研究代表者）
4. 受託研究（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県本郷鶴楽遺跡出土人骨の鑑定業務（研究代表者）
5. 受託研究（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県柳田遺跡出土動物骨の鑑定業務（研究代表者）
6. 受託研究（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県下里見天神前遺跡出土動物骨の鑑定業務（研究代表者）
7. 受託研究（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 群馬県薬師・萬行遺跡遺跡出土人骨の鑑定業務（研究代表者）

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部（法医学）, 2022.4.1-9.20.
2. 日本歯科大学新潟生命歯学部（人類学）, 2021.4.1-2022.3.31.

氏名：犬飼 康人

- 1 研究題目 非侵襲的脳刺激法を用いたリハビリテーション介入手法の開発, 脳卒中リハビリテーションに関する研究
- 2 著書
 1. 渡辺学, 竹村美穂, 溝部朋文, 福富利之, 佐藤房郎, 万治淳史, 大沼俊博, 徳田和宏, 和田善行, 浅川康吉, 石井慎一郎, 深田和浩, 澤田明彦, 浅井仁, 諸橋勇, 犬飼康人, 松田雅弘, 若梅一樹, 金子文成, 高杉潤, 沖田学, 藤野雄次, 阿部浩明, 門馬博, 植田耕造, 信迫悟志, 増田司, 中村学, 鈴木俊明. 運動学・神経学エビデンスから結ぶ脳卒中理学療法学. 1版. 東京：中外医学社；2021：164-176.
- 3 論文
 1. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. Eur J Pain. 2022 Feb; 26(2): 349-355. (査読あり)
 2. Miyaguchi S, Inukai Y, Hashimoto I, Otsuru N, Onishi H. Sleep affects the motor memory of basketball shooting skills in young amateurs. Journal of Clinical Neuroscience. 2022 Feb; 96: 187-193. (査読あり)
 3. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. Brain Sciences. 2021 Nov 12; 11(11): 1494. (査読あり)
 4. Miyaguchi S, Inukai Y, Mitsumoto S, Otsuru N, Onishi H. Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. Behavioural Brain Research. 2022 Apr 29; 424: 113805. (査読あり)
- 4 報告書
 1. 犬飼康人. 若手研究, 前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続効果と長期介入効果の検証, 研究成果報告書, 2019-2020. 研究代表者
- 5 学会等研究発表

1. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 2. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 3. 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 4. 犬飼康人, 鈴木遥香, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. スラックライントレーニングの即時的効果にnGVSが与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 5. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 6. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いたPaired Pulse Depressionと二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 7. 宮口翔太, 三本柊士, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳および補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
 8. 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第19回日本神経理学療法学会学術大会. 2021.12.18-12.19. (教育講演)
 9. 犬飼康人. 感覚障害と運動制御・学習. 日本神経理学療法学会 第22回サテライトカンファレンス 山梨. 2021.10.3. (シンポジスト)
- 6 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法教育学会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経理学療法学会(代議員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士協会, 理学療法学, 査読
 2. 日本神経理学療法学会, 神経理学療法学, 査読
 3. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 座長
 4. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 演題査読
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 札幌医科大学保健学部第6回集学的理学療法セミナー, 脳卒中後の姿勢調節障害の解釈と非侵襲的脳刺激を用いた治療戦略. 講師. 札幌医科大学保健学部. 理学療法士等. オンライン. 2021.11.19.
 2. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法(基礎編). 講師. 新潟医療福祉大学脳卒中リハビリテーション研究センター. 理学療法士等. オンライン. 2022.2.5
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本理学療法士協会(「理学療法学」査読委員), 日本理学療法士協会(「Physical Therapy Research」査読委員), 全国理学療法教育学会(事務局), 日本神経理学療法学会(代議員), 日本神経理学療法学会(「神経理学療法学」副編集委員長)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020-2022年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響(研究代表者)
 2. 2021年度, Panasonic共同研究, 末梢神経刺激とバランス能力に関する研究(研究代表者)
 - 2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科, リハビリテーション医学, 2021.8.31-10.19.
- 9 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, 脳卒中リハビリテーション研究センター (センター長)

氏名：澤田 純明

- 1 研究題目 東アジアの狩猟採集集団および初期農耕集団に関する人類学的研究, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応を解明する人類学および動物考古学的研究, 日本列島の土器出現期人類集団に関する人類学的研究, 日本列島の更新世洞窟遺跡から出土した動物化石の動物考古学的研究, 考古遺跡から出土した微細骨片の骨組織形態学的研究
- 2 著書
 1. 澤田純明, 鶴澤和宏, 米田穰, 板橋悠; 中村慎一編. 中国江南の考古学. 1版. 東京: 六一書房; 2022: 77-84.
- 3 論文
 1. 澤田純明; 田中祐樹編. 六日町藤塚遺跡 I 第1~3次調査・坂之上遺跡 I 第1・2次調査. 新潟: 新潟県埋蔵文化財調査事業団; 2022: 86-89.
- 4 報告書
 1. 澤田純明. 基盤研究 (B) (海外学術調査), 東南アジア大陸部における家畜化プロセスの総合的解明, 研究実績報告書, 2015-2021 (コロナ禍により研究期間終了年度を当初予定の2019年度から2021年度まで延長), 研究代表者
 2. 澤田純明. 挑戦的研究 (萌芽), SPring-8のマイクロCTを利用した福井洞窟出土縄文草創期焼骨群の種同定, 研究実績報告書, 2018-2021 (コロナ禍により研究期間終了年度を当初予定の2020年度から2021年度まで延長), 研究代表者
- 5 学会等研究発表
 1. 青野友哉, 澤田純明, 永谷幸人. 北海道有珠モシリ遺跡出土人骨に見られる齧歯類の咬痕とカットマークの判別について. 日本文化財科学会第38回大会 (オンライン大会・日本), 2021.9.18-9.19.
 2. 南谷史菜, 澤田純明, 高塚尚和, 米田穰. Bomb-14Cを用いた成人長管骨に分布する一次骨の形成時期の解明. 第75回日本人類学会大会 (オンライン大会・日本), 2021.10.9-10.10.
 3. 青野友哉, 永谷幸人, 西本豊弘, 三谷智広, 菅野修広, 近藤修, 澤田純明, 篠田謙一, 安達登, 門叶冬樹. 北海道有珠モシリ遺跡における再葬 (複葬) 墓の埋葬行為復元と人骨群の特徴. 第75回日本人類学会大会 (オンライン大会・日本), 2021.10.9-10.10.
 4. 澤田純明, 萩原康雄, 佐伯史子, 奈良貴史. 中国長江デルタの良渚遺跡群から発掘された国家形成期の人骨加工品. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン大会・誌上発表・日本), 2021.10.30.
 5. 佐伯史子, 澤田純明. 宮城県白石市青木遺跡から出土した弥生時代焼人骨の人類学的研究. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン大会・誌上発表・日本), 2021.10.30.
 6. 森橋奎太, 澤田純明. 江戸時代人の骨粗鬆症を探る - 青森県畑内遺跡出土近世人骨の骨組織学的研究 -. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン大会・誌上発表・日本), 2021.10.30.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本人類学会 (代議員, Anthropological Science (Japanese Series) 編集委員), 日本解剖学会, 日本動物考古学会 (編集委員), 東南アジア考古学会 (運営委員), 形態科学研究会 (運営委員), 新潟医療福祉学会
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 阿賀野市土橋遺跡出土人骨一般公開, 展示準備・会場スタッフ, 奈良貴史教授主催, 一般および人類・考古研究者対象, 新潟医療福祉大学GA403解剖学実習室会場, 2021.11.21.
 - 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県警, 白骨死体の鑑定, 新潟市, 2021.6.1・6.4・6.15.
 2. 公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団, 遺跡出土骨片の組織学的人獣鑑別, 2021.4.1-5.27.
 3. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団, 遺跡出土動物骨の鑑定業務, 2021.2.1-2.28.
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する, 研究代表者
 2. 2020年度, 国際共同研究加速基金, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明, 研究代表者
 3. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式に関する学際的研究, 研究分担者
 4. 2019年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), 歯牙フッ素分析を用いた人の移動と婚姻システムの解明, 研究分担者
 5. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), エミシとは誰だったのか: 全ゲノム解析で明らかにする東北古代人の遺伝的変遷, 研究分担者
 6. 2020年度, 学術変革領域研究 (A), 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 研究分担者
 7. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 慶應義塾大学文学部非常勤講師, 民族学考古学特殊, 2021.4.1-9.30.
 2. 東北大学文学部非常勤講師, 考古学特論, 2022.1.17-2022.1.21.
- 9 学内委員会活動 人権委員会

氏名：井上 達朗

- 1 研究題目 高齢者のサルコペニア, フレイル, 栄養障害に関する臨床研究
- 2 論文
 1. [Inoue T](#), Maeda K, Satake S, Matsui Y, Arai H. Osteosarcopenia, the co-existence of osteoporosis and sarcopenia, is associated with social frailty in older adults. *Aging Clin Exp Res*. 2021 Sep 7:1-9. doi: 10.1007/s40520-021-01968-y. Epub ahead of print. PMID: 34491548; PMCID: PMC8421463. (査読あり)
 2. [Inoue T](#), Shimizu A, Satake S, Matsui Y, Ueshima J, Murotani K, Arai H, Maeda K. Association between osteosarcopenia and cognitive frailty in older outpatients visiting a frailty clinic. *Arch Gerontol Geriatr*. 2021 Sep 17;98:104530. doi: 10.1016/j.archger.2021.104530. Epub ahead of print. PMID: 34562795. (査読あり)
 3. Yagi T, [Inoue T](#)*, Ogawa M, Shimada Y, Heguri Y, Okada R, Iwata S, Kishimoto M. Sarcopenia affects activities of daily living recovery and hospitalization costs in older adults in convalescent rehabilitation wards. *Eur Geriatr Med*. 2021 Aug 17. doi: 10.1007/s41999-021-00552-x. Epub ahead of print. PMID: 34403114. (査読あり)
 4. [Inoue T](#), Iida Y, Takahashi K, Shirado K, Nagano F, Miyazaki S, Takeuchi I, Yoshimura Y, Momosaki R, Maeda K, Wakabayashi H. Nutrition and Physical Therapy: A Position Paper by the Physical Therapist Section of the Japanese Association of Rehabilitation Nutrition (Secondary Publication). *JMA J*. 2022 Apr 15;5(2):243-251. doi: 10.31662/jmaj.2021-0201. Epub 2022 Mar 4. PMID: 35611222; PMCID: PMC9090552. (査読あり)
 5. [Inoue T](#), Takeuchi I, Iida Y, Takahashi K, Nagano F, Miyazaki S, Shirado K, Yoshimura Y, Momosaki R, Maeda K, Wakabayashi H. Disease-specific Nutritional Physical Therapy: A Position Paper by the

- Japanese Association of Rehabilitation Nutrition (Secondary Publication). *JMA J.* 2022 Apr 15;5(2):252-262. doi: 10.31662/jmaj.2021-0202. Epub 2022 Mar 25. PMID: 35611233; PMCID: PMC9090541. (査読あり)
6. Kondo S, Inoue T, Yoshida T, Saito T, Inoue S, Nishino T, Goto M, Sato N, Ono R, Tangoku A, Katoh S. Impact of preoperative 6-minute walk distance on long-term prognosis after esophagectomy in patients with esophageal cancer. *Esophagus.* 2021 Aug 12. doi: 10.1007/s10388-021-00871-9. Epub ahead of print. PMID: 34383155. (査読あり)
 7. Sato K, Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Murotani K, Ueshima J, Ishida Y, Ogawa T, Suenaga M. Early Wearing of Knee-Ankle-Foot Orthosis Improves Functional Prognosis in Patients after Stroke. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2022 Jan 12;31(3):106261. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.106261. Epub ahead of print. PMID: 35032757. (査読あり)
 8. Sato K, Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Ueshima J, Ishida Y, Ogawa T, Suenaga M. Undernutrition at Admission Suppresses Post-Stroke Recovery of Trunk Function. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2022 Feb 14;31(4):106354. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2022.106354. Epub ahead of print. PMID: 35176691. (査読あり)
 9. Nozoe M, Yamamoto M, Masuya R, Inoue T, Kubo H, Shimada S. Prevalence of Malnutrition Diagnosed with GLIM Criteria and Association with Activities of Daily Living in Patients with Acute Stroke. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2021 Sep;30(9):105989. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.105989. Epub 2021 Jul 13. PMID: 34271278. (査読あり)
 10. Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Inoue T, Ohno T, Nomoto A, Ueshima J, Ishida Y, Nagano A, Kayashita J, Mori N. Accuracy of the Simplified Nutritional Appetite Questionnaire for Malnutrition and Sarcopenia Screening among Older Patients Requiring Rehabilitation. *Nutrients.* 2021 Aug 10;13(8):2738. doi: 10.3390/nu13082738. PMID: 34444898; PMCID: PMC8402148. (査読あり)
 11. Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, Inoue T, Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Delayed Dysphagia May Be Sarcopenic Dysphagia in Patients After Stroke. *J Am Med Dir Assoc.* 2021 Aug 11:S1525-8610(21)00652-6. doi: 10.1016/j.jamda.2021.07.013. Epub ahead of print. PMID: 34389335. (査読あり)
 12. Ueshima J, Maeda K, Shimizu A, Inoue T, Murotani K, Mori N, Satake S, Matsui Y, Arai H. Diagnostic accuracy of sarcopenia by "possible sarcopenia" premiered by the Asian Working Group for Sarcopenia 2019 definition. *Arch Gerontol Geriatr.* 2021 Nov-Dec;97:104484. doi: 10.1016/j.archger.2021.104484. Epub 2021 Jul 14. PMID: 34298259. (査読あり)
 13. Ueshima J, Maeda K, Ishida Y, Shimizu A, Inoue T, Nonogaki T, Matsuyama R, Yamanaka Y, Mori N. SARC-F Predicts Mortality Risk of Older Adults during Hospitalization. *J Nutr Health Aging.* 2021;25(7):914-920. doi: 10.1007/s12603-021-1647-x. PMID: 34409971. (査読あり)
 14. Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Kayashita J, Ohno T, Nomoto A, Ueshima J, Ishida Y, Inoue T, Mori N. Texture-Modified Diets are Associated with Poor Appetite in Older Adults who are Admitted to a Post-Acute Rehabilitation Hospital. *J Am Med Dir Assoc.* 2021 Sep;22(9):1960-1965. doi: 10.1016/j.jamda.2021.05.018. Epub 2021 Jun 14. PMID: 34139151. (査読あり)
 15. Saito T, Ono R, Tanaka Y, Tatebayashi D, Okumura M, Makiura D, Inoue J, Fujikawa T, Kondo S, Inoue T, Maniwa Y, Sakai Y. The effect of home-based preoperative pulmonary rehabilitation before lung resection: A retrospective cohort study. *Lung Cancer.* 2021 Dec;162:135-139. doi: 10.1016/j.lungcan.2021.10.012. Epub 2021 Nov 2. PMID: 34798590. (査読あり)
 16. Ishida Y, Shimizu A, Maeda K, Murotani K, Inoue T, Ueshima J, Nagano A, Mori N. A Score to Predict Home Discharge for Patients With Stroke in Rehabilitation Units. *J Am Med Dir Assoc.* 2022 Mar

23:S1525-8610(22)00193-1. doi: 10.1016/j.jamda.2022.02.009. Epub ahead of print. PMID: 35337792.
(査読あり)

17. Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, Inoue T, Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Association between food texture levels consumed and the prevalence of malnutrition and sarcopenia in older patients after stroke. *Eur J Clin Nutr*. 2022 Apr 13. doi: 10.1038/s41430-022-01126-1. Epub ahead of print. PMID: 35418607. (査読あり)
 18. Nashimoto S, Inoue T, Hotta K, Sugito Y, Iida S, Tsubaki A. The Safety of Exercise for older patients with Severe Aortic Stenosis undergoing Conservative Management: A narrative review. 2022. 10.14814/phy2.15272. (査読あり)
 19. 井上達朗, 飯田有輝, 高橋浩平, 白土健吾, 長野文彦, 宮崎慎二郎, 竹内泉, 吉村芳弘, 百崎良, 前田圭介, 若林秀隆. 栄養と理学療法: 日本リハビリテーション栄養学会理学療法士部会によるポジションペーパー. *リハビリテーション栄養*. 2(5). 226-234. 2021. (査読あり)
 20. 井上達朗, 竹内泉, 飯田有輝, 高橋浩平, 長野文彦, 宮崎慎二郎, 白土健吾, 吉村芳弘, 百崎良, 前田圭介, 若林秀隆. 病態別栄養理学療法: 日本リハビリテーション栄養学会理学療法士部会によるポジションペーパー. *ハビリテーション栄養*. 2(5). 217-225. 2021. (査読あり)
 21. ブラウン章子, 井上達朗, 佐藤圭祐, 大城あゆみ, 尾川貴洋, 末永正機, 前田圭介. 回復期リハビリテーション病棟に入院した高齢脳梗塞患者の発症から入院までの日数と入院時栄養状態, 退院時日常生活動作との関連. *ハビリテーション栄養*. 2(5). 210-216. 2021. (査読あり)
 22. 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. サルコペニアは回復期リハビリテーション病棟での実績指数に影響する. *理学療法学*. 2022. in press. (査読あり)
 23. 井上達朗. オステオサルコペニア-骨粗鬆症とサルコペニアの併存-. *臨床栄養*. Vol.140 No.1. 医歯薬出版. 2021.
- 3 学会等研究発表
1. Inoue T, Maeda K, Satake S, Matsui Y, Arai H. Osteosarcopenia, the co-existence of osteoporosis and sarcopenia, is associated with social frailty in older adults. 7th Asian conference for sarcopenia and frailty.
 2. 井上達朗, 三栖翔吾, 田中利明, 笈哲也, 垣内優芳, 中馬優樹, 小野玲. 19項目で構成した Modified Frailty Indexは大腿骨近位部骨折患者のADLを予測できるか. 第32回兵庫県理学療法学術大会.
 3. 井上達朗, 前田圭介, 永野彩乃, 清水昭雄, 上島順子, 室谷健太, 佐藤圭祐, 椿淳裕. 大腿骨近位部骨折患者における低栄養, サルコペニア, フレイルと介入ストラテジー: ナラティブレビュー. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会
 4. 井上達朗, 前田圭介, 佐竹昭介, 松井康素, 荒井秀典. オステオサルコペニアと社会的フレイルは横断的に関連する. 第8回サルコペニア・フレイル学会
 5. 井上達朗. 誤嚥性肺炎と食べる支援-早期離床・早期リハと誤嚥性肺炎-. 第11回日本リハビリテーション栄養学会. 愛知, 2021.1.16-1.17. 【シンポジウム】
 6. 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 島田雄輔, 平郡康則. サルコペニアが回復期リハビリテーション病棟入棟患者の実績指数, 入院コストに与える影響. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会
 7. 中村純也, 井上達朗, 上田雄也, 内田一彰, 小野玲. 地域在住高齢者におけるフレイルをスクリーニングする反復唾液嚥下試験 (RSST) カットオフ値の検討. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会
 8. 上島順子, 前田圭介, 清水昭雄, 井上達朗, 室谷健太, 森直治, 佐竹昭介, 松井康素, 荒井秀典. 第8回サルコペニア・フレイル学会
 9. Nakamura J, Inoue T, Ueda Y, Uchida K, Ono R. Repeated saliva swallowing test (RSST) cut-off values to screen for sarcopenia in community-dwelling elderly. " 2nd World Dysphagia Summit
 10. 垣内優芳, 井上達朗. 高齢肺炎入院患者の自己排痰可否を判断する咳嗽力の基準値. 第6回日本栄養・嚥

下理学療法研究会. オンライン開催. 2022.2.19.

11. 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. 骨格筋量指数 (SMI) は回復期リハビリテーション病棟での実績指数を低下させる. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会. オンライン開催. 2022.2.19.
12. 小林光, 井上達朗, 小川真人, 阿部貴文, 田中利明, 垣内優芳. GLIM基準で診断した低栄養は大腿骨近位部骨折患者の急性期の歩行能力を予測するか. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会. オンライン開催. 2022.2.19.
13. 白井信行, 井上達朗, 山本卓, 椿淳裕. 血液透析患者における偶発的な転倒と栄養関障の関連: Narrative review. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会. オンライン開催. 2022.2.19.
14. 宮本明, 中島活弥, 栗本由美, 南谷さつき, 石川淳, 鈴木裕也, 内田学, 高橋浩平, 小泉千秋, 井上達朗, 森下元賀, 久保高明, 森憲一, 山田実, 吉田剛. 一般会員が栄養・嚥下理学療法の研究を進めるうえで必要としていること～第4回栄養・嚥下理学療法部門研究会アンケート調査より～. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会. オンライン開催. 2022.2.19.
15. 石田優利亜, 清水昭雄, 前田圭介, 室谷健太, 井上達朗, 上島順子, 森直治. 脳卒中患者の自宅退院予測スコアの妥当性の検討. 第24・25回病態栄養学会年次学術集会
16. 上島順子, 前田圭介, 石田優利亜, 清水昭雄, 井上達朗, 野々垣知行, 松山怜実, 山中洋介, 永野彩乃, 森直治. SARC-Fは高齢の急性期病院入院患者の30日死亡リスクを予測する. 第24・25回病態栄養学会年次学術集会

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養・嚥下理学療法研究会 (理事), 日本老年療学会 (理事, 広報委員長), 日本臨床栄養代謝学会 (学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人), 日本リハビリテーション栄養学会 (代議員, 理学療法士部役員), 日本骨粗鬆学会 (骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員), 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本老年医学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本老年療学会 設立記念シンポジウム 実行委員長
 2. 第8回日本栄養・嚥下理学療法研究会 準備委員長
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本栄養・嚥下理学療法研究会 理事
 2. 日本老年療学会 理事, 広報委員長
 3. 日本臨床栄養代謝学会 学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人
 4. 日本リハビリテーション栄養学会 代議員, 学術雑誌編集委員, 教育委員会 委員, 論文賞選考委員会 委員, 国際委員会 委員, 理学療法士部 役員
 5. 日本骨粗鬆学会 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
 6. 第7回日本予防理学療法学会 演題査読
 7. The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 査読
 8. The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle 査読
 9. Progress in Rehabilitation Medicine 査読
 10. Journal of General and Family Medicine 査読
 11. Geriatrics & Gerontology International 査読
 12. 学会誌 JSPEN 査読
 13. サルコペニア・フレイル学会誌 査読
 14. リハビリテーション栄養, 査読
 15. リハビリテーション栄養, 査読
 16. リハビリテーション栄養, 査読
 17. 第6回栄養・嚥下理学療法研究会 演題査読

18. 第6回栄養・嚥下理学療法研究会 セレクション演題 座長

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 西大和リハビリテーション研修会 高齢骨折患者のサルコペニア・フレイルとその対策, 講師, Web開催, 大和リハビリテーション研修会, 医療従事者, 2021.5.14.
2. 神戸市立西神戸医療センター NST講演会, サルコペニアとフレイルの最新トピックスー臨床での評価と対策ー, 講師, Web開催, 神戸市立西神戸医療センター, 医療従事者, 2021.6.17.
3. 社会医療法人桑名恵風会 桑名病院 リハビリテーション研修会, サルコペニアとフレイルの最新トピックスー臨床での評価と対策ー, 講師, Web開催, 桑名病院, 2021.6.24.
4. 神戸大学大学院保健学研究科 OBセミナー, 老年栄養のcurrent topics, 講師, Web開催, 神戸大学大学院, 大学院生, 2021.9.25.
5. 医療法人社団 六心会 恒星病院 リハビリテーション科研修会, サルコペニアと栄養障害における最新トピックス, Web開催, 恒星病院, 医療従事者, 2021.12.8.
6. 兵庫県介護支援専門員協会 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会 (STEP II) 合同研修会, 栄養とリハビリテーションの基本ーNSTでの取り組みを交えてー, Web開催, 兵庫県介護支援専門員協会 兵庫県リハ3士会, 医療従事者, 2022.2.7.
7. 新潟県理学療法士会技術研修会「循環器疾患の理学療法の基礎」, トピックス:サルコペニア, Web開催, 新潟県理学療法士会, 医療従事者, 2021.2.23.
8. 新潟市社会福祉協議会, 運動と栄養で伸ばそう健康寿命, 新潟市社会福祉協議会, 地域住民, 2021.11.16.
9. 日本リハビリテーション栄養学会 オンラインサロン, 栄養と理学療法, 日本リハビリテーション栄養学会, Web開催, 医療従事者, 2021.7.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県フレイル克服プロジェクト 委員

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本理学療法学会連合 日本栄養・嚥下理学療法研究会 (理事), 日本老年療法学会 (理事, 広報委員長), 日本臨床栄養代謝学会 (学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人), 日本リハビリテーション栄養学会 (代議員, 学術雑誌編集委員, 教育委員会 委員, 論文賞選考委員会 委員, 国際委員会 委員, 理学療法士部会 役員), 日本骨粗鬆学会 (骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2022年, 科学研究費補助金, 若手研究, 母指球筋を用いた新たな筋量指標の開発と疾患予後を予測する指標への応用, 代表者
2. 2022年, 厚生労働省老健局 厚生労働科学研究費補助金 (長寿政策研究事業), 生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドラインおよびマニュアルの整備に資する研究, 分担

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院 骨粗鬆リエゾン委員会 オブザーバー
2. 国立長寿医療研究センター 老年内科 外来研究員
3. 神戸大学大学院 保健学研究員

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員, 運動機能医科学研究所

氏名: 菊元 孝則

- 1 研究題目 膝前十字靭帯損傷予防への科学的基礎, バスケットボール選手の運動機能に関する研究, 慢性足関節不安定症が膝関節のバイオメカニクスに与える影響

2 報告書

1. 菊元孝則, 大森豪, 江玉陸明. 若手研究, 膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明, 報告書, 2018-2020, 研究代表者
2. 江玉陸明, 高林知也, 菊元孝則, 大森豪, 影山幾男. 基盤研究 (C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 報告書, 2019-2022, 研究分担者

3 学会等研究発表

1. 菊元孝則, 伊藤篤司, 小林真里奈, 若月弘久. 大学生バスケットボール選手における functional movement screen と障害発生との関連性についての検証. 第21回新潟医療福祉学会 (オンライン), 2021.10.30.
2. 菊元孝則, 伊藤篤司, 小林真里奈, 若月弘久. functional movement screen と障害発生との関連性についての検証. 第8回日本バスケットボール学会学術大会 (オンライン), 2021.12.18.
3. 菊元孝則, 水谷準, 信田純一, 上松大輔. バスケットボール選手における慢性足関節不安定症の病態分類. 第76回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.19.
4. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉陸明, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
5. 菊元孝則, 水谷準, 松田孝史, 八子元気, 岡田洋和, 宮坂大, 近良明. バスケットボール選手に対する大規模アンケートによる足関節捻挫の実態調査. 第34回日本臨床整形外科学会 (オンライン), 2021.10.4-10.29.
6. Kikuchi Y, Ito W, Takabayashi T, Kikumoto T, Kubo M. Does hip internal rotation range affect the center of pressure during crossover cutting?. European College of Sport Science (オンライン), 2021.9.8-9.11.
7. 石山晴貴, 高林知也, 平塚栞, 雪松憂月, 鈴木駿佑, 伊藤渉, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足の arch height flexibility が short foot exercise 中の母趾外転筋活動および内側縦アーチ角度に与える影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.12.11-12.12.
8. 平塚栞, 高林知也, 雪松憂月, 石山晴貴, 渡辺千夏, 菊元孝則, 伊藤渉, 久保雅義. 扁平足者におけるランニング時の足部と下腿間の運動連鎖. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.10.23-10.25.
9. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉陸明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
10. 江玉陸明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
11. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉陸明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響－周波数特異性の検討－. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
12. 稲葉洋美, 江玉陸明, 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
13. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉陸明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食習慣との関連. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.13-12.6.
14. 平田萌々花, 伊藤渉, 菊元孝則, 高林知也, 堀田一樹, 久保雅義. 大学生女性アスリートにおける慢性足関節不安定症を有する者と coper のカッピング動作中の運動学的特徴の違い. 第8回日本スポーツ理学

療法学会学術大会. 2021.12.11-12.12.

15. 西村明人, 伊藤涉, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ローイング動作における漕距離が腰部の姿勢と腰部伸筋筋活動に与える影響について. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会. 2021.12.11-12.12.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本スポーツ理学療法学会 (国際委員会), 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本バスケットボール学会, 日本体育学会, American College of Sports Medicine
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Physiotherapy Theory and Practice, 査読 (UPTP-2022-0064)
 2. Journal of Foot and Ankle Research, 査読 (JFAR-D-22-00017)

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本バスケットボール協会JBA公認講習会, 足関節捻挫を繰り返さないために, 講師, 新潟県バスケットボール協会, JBA公認コーチライセンス保有者, オンライン, 2021.12.1.
2. 日本バスケットボール協会JBA公認講習会, 成長期とトレーニング, 講師, 新潟県バスケットボール協会, JBA公認コーチライセンス保有者, オンライン, 2021.9.29.
3. Rehabilitation Sciences Convention 2022, Sports Science, University Santo Thomas, オンライン, 2022.3.12.
4. 新潟市中体連部活動指導者研修会, 成長期のスポーツ選手に求められる身体機能, 講師, 新潟県中体連, 部活動指導者, 新潟市, 2021.8.27.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. インターネット, 一般社団法人新潟県バスケットボール協会, 部活動再開指標・ステップアッププログラム, 2022.1.23.

3) 社会活動への参加協力

1. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.
2. 新潟県高等学校体育連盟, 全国高校総体バスケットボール大会メディカルサポート, 長岡市・アオーレ長岡, 2021.7.25-7.27.
3. 新潟県高等学校体育連盟, 北信越総体バスケットボールメディカルサポート, 長岡市・長岡市民体育館, 2021.6.19-6.21.
4. 新潟県高等学校体育連盟, 第74回新潟県高等学校総合体育大会総体バスケットボールメディカルサポート, 長岡市・長岡市民体育館, 2021.6.4-6.6.
5. 開志国際高等学校, 第74回全国高校選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 新潟市, 2021.5.30-5.31.
6. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, 成年国体男子チーム メディカルサポート, 新潟市, 2021.8.14-8.16.
7. 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会, 医療サービス, 選手村総合診療所 (晴海), 2021.8.2-8.6.
8. 開志国際高等学校, 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会SoftBank ウインターカップ2021, メディカルサポート, 東京体育館, 2021.12.23-12.29.
9. 一般財団法人新潟県バスケットボール協会, Performance Screening Niigata事業, 企画運営, 県内大学バスケットボール選手, 新潟市, 2021.4.24-4.25.
10. 日本スポーツ理学療法学会 国際委員会, 国際認定資格検討会, 部会員, オンライン会議, 2022.2.1-3.31.

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会 (副委員長), 日本スポーツ理学療法学会 国際委員会

(国際認定資格検討部会 部会員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，基盤研究（C），アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～，研究分担者
2. 2020年度，若手研究，膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明，菊元孝則，研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 男子バスケットボール部，第55回北信越大学バスケットボール選手権，優勝，柏崎市，2020.10.31.（アドバイザー／メディカルサポート）
2. 女子バスケットボール部，第55回北信越大学バスケットボール選手権，準優勝，柏崎市，2020.10.30.（アドバイザー／メディカルサポート）

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学，スポーツ健康科学，2021.4.1-2022.3.31.
2. 開志国際高等学校，アスリートサポート，2021.4.1-2022.3.31.

7 学内委員会活動 国際交流委員会（オンライン研修部会長），アスリートサポート研究センター（研究員），運動機能医科学研究所（研究員），SHAINプロジェクト

氏名：小島 翔

1 研究題目 触覚刺激の刺激効果に関する研究，脳卒中患者に対する脳刺激介入の個人差に関する研究

2 論文

1. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. *Brain Science (JCR)*. 2021;11(11):1494. doi: 10.3390/brainsci11111494.(review)
2. Sakai S, Saito K, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Grating orientation task trial numbers for short- and long-term tactile discrimination learning. *Journal of Clinical Neuroscience (JCR)*. 2021;93:195-199. doi: 10.1016/j.jocn.2021.08.026. (review)
3. Sasaki R, Kojima S, Onishi H. Do Brain-Derived Neurotrophic Factor Genetic Polymorphisms Modulate the Efficacy of Motor Cortex Plasticity Induced by Non-invasive Brain Stimulation? A Systematic Review. *Frontiers in Human Neuroscience (JCR)*. 2021;15:742373. doi: 10.3389/fnhum.2021.742373. eCollection 2021.(review)
4. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. *Cerebral Cortex (JCR)*. 2021:bhab370. doi: 10.1093/cercor/bhab370. (review)
5. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. *Eur J Pain*. 2022 Feb;26(2):349-355. doi: 10.1002/ejp.1863. (review)
6. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Effects of transcranial random noise stimulation timing on corticospinal excitability and motor function. *Behavioral Brain Research (JCR)*. 2021;414:113479. doi: 10.1016/j.bbr.2021.113479. (review)

3 学会等研究発表

1. 神居寧，小島翔，齊藤慧，大西秀明. 刺激部位の異なる末梢神経電気刺激が下肢反応時間および脊髄反射に及ぼす影響. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会（WEB開催），2021.9.18-9.21.
2. 丸山雄基，小島翔，大鶴直史，大西秀明. 刺激様式の異なる一定時間の触覚刺激介入が選択反応能力に及

- ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌, ハイブリット開催), 2021.10.23-10.24.
3. 渡邊拓, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激が一次体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌, ハイブリット開催), 2021.10.23-10.24.
 4. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いた Paired Pulse Depression と二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌, ハイブリット開催), 2021.10.23-10.24.
 5. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的效果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌, ハイブリット開催), 2021.10.23-10.24.
 6. 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 静的及び動的な触覚刺激介入が触覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会 (WEB開催), 2021.10.30.
 7. 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いがActive Touch 介入効果に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会 (WEB開催), 2021.10.30.
 8. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (仙台, ハイブリット開催), 2021.12.16-12.18.
 9. 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂葉への経頭蓋直流電気刺激は下肢視覚追従課題の成績を向上させる. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (仙台, ハイブリット開催), 2021.12.16-12.18.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床神経生理学会, 日本生体磁気学会, 全国大学理学療法教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 令和3年度理学療法教員協議会, 運営, WEB開催, 2021.3.26.
 2. 基礎理学療法学, 査読
 3. Medical Science Monitor Basic Research, reviewer
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 3. 2021年度, 立石科学技術振興財団研究助成 (A), 個人の脳構造特性から非侵襲的脳刺激法による運動機能向上効果を予測する, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

氏名：齊藤 慧

- 1 研究題目 体性感覚機能に関する研究 (神経生理学)
- 2 論文
 1. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. Brain Sciences. 2021; 12(11): 1494 (査読あり)
 2. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. European

Journal of Pain. 2021; 26: 349-355 (査読あり)

3. Sakai S, Saito K, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Grating orientation task trial numbers for short- and long-term tactile discrimination learning. Journal of Clinical Neuroscience. 2021; 93: 195-199 (査読あり)
4. Pham MV, Miyaguchi S, Watanabe H, Saito K, Otsuru N, Onishi H. Effect of Repetitive Passive Movement Before Motor Skill Training on Corticospinal Excitability and Motor Learning Depend on BDNF Polymorphisms. Frontiers in Human Neuroscience. 2021; 15: Article 621358 (査読あり)

3 報告書

1. 齊藤慧. 基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究実施状況報告書, 2020年~2022年, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.10.23-10.24.
2. 神居寧, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 刺激部位の異なる末梢神経電気刺激が下肢反応時間および脊髄反射に及ぼす影響. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (オンライン), 2021.9.18-9.21.
3. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いた Paired Pulse Depression と二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.10.23-10.24.
4. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的な効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (オンライン), 2021.10.23-10.24.
5. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (オンライン), 2021.12.16-12.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 日本物理療法学会, 全国大学理学療法教育学会, 日本神経科学学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本理学療法士協会, 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 企画部長, 2021.4-9.
 2. 日本理学療法士協会, 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 表彰選考委員, 2021.5-9.
 3. 日本理学療法士協会, 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 運営委員, 2021.9.4-9.5.
 4. 全国大学理学療法教育学会, 2021年度日本理学療法士教員協議会, 準備委員 (財務担当), 2021.3.
 5. 全国大学理学療法教育学会, 2021年度日本理学療法士教員協議会, 運営委員, 2021.3.26.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本体力医学会, 査読
2. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, シンポジウム2「神経科学に基づく新たなリハビリテーション戦略について」, 座長, 新潟市, 2021.4-9.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新人教育研修会, 理学療法と倫理, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, WEB開催, 2021.5.9.
2. 新人教育研修会, 理学療法と倫理, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, WEB開催, 2022.1.24.
3. 新人教育研修会, 理学療法と倫理, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, WEB開催, 2022.1.31.
4. 運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法 (基礎編), 電気刺激療法により運動麻痺が改善するメカニズムならび効果的な刺激方法, 講師, 理学療法士・作業療法士, WEB開催,

2022.2.5.

5. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, 看護リハビリ新潟保健医療専門学校, 2021.4.18.
6. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, 講師・ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, 新潟医療福祉大学, 2021.9.11-9.12.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学術局会議, 企画部長, 新潟県理学療法士会事務所, 2021.4.24.
2. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学術局会議, 企画部長, WEB開催, 2021.5.31.
3. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 表彰選考委員会会議, 委員兼事務担当, WEB開催, 2021.4.24.
4. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学術局会議, 企画部長, 新潟県理学療法士会事務所, 2021.6.23.
5. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.6.24.
6. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.7.15.
7. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 表彰選考委員会会議, 委員兼事務担当, WEB開催, 2021.7.26.
8. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.8.19.
9. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.8.30.
10. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.8.31.
11. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 表彰選考委員会会議, 委員兼事務担当, 朱鷺メッセ, 2021.9.5.
12. 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 学会大会準備委員会会議, 企画部長, WEB開催, 2021.9.28.
13. 新潟県理学療法士会, 学術局会議, 委員, WEB開催, 2021.12.10.
14. 全国大学理学療法教育学会, 臨時理事会, 学会事務局担当, WEB開催, 2021.11.13.
15. 全国大学理学療法教育学会, 第1回理事会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.11.13.
16. 全国大学理学療法教育学会, 第2回理事会, 学会事務局担当(書記), WEB開催, 2022.3.1.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県理学療法士会(学術部員), 全国大学理学療法教育学会(事務局員, 庶務)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究代表者

8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名：高橋 英明

- 1 研究題目 腱－骨移行部（Enthesis）に関する研究，変性性膝関節症に関する研究，骨格筋に関する研究，糖尿病の骨脆弱性に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 高橋英明, 高木悠佑. 2型糖尿病モデルラットの脛骨近位端における骨細胞の変化－骨小腔と Sclerostin の組織学的検討－. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2021.10.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本理学療法士協会，日本体力医学会，日本骨代謝学会，日本物理療法学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会，第21回新潟医療福祉学会学術集会，実行委員，新潟市，2021.10.30.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 臨床実習指導者講習会，講師およびファシリテーター，全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会，理学療法士，新潟市・看護リハビリ新潟保健医療専門学校，2021.4.17-4.18.
 2. 臨床実習指導者講習会，講師およびファシリテーター，全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会，理学療法士，長岡市・晴陵リハビリテーション学院，2021.11.13-11.14.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度，若手研究，軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科，リハビリテーション医学，2021.4.20-8.17.
- 6 学内委員会活動 就職センター運営委員会（副委員長），運動機能医学研究所

氏名：高林 知也

- 1 研究題目 ランニング障害に関する研究，足部バイオメカニクスに関する研究
- 2 著書
 1. 公益社団法人日本理学療法士協会，高林知也. 理学療法ガイドライン. 第2版. 東京：医学書院；2021：481-494.
 2. 斉藤秀之，加藤浩，高林知也. 明日の運動療法を磨く理学療法プラクティス. 東京：文光堂.（印刷中）
- 3 論文
 1. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Copers adopt an altered dynamic postural control compared to individuals with chronic ankle instability and controls in unanticipated single-leg landing. Gait & Posture (JCR). (in-press) (review).
 2. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Copers exhibit altered ankle and trunk kinematics compared to the individuals with chronic ankle instability during single-leg landing. Sports Biomechanics (JCR). (in-press) (review).
 3. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2021; 43(10): 1691-1695. (review)
 4. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. (JCR). 2021; 43(12): 2077-2081. (review)

5. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Effects of step length and cadence on hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. PeerJ (JCR). 2021; 23(9). (review).
 6. 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. ランニング中に扁平足の足部内で生じる力学的負荷の解明. デザントスポーツ科学. (査読あり)
 7. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 変形性股関節症の進行を遅延させるためのバイオメカニクス研究. 日本基礎理学療法学会誌 (協力学術研究団体). 2021; 24 (1): 26-32. (査読あり)
 8. 徳永由太, 高林知也, 久保雅義. ハムストリングスが膝関節伸展作用を発揮できる股・膝関節角度条件の同定. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21 (3): 100-107. (査読あり)
 9. Nguyen Dang Khoa, 徳永由太, 高林知也, 稲井卓真, 久保雅義. 足関節内反捻挫者の膝関節制限による足関節不安定性評価. バイオメカニクス学会誌 (協力学術研究団体). 2021; 45 (4): 245-250. (査読あり)
- 4 報告書
1. 高林知也. 若手, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 研究実施状況報告書, 2020-2021, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
1. 高林知也. 扁平足におけるランニング中の足部内キネマティクス. 第26回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2021.10.23-10.24.
 2. 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 稲井卓真, 久保雅義. 数理モデルを用いたシミュレーション解析による膝蓋大腿関節ストレスの性差. 第26回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2021.10.23-10.24.
 3. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 膝関節屈曲角度と膝関節伸展モーメントの変化が膝蓋腱張力に与える影響—モデルシミュレーション研究—. 第21回新潟医療福祉学会 (Web), 2021.10.31.
 4. 高林知也, 江玉睦明. ランニング中における前額面上の足関節, ショパール関節, リスフラン関節モーメントの違い. 第46回日本足の外科学会学術集会. 第46回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2021.11.11-11.12.
 5. Kikuchi Y, Ito W, Takabayashi T, Kikumoto T, Kubo M. Does hip internal rotation range affect the center of pressure during crossover cutting?. European College of Sport Science (Web), 2021.9.8-9.11.
 6. 西口ほのか, 高林知也, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いが腓腹筋筋活動に与える影響. 第21回新潟医療福祉学会 (Web), 2021.10.31.
 7. 平塚栞, 高林知也, 雪松憂月, 石山晴貴, 渡辺千夏, 菊元孝則, 伊藤渉, 久保雅義. 扁平足者におけるランニング時の足部と下腿間の運動連鎖. 第26回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2021.10.23-10.24.
 8. 石山晴貴, 高林知也, 平塚栞, 雪松憂月, 鈴木駿佑, 伊藤渉, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足の arch height flexibilityがshort foot exercise中の母趾外転筋筋活動および内側縦アーチ角度に与える影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (Web), 2021.12.11-12.12.
 9. 渡邊貴博, 高林知也, 久保雅義. 後足部・中足部・前足部間の coordination variabilityはランニング立脚期のサブフェーズ間で異なる. 第21回新潟医療福祉学会 (Web), 2021.10.31.
 10. Le Van Thiet, 伊藤渉, 高林知也, 久保雅義. Lower extremity muscle contributions to anteroposterior and vertical acceleration of center of mass during first stance in sprinting of soccer players. 第21回新潟医療福祉学会 (Web), 2021.10.31.
 11. 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. Coperはランニング時に慢性足関節不安定症を有する者や健康者とは異なる足部内協調性パターンを呈する. 第27回日本バイオメカニクス学会大会. (茨城), 2021.11.6-11.7.
 12. 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. 肘尺側副韌帯横走線維束の肘外反制動機能. JOSKAS/JOSSM meeting (Web), 2021.6.17-6.19.

13. 江玉睦明, 高林知也. 胎児を用いたアキレス腱の捻れ構造の検討. 第46回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2021.11.11-11.12.
14. 江玉睦明, 高林知也. 前距腓靭帯の線維束数. 第46回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2021.11.11-11.12.
15. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2021.11.13-12.6.
16. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2021.11.13-12.6.
17. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩行速度と立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスの関係性. 第26回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2021.10.23-10.24.
18. 稲井卓真, 藤本雅大, 高林知也, 小林吉之. 転倒経験の有無が歩行中の前額面上の下肢関節モーメントに与える影響. 第42回バイオメカニズム学術講演会 (仙台), 2021.11.26-11.27.
19. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 昇段動作の速度と股関節内・外転モーメントインパルスの関係性. 第9回日本運動器理学療法学会学術大会 (Web), 2021.9.11-9.12.
20. 今井佑大, 高林知也, 菊元孝則, 伊藤渉, 石井健史, 久保雅義. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (Web), 2021.12.11-12.12.
21. 西村明人, 伊藤渉, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ローイング動作における漕距離が腰部の姿勢と腰部伸筋筋活動に与える影響について. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (Web), 2021.12.11-12.12.
22. 平田萌々花, 伊藤渉, 菊元孝則, 高林知也, 堀田一樹, 久保雅義. 大学生女性アスリートにおける慢性足関節不安定症を有する者とcoperのカッティング動作中の運動学的特徴の違い. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (Web), 2021.12.11-12.12.
23. 津村諒, 高野義隆, 高林知也, 山本智章. 大腿骨近位部骨折術後早期の基本動作能力と退院時歩行能力の関連—Cumulated Ambulation Score (CAS) を用いた検討—. 日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会 (Web), 2022.3.4-3.5.

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 足の構造と機能研究会 (理事), 日本スポーツ理学療法学会 (機関紙編集委員), 日本スポーツ理学療法学会 (国際認定資格検討委員), 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 日本足の外科学会, 新潟スポーツ理学療法研究会, 全国大学理学療法教育学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Gait & Posture, 査読
 2. Journal of Applied Biomechanics, 査読
 3. Journal of Biomechanics, 査読
 4. Journal of Multidisciplinary Healthcare, 査読
 5. Plos One, 査読
 6. Sports Biomechanics, 査読
 7. International Journal of Sports and Exercise Medicine, 査読
 8. MDPI Sports, 査読

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. セミナー, 足部バイオメカニクス, 講師, 広島国際大学, 理学療法士, Web, 2021.6.22.
 2. セミナー, 第1回Rプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルク

- ラボ, 理学療法士, Web, 2021.5.29.
3. セミナー, 第2回Rプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, 理学療法士, Web, 2021.7.10.
 4. セミナー, 第3回Rプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, 理学療法士, Web, 2021.8.7.
 5. セミナー, 第4回Rプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, 理学療法士, Web, 2021.8.21.
 6. 専門理学療法士(基礎理学療法学会)更新セミナー, ヒト対象の基礎的研究(バイオメカニクス研究), 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, e-learning教材.
 7. Webiner, 綺麗な足の曲げ方を考える! -機能解剖に基づくアプローチ-, 足関節背屈制限を呈した症例に対する理学療法, パネリスト, 日本足の外科学会, 医師・理学療法士, Web, 2021.5.12.
- 2) 社会活動への参加協力
1. Webiner, 綺麗な足の曲げ方を考える! -機能解剖に基づくアプローチ-, 足関節背屈制限を呈した症例に対する理学療法, 記事作成, 日本足の外科学会, 医師・理学療法士, 2021.5.12.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 日本理学療法士協会・足部足関節理学療法ガイドラインチーム(班員), 新潟県理学療法士会東ブロック管理者ネットワーク(事務局)
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究分担者
 2. 2020年度, 科研費若手, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 研究分担者
 4. 2021年度, 石本記念デサントスポーツ科学振興財団, ランニング中に扁平足の足部内で生じる力学的負荷の解明, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 基礎理学療法専門理学療法士(2021.2.25), 第21回新潟医療福祉学会奨励賞(共同演者), 新潟医療福祉学会誌会頭賞(共同著者)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院(非常勤勤務), 理学療法士, 2016.6-(現在)
 2. 二王子とっさか(非常勤勤務), 理学療法士, 2019.1-(現在)
- 9 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員), SHAINプロジェクト(研究メンバー)

氏名: 玉越 敬悟

- 1 研究題目 脳卒中後の運動療法による運動機能の回復機序および脳内改善メカニズムに関する研究
- 2 論文
 1. Tamakoshi K, Maeda M, Murohashi N, Saito A. Effect of exercise from a very early stage after intracerebral hemorrhage on microglial and macrophage reactivity states in rats. Neuroreport (JCR). 2022; 33(7): 304-311. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. Tamakoshi K, Maeda M, Murohashi N, Saito A. Effects of very early exercise intervention on motor function recovery and microglial activation in a rat model of cerebral hemorrhage. The 64th Annual

Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry (Web meeting), 2021.9.30-10.1.

2. 玉越敬悟, 前田まどか, 室橋七衣, 齊藤愛海. 脳出血モデルラットにおける超早期運動介入が運動機能回復およびミクログリア活性化に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大 (オンライン), 2021.10.23-10.24.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経科学会, 日本神経化学会, 日本運動生理学会, 日本生理学会, 日本脳循環代謝学会, Society for neuroscience

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2021年度認定必須研修会 (基礎), e-learningコンテンツの作成, 日本理学療法士協会
2. 2021年度認定必須研修会 (基礎), オンラインセミナー, 日本理学療法士協会, 2021.8.22.

2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人日本基礎理学療法学会・教育部会 (部会員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 令和2年度 (第33回) 中富健康科学振興財団, 脳卒中超早期リハビリテーションによる神経細胞死誘導機構の解明 (研究代表者)

7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所 (研究員), SHAINプロジェクト (神経・筋・骨組織研究メンバー)

氏名: 中村 雅俊

- 1 研究題目 ストレッチングが筋腱複合体に及ぼす影響, レジスタンストレーニングの効果検証, 遅発性筋痛に対する運動療法の効果検証

2 論文

1. Nakamura M, Ikezu H, Sato S, Yahata K, Kiyono R, Yoshida R, Takeuchi K, Nunes JP. Effects of Adding Inter-Set Static Stretching to Flywheel Resistance Training on Flexibility, Muscular Strength, and Regional Hypertrophy in Young Men. *Int J Environ Res Public Health*. 2021. 18(7), 3770.
2. Konrad A, Mocnik R, Nakamura M. Effects of tissue flossing on the healthy and impaired musculoskeletal system: A scoping review. *Front. Physiol. (JCR)*. 2021: 12: 666129.
3. Nakamura M, Sato S, Sanuki F, Murakami Y, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Takeuchi K. Effects of hot pack application prior to high-intensity stretching on quadriceps muscle. *Int J Ther Rehabil*. 2021. 28 (10).
4. Nakamura M, Konrad A, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Yoshida R, Yasaka K, Murakami Y, Sanuki F, Wilke J. Local and nonlocal effects of foam rolling on passive soft tissue properties and spinal excitability. *Front. Physiol. (JCR)*. 2021. 25; 12: 702042.
5. Takeuchi K, Akizuki K, Nakamura M. The acute effects of high-intensity jack-knife stretching on the flexibility of the hamstrings. *Sci Rep*. 2021. 11, 12115.
6. Sato S, Yoshida R, Kiyono R, Yahata K, Yasaka K, Nosaka K, Nakamura M. Cross-education and detraining effects of eccentric vs concentric resistance training of the elbow flexors. *BMC Sports Sci Med Rehabil. (JCR)*. 2021. 6; 13(1): 105.
7. Yanase K, Ikezoe T, Nakamura M, Saeki J, Yagi M, Hirono T, Tamezawa T, Motomura Y, Ibuki S, Ichihashi N. Effective muscle elongation positions for the neck extensor muscles: An ultrasonic shear wave elastography study. *J Electromyogr Kinesiol. (JCR)*. 2021. 60: 102569.
8. Takeuchi K, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Murakami Y, Sanuki F, Yoshida R, Nakamura M. High-intensity static stretching in quadriceps is affected more by its intensity than its duration. *Front Physiol*. 2021. 12: 709655.

9. Konrad A, [Nakamura M](#), Bernsteiner D, Tilp M. The Accumulated Effects of Foam Rolling Combined with Stretching on Range of Motion and Physical Performance: A Systematic Review and Meta-Analysis. *J Sports Sci Med. (JCR)*. 2021. (20), 535-545.
10. Oyanagi Y, Fukushi I, [Nakamura M](#), Suzuki K, Oda N, Aita T, Seki H. The effect of body weight-supported overground gait training for patients with Parkinson's disease: A retrospective case-control observational study. *PLoS ONE*. 2021, 116(7): e0254415.
11. [Nakamura M](#), Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Yasaka K, Yahata K, Konrad A. Comparison between foam rolling with and without vibration on passive and active plantar flexor muscle properties. *J Strength Cond Res*. 2021. in press.
12. Reiner M, Tilp M, Guilhem G, Morales A, [Nakamura M](#), Konrad A. Effects of a single proprioceptive neuromuscular facilitation stretching exercise with and without post-stretching activation on the muscle function and mechanical properties of the plantar flexor muscles. *Front Physiol. (JCR)*. 2021. 12: 732654.
13. Sato S, Yoshida R, Kiyono R, Yahata K, Yasaka K, Nunes JP, Nosaka K, [Nakamura M](#). Elbow joint angles in elbow flexor unilateral resistance exercise training determine its effects on muscle strength and thickness of trained and non-trained arms. *Front Physiol. (JCR)*. 2021. 12: 734509.
14. [Nakamura M](#), Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Murakami Y, Yasaka K, Yahata K, Konrad A. Acute effect of vibration roller with and without rolling on various parts of the plantar flexor muscle. *Front Physiol*. 2021. 12: 716668.
15. Takeuchi K, Akizuki K, [Nakamura M](#). Time course of changes in the range of motion and muscle-tendon unit stiffness of the hamstrings after two different intensities of static stretching. *PLoS ONE. (JCR)*. 2021. 16(9): e0257367.
16. Konrad A, Tilp M, [Nakamura M](#). A Comparison of the Effects of Foam Rolling and Stretching on Physical Performance. A Systematic Review and Meta-Analysis. *Front Physiol. (JCR)*. 2021. 12: 720531.
17. Fukushi I, [Nakamura M](#), Kuwana S. Effects of Wearing Facemasks on the Sensation of Exertional Dyspnea and Exercise Capacity in Healthy Subjects. *PLoS ONE. (JCR)*. 2021, 30;16(9):e0258104.
18. [Nakamura M](#), Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Nishishita S, Konrad A. Relationship between changes in passive properties and muscle strength after static stretching. *J Bodyw Mov Ther. (JCR)*. 2021. 28. 553-539.
19. Takeuchi K, Akizuki K, [Nakamura M](#). Association between static stretching load and changes in the flexibility of the hamstrings. *Sci Rep. (JCR)*. 2021. 5; 11(1): 21778.
20. Nishida S, Ito W, Onishi T, Yoshida R, Sato S, [Nakamura M](#). The effect of ankle position on peak eccentric force during the Nordic hamstring exercise. *J Sports Sci Med. (JCR)*. 2021 5; 11(1): 21778.
21. [Nakamura M](#), Yoshida R, Sato S, Yahata K, Murakami Y, Kasahara K, Fukaya T, Takeuchi K, Nunes JP, Konrad A. Comparison between high-and low-intensity static stretching training on active and passive properties of plantar flexors. *Front Physiol. (JCR)*. 2021. 17; 12: 796497.
22. Fukaya T, Konrad A, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yasaka K, Onuma R, Yoshida R, [Nakamura M](#). Comparison between contract-relax stretching and antagonist contract-relax stretching on gastrocnemius medialis passive properties. *Front Physiol. (JCR)*. 2022. 12: 764792.
23. Konrad A, Kasahara K, Yoshida R, Yahata K, Sato S, Murakami Y, Aizawa K, [Nakamura M](#). Relationship between eccentric exercise-induced loss in muscle function to muscle soreness and tissue hardness. *Healthcare (Basel)*. 2022. 4; 10(1): 96.
24. Suzuki Y, Iijima H, [Nakamura M](#), Aoyama T. Rate of force development in the quadriceps of individuals with severe knee osteoarthritis: a preliminary cross-sectional study. *PLoS ONE. (JCR)*.

2022. 11; 17(1): e0262508.

25. Nakamura M, Yoshida R, Sato S, Yahata K, Murakami Y, Kasahara K, Fukaya T, Takeuchi K, Nunes JP, Konrad A. Cross-education effect of 4-week high- or low-intensity static stretching intervention programs on passive properties of plantar flexors. *J Biomech. (JCR)*. 2022. 17; 133: 110958.
26. Kasahara K, Yoshida R, Yahata K, Sato S, Murakami Y, Aizawa K, Konrad A, Nakamura M. Comparison of the acute effects of foam rolling with high and low vibration frequencies on eccentrically damaged muscle. *J Sports Sci Med. (JCR)*. 2022. 21, 112-119.
27. Sato S, Yoshida R, Murakoshi F, Sasaki Y, Yahata K, Nosaka K, Nakamura M. Effect of daily 3-s maximum voluntary isometric, concentric or eccentric contraction on elbow flexor strength. *Scand J Med Sci Sports. (JCR)*. 2022. 32(5): 833-843.
28. Nakamura M, Konrad A, Kasahara K, Yoshida R, Murakami Y, Sato S, Aizawa K, Koizumi R, Wilke J. The combined effect of static stretching and foam rolling with or without vibration on the range of motion, muscle performance, and tissue hardness of the knee extensor. *J Strength Cond Res. (JCR)*. [in press].
29. Nakamura M, Kasahara K, Yoshida R, Yahata K, Sato S, Murakami Y, Aizawa K, Konrad A. The Effect of Static Compression via Vibration Foam Rolling on Eccentrically Damaged Muscle. *Int J Environ Res Public Health*. 2022. 5; 19(3): 1823.
30. Nishida S, Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Yasaka K, Yoshida R, Nosaka K. Relationship between Nordic hamstring strength and maximal voluntary eccentric, concentric and isometric knee flexion torque. *PLoS One. (JCR)*. 2022. 25; 17(2): e0264465.
31. Konrad A, Bernsteiner D, Reiner M, Nakamura M, Tilp M. An Intense Warm-up Does Not Potentiate Performance Before or After a Single Bout of Foam Rolling. *J Sports Sci Med. (JCR)*. in press.
32. Konrad A, Nakamura M, Palernoster P, Tilp M, Behm D. A comparison of a single bout of stretching or foam rolling on range of motion in healthy adults. *Eur J Appl Physiol. (JCR)*. in press.

3 報告書

1. 中村雅俊. 若手研究, ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明, 科学研究費補助金報告書, 2019-2022 (研究代表者)

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会 (日本基礎理学療法学会企画部協力部員), 日本体力医学会, 日本バイオメカニクス学会, 国際電気生理運動学会 (ISEK), 日本物理療法学会, 日本温泉気候物理医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本ダンス医科学研究会 (世話人), European College of Sport Science

5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞掲載, 共同通信, 2022.2.14.
 2. TV出演, TBSテレビ「THE TIME」, 2022.2.15.
 3. TV出演, フジテレビ「バイキングMORE」, 2022.2.16.
 4. ラジオ出演, TBS RADIO, 2022.2.17.
 5. TV出演, TBSテレビ「ひるおび!」, 2022.2.18.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本基礎理学療法学会文化学会企画部会部員 (若手研究推進委員会), 日本理学療法士協会機関誌「理学療法学」査読委員, 日本理学療法士協会機関誌「Physical Therapy Research」査読委員, 日本ダンス医科学研究会 委員

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019-2021年度, 若手研究, ストレッチングによる筋スティフネス減少メカニズムの解明, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院 (一般整形外来), 2017.4- (継続)
 2. ICM専門学校 (鍼灸学科), 運動学非常勤講師, 2020.9- (継続)

氏名 : 堀田 一樹

- 1 研究題目 骨格筋微小循環の制御機構に関する研究, 佐渡市におけるフレイル一次予防に関する研究
- 2 著書
 1. 編) 石川朗, 木村雅彦, 分担執筆, 堀田一樹, 神谷健太郎. 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 予防理学療法学. 中山書店 2022年
 2. 日本理学療法士協会, 日本理学療法学会連合理学療法標準化検討委員会ガイドライン部会. 理学療法ガイドライン. 医学書院 2021年
- 3 論文
 1. Shimotsu R, Hotta K, Ikegami R, Asamura T, Tabuchi A, Masamoto K, Yagishita K, David C Poole, Kano Y. Vascular permeability of skeletal muscle microvessels in rat arterial ligation model: in vivo analysis using two-photon laser scanning microscopy. American Journal of Physiology. Regulatory, Integrative and Comparative Physiology 320(6) R972-R983 2021.
- 4 学会等研究発表
 1. Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Effect of Sepsis on Microvascular Oxygen Pressure in Rat Diaphragm. 第47回日本微小循環学会 (口述発表) 2022.
 2. 堀田一樹. 循環器の解剖生理. 2021年度 循環器疾患の理学療法の基礎 講習会
 3. Hotta K, Fujii Y, Matoh K, Ikeda M, Umeki S, Inoue T, Morishita S, Tsubaki A. Skeletal muscle PO2 kinetics during hyperoxemia. AsiaPRevent 2021.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年療法学会誌 編集委員, 第6回日本循環器理学療法学会学術大会 広報副部長, 第5回日本循環器理学療法学会学術大会 準備委員会企画部長, 日本心管理理学療法学会 ガイドライン部会部員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 研究員 2021.4-2022.3.
- 7 学内委員会活動 入試委員会 (委員), URA推進室 (委員)

氏名 : 宮口 翔太

- 1 研究題目 経頭蓋電流刺激法が運動学習に与える効果に関する研究
- 2 論文
 1. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. European Journal of Neuroscience. 2021. (査読あり)
 2. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. Behavioral Brain Research. Vol.412. 113433. 2021. (査読あり)
 3. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. European Journal of Pain. Vol.26(2). 349-355. 2021. (査読あり)
 4. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The number or type of

stimuli used for somatosensory stimulation affected the modulation of corticospinal excitability. Brain Sciences. Vol.11(11). 2021. (査読あり)

5. Miyaguchi S, Inukai Y, Hashimoto I, Otsuru N, Onishi H. Sleep affects the motor memory of basketball shooting skills in young amateurs. Journal of Clinical Neuroscience. Vol.96. 187-193. 2022. (査読あり)
6. Sasaki R, Miyaguchi S, Onishi H. Effect of the brain-derived neurotrophic factor gene polymorphisms on motor performance and motor learning: A systematic review and meta-analysis. Behavioral Brain Research. Vol.420. 113712. 2021. (査読あり)
7. Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of catechol-O-methyltransferase gene polymorphism on the correlation between alexithymia and hypervigilance to pain. International Journal of Environmental Research and Public Health. Vol.18(24). 13265. 2021. (査読あり)
8. Miyaguchi S, Inukai Y, Mitsumoto S, Otsuru N, Onishi H. Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. Behavioural Brain Research. Vol.424. 113805. 2022. (査読あり)
9. Kawakami S, Inukai Y, Ikarashi H, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Onishi H. Transcranial direct current stimulation and transcranial random noise stimulation over the cerebellum differentially affect the cerebellum and primary motor cortex pathway. Journal of Clinical Neuroscience. Vol.100. 59-65. 2022. (査読あり)

3 報告書

1. 宮口翔太. 若手研究, 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 研究成果報告書, 2019-2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 宮口翔太, 三本柊士, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳および補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
2. 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
3. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対するtACSが痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
4. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋ランダムノイズ刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
5. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異の効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
6. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髓路興奮性に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
7. 犬飼康人, 鈴木遥香, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. スラックライントレーニングの即時的効果にnGVsが与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
8. 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
9. 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.

10. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いた Paired Pulse Depression と二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (北海道), 2021.10.23-10.24.
 11. 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および一次運動野の興奮性に与える効果. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.18-9.24.
 12. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 堺大輝, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対する経頭蓋交流電流刺激は鎮痛効果を生じさせる. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.18-9.24.
 13. 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回臨床神経生理学会学術大会 (宮城), 2021.12.16-12.18.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法士学会, 日本臨床神経生理学会, 日本理学療法教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 準備委員, 新潟市, 2021.10.30.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県理学療法士会, 新人研修会下越ブロック, 講師, 新潟市, 2021.5.9.
 2. 新潟県理学療法士会, 新人研修会下越ブロック, 講師, 新潟市, 2022.1.25.
 3. 新潟県理学療法士会, 新人研修会下越ブロック, 講師, 新潟市, 2020.2.2.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会, 第40回関東甲信越ブロック理学療法学会. 運営役員, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
 2. 新潟県理学療法士会・県士会会議, 活動計画の検討, 学術委員, 新潟市・県士会事務局, 2021.12.10.
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県理学療法士会 (学術部員), 日本理学療法士協会 認定・専門理学療法士制度委員会 (班員)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), マイクロオンライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 3. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究分担者
- 8 学内委員会活動 高等教育推進センター (教育開発部会), 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト (基礎的研究メンバー)

氏名 : 池上 諒

- 1 研究題目 筋機能の性差, 末梢動脈疾患における筋機能, 温熱刺激と細胞内カルシウムイオン
- 2 論文
 1. Watanabe D, Ikegami R, Kano Y. Predominant cause of faster force recovery in females than males after intense eccentric contractions in mouse fast-twitch muscle. Journal of Physiology (JCR, The Physiological Society). 2021 Sep; 599(18): 4337-4356. (review)
 2. Shimotsu R, Hotta K, Ikegami R, Asamura T, Tabuchi A, Masamoto K, Yagishita K, Poole DC, Kano Y.

Vascular permeability of skeletal muscle microvessels in rat arterial ligation model: in vivo analysis using two-photon laser scanning microscopy. American Journal of Physiology-Regulatory, Integrative and Comparative Physiology (JCR, American Physical Society). 2021 Jun; 320(6): R972-R983. (review)

3. Ikegami R, Eshima H, Nakajima T, Toyoda S, Poole DC, Kano Y. Type I diabetes suppresses intracellular calcium ion increase normally evoked by heat stress in rat skeletal muscle. American Journal of Physiology-Regulatory, Integrative and Comparative Physiology (JCR, American Physical Society). 2021 Apr; 320(4): R384-R392. (review)

3 学会等研究発表

1. 池上諒, 狩野豊. 1型糖尿病骨格筋における温度感受性チャネルの機能的特徴. 第76回日本体力医学会オンライン開催, 2021.9.17-9.19.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会 (一般会員), 新潟県理学療法士会 (一般会員), 日本体力医学会 (一般会員), 新潟医療福祉学会 (一般会員), the American College of Sports Medicine (一般会員), American Physiological Society (一般会員)

2) 学術集会の主催

1. 第21回新潟医療福祉学会, 学会事務, 新潟県, 2021.7-10.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟リサーチミーティング, 温熱療法について糖代謝の観点から, 教育講演の演者, 新潟リサーチミーティング, 現職の理学療法士, オンライン開催, 2021.7.15.

2) 社会活動への参加協力

1. トキめき会, 佐渡の高齢者の運動機能検診, 運営及び測定を実施, 佐渡市, 2021.6.11-6.13, 9.3-9.5, 12.24-12.25.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 研究スタート支援: 温熱刺激が筋肥大を誘発する新規機構の解明とその応用: 温度感受性チャネルに着目して, 研究代表者
2. 健康開発財団研究助成: 温熱療法による筋萎縮予防効果の検討とそのメカニズムの解明—温度感受性TRPチャネルに着目して—, 研究代表者

氏名: 伊藤 渉

報告事項なし

氏名: 太田 大樹

- 1 研究題目 骨格筋新規侵害受容器の形態分布の解析, 遅発性筋痛における機械受容チャネルの関与

2 論文

1. Ota H, Takebe H, Mizumura K, Taguchi T. Responses of cutaneous C-fiber afferents and spinal microglia after hindlimb cast immobilization in rats. The Journal of Physiological Sciences. 2021; 71: 19 (review)
2. Ejiri Y, Uta D, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Nociceptive chemical hypersensitivity in the spinal cord of a rat reserpine-induced fibromyalgia model. Neuroscience Research. 2022 (in press) (review)

3 学会等研究発表

1. Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. Involvement of TRPA1 but not TRPV2 in rodent models of lengthening contraction-

- induced muscular mechanical hyperalgesia. 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (神戸・日本), 2021.7.
2. Taguchi T, Ota H, Takebe H. Unchanged nociceptor activities and activated spinal microglia in a rat pain model induced by persistent hindlimb immobilization. 44th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (神戸・日本), 2021.7.
 3. Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. TRPA1 contributes to lengthening contraction-induced muscular mechanical hyperalgesia. The 4th International TRP Meeting (ルーヴェン・ベルギー), 2021.9.
 4. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み感受性増大とその脊髓機構. 第36回脳機能とリハビリテーション研究会 (オンライン・日本), 2021.9.
 5. 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの下腿筋膜における遺伝子発現の定量. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 6. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の骨格筋における神経成長因子の発現局在. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 7. 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける機械受容チャネルTACANの発現. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 8. 萩原拓海, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットに対するトレッドミル運動を用いた筋痛予防効果の行動学的検証. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.
 9. 田口徹, 太田大樹. 外耳内圧可変装置の開発と安全性の検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 10. 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. ラット前脛骨筋表層および深層での筋線維横断面積の組織学的比較. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 11. 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットの前脛骨筋における形態変化. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 12. 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの筋湿重量と神経栄養因子の発現変化. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 13. 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの下腿筋膜における神経栄養因子の発現変化. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 14. 田口徹, 若月康次, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの前脛骨筋の筋侵害受容器応答の電気生理学的解析. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 15. 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 胸腰部脊柱起立筋群における圧痛閾値ヒートマップの作製. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 16. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットへの科学的痛み刺激による脊髄後角ニューロンの興奮性の増大. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 17. 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 腰背部への伸張性収縮負荷によるヒト筋・筋膜性腰痛モデルの開発. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 18. 梅津拓喜, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髄後角ミクログリアの活性化に対するトレッドミル運動の予防効果の検証. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2021.10.
 19. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および筋膜における神経成長因子の発現定量. 第26回日本基礎理学療法学会 (新潟・日本), 2021.10.
 20. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスがもたらす痛みとその脊髓機構. 第26回日本基礎理学療法学会 (新潟・日本), 2021.10.
 21. 田口徹, 片野坂友紀, 太田大樹, 片野坂公明. 細径線維受容器終末のTRPV2チャンネルを介した機械痛覚の末梢神経機構. 第26回日本基礎理学療法学会 (新潟・日本), 2021.10.
 22. 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛発症因子の筋および筋膜における発現変化の部位差. 第14回

日本運動器疼痛学会（オンライン・日本），2021.11.

23. 太田大樹，大井理史，片野坂公明，田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋における機械受容チャンネル Tmem120A の発現増大. 第7回日本筋学会学術大会（オンライン・日本），2021.12.
24. 太田大樹，大井理史，片野坂公明，田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける機械受容チャンネル TACAN の発現増大. 第43回日本疼痛学会（オンライン・日本），2021.12.
25. 田口徹，太田大樹，竹部陽菜. 長期ギプス固定による不活動性疼痛モデルラットでは侵害受容器活動は変化せず脊髄ミクログリアが活性化する. 第43回日本疼痛学会（オンライン・日本），2021.12.
26. 太田大樹. 遅発性筋痛ラットモデルの筋における Tmem120A および 120B の発現解析. AMED メカノバイオ領域会議（東京・日本），2022.1.19.
27. Ota H, Oi R, Katanosaka K, Taguchi T. Increased expression of TACAN in the rat muscle after lengthening contractions. 第99回日本生理学会大会（仙台・日本），2022.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本筋学会，国際疼痛学会，日本運動器疼痛学会，日本理学療法士協会，日本疼痛学会，日本神経科学会，日本生理学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 第21回新潟医療福祉学会学術大会，経理，新潟市，2021.10.30.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第26回日本基礎理学療法学術大会，演題査読（3演題）
 2. 国際雑誌「PAIN」1回目，論文査読，2022.1.4.
 3. 国際雑誌「PAIN」2回目，論文査読，2022.2.9.

5 社会活動

- 1) 職能団体（協会，士会等）の委員
全国大学理学療法教育学会 経理課（2022.1-）

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度，科研費基盤研究（C），遅発性筋痛における機械感受性イオンチャンネルの役割の解明，研究代表者
 2. 2019年9月～2024年3月（継続），ファイザー製薬 学習と変革のための独立助成金：日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム，慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築，プロジェクトメンバー
 3. 令和3年度（第34回）公益財団法人中富健康科学振興財団 研究助成金，遅発性筋痛における筋膜発現因子の同定と機能解明，研究代表者

- 7 学内委員会活動 入試委員会，毒物・劇物管理委員会，遺伝子組み換え実験安全委員会，運動機能医科学研究所

氏名：北谷 亮輔

- 1 研究題目 健常者や脳卒中後患者を対象とした歩行の神経制御に関する研究，姿勢制御時における注意機能に関する研究
- 2 論文
 1. Kitatani R, Maeda A, Umehara J, Yamada S. Different modulation of oscillatory common neural drives to ankle muscles during abrupt and gradual gait adaptations. *Experimental Brain Research (JCR)*. 2022; 240(3): 871-886. (review)
 2. 北谷亮輔. 脳卒中後患者に対する歩行ニューロリハビリテーション —ニューロモデュレーションの応用—. *愛知県理学療法学会誌*. 2021; 33巻2号: 76-83. (総説)
 3. Sakuma K, Tateuchi H, Nishishita S, Okita Y, Kitatani R, Koyama Y, Ibuki S, Ichihashi N. Immediate

effects of stance and swing phase training on gait in patients with stroke. International Journal of Rehabilitation Research (JCR). 2021;44(2):152-158. (review)

3 学会等研究発表

1. 北谷亮輔, 梅原潤, 廣野哲也, 山田重人. リズム聴覚刺激を用いた歩行適応の学習効果の促進と保続効果の向上. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道(Web)), 2021.10.23-10.24.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経理学療法学会, 日本臨床神経生理学学会, International Society of Posture and Gait Research

5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費若手研究, 視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案, 研究代表者

- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 基礎理学療法専門理学療法士(2022.2), 脳卒中認定理学療法士(2022.2), 補装具認定理学療法士(2022.2)

6 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 佐伯 史子

- 1 研究題目 古人骨の生活誌に関する研究(骨考古学), 古人骨に観察される病変に関する研究(古病理学), 古人骨の形態に関する研究(形質人類学)

2 論文

1. 新倉明彦, 奈良貴史, 佐伯史子, 辰巳晃司, 安中市吉ヶ谷津遺跡近世墓出土人骨の人類学的検討. (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要. 2022; 40: 129-140. (査読あり)
2. 奈良貴史, 佐伯史子, 波田野悠夏, 鈴木敏彦. 薬師・萬行遺跡出土人骨の人類学的報告. 上大島御伊勢遺跡・薬師遺跡・萬行遺跡(主)前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路高崎西工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2022: 175-179.
3. 波田野悠夏, 吉田貴恵, 鈴木敏彦, 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 群馬県後賀中割遺跡古墳出土人骨について. 後賀中割遺跡(T007遺跡)(一)下高尾小幡線底谷工区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2021: 146-149.
4. 奈良貴史, 佐伯史子. 出土人骨について. 若宮大路周辺遺跡群(No.242)ふれあい鎌倉ホスピタル建替え工事に伴う発掘調査 鎌倉市御成町778番地1他13筆. 2021: 153-155.
5. 奈良貴史, 佐伯史子. 骨の分析. 営湛水防除事業関連遺跡発掘調査報告書VII 砂田遺跡・山本遺跡. 2021: 57-61.
6. 辰巳晃司, 佐伯史子, 奈良貴史. 湖雲寺跡遺跡出土人骨の人類学的予察 - 岩槻藩主大岡家と旗本永井家の頭骨について -. 湖雲寺跡遺跡-宿泊施設建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-第2分冊. 2021: 101-157.

3 学会等研究発表

1. 佐伯史子, 澤田純明. 宮城県白石市青木遺跡から出土した弥生時代焼人骨の人類学的研究. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(オンライン大会・誌上発表・日本), 2021.10.30.
2. 澤田純明, 萩原康雄, 佐伯史子, 奈良貴史. 中国長江デルタの良渚遺跡群から発掘された国家形成期の人骨加工品. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(オンライン大会・誌上発表・日本), 2021.10.30.
3. 佐宗亜衣子, 中川真琴, 佐伯史子, 辰巳晃司, 奈良貴史. 2021. 江戸時代の子どもの齲歯-庶民, 武士, 大名家の比較-. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟(誌上).

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本人類学会, 日本解剖学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 岩手県明神下遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業, 2020.12- (継続中)
2. 埼玉県越谷市大道遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業, 2021.4- (継続中)
3. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨の整理作業, 2021.9- (継続中)
4. 新潟県村上市上野遺跡出土人骨の整理作業, 2020.12- (継続中)
5. 東京都港区湖雲寺遺跡出土江戸時代人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.4-12.
6. 埼玉県志木市西原大塚遺跡出土人骨・動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.5-2022.1.
7. 群馬県下里見天神前遺跡出土動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
8. 群馬県柳田遺跡出土動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
9. 群馬県本郷満行原遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
10. 群馬県本郷鶴楽遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
11. 群馬県上大島御伊勢遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7.
12. 群馬県栗師・萬行遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-12.
13. 群馬県松谷松下2遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2021.7-2022.2.
14. 新潟県阿賀野市土橋遺跡出土人骨一般公開, 事務・展示・解説スタッフ, 新潟医療福祉大学, 2021.11.21.

6 学内委員会活動 個人情報保護委員会

氏名: 佐宗 亜衣子

- 1 研究題目 古人骨の口腔内古病理・健康指標に関する研究, 遺跡出土人骨群の血縁関係に関する形態学的研究, 関東地方の縄文から弥生時代の人骨の形態的变化に関する研究, 理化学分析と連携した古病理学的研究, 集積人骨のタフオノミー分析
- 2 著書
 1. 佐宗亜衣子, 近藤修, 米田穰; 稲岡司編. 先史時代の「病み」: 縄文人の口腔病理から見える食生活. 生態人類学は挑む Session 3 病む・癒す. 1版. 京都. 京都大学学術出版会. 2021: 171-185. (査読あり)
- 3 論文
 1. Shiba T, Komatsu T, Sudo T, Sawafuji R, Saso A, Ueda S, Watanabe T, Nemoto T, Kano C, Nagai T, Ohsugi Y, Katagiri S, Takeuchi Y, Kobayashi H, and Iwata T. Comparison of Periodontal Bacteria of Edo and Modern Periods Using Novel Diagnostic Approach for Periodontitis With Micro-CT. *Frontiers in cellular and infection microbiology*, 2021; 11: 723821. (review)
 2. 佐宗亜衣子, 米田穰. 青森県八戸市出土の人骨資料-東京大学総合研究博物館収蔵標本-. 八戸市埋蔵文化センター 是川縄文館研究紀要 2022; 11: 15-32.
- 4 学会等研究発表
 1. Saso A, Hampson K, Kondo O. Temporal changes of periodontal disease in the Neolithic Jomon, Japan. Session: Bioarchaeology: Human-Environmental Interactions. 90th Annual Meeting of the American Association of Physical Anthropologists (Baltimore, Web開催), 2021.4.7-4.28.
 2. 佐宗亜衣子, 中川真琴, 佐伯史子, 辰巳晃司, 奈良貴史. 江戸時代の子どもの齲歯-庶民, 武士, 大名家の比較-. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟市, 誌上発表), 2021.10.31.
 3. 米田穰, 佐宗亜衣子, 近藤修, 諏訪元, 設楽博己, 山田康弘, 保美貝塚の盤状集骨の年代学的検討と個体埋葬との関係. 第75回日本人類学会大会 (東京, Web開催), 2021.10.9-10.11. 【シンポジウム】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会, 日本解剖学会, 日本考古学協会, 日本考古学研究会, 日本古病理学研究会, 新潟医療福祉大学 (理事, 会計監査)
- 2) 学術集会の主催

1. 新潟医療福祉学会, 第21回学術集会, 大会事務局, 新潟市, 2021.4.1-10.31.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会 (Niigata Journal of Health and Welfare), 編集委員
 2. 新潟医療福祉学会, 会計監査
 3. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 公益法人福島県文化振興財団, 川俣町前田遺跡古環境調査に関する指導・助言, 福島県, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 神奈川県立歴史博物館, 特別展『洞窟遺跡を掘る - 海蝕洞窟の考古学-』に関する展示の企画・指導, 神奈川県, 2021.8.1-2022.3.31.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 研究スタート支援, 縄文人に初期農耕集団の特徴はみられるか? : 古病理および形態的特徴に基づく検討, 研究代表者
 2. 2020年度, 縄文家族論の新展開: 廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明, 研究代表者
 3. 2020年度, 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者
 4. 2020年度, 人骨から読み解く日本列島人の食生活—食物の変遷と多様性の復元—, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校看護学科, 解剖生理学 I・II, 2021.4.1-9.30.
 2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 解剖・生理学, 2021.4.1-9.30.
 3. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 発生組織学, 2021.10.1-12.31.
 4. 慶應義塾大学通信教育学部, 人類学, 2021.10.1-2022.1.31.
- 8 学内委員会活動 学術委員会 (委員), 自然人類学研究所 (研究員)

氏名 : 鈴木 祐介

報告事項なし

氏名 : 関根 千恵

- 1 研究題目 腰部障害に関する研究, 体幹筋機能に関する研究
- 2 論文
 1. Sekine C, Matsunaga N, Kaneoka K. Changes in Lumbopelvic Motion and Trunk Muscle Activity during 2000 m Rowing Ergometer Trial. International Journal of Sport and Health Science (協力学術団体), 2021; 19, 47-57. (review)
 2. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surgical and Radiologic Anatomy. (JCR), 2021; 43(10), 1691-1695. (review)
 3. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Syagawa M, Togashi R, Yamada Y, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. Surgical and Radiologic Anatomy. (JCR), 2021; 43(12), 2077-2081. (review)
 4. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Hirata A, Yokoyama M, Edama M. Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. BMC Musculoskeletal Disorders. (JCR), 2021; 22(1), 86. (review)
 5. Edama M, Matsuzawa K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Sato N. Elbow valgus

stability of the transverse bundle of the ulnar collateral ligament. BMC Musculoskeletal Disorders. (JCR), 2021; 22(1), 873. (review)

6. Oshikawa T, Takaki N, Nakamura K, Kubota R, Adachi G, Akuzawa H, Sekine C, Kaneoka K. Change in the activity of trunk and lower muscles during 2000-m rowing. The Journal of Medical Investigation. (JCR), 2021; 69, 45-50. (review)
7. Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space when difference in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. Journal of Shoulder and Elbow Surgery. (JCR), (in press) (review)

3 学会等研究発表

1. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤涉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
2. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (Web開催), 2021.12.10-12.11.
3. 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 江玉睦明. 重量物挙上動作における体幹筋活動解析-体幹筋トレーニングの即時効果検討-. 第21回新潟医療福祉学会 (誌上発表), 2021.10.30.
4. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
5. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 西須一紗, 林はるな, 大森豪, 江玉睦明. 陸上男子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
6. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
7. 丸山紗永, 関根千恵, 舎川真侑, 横田裕丈, 平林怜, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
8. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
9. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 伊藤涉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響-周波数特異性の検討-. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
10. 坪野啓, 工藤亮大, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山祈, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
11. 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.
12. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉睦明, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域と

の関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催), 2021.11.13-11.14.

13. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (Web開催), 2021.10.23-10.24.
14. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (Web開催), 2021.10.23-10.24.
15. 平林怜, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (Web開催), 2021.9.17-9.19.
16. 南千裕, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉睦明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (Web開催), 2021.9.17-9.19.
17. 本田優季, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉睦明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (Web開催), 2021.9.17-9.19.
18. 武田真依, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉睦明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (Web開催), 2021.9.17-9.19.
19. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真依, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (Web開催), 2021.12.16-12.18.
20. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (Web開催), 2021.12.16-12.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本体力医学会

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 研究代表者
2. 2021年度, 日本私学学校振興・共済事業団 女性研究者奨励金, 仙腸関節性腰痛に対する新規運動療法の開発, 研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2021.4-2022.3.

6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター

氏名: 田宮 創

- 1 研究題目 糖尿病性腎症の重症化予防に益する研究, 座位行動の有害性を解明する基礎研究, 地域在住高齢者におけるフレイル・サルコペニアの予防研究

2 著書

1. 安田隆, 木村健, 下山節子, 土井悦子, 松永篤彦, 朝倉洋平, 阿部雅紀, 阿部利恵, 井垣誠, 石田武希, 伊藤孝史, 猪瀬渚, 内田明子, 浦田元樹, 音部雄平, 小畑陽子, 要伸也, 川畑奈緒, 菅野義彦, 北林紘, 忽那俊樹, 河野健一, 斎藤知栄, 嶋英昭, 島居美幸, 瀬戸由美, 高井奈美, 竹内裕紀, 田中順也, 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 長橋かよ子, 中村雅美, 成末まさみ, 根岸美幸, 八田告, 平木幸治, 古久保拓, 松尾七重, 松沢良太, 水内恵子, 安原みずほ, 矢野未来, 山口伸子, 吉田朋子; 腎臓病療養指導士のためのCKD指導ガイドブック, 第1版. 東京: 東京医学社; 2021: 137-149.

3 論文

1. 高橋治憲, 田村由馬, 工藤玲佳, 須藤誠, 寺島雅人, 鶴見知己, 谷池雄太, 田宮創, 三村大輔, 小倉佳子, 堀江康人, 星合愛, 上野明日香, 安隆則. 総合理学療法研究会雑誌. 2021; 1(2): 26-34. (査読あり)
2. 古谷友希, 田村由馬, 田宮創, 小川将, 北濱眞司, 元山猛, 中谷祐己, 安隆則. 日本糖尿病理学療法雑誌. 2022; 1(1): 89-102. (査読あり)

4 報告書

1. 田宮創. 奨励研究, 糖尿病性腎症の重症化予防に資する座位行動変容を中心とした運動指導プログラムの開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者

5 学会等研究発表

1. 古谷友希, 田村由馬, 田宮創, 寺島雅人, 鶴見知己, 高橋もも, 小川将, 中谷祐己, 北濱眞司, 元山猛, 安隆則. 2型糖尿病患者における動脈硬化の重症度別影響因子の検討. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (日光市), 2021.10.16.
2. 鶴見知己, 田村由馬, 田宮創, 寺島雅人, 竹内真由, 上野明日香, 下山正博, 中谷祐己, 堀江康人, 安隆則. 3か月間の透析中の神経電気刺激による血糖コントロール指標の経時的変化. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (日光市), 2021.10.16.
3. 田宮創. セデンタリズムの変容にアプローチした理学療法士による糖尿病性腎症への重症化予防. 第8回日本糖尿病療養指導学術集会 (京都市), 2021.7.24-7.25.
4. 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 工藤玲佳, 伴場信之, 星合愛, 安隆則. 糖尿病腎臓病患者における座位行動の変革を加えた新たな運動指導プログラムの開発. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (日光市), 2021.10.16.
5. Tamiya H, Hoshiai M, Nakatani Y, Yasu T. Short term Effects of the sodium glucose transporter (SGLT) -2 inhibitor Dapagliflozin on hemorheology in type 2 diabetes. 第47回日本微小循環学会総会 (日光市), 2022.3.19-3.20.
6. 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 中谷祐己, 伴場信之, 星合愛, 安隆則. 糖尿病性腎症の重症化予防における理学療法士としての役割. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (岡山市), 2022.3.26-3.27. 【シンポジウム】
7. クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 椿淳裕. 高強度インターバル運動と中強度持続運動を用いた異なる運動様式間での脳酸素動態と心循環応答の比較. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (東京), 2021.9.25-9.26.
8. クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 高強度インターバル運動中の前頭前野における酸素動態の変化: 近赤外分光法による計測. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会 (日光市), 2021.10.16.
9. Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Effect of Sepsis on Microvascular Oxygen Pressure in Rat Diaphragm. 第47回日本微小循環学会総会 (日光市), 2022.3.19-3.20.
10. Hitosugi N, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Skeletal muscle interstitial oxygen partial pressure from rest to contractions in the rat cecal ligation and puncture model. 第47回日本微小循環学会総会 (日光市), 2022.3.19-3.20.
11. Takamizawa R, Hotta K, Hitosugi N, Tamiya H, Tsubaki A. Transcapillary PO₂ gradients in contracting muscles of diabetes. 第47回日本微小循環学会総会 (日光市), 2022.3.19-3.20.
12. 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しないーリン光クエンチング法を用いた検討ー. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (岡山市), 2022.3.26-3.27.
13. 三留慶吾, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ラット骨格筋の毛細血管血流は高濃度酸素の吸入により減少する. 第25回酸素ダイナミクス研究会 (東京), 2021.9.25-9.26.
14. 松下育美, 清水杏菜, 羽入田泰彦, 大滝悠真, 秦偉翔, クタンニ, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮

創, 池上諒, 森下慎一郎, 椿淳裕. 一側の断続的なハンドグリップ運動が実行機能及び左右前頭前野の脳酸素化動態及び実行機能に与える影響. 第25回酸素ダイナミクス研究会(東京), 2021.9.25-9.26.

15. Danni Qu, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Cortical oxygenation changes of high-intensity interval exercise versus moderate-intensity continuous exercise. 第47回日本微小循環学会総会(日光市), 2022.3.19-3.20.

6 学会活動

1) 所属学会 日本老年療法学会(評議員), 日本糖尿病理学療法学会(評議員), 日本微小循環学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第25回栃木県理学療法士会学術大会, 演題査読, 栃木県, 2021.12.12.
2. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会, シンポジウム3 [かかりつけ医や介護との連携], 座長, 日光市, 2021.10.16.
3. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, ポスターセッション(内部障害系), 座長, 新潟市, 2021.9.4-9.5.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本離床学会, 教育セミナー, 慢性腎不全の治療と腎臓リハビリテーション, 教育講演, WEB, 2021.4.3.
2. 新潟県理学療法士会, 主催技術研修会「循環器疾患の理学療法の基礎」トピックス: 腎不全, 教育セミナー, WEB, 2022.2.23

2) 社会活動への参加協力

1. トキめき会, 企画・運営・測定, フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック(佐渡市民66名), 佐渡市, 2021.6.11-6.12.
2. トキめき会, 企画・運営・測定, フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック(佐渡市民50名), 佐渡市, 2021.12.24-12.25.

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費研究活動スタート支援, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 専門理学療法士(心血管理学療法, 呼吸理学療法, 糖尿病理学療法), 2022.2.25.

9 学内委員会活動 新潟県教育研究センター運営委員会

氏名: 長坂 和明

1 研究題目 脳卒中後の神経可塑性の研究, 体性感覚情報処理の脳内機構, 脳領域間情報伝達の光イメージング法に関する研究, 疼痛に関連する脳機能構造の研究

2 論文

1. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: a voxel-based morphometric study. *Neuroscience Letters*. 2022; 772: 136445. (review)
2. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. *Cerebral Cortex*. (in press) (review)
3. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of relaxation by autonomous sensory meridian response. *Frontiers In Behavioral Neuroscience*. 2021; 15: 761621. (review)

4. Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Igarashi K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of Catechol-O-Methyltransferase Gene Polymorphism on the Correlation between Alexithymia and Hypervigilance to Pain. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2021; 18: 13265. (review)

3 学会等研究発表

1. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる皮質神経活動の時空間ダイナミクスの解明—膜電位感受性色素を用いたリアルタイムイメージング—. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
2. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側前頭前野に対するtACSが痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
3. 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いた Paired Pulse Depression と二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
4. 長坂和明, 山本真憂, 川上守, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛ラットモデルにおける高次運動皮質の薬理的抑制が疼痛様行動に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
5. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心活動制御と関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
6. 高橋世奈, 大鶴直史, 原正之, 長坂和明, 五十嵐眸実, 大西秀明. 失感情症と偽の内受容フィードバックに対する応答性. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
7. 羽二生未来, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, Gomez-Tames Jose, 平田晃正, 大西秀明. 島皮質刺激に対する心拍応答変化は, 失感情に関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(札幌市), 2021.10.23-10.24.
8. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質神経活動の時空間的動態の解明—膜電位感受性色素を用いた光学イメージング—. 第21回新潟医療福祉学会(新潟市), 2021.10.31.
9. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる後部島皮質神経活動の電気生理学的特徴—脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした研究—. 第21回新潟医療福祉学会(新潟市), 2021.10.31.
10. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽によって喚起される情動と灰白質容積との関連—Voxel based morphometryを用いた検証—. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(web), 2021.9.18-9.24.
11. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛モデルラットにおける扁桃体—島皮質神経回路の神経活動の変化. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(web), 2021.9.18-9.24.
12. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質の神経応答. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会(web), 2021.9.18-9.24.
13. 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる島皮質神経活動の電気生理学的特徴—脳卒中後疼痛モデルを対象とした研究—. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021(web), 2021.9.3-9.5.
14. 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核の電気刺激によって生じる皮質神経活動の電気生理学的特徴. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021(web), 2021.9.3-9.5.
15. 松田滉平, 長坂和明, 加藤隼平, 高島一郎, 肥後範行. Structural plasticity of primary motor and premotor cortices based on voxel-based morphometry and histological analysis of dendritic

arborization after internal capsular infarcts in macaque monkeys. 第44回日本神経科学大会（神戸市），
2021.7.28-7.31

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本生理学会，日本神経科学学会，日本疼痛学会，日本理学療法士協会，
日本基礎理学療法学会，脳機能とリハビリテーション研究会（理事）
- 2) 学術集会の主催
 1. 脳機能とリハビリテーション研究会，第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，大会準備
副委員長，web開催，2021.9.18-9.24.
 2. 脳機能とリハビリテーション研究会，第28回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，大会準備
委員長，web開催（2022.9.1-9.23），2021.10.1-
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021，シンポジウム"Neuromodulation"
発起人，web開催，2021.9.3-9.5.
 2. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021，シンポジウム座長，web開催，
2021.9.5.
 3. 基礎理学療法学，論文査読
 4. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会，演題査読委員
 5. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会，演題査読委員
 6. 脳機能とリハビリテーション研究会，脳画像読解研修会，ファシリテーター，web開催，2021.12.12.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第一回痛みのニューロリハビリテーション研究会，中枢性脳卒中後疼痛の病態メカニズム－基礎研究
からの知見－，講師，畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター，リハビリテーションスタッ
フ・大学教員，web開催，2021.7.3.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本理学療法士協会，専門理学療法士資格に関わる業務，e-learning教材作成，2021.7.24-8.24.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，科研費若手研究，島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確率，研究代表
者
 2. 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーション－次世代感覚運動学習法の創出を目指し
て－，研究分担者
 3. 2021年度，科研費基盤研究（B），触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビ
リテーションへの展開，研究分担者
- 2) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 麻薬研究者免許取得（2021.11.19）

7 学内委員会活動 動物実験委員会，運動機能医科学研究所

氏名：萩原 康雄

- 1 研究題目 先史時代集団の生活様式に関する研究（自然人類学），遺跡出土人骨の古病理学的研究（人類学）
- 2 学会等研究発表
 1. 萩原康雄，一条望. 江戸時代の社会階級の違いが外後頭隆起の形状に与える影響を探る. 新潟医療福祉学
会第20回大会（新潟市），2021.10.
 2. 萩原康雄. 縄文時代人の腓骨骨幹部の湾曲について. 日本人類学会第75回大会（東京），2021.10.
- 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本人類学会 (広報幹事), 日本解剖学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Anatomical scientific international, 査読
 2. Anatomical scientific international, 査読
 3. Anatomical scientific international, 査読
 4. Anatomical scientific international, 査読
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 土橋遺跡現地説明会, 案内と説明を担当, 主催: 奈良貴史, 対象: 一般, 於: 新潟医療福祉大学, 11.21.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本人類学会 (広報幹事)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究. 再考: 海と山の縄文人 - 四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する -. 研究代表者
 2. 2021年度, 科研費学術変革領域 (A) 公募研究. 人骨の形態解析に基づく中国文明形成期集団の行動様式の復元. 研究代表者
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 自然人類学研究所

氏名: 平林 怜

- 1 研究題目 脊髄相反性抑制増強法の開発, 咬合が運動機能に及ぼす影響に関する研究
- 2 論文
 1. [Hirabayashi R](#), Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of clenching strength on exercise performance: Verification using spinal function assessments. *Sports Health (JCR)*. 2021 May 29; 19(4): 19417381211014836. (review)
 2. [平林怜](#). 脊髄相反性抑制増強法の効果的な介入法. 2021; 基礎理学療法学 (協力学術研究団体); 24(1): 38-45. (査読あり)
 3. [平林怜](#), 江玉睦明. 脊髄のニューロモデュレーションによる相反性抑制増強法の開発. *笹川科学誌*. (印刷中)
 4. [平林怜](#), 江玉睦明, 大西秀明. 噛みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証. *デサントスポーツ科学* Vol. 43 (in press) (査読あり)
 5. [平林怜](#), 江玉睦明, 大西秀明. 脳刺激と末梢刺激のニューロモデュレーション: 高齢者の脊髄機能と関節運動による検討. *大和ヘルス財団研究誌* (in press) (査読あり)
 6. Morishita S, [Hirabayashi R](#), Tsubaki A, Aoki O, Fu JB, Onishi H, Tsuji T. Relationship between balance function and QOL in cancer survivors and healthy subjects. *Medicine (Baltimore)(JCR)*. 2021 Nov 19; 100(46): e27822. (review)
 7. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, [Hirabayashi R](#), Hirata A, Yokoyama M, Edama M. Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. *BMC Musculoskelet Disord (JCR)*. 2021 Oct 18; 22(1): 886. (review)
 8. Maruyama S, Yamazaki T, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, [Hirabayashi R](#), Edama M. Relationship Between Anterior Knee Laxity and General Joint Laxity During the Menstrual Cycle. *Orthop J Sports Med(JCR)*. 2021 Mar 29; 9(3): 2325967121993045. (review)

9. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Syagawa M, Togashi R, Yamada Y, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. Surg Radiol Anat (JCR). 2021 Dec; 43(12): 2077-2081. (review)
10. Edama M, Matsuzawa K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Sato N. Elbow valgus stability of the transverse bundle of the ulnar collateral ligament. BMC Musculoskelet Disord (JCR). 2021 Oct 12; 22(1): 873. (review)
11. Ikezu M, Edama M, Inai T, Matsuzawa K, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The Effects of Differences in the Morphologies of the Ulnar Collateral Ligament and Common Tendon of the Flexor-Pronator Muscles on Elbow Valgus Braking Function: A Simulation Study. Int. J. Environ. Res (JCR). Public Health 2021, 18(4), 1986. (review)
12. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. Clin Anat (JCR). 2021 Oct; 34(7): 1002-1008. (review)
13. Maruyama S, Yamazaki T, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Hirabayashi R, Edama M. Relationship Between Anterior Knee Laxity and General Joint Laxity During the Menstrual Cycle. Orthop J Sports Med (JCR). 2021 Mar 29; 9(3): 2325967121993045. (review)

3 報告書

1. 平林 脩. 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 平林 脩, 江玉陸明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真依, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会 (web), 2021.12.16-12.18.
2. 平林 脩, 江玉陸明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web), 2021.10.23-10.24.
3. 平林 脩, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉陸明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (web), 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
4. 南千裕, 平林 脩, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉陸明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
5. 本田優季, 平林 脩, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉陸明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
6. 武田真依, 平林 脩, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉陸明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
7. 横田裕丈, 江玉陸明, 平林 脩, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web), 2021.10.23-10.24.
8. 川鍋ゆりか, 横田裕丈, 那須仁世, 高橋穂乃花, 平林 脩, 関根千恵, 江玉陸明. 経皮的迷走神経刺激が痛覚知覚に及ぼす影響-自律神経活動の変調との関連-. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web), 2021.10.23-10.24.
9. 江玉陸明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林 脩, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
10. 丸山紗永, 関根千恵, 舎川真侑, 横田裕丈, 平林 脩, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, 江玉陸明.

月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.

11. 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
12. 坪野啓, 工藤亮大, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山祈, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
13. 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響-周波数特異性の検討-. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
14. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
15. 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
16. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
17. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
18. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 西須一紗, 林はるな, 大森豪, 江玉睦明. 陸上男子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2021.11.13-12.6.
19. 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 (web), 2021.12.11-12.
20. 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 江玉睦明. 重量物挙上動作における体幹筋活動解析-体幹筋トレーニングの即時効果検討-. 第21回新潟医療福祉学会 (web), 2021.10.30.
21. 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (web), 2022.3.27-3.29.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会, 日本スポーツ歯科医学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Experimental Brain Research, 査読
 2. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
 3. Applied Sciences, 査読
 4. Scientific Reports, 査読

6 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. web, PR TIMES, 咬合強度によって運動パフォーマンスに変化をもたらすことを科学的に解明, 2021.5.7.
 2. web, JIJI.COM, 咬合強度によって運動パフォーマンスに変化をもたらすことを科学的に解明, 2021.5.7.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2020.9.19.
 2. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント 北信越大会, 新潟市, 2021.6.19.
 3. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第70回全日本大学サッカー選手権大会, 相模原市, 2021.12.7-12.11.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2020-2021年度, 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発(研究代表者)
 2. 2021年度, 笹川科学研究助成, 脊髄のニューロモデュレーションによる相反性抑制増強法の開発(研究代表者)
 3. 2021年度, 財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 噛みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証(研究代表者)
 4. 2021年度, 大和証券ヘルス財団, 高齢者の転倒予防となるニューロモデュレーションによる介入法の開発(研究代表者)
- 2) 学内部活動の実績
1. 男子サッカー部, 第49回北信越大学サッカーリーグ1部, 優勝, 新潟市, 2021. (トレーナー)
 2. 第70回全日本大学サッカー選手権大会, 出場, 2021. (トレーナー)
 3. 新潟県サッカーリーグ1部, 優勝, 2021. (トレーナー)
- 8 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, 広報委員会

氏名: 横田 裕文

- 1 研究題目 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動, および痛み知覚に及ぼす影響の解明
- 2 論文
 1. Edama M, Matsuzawa K, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Sato N. Elbow valgus stability of the transverse bundle of the ulnar collateral ligament. BMC Musculoskeletal and Disord. 22(1): 873. (査読あり)
 2. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surgical and Radiologic Anatomy. 43(10): 1691-1695. (査読あり)
 3. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. Eur J Pain. 2022 Feb; 26(2): 349-355. (査読あり)
 4. Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Hirata A, Yokoyama M, Edama M. Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. BMC Musculoskeletal and Disord. 18; 22(1): 886. (査読あり)
 5. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. Brain Sci. 2021 Nov 12; 11(11): 1494. (査読あり)

6. Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Igarashi K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of Catechol-O-Methyltransferase Gene Polymorphism on the Correlation between Alexithymia and Hypervigilance to Pain. *Int J Environ Res Public Health*. 2021 Dec 16; 18(24): 13265. (査読あり)
 7. Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space when difference in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. *J Shoulder Elbow Surg*. 2022 May 9; S1058-2746(22)00426-8. (査読あり)
 8. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Syagawa M, Togashi R, Yamada Y, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. *Surg Radiol Anat*. 2021 Dec; 43(12): 2077-2081. (査読あり)
 9. 横田裕丈. ステップアップ研究費, 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) と経頭蓋直流電流刺激 (tDCS) の同時適用が痛覚知覚に及ぼす影響の解明, 研究奨励金実績報告書, 2021-2022, 研究代表者
- 3 報告書
1. 横田裕丈. 科研費, 若手研究, 脳律動の個人特性に合わせた皮質活動の変調が二点識別覚へ及ぼす影響の解明, 2021-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的效果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌), 2021.10.23-10.24.
 2. 川鍋ゆりか, 横田裕丈, 那須仁世, 高橋穂乃花, 平林怜, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が痛覚知覚に及ぼす影響 - 自律神経活動の変調との関連 -. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌), 2021.10.23-10.24.
 3. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌), 2021.10.23-10.24.
 4. 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心活動制御と関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌), 2021.10.23-10.24.
 5. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽によって喚起される情動と灰白質容積との関連 - Voxel based morphometry を用いた検証 -. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (札幌), 2021.10.23-10.24.
 6. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響 - 周波数特異性の検討 -. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 7. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 8. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 9. 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 10. 坪野啓, 工藤亮大, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山祈, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.

11. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 12. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 13. 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 西須一紗, 林はるな, 大森豪, 江玉睦明. 陸上男子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 14. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉睦明, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会. 2021.11.13-12.6.
 15. 横田裕丈, 江玉睦明, 平林怜, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会. 2021.12.16-12.18.
 16. 平林怜, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真依, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会. 2021.12.16-12.18.
 17. 平林怜, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
 18. 南千裕, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉睦明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
 19. 本田優季, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉睦明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
 20. 武田真依, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉睦明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
 21. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会. 2021.12.11-12.12.
 22. 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 江玉睦明. 重量物挙上動作における体幹筋活動解析-体幹筋トレーニングの即時効果検討-. 第21回新潟医療福祉学会. 2021.10.30.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学会, 日本徒手理学療法学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会. 新潟医療福祉学会学術大会, 運営, 新潟, 2021.10.30.
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 茨城西南医療センター病院研修会, PTが知っておきたい自律神経の働き, 講師, 茨城西南医療センター病院, PT・OT, 茨城, 2021.11.26.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

NPO法人IPA JAPAN, (副代表)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020. 若手研究. 個人の脳律動特性に合わせた経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす影響の解明, 研究代表者.

2. 2019. 基盤研究 (A) 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出-, 研究分担者
 3. 2021. 基盤研究 (B) 触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開, 研究分担者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
1. 保健学博士 (2022.3.17)
 2. 新潟医療福祉大学大学院 博士後期課程 優秀賞 (2022.3.17)
 3. 日本臨床神経生理学会学術大会 優秀賞 (2021.12.18)
 4. 臨床実習指導者講習会修了 (2021.9.12)
- 3) 学内部活動の実績
1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2020.4-2021.3.
 2. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 神奈川, メディカルトレーナー, 2021.6.4-6.6.
 3. 陸上競技部, 第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会, 新潟, メディカルトレーナー, 2021.7.3-7.4.
 4. 陸上競技部, 天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会, 埼玉, メディカルトレーナー, 2021.9.17-9.19.
- 4) 学外兼務講師等
1. 社会福祉法人 二王子会 特別養護老人ホーム つきおかの里, 理学療法士, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. ICM国際メディカル 国際メディカル専門学校, 運動学, 2020.12.22-2021.2.16.
- 8 学内委員会活動 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, アスリートサポート研究センター

(2) 作業療法学科

氏名：大山 峰生

- 1 研究題目 手外科のリハビリテーションに関する研究と開発（手外科学），手および手指筋群の機能解析（運動学）
- 2 論文
 1. 藤目智博，大山峰生．月状三角骨障害の後療法－作業療法．整形・災害外科．2021；64(8)：1001-1006．（査読なし）
 2. 小田桐正博，大山峰生，森谷浩治．橈骨遠位端骨折のハンドセラピーに必要な画像評価．日本ハンドセラピー学会誌，2021；14(1)：19-26．（査読なし）
 3. 藤目智博，三井葉月，大山峰生．示指MP関節外転運動に伴う長母指外転筋の筋活動について．日本ハンドセラピー学会誌．2022；14(3)：120-124．（査読あり）
 4. Fujime C, Oyama M, Koizumi H, Shioda N, Nonaka N, Okano A. Effect of contraction of wrist muscles on the carpal bone under the immobilization wrist. Niigata journal of Health and Welfare. 2022；21(2)：99-111．（査読あり）
 5. 野中宏，大山峰生，岡野昭夫，藤目智博，小田桐正博，小泉裕昭．FDSを用いる筋腱移行術後の運動再学習法の検討．日本手外科学会誌，2021；37(4)：589-593．（査読あり）
 6. 野中宏，大山峰生，田崎和幸，宮崎洋一，貝田英二．重度手根管症候群例に対する環指浅指屈筋腱を用いた母指対立再建術後の運動再学習．日本手外科学会誌，2021；37(6)：851-856．（査読あり）
- 3 学会等研究発表
 1. 小田桐正博，大山峰生，松澤翔太，塩田紀之，小泉裕之．握力測定機器の開発に向けた手指外在屈筋の収縮特性に関する研究．第33回日本ハンドセラピー学会学術集会（長崎市），2021.4.24-4.25．
 2. 藤目智博，三井葉月，大山峰生．示指MP関節外転運動に伴う長母指外転筋の筋活動について．第33回日本ハンドセラピー学会学術集会（長崎市），2021.4.24-4.25．
 3. 小泉裕昭，大山峰生，小田桐正博，池野瑛吾，塩田紀之．グリップ動作が肘関節内側安定性に及ぼす影響．第33回日本ハンドセラピー学会学術集会（長崎市），2021.4.24-4.25．
 4. 池野瑛吾，大山峰生，小泉裕昭，小田桐正博，田澤葵．肘内側筋群が肘関節の外反制動に及ぼす影響．第33回日本ハンドセラピー学会学術集会（長崎市），2021.4.24-4.25．
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事長）（将来計画委員会委員長），日本手外科学会，日本肘関節学会，日本体力医学会，日本生体磁気学会，日本臨床神経生理学学会，日本作業療法士協会，日本保健医療福祉連携教育学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ハンドセラピー学会，機関誌査読委員
 2. 日本ハンドセラピー学会，学会査読委員
 3. 日本作業療法士学会，学会査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第3回日本ハンドセラピー学会主催全国研修会，上肢の筋活動特性と応用，講演，オンライン，2021.11.7．
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，講演，オンデマンド，2021.9.17-10.1
 2. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，事例検討講師，オンライン，2021.10.2．
 3. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，講演，オンデマンド，2021.10.1-10.15．
 4. 日本ハンドセラピー学会，応用実践研修会，事例検討講師，オンライン，2021.10.23．
 - 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本ハンドセラピー学会（理事長），日本ハンドセラピー学会（将来計画委員会委員長），日本ハンドセラピー学会（認定資格審査委委員）

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻，運動器疾患作業療法，2021.6.11.

7 学内委員会活動 総務会，教育・学生支援機構（機構長），外部評価準備委員会（委員長），教員選考委員会（委員長），危機管理委員会，将来計画機構，自己点検・評価委員会

氏名：今西 里佳

1 研究題目 要介護高齢者の排尿実態研究（泌尿器科学），要介護高齢者の蓄尿障害に対する下部尿路リハビリテーション効果検証研究（泌尿器科学，リハビリテーション科学）

2 報告書

1. 今西里佳，中川晴夫．研究基盤（C），要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証，研究報告書，2017-2021（研究代表者）

3 学会等研究発表

1. 今西里佳，松本香好美，中川晴夫．施設入所要介護後期高齢者の排尿実態．第34回日本老年泌尿器科学会．2021.5.13-5.14.（大分市・WEB）

2. 今西里佳．排泄障がいと作業療法－コンチネンスケアを考える．第55回日本作業療法学会．2021.9.10-9.11.（WEB）【シンポジウム】

3. 今西里佳．LUTS治療における作業療法士が果たす役割～可能性と今後の課題～．第28回日本排尿機能学会．2021.9.9-9.11.（松本市・WEB）【シンポジウム】

4 学会活動

1) 所属学会 日本老年泌尿器科学会（理事），日本老年泌尿器科学会（評議員），日本老年泌尿器科学会（教育委員），日本排尿機能学会（ダイバーシティ小委員会委員），新潟医療福祉学会，International Continence Society，日本排尿機能学会，日本睡眠学会，日本作業療法士協会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，日本転倒予防学会，日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会，日本心臓リハビリテーション学会，日本公衆衛生学会，日本サルコペニア・フレイル学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第56回日本作業療法学会演題査読，演題査読委員

2. 第55回日本作業療法学会 シンポジウムⅡ座長

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第10回兵庫排泄ケア研究会セミナー，排尿自立支援におけるセラピストの役割と課題，医師，看護師，理学療法士，作業療法士，2021.12.12.

2. 日本コンチネンス協会主催第4回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路症状評価法，理学療法士・作業療法士，2022.3.12.

3. 日本コンチネンス協会主催第4回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路リハビリテーション，理学療法士・作業療法士，2022.3.12.

4. 日本コンチネンス協会主催第4回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，排泄環境整備・排泄動作訓練，理学療法士・作業療法士，2022.3.13.

5. 日本コンチネンス協会主催第4回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，事例演習，理学療法士・作業療法士，2022.3.13.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本コンチネンス協会，協会運営，理事，2021.4.1-2022.3.31.

2. 日本排尿機能学会ダイバーシティ小委員会，委員，2021.12.7.

3. 日本コンチネンス協会第4回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，開催運営，実行委員長，オンライン，2022.3.12-3.13.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本コンチネンス協会（執行理事），日本コンチネンス協会（理事），日本コンチネンス協会（教育委員），日本コンチネンス協会（セラピストのための排泄リハビリテーションセミナー実行委員長），宮城排尿障害研究会（世話人）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 令和3年度，科研費基盤（C），地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証－介護予防・転倒予防を目指して－，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 群馬大学医学部保健学科（基礎作業療法学），2021.10-2022.3.
 2. 長野保健医療大学保健科学部作業療法学専攻（作業療法治療学Ⅱ・演習），2021.10.21.
 3. 長野保健医療大学保健科学部作業療法学専攻（作業療法評価学総論），2021.11.15.
- 7 学内委員会活動 入試委員会，国際交流センター運営委員会，人権委員会調査委員

氏名：能登 真一

- 1 研究題目 健康関連QOL（効用値）の評価方法についての研究，高次脳機能障害についての研究，作業療法のアウトカム研究
- 2 著書
 1. 能登真一，能登真一 編．作業療法の紹介と歴史．作業療法概論 第4版．東京：医学書院；2022：1-26.
 2. 能登真一，山口昇他編．熱傷．身体障害作業療法学 第4版．東京：医学書院；2021：321-332.
 3. 能登真一，上月正弘，高橋仁美 共編．参加の評価．リハビリテーション医学．東京：メジカルビュー社；2021：45-50.
- 3 論文
 1. Noto S, Miyazaki M, Takeuchi H, Saito S. Relationship between hemodialysis and health-related quality of life: a cross-sectional study of diagnosis and duration of hemodialysis. Renal Replacement Therapy. 2021; 7, Article number: 62. (査読あり)
 2. Noto S, Saito S, Shirowa T, Fukuda T. Estimation of Lifetime QALYs Based on Lifestyle Behaviors. International Journal of Environmental Research and Public Health. 2021; 18(19): 9970. (査読あり)
 3. Iwatani T, Noto S, Tsugawa K. Changes in Health State Utility Values in Japanese Patients with End-Stage Breast Cancer. Current Oncology. 2021; 28(5): 4203-4212. (査読あり)
 4. Shirowa T, Noto S, Fukuda T. Japanese Population Norms of EQ-5D-5L and Health Utilities Index Mark 3: Disutility Catalog by Disease and Symptom in Community Settings. Value Health. 2021; 24(8): 1193-1202. (査読あり)
 5. Kishimoto K, Noto S Changes in Health-Related Quality of Life After Driving Cessation in Older Adults. Asian J Occup Ther. 2022; 18: 1-8. (査読あり)
 6. Obata H, Izumi T, Yamashita M, Mitsuma W, Suzuki K, Noto S, Morimoto T, Isobe M. Characteristics of Elderly Patients with Heart Failure and Impact on Activities of Daily Living: A Registry Report from Super-Aged Society. J Card Fail. 2021; 27(11): 1203-1213. (査読あり)
 7. Shirowa T, Ikeda S, Noto S, Fukuda T, Stolk E. Valuation Survey of EQ-5D-Y Based on the International Common Protocol: Development of a Value Set in Japan. Med Decis Making. 2021; 41(5): 597-606. (査読あり)
 8. Shirowa T, Hagiwara Y, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Iwamoto T, Noto S, Fukuda T,

Shimozuma K. Randomized Controlled Trial of Paper-Based at a Hospital versus Continual Electronic Patient-Reported Outcomes at Home for Metastatic Cancer Patients: Does Electronic Measurement at Home Detect Patients' Health Status in Greater Detail? *Med Decis Making*. 2022; 42(1): 60-67. (査読あり)

9. Ishihara K, Izawa KP, Noto S, Shimizu I. Physical and Mental Functions of Cardiovascular Diseased Patients Decrease During the State of Emergency Initiated by the COVID-19 Pandemic in Japan. *Reviews on Recent Clinical Trials*. 2021; 16(3): 316-321. (査読あり)
10. Saito S, Qi R, Tran HTT, Suzuki K, Takiguchi T, Noto S, Ohde S, Takahashi O. A nationwide web-based survey of factors associated with depressive symptoms among Japanese workers. *International Journal of Social Psychiatry*. 2021: 207640211017586. (査読あり)
11. 泉良太, 能登真一, 佐野哲也, 鈴木達也. 回復期リハビリテーション病棟における健康関連QOLの変化と代理人回答の一致度について—脳卒中患者へのEQ-5D-5Lによる評価—. *日本臨床作業療法研究* 2021; 8: 31-36. (査読あり)

4 報告書

1. 能登真一. 科研費基盤研究 (B), 基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究
2. 能登真一. 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 研究分担者

5 学会等研究発表

1. Noto S, Izumi R, Shiroiwa T. Validity of a new Japanese multiplicative, multi-attribute utility function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities Index Mark 3 and the Nippon Health Index. *ISOQOL 28th Annual Conference (Virtual Event)*, 12-28 October 2021.
2. 能登真一, 斎藤剛史, 泉良太. 健康関連QOLの測定特性に関する研究—HUI3とEQ-5D-5Lの比較—. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
3. 麦井直樹, 能登真一, 染矢富士子, 濱口儒人, 松下貴史. 全身性強皮症におけるEQ-5D-5LとHAQによるQOLの3年後の追跡調査. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
4. 泉良太, 佐野哲也, 能登真一. 運動器, 心大血管疾患, 呼吸器患者における作業療法前後での健康関連QOLの変化と特徴. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
5. 平野萌, 関山佑一, 能登真一, 関本充史, 竹中佐江子. もしもセラピーの試行から得られた1知見—作業療法士の電話による遠隔ケアサービスの可能性—. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
6. 伊藤泰介, 亀井数正, 湯浅晃, 松本文博, 吉井規敏, 能登真一. 円形脱毛症患者のQuality of Lifeに関する前向き調査. 第120回日本皮膚科学会 (横浜), 2021.6.10-6.13.

6 学会活動

- 1) 所属学会 国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR) 日本部会 (会長), 日本作業療法士協会 (学会運営委員長), QOL-PRO研究会 (評議員), 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 医療経済学会, 日本公衆衛生学会, 作業療法教育研究会, 医療経済研究機構, 新潟県作業療法士会, 日本衛生学会, 日本医療情報学会, 新潟神経心理懇話会 (世話人), 高次神経障害作業療法研究会, *International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research*, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, *International Society for Quality of Life Research*, 日本生命倫理学会, 日本医療・病院管理学会, 日本バスケットボール学会, 日本脊髄障害医学会, 日本リハビリテーション医学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本作業療法士協会, 第55回日本作業療法学会, 運営委員長, バーチャル, 2021.9.10-10.17.
 2. ISPOR日本部会, 第16回学術集会, 大会長, バーチャル, 2022.3.31.
- 3) 学会等でのその他の活動

1. ISPOR Japan Chapter President
 2. ISPOR Health Preference Research Special Interest Group member
 3. ISPOR Patient Preferences Task Force, Reviewer
 4. Value in Health, Reviewer
 5. BMC Musculoskeletal Disorders, Reviewer
 6. BMC Psychology, Reviewer
 7. Asian Journal of Occupational Therapy, Reviewer
 8. 日本作業療法士協会, 学術誌編集委員
 9. 日本作業療法士協会, 制度対策部
 10. 第55回日本作業療法学会, 査読
 11. ISPOR 日本部会, 第16回学術集会, 査読
 12. 医療情報学, 査読
 13. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
- 7 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本医療・病院管理学会学術総会シンポジウム, 医薬品・医療機器の費用対効果の評価と応用 - 日本の現状と今後の展望 -, シンポジスト, バーチャル, 2021.10.29.
 2. 日本医療政策機構データヘルス政策に関する専門家ラウンドテーブル, 世界に誇る医療データベースの今後, シンポジスト, バーチャル, 2021.12.15.
 3. 第20回東海北陸作業療法学会, 自己研鑽と自分自身の未来, 富山市, 2022.12.21.
 4. QOL/PRO研究会 研究セミナー, PBMを用いた日本の研究の現状, バーチャル, 2022.3.12.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
 1. 厚生労働省・企画提案書審査委員会（委員）
 - 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員

日本作業療法士協会（学会運営委員長）,（学術誌編集委員）,（学術部部員）,（制度対策部部員）
- 8 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究（B）, 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 研究代表者
 2. 2021年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発, 研究代表者
 3. 2020年度, 科研費基盤研究（A）, レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 研究分担者
 4. 2020年度, 科研費基盤研究（C）, リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 研究分担者
 5. 2021年度, 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業（政策科学総合研究事業）, 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 研究分担者
 6. 2021年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金, 研究代表者
- 9 学内委員会活動 医療経済・QOL研究センター（センター長）

氏名：能村 友紀

- 1 研究題目 認知機能低下抑制に関する研究
- 2 論文
 1. Asao A, Hoshino Y, Nomura T, Shibuya K. Effect of repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery on the corticospinal excitability of antagonist muscles. NeuroReport.

- 2021; 32 (10): 894-898. (review)
2. Asao A, Wada K, Nomura T, Shibuya K: Time course changes in corticospinal excitability during repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery. *Neurosci Lett*, 2022; 771 (6): 136427. (review)
 3. Asao A, Nomura T, Shibuya K: Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation through Hand Splint Materials on Induced Movement and Corticospinal Excitability in Healthy Participants. *Brain Sci*, 2022; 12 (2): 280. (review)
 4. Annaka H, Nomura T, Moriyama H. Sedentary Time and Cognitive Impairment in Patients Using Long-Term Oxygen Therapy: A Cross-Sectional Study. *Int J Environ Res Public Health*, 2022; 19(3): 1726. (review)
 5. Tabata S, Nomura T: Improvement of upper limb coordination by upper limb target-tracking for patients with cerebellar ataxia: A case series study. *Asian J Occup Ther*, 2022. (in press) (review)
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本公衆衛生学会, 日本認知症予防学会, 日本臨床神経生理学会, コクランジャパン, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟県作業療法士会, 第17回新潟県作業療法学会, 学会長, オンライン, 2021.10.16.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第55回日本作業療法学会, 演題審査
 2. 第17回新潟県作業療法学会, 演題審査
 3. 新潟県作業療法士会学術誌, 編集委員
 4. 新潟医療福祉学会誌, 査読
 5. *Journal of Psychiatric Research, Review*
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市横越地区公民館いきいきセミナー公開講座, 脳をイキイキ健康に保つために, 講師, 中高年, 新潟市, 2021.12.4.
 2. 臨床実習指導者講習会 in 新潟, 理学療法士, 作業療法士養成施設における臨床実習制度論, 講師, 作業療法士, オンライン, 2021.11.13.
 3. 臨床実習指導者講習会 in 新潟, 臨床実習における管理・運営 臨床実習の基本構造, ハラスメント, リスク管理, 個人情報保護, 講師, 作業療法士, オンライン, 2021.11.13.
 4. 臨床実習指導者講習会 in 新潟, ハラスメント防止, 講師, 作業療法士, オンライン, 2021.11.13.
 5. 臨床実習指導者講習会 in 新潟, 演習, 世話人, 作業療法士, オンライン, 2021.11.14.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県作業療法士会(理事)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費, 研究基盤C, 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 大学院教務委員会(委員長), 入試委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 馬場 広子

報告事項なし

氏名：浅尾 章彦

- 1 研究題目 磁気刺激を用いた神経リハビリテーションの開発, 基礎作業学
- 2 論文
 1. Asao A, Wada K, Nomura T, Shibuya K. Time course changes in corticospinal excitability during repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery. *Neuroscience Letters (JCR)*. 2022; 771, 136427. (査読あり)
 2. Asao A, Nomura T, Shibuya K. Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation through Hand Splint Materials on Induced Movement and Corticospinal Excitability in Healthy Participants. *Brain sciences (JCR)*. 2022; 12 (2), 280. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 浅尾章彦, 能村友紀, 澁谷顕一. 反復末梢性磁気刺激に運動イメージを併用した介入中における皮質脊髄路の興奮性の経時的変化. 第55回日本作業療法学会 (Web開催・日本), 2021.9.11-9.12.
 2. 浅尾章彦, 能村友紀, 澁谷顕一. 健常者のライトタッチ効果における指先の感度と接触面の素材の影響. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (Web開催, 日本), 2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事, 会計幹事), 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本臨床神経生理学会, バイオメカニズム学会, 日本作業療法研究学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟県作業療法士会, 第17回新潟県作業療法学会, 学会運営委員, 新潟市 (Web開催), 2021.10.16.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. Niigata Journal of Health and Welfare, 編集委員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第6回末梢神経磁気刺激法に関する研究会, Pathleaderに運動イメージを組み合わせた神経リハビリテーションの最適化, 講演, PeMas研究会, 医師・療法士・企業等, 仙台市, 2021.11.27.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県作業療法士会 (学会運営委員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳-脊髄の可塑的変化の解明, 研究代表者.
- 7 学内委員会活動 学術委員, 広報委員, 人権委員, 個人情報保護委員, 運動機能医科学研究所 (研究員)

氏名：外川 佑

報告事項なし

氏名：北上 守俊

報告事項なし

氏名：藤目 智博

- 1 研究題目 神経因性疼痛の抑制に関する研究, 手関節尺側部痛に関する研究
- 2 論文
 1. 古田裕之, 伊坪敏郎, 林正徳, 藤目智博. バレーボール選手の手指PIP関節他動伸展角度・過伸展発生率-第1報-. *日本ハンドセラピー学会誌*. 2021; 13 (3): 147-152. (査読あり)
 2. 藤目智博, 三井葉月, 大山峰生. 示指MP関節外転運動に伴う長母指外転筋の筋活動について. *日本ハン*

ドセラピー学会誌, 2022; 14 (3): 120-124. (査読あり)

3. Fujime C, Oyama M, Koizumi H, Shioda N, Nonaka N, Okano A. Effect of contraction of wrist muscles on the carpal bone under the immobilization wrist. Niigata journal of Health and Welfare. 2022; 21(2): 99-111. (査読あり)
 4. 藤目智博, 大山峰生. 月状三角骨障害の後療法 - 作業療法. 整形・災害外科. 2021; 64 (8): 1001-1006. (査読なし)
 5. 野中信宏, 大山峰生, 岡野昭夫, 藤目智博, 小田桐正博, 小泉裕昭. FDSを用いる筋腱移行術後の運動再学習法の検討. 日本手外科学会誌, 2021; 37(4): 589-593. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
1. 藤目智博, 三井葉月, 大山峰生. 示指MP関節外転運動に伴う長母指外転筋の筋活動について. 第33回日本ハンドセラピー学会 (長崎), 2021.4.25.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 ハンドセラピー学会 (理事, 広報委員長), 日本手外科学会, 日本肘関節学会, International Society of Electrophysiology and Kinesiology, International association for the study of pain, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法士協会, 事例登録審査委員
 2. 日本作業療学会, 演題査読委員
 3. 日本ハンドセラピー学会, 演題・論文査読委員
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 認定ハンドセラピスト養成講座応用実践研修会, 物理療法Ⅱ, 講師, 日本ハンドセラピー学会, PT・OT, Web, 2021.11.28.
 2. 第18回ハンドセラピー研究会, 手指骨折のハンドセラピーの基礎, 講師, 井笠備後ハンドセラピー研究会, PT・OT, Web, 2021.10.30.
 3. 第6回新潟ハンドセラピー勉強会, 肘関節の機能解剖・外傷とセラピー, 講師, 新潟ハンドセラピー勉強会, PT・OT・学部生, Web, 2021.12.11.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 第33回日本ハンドセラピー学会学会賞・2021.4.25, 博士 (保健学)・2022.3.17.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 運動器疾患OT治療学・義肢装具学
- 7 学内委員会活動 国家資格・資格試験対策委員会, 就職センター運営委員会

氏名：間宮 靖幸

- 1 研究題目 レビー小体型認知症 (神経心理学), 認知症性疾患 (神経心理学), 視覚性注意 (行動神経学)
- 2 報告書
 1. 間宮靖幸. 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討, 研究実績報告書, 2021 (研究代表者)
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討 (研究代表者)
- 4 学内委員会活動 FD委員会 (授業評価改訂部会長), 学生委員会 (学友会顧問), 交通安全委員会 (委員),

地域連携推進センター運営委員会（委員）

氏名：渡部 貴史

報告事項なし

(3) 言語聴覚学科

氏名：山岸 達弥

報告事項なし

氏名：今井 信行

- 1 研究題目 高齢者の口腔機能解析，摂食嚥下障害における評価法・訓練法の開発
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本口蓋裂学会，日本歯科麻酔学会，日本小児口腔外科学会，日本音声言語医学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本障害者歯科学会，日本顎顔面補綴学会，新潟歯学会，新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 尾山愛広苑口腔機能維持管理会議，入所者の口腔機能の問題解決のための助言・指導，2021.4-2022.3（月1回）
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院非常勤歯科医師，歯科・歯科口腔外科，2021.4-2022.3.
- 5 学内委員会活動 動物実験委員会

氏名：今村 徹

- 1 研究題目 認知症の臨床における総合的研究，認知機能障害の臨床における総合的研究
- 2 学会等研究発表
 1. 松井智世，佐藤卓也，今村徹．アルツハイマー病患者における共感の低下が臨床像に与える影響：情報提供者に施行する質問紙を用いた検討．第45回日本神経心理学会学術集会（オンライン開催），2021.9.30-10.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経心理学会（理事，機関誌編集委員），日本高次脳機能障害学会（評議員），日本神経学会，日本内科学会，日本認知症学会，日本老年精神医学会，日本神経精神医学会（評議員），東北神経心理懇話会（世話人），新潟神経心理懇話会（世話人），新潟医療福祉学会.
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第45回日本神経心理学会学術集会，プログラム委員，オンライン開催，2021.9.30-10.1.
 2. 第45回日本神経心理学会学術集会，教育講演座長，オンライン開催，2021.9.30-10.1.
 3. 第45回日本高次脳機能障害学会学術総会，プログラム委員，オンライン開催，2021.12.9-12.10.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和3年度佐渡圏域高次脳機能障害支援従事者研修会，講師，新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部，医療，介護，保健，福祉関係職員，佐渡市，2021.9.17.
 2. 令和3年度認知症本人・家族支援及び高齢者虐待防止ネットワーク運営推進事業「介護・相談従事者向け認知症ケア研修」，講師及び事例検討助言者，新潟県村上地域振興局健康福祉部，医療，介護，保健，福祉関係職員，関川村，2021.10.22.
 3. にいがた連携公開講座2021，認知症を生きる・認知症の人とともに生きる，講師，新潟県立生涯学習推進センター，一般県民，関川村，2021.11.12.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. グループホームおやま，リビングサポートおやま運営推進会議，有識者委員，新潟市，2021.4.1-2022.3.31.

2. グループホームはやどおり, リビングサポートはやどおり運営推進会議, 有識者委員, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.
 3. 高次脳機能障害友の会「スワン」, 高次脳機能障害リハビリテーション講習会, 実行委員長, オンライン開催, 2021.11.21.
- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（委員長）独立行政法人高齢・障害者・求職者雇用支援機構
新潟障害者職業センター（医療情報助言者）
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
 1. 独立行政法人高齢・障害者・求職者雇用支援機構 新潟障害者職業センター, 医療情報助言者, 2021.4.1-2022.3.31.

氏名：大石 如香

- 1 研究題目 脳血管疾患による失語症および読み書き障害の研究, 脳血管疾患や変性性認知症における視覚認知障害および質感認知障害に関する研究
- 2 論文
 1. Oishi Y, Nagasawa H, Hirayama K, Suzuki K. Neural bases of color-specific semantic loss: two cases of object-color knowledge impairment. *Cortex (JCR)*, 141: 211-233, 2021. (査読あり)
 2. 大石如香, 菅井努. 左側頭葉病変による健忘失語2例における失名辞の検討. *日本音声言語医学（協力学術研究団体）*, 62: 123-133, 2021. (査読あり)
 3. Robertson SJ & Thomson F. 訳：大石如香. パーキンソン病の言語治療：集中的治療に関わる効果と長期的効果の検討 *Speech therapy in Parkinson's Disease: a study of the efficacy and long term effects of intensive treatment. Japan Journal of Clinical Research in Dysarthria*, 11(1), 113-120, 2021. (翻訳)
- 3 報告書
 1. 大石如香, 今村徹, 鈴木匡子. 研究基盤（C）, 認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明. 研究成果報告書, 2021-2024（研究代表者）
- 4 学会等研究発表
 1. 大石如香. 失語症2例にみられた形式性錯語の検討－語彙と音韻の相互アクセス－. 第21回新潟医療福祉学会学術総会（新潟）, 2021.10.31.
 2. 大石如香, 有賀楓, 栗田幸平, 今村徹, 鈴木匡子. 若年健常者の相貌認知能力に関する検討－標準高次視覚検査 熟知相貌検査第二版を用いた検討－. 第45回日本高次脳機能障害学会学術総会（郡山市）, 2021.12.9-12.10.
 3. 大石如香. 脳血管障害の失語症の症候とその診かた, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会学術大会シンポジウム, 新潟市, 2021.6.6. 【特別講演】
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経心理学会（評議員）, 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本言語聴覚士協会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本認知神経心理学研究会, 新潟医療福祉学会, 日本色彩学会, International Colour Vision Society
- 6 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 一般雑誌掲載, 公益社団法人 色彩検定協会情報誌 AFT ジャーナル「ここが知りたい・あれが聞きたい」, 2021.11.
 - 2) 職能団体（協会, 士会等）の委員
新潟神経心理懇話会世話人

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度 文部科学省科学研究補助金 基盤研究（C）、認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明，研究代表者
2. 2021年度 文部科学省研究費補助金 学術変革領域研究「深奥質感」、実世界の奥深い質感情報の分析と生成，研究協力者

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 博士課程研究指導担当適格者〇合（D）

8 学内委員会活動 学長補佐，教務委員会，就職センター運営委員会，高等教育推進センター運営委員会，科研費対策委員会，人権委員会調査委員

氏名：佐藤 克郎

1 研究題目 中耳における細菌感染症に関する基礎研究（耳鼻咽喉科学，細菌学，感染症学），頭頸部腫瘍に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，頭頸部外科学），音声障害に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，音声言語医学）

2 論文

1. 佐藤克郎，小林明日香，新潟市の大学生におけるアレルギー性鼻炎の現状，新潟市医師会報，2021：603：2-7.（査読あり）
2. 佐藤克郎，若年層の聴力低下の問題，子どもと発育発達，202219：259-263.（執筆依頼論文）
3. 田村俊暁，荏安誠，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎：Dysarthriaを有する日本語話者の文章音読での連母音における第2フォルマント移動，音声言語医学（協力学術団体），2021：62（3），205-214.（査読あり）

3 学会等研究発表

1. 田村俊暁，田中康博，渡辺慶大，佐藤克郎，Dysarthria話者の最大舌圧と発話明瞭度の関係：アルブミン値による予備検討，第21回日本言語聴覚学会（茨城），2021.6.19.
2. 田村俊暁，荏安誠，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎，発話条件による連母音と閉鎖音の第2フォルマント変化の違い，第66回日本音声言語医学会（東京），2021.10.7.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事・評議員），日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（認定専門医・認定補聴器相談医・新潟県地方部会評議員・新潟県地方部会医事問題委員），日本気管食道科学会（認定専門医），日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会

5 社会活動

1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 総合ニュースサイト，NEWSポストセブン，頻尿，頭痛，微熱，倦怠感・・・命にかかわる「がんのサイン」の可能性も，2022.1.9.
2. 週刊誌，週刊ポスト（小学館），それは「重病」のサインです，2022.1.14-1.21.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会賛助員（教授職）

6 学内委員会活動 学術委員会（副委員長），新潟医療福祉学会誌編集委員（委員長），大学院教務委員会（副委員長），大学院入試広報拡大委員会，社会連携推進センター運営委員会

氏名：吉岡 豊

1 研究題目 言語発達障害児の語彙獲得および語彙特徴に関する研究，機能性構音障害児における語彙能力に関する研究

2 著書

1. 吉岡豊，能登谷晶子，諏訪美幸編，症例から学ぶ 子どもの構音障害，第4章ASDやダウン症候群に合

併した構音障害。Ⅰ概要，Ⅱダウン症候群例の好悪音訓練－幼児期，Ⅳ幼児期から学童期まで経過を終えた自閉症例。初版。東京：建帛社；2022：103-108，108-115，121-127。

3 論文

1. 田村俊暁，荏安誠，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎：Dysarthriaを有する日本語話者の文章音読での連母音における第2フォルマント移動。音声言語医学（協力学術団体），2021；62（3），205-214。（査読あり）

4 学会等研究発表

1. 田村俊暁，荏安誠，吉岡豊，富澤晃文，佐藤克郎。発話条件による連母音と閉鎖音の第2フォルマント変化の違い。第66回日本音声言語医学会（東京），2021.10.7。

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本発達障害支援システム学会，日本音声言語医学会，日本聴覚医学会，日本聴覚言語障害学会，日本特殊教育学会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学学会，日本口蓋裂学会，日本言語聴覚士協会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 上越特別支援教育研究会 言語・難聴部研修会，構音の仕組みと機能性構音障害－構音の基礎，評価の流れ，訓練－，講師，上越特別支援教育研究会，特別支援学級（言語・難聴）担当教員，Zoom，2021.6.8。

2) 社会活動への参加協力

1. 阿賀町役場，言葉の相談会，助言者，阿賀町・やまぶきの里，5.15，8.21，9.11，11.13，12.25，3.5・2021.4-2022.3。
2. 新潟聾学校，評議員，新潟市・持ち回り審議，2021.4-2022.3。
3. 水原小学校，言葉の教室指導・助言，助言者，水原市・水原小学校，2021.12.2

- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会（副委員長），同窓会・生涯学習連携推進委員会，学生委員会，交通安全委員会，プロジェクト研究センター運営委員会，言語発達支援センター（センター長），広報委員会（11月より）

氏名：石本 豪

- 1 研究題目 児童・青年に対する心理的支援に関する研究，障害児の親に対する心理的支援に関する研究，発達障害の大学生に対する就労支援に関する研究

2 論文

1. 石本豪，加茂勇。子どもと家族の物語を聴き，支え，創る。教育科学研究会。教育。2021；6月号：80-89。

3 学会等研究発表

1. 石本豪。吃音に伴う過去のネガティブな記憶に対し，ブレインスポッティングを適用した一事例。日本コミュニケーション障害学会・第46回学術講演会（新潟市），2021.7.31。

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理臨床学会，日本学生相談学会，日本教育心理学会，日本コミュニケーション障害学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 中野小屋中学校区学校保健委員会講話，ストレスに負けない心と体を育てる，講師，中野小屋中学校区学校保健委員会，児童・生徒および地域住民，中野小屋中学校，2021.10.14。

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業，スクールカウンセラー，新潟市内小・中学校，2021.4.1-2022.3.31。

- 6 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 図書館・学習支援センター運営委員会, 言語発達支援センター

氏名：内山 信

- 1 研究題目 レビー小体型認知症の錯視・幻視に関する研究, レビー小体型認知症の記憶障害に関する研究, パーキンソン病の認知機能障害に関する研究, 認知症患者の難聴に関する研究
- 2 報告書
 1. 内山信, 基盤研究 (c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究成果報告書, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 内山信, 神経変性疾患の失語症の症候とその診かた. 第9回新潟県言語聴覚士会学術大会 (新潟), 2021.6.6. 【シンポジウム】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本神経心理学会 (評議員), 日本高次脳機能障害学会, 新潟神経心理懇話会 (役員)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度. 基盤研究 (c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 教務委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名：栗原 桂

- 1 研究題目 新潟県の新生児聴覚スクリーニング事業について (聴覚障害学), 人工内耳装用児のコミュニケーションの発達 (聴覚障害学), 片耳難聴児の支援と教育 (聴覚障害学), 難聴児を取り巻く医療と教育の連携について (連携教育), 大学における連携教育の在り方について (連携教育), 医療現場における多職種連携について (連携教育), マイクロエスノグラフィ・ライフヒストリー (研究方法論)
- 2 論文
 1. 佐藤隆子, 栗原桂, 石上和男. 聾学校に在籍する人工内耳装用児の聴取能力と言語力の関係. ろう教育科学会. 2022 : 63 (3) : 75-86. (査読あり)
 2. 栗原桂, 佐藤隆子. 新潟県の新生児聴覚検査の受検状況とその後の対応について : 保護者アンケートの結果から. ろう教育科学会. 2021 : 63 (2) : 63-73. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 大松健太郎. 2020年度連携総合ゼミ (オンライン開催) の海外参加大学とのゼミ活動の比較一終了アンケート結果の比較から. 新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2021.10.31.
 2. 村田憲章, 松井由美子, 栗原桂, 伊藤嘉高, 石澤幸江. オンライン実施となった「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果の報告. 新潟医療副学会学術集会 (新潟), 2021.10.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, American Audiology Society, American Cochlear Implant Alliance, 日本言語聴覚士協会 (国際部員), 日本教育オーディオロジー研究協議会 (北陸地区評議員), 北陸教育オーディオロジー研究協議会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会, 日本音声言語医学会, 日本発達障害学会, 日本コミュニケーション障害学会, ろう教育科学会, 新潟県難聴児をもつ親の会.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. NPO法人きこえエール新潟・第1回勉強会, 先天性難聴の遺伝カウンセリングについて (新潟大学歯学総合病院認定カウンセラー栗山洋子先生), 開催主催, NPO法人きこえエール新潟, 教諭・大学

教員・保健師・助産師・行政担当者・医師・言語聴覚士・難聴児の保護者や関係者，新潟市，2021.6.13.

2. NPO法人きこえエール新潟・第2回勉強会，耳の聞こえない息子と聞こえる親の気持ち（長岡聾学校教諭 加賀充先生），開催主催，NPO法人きこえエール新潟，教諭・大学教員・保健師・助産師・行政担当者・医師・言語聴覚士・難聴児・難聴児の保護者とその関係者，新潟市，2021.10.23.

2) 社会活動への参加協力

1. NPO法人「きこえエール新潟」理事長，2017.11.22-2021.6.13.
2. NPO法人「きこえエール新潟」理事，2021.6.13-（継続）
3. NPO法人きこえエール新潟，理事会，新潟市，2021.5.16.
4. NPO法人きこえエール新潟，通常総会，新潟市，2021.6.13.
5. NPO法人きこえエール新潟，第1回勉強会，新潟市（リモート），2021.6.13
6. NPO法人きこえエール新潟，エールだより第17号～第21号発行，新潟市，2021.7.7-2022.2.23.
7. NPO法人きこえエール新潟，第1回相談支援員研修会，新潟市，2021.10.23.
8. NPO法人きこえエール新潟，第2回相談支援員研修会，新潟市（リモート），2022.3.26.
9. NPO法人きこえエール新潟，第54回～64回事業運営委員会，新潟市（リモート），2021.4.24-2022.2.26.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人言語聴覚士協会国際部員，日本オーディオロジー研究協議会北陸地区評議員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，基盤研究（C）（一般），新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査，研究代表者
2. 2022年度，基盤研究（C）（一般），両側人工内耳装用乳幼児の言語発達を伸ばす取り組み－LENAシステムの活用，研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野客員研究員（小児難聴，人工内耳），2014.6-（継続）

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会（連携学対応部会長），入試委員会，広報委員会，言語発達支援センター

氏名：伊藤 さゆり

1 研究題目 本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発，進行性失語の訪問リハビリテーション

2 学会等研究発表

1. 伊藤さゆり，伊藤嘉高，武居渡，鈴木匡子，石川・新潟・山形 3県における「手話の失語症」の実態調査，第22回日本言語聴覚学会（名古屋市），2021.6.19.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本言語聴覚士協会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本訪問リハビリテーション協会，新潟医療福祉学会，日本手話学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会，実行委員，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県，新潟市，2021.9.12.
2. 第2回新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会，実行委員，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，新潟県，新潟市，2021.10.10.

3. 第3回新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会, 司会・実行委員, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県, 新潟市, 2021.10.31.
 4. 第4回新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会, 司会・実行委員, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県, 新潟市, 2021.11.14.
 5. 第6回新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会, 講師 (コミュニケーション支援実習 I-⑤), 実行委員, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県, 新潟市, 2021.12.19.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 東区失語症友の会つくしの会, 失語症者支援と学生指導, はなみずきコミュニティハウス, 2019.11-現在
 2. 新潟県失語症者向け意思疎通支援指導者養成研修, 講習会の運営, 推進委員, 新潟市, 2020.4.1-現在
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 令和3年度, 若手研究, 本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発, 伊藤さゆり
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国立民族学博物館文化資源共同研究員, 2021.5.19-現在
- 6 学内委員会活動 国際交流委員会, 新潟連携教育研究センター委員会

氏名：田村 俊暁

- 1 研究題目 神経筋疾患患者の発声発語障害に関する研究 (成人発声発語障害学), 神経筋疾患患者の摂食嚥下障害に関する研究 (摂食嚥下障害学)
- 2 論文
 1. Tamura T, Tanaka Y, Watanabe Y, Sato K: Relationships between maximum tongue pressure and second formant transition in speakers with different types of dysarthria. PLOS ONE (JCR), 17(3): e0264995, 2022. (review)
 2. 田村俊暁, 荻安誠, 吉岡豊, 富澤晃文, 佐藤克郎: Dysarthriaを有する日本語話者の文章音読での連母音における第2フォルマント移動. 音声言語医学 (協力学術団体), 2021; 62 (3), 205-214. (査読あり)
 3. Watanabe Y, Tamura T, Imai R, Maruyama K, Iizuka M, Ohashi S, Yamaguchi S, Watanabe T: High-flow nasal cannula oxygen therapy was effective for dysphagia associated with respiratory muscle paralysis due to cervical spinal cord injury: A case report. Medicine (JCR), 100(32): e26907, 2021. (review)
- 3 報告書
 1. 田村俊暁. 若手研究, 時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発, 研究実施状況報告書, 2021, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 田村俊暁, 荻安誠, 吉岡豊, 富澤晃文, 佐藤克郎. 発話条件による連母音と閉鎖音の第2フォルマント変化の違い. 第66回日本音声言語医学会 (東京), 2021.10.7.
 2. 田村俊暁, 田中康博, 渡辺慶大, 佐藤克郎. Dysarthria話者の最大舌圧と発話明瞭度の関係: アルブミン値による予備検討. 第21回日本言語聴覚学会 (茨城), 2021.6.19.
 3. 渡辺慶大, 田村俊暁, 丸山航輝, 今井遼太, 大口陽子, 関悟, 大西康史, 渡部達範, 米岡有一郎. 一側嚥下と経鼻胃管の位置調整が有効であった右頸静脈孔近傍の頭蓋底骨折による遅発性舌咽迷走神経麻痺の嚥下障害. 第21回日本言語聴覚学会 (茨城), 2021.6.19.
 4. 丸山航輝, 田村俊暁, 渡辺慶大, 大口陽子, 佐藤陽一, 関泰弘, 秋山克彦, 米岡有一郎. Foreign accent syndromeの1例における音響学的因子の経時的変化. 第21回日本言語聴覚学会 (茨城), 2021.6.19.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本音声言語医学会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会,

日本高次脳機能障害学会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, 失語症のある人の日常生活とニーズ等, 司会・実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.9.12.
2. 第2回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, コミュニケーション技法I等, 実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.10.10.
3. 第3回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, 外出同行支援等, 実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.10.31.
4. 第4回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, 派遣事業と意思疎通支援者の業務, 講師・実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.11.14.
5. 第5回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, 外出同行支援実習等, 実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.12.5.
6. 第6回失語症者向け意思疎通支援指導養成講習会, コミュニケーション支援実習I, 司会・実行委員長, 一般社団法人新潟県言語聴覚士会, 新潟県民, 新潟市, 2021.12.19.

2) 社会活動への参加協力

1. 厚生労働省, 失語症者向け意思疎通支援者養成事業, 講師および県庁との連絡係, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

一般社団法人新潟県言語聴覚士会(理事), 一般社団法人新潟県言語聴覚士会(財務部長), 一般社団法人新潟県言語聴覚士会(失語症者向け意思疎通支援事業推進委員長), 一般社団法人日本言語聴覚士協会(国際部北信越代表)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 若手研究, 時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. かみやま親子歯科クリニック, 言語聴覚士, 2021.4-2022.3.
2. 県立十日町病院, 言語聴覚士, 2021.12-2022.3.

8 学内委員会活動 広報委員会, FD委員会

氏名: 谷 麻美

1 研究題目 小児言語発達の研究, 回路個性の成長と機能の解析

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本言語聴覚士協会, 日本小児精神神経学会, 日本発達障害支援システム学会, 新潟医療福祉学会, Society for Research in Child Development

3 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 厚生労働省, 失語症者向け意思疎通支援者養成事業, 講師, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

一般社団法人新潟県言語聴覚士会(財務部員)

(4) 義肢装具自立支援学科

氏名：東江 由起夫

- 1 研究題目 1) 3Dデジタル機器を活用した義肢装具士養成教育プログラムの構築および実用化に向けた研究, 2) 客観的機器を用いた義肢装具適合評価研究, 3) 3D Scanner/3D Printerを活用した脳卒中片麻痺者の短下肢装具ならびに下肢切断者の義足ソケットの実用化に向けた研究など.
- 2 論文
 1. 郷貴博, 勝平純司, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 江原義弘. 3D-Scannerを用いた下腿切断端およびソケットの形状分析-コンプレッション値と断端 長の関係性について-. 日本義肢装具学会誌. (印刷中) (査読あり)
 2. 東江由起夫, 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄. 義肢装具における3D Printerの現状と可能性 教育・研究・事例紹介. POアカデミージャーナル. 2021; 29(4): 260-266
- 3 報告書
 1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2021
- 4 学会等研究発表
 1. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝弘, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの厚みによる特性分析. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
 2. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 本学における3D-Scan/3D-Printerシステムを用いた義肢装具製作・適合演習科目の取り組み. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
 3. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝裕, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP AFO コルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
 4. 上脇寿人, 浜島美咲, 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 神田賢, 村山稔. 大腿切断者の筋収縮時および筋弛緩時の断端周径変化によるソケット適合に関する研究 (第1報) 適切なライナー選択の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
 5. 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 上脇寿人. NU-Flex Socketの適応困難となった切断端の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
 6. 佐藤未希, 大徳尚司, 小林真里奈, 東江由起夫. 大腿義足ソケットによる鼠経リンパ節への影響～女性切断者と健常女性の一考察～. 第37回日本義肢装具学会学術大会 (オンライン), 2021.10.16.
 7. 大徳尚司, 佐藤未希, 小林真里奈, 伊藤篤司, 中村雅俊, 東江由起夫. 大腿切断者の義足歩行運動による下肢血流動態の分析. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.31.
 8. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y. Introduction of an exercise course on the manufacturing and adaptation of prostheses and orthoses using the NUHW 3D Scanner / 3D Printer system. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
 9. Suda H, Go T, Maeda Y, Agarie Y, Washizu T, Mouri T, Tamura M. Effect of corrugation on plastic AFO modeled with 3D printer. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
 10. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 東江由起夫. 3Dプリンター製AFOで造形製作したプラスチックAFOの強度・特性 従来のPP製AFOとの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30-10.31.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本義肢装具士協会 (監事), 日本義肢装具学会, ISPO国際義肢装具協会, 日本リハビリテーション工学協会, 臨床歩行分析研究会, 臨床バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県難病支援ネットワーク, 日本義肢装具教育者連絡協議会
- 6 社会活動
 - 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

義肢装具士試験委員会（厚生労働省主管 テクノエイド協会運営管理）

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本義肢装具士協会（監事）、日本義肢装具学会（理事）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度、ニッポー株式会社共同研究費、3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具の実用化に向けた研究、主研究者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院 自然科学研究科「人間支援科学特別講義Ⅱ」講師 2021.4-7.

8 学内委員会活動 総務会、教員選考委員会、表彰審査会、地域連携推進センター運営委員会(副委員長)、新潟連携教育推進研究センター運営委員会

氏名：阿部 薫

1 研究題目 靴医学を基礎とした一般靴の開発・改良に関する研究 —特に女性用靴・健康増進用靴・高齢者用靴に注目して—

2 論文

1. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝, 東海林藍. 3次元足型計測によるヒール高変化時の足趾動態の解析～足部を直行座標系と仮定した足趾位置変化の検討～. 靴の医学. 2020 ; 34(2) : 9-14. (査読あり)
2. 阿部薫, 濱野礼奈, 笹本嘉朝, 蓮野敢, 東海林藍. 大学女子バレーボール選手の競技用シューズへのインソール使用の効果—パフォーマンステストによる評価—. 靴の医学. 2020 ; 34(2) : 48-52. (査読あり)
3. 阿部薫. 婦人靴のファッションと機能の両立に関する実験研究方法. 靴の医学. 2020 ; 34(2) : 108-111. (査読あり)
4. 阿部薫, 池澤裕子, 木村克敏, 赤石恒一, 五十石紀子. 婦人靴のファッションと機能を考える —ヒールパンプスに注目して—. 靴の医学. 2020 ; 34(2) : 98-104. (査読あり)
5. 阿部薫. 靴のファッションと機能の両立 —ヒール靴と足部の適合性に関する研究—. 靴の医学. 2020 ; 34(2) : 155-166. (査読あり)
6. Hyunho Lee, Ishikawa H, Shibuya T, Takai C, Nemoto T, Nomura Y, Abe A, Otani H, Ito S, Nakazono K, Abe K, Nakanishi K, Murasawa A. The Combination of Modified Mitchell's Osteotomy and Shortening Oblique osteotomy for Patients with Rheumatoid Arthritis: an Analysis of Changes in Plantar Pressure Distribution. Int. J. Environ. Res. Public Health (JCR) 2021; 18: 9948. (査読あり)
7. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. フットプリントを用いた女子大学生の足型寸法・外反母趾・扁平足の実態調—2006年と2020年の比較—. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 5-8. (査読あり)
8. 蓮野敢, 阿部薫, 東海林藍. 3次元足型計測器を用いたヒール高別の内側角度および外側角度の変化の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 9-12. (査読あり)
9. 岡部咲樹, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. スポーツ傷害に対する段階的なインソール修正の有効性—アキレス腱付着部炎と足底腱膜炎の併発例—. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 13-18. (査読あり)
10. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 岡部有純, 東海林藍. 体格指標を用いた新しい靴選定基準の検討 —足長は身長に、足囲・足幅は体重に比例する—. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 25-28. (査読あり)
11. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢. 痛みを明確に訴えることができない認知高齢者のフットケアの重要性. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 29-32. (査読あり)
12. 中林功一, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 小趾の回外矯正による小趾回外角度の変化とバランス機能改善効果の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 33-36. (査読あり)
13. 蓮野敢, 阿部薫, 東海林藍. ヒール靴におけるヒール高変化時の美的印象と足寸法変化の関係性の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021 ; 6 : 37-40. (査読あり)
14. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 大学の靴型装具製作実習におけるインソールの横アーチサポート

中心位置の設計－学生の設計における誤差とその原因の検討－. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021; 6: 45-48. (査読あり)

15. 阿部薫, 吉田桂, 中林功一, 中林知宏, 蓮野敢, 岡部有純, 東海林藍. 下肢重度熱傷治癒後の肥厚性癬痕に対するADL向上を目指したフットウェアのアプローチ. 日本整形靴技術協会雑誌. 2021; 6: 49-52. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. Abe K, Hasuno K, Kanda M, Okabe A, Shoji A. Recover Digitus Minimus Versus Angle By Pressure Force On The Abductor Digiti Minimi. The 15th biannual Footwear Biomechanics Symposium (Gothenburg, Sweden), 2021.7.21-7.23.
2. Hasuno K, Abe K, Kanda M, Shoji A. Changes in hallux angle as a result of different heel heights measured by a 3-D foot scanner. The 15th biannual Footwear Biomechanics Symposium (Gothenburg, Sweden), 2021.7.21-7.23.
3. Shoji A, Abe K, Hasuno K, Kanda M, Okabe A. A method for estimating shoe size selection criteria for use in the transition from bed rest to a wheelchair, and from a wheelchair to standing and walking. The 15th biannual Footwear Biomechanics Symposium (Gothenburg, Sweden), 2021.7.21-7.23.
4. Okabe A, Abe K, Kanda M, Hasuno K, Shoji A. Review: Prevalence of flat foot in Down syndrome. The 15th biannual Footwear Biomechanics Symposium (Gothenburg, Sweden), 2021.7.21-7.23.
5. 東海林藍, 阿部薫. 通所型介護施設の利用者における爪トラブル調査－整容としての爪切り(フットケア)支援の必要性に関する考察－. 第29回日本介護福祉学会大会(オンライン開催), 2021.8.29.
6. 阿部薫. 義肢装具士への靴教育 変わらないもの変わるもの. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン), 2021.9.3-9.4. 【シンポジウム】
7. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 神田賢, 濱野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部咲樹, 叶野愛羅. フットプリントを用いた異なる扁平足評価方法の比較～各方法の効果的な活用方法の検討～. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
8. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 神田賢, 濱野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹. 立位時および座位時における足型寸法の関係性の検討～若年女性と高齢女性の回帰分析による比較～. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
9. 中林功一, 阿部薫, 神田賢, 濱野礼奈, 東海林藍, 蓮野敢, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 内反小趾に付帯する小趾回外角度の増加と開張率との関係性. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
10. 東海林藍, 阿部薫, 神田賢, 濱野礼奈, 蓮野敢, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 軽度変形性股関節症の脚長差における足部疼痛に対するパッド調整－短脚補高と長脚内側ウェッジによる改善例－. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
11. 蓮野敢, 阿部薫, 神田賢, 濱野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 3次元足型計測器を用いたヒール高別の足部動態の計測～靴のボールラインの位置変化を靴型に反映させるための回帰式を得るために～. 第35回日本靴医学会学術集会(オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
12. 阿部薫, 蓮野敢, 神田賢, 岡部有純, 中林功一, 東海林藍. 下肢装具用金属支柱の破断面観察により脆性破壊の機序を特定し使用者の歩行特徴を推定する. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2021.10.30.
13. 蓮野敢, 阿部薫, 神田賢, 東海林藍. 3次元足形計測によるヒール高変化時の内側角度の変化の検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2021.10.30.
14. 阿部薫, 吉田桂, 中林功一, 中林知宏, 蓮野敢, 東海林藍, 岡部有純. 下肢重度熱傷治癒後の高度な肥厚性癬痕に対する皮膚保護を目的とした特殊靴下の開発. 第2回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会(横浜市西区), 2021.12.10-12.11.
15. 東海林藍, 阿部薫, 蓮野敢, 中林功一, 岡部有純. 放置され過伸長により弯曲が増強した巻き爪に対し日

常管理として適切な長さを保持するための検討. 第2回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会 (横浜市西区), 2021.12.10-12.11.

16. 蓮野敢, 阿部薫, 中林功一, 亀山貴司, 東海林藍. 異なる太さのゴム糸を混合して編成した靴下によるMP部への加圧が足囲・足幅および主観の評価に与える影響. 第2回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会 (横浜市西区), 2021.12.10-12.11.
17. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 大学の靴型装具製作実習における横アーチサポート中心位置の設計～学生の設計における誤差とその原因の検討～. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
18. 東海林藍, 阿部薫, 中林功一, 蓮野敢. 痛みを明確に訴えることができない認知症高齢者のフットケアの重要性. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
19. 安松美咲, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 体格指標を用いた新しい靴選定基準の検討—足幅は体重に・足囲, 足長は身長に比例する—. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
20. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 1987年と2021年における若年男性の足型寸法の比較検討—34年間でどう変化したか—. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
21. 中林功一, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 小趾回外矯正許容角度と重心動揺への影響. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
22. 蓮野敢, 阿部薫, 中林功一, 東海林藍. 3次元足型計測によるヒール高変化時の足部動態の解析～足部内側角度および外側角度の変化の検討～. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.
23. 阿部薫. 徒手による脚長差測定と踵パッドによるアプローチ. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4. 【特別講演】
24. 阿部薫, 吉田桂, 中林功一, 中林知宏, 蓮野敢, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅, 安松美咲, 東海林藍. 重度の両側下肢熱傷に対するロッカー靴と介護シューズとの比較—足底圧分布測定装置を用いた歩行分析—. 第17回日本整形靴技術協会学術集会 (オンライン開催), 2022.2.19-3.4.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形靴技術協会 (理事) (会長) (学会誌編集委員長), 日本義肢装具学会 (評議員), 日本靴医学会 (評議員) (AWARD選考委員), バイオメカニズム学会, 臨床歩行分析研究会, 日本フットケア足病医学会 (教育・研修委員), 日本義肢装具士協会, 足育研究会, 日本介護福祉学会, 日本介護学会, 臨床フットケア研究会 (幹事), International Society for Prosthetics and Orthotics, American Academy of Orthotists and Prosthetists, Footwear Biomechanics Group : a technical group of the International Society of Biomechanics.

2) 学術集会の主催

1. 日本整形靴技術協会, 第17回日本整形靴技術協会学術大会, 大会長, オンライン開催, 2022.2.19-3.4.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本靴医学会, 第35回日本靴医学会学術集会, シンポジウム座長, 神奈川県川崎市, 2021.9.3-9.4.
2. 新潟医療福祉学会, 和文誌, 査読
3. 日本義肢装具学会, 第37回日本義肢装具学会学術大会, 一般演題セッション座長, オンライン開催, 2021.10.16-10.17.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術1, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2021.7.1. (オンライン講義)
2. マスターシューフィッター養成講座, 指導者として身に付けるべき技術, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2021.9.14. (オンライン講義)

3. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術2, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2021.11.19. (オンライン講義)
 4. 上級シューフィッター養成講座, 機能性靴パッド調整技術3, 講師, 足と靴と健康協議会, 靴業界関係者, 東京都墨田区, 2022.3.16. (オンライン講義)
 5. 健康づくり講座 (糖尿病と足), 講師, 新潟県加茂市健康福祉課, 新潟県加茂市民, 新潟県加茂市産業センター, 2022.2.19.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. (全国版) WEB, 産経新聞, 学会誌で優秀論文賞, 2021.4.1.
 2. (全国版) WEB, PR TIMES, 学会誌で優秀論文賞, 2021.4.1.
 3. (全国版) WEB, JIJI ドットコムニュース, 学会誌で優秀論文賞, 2021.4.1.
 4. (全国版) WEB, Biglobe ニュース, 学会誌で優秀論文賞, 2021.4.1.
 5. (地方紙) 新聞, 大分合同新聞, シニア向けの靴選びを, 2021.4.16.
 6. (地方紙) 新聞, 中部経済新聞, 自分に合う靴で健康づくり, 2021.4.19.
 7. (地方紙) 新聞, 新潟日報, 学会誌で優秀論文賞, 2021.4.28.
 8. (地方紙) 新聞, 新潟日報, 用途に合う靴選びを, 2021.5.1.
 9. (地方紙) 新聞, 新潟日報モア, 学会誌で優秀論文賞, 2021.5.6.
 10. (全国版) WEB, 日経速報ニュース, ひも靴で健康な人生指南, 2121.7.2.
 11. (地方紙) 新聞, 日本経済新聞静岡版, 靴選び・はき方, 足の悩み解消, 2021.7.3.
- 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
一般社団法人 足と靴と健康協議会 (理事), 台湾足鞋健康協會 (榮譽顧問)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 第17回日本整形靴技術協会学術大会, 学術貢献感謝状, 2022.3.4.
- 7 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院入試広報委員会 (委員長), 大学院教育研究環境委員会 (副委員長)

氏名 : 江原 義弘

- 1 研究題目 身体運動における発生筋張力, 関節間力, 消費エネルギーの計算に関する研究
- 2 論文
 1. 津留崎康平, 井上捷太, 江原義弘, 床反力計で大腿切断者の身体重心を算出する方法の有用性. バイオメカニズム学会誌. 2021; 45(4): 239-244. (査読あり)
 2. 江原義弘, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 郷貴博. 確率モデルを用いて国家試験合格率を予測する方法. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21(2): 61-66. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 佐々木穂果, 藤澤壮志, 江原義弘. 乳児抱っこ歩行時の姿勢変化に伴う関節モーメント. 第42回臨床歩行分析研究会定例会 (オンライン), 2021.9.12.
 2. 藤澤壮志, 佐々木穂果, 江原義弘. 乳児抱っこ歩行時における重心動揺の観測. 第42回臨床歩行分析研究会定例会 (オンライン), 2021.9.12.
 3. 江原義弘, 昆 恵介, 金承革, 小林吉之, 堀川悦夫, 永富良一, 橋詰賢, 山本澄子, 肥田直人, 稲井卓真. 関節角度計算法の再考. 第42回バイオメカニズム学術講演会 (オンライン), 2021.11.27-11.28.
 4. 江原義弘. 歩行の基礎バイオメカニクス. 第17回日本整形靴技術協会学術大会 (オンライン), 2022.2.19-2.20. 【教育講演】.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具学会 (評議委員), バイオメカニズム学会 (評議委員), 臨床歩行分析研究会 (副会長), 日本リハビリテーション医学会, ISPO 国際義肢装具士協会 (フェロー), 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本靴医学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Gait & Posture 誌, 編集委員
2. バイオメカニズム学会, 歩行データベース構築部会
3. VICONユーザーカンファレンスWebnar, 総合司会, 東京, 2021.10.23.
4. VICONユーザーカンファレンスWebnar, 総合司会, 東京, 2021.12.4.

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 基礎バイオメカニクスセミナー (初級編), 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催, オンライン, 2021.9.18, 9.25-9.26.
2. 基礎バイオメカニクスセミナー (中級編), 講師, 新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催, オンライン, 2021.10.3, 10.9-10.10.
3. 江原義弘, 義足歩行の基礎バイオメカニクス. (講師). Specialized Courses in Rehabilitation Engineering. Beijing, China. (オンライン), 2022.3.23.

6 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. VICON部夏休みBodyBuilderオンライン勉強会, 2021.8.30, 9.3, 9.6, 9.10, 9.13, 9.20. (指導)

7 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会 (委員), 学術委員会 (委員), 学会誌編集委員会 (委員)

氏名: 真柄 彰

1 研究題目 保健医療福祉連携教育, 仮想事例データベースの開発, 脊髄損傷データベースの分析, 脊髄損傷における深部静脈血栓症の発生要因, 脳卒中リハビリテーション

2 論文

1. 真柄彰, 脊髄損傷者の麻痺域の痛み: 脊髄損傷の疼痛は廃用症候群といえるか. 日本運動器疼痛学会誌. 2020; Vol.13: 166-174.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会 (代議員, 専門医, 臨床認定医, 指導医), 日本整形外科学会 (専門医), 日本義肢装具学会 (社員, 功労会員, 専門医), 日本脊髄障害医学会, 日本運動器科学会 (代議員), 日本保健医療福祉連携教育学会 (監事), 新潟医療福祉学会, 新潟整形外科研究会, 新潟リハビリテーション研究会 (役員)

2) 学会等でのその他の活動

1. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員, 京都市, 2021.6.10-6.13.
2. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 査読, 2022.2.

4 社会活動

1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟リハビリテーション研究会役員

5 学内委員会活動 新潟医療福祉大学診療所長

氏名: 須田 裕紀

1 研究題目 下腿義足ソケットのアライメントとソケット内圧力の関係, 能動義手のコントロールケーブルシステムの分析, 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発

2 論文

1. 江原義弘, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 郷貴博. 確率モデルを用いて国家試験合格率を予測する方法. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21(2): 61-66. (査読あり)
2. 郷貴博, 勝平純司, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 江原義弘. 3D-Scannerを用いた下腿切断端およびソケットの形状分析-コンプレッション値と断端長の関係性について-. 日本義肢装具学会誌. (印刷)

中) (査読あり)

3. 高橋素彦, 須田裕紀, 平井瑠奈ほか. キトサン粉末を含有させた熱硬化性樹脂の抗菌効果の検証. 日本義肢装具学会, 37(4): 294-300. (査読あり)
4. 東江由起夫, 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄. 義肢装具における3D Printerの現状と可能性 教育・研究・事例紹介. POアカデミージャーナル, 2021; 29(4): 260-266.

3 報告書

1. 須田裕紀, 厚生労働行政推進調査事業費補助金(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, (令和)3年度 総括・分担研究報告書, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝裕, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP AFO コルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第27回日本義肢装具士協会学術大会(名古屋), 2021.7.17-7.18.
2. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 本学における3D-Scan/3D-Printerシステムを用いた義肢装具製作・適合演習科目の取り組み. 第27回日本義肢装具士協会学術大会(名古屋), 2021.7.17-7.18.
3. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝弘, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの厚みによる特性分析. 第27回日本義肢装具士協会学術大会(名古屋), 2021.7.17-7.18.
4. Suda H, Go T, Maeda Y, Agarie Y, Washizu T, Mouri T, Tamura M. Effect of corrugation on plastic AFO modeled with 3D printer. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
5. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y. Introduction of an exercise course on the manufacturing and adaptation of prostheses and orthoses using the NUHW 3D Scanner / 3D Printer system. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.9.
6. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 東江由起夫. 3Dプリンター製AFOで造形製作したプラスチックAFOの強度・特性 従来のPP製AFOとの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2021.10.30-10.31.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本義肢装具士協会(会員), 日本義肢装具学会(編集委員長), 臨床歩行分析研究会(会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本義肢装具士協会 副編集委員長
 2. 日本義肢装具学会 義手適合判定検討委員会

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 厚生労働行政推進調査事業(障害者政策総合研究事業), 技術革新を視野に入れた補装具の構造・機能要件策定のための研究, 研究分担者
 2. 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2021.9-12.

氏名: 高橋 素彦

報告事項なし

氏名: 前田 雄

- 1 研究題目 下腿義足ソケット後壁高さがソケット適合と歩行に与える効果(工学), 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発(義肢装具研究開発).

2 論文

1. 江原義弘, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 郷貴博. 確率モデルを用いて国家試験合格率を予測する方法. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21(2): 61-66. (査読あり)
2. 郷貴博, 勝平純司, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 江原義弘. 3D-Scannerを用いた下腿切断端およびソケットの形状分析-コンプレッション値と断端長の関係性について-. 日本義肢装具学会誌. (印刷中) (査読あり)
3. 東江由起夫, 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄. 義肢装具における3D Printerの現状と可能性 教育・研究・事例紹介. POアカデミージャーナル. 2021; 29(4): 260-266.
4. 鈴木啓太, 佐藤未希, 前田雄. 【生活期までの補装具支援】生活期補装具支援の関わり 訪問の義肢装具士としての役割, 日本義肢装具学会誌, 38巻1号, P21-27.

3 学会等研究発表

1. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝弘, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの厚みによる特性分析. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
2. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 本学における3D-Scan/3D-Printerシステムを用いた義肢装具製作・適合演習科目の取り組み. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
3. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝裕, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP AFOコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
4. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y. Introduction of an exercise course on the manufacturing and adaptation of prostheses and orthoses using the NUHW 3D Scanner / 3D Printer system. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
5. Suda H, Go T, Maeda Y, Agarie Y, Washizu T, Mouri T, Tamura M. Effect of corrugation on plastic AFO modeled with 3D printer. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
6. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 東江由紀夫. 3Dプリンター製AFOで造形製作したプラスチックAFOの強度・特性 従来のPP製AFOとの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30-10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本義肢装具士協会 (会員), 日本義肢装具学会 (編集委員長), 臨床歩行分析研究会 (会員), 臨床バイオメカニクス学会 (会員), 日本シーティング・コンサルタント協会 (会員), バイオメカニズム学会 (会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 義肢装具学会, 編集委員会, 優秀論文賞規定作成と選出

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 松浜中学校職業講話, 義肢装具士とは, 講師, 地域交流会, 松浜中学校学生, Zoom, 2022.2.2.
 2. 3Dデジタル機器を活用した義肢装具製作, 講師, 社会福祉法人福島更生義肢製作所, 義肢装具士, オンライン, 2021.9.30.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2021.3.31.
- 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験 (検定委員)
- 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
全国義肢装具連絡者協議会就職WG 委員長

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究, 研究代表者
 2. R3年度 県民助け合い基金 研究代表者
 3. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2021.3.
 2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2021.3.
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 広報委員会, 就職センター運営委員会

氏名: 村山 稔

- 1 研究題目 脳卒中患者の装具療法
- 2 論文
 1. Murayama M. Effectiveness of a Knee-Ankle-Foot Orthosis with a Knee Extension Aid in Gait Training for Stroke Patients. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science. 2021; 12: 32-37. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. 村山稔, 回復期の脳卒中患者が膝関節の屈曲角度を調整可能な長下肢装具を1ヶ月間使用することによる筋活動への影響. 日本リハビリテーション医学会・第58回 日本リハビリテーション医学会学術集会 (京都市), 2021.6.10-6.13.
 2. 村山稔, 回復期の脳卒中患者が膝関節の屈曲角度を調整可能な長下肢装具を1ヶ月間使用することによる筋活動への影響. 日本義肢装具学会. 第37回 日本義肢装具学会学術大会 (WEB開催), 2021.10.16-10.17.
 3. Murayama M. Knee joint movement and muscle activity changes in stroke patients with continuous use of knee-ankle-foot orthosis that adjustable knee joint. ISPO・ISPO 18th World Congress (WEB held), November 1-4, 2021.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本義肢装具士協会 (専門義肢装具士WG長), 日本義肢装具学会 (編集委員), 日本リハビリテーション医学会 (正会員)
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 講習会, 脳卒中歩行障害の下肢装具と装具療法, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士・義肢装具士, WEB開催, 2021.8.1.
 2. 講習会, 下肢装具の基礎, 講師, 市中在住脳卒中患者への装具ボツリヌス併用運動療法研究会, 医師・理学療法士・義肢装具士, WEB開催, 2021.9.11.
 3. 講習会, 装具・治療デバイスの活用とそのエビデンス, 講師, 市中在住脳卒中患者への装具ボツリヌス併用運動療法研究会, 医師・理学療法士・義肢装具士, WEB開催, 2021.11.28.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 日本義肢装具士協会 (専門義肢装具士WG長), 日本義肢装具学会 (編集委員), 日本義肢装具教育者連絡協議会 (国家試験全国統一模試検討WG員), 日本義肢装具教育者連絡協議会 (ハラスメント防止対策WG員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 日本リハビリテーション医学会英文誌優秀論文賞, (2021.6.9)

氏名：神田 賢

- 1 研究題目 腰痛・肩こりなど生活習慣病の予防に関する研究（予防医学），脊椎後弯変形のある対象者への体幹筋持久力評価として独自のテストの考案および評価法としての確立（予防医学），職業性腰痛・職業性頸肩腕愁訴など，職業関連疾患の予防に関する研究（産業医学）
- 2 著書
 1. 梶昌史，藤野雄次，松田雅弘，田屋雅信，神田賢，PT臨床評価ガイド 第1版 東京：医学書院；2022年：324-332.
- 3 論文
 1. 神田賢，北村拓也，鈴木祐介，渡邊慶，佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. *Journal of Spine Research*. 2021；12：851-858.（査読有）
 2. Kanda M, Kitamura T, Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck and shoulder pain (Katakori in Japanese). *J of physical therapy science*. 2021; 33: 489-494. (review)
 3. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，能村友紀，永井徹，増田紘之，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 介護予防における大学との連携事業2021年度報告書. 2021.
 4. 神田賢，北村拓也，鈴木祐介，渡邊慶，佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. *Journal of Spine Research*.（印刷中）（査読有）
- 4 報告書
 1. 神田賢，佐藤成登志，北村拓也. 基盤研究（C），骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，研究成果報告書，2019-2021，研究代表者
 2. 佐藤成登志，神田賢，北村拓也. 基盤研究（C），看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証，研究成果報告書，2020-2022，研究分担者
- 5 学会等研究発表
 1. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on sitting-Comparison between subjects with and without LBP-. ISSLS Virtual Annual Meeting, 2021.6.2-6.4.
 2. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Effects of neck and shoulder pain and the position of the head and neck on the intramuscular circulation of the cervical muscles. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 3. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions in Standing. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 4. 神田賢，北村拓也，渡邊慶，佐藤成登志. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化—腰痛の有無での比較. 第29回日本腰痛学会（オンライン），2021.10.22-10.23.
 5. 神田賢，北村拓也，渡邊慶，佐藤成登志. 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会（新潟），2021.9.4-9.5.
 6. 神田賢，北村拓也，渡邊慶，佐藤成登志. 異なる立位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会（新潟），2021.9.4-9.5.
 7. 北村拓也，神田賢，佐藤成登志，山本智章，渡邊慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する理学療法効果と効果が期待できる患者特性. 第29回日本腰痛学会（東京都+Zoom），2021.10.22-10.23.
 8. 北村拓也，神田賢，佐藤成登志，山本智章，渡邊慶. 慢性腰痛に対する理学療法効果－介入から症状軽減までの期間検証－. 第14回日本運動器疼痛学会（Zoom），2021.11.20-12.5.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会，新潟県理学療法士学会，日本運動器疼痛学会，日本腰痛学会，日本マイオチューニングアプローチ学会，新潟医療福祉学会，APTA，CPTA，KEOMT

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. ファシリテーター. 厚生労働省慢性疼痛事業；第1回新潟県慢性疼痛研修会. 2021.8.29. (於 新潟大学医歯学総合病院 + Zoom)
2. 講師, ファシリテーター. 厚生労働省慢性疼痛事業；第2回新潟県慢性疼痛研修会. 2022.1.23. (於 新潟大学医歯学総合病院 + Zoom)
3. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・住民調査説明, 胎内市, 2021.4.28.
4. 胎内市福祉保健課, 介護予防における大学との連携事業・調査, 胎内市, 2021.11.22.
5. 新潟市北区南浜自治協議会, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市北区島見町, 2021.12.17.
6. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 新潟市, 2021.9.11-9.12.
7. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 村上市, 2022.3.5-3.6.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本理学療法士協会, 臨床実習指導者講習会 世話人

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会背部システムティックレビュー班班員

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 神田賢, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志, 研究分担者
3. 2021年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 研究分担者

9 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流委員会, 学習支援委員会, メンタルサポート委員, ロコモ予防研究センター

氏名: 郷 貴博

1 研究題目 大腿義足歩行に関する研究, 3D機器を用いた下腿義足ソケット設計・評価に関する研究, 3D機器を用いた短下肢装具開発に関する研究

2 論文

1. 郷貴博, 勝平純司, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄, 江原義弘. 3D-Scannerを用いた下腿切断端およびソケットの形状分析—コンプレッション値と断端長の関係性について—. 日本義肢装具学会誌. (印刷中) (査読あり)
2. 江原義弘, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 郷貴博. 確率モデルを用いて国家試験合格率を予測する方法. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21(2): 61-66. (査読あり)
3. 東江由起夫, 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄. 義肢装具における3D Printerの現状と可能性 教育・研究・事例紹介. POアカデミージャーナル. 2021; 29(4): 260-266.

3 学会等研究発表

1. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 本学における3D-Scan/3D-Printerシステムを用いた義肢装具製作・適合演習科目の取り組み. 第27回日本義肢装具士協会学術大会(名古屋), 2021.7.17-7.18.
2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝裕, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP AFO コルゲーションの分析—コルゲーション設定位置による比較—. 第27回日本義肢装具士協会学術大会(名古屋), 2021.7.17-7.18.
3. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝弘, 鷺巣貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの厚みに

よる特性分析. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.

4. 上脇寿人, 浜島美咲, 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 神田賢, 村山稔. 大腿切断者の筋収縮時および筋弛緩時の断端周径変化によるソケット適合に関する研究 (第1報) 適切なライナー選択の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
5. 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 上脇寿人. NU-Flex Socketの適応困難となった切断端の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (名古屋), 2021.7.17-7.18.
6. Go T, Suda H, Maeda Y, Agarie Y. Introduction of an exercise course on the manufacturing and adaptation of prostheses and orthoses using the NUHW 3D Scanner / 3D Printer system. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
7. Suda H, Go T, Maeda Y, Agarie Y, Washizu T, Mouri T, Tamura M. Effect of corrugation on plastic AFO modeled with 3D printer. Asian Prosthetics & Orthotics Scientific Meeting (Indonesia), 2021.8.6-8.8.
8. 須田裕紀, 郷貴博, 前田雄, 東江由紀夫. 3Dプリンター製AFOで造形製作したプラスチックAFOの強度・特性 従来のPP製AFOとの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30-10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会, 臨床歩行分析研究会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 3Dデジタル機器を活用した義肢装具製作, 講師, 社会福祉法人福島更生義肢製作所, 義肢装具士, オンライン, 2021.9.30.
2. 義足の走り方レクチャー, 講師補助, NPO法人ギソクの図書館, 義肢装具士, 新潟市, 2021.11.13.
3. 義足の走り方レクチャー, 講師補助, NPO法人ギソクの図書館, 理学療法士・陸上競技トレーナー, 新潟市, 2021.12.12.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. TV, TeNYテレビ新潟, 「本学で開催されたスポーツ用義足の走り方講習会の様子」, 2021.12.15.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2021.4.1-2022.3.31.
2. NPO法人ギソクの図書館, 走行義足用足部のレンタルサービス, ギソクの図書館 認定義肢装具士, 新潟医療福祉大学, 2022.1.1-3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価, 研究分担者
3. 2021年度, ニッポー株式会社共同研究費, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 博士 (保健学) (2022.3.17)

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名: 佐藤 未希

- 1 研究題目 義足使用者の性差における断端周径変化の研究, スポーツ義足のソケット評価に関する研究, 大腿義足膝継手が歩行に及ぼす影響に関する研究

2 論文

1. 鈴木啓太, 佐藤未希, 前田雄. 【生活期までの補装具支援】生活期補装具支援の関わり 訪問の義肢装具士としての役割, 日本義肢装具学会誌, 38巻1号, P21-27.
2. 江原義弘, 前田雄, 須田裕紀, 佐藤未希, 郷貴博. 確率モデルを用いて国家試験合格率を予測する方法, 新潟医療福祉学会誌, 21巻2号, P61-66. (査読あり)

3 報告書

1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫. 研究基盤 (C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2021 (研究代表者)

4 学会等研究発表

1. 佐藤未希, 大徳尚司, 小林真里奈, 東江由起夫. 大腿義足ソケットによる鼠経リンパ節への影響～女性切断者と健常女性の一考察～. 第37回日本義肢装具学会学術大会 (オンライン), 2021.10.16.
2. 伊里風音, 渡邊華菜子, 佐藤未希. 女性下肢切断者の義足満足度評価. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.31
3. 佐藤成美, 佐藤未希. 月経周期における女性大腿切断者の断端周径変化量の比較－健常者との比較－. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.31.
4. 大徳尚司, 佐藤未希, 小林真里奈, 伊藤篤司, 中村雅俊, 東江由起夫. 大腿切断者の義足歩行運動による下肢血流動態の分析, 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.31
5. 大徳尚司, 佐藤未希, 小林真里奈, 伊藤篤司, 中村雅俊, 東江由起夫. 下肢切断者の義肢装具時の歩行による下肢血流機能の検討, 第62回脈管学 (オンライン), 2021.10.14-10.16.
6. 上脇寿人, 浜島美咲, 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 神田賢, 村山稔. 大腿切断者の筋収縮時および筋弛緩時の断端周径変化によるソケット適合に関する研究 (第1報) 適切なライナー選択の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (オンライン), 2021.7.1-7.18.
7. 東江由起夫, 佐藤未希, 郷貴博, 上脇寿人. NU-Flex Socketの適応困難となった切断端の一考察. 第27回日本義肢装具士協会学術大会 (オンライン), 2021.7.1-7.18.
8. 大徳尚司, 佐藤未希, 吉田秀. 喫煙による手指及び四肢への影響. 第15回日本禁煙学会学術総会 (オンライン), 2021.10.16-10.17.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 五泉市中学校・人権啓発講演会, 「障がい」って何ですか?～義肢装具を知ることで偏見をなくそう～, 講師, 五泉市, 中学3年生, Zoom, 2021.9.24.
2. 令和3年度障害者職業生活相談員資格認定講習, 医学的リハビリの立場から見た障害特性, 講師, 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構, 障害者職業生活相談員, 新潟市・新潟テルサ, 2021.11.18.
3. オリンピック・パラリンピック教育推進事業, 義肢装具士という仕事を知ろう, 講師, オリンピック・パラリンピック教育推進事業, 川西高等特別支援学校学生, Zoom, 2022.1.26.
4. 松浜中学校職業講話, 義肢装具士とは, 講師, 地域交流会, 松浜中学校学生, Zoom, 2022.2.2.
5. 義足の走り方レクチャー, 講師補助, NPO法人ギソクの図書館, 義肢装具士, 新潟市, 2021.11.13.
6. 義足の走り方レクチャー, 講師補助, NPO法人ギソクの図書館, 理学療法士・陸上競技トレーナー, 新潟市, 2021.12.12.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 一般雑誌掲載, L.E.D.studio 生活環境・企画設計弘法, レター通信NO22, 聖火ランナーとUD, 2021.9.20.
2. 新聞掲載, 新潟日報, 東京五輪聖火リレー, 2021.6.7.
3. 新聞掲載, 毎日新聞, 義足で一步一步, 2021.6.6.

4. 新聞掲載, 新潟日報, 義足の聖火ランナー講演「転んでも走りきれた」, 2021.9.1.
 5. NTTホームページ, オリンピック聖火ランナーweb動画, 2020.2.12-2021.9.26.
 6. TV, NHK新潟, 県内聖火ランナーの特集, 2021.6.6.
 7. TV, NHK, 県内聖火ランナーの特集, 2021.6.6.
 8. TV, TeNYテレビ新潟, 「本学で開催されたスポーツ用義足の走り方講習会の様子」, 2021.12.15.
 9. ラジオ, BSNラジオ, 高橋なんぐの金曜天国「がんばれ母ちゃん」, 2022.2.18.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2020.4.1-2021.3.31
 2. 株式会社ナブテスコ, 膝継手開発フィールドテスト, 被験者, 新潟医療福祉大学, 2016.12-現在
 3. NPO法人ギソクの図書館, 走行義足用足部のレンタルサービス, ギソクの図書館 認定義肢装具士, 新潟医療福祉大学, 2022.1.1-3.31
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
株式会社新潟テレビ21・放送番組審議委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究（C）, 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究代表者

3) 医療技術学部

(1) 臨床技術学科

氏名：中村 藤夫

- 1 研究題目 血液浄化療法におけるバスキュラーアクセスに関する研究, 移植医療における医療系学生の認識に関する研究, 医療現場の感染管理, 新しい医療職種としての臨床技術者の役割に関する研究
- 2 著書
 1. 中村藤夫, 13. 安全対策と事故対策. 公益社団法人 日本臨床工学技士会 専門臨床工学技士テキスト - 血液浄化編 - (第10版), 2021; 改定第10版: 185-206.
 2. 中村藤夫 編集. 改定第2版. 第2種ME技術実力検定試験 必勝ポイント帳. 株式会社メジカルビュー社, 2022; 改定第10版: 185-206.
 3. 中村藤夫. 改定第2版. 第2種ME技術実力検定試験 必勝ポイント帳. 13. 消毒・滅菌法, 株式会社メジカルビュー社, 2022: 183-187.
 4. 中村藤夫. 巻頭言 生体医工学と臨床技術者. 新潟医療福祉学会誌21 (2) 1; 2021: 1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 一般社団法人 新潟県臨床工学技士会, (社) 日本臨床工学技士会, (社) 日本透析医学会, 日本集中治療医学会, 日本プロテオーム学会 (JHUPPO)
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本臨床工学技士会 JACET Academy 専門委員 (透析関連), 豊栄病院 倫理委員会倫理委員
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会 施設会員代表者

氏名：追手 嶺

- 1 研究題目 腎死に至る糸球体硬化への進行機序の解明 (腎臓病学, 薬物治療学), 臨床医学総論の講義法の工夫 (臨床医学総論教育学), 日本語表現法の講義法の工夫 (日本語表現法)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 世界腎臓学会 (一般会員), 日本腎臓学会功労者, 日本病理学会功労会員, 新潟医療福祉学会理事
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県検査技師会 篠川賞選考委員会委員
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. にいがた市民大学運営委員会委員長
 2. 公益財団法人新潟医学振興会理事会
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 医療人の誇り胸に (三条看護・医療・歯科衛生専門学校一期生卒業式) 新潟日報記事 2022.3.9.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 医療法人社団 共生会 理事
 2. 社会医療法人 新潟臨港保健会 評議員
 - 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟大学特定認定再生医療等委員会 (外部委員), 新潟大学工学部倫理委員会 (外部委員)
 - 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益財団法人新潟医学振興会理事長
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等

1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 学校長 (2020.4.1より)
 2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 看護学科病理学, 病態学科目授業非常勤講師
- 5 学内委員会活動 学術委員会 (委員)

氏名：久保野 勝男

- 1 研究題目 臨床検査の国際標準化に関する研究 (臨床化学), 臨床検査技術の質向上と安全管理システムに関する研究 (医療安全管理学), 脂質代謝と動脈硬化に関する研究 (検査診断学), 臨床検査の精度管理に関する研究 (検査総合管理学)
- 2 論文
 1. Koyatsu J, Nagahama D, Ikegami K, Kumagai J, Fujii Y, Kubono K. Risk management using a “Laboratory Note” in pathologic examination or cytodiagnosis contributes to medical safety management. 新潟医療福祉学会誌, 2022; 21(2): 85-91.
 2. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. 超音波検査技術, 2022; 47(1): 13-21.
- 3 学会等研究発表
 1. 久保野勝男. シンポジウム10. ISO 15189改定に伴う臨床検査室の対応とPOCTを含む検査室の責任. 第68回日本臨床検査医学会学術集会. (富山県富山市), 2021.11.14.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 生物試料分析科学会 (監事), 日本臨床検査医学会, 日本臨床化学会, 医療の質・安全学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第39回日本臨床化学会甲信越支部総会, 第19回生物試料分析科学会甲信越支部総会の同時開催における運営メンバ, 新潟県 (Web開催), 2021.7.17.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 2021年度生物試料分析科学会臨時理事会 開催準備, 監事, Web, 2021.7.6.
 2. 2021年度生物試料分析科学会 第2回理事会 開催準備, 監事, Web, 2021.12.16.
 3. 2021年度生物試料分析科学会 総会, 開催準備, 監事 (監査報告), Web, 2022.3.20.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 検体検査精度管理 ON LINE 研修会, 生化学と尿検査の精度管理調査結果と測定プロセス, 演者, 公益社団法人全国労働衛生団体連合会主催, 全国健診機関対象, Web開催, 2021.7.20.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 適合性評価分野産業標準作成委員会 (委員長), ISO/TC212国内検討委員会委員, 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 臨床検査精度管理委員会委員, 公益財団法人日本適合性認定協会 技術アドバイザー, 公益財団法人日本適合性認定協会 認定審査員
- 6 学内委員会活動 FD・SD委員会 (副委員長)

氏名：小澤口 治樹

- 1 研究題目 各種センサーを用いた生体信号検出装置や環境測定装置の開発, 特に放射線センサー, 紫外線センサー, においセンサーの研究開発
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 電子情報通信学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会 (副委員長), 入試委員会 AO入試作問部会 (部会長), 社会連携推進センター運営委員会

氏名：高野 操

- 1 研究題目
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟県臨床検査技師会 (監事), 日本臨床微生物学会 (評議員), 日本環境感染学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本臨床衛生検査技師会北日本支部微生物研修会 講演「D iagnostic Stewardship の工夫と実践 ～一歩進んだ微生物検査室を目指して」検査の質保証を目指すマネジメント 2021.11.27.
 2. みやぎ医学検査学会 特別企画 講演「ダブルライセンス取得を目指す学生の教育と臨地実習から見えるもの」2022.2.11.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟県・新潟市精度管理専門委員
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県臨床検査技師会 監事, 新潟化学療法研究会役員, 新潟臨床微生物研究会副会長

氏名：長濱 大輔

- 1 研究題目 医療技術安全管理学, 臨床検査診断学
- 2 論文
 1. 古谷津純一, 長濱大輔, 池上喜久夫, 熊谷順子, 藤井豊, 久保野勝男. Risk management using a “Laboratory Note” in pathologic examination or cytodiagnosis contributes to medical safety management. 新潟医療福祉会誌. 2021; 21(2), 85-91. (査読あり)
 2. 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. 超音波検査技術. 2022; 47(1), 13-21. (査読あり)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床細胞学会, 日本臨床検査医学会, 医療の質・安全学会, 日本医療機器学会, 日本臨床検査学教育学会 (評議員)
- 4 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院入試広報委員会

氏名：丸野 透

- 1 研究題目 医用センシング技術の高機能化に関する研究
- 2 著書
 1. 中村藤夫, 石田等編; 丸野透 (部分執筆); 第2種ME必勝ポイント帳; 東京; メジカルビュー社; 2022年; 5-13.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 電子情報通信学会 (フェロー, OME顧問)
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, メンタルヘルス支援室

氏名：川村 宏樹

- 1 研究題目 マクロファージにおける NF- κ B 抑制因子による炎症反応の制御機構, 悪性腫瘍治療患者における輸血検査偽陽性に対する新規回避法の確立
- 2 著書
 1. 川村宏樹, 他23人, 第2種ME技術実力検定試験 必勝ポイント帳 2nd: メジカルビュー; 2022.1.; 分担担当「人体の構造と機能」p168-p182. B63
- 3 論文

1. 阿部拓也, 藤井豊, 川村宏樹, 久保野勝男, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用, 新潟県臨床検査技師会報: 第61巻3号: 144-147. (査読あり)
- 4 報告書
 1. 川村宏樹, 基盤C, 成人T細胞白血病の癌関連蛋白USP10によるNF-κBを用いたマクロファージの機能制御, 研究成果報告書, 2017-2021年度, 研究代表者)
- 5 学会等研究発表
 1. 川村宏樹「新規NF-κB活性制御因子USP10のマクロファージにおける炎症性サイトカインの制御機構の検討」, 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2021.10.31.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本免疫学会, 日本寄生虫学会, 日本生体防御学会, 肝臓研究会
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究(C), 新規NF-κB抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構(研究代表者)
 2. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 多発性骨髄腫患者にて分子標的薬グラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立(研究代表者)
- 8 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会(委員長), 教育・学習支援機構(国試資格員会委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会(副委員長)

氏名: 高橋 良光

- 1 研究題目 血液浄化用バスキュラーアクセスの開発(医用工学), 超音波診断装置を用いた穿刺成功率の評価(医用工学), 透析用穿刺針の形状解析と定量的評価(医用工学), 国際緊急援助活動に用いる医療機器に必要な点検および管理方法の検討(災害医療), 携帯電話の電波が医療機器の動作に与える影響(医用工学)
- 2 論文
 1. 高橋良光.「透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発」日本透析医会公募研究助成報告書, 2021(印刷中)
- 3 学会等研究発表
 1. Yoshimitsu T, Suguru Y, Ichiei N and Takashi O. The structure of hemodialysis catheter may alter the actual blood flow rate in hemodialysis therapy in vitro. AKI & CRRT 2021 (San Diego), 2021.2.28-3.5.
 2. Yoshimitsu T, Suguru Y, Ichiei N and Takashi O. The multiple arterial hole structure of hemodialysis catheters reduces the suction toward a vessel wall. 4TH International Clinical Engineering And Health Technology Management Congress 2021 (Firaderufia), 2021.10.24-10.26.
 3. 高橋良光. 機能不全「ゼロ」を目指した血液浄化用カテーテルの評価と制御システムの新たな展開(岡山), 第7回日本透析機能評価研究会, 2021.7.18. 【ワークショップ】
 4. 高橋良光. カテーテルを知る. ～トラブル対応から機能不全を防止する新たな展開～(群馬), 第5回群馬県血液浄化セミナー, 2021.12.5. 【特別講演】
 5. 高橋良光, 追手夤. 血液透析中の血液回路内の圧力変動に対する血液ポンプ制御は脱血不良を改善するか(京都), 第60回日本生体医工学学会大会, 2021.6.15-6.17.
 6. 高橋良光, 金村真帆. サイドホール付血液浄化用カテーテルの血栓状況の観察(新潟), 第9回新潟県臨床工学会, 2021.6.20.
- 4 学会活動
 1. 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本急性血液浄化学会, 日本呼吸療法医学会, 日本透析医学会, 日本アクセス学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会(理事), 日本集中治療医学会, Niigata Blood Purification Conference(世話人), 新潟医療福祉学会

1) 学術集会の主催

1. Niigata Blood Purification Conference, Niigata Blood Purification Conference2021, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2022.2.6.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県ニーズ説明会, 新潟県医療機器ニーズ説明会, 企画・準備・運営, 新潟県, 一般企業, 新潟市, 2021.9.2.

2) 社会活動への参加協力

1. JAEFCE, 入試委員会 問題検討会議, 問題作成委員長, WEB会議, 2021.4.1-2022.3.31.
2. JAEFCE, 入試委員会 模試作成, 試験委員, WEB会議, 2020.4.1-2021.3.31.
3. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 電波管理のセミナー開催について, 有識者, 書面決議, 2021.6.25.
4. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2022.3.15.
5. 新潟県医師会, 健康長寿延伸フォーラム, 理事, WEB, 2022.3.18.
6. 新潟県臨床工学技士会, 理事会会議, 理事, 新潟市・WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (9回)
7. 新潟県臨床工学技士会, 編集委員会会議, 編集委員, 長岡市・WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (4回)
8. 新潟県臨床工学技士会, 広報委員会会議, 広報委員, 新潟市・WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (3回)
9. 新潟県臨床工学技士会, 医工連携委員会会議, 医工連携委員, 新潟市・WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (3回)
10. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (10回)
11. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 中級研修, 企画・運営, WEB, 2021.10.9-10.10.
12. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム EMT 認証延長レビューパネル, 2021.4.1-2022.3.31. (2回)
13. 独立行政法人国際協力機構, 臨時総合調整部会/EM, WEB, 2021.4.1-2022.3.31. (2回)
14. 日本赤十字社, 病院 ERU オンライン研修, オブザーバー, WEB, 2022.2.9-2.10.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム隊員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チームメディカルサプライ班班員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム講師, 総務省信越総合通信局信越地域の医療機関における電波利用推進協議会構成員, ARCH2プロジェクト技術支援班

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県臨床工学技士会（広報委員会委員）, 新潟県臨床工学技士会（編集委員会委員）, 新潟県臨床工学技士会（呼吸療法委員会委員）, 日本臨床工学技士教育施設協議会（試験委員会委員）, 日本臨床工学技士教育施設協議会（教科書委員会委員）, 日本臨床工学技士教育施設協議会（問題作成委員長）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 令和3年度, 科研費助成事業 若手研究, 透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発, 高橋良光【継続中】

2) 学内部活動の実績

1. 剣道部, 令和三年度第59回北信越学生剣道大会出場, 金沢市, 2021.11.28. (コーチ)
2. 剣道部, 令和三年度第43回北信越学生剣道大会出場, 金沢市, 2021.11.28. (コーチ)

7 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流センター運営委員会, 科研費対策委員会

氏名：藤井 豊

1 研究題目 体外循環中の生体反応評価，体外循環デバイスの研究開発

2 論文

1. Fujii Y, Abe T, Ikegami K. Diabetic pathophysiology enhances inflammation during extracorporeal membrane oxygenation in a rat model. *Membranes (Basel) (JCR)* 2021; 11(4), 283. (査読あり)
2. 井口啓太, 久保野勝男, 小林徹, 林美佳子, 柴田真由美, 高橋一哲, 阿部拓也, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育の検討～尿沈渣検査における2種類の教育方法を比較検証して～. *生物試料分析*. 2021; 44(1, 2) 26-33. (査読あり)
3. 高橋一哲, 久保野勝男, 涌井萌香, 高岡幸子, 長谷川千春, 芳賀博子, 阿部拓也, 井口啓太, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. *生物試料分析*. 2021; 44(1, 2) 20-25. (査読あり)
4. 阿部拓也, 藤井豊, 川村宏樹, 久保野勝男, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用. *新潟県臨床検査技師会誌*. 2021; 61(3) 144-147. (査読あり)
5. 古谷津純一, 長濱大輔, 池上喜久夫, 熊谷順子, 藤井豊, 久保野勝男. Risk management using a “Laboratory Note” in pathologic examination or cytodiagnosis contributes to medical safety management. *新潟医療福祉会誌*. 2021; 21(2) 85-91.
6. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. *超音波検査技術*. 2022; 47(1), 13-21. (査読あり)

3 報告書

1. 藤井豊. 科研費基盤研究 (C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする -小動物モデルでの検討-, 研究成果報告書, 2018-2021 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoidが主要臓器に及ぼす影響-小動物を用いた検討- 第46回日本超音波検査学会 (オンライン開催), 2021.5.8.
2. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoid投与時の循環動態の変動-ラット造影超音波検査モデルを用いた検討- 第70回日本医学検査学会 (オンライン開催), 2021.5.15.
3. Hotta K, Fujii Y, Matoh K, Ikeda M, Umeki S, Inoue T, Morishita S, Tsubaki A. Skeletal muscle interstitial PO₂ kinetics during hyperoxemia. 第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 AsiaPRvent 2021 (国際セッション) (千葉市), 2021.6.19-6.20.
4. 三留慶吾, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ラット骨格筋の毛細血管血流は高濃度酸素の吸入により減少する. 第27回医用近赤外線分光法研究会・第25回酸素ダイナミクス研究会 (オンライン開催/合同開催), 2021.9.25-9.26.
5. 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しない-リン光クエンチング法を用いた検討-. 第27回医用近赤外線分光法研究会・第25回酸素ダイナミクス研究会 (オンライン開催/合同開催), 2021.9.25-9.26.
6. Hanawa H, Fujii Y, Abe T, Inomata T. Exercise-induced myonectin may influence iron metabolism. 第25回日本心不全学会学術集会 (岡山), 2021.10.1-10.3.
7. 阿部拓也, 藤井豊 (共同筆頭演者). 大学院生視点からの研究室紹介と今後の展望. 第46回日本体外循環技術医学会大会 (オンライン開催), 2021.10.16-10.17. 「シンポジウム」
8. 阿部拓也, 藤井豊, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤の許容圧力の検討. 第9回日臨技北日本支部医学検査学会 (オンライン開催), 2021.11.1-11.30.
9. 藤井豊. 研究計画の立て方. 第29回千葉県臨床工学技士会 第1部 (Web開催), 2021.11.10-11.30. 「教育講演」
10. 藤井豊. 論文の検索方法と読み方のポイント. 第29回千葉県臨床工学技士会 第2部 (Web開催),

2021.11.10-11.30.「教育講演」

11. 阿部拓也, 藤井豊, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用. 第94回新潟県臨床検査学会(新潟市), 2021.12.4.
12. 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しないーリン光クエンチング法を用いた検討ー. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(岡山), 2022.3.26-3.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本体外循環技術医学会(学術委員会 研究推進部会 部会員), 日本人工臓器学会(評議員, 研究推進部会員), 日本生理学会, 日本集中治療学会, 日本心不全学会, 米国人工臓器学会, IEEE, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Membranes (MDPI) 論文No.12070XX 査読
 2. Membranes (MDPI) 論文No.12911XX 査読
 3. Journal of Artificial Organs 論文No.JOAO-D-21-000XX 査読
 4. 日本臨床工学技士会 会誌 原著論文 論文No.2021-00XX 査読

6 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本臨床工学技士教育施設協議会(教育委員)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にするー小動物モデルでの検討ー, 研究代表者
- 2) 学内部活動の実績
 1. さーびす ~20歳からの子宮頸がん予防~(顧問)

8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 動物実験委員会, URA推進室

氏名: 牧口 智夫

- 1 研究題目 プロテオーム解析におけるフケ混入データの自動抽出・除去プログラムの開発(構造病理学), 4Gスマートフォンの医療機器への影響(臨床工学), 手のアルコール消毒を用いたルミテスターPD-30汚染度評価の検討(臨床工学), 知覚痛覚定量分析装置Pain Visionを用いた貼付用局所麻酔剤の比較検討(臨床工学)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床工学会, 日本再生医療学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
(公社)日本臨床工学技士会, (一社)新潟県臨床工学技士会
- 4 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会, 入試委員会

氏名: 渡邊 博昭

- 1 研究題目 日本人成人女性の骨密度の長期変化
- 2 論文
 1. Watanabe H, Minagawa Y, Suzuki I, Kitamura K, Watanabe Y, Kabasawa K, Kseniia Platonova, Hinata A, Nakamura K. Secular changes in bone mineral density of adult Japanese women from 1995 to 2013. Fukushima J. Med. Sci. 2021. (査読あり)

2. 阿部拓也, 藤井豊, 川村宏樹, 久保野勝男, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用. *The niigata journal of medical technology*. 2021. (査読あり)
 3. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. *超音波検査技術*. 2022. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
1. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoidが主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第46回日本超音波検査学会学術集会 (Web), 2021.5.8-5.9.
 2. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoid投与時の循環動態の変動－ラット造影超音波検査モデルを用いた検討－. 第70回日本医学検査学会 (Web), 2021.5.15-6.14.
 3. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. 超急性期の腎傷害によるKIM-1およびL-FABP発現の評価－小動物を用いた超音波診断用造影剤投与実験－, 第39回日本臨床化学会甲信越支部学会学術集会 (Web), 2021.6.
 4. 阿部拓也, 藤井豊, 高橋良光, 渡邊博昭. 超音波診断用造影剤の許容圧力の検討, 第9回北日本支部医学検査学会 (Web), 2021.11.1-11.30.
 5. 阿部拓也, 藤井豊, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用, 第94回新潟県臨床検査学会 (新潟), 2021.12.4.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本不整脈心電学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査教育学会 (世話人)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第94回新潟県臨床検査学会, 大会長, 新潟市, 12.4.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟乳腺エコー研究会, 代表世話人, 2021.4.1-2022.3.31
 2. 第15回にいがた乳腺エコー研究会, 代表世話人, 新潟県 (Web), 6.27.
 3. 第16回にいがた乳腺エコー研究会, 代表世話人, 新潟県 (Web), 12.19.
 4. 生理検査基礎セミナー, 統括責任者, 新潟県 (Web), 5.13.
 5. 超音波初級者セミナー2021, 統括責任者, 新潟県 (Web), 8.22.
 6. 心電図セミナー2021, 統括責任者, 新潟県 (Web), 11.7.
 7. 神経生理検査セミナー, 統括責任者, 新潟県 (Web), 2.20.
- 5 社会活動
- 1) 社会活動への参加協力
 1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 評議委員, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 新潟県検診精度管理調査委員会, 副委員長, 2021.4.1-2022.3.31.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会委員, 新潟県民医療推進協議会委員
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県臨床検査技師会 (会長), 新潟県臨床検査技師会 (表彰委員長), 新潟県臨床検査技師会 (災害対策委員長), 新潟県臨床検査技師会 (精度保証施設認定委員長), 新潟県臨床検査技師会 (公益委員長), 新潟県臨床検査技師会 (施設運営管理者協議会長)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士 (医学) (2022.3.23)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 病態生理学, 2021.10.5-12.7.

7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員

氏名：大山 富三

- 1 研究題目 腎臓（糸球体）のポドサイトとPEC細胞の培養細胞の樹立
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会，日本臨床工学技士会，新潟県臨床検査技師会，新潟県臨床工学技士会，日本血液学会，日本検査血液学会，日本プロテオーム学会，新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 教務委員会

氏名：小野 等

- 1 研究題目 人工心肺の送血カニューレ血流評価モデルの作成
- 2 著書
 1. 小野等，中村藤夫，石田等，畑中啓作，丸野透，佐藤秀幸，小林克明，出淵靖志，遠藤宏和，阪本壮志，高橋良光，鶴田陽和，堀和芳，吉田秀義，工藤剛実，丹下佳洋，砂子澤裕，右田平八，池上喜久夫，追手巍，落合晃，川村宏樹，第2種ME技術実力検定試験必勝ポイント帳，第2版，MEDICAL VIEW，2022.1.10，P121-P126.

氏名：齋藤 大造

報告事項なし

氏名：阿部 拓也

- 1 研究題目 超音波診断用造影剤の生体への弊害，共役リノール酸による非アルコール性脂肪肝炎の治療
- 2 論文
 1. 阿部拓也，藤井豊，他6名. FlashGlucose monitoring systemの動物実験への応用. 一般社団法人新潟県臨床検査技師会誌. 2021；第61巻3号：頁143-146. (査読あり)
 2. 阿部拓也，藤井豊，他8名. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. 超音波検査技術. 2022；第47巻1号：頁13-21. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 阿部拓也，藤井豊，他5名. Sonazoidが主要臓器に及ぼす影響－小動物を用いた検討－. 第46回日本超音波検査学会学術集会 (Web)，2021.5.8-5.9.
 2. 阿部拓也，藤井豊，他5名. Sonazoid投与時の循環動態の変動－ラット造影超音波検査モデルを用いた検討－. 第70回日本医学検査学会 (Web)，2021.5.15-6.14.
 3. 森田邦恵，阿部拓也. エクソソーム抽出試薬の血清と血漿間および保存状況による抽出効率の違いの検討. 第70回日本医学検査学会 (Web)，2021.5.15-6.14.
 4. 阿部拓也，藤井豊，他6名. 超急性期の腎傷害によるKIM-1およびL-FABP発現の評価－小動物を用いた超音波診断用造影剤投与実験－. 第39回日本臨床化学会甲信越支部学会学術集会 (Web)，2021.6.
 5. Hanawa H, Abe T, et al. Exercise-induced myonectin may influence iron metabolism, The 25th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society (Web)，2021.10.1-10.3.
 6. 阿部拓也，藤井豊. 大学院生視点からの研究室紹介と今後の展望，第46回日本体外循環技術医学会 (Web)，2021.10.16-10.17. 【特別講演】
 7. 阿部拓也，藤井豊，他2名. 超音波診断用造影剤の許容圧力の検討，第9回北日本支部医学検査学会 (Web)，2021.11.1-11.30.
 8. 阿部拓也，渡邊博昭，他2名. Flash Glucose monitoring systemの動物実験への応用，第94回新潟県臨床検査学会 (新潟)，2021.12.4.
- 4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟県臨床検査技師会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本生理学会, 日本心不全学会, 日本臨床化学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 健診と検診の重要性, 講演者, 三条経営研究会(新潟県三条市), 2021.12.17.

2) 社会活動への参加協力

1. ホクリク総業株式会社, 新型コロナワクチンの職域接種(1回目)におけるワクチン充填業務, 新潟県三条市, 2021.9.4.
2. ホクリク総業株式会社, 新型コロナワクチンの職域接種(1回目)におけるワクチン充填業務, 新潟県三条市, 2021.9.11.
3. ホクリク総業株式会社, 新型コロナワクチンの職域接種(2回目)におけるワクチン充填業務, 新潟県三条市, 2021.10.2.
4. ホクリク総業株式会社, 新型コロナワクチンの職域接種(2回目)におけるワクチン充填業務, 新潟県三条市, 2021.10.10.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 日本超音波検査学会 Young Investigator Award最優秀賞(2021.5.9), 修士(保健学)(2022.3.17)

2) 学外兼務講師等

1. 関屋田町クリニック, 超音波検査, 2021.6-2022.3.
2. えきまえクリニック内科はやし医院, 超音波検査, 2021.6-2022.3.

氏名: 佐々木 一真

1 研究題目 血液透析患者のシャント音に関する研究

2 学会等研究発表

1. Sasaki K, Shin'e Y, Nakane N, Yamauchi S, Oku T, Motohashi Y, Sato T, Agishi T. Evaluation of vascular access function by shunt murmur analysis of hemodialysis patients using a simulated vascular stenosis model. The TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2021. (TOIN University of YOKOHAMA, Japan), 12th - 13th November 2021.
2. Shin'e Y, Sasaki K, Nakane N, Oku T, Yamauchi S, Motohashi Y, Sato T, Agishi T. Relationship between the normalized correlation coefficient R calculated from the shunt murmur measured by the arteriovenous fistula (AVF) model and the vascular resistance index (RI) measured by the ultrasonic diagnostic equipment. The TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2021. (TOIN University of YOKOHAMA, Japan), 12th - 13th November 2021.
3. Nakane N, Shin'e Y, Sasaki K, Oku T, Yamauchi S, Motohashi Y, Sato T, Agishi T. The study of the flow around the stenosis occurred in the anastomosis of the simulated blood vessel using numerical computation. The TOIN International Symposium on Biomedical Engineering 2021. (TOIN University of YOKOHAMA, Japan), 12th - 13th November 2021.
4. 新江義正, 佐々木一真, 中根紀章, 奥知子, 山内忍, 本橋由香, 佐藤敏夫, 阿岸鉄三. 自己血管内シャントモデルを用いた血管抵抗指数RIと正規化相互相関係数Rとの関連調査. 第59回日本人工臓器学会大会(千葉県 ヒルトン東京ベイ), 2021.11.25-11.27.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県臨床工学技士会, 日本臨床工学技士会, 日本透析医学会, 日本生体医工学会, 日本人工臓器学会, 日本音響学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. ホクリク総業 株式会社, 新型コロナウイルスワクチン職域接種, ワクチン充填, 三条市, 2021.10.2.
 2. ホクリク総業 株式会社, 新型コロナウイルスワクチン職域接種, ワクチン充填, 三条市, 2021.10.9.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 若手研究, 透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 広報委員会

氏名：森田 邦恵

- 1 研究題目 血漿中のエクソソームRNAによるメラノーマ腫瘍マーカーの探索, ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, エクソソーム抽出試薬の比較検討
- 2 論文
 1. 森田邦恵, 他. 血漿からのエクソソームRNA抽出試薬の比較・検討. 医学検査（JCR協力学術団体）（査読有り）（印刷中）
- 3 学会等研究発表
 1. 森田邦恵, 埴晴雄 他, エクソソーム抽出試薬の血清と血漿間, 保存状況による抽出効率の違いの検討. 日本臨床検査技師会・医学検査学会（Web開催）, 2021.5.15-6.14.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床検査学会, 日本再生医療学会, 日本臨床検査教育協議会, 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤C, ループリックとストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学脳研究所附属動物資源開発分野非常勤研究員, 2021.4.1-2022.3.31.
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員・連携教育研究部会, メンタルヘルス支援委員会

氏名：齋藤 幸

報告事項なし

氏名：村木 理絵子

報告事項なし

(2) 視機能科学科

氏名：前田 史篤

- 1 研究題目 瞳孔視野計による他覚的視野測定法の開発, メラノプシン含有網膜神経節細胞の機能評価, 眼精疲労の他覚評価, スポーツビジョンの実践的研究
- 2 著書
 1. 前田史篤;根木昭監, 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和編. 瞳孔視野計. 眼科検査ガイド. 第3版. 東京:文光堂;2022:279-282.
 2. 前田史篤, 田淵昭雄;小林義治, 松岡久美子, 臼井千恵, 岡真由美編. 瞳孔の異常. 視能学. 第3版. 東京:文光堂;2022:292-301.
- 3 論文
 1. Tatara S, Maeda F, Tsukahara Y, Handa T, Yaoeda K. Intrasession and intersession variabilities of intraocular pressure measured by noncontact tonometer in normal volunteers. Clin Ophthalmol. 2021; 15: 4507-4512, 2021. (review)
 2. 生方北斗, 戸田春男, 八百枝潔, 小林昭子, 可児一孝, 前田史篤, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いた視野の定量評価. 視覚の科学. 2022; 43 (1): 8-16. (査読あり)
 3. 生方北斗, 前田史篤. 動的視野検査. 眼科ケア. 2021; 24 (4): 384-389.
 4. 志賀木綿子, 前田史篤. 静的視野検査. 眼科ケア. 2021; 24 (4): 390-395.
- 4 学会等研究発表
 1. Tatara S, Maeda F, Tsukahara Y, Yaoeda K. Fluctuation of intraocular pressure with noncontact tonometer and rebound tonometer in the normal volunteers. ARVO2021 Annual Meeting (San Francisco · United States), 2021.5.1-5.7.
 2. 前田史篤, 鈴木柚流, 多々良俊哉, 生方北斗, 山本洋紀, 八百枝潔, 阿部春樹. 若年者のスマホ老眼における調節機能の動態. 第3回日本近視学会総会(東京都港区), 2021.5.22-5.23.
 3. 前田史篤. 視力とは何か?. 第57回日本眼科学会総会(京都市), 2021.9.4-9.5. 【シンポジウム】
 4. 前田史篤. 静的視野計検査における検者の役割. 第32回日本緑内障学会(京都市), 2021.9.10-9.12. 【シンポジウム】
 5. 生方北斗, 戸田春男, 金子弘, 前田史篤. 眼鏡装用歴の有無による新規作成眼鏡装用後の疲労度の変化. 第21回新潟医療福祉学会(新潟市), 2021.10.30.
 6. 生方北斗, 前田史篤, 多々良俊哉, 戸田春男, 可児一孝. 視野検査教育におけるオンライン指導の試み. 第59回日本神経眼科学会総会(東京都千代田区). 2021.12.17-12.18.
 7. 八百枝潔, 多々良俊哉, 前田史篤, 塚原嘉之佑, 白柏基宏. 健常眼における非接触眼圧計による眼圧測定の内検および検査間変動について. 第129回新潟眼科集談会(新潟市). 2021.12.18-12.19.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経眼科学会(評議員)(編集委員), 日本眼科学会(編集委員), 日本眼科学会, 日本視野画像学会, 日本視能訓練士協会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本ロービジョン学会, 日本糖尿病眼学会, 日本近視学会, 日本眼科AI学会, 新潟医療福祉学会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
 2. 2021年度, 受託研究費, オートレフ測定による器械近視について, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 眼疾病学II, 2021.4.8-6.4.
 2. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 神経眼科学, 2021.10.1-11.25.
 3. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 視能矯正学各論II, 2021.10.1-2022.2.7.

4. 福岡国際医療福祉大学視能訓練学科, 視能検査学II, 2021.10.1-2022.3.31
- 7 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・自己評価委員会, 教員選考・評価委員会, SHAINプロジェクト

氏名：阿部 春樹

報告事項なし

氏名：石井 雅子

- 1 研究題目 視覚障害者のQOL向上に関する研究（ロービジョン医学）、視覚障害児の学習支援（特別支援教育）、視的環境と視覚機能に関する研究（眼科学）
- 2 著書
 1. 石井雅子：遮光眼鏡. 調光眼鏡の機能と活用方法～QOVを向上させる遮光眼鏡と調光眼鏡～. 眼科ケア23. メディカ出版, 大阪, 2021, 70-75.
 2. 石井雅子：視野障害のある患者さんへのロービジョンケア～すてきな白杖ガール～. 眼科ケア24. メディカ出版, 大阪, 2021, 96-105.
- 3 論文
 1. 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗：子どもの眼を守る視力検査実技講習会の取り組み. チャイルドヘルス24(10): 2021, 64-69. (査読あり)
 2. 石井雅子：眼育（めいく）さばえプロジェクトー子どもの眼の健康に関するアンケート調査ー. チャイルドヘルス24(12): 2021, 72-77. (査読あり)
 3. 旭香代子, 石井雅子, 生方北斗, 眞山徹二, 荒井紳一：園の眼科健診から受診した幼児の検討. 保育と保健27: 2021, 37-40. (査読あり)
 4. Tatara S, Ishii M, Nogami R: Birth weight and refractive state measured by Spot Vision Screener in children aged 40 months. BMJ Open Ophthalmology 6: e000808, 2021. (査読あり)
- 4 学会等研究発表
 1. 石井雅子, 白川百花, 三浦千夏, 中島望月, 松井千洋, 中山綾佳, 星野有紗, 前角安佳里：3歳児のデジタルデバイスの使用と子育てのストレスとの関係. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市（オンライン））, 2021.10.30.
 2. 木村直希, 石井雅子. 大学生のオンライン授業での不調に関する調査研究. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市（オンライン））, 2021.10.30.
 3. 石井雅子, 谷賢太郎, 前田義信：動画視聴時の眼位変化の評価ースマートフォンでのパイロットスタディーー. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市（オンライン））, 2021.10.30.
 4. 石井雅子, 林豊彦, 山口史明, 関川憲司, 渡辺準：にいがたアイペディアプロジェクトによる視覚障害者情報支援アプリの開発. 第62回日本視能矯正学会（東京都（オンライン））, 2021.11.20-11.21.
 5. 旭香代子, 石井雅子, 石川真澄, 多々良俊哉, 涌井和沙, 野神麗子：弥彦村の3歳児視覚健診プログラムの改定. 第62回日本視能矯正学会（東京都（オンライン））, 2021.11.20-11.21.
 6. 市村美香, 石井雅子, 山口俊光, 間聡美, 張替涼子, 福地健郎. ICTサポートを継続しているロービジョン児3例の報告. 第129回新潟眼科集談会（新潟市（オンライン））, 2021.12.19.
 7. 石井雅子：視覚障害情報支援アプリの実証実験結果について. 2021年度新潟県視能訓練士会研修会（新潟市（オンライン））, 2022.1.30.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本眼科学会, 日本ロービジョン学会（理事）, 日本視能訓練士協会, 日本緑内障学会, 日本小児眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本学校保健学会, 視覚障害リハビリテーション協会, 新潟県視能訓練士会（会長）, 新潟医学会, 中途視覚障害者の復職を考える会（タートルの会）, JRPS網膜色素変性症協会, 日本特殊教育学会, 日本保育保健協議会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 2021年度視覚障害学習支援セミナー－夏の会－，実行委員，新潟（オンライン），2021.9.5.
2. 2021年度新潟県視能訓練士会研修会，実行委員長，新潟（オンライン），2022.1.30.
3. 2021年度第14回全国視能訓練士学校協会教員研修会，実行委員長，新潟（オンライン），2021.11.30-2022.2.20.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本ロービジョン学会誌編集委員
2. 日本ロービジョン学会会計（財務）担当
3. 第61回日本生体医工学会大会，プログラム委員，新潟，
4. 第22回日本ロービジョン学会学術総会，教育講演1 大学入試センターにおける視覚障害者への受験上の配慮その歴史と現状について，座長，東京（オンライン），2021.5.8.
5. 2021年度第14回全国視能訓練士学校協会教員研修会「近未来の視能訓練士」特別講演 難病支援と多職種連携～視能訓練士の職域拡大～，座長，2021.11.30-2022.2.20.
6. 日常業務に役立つコンタクトレンズセミナー in 新潟，屈折検査の基礎－CL矯正に視する技術の現在と未来－，座長，東京（オンライン（オンデマンド型）），2021.8.16-8.30.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 目や見え方に関する教育相談会，講師，教育講演と個別相談，新潟県教育庁，市民，新潟市，2021.11.8.
2. 成城眼育WEB講習「子どもの眼の健康」講師，成城学園関係者，東京都（オンライン（オンデマンド型）），2021.11.20-12.24.
3. めがねのまちさばえ眼育講習会，講師，市民，鯖江市（オンライン），2021.11.30-2022.3.31.
4. 同行援護養成研修，疾病・障害の理解，講師，新潟市社会福祉協議会，市民，新潟市，2021.12.9.
5. 園児の為の幼児眼科健診講演会，講師，藤見学園関係者，新潟市（オンライン（オンデマンド型）），2021.6.28-7.10.
6. 新潟県教育庁 子どもの読書レベルアップ講習会，講師，市民，阿賀野市（オンライン（オンデマンド型）），2021.8.26-8.30.
7. 新潟県教育庁 子どもの読書レベルアップ講習会，講師，市民，小千谷市（オンライン（オンデマンド型）），2021.8.31-9.1.
8. 新潟県教育庁 子どもの読書レベルアップ講習会，講師，市民，上越市（オンライン（オンデマンド型）），2021.9.2-9.8.
9. 新潟県教育庁 子どもの読書レベルアップ講習会，講師，市民，燕市（オンライン（オンデマンド型）），2021.9.9-9.15.
10. 新潟県教育庁 子どもの読書レベルアップ講習会，講師，市民，佐渡市（オンライン（オンデマンド型）），2021.9.16-9.23.
11. 眼科健診講習会，講師，清心保育園関係者，魚沼市，2021.12.27.
12. 仁愛女子短期大学幼児教育学科 オンライン眼育研修会「幼児の視覚発達と眼育」，2022.1.11-1.12.
13. 新潟医療福祉大学社会連携・地域貢献オンラインセミナー，講師，市民，新潟市（オンライン（オンデマンド型）），2022.2.1-3.31.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 福井新聞，「眼育」は大切チラシでPR，2021.4.17.
2. 新潟日報，近視予防オンライン講座，2021.8.19.
3. 新潟日報，目の健康幼児期から視力検査，紙芝居で説明も，2022.1.14.
4. 福井新聞，子どもの目を守る紙芝居 新潟医療福祉大 鯖江市に寄贈，2022.3.19.
5. 日刊県民福井，眼の健康守って鯖江市へ紙芝居，2022.3.22.

3) 社会活動への参加協力

1. 燕市3歳児健康診査, 健診担当, 燕市, 2020.5.12, 7.7, 3.16.
2. 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 目の健康講習, 眼科健診サポート, 新潟市, 2021.6.28.
3. めいけこども園 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 新潟市, 2021.10.10.
4. 弥彦村立ひかり保育園 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 弥彦村, 2021.10.22.
5. 鯖江市立待保育所 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 鯖江市, 2021.10.22.
6. 新潟えきなかこども園 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 新潟市市, 2021.10.26.
7. 弥彦村立弥彦保育園 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 鯖江市, 2021.10.26.
8. 鯖江市古川保育所 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 鯖江市, 2021.11.15.
9. 鯖江市ゆたか保育所 オンライン委託研修 (眼の健康講習), 鯖江市, 2021.11.26.
10. 清心保育園 眼の健康紙芝居, 魚沼市, 2021.12.27.
11. 鯖江市役所, オンライン眼の健康紙芝居の披露と贈呈式, 鯖江市, 2022.3.18.

4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業, 視覚障害者情報支援アプリの開発, コンソーシアムメンバー

新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク, 委員

5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県視能訓練士会 (会長), 日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅢ指導者, 全国視能訓練士学校協会教員研修WGメンバー (代表), 視覚障害リハビリテーション協会高齢リハビリテーション分科会委員, 日本ロービジョン学会学会誌編集委員, 日本ロービジョン学会学会財務 (会計) 担当理事

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 日本学術振興会科学研究助成 (基盤研究 (C): 21K02392) 子どもの視力低下のメカニズムを解明ー近視抑制法の探索ー
2. 2021年度, めがねのまちさばえ「眼育」推進事業受託, 代表
3. 2021年度, (株)ニデック 眼精疲労共同研究, 代表

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 専門視能訓練士 (視能障害学) 認定, 2021.4.1.

3) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部, 眼科臨床実習, 2021.4-2022.3.

8 学内委員会活動 FD・SD推進委員会, 社会連携推進センター運営委員会

氏名: 金子 弘

1 研究題目 快適な眼鏡装用に関する研究

2 学会等研究発表

1. 金子弘, 遮光レンズの有用性. 日本視能訓練士協会第19回研修会 (大阪・WEB), 2021.6.6. 【教育講演】

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本眼光学学会, 日本眼鏡学会, 日本実験力学会, 新潟医療福祉学会 (理事), NPO法人ニューロクリエイティブ研究会 (監事), NPO法人心のまなびば (理事)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌, 和文誌編集委員
 2. 日本眼鏡学会専門誌「眼鏡学ジャーナル」編集委員

4 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 生理光学実習体験授業, 望遠鏡を作ろう!, 主催・作製指導, 新潟医療福祉大学視機能科学科, 小中学生と保護者, パリミキ長岡店, 2021.12.19.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校, 生理光学, 物理学, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 川崎医療福祉大学, 生理光学実習, 2021.6.1-7.31.
- 6 学内委員会活動 学術委員会・学会誌編集委員会, 広報委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名：戸田 春男

- 1 研究題目 齧歯類脳の信号伝搬, 実習環境の改善, 検査中の自律神経系機能
- 2 論文
 1. Toda H, Shiga Y, Ubukata H. Feasibility of online psychophysical practice for a department of Certified Orthoptics. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2022; 21(2): 112-122. (査読あり)
 2. 生方北斗, 戸田春男, 八百枝潔, 小林昭子, 可児一孝, 前田史篤, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いた視野の定量評価. *視覚の科学*. 2022; 43(1): 8-16. (査読あり)
- 3 報告書
 1. 戸田春男, 生方北斗. 研究科長裁量研究費, 2021年度研究奨励金実績報告書, 2021-2021, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 戸田春男, 志賀木綿子, 生方北斗. 新潟医療福祉大学視機能科学科におけるオンライン実習の経験. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 2. 戸田春男, 長谷川碧生, 目黒灯香. スマートフォンにおける視覚的なサブリミナル効果の可能性についての検証. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 3. 戸田春男, 井守美結, 小林由奈, 鈴木留美奈, 林美野里, 村上伊吹. オープンソースツールを用いた瞼裂幅計測アプリケーション作成の試み. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 4. 村田憲章, 戸田春男. 片眼遮閉に伴う眼球回旋偏位の有無についての検討. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 5. 生方北斗, 戸田春男, 金子弘, 前田史篤. 眼鏡装用歴の有無による新規作成眼鏡装用後の疲労度の変化. 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 6. 生方北斗, 前田史篤, 多々良俊哉, 戸田春男, 可児一孝. Goldmann視野計検査におけるオンライン指導の試み. 第59回日本神経学科学会総会(東京), 2021.12.17-12.18.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理学会(評議員), 日本神経科学学会, 日本神経眼科学会, 日本自律神経学会, Society for Neuroscience
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 基盤研究C, 「ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善」, 研究代表者
 2. 2021年度, 基盤研究B, 「弱視発見率の向上に関する研究:視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生」, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部医学科, 生理学・生理学実習, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 悠久山栄養調理専門学校, 運動生理学, 2020.4.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 入試委員会(委員), 大学院入試広報委員会(副委員長, 入試部会部長)

氏名：増田 修

- 1 研究題目 セキュリティ文書の偽造防止, 質感知覚, 色覚に関する研究 (視覚心理物理学)
- 2 学会等研究発表
 1. 鈴木雅洋, 矢口晶, 中枝武弘, 増田修, 内川恵二. 眩しさ知覚へ及ぼす ipRGC 応答の寄与, 日本視覚学会 夏季大会 (千葉), 2021.9.24.
 2. Suzuki M, Yaguchi A, Nakatsue T, Masuda O, Uchikawa K. ipRGCs contribute to glare sensation of high-intensity lights, The 43rd European Conference on Visual Perception, Online, Aug. 27, 2021.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視覚学会, 映像情報メディア学会, 日本色彩学会, 日本眼光学学会, 日本照明委員会, 視覚科学技術コンソーシアム, Optical Society of America
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Optical Review, 査読
 2. frontiers, 査読
 3. International Journal of Industrial Ergonomics, 査読
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
一般社団法人 日本照明工業会 国際照明委員会 (CIE) 第1部会「視覚と色」国内小委員会 委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究 (C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明 (研究代表者)
 2. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明 (研究代表者)
 3. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 色覚異常における未知の色差知覚特性に立脚した色変換技術の開発 (研究分担者)

氏名：岸 哲志

- 1 研究題目 視覚障害児・者の歩行訓練, 屋内用視覚障害者誘導路のニーズと可能性について, 岡山県における同行援護の実施状況の調査
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ロービジョン学会, 日本特殊教育学会, 視覚障害リハビリテーション協会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 岡山県立岡山盲学校, 学校運営協議会, 学校運営協議会委員, 2021.10.26, 2022.2.8.
 2. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター, 理事会, 理事, 岡山市, 2021.12.19.
 3. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター, 同行援護従事者認定講習会, 講師, 岡山市, 2022.2.2-2.4, 3.3-3.4.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 修士 (保健学), 新潟医療福祉大学, 2022.3.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 川崎医療福祉大学, ロービジョン学, 2021.7.9, 7.16 オンライン授業
 2. 新見公立大学, 視覚障害者教育概論, 2021.12.22-12.23, 2022.2.7, 2.9.

氏名：村田 憲章

- 1 研究題目 視線解析装置の眼科臨床への応用に関する研究（視覚科学），緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析（眼科学）
- 2 報告書
 1. 村田憲章. 科研費若手研究, 緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーションの模索, 実績報告書. 2018-2020, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 村田憲章, 戸田春男: 片眼遮閉に伴う眼球回旋偏位の有無についての検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2021.10.30.
 2. 村田憲章, 松井由美子, 榎原桂, 伊藤嘉高, 石沢幸江: オンライン実施となった「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果の報告. 第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本緑内障学会, 日本斜視弱視学会, 日本ロービジョン学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 視能訓練士画像研究会（CREAS）, CREAS In Web Session, 実行委員・北信越ブロック長, オンライン, 2022.2.20.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. BMJ Open Ophthalmology, 査読
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 上越市, 2021.8.20.
 2. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 長岡市, 2021.8.30.
 3. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2021.9.1.
 4. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2021.9.7.
 - 2) 職能団体（協会, 士会等）の委員
公益社団法人日本視能訓練士協会 生涯教育制度新人教育プログラム（両眼視）実技日程（指導者）, 全国視能訓練士学校協会 国家試験不適切問題検討ワーキンググループ（グループリーダー）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究（B）, 弱視発見率の向上に関する研究：視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生（研究代表者）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校, 視能検査学各論, 2021.4.12-8.2.
 2. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学各論Ⅰ, 2021.4.12-8.2.
 3. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学総論Ⅱ, 2021.4.12-8.2.
- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 科研費対策委員会, SHAINプロジェクト

氏名：志賀 木綿子

- 1 研究題目 日常視力に関する研究（眼光学），視能訓練士学生への教育に関する研究（視覚科学）

2 著書

1. 志賀木綿子, 前田史篤. 静的視野検査. 眼科ケア 24 (4). 大阪: メディカ出版; 2022: 62-67.

3 論文

1. Toda H, Shiga Y, Ubukata H. Feasibility of online psychophysical practice for a department of Certified Orthoptics. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022: 21 (2): 112-122. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. 志賀木綿子, 阿部朱里, 石川滯, 中村美月, 本間遥菜, 金子弘. 検査距離の違いによる他覚的屈折値と自覚的屈折値の比較検討. 第57回日本眼光学学会総会 (京都市), 2021.9.4-9.5.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼光学学会, 新潟医療福祉学会

6 学内委員会活動 教務委員会, 入試委員会

氏名: 多々良 俊哉

1 研究題目 小児の弱視予防に関する研究 (予防医学)

2 論文

1. Tatara S, Maeda F, Tsukahara Y, Handa T, Yaoeda K: Intrasession and Intersession Variabilities of Intraocular Pressure Measured by Noncontact Tonometer in Normal Volunteers. Clinical Ophthalmology 15: 4507-4512, 2021. (査読あり)
2. Tatara S, Ishii M, Nogami R: Birth weight and refractive state measured by Spot Vision Screener in children aged 40 months. BMJ Open Ophthalmology 6: e000808, 2021. (査読あり)
3. 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗: 子どもの眼を守る視力検査実技講習会の取り組み. チャイルドヘルス 24: 784-789, 2021. (査読あり)

3 報告書

1. 多々良俊哉. 若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. Tatara S, Maeda F, Tsukahara Y, Yaoeda K: Fluctuation of Intraocular Pressure with Noncontact Tonometer and Rebound Tonometer in the Normal Volunteers, ARVO2021 Annual Meeting (San Francisco), 2021.5.1-5.7.
2. 多々良俊哉: 屈折データの取り扱い, 第57回日本眼光学学会 (京都), 2021.9.4-9.5. (シンポジウム)
3. 旭香代子, 石井雅子, 石川真澄, 多々良俊哉, 涌井和沙, 野神麗子: 弥彦村の3歳児視覚健診プログラムの改定, 第62回日本視能矯正学会 (東京), 2021.11.20-11.21.
4. 八百枝潔, 多々良俊哉, 前田史篤, 塚原嘉之佑, 白柏基宏: 健常眼における非接触眼圧計による眼圧測定の内および検査間変動について, 第129回新潟眼科集談会 (新潟), 2021.12.18-12.19.
5. 生方北斗, 前田史篤, 多々良俊哉, 戸田春男, 可児一孝: 視野検査教育におけるオンライン指導の試み. 第59回日本神経眼科学会総会 (東京), 2021.12.17-12.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本能訓練士協会 (会員), 日本眼科学会 (会員), 日本弱視斜視学会 (会員), 日本小児眼科学会 (会員), 日本眼光学会 (会員), JSCRS (会員), The Association for Research in Vision and Ophthalmology (Member)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日常業務に役立つコンタクトレンズセミナー in 新潟, 新人視能訓練士向け眼科診療所内でのCL処方と視能訓練士の役割について, 座長, 主催 Johnson & Johnson, 対象者 視能訓練士, オンライン開催, 2021.8.16-8.30.

2. 眼の健康講習, 弱視と屈折異常, 講師, 主催 学校法人 成城学園 学園長 油井雄二, 対象 成城学園関係者, オンライン開催, 2021.11.20-12.20.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 燕市3歳児健康診査, 健診, 燕市保健センター (燕市), 2021.4.27, 5.25, 9.28, 12.21.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 多々良俊哉. 科研費 若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 2019-2021, 研究代表者
 2. 多々良俊哉. 一般財団法人永井エヌ・エス知覚科学振興財団 研究開発助成, 一流のバレーボール選手が感覚的に体得している視線移動の可視化システムの開発, 2020-2022, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会, メンタルヘルス支援委員, SHAINプロジェクト

氏名：谷 佳子

報告事項なし

氏名：生方 北斗

- 1 研究題目 視能訓練士教育および眼科検査技能の定量評価
- 2 著書
 1. 生方北斗, 前田史篤. 眼科ケア. 大阪：メディカ出版；2022：56-61.
- 3 論文
 1. 生方北斗, 戸田春男, 八百枝潔, 小林昭子, 可児一孝, 前田史篤, 阿部春樹. Goldmann視野計トレーニングシステムを用いた視野の定量評価. 視覚の科学. 2022; 43 (1): 8-16. (査読あり)
 2. Toda H, Shiga Y, Ubukata H. Feasibility of online psychophysical practice for a department of Certified Orthoptics. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 21 (2): 112-122. (査読あり)
 3. 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗. 子どもの眼を守る視力検査実技講習会の取り組み. チャイルドヘルス. 2022; 24 (10): 784-789. (査読あり)
 4. 岸哲志, 前田史篤, 奥村俊通, 生方北斗, 多々良俊哉, 田内雅規, 田淵昭雄. コロナ禍における視覚障害者の同行援護サービスに関する実態調査. 眼科臨床紀要. (印刷中) (査読あり)
- 4 学会等研究発表
 1. 生方北斗, 戸田春男, 金子弘, 前田史篤. 眼鏡装用歴の有無による新規作成眼鏡装用後の疲労度の変化. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
 2. 生方北斗, 前田史篤, 多々良俊哉, 戸田春男, 可児一孝. 視野検査教育におけるオンライン指導の試み. 第59回日本神経眼科学会総会 (千代田区), 2021.12.17-12.18.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本視能訓練士協会 (会員), 日本眼光学学会 (会員), 日本視野画像学会 (会員), 日本眼鏡学会 (会員), 日本神経眼科学会 (会員), 日本眼鏡技術者協会 (会員), 新潟医療福祉学会 (会員), 新潟県視能訓練士会 (会員)
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 園児の為の幼児眼科健診講演会, 視力検査の方法と要点, 講師, 学校法人 藤見学園, 藤見学園関係者, オンデマンド開催 (新潟市), 2021.6.28-7.10.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 修士 (保健学) (2022.3.17)
 - 2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校看護学科，病態学Ⅶ，2021.11.2-11.30.
- 8 学内委員会活動 広報委員会，図書館・学習支援委員会

(3) 救急救命学科

氏名：竹井 豊

1 研究題目 救急隊員の身体負担軽減策の検討，効果的な救急医療システムに関する研究

2 論文

1. Takei Y, Hasegawa M, Adachi T. Analysis of adverse events in the prehospital field activities: A quantitative study using secondary research methods. 日本臨床救急医学会雑誌2021; 24(4):569-577. (英語論文) 査読あり
2. 坂口英児, 安田康晴, 山本弘二, 吉川孝次, 佐々木広一, 友安陽子, 竹井豊. 「ストレッチャーの持ち上げ操作時における身体負荷の男女差と対策」日本臨床救急医学会雑誌2020; 24(5): 712-716. 査読あり
3. 竹井豊, 米田宏希, 松林大司, 長谷川恵, 安達哲浩, 外山元, 西大樹, 大松健太郎. 救急隊員向け病院連絡トレーニングツールの製作と効果の検証, 日本蘇生学会誌 (in press) 査読あり, 日本学術会議加盟団体
4. 竹井豊, 公益財団法人 三井住友海上福祉財団助成事業, 交通安全部門, 救急隊員を対象とした病院連絡トレーニングツールの開発, 2020.12-2021.11, 研究代表者: 竹井豊 (報告書)
5. 竹井豊, 一般財団法人救急振興財団「救急に関する調査研究事業」, 救急現場滞在時間延伸の要因解明に関する研究, 2021.4-2022.3, 研究代表者: 竹井豊 (報告書)
6. 竹井豊, 一般財団法人救急振興財団「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」委託, 指導救命士による病院連絡教育プログラムの構築, 2021.4-2022.3, 研究代表者: 竹井豊 (報告書)

3 学会等研究発表

1. 坂口英児, 安田康晴, 山本弘二, 吉川孝次, 佐々木広一, 友安陽子, 竹井豊. ストレッチャー昇降時の身体負荷の男女差と対策. 第24回日本臨床救急医学会学術集会 (東京都), 2021.5.26. (一般演題:口述発表, 査読有り)
2. 竹井豊, 安達哲浩, 外出元, 岩崎隆, 進藤弘, 長谷川恵. 救急活動に伴う身体負担に関連する有害事象の分析. 第24回日本臨床救急医学会学術集会 (東京都), 2021.5.26. (査読有り)
3. 大松健太郎, 神藏貴久, 大和田均, 山内一, 安達哲浩, 長谷川恵, 岩崎隆, 進藤弘, 竹井豊. 360度カメラ・ウェアラブルカメラを活用したクラウド型eラーニング教材の効果の検証. 第24回日本臨床救急医学会学術集会 (東京都), 2021.5.26. (一般演題:口述発表, 査読有り)
4. 米田宏希, 長谷川恵, 松林大司, 畝村有佑己, 中山翔太, 安達哲浩, 竹井豊. 「病院連絡トレーニング」Webアプリケーションの製作と効果の検証. 第24回日本臨床救急医学会学術集会 (東京都), 2021.5.26. (一般演題:口述発表, 査読有り)
5. 竹井豊, 長谷川恵, 安達哲浩. 救急現場活動に伴う有害事象の分析:二次調査手法を用いた定量的研究. 第24回日本臨床救急医学会学術集会 (東京都), 2021.5.26. (一般演題:口述発表, 査読有り)
6. 大松健太郎, 竹井豊. Google Workplaceを基盤としたシミュレーション実習の学習支援環境の構築. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.31. (査読有り)
7. 大松健太郎, 岩崎隆, 山内一, 大和田均, 神藏貴久, 竹井豊. 救急救命士養成課程におけるシミュレーション実習の事前・事後学習を強化する学習支援環境構築の試み. 第40回日本蘇生学会学術集会 (奈良県), 2021.11.12. (一般演題:口述発表, 査読有り, 日本学術会議加盟団体)
8. 坂口英児, 竹井豊. 搬送器材の違いが救助者の身体に与える影響. 第40回日本蘇生学会学術集会 (奈良県), 2021.11.12. (一般演題:口述発表, 査読有り, 日本学術会議加盟団体)
9. 竹井豊, 長谷川恵, 安達哲浩. 病院連絡コミュニケーション教材の検討. 第40回日本蘇生学会学術集会 (奈良県), 2021.11.12. (一般演題:口述発表, 査読有り, 日本学術会議加盟)
10. 竹井豊, 西大樹, 清水光治. 自動式胸骨圧迫システム導入による効果の検証. 第40回日本蘇生学会学術集会 (奈良県), 2021.11.12. (一般演題:口述発表, 査読有り, 日本学術会議加盟団体)
11. 竹井豊. 「救急救命士の専門性を育む教育」一般社団法人日本救急救命士協会・第1回救急救命士フォーラム (横浜市), 2022.3.27. (シンポジウム)

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床救急医学会（評議員）、日本医学教育学会（会員）、新潟医療福祉学会（理事長、評議員、英文誌編集委員長、和文誌編集委員）
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床救急医学会、救急隊活動におけるパフォーマンス向上検討小委員会、委員、2021.10-現在まで
 2. 日本臨床救急医学会、第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会、公募演題査読委員

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 石川県消防学校、救急救命士生涯教育課程講義、講義担当、石川県金沢市・石川県消防学校、2021.12.15.
 2. 石川県消防学校、救急課程講義、講義担当、石川県金沢市・石川県消防学校、2022.3.11.
- 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
米国救急医協会・ITLS日本支部（世話人）、JPTEC協議会 学術委員会（部会長）

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度、一般財団法人救急振興財団「救急に関する調査研究事業」、救急現場滞在時間延伸の要因解明に関する研究、研究代表者 竹井豊
 2. 一般財団法人救急振興財団「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」委託、指導救命士による病院連絡教育プログラムの構築、研究代表者 竹井豊
 3. 2021年度、日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究◎、VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作、研究代表者 安達哲浩・研究分担者 竹井豊・大松健太郎・大和田均
- 2) 学外兼務講師等
 1. 広島国際大学、救急統計学、2021.4.1-2022.3.31.

7 学内委員会活動 学術委員会（委員長）

氏名：稲葉 英夫

- 1 研究題目 院外心停止の予後に関連する因子の同定と予後改善のための方略の立案
- 2 論文

1. Murasaka K, Takada K, Yamashita A, Ushimoto T, Wato Y, Inaba H. Seizure-like activity at the onset of emergency medical service-witnessed out-of-hospital cardiac arrest: An observational study. Resusc Plus. 2021 Oct 5; 8: 100168. doi: 10.1016/j.resplu.2021.100168. PMID: 34661179; PMCID: PMC8502955.
2. Ushimoto T, Takada K, Yamashita A, Morita H, Wato Y, Inaba H. Effect of large-scale disasters on bystander-initiated cardiopulmonary resuscitation in family-witnessed, friend-witnessed and colleague-witnessed out-of-hospital cardiac arrest: a retrospective analysis of prospectively collected, nationwide, population-based data. BMJ Open. 2022 Feb 1; 12(2): e055640. doi: 10.1136/bmjopen-2021-055640. PMID: 35105590; PMCID: PMC8808444.
3. Inaba H, Nunokawa C, Yao S, Iwasaki T. Impact of the COVID-19 pandemic on bystander cardiopulmonary resuscitation: a systematic review of observational studies and presentation of a strategy to augment the quality of bystander cardiopulmonary resuscitation. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022 21: 52-63.

3 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本医療安全調査機構東海北陸ブロック 個別調査部会委員

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本医療安全調査機構東海北陸ブロック 個別調査部会委員

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 金沢医科大学救急医学講座 客員教授 救急医学 月1～2回毎週金曜日

5 学内委員会活動 新潟医療福祉学会評議員, Niigata Journal of Health and Welfare 編集委員

氏名：川上 一岳

報告事項なし

氏名：松岡 輝彦

報告事項なし

氏名：進藤 弘

報告事項なし

氏名：大松 健太郎

1 研究題目 AR（拡張現実）技術を用いた教育プログラムに関する研究（医学教育学），救急救命士の働き方の多様化に関する研究（医療社会学），学校管理下の救急事故に関する研究（医療社会学）

2 論文

1. 大和田均，吉岡耕一，神藏貴久，山内一，大松健太郎，田中秀治. 救急隊員の暑熱環境下での活動における冷却ベストの効果の検証. 救急救命士ジャーナル. 2022; 2(4): 36-40. (査読あり)

2. 竹井豊，米田宏希，松林大司，長谷川恵，安達哲浩，外山元，西大樹，大松健太郎. 救急隊員向け病院連絡トレーニングツールの製作と効果の検証. 日本蘇生学会誌. (in press) (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 大松健太郎，神藏貴久，大和田均，山内一，安達哲浩，長谷川恵，岩崎隆，進藤弘，竹井豊. 360度カメラ・ウェアラブルカメラを活用したクラウド型eラーニング教材の効果の検証. 日本臨床救急医学会. 第24回総会・学術集会（川崎），2021.6.10-6.12.

2. 大松健太郎，岩崎隆，山内一，大和田均，神藏貴久，竹井豊. 救急救命士養成課程におけるシミュレーション実習の事前・事後学習を強化する学習支援環境構築の試み. 日本蘇生学会. 第41回大会（長崎），2021.11.12-11.13.

3. 大松健太郎，竹井豊. Google Workplaceを基盤としたシミュレーション実習の学習支援環境の構築. 新潟医療福祉学会. 第21回大会（新潟），2021.10.30.

4 学会活動

1) 所属学会 日本臨床救急医学会（評議員），日本救急医学会，日本蘇生学会，日本バーチャルリアリティ学会，日本医学教育学会，新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床救急医学会，日本臨床救急医学会雑誌，査読

2. 日本臨床救急医学会，第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会，公募演題査読委員

3. 新潟医療福祉学会，新潟医療福祉学会誌，査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. アメリカ心臓協会 BLS（一次救命処置）プロバイダーコース，インストラクター，AHA-IEMA-ITC，バレー指導者，長岡，2021.8.29.

2. アメリカ心臓協会 PALS（小児二次救命処置）プロバイダーコース，インストラクター，AHA-IEMA-

ITC, 看護師, 川崎, 2021.11.13-11.14.

3. アメリカ心臓協会 BLS (一次救命処置) インストラクターコース, ファカルティ, AHA-IEMA-ITC, 理学療法士, 大阪, 2021.12.4.

4. 令和3年度陸合西地区体育振興会委員研修会, 体育振興事業における救急対応, 講師, 厚木市陸合西地区体育振興委員会, 2022.2.5.

2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

一般社団法人国際救命救急協会 (副理事長, 編集委員長)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019-2022年度, 科研費若手研究, AR (拡張現実) 技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発, 研究代表者

2. 2021年度, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究C, VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作, 研究分担者

7 学内委員会活動 入試委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名: 大和田 均

1 研究題目 救急現場滞在時間の短縮に関する研究, 救急隊員の暑熱環境下での活動に関する研究

2 論文

1. 大和田均, 吉岡耕一, 張替喜世一, 中川雄公, 大松健太郎, 田中秀治. 救急隊によるポケットフェイスマスクを用いた肺の酸素化と感染のリスクの検証. 日本蘇生学会誌. 2021; 9: 40(2) 64-68. (査読あり)

2. 大和田均, 吉岡耕一, 神藏貴久, 山内一, 大松健太郎, 田中秀治. 救急隊員の暑熱環境下での救急活動における冷却ベストの効果. 救急救命士ジャーナル. 2022; 3: 2(4) 36-40. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 大和田均, 田中秀治. 救急隊員の暑熱環境下活動時において冷却ベスト着用効果の検証. 第24回日本臨床急医学会 (神奈川県), 2021.6.10-6.12.

2. 神藏貴久, 谷賢太郎, 大和田均, 進藤弘. 視覚障害者に配慮した心肺蘇生サポートアプリケーションの開発. 第24回日本臨床急医学会 (神奈川県), 2021.6.10-6.12.

3. 大松健太郎, 神藏貴久, 大和田均, 山内一, 安達哲浩, 長谷川恵, 岩崎隆, 進藤弘, 竹井豊. 360度カメラを活用したクラウド型e-ラーニング教材効果の検証. 第24回日本臨床急医学会 (神奈川県), 2021.6.10-6.12.

4. 大和田均, 山内一, 田中秀治. 救急隊員による暑熱環境下での活動時における手掌部冷却効果の検証. 日本蘇生学会第40回大会 (奈良県), 2021.11.12-11.13.

5. 大松健太郎, 岩崎隆, 大和田均, 山内一, 神藏貴久, 竹井豊. 救急救命士養成課程におけるシミュレーション実習の事前・事後学習を強化する学習支援環境構築の試み. 日本蘇生学会第40回大会 (奈良県), 2021.11.12-11.13.

4 学会活動

1) 所属学会 日本蘇生学会, 日本臨床救急医学会, 日本集団災害医学会, 日本病院前救急救命学会

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作, 共同研究者

6 学内委員会活動 教務委員会, 国際交流センター運営委員会, メンタルヘルス委員会

氏名: 神藏 貴久

1 研究題目 救急医学, 蘇生学, 損害賠償, 出産準備教室, 救急医療電話相談

2 論文

1. 大和田均, 吉岡耕一, 神藏貴久, 山内一, 大松健太郎, 田中秀治. 救急隊員の暑熱環境下での活動における冷却ベストの効果の検証. 救急救命士ジャーナル. 2022.3.; 2(1): 36-40. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 神藏貴久, 谷賢太郎, 西村博章. 視覚障がい配慮した一次救命処置サポートアプリの開発. 日本蘇生学会第40回大会(奈良), 2021.11.12-11.13.
 2. 神藏貴久, 佐藤竜, 神田唯斗, 高野海星, 星野直幸, 本間汰一. 新潟県における救急医療電話相談事業(#7119)の現状と今後の展望. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会, 日本蘇生学会, 日本周産期・新生児医学会, 日本医学教育学会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年, 科学研究費助成事業若手研究, 救命のために努力をしてくれた人を救える社会に～損害補償の実態と動向～, 研究代表者
 2. 2021年, 科学研究費助成事業基盤研究C, 出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証, 研究分担者

氏名: 山内 一

報告事項なし

氏名: 安達 哲浩

- 1 研究題目 多数傷病者発生時の研究(災害医療), 心肺蘇生法教育の普及効果に関する研究(救急医療)
- 2 論文
 1. Takei Y, Hasegawa M, Adachi T. Analysis of adverse events in the prehospital field activities: A quantitative study using secondary research methods. 日本臨床救急医学会雑誌2021; 24(4): 569-577. (英語論文) 査読あり
 2. 竹井豊, 米田宏希, 松林大司, 長谷川恵, 安達哲浩, 外山元, 西大樹, 大松健太郎. 救急隊員向け病院連絡トレーニングツールの制作とその効果検証, 日本蘇生学会雑誌, (in press) 2022-2 査読あり
 3. 新潟県における新型コロナウイルス陽性患者の入院トリアージに関する研究「新潟県におけるハイリスクスコア表」の妥当性の検討, 安達哲浩, 新潟大学医歯学総合研究科修士論文, 2022.
- 3 学会等研究発表
 1. 竹井豊, 安達哲浩, 外出元, 岩崎隆, 進藤弘, 長谷川恵. 救急活動に伴う身体負担に関連する有害事象の分析. 第24回日本臨床救急医学会学術集会(東京都), 2021.5.26. (査読有り)
 2. 大松健太郎, 神藏貴久, 大和田均, 山内一, 安達哲浩, 長谷川恵, 岩崎隆, 進藤弘, 竹井豊. 360度カメラ・ウェアラブルカメラを活用したクラウド型eラーニング教材の効果の検証. 第24回日本臨床救急医学会学術集会(東京都), 2021.5.26. (一般演題: 口述発表, 査読有り)
 3. 米田宏希, 長谷川恵, 松林大司, 畝村有佑己, 中山翔太, 安達哲浩, 竹井豊. 「病院連絡トレーニング」Webアプリケーションの製作と効果の検証. 第24回日本臨床救急医学会学術集会(東京都), 2021.5.26. (一般演題: 口述発表, 査読有り)
 4. 竹井豊, 長谷川恵, 安達哲浩. 救急現場活動に伴う有害事象の分析: 二次調査手法を用いた定量的研究. 第24回日本臨床救急医学会学術集会(東京都), 2021.5.26. (一般演題: 口述発表, 査読有り)
 5. 竹井豊, 長谷川恵, 安達哲浩. 病院連絡コミュニケーション教材の検討. 第40回日本蘇生学会学術集会(奈良県), 2021.11.12. (一般演題: 口述発表, 査読有り, 日本学術会議加盟)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本災害医学会(MCLS管理世話人), 日本臨床救急医学会, 東北救急医学会, 新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

1. 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，基盤研究（C）（一般），VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の制作，安達哲浩・竹井豊・大松健太郎・大和田均

1) 受賞，学位取得，資格取得

1. 修士（医科学）（2022.3.23）

6 学内委員会活動 広報委員会，高等教育推進センター運営委員会，教育開発部会，同窓会・生涯学習連携推進委員会

氏名：岩崎 隆

報告事項なし

氏名：田村 一好

報告事項なし

氏名：長谷川 恵

1 研究題目 救急現場におけるコミュニケーションについての研究

2 論文

1. 竹井豊，長谷川恵，安達哲浩．救急現場活動に伴う有害事象の分析（二次調査手法を用いた定量的研究）日本臨床救急医学会雑誌 別冊．2021年；vol.24；No.4.
2. Takei Y, Hasegawa M, Adachi T. Analysis of adverse events in the prehospital field activities: A quantitative study using secondary research methods. 日本臨床救急医学会雑誌2021；24(4): 569-577. (英語論文) 査読あり
3. 竹井豊，米田宏希，松林大司，長谷川恵，安達哲浩，外山元，西大樹，大松健太郎．救急隊員向け病院連絡トレーニングツールの製作と効果の検証，日本蘇生学会誌，(in press) 査読あり，日本学術会議加盟団体

3 学会等研究発表

1. 竹井豊，安達哲浩，外出元，岩崎隆，進藤弘，長谷川恵．救急活動に伴う身体負担に関連する有害事象の分析．第24回日本臨床救急医学会学術集会（東京都），2021.5.26.（査読あり）
2. 大松健太郎，神藏貴久，大和田均，山内一，安達哲浩，長谷川恵，岩崎隆，進藤弘，竹井豊．360度カメラ・ウェアラブルカメラを活用したクラウド型eラーニング教材の効果の検証．第24回日本臨床救急医学会学術集会（東京都），2021.5.26.（一般演題：口述発表，査読あり）
3. 米田宏希，長谷川恵，松林大司，畝村有佑己，中山翔太，安達哲浩，竹井豊．「病院連絡トレーニング」Webアプリケーションの製作と効果の検証．第24回日本臨床救急医学会学術集会（東京都），2021.5.26.（一般演題：口述発表，査読あり）
4. 竹井豊，長谷川恵，安達哲浩．病院連絡コミュニケーション教材の検討．第40回日本蘇生学会学術集会（奈良県），2021.11.12.（一般演題：口述発表，査読あり，日本学術学会加盟）

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本災害医学会，東北救急医学会

5 社会活動

- 1) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人JPTEC協議会東北JPTEC世話人，一般社団法人日本災害医学会MCLS世話人

6 学内委員会活動 安全衛生委員会，健康管理センター運営委員会，教務委員会，人権委員会（調査委員）

(4) 診療放射線学科

氏名：笠原 敏文

- 1 研究題目 放射線治療技術の精度に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技師教育学会, 新潟医療福祉学会いづれも会員
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県診療放射線技師会(監事), 新潟放射線治療技術懇話会(世話人), 放射線治療あすなろ会(監事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 新潟県診療放射線技師会40年表彰

氏名：稲川 正一

- 1 研究題目 血管内治療, 放射線診断学
- 2 著書
 1. 平松久弥, 稲川正一; 脊椎脊椎疾患. 滝和郎監修, 中原一郎, 太田剛史編集. パーフェクトマスター 脳血管内治療 第3版-必須知識のアップデート. 東京: 株式会社メジカルビュー社; 2021: 484-503.

氏名：笠井 聡

- 1 研究題目 医用画像およびデータを用いたAIに関する研究
- 2 論文
 1. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of Relaxation by Autonomous Sensory Meridian Response, *Frontiers in Behavioral Neuroscience*, Vol. 15 pp.1-8 (2021) (Review)
 2. Kondo S, Kasai S, Hirasawa K. Computer Aided Diagnosis and Out-of-Distribution Detection in Glaucoma Screening Using Color Fundus Photography, arXiv: 2202.11944.
 3. Kondo S, Kasai S. Nuclei panoptic segmentation and composition regression with multi-task deep neural networks, arXiv: 2202.11804.
 4. 笠井聡. 医用画像領域におけるメディカルAI時代の産学界の現状, 医用画像情報学会誌
 5. 勝原慎介, 笠井聡. 胸部疾患に対する診断支援機能の開発, 医用画像情報学会誌
- 3 報告書
 1. 笠井聡. 研究活動スタート支援, 胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現, 研究成果報告書, 2021-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 笠井聡, 甲斐千遥, 櫻井典子, 南寛威, 勝原伸介, 児玉直樹. マンモグラムを用いた乳房構成解析における画像処理の影響調査, 第49回日本放射線技術学会秋季学術大会(熊本), 2021.10.15-10.17.
 2. 笠井聡, 甲斐千遥, 二村仁, 櫻井典子, 児玉直樹. マンモグラムを用いた乳房構成判定のための乳腺含有量推定AIの開発, 第21回新潟医療福祉学会(新潟), 2021.10.30.
 3. 笠井聡, 【教育講演】メディカルAI時代の産学界の現状~医療系企業から大学へ転身した立場から~, 令和3年度年次(第191回)大会医用画像情報学会(MII), 2021.10.9.
 4. Kasai S, Kai C, Numata K, Ishizuka S, Sakurai N, Kodama N. A Study on the Influence of Image Processing on Physicians' Subjective Evaluation and an Application for Breast Density Analysis, *European Society of Radiology 2022*, March 2-6th.
- 5 学会活動

- 1) 所属学会 日本医用画像工学会（代議員），日本放射線技術学会（英語論文誌編集委員），新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本放射線技術学会（英語論文誌編集委員）
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本対がん協会がん検診セミナー，画像診断におけるAI導入の現状と今後の展開，講演，日本対がん協会，日本対がん協会メンバ，東京，2021.12.17.
 2. 第十七回岡山メディカルAI・ICT研究会，Global×Localな医療課題解決を目指した最先端AI研究開発，第十七回岡山メディカルAI・ICT研究会Global×Localな医療課題解決を目指した最先端AI研究開発，講演，岡山メディカルAI・ICT研究会，岡山メディカルAI・ICT研究会メンバ，岡山，2022.3.10.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 厚生労働省委託事業「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」，非常勤サポーター，2021年度
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 研究活動スタート支援
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 中島眞生子，内山良一，南寛威，笠井聡，第80回日本医学放射線学会総会，CyPos銅賞
- 8 学内委員会活動 入試委員会

氏名：児玉 直樹

- 1 研究題目 認知症の早期発見と予防に関する研究，軽度認知障害から認知症への進行予測に関する研究，在宅で利用可能な認知症スクリーニングシステムの開発
- 2 著書
 1. 児玉直樹. 診療放射線学概論. 第1版. 東京：南江堂；2022：117-124.
- 3 論文
 1. Sasaki R, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. Behav Brain Res (JCR). 2021; Vol.412: 113433. (査読有)
 2. Kosugi N, Oshiyama C, Kodama N, Niwa SI. Predictability of a favorable outcome in schizophrenia associated with positive effects of "music therapy incorporated into cognitive remediation". Schizophr Res (JCR). 2021; Vol.238, 52-53. (査読有)
 3. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. Cereb Cortex (JCR). 2021; bhab370. (査読有)
 4. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of Relaxation by Autonomous Sensory Meridian Response. Front Behav Neurosci (JCR). 2021; Vol.15: 761621. (査読有)
 5. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Watanabe H, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: A voxel-based morphometric study. Neurosci Lett (JCR). 2022; Vol.772: 136445. (査読有)
 6. Sakurai N, Takahashi S, Takahashi D, Kodama N. The Usefulness of Bone Suppression Image-Based Temporal Subtraction Processing for the Improvement of Lung Nodule Detection on Chest Radiograph Images. 日本診療放射線技師会英文誌（協力学術団体），2021；28-35. (査読有)

7. 児玉直樹. 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修. 日本診療放射線技師会雑誌 (協力学術団体), 2021; Vol.68 No.4: 346-350.
 8. 児玉直樹. 医師の働き方改革と診療放射線技師法改正の経緯および改正の概要. INNERVISION. 2021; Vol.36 No.10: 41-44.
 9. 児玉直樹. 診療放射線技師の業務範囲の見直し 核医学検査を中心に. 映像情報Medical. 2021; Vol.53 No.12: 57-60.
 10. 児玉直樹. 法令改正による診療放射線技師の業務範囲の拡大. 医療機器学 (協力学術団体), 2021; Vol.91 No.6: 512-516.
 11. 高橋大志, 高橋真悟, 児玉直樹, 松尾仁司. 入浴時ヒートショックの体質的危険度評価のための抹消血管運動性の定量評価システムの開発. 日本冷凍空調学会論文集 (協力学術団体), 2021; Vol.38 No.4: 319-326. (査読有)
- 4 報告書
1. 児玉直樹, 浦上克哉, 中村匡秀, 小杉尚子. 基盤研究C, 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
1. 児玉直樹. 海外の技師教育制度, 職能団体とその学術大会. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜市), 2021.4.16. 【シンポジウム】
 2. 児玉直樹. 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修. 第74回北海道診療放射線技師会学術講演会 (札幌市), 2021.6.12. 【講演】
 3. 児玉直樹. 描画遂行過程の可視化による認知機能の自動推定手法. 第10回日本認知症予防学会学術集会 (横浜市), 2021.6.25.
 4. 児玉直樹. 認知症診断に必要な検査法と最新の話題. 第10回日本認知症予防学会学術集会 (横浜市), 2021.6.26. 【講演】
 5. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアによる診療放射線技師の新たな業務と告示研修—核医学検査を中心に—. なにわRIセミナー (大阪市), 2021.7.28. 【特別講演】
 6. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正による新たな業務と告示研修. 全国国立大学放射線技師会第25回オータムセミナー (東京都), 2021.10.14. 【特別講演】
 7. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアに対するJARTの取り組みと診療放射線技師の更なる活用について. 第37回日本診療放射線技師学術大会 (東京都), 2021.11.12. 【シンポジウム】
 8. 児玉直樹. 診療放射線技師法の改正と告示研修. 第13回中部放射線医療技術学術大会 (金沢市), 2021.11.20. 【教育講演】
 9. Kodama N. Progress and reversion in mild cognitive impairment: An 8-year follow-up MRI study. Radiological Society of North America 2021 (Chicago), 2021.11.28-12.2
 10. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正に伴う業務拡大, 告示研修, 今後の展望. 第5回三重県診療放射線技師学術大会 (津市), 2021.11.28. 【講演】
 11. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正による業務範囲拡大と告示研修. 第140回岡山県診療放射線技師会セミナー (岡山市), 2021.11.28. 【講演】
 12. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正による業務範囲の拡大. 2021年度新潟県診療放射線技師会技師長サミット (新潟市), 2021.12.10. 【講演】
 13. 児玉直樹. 診療放射線技師免許アップデート ~現状と未来~. 静岡県診療放射線技師会新春公開講演会 (静岡市), 2022.1.15. 【講演】
 14. 児玉直樹. 認知症予防と施策. 第11回日本認知症予防学会学術講演会 (東京都), 2022.2.10. 【講演】
 15. 児玉直樹. 診療放射線技師法改正に伴う業務拡大と告示研修. 岐阜県診療放射線技師会冬季セミナー (岐阜市), 2022.2.11. 【特別講演】
 16. 児玉直樹. 法改正による業務範囲の拡大と告示研修. 日本医療経営実践協会関東支部第8回ちば研究会

(千葉市), 2022.2.17. 【講演】

17. 児玉直樹. 医師・歯科医師から診療放射線技師へシフトする業務の概要. 第43回医療放射線の安全利用フォーラム (東京都), 2022.2.20. 【基調講演】

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師教育学会 (副会長), 日本認知症予防学会 (理事, 認知症予防専門士制度委員会委員長, 認定試験委員会委員長), 日本老年精神医学会, 日本認知症学会, 日本遠隔医療学会 (運営委員), 日本診療放射線学教育学会 (理事), 電子情報通信学会, 電気学会, 日本放射線技術学会, 日本データベース学会, ITヘルスケア学会, 日本老年社会学会, 新潟医療福祉学会, 新潟医用画像情報研究会 (世話人), 日本認知症予防学会新潟県支部 (世話人)

2) 学術集会の主催

1. 日本診療放射線技師会, 23rd Asia Australasia Conference of Radiological Technologists (AACRT), 実行委員長, 東京都, 2021.11.11-12.15.
2. 日本診療放射線技師会, 第37回日本診療放射線技師学術大会, プログラム委員, 実行委員, 東京都, 2021.11.11-11.14.
3. 日本認知症予防学会, 第11回日本認知症予防学会学術講演会, 実行委員, 東京都, 2021.2.20.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 編集委員長
2. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 査読委員
3. 日本診療放射線技師会, 日本診療放射線技師会誌, 査読委員
4. 日本診療放射線技師会, Journal of JART English Edition, Reviewer
5. 日本臨床衛生検査技師会, 認定認知症領域検査技師制度試験WG, 試験委員
6. 世界放射線技師会 (ISRRT), Artificial Intelligence Working Group, 専門委員
7. 電気学会, IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering, Reviewer
8. 日本認知症予防学会, 第10回日本認知症予防学会学術集会, 座長, 横浜市, 2021.6.24.
9. 日本認知症予防学会, 第10回日本認知症予防学会学術集会, 座長, 横浜市, 2021.6.25.
10. 日本データベース学会, 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2022), 座長, 名古屋市, 2021.3.1.
11. 日本データベース学会, 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2022), コメンテータ, 名古屋市, 2021.3.2.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関係法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2021.6.26.
2. 診療放射線技師新人研修会, 職業倫理と医療関係法令, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2021.7.24.
3. 音楽療法かけはしの会WEB講演会, 認知症予防と音楽療法, 講師, 音楽療法かけはしの会, 音楽療法士, Boston, 2021.8.22.
4. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2021.9.4.
5. 認知症予防専門士スキルアップセミナー, 認知症の予防と共生できるまちづくり, 講師, 一般社団法人日本認知症予防学会, 認知症予防専門士, 米子市, 2021.9.5.
6. 認知症予防専門士養成講座, 認知症予防の基礎と診断に必要な検査法, 講師, 一般社団法人日本認知症予防学会, 一般市民, 広島市, 2021.10.3.
7. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2021.10.9.

8. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症予防フレンドについて, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2021.10.12.
9. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症予防フレンドについて, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2021.10.18.
10. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症予防フレンドについて, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2021.11.8.
11. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2021.12.11.
12. 岐阜県介護予防推進指導者養成研修会, 認知症予防と音楽療法, 講師, NPO法人ぎふ音楽療法協会, 音楽療法士, 岐阜市, 2022.1.9.
13. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 診療放射線技師養成施設における臨床実習制度の理念と概要, 講師, 公益財団法人医療研修推進財団, 診療放射線技師, 東京都, 2022.1.15.
14. 介護セミナー, 介護保険制度の概要, 講師, 三井住友会海上あいおい生命, 三井住友会海上あいおい生命社員, 東京都, 2022.2.24.
15. Rt Value Up Seminar in Niigata, 診療放射線技師の業務範囲拡大の現状と将来, 講師, 富士フィルム富山化学, 診療放射線技師, 新潟市, 2022.3.3.
16. 診療放射線技師研修会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師法の改正とその対応, 講師, 公益財団法人日本対がん協会および公益財団法人結核予防会, 診療放射線技師, 東京都, 2022.3.17.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本診療放射線技師会（副会長, 国際委員会委員長, 診療放射線技師国家試験問題評価委員会委員, 医の倫理委員会委員, 学術教育委員会委員, 会員情報システム委員会委員, 臨床実習指導教育委員会委員, 新養成カリキュラム教育検討委員会委員, Radiological Technologists Practitioner教育検討委員会委員, 認定資格委員会委員, 国際認定資格委員会委員, 教育委員会委員), 新潟県診療放射線技師会（理事, 表彰委員会委員), 世界放射線技師会（Regional Coordinator for Professional Practice), 国際専門放射線技師認定機構（理事), 世界診療放射線技師教育財団（Ambassador）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020-2022年度, 基盤研究（C）, 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究代表者
2. 2021-2024年度, 国際共同研究強化（B）, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究代表者
3. 2019-2022年度, 基盤研究（A）, 在宅高齢者・認知症当事者の「こころ」の外化に基づく自助・互助支援システムの開発, 研究分担者
4. 2019-2023年度, 基盤研究（A）, 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
5. 2021-2024年度, 基盤研究（B）, 皮質ー基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 研究分担者
6. 2019-2022年度, 基盤研究（B）, 高解像度3DMRIによる耳音響認証のバイオメトリクス起源の解明, 研究分担者
7. 2019-2021年度, 基盤研究（C）, 血管機能定量化による入浴時ヒートショックの危険度判定システムの構築と評価, 研究分担者
8. 2020-2022年度, 基盤研究（C）, 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 新潟県診療放射線技師会学術奨励賞（2021.5.22）, 日本認知症予防学会浦上賞（2021.6.25）

3) 学外兼務講師等

1. 北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科, 生体物性工学, 医学総論Ⅱ, 2021.4.1-9.30.
- 9 学内委員会活動 研究・産官学連携推進機構(研究・産官学連携支援部長), 知的財産委員会(委員長), 利益相反マネジメント委員会(委員長), 科研費対策委員会(委員), 倫理委員会(委員), 教務委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員), 新潟QOLサポートコンソーシアム(委員), SHAINプロジェクト(委員)

氏名：宮地 幸久

- 1 研究題目 低線量放射線の影響解析
- 2 学会等研究発表
 1. 太田拓希, 神田陽向, 齋藤龍平, 千葉菜緒, 織部祐介, 宮地幸久, 低線量照射と各種ストレス負荷の組合せによる違いが造血系に及ぼす影響. 第58回日本アイソトープ・放射線研究発表会 2021.7. web開催
 2. 湯口志捺, 三浦睦記, 太田拓希, 小野樹, 神田陽向, 齋藤龍平, 捧奈央, 千葉菜緒, 織部祐介, 宮地幸久, 多種類の植物の種間に見られた放射線バイスタンダー効果の一考察. 第58回日本アイソトープ・放射線研究発表会 2021.7. web開催
 3. 小野樹, 捧奈央, 織部祐介, 宮地幸久, 低線量照射の精神神経系への影響をマウス行動観察から解析する. 第58回日本アイソトープ・放射線研究発表会 2021.7. web開催
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線影響学会, 日本分子生物学学会, 日本心臓核医学会, 新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 動物実験委員会, 毒劇物管理委員会, 大学院入試広報委員会

氏名：山口 弘次郎

報告事項なし

氏名：安達 登志樹

- 1 研究題目 デジタル胸部X線画像の正規化画素値による画像評価に関する研究, 遠隔による仮想画像医学授業に向けた基礎的研究, 単純胸部X線の被ばくに関する研究(新潟県内のDRLs)
- 2 学会等研究発表
 1. 安達登志樹, 診療放射線技師としてのキャリアデザイン. 日本放射線技術学会中部支部・第13回中部放射線医療技術学術大会(金沢), 2021.11.20. Web開催
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本診療放射線教育学会, 医用画像情報学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 全国労働衛生団体連合会, 胸部X線検査専門委員会, 第1回専門委員会, 審査員, 横浜, ナビオス横浜, 2021.4.16. Web会議
 2. 全国労働衛生団体連合会, 胸部X線検査第1回審査会, 審査委員, 東京, 全衛連本部, 2021.11.6.
 3. 全国労働衛生団体連合会, 胸部X線研修会, 研修委員, 東京, 三田NNホール, 2022.2.18-2.19, 対面+Web配信
 4. 全国労働衛生団体連合会, 労働衛生サービス機能評価, 評価委員(オンライン面接) 2022.2.21.
 5. 全国労働衛生団体連合会, 労働衛生サービス機能評価, 評価委員(オンライン面接) 2022.3.7.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
全国労働衛生団体連合会・胸部X線検査専門委員会(審査委員), 全国労働衛生団体連合会・労働衛生サービス機能評価(評価委員)

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 叙勲 (瑞宝双光章・2021.4.29)

氏名 : 大徳 尚司

1 研究題目 動脈硬化に関する研究 (予防医学)

2 論文

1. Onishi H, Yamamura O, Tsubouchi H, Hirobe T, Enomoto S, Yamamoto T, Daitoku S, Mizukami Y, Kishimoto T, Kai Y, Hashimoto Y, Hamano T, Kaku B, Terasawa H. Hypertension treatment status and ultrasonic cardiography findings in temporary housing residents after the Kumamoto earthquake: a cross-sectional study. *Arterial Hypertension* 2021; 25(2): 69-76. (review)
2. Onishi H, Yamamura O, Tsubouchi H, Hirobe T, Kosugi I, Enomoto S, Yamamoto T, Daitoku S, Satou N, Chiba H, Kai Y, Hashimoto Y, Hamano T, Terasawa H. Long-Term Prevalence of Disaster-Related Deep Vein Thrombosis in Minamiaso Village After 2016 Kumamoto Earthquakes: A Prospective Cross-Sectional Analysis. *Disaster Med Public Health Prep*.doi: <https://doi.org/10.1017/dmp.2021.271>. (review)

Tsubouchi H, Onishi H, Ueda S, Shibata M, Enomoto S, Maeda F, Hirobe T, Chiba H, Ota Y, Daitoku S, Yamamoto T, Sasaki K, Hanzawa K, Kai Y, Hashimoto Y, Hamano T, Nakamoto Y, Hayashi H, Yamamura O. Investigation of Contributing factors to Repetitive Recurrent Vein Thrombosis in the Post-Earthquake Chronic Phase and Characteristic Ultrasonographic Findings of Repetitive Recurrent Vein Thrombosis: Blowfish Sign: a cross-sectional study. *International journal of gerontology*, (In press) (review)

3 学会等研究発表

1. 黒田周也, 山村修, 坪内啓正, 大西秀典, 大徳尚司, 廣部健, 丹羽昭乃, 橋本洋一郎, 甲斐豊. 震災後慢性期における深部静脈血栓症発症率の経時的変化. 第46回日本超音波検査学会 (岐阜), 2021.5.8-5.9.
2. 大徳尚司, 佐藤未希, 中村雅俊, 伊藤篤司, 東江由起夫. 大腿切断者の義足歩行運動による下肢血流動態の分析. 第18回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2021.10.30.
3. 上村舞, 大徳尚司. COVID-19感染拡大の影響による - 大学生の睡眠時間と夢の関連性 - 第18回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2021.10.30.
4. 大徳尚司, 佐藤未希, 中村雅俊, 東江由起夫. 下肢切断者の義肢装具時の歩行による下肢血流機能の検討. 第62回日本脈管学会 (札幌). 2021.10.14-10.16.
5. 佐藤未希, 大徳尚司, 小林真理奈, 東江由起夫. 女性大腿切断者の鼠経リンパ切の大きさが義足ソケットにもたらす影響についての一考察. 第36回日本義肢装具学会 (大阪), 2021.10.16-10.17.
6. 大徳尚司, 佐藤未希, 吉田秀義. 喫煙による手指及び四肢への影響. 第15回日本禁煙学会 (大分), 2021.10.16-10.17.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師会, 日本超音波医学会, 日本消化器がん検診学会, 日本超音波検査学会, 日本心エコー図学会, 日本脳神経超音波学会, 日本脈管学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 日本高血圧学会, 日本カプセル内視鏡学会, 日本集団災害医学会, 日本心血管脳卒中学会, 日本脳ドック学会, 日本ACLS協会, 日本災害医療教育研修協会, 日本動脈硬化学会, 新潟医療福祉学会, 日本禁煙学会, 日本静脈学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本血管外科学会・日本脈管学会・日本静脈学会・日本動脈硬化学会 4学会認定構成血管診療技師認定機構

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟大学医歯学総合研究科先進血管病・塞栓症治療・予防講座. 新潟中越沖地震DVTフォロー検診. 平成16年に発生した新潟中越沖地震による車中泊で発生したエコノミークラス症候群の定期的フォローを実施した. 十日町地域地場産業振興センター. 2021.12.5.
 2. 福井大学地域医療推進講座. 福井県若狭町生き抜くプロジェクト. 福井県若狭町の地域公民館による健康チェックを実施した. 2021.12.
- 2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本ACLS協会 Read Instructor, 日本災害医学会MCLS Instructor, Emergo Instructor, 日本禁煙学会禁煙指導者
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 社会連携推進センター運営委員会
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 日本ACLS協会 一次救命講習 9.4. 新潟リハビリテーション病院
 2. 日本ACLS協会 一次救命講習 9.6. 長岡赤十字病院
 3. 日本ACLS協会 一次救命講習 3.3. 天神トレーニングラボ
 4. 日本ACLS協会 一次救命講習 4.28. 天神トレーニングラボ
 5. 日本ACLS協会 一次救命講習 4.29. 天神トレーニングラボ
- 7 学内委員会活動 社会連携推進センター運営委員会

氏名：前島 偉

- 1 研究題目 放射線治療（陽子線治療）における呼吸管理の研究，放射線治療計画装置におけるAI治療支援装置の開発
- 2 学会等研究発表
 1. 前島偉, 病院診療放射線技師から大学（診療放射線技師養成校）の教員への道, 日本赤十字社診療放射線技師会 第11回中部ブロック業務研修会, (web), 2021.9.11.「特別講演」
 2. 金澤圭介, 前島偉, サイバーナイフの基準ビームデータ測定における検出器の違いの検証(1)-PDD, OARの観点より-, 新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
 3. 水落菜月, 前島偉, サイバーナイフの基準データ測定における検出器の違いの検証(2)-OPFの観点より-, 新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会, 長野県診療放射線技師会（副会長）, 日本放射線腫瘍学会, 日本医学物理学会, 日本粒子線臨床研究会, 長野県放射線治療技術研究会, 日本粒子線治療技術研究会, ESTRO（European Society for Radiotherapy and Oncology）, ASTRO（American Society for Radiotherapy and Oncology）, PTCOG（Particle Therapy Co-Operative Group）
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第1回日本粒子線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2021.5.15.
 2. 信州放射線治療勉強会, 勉強会, 世話人代表, web研究会, 2021.7.17.
 3. 第2回日本粒子線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2021.12.4.
 4. 令和3年度 長野県放射線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2020.12.11.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 長野県核医学研究会, 研修会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修-法改正と長野県の進め方-促進活動, 講師, 長野県WEB開催, 2021.11.25.
 2. 長野県診療放射線技師会北信支部, 講演会, 医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告

示研修－長野県の進め方－促進活動，講師，長野県北信支部WEB開催，2021.12.18.

3. 長野県診療放射線技師会中信支部学会議，講演会，医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修－長野県の今後について－促進活動，講師，長野県中信支部WEB開催，2022.3.12.

2) 社会活動への参加協力

1. 粒子線スキヤニングQAガイドライン作成WG，著者，web会議，2021.9.2.
2. 長野県診療放射線技師会，副会長，総会，理事会，web会議，2021.4.19，5.23，6.14，8.30，11.1，2022.1.17，計6回
3. 長野県診療放射線技師会，フレッシュャーズセミナー講師，副会長，web会議，2021.7.10.
4. 長野県放射線治療技術研究会，一般演題座長，代表世話人，web研究会，2021.12.11.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

一般社団法人長野県診療放射線技師会（副会長）

5 学内委員会活動 入試委員会

氏名：吉田 秀義

- 1 研究題目 医用放射線利用における患者被ばくと術者被ばくの研究（放射線影響），放射線被ばくにおけるリスクコミュニケーションに関する共同研究（環境放射線；健康影響）
- 2 著書
 1. 畑中啓作，丸野透，佐藤秀幸，小林克明，出淵靖志，遠藤宏和，阪本壮志，高橋良光，鶴田陽和，堀知芳，吉田秀義，石田等，工藤剛実，丹下佳洋，砂子澤裕，右田平八，池上喜久夫，追手巍，川村宏樹，中村藤夫，改訂 第2種ME 技術実力検定試験 必勝ポイント帳. 東京 株式会社メジカルビュー社. 2022.1.10, 99-107.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本放射線技術学会，日本原子力学会，日本心血管インターベンション治療学会，全国循環器撮影研究会，オートプシーイメージング学会，日本アイソトープ協会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新発田北蒲原看護学院，放射線検査，2021.10.4，10.11，10.18，10.25.
- 5 学内委員会活動 安全衛生委員会，健康管理センター運営委員会

氏名：関本 道治

- 1 研究題目 医療放射線線量評価に関する研究（放射線計測学），環境放射線の研究（放射線計測学），放射線機器管理に関する研究（放射線機器学，放射線管理学），多職種連携医療専門職教育の研究（医学教育）
- 2 著書
 1. 関本道治，加藤洋. 日本放射線技術学会編：診断参考レベル運用マニュアル2020版第1版. 日本放射線技術学会. 2021年：8-28.
 2. Sekimoto M, Sato H, Sakamoto H (Editor), et al. Introduction to Safety and Management in Medical Imaging. JAPANESE SOCIETY OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGY. 2022: 150-172.
 3. 関本道治；磯辺智範，清水秀雄 他共編. 放射線安全管理学. 改訂3版. 東京：オーム社；2022年：128-154.
- 3 論文
 1. 辻本峻二，関本道治，根岸徹，他：マンモグラフィ検査におけるフェイスガードの延長による散乱線分布の検討. 日本保健科学学会誌（協力学術研究団体），2021年；24（3）：175-180.（査読あり）
- 4 学会等研究発表
 1. 関本道治. DRLと比較のための線量測定ワンポイント講習. 第9回東京都立病院放射線技師会学術部勉強会（WEB），2021.9.16.【教育講演】

2. 関本道治. 放射線場の強さと放射線量計測量. 第49回日本放射線技術学会秋季学術大会 (熊本), 2021.10.15. 【教育講演】
 3. 鎌田健太郎, 関本道治. デジタルファントムを用いた放射性核種の違いによる心筋SPECT画像の変化. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
 4. 大越朱音, 関本道治. マンモグラフィ撮影時に発生する散乱線による被検者への影響. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
 5. 高埜愛菜, 関本道治. 物理評価ファントムを用いたマンモグラフィの画質と診断参考レベル値との関係. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
 6. 瀧澤知世, 関本道治. 個人平均乳腺線量推定を目的とした乳房撮影用X線装置の強度分布の評価. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
 7. 石田理乃, 関本道治. 受像体から発生する散乱X線に対する平均乳腺線量への影響. 第21回新潟医療福祉学会 (新潟), 2021.10.30.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会 (専門部会委員, 診断領域線量標準センター委員), 日本核医学技術学会 (電子情報委員), The Asian Society of Nuclear Medicine Technology (HP management), 日本核医学専門技師認定機構 (教育委員), 日本診療放射線学教育学会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技術学会東北支部, 日本放射線技術学会東京支部 (専門委員会委員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本放射線技術学会, 第2回サーベイメータ活用セミナー, プログラム運営および司会, WEB, 2021.9.26.
 2. 日本放射線技術学会, 第49回秋季学術大会, プログラム委員, 熊本市, 2021.6.1-10.16.
 3. 日本放射線技術学会, 第78回総会学術大会, プログラム委員, 横浜市, 2021.11.1-2022.4.17.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本放射線技術学会, 第77回総会学術大会, 座長, 横浜市, 2021.4.17.
 2. 日本放射線技術学会, 第49回秋季学術大会, 座長, 熊本市, 2021.10.16.
 3. 日本放射線技術学会誌, 査読
- 6 社会活動
- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
厚生労働省・診療放射線技師国家試験作成委員会 (一般委員)
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本核医学専門技師認定機構 (教育委員), 日本工業標準調査委員会 (原案作成分科会委員)
- 7 学内委員会活動 学生進級制度プロジェクトチーム (委員), 教務委員会 (委員), 調査委員会 (委員)

氏名：橋本 薫

- 1 研究題目 根拠に基づいた認知症ケアのための医療と介護の連携手法に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本医療情報学会, 日本認知症ケア学会, 日本認知症予防学会, 日本放射線技術学会, 日本医用画像管理学会, 日本放射線技師教育学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会, 医療研修推進財団, 9.5, 10.10, 12.12, 1.16.
 2. ケアカフェ, ケアに活かす画像のみかた, 新潟県認知症ケア専門士会, 2.25.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県診療放射線技師会 (理事), 新潟県認知症ケア専門士会 (役員)

氏名：長谷川 晃

1 研究題目 虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発

2 論文

1. Yoshida A, Yongbum Lee, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. Automated heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. Measurement: Sensors. 8: 100127: 1-5, 2021. (査読あり)
2. 長谷川晃. Deep learningによるCCTA自動解析システム開発の現状. Precision Medicine. 2022; 5(1): 45-48.
3. Yoshida A, Kondo Y, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. U-Net-based image segmentation of the whole heart and four chambers on pediatric X-ray computed tomography. Radiological Physics and Technology. 2022. (review) (in press)

3 学会等研究発表

1. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 倉元達矢, 長谷川晃, 金沢勉. U-Netを用いた小児心臓CTからの全心臓領域分割. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会, 横浜, 4.15-4.18, 2021.
2. Yoshida A, Yongbum Lee, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. Automated heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. IMEKO2021 (XXIII World Congress of the International Measurement Confederation), Yokohama, Japan, August 30-September 3, 2021.
3. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 倉元達矢, 長谷川晃, 金沢勉. 深層学習を用いた小児心臓CTにおける心臓領域分割. 医用画像情報学会令和3年度秋季(第191回)大会, 新潟, 10.9, 2021.
4. Hasegawa A, Yoshida A. Automated Classification of Fragile Plaques and Fibrous Plaques on Coronary Computed Tomography Angiography using Deep Learning. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (Tokyo · Japan), 12-14 November 2021.

4 学会活動

1) 所属学会 日本放射線技術学会(中部支部CT研究会世話人), 日本診療放射線技師会, 医用画像情報学会, 日本CT技術学会, 富山県CT研究会(世話人), 日本医用画像工学会, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 日本放射線技術学会, 中部支部CT研究会北陸ブロック定例研究会, 世話人, (オンライン), 2021.5.19.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本放射線技術学会, 中部支部CT研究会北陸ブロック定例研究会, 記念講演座長, (オンライン), 2021.5.19.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. (公社)日本診療放射線技師会診療放射線技師技術講習「CT検査」, 画質・性能評価・線量特性2, 講師, (公社)富山県診療放射線技師会, 診療放射線技師, 富山県民会館701号室(富山市), 2021.12.12.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 若手研究(B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 研究代表者
2. 2020年度, 若手研究, 虚血性心疾患CADシステム開発のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 新潟医療福祉学会賞 会頭賞(2021.5.19)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟医療技術専門学校臨床検査学科2年, 画像検査学, 2021.10.1-2022.3.31.

氏名：大野 健

1 研究題目 磁気共鳴学, 磁気共鳴を用いた脳機能の解明

2 論文

1. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Watanabe H, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: A voxel-based morphometric study. *Neuroscience Letters* 2022, 772: 136445. (review)
2. Ohno K, Ohkubo M, Zheng B, Watanabe M, Matsuda T, Kwee IL, Igarashi H. GlyCEST: Magnetic Resonance Imaging of Glycine—Distribution in the Normal Murine Brain and Alterations in 5xFAD Mice. *Contrast Media & Molecular Imaging* 2021, 2021: 8988762. (review)
3. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of Relaxation by Autonomous Sensory Meridian Response. *Frontiers in Behavioral Neuroscience* 2021, 15(292). (review)
4. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. *Cerebral Cortex* 2021. (review)
5. Sasaki R, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. *Behavioural Brain Research* 2021: 113433. (review)

3 報告書

1. 大野健. 若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. Ohno K, Kera T, Ohkubo M, Watanabe M, Matsuda T, Igarashi H. GlyCEST: Magnetic Resonance Imaging of Glycine—Normal Distribution in the Brain and Alterations in 5xFAD Mice. The 11th NIPS-PRI-BRINU Joint Symposium (niigata), 2022.2.17-.2.18. 【シンポジウム】
2. 大野健, 計良妙, 大久保真樹, 渡辺将樹, 松田豪, 五十嵐博中. グリシン CEST-MR イメージング法の開発とアルツハイマー病モデルマウスへの応用. 第64回日本脳循環代謝学会(岐阜市), 2021.11.12-11.13.
3. Ohno K, Sakurai N, Kodama N. Brain metabolic alterations in anxiety disorder: 1H MRS study. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (web), 2021.11.12-11.15.
4. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Kodama N. Elucidation of brain function in the relaxation effect of ASMR. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (web), 2021.11.12-11.15.
5. 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. ¹H-MRSを用いた不安症状を反映した脳代謝物質変化の検出. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2021.10.30.
6. 櫻井典子, 田中桃花, 大野健, 笠井聡, 児玉直樹. 甘味と苦味の刺激に対する若者の脳機能の解明. 第21回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2021.10.30.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本脳循環代謝学会, 新潟医療福祉学会, 日本認知症予防学会

6 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県核医学技術研究会 幹事

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，若手研究，化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発，研究代表者
- 2) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 第21回新潟医療福祉学会会頭賞（2021.10.30），博士（医学）（2022.3.31）
- 8 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会，高等教育推薦センター運営委員会，運動機能医科学研究所（研究員）

氏名：織部 祐介

- 1 研究題目 小児疾患の放射線被ばくに関する研究（医療技術評価学），公衆放射線被ばくに関する研究（医学物理学），MRI高速撮像法に関する研究（医学物理学）
- 2 論文
 1. 織部祐介. 小児先天性心疾患におけるカテーテル手技の医療被ばく低減手法の検討. *BIO Clinica*. 2022; 37(3) : 61-63.
 2. Matsuura Y, Oribe Y, Kitamura T, Ueda K, Sato E, Umezumi M. The Pathway of Multinational Licensed Technologist Based on International Comparative Study on Licensing Systems of Radiologic Technologists. *診療放射線学教育*. 2021; 9. (査読あり)
 3. 織部祐介. 小児先天性心疾患におけるカテーテル手技の放射線被ばく線量解析. *Precision Medicine*. 2021; 4(6) : 600-604.
- 3 報告書
 1. 織部祐介. 科研費若手研究，小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析，実施状況報告書，令和元年度～令和3年度，研究代表者
 2. 山城秀昭，三浦富智，織部祐介，中田章史，篠田壽. 科研費国際共同研究加速基金，インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価，実施状況報告書，令和元年度～令和4年度，研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 湯口志捺，三浦陸記，太田拓希，小野樹，神田陽向，齊藤龍平，捧奈央，千葉菜緒，織部祐介，宮地幸久. 多種類の植物の種間に見られた放射線バイスタンダー効果の一考察. 第58回アイソトープ・放射線研究発表会（Web開催），2021.7.7-7.9. https://doi.org/10.50955/happyokai.1.0_126
 2. 太田拓希，神田陽向，齋藤龍平，千葉菜緒，織部祐介，宮地幸久. 低線量照射と各種ストレス負荷の組合せによる違いが造血系に及ぼす影響. 第58回アイソトープ・放射線研究発表会（Web開催），2021.7.7-7.9. https://doi.org/10.50955/happyokai.1.0_127
 3. 小野樹，捧奈央，織部祐介，宮地幸久. 低線量照射の精神神経系への影響をマウス行動観察から解析する. 第58回アイソトープ・放射線研究発表会（Web開催），2021.7.7-7.9. https://doi.org/10.50955/happyokai.1.0_128
 4. 織部祐介. カテーテル手技における低減可能な不要な放射線被ばくの実測－臨床における医療被ばくを低減する余地の実測－. 第21回新潟医療福祉学会学術大会（新潟市），2021.10.30.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医学物理学会，レギュラトリーサイエンス学会，日本放射線技術学会，日本超音波検査学会，日本放射線腫瘍学会，新潟医療福祉学会，日本小児放射線学会，日本先天性心疾患インターベンション学会，日本診療放射線技師会（国際委員），日本医学物理士会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本診療放射線技術学会第49回秋季学術大会，計測（外部照射，粒子線）治療，座長，熊本，2021.10.15.
 2. 新潟医療福祉学会，英文誌査読，2021.11.5. 依頼
- 6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 東京支部国際交流WEBカンファレンス, シンガポールの臨床現場を体験して知った日本との違い, 講師, 日本放射線技術学会, 日本放射線技術学会会員, 東京都 (WEB開催), 2022.2.13.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 - 日本診療放射線技師会 (国際委員)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 令和元年度, 科研費若手研究, 小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析, 研究代表者
 2. 令和元年度, 科研費国際共同加速強化B, インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価, 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 日本小児放射線学会・優秀論文賞 (小池賞) (2021.6)
- 8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会 (部会長)

氏名：櫻井 典子

- 1 研究題目 画像診断部門におけるコンピュータ支援診断システム (CAD) の研究, 機能的MRIによる脳内メカニズムの研究
- 2 論文
 1. Sakurai N, Takahashi S, Takahashi D, Kodama N. The Usefulness of Bone Suppression Image-Based Temporal Subtraction Processing for the Improvement of Lung Nodule Detection on Chest Radiograph Images. Journal of Japan Association of Radiological Technologists English edition. 2021; Vol.67, No.812, p.21-27. (review)
 2. Sasaki R, Watanabe H, Miyaguchi S, Otsuru N, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Onishi H. Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. Behavioural brain research. 2021; 412: 113433. (review)
 3. Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. Cerebral cortex. 2021; 00: 1-9. (review)
 4. Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of relaxation by autonomous sensory meridian response. Frontiers In Behavioral Neuroscience. 2021; 15: 761621. (review)
 5. Nagasaka K, Otsuru N, Sato R, Watanabe H, Sakurai N, Ohno K, Kodama N, Onishi H. Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: a voxel-based morphometric study. Neuroscience Letters. 2022; 136445. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. 櫻井典子, 田中桃花, 大野健, 笠井聡, 児玉直樹. 甘味と苦味の刺激に対する若者の脳機能の解明. 新潟医療福祉学会・第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
 2. Sakurai N, Ono K, Kasai S, Kodama N. Elucidation of brain function in the relaxation effect of ASMR. Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists・23rd AACRT, 2021.11.11-11-14. (online).
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技師教育学会, 日本認知症予防学会
- 5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 日本診療放射線技師会, 厚生労働省告示第273号研修実施, 実技研修ファシリテーター, 新潟市・新潟医療福祉大学, 3.5-3.6.

6 学内委員会活動 広報委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 吉田 皓文

1 研究題目 深層学習手法を用いた小児CTにおける心臓自動認識手法の開発

2 論文

1. [Yoshida A](#), Yongbum Lee, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. Automated heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. Measurement:Sensors. 2021; 8(100127): 1-5. (review)
2. [Yoshida A](#), Kondo Y, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. U-Net-based image segmentation of the whole heart and four chambers on pediatric X-ray computed tomography. Radiological Physics and Technology. 2022. (review) (in press)

3 学会等研究発表

1. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 倉元達矢, 長谷川晃, 金沢勉. U-Netを用いた小児心臓CTからの全心臓領域分割. 第77回日本放射線技術学会総会学術大会, (横浜), 2021.4.15-4.18.
2. [Yoshida A](#), Yongbum Lee, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. Automated heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. IMEKO2021 (XXIII World Congress of the International Measurement Confederation), Yokohama, Japan, August 30-September 3, 2021.
3. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 倉元達矢, 長谷川晃, 金沢勉. 深層学習を用いた小児心臓CTにおける心臓領域分割. 医用画像情報学会令和3年度秋季(第191回)大会(新潟), 2021.10.9.
4. Hasegawa A, [Yoshida A](#). Automated Classification of Fragile Plaques and Fibrous Plaques on Coronary Computed Tomography Angiography using Deep Learning. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (Tokyo・Japan), 12-14 November 2021.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本医学物理学会, 日本医用画像工学会, 医用画像情報学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 告示研修(実技研修), スタッフ, 日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2022.3.5-3.6.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(B), 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者.
2. 2021年度, 科研費国際共同研究強化B, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 研究分担者.

4) 健康科学部

(1) 健康栄養学科

氏名：永井 徹

- 1 研究題目 地域高齢者のサルコペニア予防と栄養支援に関する研究，回復期リハビリテーション患者の栄養アセスメントに関する研究
- 2 論文
 1. 永井徹，岩森大，北林紘，坂井邦彦，齋藤泰晴．地域高齢者の舌圧と栄養状態に関わる横断分析 舌圧は栄養状態に関わる食品摂取の多様性と関連するの？．地域ケアリング．2021；23(5)：36-41．（査読あり）
 2. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，稲葉洋美，岩森大，永井徹，澁谷顕一，田村典子，増田紘之，佐藤直人，海和美咲，野村友紀，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉．介護予防における大学との連携事業2021年度報告書，2021.4-2022.3，分担者
- 3 学会等研究発表
 1. 永井徹，齋藤泰晴，石月公美子，堂井真理，坂井邦彦，庭山雅幸，高橋忍，吉田可奈子，遠藤沙保里，野崎彰子，山石理恵，笠原純子，今井亜希，北林紘．舌の運動機能は食品摂取の多様性と関連するの？：地域高齢女性における検討．第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会（神戸市），2021.7.21-7.22．
 2. 永井徹，齋藤泰晴．回復期リハビリテーション患者における栄養状態と匂い感度の関連．第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会（神戸市），2021.7.21-7.22．
 3. Nagai T, Nunokawa K, Tokairin N, Honma K, Saito Y, Iwamor H, Miyaoka Y. Utility of food odors in facilitating subjective appetites of convalescent rehabilitation patients. World Dysphagia Summit 2021 (Nagoya, Japan), 2021.8.20-8.22.
 4. 永井徹，齋藤泰晴，高橋忍，坂井邦彦．地域高齢者における匂い評価と栄養状態および口腔状態の検討．第68回日本栄養改善学会学術集会（オンライン開催），2021.10.1-10.2．
 5. 永井徹．臨床栄養教育と臨床実習における現状と課題．第43回日本臨床栄養学会総会 第42回日本臨床栄養協会総会 第19回大連合大会（オンライン開催），2021.10.2-10.3．【シンポジウム】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床栄養代謝学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本栄養改善学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. いきいきセミナー，新潟市公民館事業，フレイル対策を楽しく学ぶ，新潟市横越地区公民館，高齢者，新潟市，2021.7.23．
 2. 関川村介護予防講演会，サルコペニア予防，関川村役場，高齢者，関川村，2021.9.24．
 3. いまさら聞けない？しろね塾，新潟市公民館事業，まだ間に合う！フレイル予防対策実践講座，新潟市白根地区公民館，高齢者，新潟市，2022.3.25．
 - 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 新聞，新潟日報，運動と栄養でサルコペニア予防，2022.4.10．
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長，新潟市，2021.4.1-2022.3.31．
 - 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県栄養士会理事，新潟県栄養士会研修部長，新潟県栄養士会研究教育事業部長
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度，科研費基盤研究（C），サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究，研究代表者

2. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会 (委員長), 栄養科学研究センター, ロコモティブ症候群予防研究センター (新潟県介護予防連携事業栄養業務)

氏名: 稲葉 洋美

1 研究題目 共食に関する研究, 高校生の食と健康に関する研究, スポーツ栄養

2 論文

1. Inaba H, Marina F. Rziankina, Hoshino F, Takano K, Kseniia E. Potapova, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Self-Assessment of Health Status and Willingness to Be Vaccinated in Adolescents from the Niigata Prefecture and the Khabarovsk Region during COVID-19, *Healthcare*, 10(2), 184, 2022. (査読あり)
2. Inaba H, Rziankina F M, Kostromina A S, Sakauchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S, Ishii N, Saito T, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Weight perception and diet behavior of Japanese and Russian adolescent girls. *Health*, 13, 405-415, 2021. (査読あり)
3. 稲葉洋美, 永桶久美, 小日向桃香, 阿部菜生, 佐野翠, 平松采弓, 海和美咲, 澁谷顕一, 共食者の存在と他者の摂食量情報がヒトの摂食量に与える影響, *日本家政学会誌*, 73, 4, 212-217, 2022. (査読あり)
4. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美, テクスチャ改善したテイクアウトメニューの検証と喫食時に及ぼす影響, *地域ケアリング*, 24, 1, 60-66, 2022. (査読あり)
5. 岩森大, 澁谷顕一, 永井徹, 稲葉洋美, 嚥下障害予防に向けた固形食へのとろみ付与効果, *アグリバイオ*, 6, 2, 139-144, 2022. (査読あり)
6. 稲葉洋美, スポーツ選手 (高校生と大学生) の食と栄養, 食と医療, 20, 42-47, 2022.
7. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 佐藤直人, 海和美咲 (分担). 介護予防における大学との連携事業 2021年度報告書, 作成・執筆 新潟医療福祉大学, ロコモティブ症候群予防研究センター

3 学会等研究発表

1. Hattori (Inaba) H, Kaiwa M, Ishii N, Hoshino F, Ishigami K. Report on Food and Health of Japanese 15-year-old Boys and Girls-Comparison of Special Promotion Class and Regular Class. Interregional Conference with International Participation, Schoolchildren Health (Khabarovsk, Russia), Online, 2021.4.28. 【招待講演】
2. Inaba H, Ishigami K, Takano K, Hoshino F, Rziankina FM, Potapova K.E. Comparative self-assessment of the health status of 15-year-old schoolchildren of Khabarovsk and Niigata city in the context of the new coronavirus infection COVID-19 pandemic, II -nd Far Eastern International Medical Congress, Current problems of pediatrics and neonatology, (Khabarovsk, Russia), Online, 2021.10.12. 【招待講演】
3. Hoshino F, Kojima A, Yano A, Yamamoto H, Natsui S, Inaba H. Research on dietary supplement use by Japanese high school students, *American Society for Nutrition*, 2021.6.7-6.10, America Online.
4. 稲葉洋美, 加藤稚菜, 齋藤真美, 土田杏奈, 丸山梨央, 夏井紗野, 小林真里奈, 菊元孝則, 星野芙美. 寮生活をしている高校生アスリートに対する補食の指導, 第7回日本スポーツ栄養学会, 2021.7. Online.
5. 稲葉洋美, 坂内元気, 伊藤滯奈, 海和美咲, 石上和男. 日本とロシアの思春期女子生徒における自身の体重認知と食習慣の関係, 第73回日本家政学会, 神戸, 2021.5.28-5.30.
6. 稲葉洋美, 坂内元気, 伊藤滯奈, 海和美咲, 石上和男. HBSC質問紙を用いた思春期男女の健康行動, 第62回日本食生活学会, 東京, 2021.5.22.
7. 稲葉洋美, 永桶久美子, 小日向桃香, 阿部菜生, 佐野翠, 平松文美, 海和美咲, 澁谷顕一. 他者の存在と摂食量情報が摂食量に与える影響, 第68回日本栄養改善学会, オンライン開催, 2021.10.1-10.2.

8. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
9. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 高野晃輔, Marina F Rziankina, 石上和男. COVID-19感染症拡大下の高校生における主観的健康度悪化に与える因子, 第21会新潟医療福祉学会, 新潟, 2021.10.30.
10. 斎藤トシ子, 渡辺優奈, 竹内瑞希, 稲葉洋美. オンラインによる栄養教育実習および基礎臨床実習の試み, 第10回日本栄養学教育学会, オンライン開催, 2021.9.25.
11. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テイクアウトメニューにおけるテクスチャー改善が喫食時評価に及ぼす影響, 第21回新潟医療福祉学会, 新潟, 2021.10.30.
12. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食生活状況との関連, 第31回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
13. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
14. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉睦明, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
15. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本家政学会, 日本食生活学会, 日本栄養・食糧学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会

5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 食・メンタル支援に感謝 新潟医福大に「銅」報告, 2021.10.9.
 2. 新聞, 新潟日報, 感染禍で25%「体調悪化」, 2022.3.21.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 新潟県連携事業, 介護予防における大学との連携事業, 2021年度報告書 新潟医療福祉大学, 2022年3月発行, 2021.4-2022.3, 研究代表者: 佐藤成登志, 研究分担者: 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 佐藤直人, 海和美咲, 能村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉
- 2) 学外兼務講師等
 1. 放送大学, 食と健康, 2021.12.18, 12.19.

- 7 学内委員会活動 広報委員会, 大学院入試広報委員会, SHAINプロジェクト, アスリートサポート研究センター, 栄養科学研究センター(センター長)

氏名: 遠藤 和男

- 1 研究題目 医療福祉分野における統計学の応用についての研究, 胆道がんの成因に関する疫学的研究, 健康学習・健康教育の評価に関する研究
- 2 論文

1. Mishra K, Behar A, Shukla P, Tsuchiya Y, Endoh K, Asai T, Ikoma T, Nakamura K, Kapoor VK. Risk factors for gallbladder cancer development in northern India: Agallstones-matched, case-control study. *Indian J Med Res.* 2021; 154: 699-706.
- 3 学会等研究発表
 1. 渡邊博史, 大森豪, 遠藤和男, 古賀寛, 縄田厚, 古賀良生. 膝関節の運動器リハビリテーション 定量評価に基づいた膝伸展筋力に関する変形性膝関節症の疫学的検討と診療における大腿四頭筋setting exerciseの効果. 第32回日本運動器科学会学術集会(久留米市), 2021.5.8-5.9.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会(理事), 日本病態栄養学会(評議員), 日本産業衛生学会(地方会理事), 日本公衆衛生学会, 日本衛生学会, 日本疫学会, 日本医学教育学会, 日本健康教育学会, 新潟医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県環境影響評価審査会(会長), 新潟県生活習慣病対策協議会循環器等検診部会(委員), 新潟県脳卒中情報システム委員会(委員), データ管理取扱委員会(がん登録情報について, 委員), 新潟県教育庁安全衛生委員会(委員・産業医), 新潟産業保健推進センター(独法)相談員会議(委員)

氏名: 齋藤 トシ子

- 1 研究題目 加齢性疾患・フレイル予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究10年後追跡
- 2 論文
 1. Inaba H, Marina F, Svetlana A, Sakauchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S, Ishii N, Saito T, Takano K, Konstantin V, Ishigam K. Weight Perception and Diet Behavior of Japanese and Russian Adolescent Girls. *Health (JCR).* 2021; 13: 405-415. (review)
 2. Matsushita N, Nakanishi Y, Watanabe Y, Kitamura K, Kabasawa K, Takahashi A, Saito T, Kobayashi R, Takachi R, Oshiki R, Tsugane S, Iki M, Sasaki A, Yamazaki O, Watanabe K, Nakamura K. Association of coffee, green tea, and caffeine with the risk of dementia in older Japanese people. *J Am Geriatr Soc (JCR).* 2021; 69(12): 3529-3544. (review)
 3. Nakamura K, Saito T, Takahashi A, Kobayashi R, Oshiki R, Kitamura K, Watanabe Y. Serum 25-hydroxyvitamin D levels are not associated with impaired postural sway in community-dwelling older women: a 6-year follow-up study. *J Musculoskelet Neuronal Interact (JCR).* 2021; 21(4): 501-508. (review)
 4. Takeuchi M, Horikawa C, Hatta M, Takeda Y, Nedachi R, Ikeda I, Morikawa S, Kato N, Yokoyama H, Aida R, Tanaka S, Kamada C, Yoshimura Y, Saito T, Fujihara K, Araki A, Sone H. Secular Trends in Dietary Intake over a 20-Year Period in People with Type 2 Diabetes in Japan: A Comparative Study of Two Nationwide Registries; Japan Diabetes Complications Study(JDCS) and Japan Diabetes Clinical Data Management Study (JDDM). *Nutrients (JCR).*2021; 13(342): 2-15. (review)
 5. 串田修, 新保みさ, 鈴木志保子, 中村丁次, 齋藤トシ子. 管理栄養士・栄養士資格取得者の就業の実態に関する調査研究: 基本属性, 就業状況と職務満足度との関連. *日本栄養士会雑誌.* 2021; 64(10): 37-44. (査読あり)
 6. 新保みさ, 串田修, 鈴木志保子, 中村丁次, 齋藤トシ子. 管理栄養士・栄養士資格取得者の就業の実態に関する調査研究: 栄養士会未入会者及び研修会非参加者の特徴. *日本栄養士会雑誌.* 2022; 65(6): 29-37. (査読あり)
 7. 石澤幸江, 小熊隆夫, 今井信行, 齋藤トシ子. 定期的な咀嚼練習により栄養状態に変化が認められた統合失調症患者の1症例. *日本栄養士会雑誌.* (査読あり)(印刷中)
- 3 学会等研究発表

1. 斎藤トシ子, 渡辺優奈, 竹内瑞希, 稲葉洋美. 実験実習・臨地実習等におけるリモート実習. 第10回日本栄養学教育学会 (web開催), 2021.9.25.
 2. 齊藤公二, 小林由季, 後藤萌里, 齋藤美奈, 仲野ひかり, 斎藤トシ子. 中学生へのインターネット教育による調理学習の効果～一方向動画学習群と課題動画学習群の比較～. 第68回日本栄養改善学会 (誌上+WEB開催), 2021.10.1-10.25.
 3. 石澤幸江, 渡辺優奈, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生の食事摂取状況と自覚的健康度の関係. 第21回新潟医療福祉学会 (誌上開催), 2021.10.30.
 4. 渡辺優奈, 石澤幸江, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生における食事摂取状況の実態. 第21回新潟医療福祉学会 (誌上開催), 2021.10.30.
 5. 石澤幸江, 渡辺優奈, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 大学生の朝食摂取頻度と自覚的健康度の関係. 第16回給食経営管理学会学術総会 (Web開催), 2021.11.20-11.26.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本栄養改善学会 (評議員, 関東・甲信越支部幹事), 日本栄養・食糧学会, 日本公衆衛生学会, 日本衛生学会, 日本健康教育学会, 日本栄養学教育学会 (理事), 日本骨粗鬆症学会, 日本病態栄養学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健福祉連携教育学会, 新潟栄養・食生活学会 (幹事)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 栄養学学術連合, 栄養サミット2021コミットメント検討, タスクフォース
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅲ, 栄養管理～高齢者の健康寿命の維持・延伸をもたらす栄養ケアと歯科連携の重要性, 講師, web開催, 2021.8.26.
 2. 2021年度新潟市給食施設指導会, 日本人の食事摂取基準(2020年版)改定のポイントと活用について, 講師, 対面&web開催, 2021.9.28.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 情報誌, 産業保健21, Book Review『カラダにやさしいコンビニごはん100』, 2022.1, 第107号.
 2. 雑誌, 2021年度機関誌「栄養新潟」(新潟県栄養士会), 特別寄稿「東京栄養サミット2021をアジア栄養士会議2022に繋げよう」, 2022.3. vol.54.
 3. 雑誌, 月刊『臨床栄養』(医歯薬出版株式会社), 大学院紹介のコラム, 2022. Vol.140, No.4, 494-495. (3月末発行)
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立木崎小学校との連携, 子どもが作る弁当の日, ゼミ学生指導, 新潟市, 2021.6-11. (3回)
 2. 日本文理高等学校出張講義, 2021.10.5.
 - 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

国民健康・栄養調査企画解析検討会(構成員), 新潟食料農業大学, 倫理審査委員会(外部委員)
 - 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人日本栄養士会(副会長), 日本栄養士会研究教育センター(創設準備委員長), 東京栄養サミット2021, アジア栄養士会議: Asian Congress of Dietetics: ACD2022(組織委員会副委員長, プログラム編成部長)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究10年後追跡, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, FD委員会(2021.9-)

氏名：森泉 哲也

- 1 研究題目 幼・小・中・高等学校における食育の教育課程作成及び具体的な指導法等に関する研究（健康教育）
- 2 著書
 1. 森泉哲也, 月刊「学校給食」, Vol73 No.806, 東京：全国学校給食協会；2022.1.1：30-40.
 2. 養護教諭実務研究会 編, 養護教諭－知っておきたい保健と教育のキーワード－, 追録第127号, 東京：第一法規；2022.2.3：2401-2416.
 3. 文部科学省中学生用食育教材作成委員会（座長・森泉哲也）, 「食」の探究と社会への広がり, 文部科学省；2022.2：7-8・32-36.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和3年度栄養教諭・学校栄養職員オンライン研修会, 食に関する指導の全体計画と食育の評価について, 講師, 秋田市教育委員会, 栄養教諭・学校栄養職員, 秋田市教育研究所, 2021.8.19.
 2. 学校食育研究会第10回研究大会（オンライン）, 食育のカリキュラム・マネジメント, 講師, 学校食育研究会（女子栄養大学）, 教諭・栄養教諭・学校栄養職員・大学教員, 女子栄養大学, 2021.8.29.
 3. 第72回全国学校給食研究協議大会（オンライン）, 中学校における学校給食を活用した食育の充実, 分科会指導者, 文部科学省・北海道教育委員会, 管理職・教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・学校給食調理員・保護者・行政食育担当者, 北海道札幌市, 2021.10.21・10.22.
 4. 食育指導者養成オンライン研修, 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方, 講師, 独立行政法人教職員支援機構, 指導主事・栄養教諭・栄養職員・管理職・教諭, つくば中央研修センター, 2021.10.26.
 5. 教職実践演習特別講義, 学習指導案作成の基本, 講師, 新潟県立大学, 学生（3年生）・教職担当教員, 新潟市, 2021.12.14.
 6. 新潟大学附属新潟小学校初等教育研究会, 教科等横断的な視点による食育指導, 分科会指導者, 新潟大学附属新潟小学校, 管理職・教諭・栄養教諭・学校栄養職員, 新潟大学附属新潟小学校, 2021.11.24（オンライン）・2022.2.5（オンライン）
 7. 聖籠町食育推進検討会, 聖籠町の食育の推進における課題, 指導助言者, 聖籠町教育委員会, 園・小中学校の管理職・給食主任・保護者代表・栄養教諭・管理栄養士・行政の食育担当者, 聖籠町役場, 2021.8.23・10.8（オンライン）・2022.2.21（対面）
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
文部科学省中学生用食育教材作成委員会座長, 文部科学省文部科学大臣表彰学校給食表彰審査会委員長, 独立行政法人教職員支援機構食育指導者養成研修カリキュラム検討委員, 新潟市教育委員会新潟市立荻川小学校評議員
 - 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
特定非営利活動法人21世紀構想研究会学校給食甲子園実行委員
- 5 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（副委員長）

氏名：八坂 敏一

- 1 研究題目 痛み・痒みに関わる脊髄後角局所神経回路に関する研究, 味覚と口腔内一般感覚に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理学会（評議員）, 日本神経科学会, 日本疼痛学会, 日本運動器疼痛学会, 日本薬理学会, Society for Neuroscience, International Association for the Study of Pain
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. Scientific Reports (Nature 姉妹紙) Editorial Board Member
 2. Frontiers in Neuroanatomy Editorial Board Member
 3. Frontiers in Pain Research / Pain Research Methods Editorial Board Member
 4. 第43回日本疼痛学会におけるシンポジウムの企画・座長, WEB開催, 2021.12.10-12.11.
- 3 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), ミクログリアはニューロンに接触して何をしているのか?—疼痛モデルによる解析—, 研究代表者(延長)
 2. 2019年度, 科研費基盤研究(S), 神経障害性疼痛に直結する神経回路動作異常メカニズムの解明と創薬への応用, 研究分担者
 3. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 神経節マクロファージとニューロンとのコンタクトは神経因性疼痛のスイッチとなるか?, 研究分担者
 4. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定, 研究代表者
 - 4 学内委員会活動 科研費対策委員会, 入試委員会, 動物実験委員会(委員長), 毒物・劇物管理委員会(副委員長), 遺伝子組換え実験安全委員会

氏名: 澁谷 顕一

- 1 研究題目 筋出力時の筋・脳活動に関する研究(運動生理学), 嗜好性に関する認知科学的研究(認知科学)
- 2 論文
 1. Miyamoto M, Hanatani Y, Shibuya K. Relationship between anxiety and menstrual irregularity among elite rowers. *Nutrients (JCR)*. 2021. 13, 3436. <https://doi.org/10.3390/nu13103436>. (査読あり)
 2. Shibuya K, Kasuga R, Sato N, Santa R, Homma C, Miyamoto M. Preliminary findings: preferences of right-handed people for food images oriented to the left vs. right side. *Food Quality and Preference (JCR)*. 97: 104502, 2022. (査読あり)
 3. 稲葉洋美, 永桶久美子, 小日向桃香, 阿部菜生, 佐野翠, 平松彩弓, 海和美咲, 澁谷顕一. 共食者の存在と他者の摂取量情報がヒトの摂取量に与える影響. *日本家政学会誌(協力学術研究団体)*, 印刷中. (査読あり)
 4. Asao A, Wada K, Nomura T, Shibuya K. Time course changes in corticospinal excitability during repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery. *Neuroscience Letters (JCR)*. 771: 136427, 2022. (査読あり)
 5. Asao A, Nomura T, Shibuya K. Effects of repetitive peripheral magnetic stimulation through hand splint materials on induced movement and corticospinal excitability in health participants. *Brain Science (JCR)*. 12: 280. (査読あり)
- 3 報告書
 1. 介護予防における大学との連携事業 2021年度報告書(研究分担者)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理人類学会, 日本人類働態学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会和文誌編集委員
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
スポーツ庁J-Starプロジェクト評価責任者, World Rowing(世界ボート連盟)Federation Meeting Member
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人日本オリンピック委員会（強化スタッフ）、公益財団法人日本オリンピック委員会エリートアカデミー（サポートスタッフ）、公益社団法人日本ボート協会強化委員会（委員）、公益社団法人日本ボート協会タレント発掘委員会（スタッフ）、公益社団法人日本ボート協会医科学委員会（スタッフ）

- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会、学術委員会、大学院教務委員会、栄養科学研究センター（研究員）

氏名：鈴木 一恵

- 1 研究題目 地域の減塩活動に関する研究（公衆栄養学）、災害食に関する研究（公衆栄養学）

2 論文

1. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tsuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2022; 21(2): 64-81. (review)

3 学会等研究発表

1. 鈴木一恵, 波多野誠, 竹内瑞希, 渡辺優奈, 石上和男. 食事パターンと飽和脂肪酸エネルギー比率との関連～平成27年新潟県民健康・栄養実態調査の結果から～. 新潟医療福祉学会（新潟市）, 2021.10.30.
2. 石澤幸江, 渡辺優奈, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生の食事摂取状況と自覚的健康度の関係. 新潟医療福祉学会（新潟市）, 2021.10.30.
3. 渡辺優奈, 石澤幸江, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生における食事摂取状況の実態. 新潟医療福祉学会（新潟市）, 2021.10.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会（評議員）、日本循環器病予防学会、日本公衆衛生学会、日本災害食学会、新潟医療福祉学会、新潟栄養・食生活学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本栄養改善学会, 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 食育研修会, 第3次五泉市食育推進計画の取組状況と課題, 講師, 五泉市学校教育課, 五泉市小中学校教員, 五泉市, 2021.8.4.
2. 高校生のための出張講座, 健康寿命の延伸は適塩から, 講師, 県立高田北城高校, 高校生, 県立高田北城高校, 2021.9.29.
3. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 五泉高校学生, 五泉市, 2021.11.15.
4. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 五泉高校学生, 五泉市, 2021.11.22.
5. 三条地域昼食充実プロジェクト検討会, 働く世代の健康づくり支援と食環境整備, 講師, 新潟県三条健康福祉環境部, 管内健康づくり関係者, 三条市, 2022.3.16.

2) 社会活動への参加協力

1. (一社)健康ビジネス協議会, おもいやり災害食認定制度事業審査委員会, 委員, 新潟市, 2021.8.1-2022.3.31.
2. 新潟市食と花の推進課, あったかおうちごはんの動画づくり, 学生指導, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2021.9.3-2022.3.31.
3. 新潟県三条地域振興局健康福祉環境部, 働く世代の昼食サラメシ事業（健康面に配慮した弁当及び情報発信ツール作成等）, 学生指導, 新潟市・新潟医療福祉大学, 2021.8.25-2022.3.16.
4. 新潟市食と花の推進課, コラボ弁当プロジェクト（直売所と連携した健康に配慮した弁当づくり）, 学生指導, 新潟市・北区わくわくファーム, 2022.1.31-3.31.

5. 五泉市学校教育課, 第4次食育推進計画策定, 五泉市食育推進アドバイザー, 五泉市, 2021.4.1-2022.3.31.
 6. 五泉市健康福祉保健課, 研究活動(住民健診における随時尿中Na/K比と食行動との関連), 研究代表(報告書作成), 五泉市, 2021.4.1-2022.2.22.
 7. 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部, 地域高齢者の「食」をサポートする体制整備検討会, 研究代表, 長岡市, 2022.3.4.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
五泉市食育推進委員会(食育推進事業アドバイザー), 五泉市食育推進検討委員会(食育推進事業アドバイザー), 柏崎市地産地消推進会議(副議長), 柏崎市食育推進会議(副議長), 新潟県健康に配慮した中食検討会議(検討委員), 出雲崎町栄養業務食検討会(検討委員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本栄養改善学会(評議員), 日本栄養改善学会関東・甲信越支部(幹事)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士・保健学(2022.3.17)
- 7 学内委員会活動 国家試験対策委員会

氏名：田村 典子

- 1 研究題目 血小板血栓症のメカニズムに関する研究, 抗血小板血栓効果のある食品の探索
- 2 論文
 1. Tamura N, Shimizu K, Shiozaki S, Sugiyama K, Nakayama M, Goto S, Takagi S, Goto S. Important Regulatory Role of Erythrocytes on Platelet Adhesion to the von Willebrand Factor on the Wall Under Blood Conditions. *Thrombus Haemost* 2021. DOI:10.1055/a-1677-9499. (査読あり)
 2. Tamura N, Goto S, Yokota H, Goto S. Contributing Role of Mitochondrial Energy Metabolism on Platelet Adhesion, Activation and Thrombus Formation under Blood Flow Conditions. *Platelets* 2022. DOI: <https://doi.org/10.1080/09537104.2022.2046722>. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. Tamura N. Important Physical Regulatory Roles of Erythrocytes on Platelet Adhesion Under Blood Flow Conditions. *ESCHM-ISCH-ISB 2021. (Fukuoka/Japan)*, 2021.7.7. [シンポジウム]
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本血栓止血学会(代議員), 日本バイオレオロジー学会, 日本機能性食品医用学会
- 5 学内委員会活動 図書館学習支援委員会, 国際交流専門委員会, 遺伝子組換え安全委員会, メンタルヘルス支援室学科担当 栄養科学研究センター

氏名：山崎 貴子

- 1 研究題目 調理加工・保存等における食品成分およびテクスチャーの変化
- 2 著書
 1. 安藤精一, 浦本裕美, 海老塚広子, 小嶋文博, 鬼頭幸男, 竹山恵美子, 館和彦, 福島正子, 福田泰樹, 山崎貴子, 由良亮, 吉川秀樹:小関正道, 鍋谷浩志. 編著, 食料と環境問題, 無機質, 三訂マスター食品学Ⅰ. 東京:建帛社:2021:6-10, 94-101.
- 3 学会等研究発表
 1. 山崎貴子. さつまいも「シルクスイート」の加熱後マルトース量とでんぷんの糊化度～ベニアズマ, ベニはるかとの比較～. 日本調理科学会2021年度大会(東京:オンライン), 2021.9.7-9.8.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 日本栄養食糧学会, 新

新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第68回日本栄養改善学会学術総会, 査読委員, オンライン開催, 2021.10.1-10.2.

5 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 大学の研究一足早く体感, 2021.9.4.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究(C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築:調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究代表者

7 学内委員会活動 教務委員会(副委員長), 毒物・劇物管理委員会

氏名: 石澤 幸江

1 研究題目 大学生の食事摂取状況と自覚的健康度との関連に関する研究, 統合失調症患者の咀嚼と栄養状態に関する研究

2 論文

1. 石澤幸江, 小熊隆夫, 今井信行, 斎藤トシ子. 定期的な咀嚼練習により栄養状態に変化が認められた統合失調症患者の1症例. 日本栄養士会雑誌. (査読あり)(印刷中)

3 学会等研究発表

1. 石澤幸江, 渡辺優菜, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生における食事摂取状況と自覚的健康度の関係. 第21回新潟医療福祉学会学術集会. 新潟市, 2021.10.30.
2. 渡辺優菜, 石澤幸江, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 新潟医療福祉大学生における食事摂取状況の実態. 第21回新潟医療福祉学会学術集会. 新潟市, 2021.10.30.
3. 石澤幸江, 渡辺優菜, 鈴木一恵, 斎藤トシ子. 大学生の朝食摂取頻度と自覚的健康度の関係. 第16回給食経営管理学会学術総会, Web開催, 2021.11.20-11.26.
4. 星野美美, 石澤幸江. テキストマイニングを活用した給食経営管理臨地実習前教育における検討. 第16回給食経営管理学会学術総会, Web開催, 2021.11.20-11.26.
5. 村田憲章, 松井由美子, 栗原桂, 石澤幸江. オンライン実施となった「連携基礎ゼミ」の学生アンケート結果の報告. 第21回新潟医療福祉学会学術集会. 新潟市, 2021.10.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本給食経営管理学会, 日本栄養改善学会, 日本病態栄養学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本サルコペニア・フレイル学会, 新潟県栄養・食生活学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県理学療法士会50周年記念事業市民講座, 感染症に負けない体づくり「簡単・美味しい感染症予防のバランス食」, 一般市民, 新潟朱鷺メッセ, 2021.9.5.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会, 令和3年度第1回「助言者のためのフォローアップ研修会」, 実行委員, 新潟市・薬剤師会館, 2021.9.12.
2. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会, 令和3年度第2回「助言者のためのフォローアップ研修会」, 実行委員, 新潟市・薬剤師会館, 2021.12.5.
3. 新潟県介護予防のための地域ケア個別会議助言者, 令和3年度管理栄養士フォローアップ研修会, 実行委員, 新潟市・ユニゾンプラザ, 2022.2.20.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人新潟県栄養士会(代表理事 副会長), 新潟骨を守る会(幹事), 新潟栄養・食生活学会(幹

事), 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会 地域ケア個別会議 (実行委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究分担者

7 学内委員会活動 教務委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会 (連携基礎ゼミ実行部会長)

氏名: 岩森 大

1 研究題目 高齢者の食事形態と食品のテクスチャに関する研究

2 論文

1. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善したテイクアウトメニューの検証と喫食時に及ぼす影響, 地域ケアリング, 24, 1, 60-66, 2022. (査読あり)
2. 岩森大, 澁谷顕一, 永井徹, 稲葉洋美. 嚥下障害予防に向けた固形食へのとろみ付与効果, アグリバイオ, 6, 2, 139-144, 2022. (査読あり)
3. 介護予防における大学との連携事業 2021年度報告書, 作成・執筆 新潟医療福祉大学, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 佐藤直人, 海和美咲 (分担)
4. 永井徹, 岩森大, 北林紘, 坂井邦彦, 齋藤泰晴. 地域高齢者の舌圧と栄養状態に関わる横断分析 舌圧は栄養状態に関わる食品摂取の多様性と関連するのか?. 地域ケアリング, 2021; 23(5): 36-41. (査読あり)

3 報告書

1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2021, 研究代表者
2. 永井徹, 岩森大, 宮岡洋三, 伊藤加代子. 科研基盤研究 (C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2021, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 外出自粛下におけるテクスチャ改善したテイクアウトメニューの検討, 第62回 日本食生活学会学術集会, 2021.5.
2. 岩森大, 片野佑美, 川見友恵, 宮岡里美, 宮岡洋三, 井上誠. 市販炭酸飲料へのとろみ付与による炭酸刺激間の影響, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術集会, 2021.8.
3. Nagai T, Iwamori H, Nunokawa K, Tokairin N, Honma K, Saito Y, Miyaoka Y. Utility of food odors in facilitating subjective appetites of convalescent rehabilitation patients. World Dysphagia Summit 2021, 2021.8.
4. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テイクアウトメニューにおけるテクスチャ改善が喫食時評価に及ぼす影響, 新潟医療福祉学会, 2021.10.
5. 寺尾幸子, 岩森大. 動画媒体を用いた包丁技術教育の効果, 新潟医療福祉学会, 2021.10.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本調理科学会 (総務), 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本官能評価学会, 日本口腔リハビリテーション学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 新潟歯学会, 新潟栄養食生活学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本調理科学会, 査読
 2. An Interdisciplinary Journal, 査読

6 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟 (通年)

2. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，運営委員（通年）
- 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
 - 新潟県栄養士会（広報委員）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 科研基盤研究（C），とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究，研究代表者
 2. 科研基盤研究（C），サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究，研究分担者
- 8 学内委員会活動 学生委員会（副委員長），交通安全委員会（副委員長），高等教育推進センター運営委員会（副委員長），栄養科学研究センター（副センター長）

氏名：川上 心也

- 1 研究題目 個体の栄養状態が卵子の成熟に与える影響，哺乳動物卵子の成熟機序に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本卵子学会，北信越畜産学会，新潟医療福祉学会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2022年度～2026年度，基盤研究（C），個体のエネルギー摂取不足は卵子の発育に影響するのか？，研究代表者

氏名：寺尾 幸子

- 1 研究題目 動画媒体を用いた学生の包丁技術教育に関する研究
- 2 論文
 1. 寺尾幸子，岩森大. 動画を用いた調理技術教育の実践と課題. 新潟栄養・食生活学会誌. 2022；22：4-9.
- 3 学会等研究発表
 1. 寺尾幸子，岩森大. 動画媒体を用いた包丁技術教育の効果と課題. 第10回日本栄養学教育学会学術総会（オンライン），2021.9.25.
 2. 寺尾幸子，岩森大. 動画媒体を用いた包丁技術教育の効果－課題成績の比較と感想の分析から－. 第21回新潟医療福祉学会学術総会（新潟），2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養改善学会，日本病態栄養学会，日本調理科学会，日本栄養学教育学会，調理技術教育学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県介護予防事業栄養介入プログラム，栄養からの対策・調理編，調理動画撮影，新潟県介護予防事業，地域高齢者，オンライン，2021.10-
- 6 学内委員会活動 入試委員会

氏名：星野 美美

- 1 研究題目 アスリートの食習慣・睡眠の実態とそれらがコンディションやパフォーマンスに与える影響について，児童のやせ願望とその実態について，高校生の睡眠時間と健康について
- 2 論文
 1. Inaba H, Marina F. Rziankina, Hoshino F, Takano K, Kseniia E. Potapova, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Self-Assessment of Health Status and Willingness to Be Vaccinated in Adolescents from the Niigata Prefecture and the Khabarovsk Region during COVID-19. Halthcare.

2022 Jan 18; 10(2):184. (査読有)

3 学会等研究発表

1. 稲葉洋美, 坂内元気, 伊藤滯奈, 海和美咲, 星野美美, 石上和男. HBSC質問紙を用いた思春期男女の健康行動. 第62回日本食生活学会 (オンライン), 2021.5.
2. Hoshino F, Kojima A, Yano A, Yamamoto H, Natsui S, Inaba H. Research on dietary supplement use by Japanese high school students. American society for Nutrition, Nutrition Live Online 2021. 2021.6.
3. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 一般大学生の睡眠状況と食事状況についての調査報告. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2021.10.
4. Inaba H, Hoshino F, Takano K, Potapova K.E., Rziankina Marina Fedorovna, Zhmerenetsky K.V., Ishigami K. Comparative self-assessment of the health status of 15-yearold schoolchildren of Khabarovsk and Niigata city in the context of the new coronavirus infection COVID-19 pandemic. International Scientific and practical Conference "Current problems of pediatrics and neonatology" Far East International Medical Congress. 2021.10.12.
5. 星野美美, 石澤幸江. テキストマイニングを活用した給食経営管理臨地実習前教育における課題検討. 第16回給食経営管理学会学術総会 (オンライン), 2021.11.
6. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学指定強化部活動女子選手の睡眠状況と定性的食物摂取頻度調査についての報告. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.
7. 稲葉洋美, 加藤稚奈, 齋藤真美, 土田杏奈, 丸山梨央, 夏井紗野, 小林真里奈, 菊元孝則, 星野美美. 寮生活をしている高校生アスリートに対する補食の指導. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本栄養食糧学会, 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本給食経営管理学会, 日本臨床スポーツ医学会

5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報, 感染禍で25%「体調悪化」, 2022.3.12.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 北越高等学校, 1年生総合的な探求の時間, 探求課題の設定, 探求学習の指導・評価, 新潟市, 2021.7-2022.3.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部(幹事・事務局)

6 学内委員会活動 同窓会・生涯学習連携推進委員会(委員)

氏名: 増田 紘之

- 1 研究題目 運動中の活動筋疲労について, トレーニングによる骨格筋代謝適応効果について(運動生理生化学)
- 2 報告書
 1. 増田紘之. 科学研究費基金若手研究(B), 運動が骨格筋の血糖取り込みを高める機序-ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して-, 研究成果報告書, 2017-2019(延長), 研究代表者
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 関川村介護予防講演会, サルコペニア予防のための運動, 演者, 中高年者, 関川村役場 健康福祉課, 2021.9.24.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，科学研究費基金基盤研究（C），代謝物質としての乳酸から見えてきた，活動筋－交感神経フィードバック神経回路，代表

2) 学外兼務講師等

1. 中央大学保健体育研究所 ヒューマンパフォーマンス研究班（客員研究員），2021.4.1-2022.3.31.
2. 中央大学保健体育研究所 スポーツ医学研究班（客員研究員），2021.4.1-2022.3.31.

6 学内委員会活動 動物実験委員会，国家試験・資格試験対策委員会，ロコモティブ症候群予防研究センター，栄養科学研究センター

氏名：渡辺 優奈

1 研究題目 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況，栄養・食生活状況に関する研究，妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量に関する研究

2 論文

1. 藤浪未沙，善方裕美，渡辺優奈，井畑穰，安藤希，小谷野豊，石川大仁，細谷吉勝，佐藤嘉純，小松令以子．妊婦を対象とした桑の葉青汁飲用による腸内環境改善効果の検討－パイロット研究．アレルギーの臨床．2021；41(5)：38-45．（査読あり）
2. 入山八江，稲村雪子，渡辺優奈，川村美和子，久志田順子，牧野令子．訪問栄養指導が在宅高齢者のQOL，BMI，疾病の改善に及ぼす効果と要因．日本栄養士会雑誌．2021；64(9)：31-43．（査読あり）
3. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tsuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 21(2): 64-81. (review)

3 報告書

1. 渡辺優奈．若手研究，妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に着目して～，研究成果報告書，2020.4-2023.3，研究代表者

4 学会等研究発表

1. 藤浪未沙，善方裕美，井畑穰，小谷野豊，安藤希，渡辺優奈，石川大仁，細谷吉勝，松本美保，善方菊夫，佐藤嘉純，小松令以子．生後1か月の皮膚状態と皮膚細菌叢および腸内細菌叢の関連．第45回日本小児皮膚科学会学術大会（現地（東京）・オンラインハイブリッド開催），2021.7.3-7.4.
2. 斎藤トシ子，渡辺優奈，竹内瑞希，稲葉洋美．オンラインによる栄養教育実習及び基礎臨床実習の試み．第10回日本栄養学教育学会学術総会（オンライン開催），2021.9.25．【シンポジウム】
3. 渡辺優奈，石澤幸江，鈴木一恵，斎藤トシ子．新潟医療福祉大学生における食事摂取状況の実態．第21回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン開催），2021.10.30.
4. 石澤幸江，渡辺優奈，鈴木一恵，斎藤トシ子．新潟医療福祉大学生における食事摂取状況と自覚的健康度の関係．第21回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン開催），2021.10.30.
5. 鈴木一恵，波多野誠，竹内瑞希，渡辺優奈，石上和男．食事パターンと飽和脂肪酸エネルギー比率との関連～平成27年新潟県民健康・栄養実態調査の結果から～．第21回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン開催），2021.10.30.
6. 藤浪未沙，善方裕美，渡辺優奈，井畑穰，上原萌美，小谷野豊，安藤希，石川大仁，細谷吉勝，松本美保，佐藤嘉純，小松令以子．妊婦を対象とした桑の葉青汁の長期継続摂取による腸内環境改善効果の検討．第36回日本女性医学学会（現地（大阪市）・オンラインハイブリッド開催），2021.11.6-11.7.
7. 石澤幸江，渡辺優奈，鈴木一恵，斎藤トシ子．大学生の朝食摂取頻度と自覚的健康度との関係．第16回日本給食経営管理学会学術総会（オンライン開催），2021.11.20-11.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本栄養改善学会，日本栄養学教育学会，日本栄養・食糧学会，日本女性

医学学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本栄養改善学会関東・甲信越支部, 第3回実践栄養学研究セミナー, チューター, オンライン開催, 2021.4-2022.1.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 眼育さばえ, 目と栄養のおはなし, 講師, 新潟医療福祉大学・鯖江市包括連携事業, 市民(幼児~小学生向け), オンライン配信, 2021.10-

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県栄養士会, 生涯教育研修会 動画公開説明会, 講師, 新潟市, 2021.6.10.
2. 新潟県栄養士会, 2021年度新潟県介護予防のための地域ケア個別会議助言者管理栄養士スキルアップ研修会, 運営スタッフ, 新潟市・オンライン同時開催, 2022.2.20.
3. 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部, 地域高齢者の「食」をサポートする体制整備検討会, データ分析者, 長岡市, 2022.3.4.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費若手研究, 妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解明~鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に着目して~, 研究代表者
2. 2021年度, 株式会社ナチュラルサイエンス共同研究費, 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況, 栄養・食生活状況に関する研究, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学教育学部, 栄養学(食品学を含む), 2021.10.1-2022.3.31.

8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名: 竹内 瑞希

1 研究題目 透析患者の栄養管理, 栄養教育に関する研究, 栄養に関する知識Databaseの活用について

2 論文

1. Takeuchi M, Horikawa C, Hatta M, Takeda Y, Nedachi R, Ikeda I, Morikawa S, Kato N, Yokoyama H, Aida R, Tanaka S, Kamada C, Yoshimura Y, Saito T, Fujihara K, Araki A, Sone H. Secular Trends in Dietary Intake over a 20-Year Period in People with Type 2 Diabetes in Japan: A Comparative Study of Two Nationwide Registries; Japan Diabetes Complications Study (JDCS) and Japan Diabetes Clinical Data Management Study (JDDM). *Nutrients*. 2021 Sep 28; 13(10): 3428. (review)
2. Ferreira ED, Hatta M, Takeda Y, Horikawa C, Takeuchi M, Kato N, Yokoyama H, Kurihara Y, Iwasaki K, Fujihara K, Maegawa H, Sone H. Higher Iron Intake Is Independently Associated with Obesity in Younger Japanese Type-2 Diabetes Mellitus Patients. *Nutrients*. 2022 Jan 4; 14(1): 211. (review)
3. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tsuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2022; 21(2): 64-81. (review)

3 学会等研究発表

1. 竹内瑞希, 堀川千嘉, 治田麻理子, 武田安永, 加藤則子, 前川聡, 斎藤トシ子, 藤原和哉, 曾根博仁. 日本人2型糖尿病患者における野菜・果物摂取量の組合せと肥満リスク. 第75回日本栄養・食糧学会大会, 2021.7.
2. 鈴木一恵, 波多野誠, 竹内瑞希, 渡辺優奈, 石上和男. 食事パターンと飽和脂肪酸エネルギー比率との関連~平成27年新潟県民健康・栄養実態調査の結果から~. 新潟医療福祉学会(新潟市), 2021.10.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本病態栄養学会, 日本静脈経腸栄養学会, 日本栄養改善学会, 新潟栄養・食生活学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 五泉市健康福祉保健課, 研究活動 (住民健診における随時尿中Na/K比と食行動との関連), データ解析, 2021.4.1-2022.2.22.
2. 北越高校, 探求の時間, テーマの提供, 2021.7.1-2022.3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 科研費基盤研究C, 給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 博士 (医学) 新潟大学 (2022.3.23), 第75回日本栄養・食糧学会大会 トピックス賞 (2021.7.9)

7 学内委員会活動 健康管理センター運営委員

(2) 健康スポーツ学科

氏名：西原 康行

1 研究題目 Embodied Knowledge, Human Resource Management

2 著書

1. 西原康行, 生田孝至, 姫野完治. 教師のわざ 研究の最前線. 東京：一荃書房；2022：196-222.

3 論文

1. 西原康行, 内山渉. バスケットボールコーチの再現認知における発話の特徴：固定カメラ映像とVR映像による熟達コーチと未熟達コーチの違い. 体育学研究 (協力学術研究団体), 2022；67：113-124. (査読あり)

4 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Research on reproduction recognition of sports instructors using VR video. 20th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >), 2021.8.21-8.23.
2. Nishihara Y. How to grasp the competence of physical education teachers in Japan. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2021.9.5. 【特別講演】
3. 西原康行. 大学スポーツの教学マネジメントの実践. 第3回全国大学体育スポーツ研究フォーラム (京都：立命館大学 < Zoom >), 2021.8.3. 【教育講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツ教育学会, 新潟医療福祉学会, 日本教育工学会, 日本教育実践学会, Federation International d Education Physique (FIEP), North American Society for Sport Management (NASSM), European College of Sports Science (ECSS), International Association for Development of the Information Society (IADIA)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会 代議員
2. 体育学研究 査読委員
3. 大学体育スポーツ教育学研究 編集委員
4. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
5. スポーツ産業学研究 査読委員
6. Educational Technology Research, Peer Reviewer
7. ECNSI Journal of Education, Editorial Board

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2021.4.17.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2021.4.25.
3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.5.22-5.23.
4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.5.29-5.30.
5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.6.12-6.13.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.7.30-8.1.
7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2021.10.30.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2021.11.27.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞【囲み記事】，新潟日報，近づく五輪開幕，2021.6.27.
 2. 新聞，新潟日報，五輪戦いの後，2021.8.20.
 3. 新聞，新潟日報，休日部活動 どう対応？，2021.1.17.
 4. TV，UX：ゆうナビ，プロとして再び夢の舞台へ，2022.3.8.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 4. 石川県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」，地域と学校の融合，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 6. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」，地域と学校の融合，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 7. 燕市総合型地域スポーツクラブ，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- スポーツ庁全国高等学校総合体育大会【インターハイ】実行委員会（監査役），新潟県スポーツ推進審議会（会長），新潟県スポーツ推進プラン実行会議（委員長），新潟県部活動改革委員会（委員長），新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会（委員），新潟県スポーツ協会（評議員），新潟文化・スポーツコミッション（委員長），新潟市スポーツ推進審議会（会長），新潟市スポーツ推進計画策定会議（委員長），新潟シティマラソン事業者選定委員会（委員長），新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会（委員長），燕市部活動のあり方委員会（委員長），村上市部活動のあり方委員会（委員長），見附市部活動のあり方検討委員会（委員長），弥彦村部活動あり方検討委員会（委員長）
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
- 日本スポーツ協会（コーチデベロッパー），新潟県スポーツ協会（評議員），全国体育系大学連絡会（研究幹事）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度，科研費基盤研究（C），保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発，研究分担者
 2. 2018年度，科研費基盤研究（B），授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築，研究分担者
 3. 2019年度，科研費基盤研究（B），VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発，研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部，部長，2021.4.1-2022.3.31.
 2. 剣道部部長，2021.4.1-2022.3.31.
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 事業創造大学院大学，スポーツビジネス特論，2021.10.1-2022.3.31.
 2. 新潟大学，スポーツ経営学，2021.4.1-2022.3.31.
 3. 日本スポーツ協会，上級指導者・上級コーチ養成講師（スポーツマネジメント），2021.4.1-2022.3.31.
 4. 日本体育施設協会，体育施設管理士養成講師（スポーツ施設のマネジメント），2021.4.1-2022.3.31.
 5. 日本スポーツ協会，上級指導者・上級コーチ養成講師（コーチング），2021.4.1-2022.3.31.
- 8 学内委員会活動 総務会，社会連携・同窓会・生涯学習推進機構，アスレティックデパートメント推進機構，同窓会・生涯学習推進委員会（委員長），強化部推進委員会（委員長），将来計画機構，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，シチズンシップ教育研究センター（センター長），身体教育研究センター（センター

長)

氏名：大森 豪

- 1 研究題目 変形性膝関節症の病態解明に関する疫学研究（予防医学），変形性膝関節症に対する筋力訓練の効果に関する研究（臨床医学），膝関節の3次元歩行運動解析（生体工学），成長期骨折発生に関する疫学研究（公衆衛生学，予防医学），膝前十字靭帯発生メカニズムに関する運動学的研究（生体工学，臨床医学），スポーツにおける疲労骨折発生予防の調査研究（予防医学，臨床医学），健康スポーツ用装具の開発（臨床医学，スポーツ医学）
- 2 著書
 1. 大森豪；石橋恭之監，出家正隆編．評価基準．膝関節鏡視下手術．1版．東京：文光堂；2021：288-306.
 2. 大森豪；津村弘，三浦裕正，松田秀一，岡崎賢 編．リハビリテーション（術後リハ），膝間s熱外科学．1版．東京：南江堂；2021：147-152.
- 3 論文
 1. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Murayama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. Peer J. 2021; DOI10.7717/peerj.11092. PMID: 33868810. (review)
 2. Nishino K, Koga H, Koga Y, Tanaka M, Nawata A, Endoh K, Arakawa M, Omori G. Association of isometric quadriceps strength with stride and knee kinematics during gait in community dwelling adults with normal knee or early radiographic knee osteoarthritis. Clin Biomech. 2021; E-pub, PMID: 33770532, DOI: 10.1016/j.clinbiomech.2021.105325. (review)
 3. Mochizuki T, Tanifuji O, Omori G, Nishino K, Tanaka M, Koga H, Mori T, Koga Y, Kawashima H. The coronal inclination of the medial tibial plateau affects coronal gait kinematics for varus osteoarthritic knees. Knee Surg Sport, Traumatol, Arthrosc. 2022; online DOI 10.1007/s00167-022-07019-x. (review)
 4. 大森豪. 変形性膝関節症の臨床病態とリスクファクター. Pharma Medica. 2021(June); 39: 37-40.
 5. 渡邊博史, 田中正栄, 西野勝敏, 大森豪, 古賀寛, 望月友晴, 森清友亮, 坂上勇太, 古賀良生. 変形性膝関節症X線定量評価に基づく進行予測のための疫学要因の検討. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 33-38. (査読あり)
 6. 森隆裕, 坂上勇太, 望月友晴, 古賀良生, 森清友亮, 古賀寛, 大森豪, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治. 膝前後単純X線画像における変形性膝関節症進行度の定量的評価システムの開発の検討. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 39-43. (査読あり)
 7. 平野健流, 林豊彦, 渡邊聡, 古賀良生, 大森豪, 田邊裕治, 小林公一. 円板状半月板に伴う大腿骨外側顆形態異常の3次元評価. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 57-62. (査読あり)
 8. 森清友亮, 森隆裕, 古賀良生, 望月友晴, 大森豪, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治. 荷重-非荷重における大腿骨脛骨間の相対位置変化解析. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 63-66. (査読あり)
 9. 鈴木亮平, 望月友晴, 笹川圭祐, 大森豪, 田邊裕治. 形状最適化手法を組み込んだ有限要素解析による大腿骨骨皮質幅変化の検討. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 73-78. (査読あり)
 10. 佐藤直樹, 小林公一, 渡邊聡, 大森豪, 坂本信, 古賀良生, 田邊裕治. ACL損傷前後における付着部間距離の変化. 臨床バイオメカニクス 2021; 42: 269-274. (査読あり)
 11. 大森豪. 新潟県のスポーツ医療を支える-新潟県スポーツドクター協会とその活動. 新潟県医師会報 2021; 861: 17-19.
 12. 大森豪. 早期変形性膝関節症の治療：日常生活動作. 関節外科 2021; 40: 33-37.
 13. 大森豪. 成長期スポーツ診療の留意点. 日本臨床スポーツ医学会誌 2021; 29: 142-143. (査読あり)
- 4 報告書
 1. 大森豪, 古賀寛, 田邊祐治, 小林公一, 坂本信. 研究基盤 (C), 変形性膝関節症の病態解明-長期疫学及び新しい運動学的アプローチ, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者.

5 学会等研究発表

1. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－. 第40回大和市整形外科医会（大和市），2021.6.12. 【特別講演】
2. 大森豪. 医工連携医による変形性膝関節症の研究－新潟スタイル－. 第33回日本機械学会バイオエンジニアリング講演会ジョイントセッション（東京都），2021.6.25. 【シンポジウム】
3. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－. 南西部整形外科医会（新座市），2021.6.30. 【教育研修講演】
4. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－. 新潟県臨床整形外科医会（新潟市），2021.7.3. 【教育研修講演】
5. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－. 北海道臨床整形外科医会（札幌市），2021.10.2. 【特別講演】
6. 大森豪. 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－. 第34回日本臨床整形外科学会（新潟市），2021.10.5. 【ランチョンセミナー】
7. 大森豪. 膝関節に対する shock wave－基礎，Shock Wave セミナー（日本運動器Shock wave研究会（web開催），【セミナー講師】
8. 稲葉洋美，江玉陸明，星野美美，海和美咲，菊元孝則，熊崎昌，伊藤渉，平林怜，大森豪. 捕食の摂取習慣が摂取エネルギーおよび栄養素量に与える影響，第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
9. 内山祈，江玉陸明，富樫亮弥，伊藤溪，大矢多恵，工藤良大，坪野啓，横田裕丈，平林怜，関根千恵，大森豪，影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション，第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
10. 星野美美，稲葉洋美，江玉陸明，菊元孝則，熊崎昌，伊藤渉，平林怜，大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食生活状況との関連，第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
11. 松浦由生子，松永直人，阿久澤弘，大森豪，金岡恒治. エリート競泳選手の背泳ぎ泳時の筋シナジー解析－肩関節障害既往有無による比較－第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
12. 三瀬貴生，栗田剛寧，鎌切翔平，阿久澤弘，押川智貴，松永直人，江玉陸明，大森豪，金岡恒治. Scapular Dyskinesia が泳動作中の肩甲骨周囲筋活動及び肩甲骨挙動に及ぼす影響. 32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
13. 横田裕丈，平林怜，関根千恵，伊藤渉，菊元孝則，熊崎昌，三瀬貴生，稲葉洋美，松浦由生子，大森豪，江玉陸明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響－周波数特異性の検討－，第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
14. 西須一紗，関根千恵，林はるな，平林怜，横田裕丈，高林知也，山本勘太，大森豪，江玉陸明. ジャンプヘディングシュート動作における大幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
15. 林はるな，関根千恵，西須一紗，平林怜，横田裕丈，高林知也，山本勘太，大森豪，江玉陸明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
16. 鈴木秀知，西野勝敏，田中正栄，大森豪. Vertical Stop Jump Task の衝撃吸収局面における鉛直床反力と膝関節運動との関係. 第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
17. 菊元孝則，小林真理奈，江玉陸明，伊藤渉，稲葉洋美，熊崎昌，三瀬貴生，横田裕丈，平林怜，関根千恵，松浦由生子，久保雅義，大森豪. 第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
18. 熊崎昌，市川浩，大森豪. 高校ラグビー選手における脳震盪発生時に受ける身体加速度. 第32回日本臨床スポーツ医学会（東京都），2021.11.13-11.14.
19. 関根千恵，横田裕丈，平林怜，伊藤渉，菊元孝則，熊崎昌，三瀬貴生，稲葉洋美，松浦由生子，大森豪.

- 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
20. 丸山紗枝, 関根千恵, 舎川真侑, 横田裕丈, 平林怜, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
21. 坪野啓, 工藤亮太, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山新, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
22. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副韌帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
23. 菅原大和, 小林公一, 佐藤卓, 渡邊聡, 大溪一孝, 坂本信, 大森豪, 古賀良生. 近位脛骨関節面半自動推定法に関する研究. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16.
24. 田中正栄, 渡邊博史, 古賀良生, 西野勝敏, 森隆裕, 坂上勇太, 大森豪, 遠藤和男, 古賀寛, 望月友晴. 変形性膝関節症X線定量的進行度の経時評価の課題. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16.
25. 高橋雄也, 小林公一, 渡邊聡, 坂本信, 田邊裕治, 大森豪, 古賀良生. 同一膝のACL損傷前後におけるキネマティクス評価. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16.
26. 西野勝敏, 大森豪, 古賀寛, 田中正栄, 望月友晴, 富山泰行, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 古賀良生. モーションキャプチャーシステムを用いた変形性膝関節症の歩行分析. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16. 【シンポジウム】
27. 富山泰行, 望月友晴, 谷藤理, 大森豪, 川島寛之. 健常人の立脚歩行初期における動的3次元骨軸変化. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16.
28. 望月友晴, 谷藤理, 西野勝敏, 佐藤卓, 大森豪, 古賀良生, 川島寛之. 3次元歩行解析と3次元アライメント測定システムを用いた変形性膝関節症の歩行自動的骨軸変化. 第48回日本臨床バイオメカニクス学会(宮崎市), 2021.11.15-11.16.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本整形外科学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会(評議員), 日本臨床スポーツ医学会(理事), 日本整形外科スポーツ医学会(評議員), 日本臨床バイオメカニクス学会(評議員), 日本人工関節学会(評議員), 日本運動器科学会(評議員), ISAKOS(国際関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会), 東北整形災害外科学会, 膝OAと運動・装具療法研究会(代表世話人), 日本運動器shock wave研究会(幹事), スポーツ傷害フォーラム(幹事), 膝フォーラム(世話人), TKAフォーラム(幹事), 新潟スポーツ傷害フォーラム(代表世話人), 日本Knee Osteotomy and Preservation学会(代表世話人), 関節鏡手術セミナー(代表世話人), 北信越Knee Osteotomy研究会(顧問), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
1. 関節鏡手術セミナー, 第20回セミナー, 会長, 新潟市, 2021.8.28.
 2. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第9回フォーラム, 会長, 新潟市, 2021.11.9.
 3. 膝OAと運動・装具療法研究会, 第16回膝OAと運動・装具療法セミナー, 会長, オンライン開催, 2022.1.28.
 4. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市, 2022.3.26.
- 3) 学会等でのその他の活動
1. 第94回日本整形外科学会学術集会, シンポジウム38, 座長, 東京都, 2021.5.20-5.23.
 2. JOSKAS-JOSSM2021, ランチョンセミナー, 座長, 札幌市, 2021.6.17-6.19.
 3. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会, シンポジウム, 座長, 津市, 2021.10.12-10.15.
 4. 第52回日本人工関節学会学術集会, TKAパネルディスカッション14, 座長, 京都市, 2022.2.25-

2.26.

5. 日本臨床バイオメカニクス学会, 将来構想委員会委員長, 学会誌査読委員
6. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員, 総務委員会委員
7. 日本整形外科学会英文誌 (J orthop Sci) 査読委員
8. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員
9. 日本整形外科学会, 変形性膝関節症ガイドライン作成委員会委員
10. 日本整形外科スポーツ医学会, 学会誌査読委員
11. 日本運動器 shock wave 研究会, 監事
12. 日本人工関節学会, 専門医制度認定委員会委員
13. 日本運動器科学会, 学会誌査読委員

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. Remote joint meeting, 変形性膝関節症の病態と治療－最近の知見－, 講師, 小野薬品工業, 整形外科医, 松戸市, 2021.6.23.
2. 2021年度新潟市民大学, 歩行と自転車の健康学, 講師, 新潟市, 一般市民, 新潟市, 2021.7.16.
3. 新潟市中体連部活指導者研修会, 成長期のスポーツ傷害－腰椎分離症－, 講師, 新潟市体育連盟, 中学校教員, 新潟市, 2021.8.27.
4. 令和3年度新潟県教育委員会中堅教諭資質向上研修, 子供の成長とスポーツ傷害, 講師, 新潟県教育委員会, 養護教員, 新潟市, 2021.10.1.
5. 令和3年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会, 中高年者と運動 (整形外科系), 講師, 日本スポーツ協会, スポーツドクター, 東京都, 2021.10.9.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本サッカー協会, ユニクロサッカースクール, 医事活動, 新潟市・ビッグスワン, 2021.6.27.
2. 新潟県十日町市, 新型コロナワクチン接種, 医事協力 (問診医師), 十日町市・クロスステン, 2021.6.23, 6.30, 7.7, 7.21, 8.4, 8.18, 9.1, 9.15, 2022.3.30.
3. 新潟県サッカー協会, 天皇杯サッカー選手権, 医事協力 (会場医師), 新潟市・ビッグスワン, 2021.6.9.
4. 新潟医療福祉大学, 新型コロナワクチン職域摂取, 医事協力 (問診医師), 新潟医療福祉大学, 2021.7.5, 7.8, 7.9, 7.10, 7.12, 7.19, 7.26, 8.2, 8.6, 8.9.
5. 新潟医療福祉大学, 新潟リハビリテーション病院, NSG, 3者連携プロジェクト

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県スポーツ推進審議会 (委員)

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県サッカー協会 (医学委員長), 北信越サッカー協会 (医学委員), 新潟県スポーツドクター協会 (会長), 新潟県医師会 (健康スポーツ委員会・委員), 新潟市スポーツ協会 (理事), 新潟県スポーツ協会 (AT部会顧問)

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研基盤研究 (C), 変形性膝関節症の病態解明－長期疫学調査及び新しい運動学的アプローチ, 研究代表者, 継続
2. 2019年度, 科研基盤研究 (B), 下肢関節力学モデルの構築に関する研究, 分担研究者, 継続
3. 2020年度, 共同研究 (YONEX), スポーツ用具機能の健康増進と競技パフォーマンス向上への有効性の研究, 研究代表者, 延長継続

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 日本サッカー協会100周年功労表彰 (2021.10.10), 新潟大学医学部整形外科学教室同窓会顕彰 (地域

医療賞) (2021.11.20)

- 9 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会 (委員), 安全衛生委員会 (委員), アスリートサポート研究センター (センター長), Sports & Health先端研究センター (委員)

氏名: 佐藤 和也

1 研究題目 野球のコーチング

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 職業倫理に関する講義について, 講師, 新潟県警察学校, 初任科第390期生, 新潟県警察学校講堂, 2021.7.20.
2. 「総合的な探求の時間」における講演について, 講師, 新潟県立八海高等学校, スポーツコース及び専攻実技選択者, 体育科教諭, 八海高等学校会議室, 2021.10.14.
3. 南魚沼市指導者講習会, 講師, 株式会社ベースボール・マガジン社, 南魚沼市小中学校野球指導者, 大原運動公園ペーマガSTADIUM, 2021.11.3.
4. 糸魚川市少年少女野球教室, 講師, 糸魚川市野球振興連絡協議会, 糸魚川市内小学生, 糸魚川市美山球場, 2021.11.14.
5. 長岡市野球指導者講習会, 講師, 長岡野球協議会, 長岡市内学童及び中学野球指導者, 長岡市ニュータウン運動公園, 2021.11.21
6. 2021年度公認コーチ1養成講習会, 講師, 公益財団法人日本スポーツ協会, 公益財団法人全日本軟式野球連盟, 2021年度公認コーチ1養成講習受講者, HARD OFF ECO スタジアム新潟, 2021.11.23.
7. 令和3年度長岡市地域定住自立圏「スポーツ振興事業」野球教室・野球指導者講習会, 講師, 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会, 圏域内小中学生及び指導者, 小千谷市, 2021.11.27-11.28.
8. 令和3年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会, 講師, 公益財団法人全日本軟式野球連盟, オンライン, 2021.11.27.
9. 令和3年度砺波市・南砺市内中学生・砺波市内高校生野球教室, 講師, 砺波市野球連盟, 砺波ライオンズクラブ, 砺波市・南砺市中学校野球部, 砺波高等学校野球部, 砺波工業高等学校野球部, 富山県, 2021.12.5.
10. 第9回新潟青少年ベースボールフェスタ2021野球障害ケア新潟ネットワークBCNN研修会, 講師, 一般社団法人野球障害ケア新潟ネットワーク, 医師・理学療法士, 新潟リハビリテーション病院, 2021.12.18.
11. 講演会「ジュニアのための指導法～チーム力の育て方～」, 講師, 五泉市教育委員会, 五泉市在住・在勤の方, 五泉市総合会館, 2021.12.19.
12. 令和3年度公認コーチ1養成講習会, 講師, 一般社団法人奈良県軟式野球連盟, 奈良県, 2022.1.16.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. UX新潟テレビ21, SJにいがた・ガッツリート, 夏の甲子園予選大会展望, 2021.6.28.
2. UX新潟テレビ21, ブログ, 「佐藤和也総監督のまなざし」, 2021.6.29-7.28.
3. 新聞, 毎日新聞新潟版, 新潟野球っ娘 高校夏季県大会(下)甲子園で決勝 女子野球の変化期待 2021.7.9.
4. UX新潟テレビ21, 全国高等学校野球選手権新潟大会準々決勝解説, 2021.7.22-7.23.
5. UX新潟テレビ21, SJにいがた・ガッツリート出演, 2021.7.23.
6. UX新潟テレビ21, 全国高等学校野球選手権新潟大会準決勝解説, 2021.7.25.
7. UX新潟テレビ21, 全国高等学校野球選手権新潟大会決勝解説, 2021.7.27.
8. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, コラム 和也スコープ, 2021.8.5-8.21.

9. ラジオ, JIN'S RADIO SHOW 生出演, 2021.8.25.
 10. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, ドラフト関連, 2021.10.12.
 11. 新聞, 新潟日報, 「もっと上追い求め」プロ野球ドラフト会議, 2021.10.12.
 12. 新聞, 新潟日報, 社説 ドラフト指名 プロ野球で高くはばたけ, 2021.10.13.
 13. 新聞, スポーツニッポン新聞社関西版, 虎視眈々, 2022.1.7.
 14. 新聞, スポーツニッポン新聞社全国版, 水島さんの功績称えて, 2022.1.18.
 15. 新聞, 日刊スポーツ新聞社全国版, 新潟市にドカベン聖地を, 2022.1.18.
 16. 新聞, 新潟日報, 水島さん死去関連記事, 2022.1.18.
 17. DAZN, 虎の素顔, インタビュー動画, 2022.1.21.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 UX新潟テレビ21スポーツコメンテーター, スポーツコーチャーズネット長岡アドバイザー, 新潟県野球連盟副会長, 新潟市野球連盟副会長

氏名: 佐藤 大輔

- 1 研究題目 神経可塑性と運動学習・記憶に関する研究
- 2 論文
 1. Ikarashi K, Sato D*, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response inhibitory control varies with different sensory modalities. *Cerebral Cortex (JCR)*. 2022; 32(2): 275-285. (review)
 2. Baba Y, Sato D, Otsuru N, Ikarashi K, Fujimoto T, Yamashiro K. Does long-term training in water immersion environment change interoception?. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2021; 18(19): 10259. (review)
 3. 市川裕代, 佐藤大輔. メディアを用いた運動介入が知的障がい児の生活機能に及ぼす影響. *アダプテッド・スポーツ科学 (協力学術団体)*, 2022. (印刷中) (査読あり)
 4. Sato D. The unique neuromodulation using water immersion. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2021; 21(1): 44603.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本介護福祉・健康づくり学会(学術委員), 日本体育学会(編集委員), Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本介護予防・健康づくり学会誌 査読委員
 2. *Journal of Physiological Anthropology* 査読委員
 3. *International Journal of Environmental Research and Public Health* 査読委員
 4. *Experimental Brain Research* 査読委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. PR TIMES, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 2. JIJI.COM, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 3. Mapion ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 4. Excite ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 5. WMR Tokyo, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 6. BIGLOBE ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 7. 東奥日報プラス, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 8. 産経ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 9. 財経新聞, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
 10. 製薬オンラインNEWS, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.

11. TOPPAN FORMS社HP, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
12. SANSPO.COM, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
13. Exciteニュース, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
14. NIKKEI, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
15. 製薬オンラインNEWS, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
16. @press, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
17. PORTALFIELD News, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
18. HEAD TOPICS日本, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県水泳連盟指導者委員会（委員）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 研究代表者
2. 2021年度, 科研費基盤研究（B）, 皮質－基底核ループの抑制機能を高め, 技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発, 研究代表者
3. 2021年度, トッパン・フォームズ株式会社共同研究, 月経周期による体温変化と人の神経機能に関する研究, 研究代表者
4. 2019年度, 科研費基盤研究（A）, 知覚学習イノベーション－次世代感覚運動学習法の創出を目指して－, 研究分担者
5. 2019年度, 科研費基盤研究（C）, ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか？単関節動作による検討, 研究分担者

6 学内委員会活動 副学長等連絡会, 総務会, 大学院委員会, 研究科委員会, 研究・産官学連携推進機構運営委員会, 大学院教育研究支援部会, 危機管理対策委員会, IR戦略委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：佐藤 敏郎

- 1 研究題目 中高年者の運動による健康づくり, 大学生の体力水準と学業成績と生活状況との関係, 高齢者における転倒予防, 習慣的運動実施による健康状態・体力水準の変化
- 2 学会等研究発表
 1. 浮田咲子, 出村慎一, 佐藤敏郎, 長澤吉則, 青木宏樹. 女子学生の自然立位姿勢と背中付き立位姿勢時における足裏形態値と浮き趾高の比較. 第68回日本教育医学会大会（オンライン）, 2021.8.17-8.18.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育測定評価学会（理事）, 日本教育医学会（理事）, 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本体育測定評価学会, 第21回大会, 大会長, オンライン, 2022.3.5.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. にいがた健康経営普及啓発セミナー, いつでもどこでも「ながら運動」, 講師, 新潟県福祉保健部健康対策課, 県内事業者, 新潟県庁, 2021.4.23.
 2. 濁川茶話会, 健康管理について, 講師, 濁川コミュニティ協議会, 一般市民, 新潟市, 2021.7.14.
 3. フレイル予防に関するEラーニング教材素材の提供及び指導, 講師, 株式会社アイセック, 県内事業者, 新潟市, 2021.9.30.
 4. 全国健康保険協会新潟支部研修会, 運動による健康づくり, 講師, 全国健康保険協会新潟支部, 健康保険委員・加入者, 新潟市, 2021.9.28.

5. 筋力トレーニング推進事業, ちょこちょこ筋トレ講習会, 講師, 三条市福祉保健部, 三条市民, 三条市, 2021.11.30.
 6. 加茂市連携による公共事業に関する学習, 公共政策という学び, 講師, 加茂暁星高等学校, 生徒, 加茂市, 2022.1.12.
 7. 健康立県にいがたミーティング, 企業でのながら運動の効果・取組について, 講師, 新潟県福祉保健部健康対策課, 県内事業者, 新潟市, 2022.2.1.
 8. 第6回保健師等支部内研修会, 特定保健指導における運動指導について, 講師, 全国健康保険協会新潟支部, 協会保健師・看護師, 新潟市, 2022.3.10.
 9. 介護予防活動啓発講演会, 介護予防の大切さと運動による健康づくり・転倒予防について, 講師, 燕市社会福祉協議会, 燕市民, 燕市, 2022.3.15.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新聞, 新潟日報, 乱用防止配信で訴え, 2021.8.4.
 2. BSNラジオ, にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ, 9月の健康増進普及月間, 2021.9.20.
 3. BSNラジオ, にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ, 新しい生活様式の中での運動, 2021.9.27.
 4. BSNラジオ, 工藤淳之介3時のカルテット, 私が出会った素敵なあの人, 2021.11.4.
 5. BSNテレビ, ゆうなび, 糖尿病予防の運動, 2021.11.10.
 6. 新聞, 新潟日報, 冬でも運動しませんか(高齢者), 2022.1.9.
 7. 新聞, 新潟日報, 冬でも運動しませんか(働き盛り), 2022.1.10.
 8. にいがた元気プラス「にいがた健活手帳」(新潟日报社), スポーツの秋「普段の生活に”ちょい足し運動”」, 2022.3.1.
 9. BSNラジオ, 石塚かおりのBrand new day, ちょこっと体操, 2022.2.2.
 10. BSN新潟放送ホームページ, にいがたケンジュプロジェクト, 9月は「健康増進普及月間」生活習慣の見直しと運動, 2021.9.28.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 定期評議員会, 評議員, 新潟県医師会館・新潟市, 2021.6.25.
 2. 健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議, 健康立県プロモーション事業, 委員, 新潟市, 2021.5.31.
 3. 第1回働く世代の運動促進のための検討会, 検討会, 委員, 新潟市, 2021.6.2.
 4. 第2回働く世代の運動促進のための検討会, 検討会, 委員, 新潟市, 2021.7.7.
 5. 第3回働く世代の運動促進のための検討会, 検討会, 委員, 新潟市, 2021.10.26.
 6. 日本健康運動指導士会新潟県支部, 2021年度第1回研修会, 企画運営, 新潟日报社メディアシップ・新潟市, 2021.6.27.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議(委員), 新潟県働く世代の運動促進のための検討会(委員)
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本健康運動指導士会新潟県支部(支部長), 新潟県フライングディスク協会(会長), 公益財団法人新潟県健康づくり財団(評議員), 新潟骨を守る会(監事), 関甲新学生野球連盟(理事)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態, 履物, 関節痛との関係, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 危機管理対策委員会, 外部評価準備委員会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 学

生懲戒諮問委員会（委員長），学生委員会（学生部長・委員長），交通安全委員会（委員長），SHAINプロジェクト，英語等海外留学奨学生選考委員会

氏名：下山 好充

1 研究題目 水泳競技におけるパフォーマンス向上に関する研究

2 論文

1. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021; 1-12. (査読有)
2. Ikeda Y, Ichikawa H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 1-7. (査読有)

3 学会等研究発表

1. 下門洋文, 山城昌一郎, 市川浩, 下山好充, 仙石泰雄, 高木英樹. スイマー足部周りの流れの可視化. 可視化情報シンポジウム 2021, 2021.9.
2. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. ドルフィンキック模擬動作はキック動作改善のための有効なトレーニング手段になり得るのか? 日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
3. 山城昌一郎, 千葉海勝, 星川慎吾, 久光哲也, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. 足関節背底屈運動の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響. 日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
4. 千葉海勝, 山城昌一郎, 奈良梨央, 下門洋文, 市川浩, 下山好充. 平泳ぎキックの動作と流体力の関係. 日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
5. 星川慎吾, 山城昌一郎, 奈良梨央, 馬場康博, 下門洋文, 下山好充. 競泳における異なるリレースタートがパフォーマンスに与える影響. 日本水泳・水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体力医学会, トレーニング科学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公益財団法人日本水泳連盟水泳コーチ4養成講習会, ナショナルコーチによる指導技術, 講師, 日本水泳連盟コーチ4資格取得申請者, オンライン, 2021.12.6.
2. 公益財団法人日本水泳連盟2021年度公認水泳コーチ4研修会(共通IV), コーチング法, 講師, 日本水泳連盟コーチ4資格取得者, オンライン, 2021.9.15.
3. 令和3年度新潟県高等学校教育研究会保健体育部会全県研究会, ゼロからのチーム作り・オリンピック選手の輩出, 講師, 新潟県高校教諭, 対面, 2021.11.4.
4. 新潟市中学校教頭会12月定例会議人材育成部による研修, ゼロからのチームづくり～オリンピックまでの道のり～, 講師, 新潟市中学校教頭, 対面, 2021.12.17.
5. 第7回ARIHHP コーチング・カフェ 競泳パフォーマンス向上のための科学, 経験と科学的根拠に基づいたコーチング, 講師, 筑波大学, 全国のコーチ, オンライン, 2021.12.24.
6. 新潟西ロータリークラブ定例会, 新潟からのチャレンジ～ゼロからオリンピックまでの道のり～, 講師, 新潟西ロータリークラブ, 対面, 2022.3.31

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 毎日新聞(全国紙), 日本選手権水泳競技大会に出場する水泳部について紹介され, 下山 好充 監督の創部から現在に至る苦労や育成方法などについてコメントや写真などが掲載された. 2021.4.3.
2. 新聞, にいがた経済新聞(WEB), 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)

- と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.21.
3. テレビ, UX新潟テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され、本学内にて報告会を開催したことなどが放映された。2021.4.21.
 4. テレビ, TeNYテレビ新潟, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され、本学内にて報告会を開催したことなどが放映された。2021.4.21.
 5. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され、本学内にて報告会を開催したことなどが放映された。2021.4.21.
 6. テレビ, NST新潟総合テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され、本学内にて報告会を開催したことなどが放映された。2021.4.21.
 7. テレビ, BSN新潟, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され、本学内にて報告会を開催したことなどが放映された。2021.4.21.
 8. 新聞, 新潟日報, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 9. 新聞, 毎日新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 10. 新聞, 朝日新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 11. 新聞, 読売新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 12. 新聞, スポニチ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 13. 新聞, 日刊スポーツ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し、本学内にて報告会を開催したことが紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.4.22.
 14. 新聞, 新潟日報モア(WEB), 競泳 新潟県選手権にてオリンピックに向けた壮行会が実施されたことが紹介され、水沼 尚輝 選手(本学職員)や下山 好充 監督のコメントや写真などが掲載された。2021.5.30.
 15. 新聞, 新潟日報, 東京五輪に出場する水沼 尚輝 選手(本学職員)の指導者として下山 好充 監督について紹介され、下山監督の指導論や水沼選手への思いなどがコメントや写真とともに掲載された。2021.7.15.
 16. 新聞, 毎日新聞(WEB), 東京五輪に出場する水沼 尚輝 選手(本学職員)の指導者として下山 好充 監督について紹介され、下山監督の指導論や水沼選手への思いなどがコメントや写真とともに掲載された。2021.7.22.
 17. 新聞, 新潟日報スポーツモア(WEB), 下山 好充 監督の指導方法について特集され、水沼 尚輝 選手

- (本学職員) へのアプローチやコメントなどが写真とともに掲載された。2021.8.2.
18. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 水沼選手の経歴や下山 好充 監督のコメントなどが写真とともに掲載された。2021.8.2.
 19. 新聞, 朝日新聞 (WEB), 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 科学的なトレーニングや下山 好充 監督の指導が水沼選手の成長につながったことが写真とともに掲載された。2021.8.3.
 20. 新聞, 朝日新聞, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 科学的なトレーニングや下山 好充 監督の指導が水沼選手の成長につながったことが写真とともに掲載された。2021.8.3.
 21. テレビ, UX新潟テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 22. テレビ, TeNYテレビ新潟, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 23. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 24. テレビ, NST新潟総合テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 25. テレビ, BSN新潟, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 26. 新聞, 読売新聞オンライン (WEB), 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 27. 新聞, スポニチ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 28. 新聞, 日刊スポーツ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 29. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 30. テレビ, UX新潟テレビ, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 31. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 32. テレビ, BSN新潟, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 33. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が新潟市長にオンラインで結果報告したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.9.11.

34. PR TIME (WEB), 「UNIVAS AWARDS 2021-22」が発表されたことについて紹介され, 下山 好充監督がコーチ・オブ・ザ・イヤーに選出されたことが掲載された. 2022.3.11.

35. 上記以外に水泳部関連のメディア記載が273件

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人日本水泳連盟競泳委員, 公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ(コーチングスタッフ)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. UNIVAS AWARDS 2021-22 コーチ・オブ・ザ・イヤー(2022.3.28)

3) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督): オリンピック日本代表内定

2. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 2位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

3. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 2位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

4. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

5. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50m自由形 3位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

6. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

7. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100mバタフライ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

8. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m平泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

9. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

10. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)

11. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会兼FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m自由形 6位, 東京都,

2021.4.3-4.10. (監督)

12. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m平泳ぎ 8位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (監督)
13. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
14. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
15. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 2位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
16. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50m自由形 3位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
17. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100mバタフライ 4位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
18. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
19. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子50m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
20. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
21. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m平泳ぎ 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
22. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m自由形 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
23. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m背泳ぎ 8位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (監督)
24. 水泳部, 東京オリンピック, 男子100mバタフライ 10位, 東京都, 2021.7.24-8.1. (日本代表コーチ)
25. 水泳部, 東京オリンピック, 男子4×100mメドレーリレー 5位, 東京都, 2021.7.24-8.1. (日本代表コーチ)
26. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 5位, 東京都, 2021.10.1-10.4. (監督)
27. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ 7位, 東京都, 2021.10.1-10.4. (監督)
28. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m自由形 8位, 東京都, 2021.10.1-10.4. (監督)
29. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子4×100mメドレーリレー 8位, 東京都, 2021.10.1-10.4. (監督)
30. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー 7位, 東京都, 2021.10.1-10.4. (監督)
31. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
32. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
33. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100mバタフライ 2位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
34. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
35. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m自由形 優勝, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
36. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100m自由形 4位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
37. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ 7位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
38. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ 3位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
39. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ 3位, 東京都, 2021.10.17-

- 10.18. (監督)
40. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形 4位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
41. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形 6位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
42. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
43. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m背泳ぎ 6位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
44. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ 3位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
45. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 4位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
46. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
47. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100mバタフライ 5位, 東京都, 2021.10.17-10.18. (監督)
48. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督):ワールドユニバーシティーズゲームズ日本代表内定
49. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
50. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
51. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
52. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子100m背泳ぎ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督):ワールドユニバーシティーズゲームズ日本代表内定
53. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子50m背泳ぎ 4位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
54. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50m背泳ぎ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
55. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50m自由形 2位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
56. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子100mバタフライ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
57. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督):世界水泳日本代表内定
58. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100mバタフライ 6位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (監督)
- 7 学内委員会活動 アクアヘルス推進プロジェクト研究センター(センター長)

氏名: 杉崎 弘周

1 研究題目 学校保健, 保健科教育

2 著書

1. 森良一, 荒井信成, 上田敏子, 木原慎介, 黒川修行, 杉崎弘周, 助友裕子, 藤原昌太, 物部博文. 中学校・高等学校保健科教育法 改訂版2刷. 東京: 東洋館出版社; 2021: 73-94, 183-195.
2. 植田誠治, 杉崎弘周(編著), 今関豊一, 石井里佳, 大塚幹太, 片岡千恵, 木原慎介, 久保元芳, 久保田美穂, 佐見由紀子, 徐広孝, 長岡知, 物部博文, 山田浩平, 横嶋剛, 渡部基. 中学校・高等学校保健科教育法. 東京: 建帛社; 2022: 5-11.

3 論文

1. 杉崎弘周, 物部博文, 上地勝, 藤原昌太, 山田浩平, 沢田真喜子, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治. 学校における保健・安全に関する対応場面での課題と教員養成段階での教育の必要性: 養護教諭への全国調査の結果から. 体育学研究(協力学術団体), 2021: 66: 623-630. (査読あり)

2. Okayama M, Nagaoka T, Sugisaki K. Cancer Screening Rate and Related Factors in the Japanese Child-Rearing Generation. *Healthcare (JCR)*, 2022; 10(3):508. <https://doi.org/10.3390/healthcare10030508> (review)
 3. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした小学校での実践 (1). *体育科教育*. 2021; 69 (4) : 74-77.
 4. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした小学校での実践 (2). *体育科教育*. 2021; 69 (5) : 64-67.
 5. 高橋薫, 物部博文, 藤原昌太, 杉崎弘周, 上地勝. 出生コホートによるう歯保有率の都道府県別差異. *横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学*. 2022; 5 : 265-277.
- 4 学会等研究発表
1. 杉崎弘周, 岡崎勝博, 小倉加奈子, 齋藤治俊, 近藤真庸. 感染症の授業を考える, 日本保健科教育学会第6回研究大会 (オンライン), 2021.12.5. 【シンポジウム】 (協力学術団体)
 2. 杉崎弘周, 物部博文, 片岡千恵. 中学生のストレス対処の経験, 日本保健科教育学会第6回研究大会 (オンライン), 2021.12.5. (協力学術団体)
 3. 杉崎弘周. 新潟県におけるがん教育, 日本教育保健学会第19回年次大会 (オンライン), 2022.3.5. 【シンポジウム】
 4. 岡山睦美, 杉崎弘周. 子育て世代のがん検診を受けようと思う気持ちに影響する要因, 日本教育保健学会第19回年次大会 (オンライン), 2022.3.6.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会 (代議員), 日本保健科教育学会 (理事), 日本体育・スポーツ・健康学会 (編集委員), 日本教育保健学会 (理事, 副編集委員長), 新潟県体育学会 (理事), 日本小児科学会, 新潟医学会, American School Health Association
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本教育保健学会, 第19回年次大会, 年次大会長, オンライン開催, 2022.3.5-3.6.
 2. 日本保健科教育学会, 第5回研究大会, 実行委員, オンライン開催, 2021.12.5.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本体育・スポーツ・健康学会, 体育学研究, 編集委員
 2. 日本教育保健学会, 日本教育保健学会年報, 編集委員
 3. 新潟県体育学会, 会報にいがた, 編集担当
 4. 日本保健科教育学会, 保健科教育研究, 査読
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 健康講話, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 三条市立第四中学校, 生徒, 三条市立第四中学校, 2021.5.25.
 2. 保健教育実践講座, 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2021.6.25.
 3. がん教育総合支援事業研修会, がん教育の現状と高等学校におけるがん教育, 新潟県教育庁保健体育課, 受講生, 新潟県庁, 2021.6.29.
 4. がん教育に関する指導者研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 群馬県教育委員会, 受講者, オンライン, 2021.7.15.
 5. 全国養護教諭連絡協議会第23回研修会, 『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指した保健授業, 研修会講師, 全国養護教諭連絡協議会, 受講者, オンライン, 2021.8.
 6. 保健教育実践講座, 保健教育における主体的・対話的で深い学び, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2021.9.21.
 7. がん教育啓発研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 鳥取県教育委員会, 受講者, オンライン, 2021.10.5.
 8. 養護教諭研修会, 学校における保健教育の在り方, 研修会講師, 新潟市教育委員会, 受講者, 新潟市

教育センター，2021.10.28.

9. がん教育に関する研修会，学校におけるがん教育の考え方・進め方，研修会講師，兵庫県教育委員会，受講者，兵庫県民会館，2021.12.7.
10. がん教育研修会，学校におけるがん教育の考え方・進め方，研修会講師，北海道教育委員会，受講者，北見市民会館，2021.12.22.
11. がん教育研修会，学校におけるがん教育の考え方・進め方，研修会講師，富山県教育委員会，2022.1.27.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新発田市立第一中学校学校評議員会（学校評議員），胎内市立乙中学校学校運営協議会（委員），新潟県がん教育推進協議会（委員），日本学校保健会児童生徒の健康管理・健康づくり推進委員会（副委員長），聖籠中学校の部活動の在り方検討委員会（委員長）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤研究（B），インクルーシブながん教育実現のための総合的研究，研究代表者
2. 2021年度，科研費挑戦的研究（萌芽），ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価，研究代表者
3. 2021年度，科研費基盤研究（C），学校医の資源ネットワークマップによる地域・学校保健連携促進モデルの開発，研究分担者
4. 2021年度，科研費基盤研究（C），教員の保健・安全の資質・能力育成に関するデジタル学習教材の開発，研究分担者
5. 2021年度，科研費基盤研究（C），子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用，研究分担者
6. 2021年度，科研費基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究分担者
7. 2021年度，科研費基盤研究（C），「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医学部，公衆衛生学（学校保健），2021年度前期
2. 新潟大学教育学部，体育科教育法（保健），2021年度前期・後期
3. 豊岡短期大学通信教育部，こどもの指導法「健康」，2021年度集中講義

8 学内委員会活動 広報委員会（委員長），大学院入試広報委員会，身体教育推進センター

氏名：埴 晴雄

- 1 研究題目 心不全におけるサルコペニアの研究（内科学），サルコペニアや運動による骨格筋の変化の研究（医学），貧血や鉄代謝の研究（医学）
- 2 学会等研究発表
 1. Hanawa H, Fujii Y, Abe T, Inomata T. Exercise-induced myonectin may influence iron metabolism 第25回日本心不全学会学術集会 岡山 2021.10.2.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本内科学会，日本循環器学会，日本心不全学会（代議員），日本心臓病学会（FJCC），国際心臓研究会，日本遺伝子診療学会，新潟医学会，新潟医療福祉学会，日本臨床スポーツ医学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座，新潟市中学校体育連盟，新潟市中学校保健体育，部活動指導者，新潟市，2021.8.27.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，基盤研究©，サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与える影響の検証，研究代表者
2. 2021年度，基盤研究©，組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学 非常勤講師，循環器内科学，2021.5.20.

6 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（委員長），安全衛生委員会，危機管理対策委員会，遺伝子組換え実験安全委員会

氏名：山崎 史恵

1 研究題目 アスリートの心理サポートおよび競技パフォーマンス向上に関する研究（臨床スポーツ心理学，スポーツカウンセリング，メンタルトレーニング）

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本体育・スポーツ・健康学会（応用研究部会・スポーツ文化研究会委員），日本スポーツ心理学会（理事），日本スポーツ精神医学会，日本臨床心理身体運動学会，日本保健医療福祉連携教育学会，新潟県体育学会（理事）

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本スポーツ心理学会，編集委員長，2019.11.17-現在.
2. 日本体育・スポーツ・健康学会，応用研究部会（スポーツ文化研究部会）委員，2020.8.7-現在.
3. 日本スポーツ心理学会理事，2017.11.1-現在
4. 新潟県体育学会理事，2010.4.1-現在
5. 日本体育・スポーツ・健康学会，第71回大会シンポジウム「SDGsとスポーツとの接点を探る」，企画・司会，筑波大学，2021.9.7.
6. 日本スポーツ心理学会，第48回大会シンポジウム「東京オリンピック・パラリンピック後の意識および社会改革を考えるースポーツ心理学（者）の役割ー」，座長，日本大学，2021.11.27.

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 燕市ジュニアスポーツ指導者研修会，地域スポーツとスポーツカウンセリング，講師，燕市スポーツ少年団，スポーツ指導者，燕市吉田産業会館，2021.7.31.
2. 村上市指導者育成プログラム研修会，スポーツ心理学Ⅰ，講師，村上市NPO法人希楽々，スポーツ指導者，神林総合体育館，2021.10.19.
3. 第9回 新潟医療福祉大学同窓会連携研修会，第1部特別講演&第2部パネルディスカッション，「心」を窓口にあスリートを支援する，講師，新潟医療福祉大学同窓会，同窓生，新潟市，2021.12.4.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会，スポーツ選手のためのメンタル支援事業，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，相談員，新潟市，2021.4.1-2022.3.31.

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研費基盤研究（C），アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した判断基準構築，山代幸哉・佐藤大輔・大森豪・山崎史恵，研究分担者.

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科（スタディ・スキルズ）2021.4.1-5.31.

5 学内委員会活動 倫理審査委員会（委員長），人権委員会，個人情報保護委員会，スポーツカウンセリング研

氏名：吉田 重和

- 1 研究題目 オランダの公教育制度に関する質的研究（比較・国際教育学），オルタナティブ教育に関する国際比較研究（比較・国際教育学），シティズンシップ教育に関する国際比較研究（比較・国際教育学），教員養成・教員研修に関する質的研究（教師教育），健康スポーツ学分野における初年次教育の在り方に関する実践的研究（初年次教育）
- 2 著書
 1. Yoshida S; Suzuki S, McCulloch G, Gu M, V. Rao M, Hong J, eds. The Routledge Encyclopedia of Modern Asian Educators: 1850-2000, 1st ed. New York: Routledge; 2021 : 133-134.
- 3 論文
 1. 吉田重和. 教育プログラム図開発試論(2)—ISCEDを用いた事例の作図を通して. 新潟医療福祉学会誌. 2021 ; 21(1) : 121.
 2. 若井由梨, 山崎史恵, 吉田重和. 教育現場における「表現運動・ダンス」指導時の困難さについて—新潟市内小・中学校現職教員への実態調査をもとに. 新潟医療福祉学会誌. 2021 ; 21(2) : 67-77. (査読あり)
 3. 日暮トモ子, 本柳とみ子, 吉田重和, 佐藤裕紀, 古阪肇, 鈴木賀映子. OECD「初任教員の養成に関する調査」(Initial Teacher Preparation Study)に係る各国報告書の翻訳(抄訳). 比較・国際教育学論集. 2021 ; 9 : 21-44.
 4. 吉田重和. 新潟県教育委員会・新潟県内私立大学 教員養成連絡協議会 開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021 ; 5 : 62-63.
 5. 吉田重和. 自己点検の達成状況と残された課題. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021 ; 5 : 67-69.
 6. 吉田重和, 森泉哲也, 坪川麻樹子, 高田大輔. 教職支援センター運営委員会の総括. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021 ; 5 : 70-71.
- 4 学会等研究発表
 1. 吉田重和. 教育プログラム図開発試論(2)—ISCEDを用いた事例の作図を通して. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2021.10.30.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 新潟医療福祉学会, 世界比較教育学会, アジア比較教育学会
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 文部科学教育通信, 「世界の大学」執筆担当, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 公益財団法人教科書研究センター, 「海外教科書制度調査研究報告書」執筆担当, 2021.4.1-2022.3.31.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 比較教育研究におけるISCED活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究(B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 強化女子バレーボール部, 令和3年度全日本バレーボール大学男子・女子選手権大会 北信越予選学連推薦チーム決定トーナメント戦, バレーボール, 優勝, 富山県, 2021.10.30-10.31. (部長)
 2. 強化女子バレーボール部, 第68回秩父宮妃賜杯全日本大学女子選手権大会 ミキブルーンスーパーカレッジバレー2021(全日本インカレ), バレーボール, ベスト16, 東京都, 2021.11.29-12.5. (部長)

3. 強化女子バレーボール部, UNIVAS AWARDS 2021-22, バレーボール, ウーマン・オブ・ザ・イヤー
優秀賞, 東京都, 2022.3.28. (部長)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟薬科大学応用生命科学部 (教育制度・行政), 2021.9.1-2022.3.31.
2. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校 (教育学), 2021.9.1-2022.3.31.

- 8 学内委員会活動 教育・学生支援機構, 教育開発推進部 (部長), 高等教育推進センター運営委員会 (委員長・教育システム改革部会長), 教職支援センター運営委員会 (委員長・教職課程長・教職支援センター長), シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：脇野 哲郎

- 1 研究題目 教員養成段階学生における実践的指導力の育成 (体育科教育学), 体づくり運動の授業改善 (体育科教育学), 現代の課題に応える学校体育経営 (体育経営学)

2 報告書

1. 脇野哲郎, 教育実習における学生の学びについての報告: 2020年度教育実習レポートの分析より, 新潟医療福祉大学教職支援センター年報, 2021; 5: 28-35.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県体育学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県・新潟市小学校研究会体育科研究会, 指導者, 新潟県教育委員会, 佐渡市立真野小学校教職員, 佐渡市, 2021.7.8.
2. 出雲崎町子育て支援講演会, 家庭でできる親子運動あそび, 講師, 保護者・幼児, 出雲崎町, 2021.7.16.
3. 新潟県中学校研究会保健体育研究研修会, 指導者, 新潟県教育委員会, 教職員, 村上市, 2021.10.13.
4. 新潟市立新通小学校授業研究会, 体育授業づくりのポイント, 指導者, 新潟市教育委員会, 教職員, 新潟市, 2021.10.19.
5. 新潟県中学校研究会保健体育研究発表会, 指導者, 新潟県教育委員会, 教職員, 村上市, 2021.11.2.
6. 令和3年度県中教研指定研究会, 将来への夢や希望をもち生き方を考えるキャリア教育の在り方, 指導者, 新潟県教育委員会, 新潟市, 2021.11.17.
7. 新潟県・新潟市小学校研究会体育科研究会, 指導者, 新潟県教育委員会, 教職員, 佐渡市, 2021.11.19.
8. 初等教育研究会, 指導者, 新潟大学附属新潟小学校, 指導者, 教職員, 新潟市, 2021.11.24.
9. 初等教育研究会, 指導者, 新潟大学附属新潟小学校, 指導者, 教職員, 新潟市, 2022.2.5.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県運動好き向上委員会委員長, 新潟市放課後子どもプラン推進委員会委員長, 新潟市がん教育推進委員, 胎内市いじめ問題対策委員会委員, 教育公益財団法人新潟教育会理事, 新潟市立葛塚小学校・浜浦小学校・亀田小学校・濁川小学校・濁川中学校・南浜小学校・太夫浜小学校・下山中学校 学校評議員

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. ダンス部, 第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル (神戸), 創作コンクール部門, 入選 (ベスト16相当), 神戸市, 2021.8.11-8.14. (部長)
2. ダンス部, 第40回あきた全国舞踊祭秋田モダンダンスコンクール, 群舞部門5位入賞, 秋田市, 2021.12.10-12.12. (部長)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学教育学部, 保健体育教育法Ⅳ, 2021.10.14-11.11.
 2. アップルスポーツカレッジ, スポーツ経営学, 2021.4.23-6.25.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名：秋山 隆之

- 1 研究題目 サッカーにおける各種制約が状況判断能力に及ぼす影響に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本フットボール学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 全日本大学女子サッカー連盟, 2021全日本大学女子サッカー連盟評議員会, 東京都他, 2021.6.21.
 2. 新潟県サッカー協会, 新潟県女子国体選抜主務, 2021第42回北信越国民体育大会サッカー競技, 松本市他, 2021.8.6.
 3. 新潟県サッカー協会, 新潟県社会人サッカー連盟, 2021第26回新潟県サッカー選手権大会, 新発田市他, 2021.5.9.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県三条市スポーツ推進審議会（委員）
 - 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
一般社団法人全日本大学女子サッカー連盟（評議員）, 一般社団法人新潟県サッカー協会社会人サッカー連盟（理事）, 一般社団法人新潟県サッカー協会資格規律フェアプレー委員会（委員）, 一般社団法人新潟県サッカー協会女子委員会（委員）, 新潟県サッカー協会広報委員会（委員）
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 公益財団法人日本サッカー協会100周年表彰, 個人功労表彰（2021.9.29）
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 男子サッカー部, 天皇杯JFA第101回全日本サッカー選手権大会, 長野市, 1回戦敗退, 2021.5.22.（部長）
 2. 男子サッカー部, 第45回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント, 龍ヶ崎市, 2回戦敗退, 2021.8.26.（部長）
 3. 男子サッカー部, 第70回総全日本大学サッカー選手権大会, 相模原市他, 2回戦敗退, 2021.12.11.（部長）
 4. 女子サッカー部, 第30回全日本大学女子サッカー選手権大会, 三木市, 2回戦敗退, 2021.12.26.（部長）
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校（看護学科, 歯科衛生士学科）, 保健体育, 2021.10.1-2022.3.31.
- 5 学内委員会活動 FD・SD推進委員会（委員）, アスレティックデパートメント推進委員会（社会・地域活動推進部会, 部会長）

氏名：池田 祐介

- 1 研究題目 競泳のスタート動作に関する研究, 円盤投げの投てき動作に関する研究, ウエイトリフティングの拳上動作に関する研究（スポーツバイオメカニクス）
- 2 報告書
 1. 池田祐介, 奈良梨央, 馬場康博, 下山好充. 科研費基盤研究（C）水中ドルフィンキックのための専門的技術トレーニング法の開発, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 3 学会等研究発表

1. 池田祐介. 陸上で行うドルフィンキック模擬動作は動作改善のための有効なトレーニング手段になり得るのか? 日本水泳・水中運動学会 2021 年年次大会 (大阪), 2021.10.23.
 2. 久光哲也, 池田祐介. 競泳におけるキックスタートの飛距離と片脚ハードルジャンプの動作学的変数との関係. 第 34 回 日本トレーニング科学学会大会 (甲府), 2021.11.27-11.28.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本トレーニング科学学会, 日本水泳・水中運動学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 体育学研究英語版 【IJSHS】, 査読, 2021.4.26.
 2. 体育学研究英語版 【IJSHS】, 査読, 2021.10.20.
 3. 体育学研究, 査読, 2021.10.21.
 4. 体育学研究, 査読, 2021.12.25.
 5. トレーニング科学, 査読, 2022.2.20.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県消防学校「体育理論」講師 2021.9.30, 新潟県新潟市
 - 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. テレビ, スーパーJ新潟, ガッツリート, 『新潟医療福祉大学注目選手と強さの秘密に迫る』, 2021.4.5.
 2. テレビ, スーパーJ新潟, ガッツリート, 『水沼尚輝のスタートについて』, 2021.9.
 3. 新聞, 共同通信社, 水沼尚輝選手のトレーニングについて, 取材日 2021.6.28.
 4. 新聞, 新潟日報 朝刊 水沼尚輝選手のオリンピックでのパフォーマンスについてのコメント, 2021.7.31.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 日本水泳・水中運動学会 2021 年年次大会, 研究奨励賞, 2021.10.23.
 2. 【指導をしている大学院生の受賞】久光哲也, 第 34 回日本トレーニング科学学会大会若手研究奨励セッション, 奨励賞, 2021.11.28.
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームス 2021 代表選手選考会, 男子 100m バタフライ 優勝, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ): オリンピック日本代表内定
 2. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームス 2021 代表選手選考会, 男子 50m バタフライ 2 位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 3. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームス 2021 代表選手選考会, 男子 50m バタフライ 2 位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 4. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームス 2021 代表選手選考会, 男子 50m バタフライ 3 位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 5. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームス 2021 代表選手選考会, 男子 50m 自由形 3 位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 6. 水泳部, 第 97 回 日本選手権水泳競技大会 兼第 32 回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼

- FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
7. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100mバタフライ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 8. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m平泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 9. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 10. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 11. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m自由形 6位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 12. 水泳部, 第97回日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m平泳ぎ 8位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (トレーニングコーチ)
 13. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 14. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 15. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 2位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 16. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50m自由形 3位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 17. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100mバタフライ 4位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 18. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 19. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子50m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 20. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 21. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m平泳ぎ 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 22. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m自由形 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 23. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m背泳ぎ 8位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (トレーニングコーチ)
 24. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 5位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (トレーニングコーチ)
 25. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ 7位, 東京都, 2020.10.1-

- 10.4. (トレーニングコーチ)
26. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m自由形 8位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (トレーニングコーチ)
 27. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子4×100mメドレーリレー 8位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (トレーニングコーチ)
 28. 水泳部, 第97回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー 7位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (トレーニングコーチ)
 29. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 30. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 31. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ 2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 32. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 33. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 34. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 35. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ 7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 36. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 37. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 38. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 39. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形 6位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 40. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 41. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m背泳ぎ 6位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 42. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 43. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 44. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 45. 水泳部, 第63回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100mバタフライ 5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
 46. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
 47. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)

48. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 50m バタフライ 3 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
49. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 100m 自由形 6 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
50. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子 100m 背泳ぎ 8 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
51. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子 50m 背泳ぎ 4 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
52. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 50m 背泳ぎ 8 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
53. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 50m 自由形 2 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
54. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子 100m バタフライ 8 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
55. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 100m バタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)
56. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子 100m バタフライ 6 位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (トレーニングコーチ)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県消防学校「体育理論」講師 2021.9.30, 新潟県新潟市

7 学内委員会活動 学術委員会, SHAIN プロジェクト

氏名：久保 晃

報告事項なし

氏名：越中 敬一

1 研究題目 身体のエネルギー代謝調節機構の解明

2 論文

1. Sato A, Sato S, Omori G, Koshinaka K (2022). Effects of thiamin restriction on exercise-associated glycogen metabolism and AMPK activation level in skeletal muscle. *Nutrients*, 14(3), 710; <https://doi.org/10.3390/nu14030710>. (査読あり)
2. Koshinaka K, Honda A, Iizumi R, Miyazawa Y, Kawanaka K, Sato A (2021). Egg white protein feeding facilitates skeletal muscle gain in young rats with/without clenbuterol treatment. *Nutrients*, 13(6), 2042; <https://doi.org/10.3390/nu13062042>. (査読あり)
3. Kido K, Koshinaka K, Iizawa H, Honda H, Hirota A, Nakamura T, Arikawa M, Song-Gyu. Ra, Kawanaka K (2021). White protein promotes developmental growth in rodent muscle independently of leucine content. *Journal of Nutrition*, 152:117-129. (査読あり)
4. 日本新薬株式会社 共同研究 報告書 2021年4月～11月末

3 学会等研究発表

1. 越中敬一, 田中優人, 田村理沙, 本田明日香, 佐藤晶子 (2021), 鉄欠乏性貧血状態が骨格筋のエネルギー代謝に与える影響. 第75回日本体力医学会大会, 2021.9.17.
2. 佐藤晶子, 越中敬一 (2021), 短期的なチアミン欠乏が骨格筋および肝臓の脂質代謝に与える影響. 第68回日本栄養改善学会学術総会, 2021.10.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 運動生理学会, 日本体力医学会 (評議員)

- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Nutrients, 査読
 2. Journal of functional Food, 査読
 3. Nutrients, 査読
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度（21年度は継続）、科研費基盤研究（C）、組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討、研究代表者
 2. 2021年度、株式会社日本新薬、ピニトールが骨格筋のエネルギー代謝に及ぼす影響の網羅的解析、研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 大阪体育大学 大学院 講師 2022.1.17.
 2. 日本新薬株式会社 食品開発研究所 セミナー講師 2021.12.21.
- 6 学内委員会活動 動物実験委員会（副委員長）、劇毒物管理委員会、科研費対策委員会

氏名：佐近 慎平

- 1 研究題目 幼児・児童の発育発達・身体教育に関する研究、保育者の幼児への体育教授方法に関する研究、パラスポーツに関する研究
- 2 論文
 1. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士, 金子勝司. 幼児の高這い走を発達させる運動遊びの環境構成要素の研究. 自由時間研究. 2022; 47: 10-18.
 2. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平. 積雪期における健康体操教室の継続要因の検証～場で感じる楽しさとつながりに着目して～. 自由時間研究. 2022; 47: 119-130.
 3. 中曽根裕, 佐近慎平, 橋浦孝明, 金子勝司. 伝承遊びの環境が及ぼす運動との関連性～保育者養成課程に所属する学生の身体的有能さの認知に着目して～. 総合人間科学. 2022; 8: 49-60. (査読あり)
 4. 橋浦孝明, 佐近慎平, 中曽根裕, 金子勝司. コロナ禍における短期大学生の余暇生活の実態調査～行っていた余暇活動とその想いに着目して～. 総合人間科学. 2022; 8: 137-154. (査読あり)
- 3 報告書
 1. 佐近慎平, 西原康行, 杉崎弘周, 市川浩. 研究基盤（C）、幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 佐近慎平, 市川浩, 杉崎弘周. 幼児の四つ這い位走の類型化の検討, 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会（茨城）, 2021.9.7-9.9.
 2. 佐近慎平. 幼児の四つ這い位走の発達に伴う四つ這い走の類型配列改善に関する研究, 日本発育発達学会第20回大会（東京）, 2022.3.20-3.21.
 3. 佐近慎平, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 小池和幸, 仲野隆士. 初等教育における主体的・能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発—レクリエーション指導/支援技術を活用したパラリンピック教育—. 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（東京）, 2021.9.18.
 4. 本多理紗, 金子勝司, 佐近慎平, 中曽根裕, 蔵満保幸, 新井貢. ネットワーク構築につながる健康体操教室の継続要因について—長期継続している中高年者に着目して—. 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（東京）, 2021.9.18.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本教育工学会, 日本保育学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 新潟医療福祉学会ほか
 - 2) 学術集会の主催

1. 公益財団法人日本レクリエーション協会，令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議，実行委員，東京，2021.6.11.
2. 公益財団法人日本レクリエーション協会，令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議，実行委員，東京，2021.9.18.

3) 学会等でのその他の活動

1. 公益財団法人日本レクリエーション協会，令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議・関東甲信越ブロック研修会，講師，東京，2022.3.3.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県オリンピック・パラリンピック教育地域セミナー，新潟県のオリンピック・パラリンピック教育について，講師，新潟県教育庁，新潟県オリンピック・パラリンピック教育推進員，新潟県庁，2022.5.18.
2. 令和3年度3区（北・東・江南）合同保育研修会，明日から実践できる幼児への楽しさが先導する運動指導，講師，北・東・江南区役所健康福祉課，北区・東区・江南区公・私立保育園・幼稚園・認定こども園・認可外保育施設等保育者，新潟市，2022.10.26.
3. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業，地域専門人材養成研修，講師，新潟県県民生活・環境部，新潟市，2021.11.2.
4. 新潟医療福祉大学社会連携推進センター運営委員会社会連携事業，愛宕福祉会ドリームカレッジへの運動指導，講師，新潟医療福祉大学社会連携推進センター運営委員会，社会福祉法人愛宕福祉会ドリームカレッジ利用者，新潟市，2022.11.25，12.2，12.9，12.10.
5. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業，「運動遊び」モデル研修会，講師，新潟県スポーツ協会，新潟県幼児・保育者，長岡市，2022.9.14.
6. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業，「運動遊び」普及啓発セミナー，講師，新潟県スポーツ協会，新潟県幼児・保育者，長岡市，2022.9.14.
7. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業，「運動遊び」モデル研修会，講師，新潟県スポーツ協会，新潟県幼児・保育者，弥彦村，2022.10.14.
8. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業，「運動遊び」普及啓発セミナー，講師，新潟県スポーツ協会，新潟県幼児・保育者，弥彦村，2022.10.14.
9. 新潟県オリンピック・パラリンピック教育地域ワークショップ，新潟県のオリンピック・パラリンピック教育について，講師，新潟県教育庁，新潟県オリンピック・パラリンピック教育推進員，新潟県庁，2023.2.7.
10. 村上市幼児の体力向上事業，令和3年度村上市幼児の体力向上事業報告会，講師，村上市こども課，総合型スポーツクラブ担当者，新潟県村上市，2022.3.11.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. WEB，新潟日報モア，県障害者スポーツ大会について，2022.4.5.
2. 新聞，新潟日報，県障害者スポーツ大会について，2022.4.5.
3. WEB，新潟日報モア，障害者スポーツからパラスポーツへ，2022.4.19.
4. 新聞，新潟日報，障害者スポーツからパラスポーツへ，2022.4.19.
5. WEB，時事通信，東京パラリンピック，2022.9.2.
6. WEB，グノシー，東京パラリンピック，2022.9.2.
7. 新聞，新潟日報，幼児の運動習慣を向上させる県の支援事業のモデル研修会，2022.10.26.
8. WEB，Jpubb，幼児の運動習慣を向上させる県の支援事業のモデル研修会，2022.11.11.
9. 新聞，新潟日報，パラスポーツ体験会&講演会，2022.12.3.
10. 新聞，新潟日報，加茂市の須田小学校でパラスポーツを体験する授業，2022.12.10.

3) 社会活動への参加協力

1. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山居町保育園, 2020.7.6.
 2. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立猿沢保育園, 2020.7.8.
 3. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立高南保育園, 2020.7.13.
 4. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第一保育園, 2020.7.15.
 5. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立館越保育園, 2020.7.20.
 6. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市第二保育園, 2020.7.21.
 7. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立瀬浪保育園, 2020.7.28.
 8. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立岩船保育園, 2020.8.2.
 9. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山辺里保育園, 2020.8.3.
 10. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立金屋保育園, 2020.8.5.
 11. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立そらいろ保育園, 2020.8.6.
 12. 新潟県教育庁, 加茂市立須田小学校パラスポーツ体験講座, パラリンピック教育, 講師, 新潟県教育庁教育委員会・加茂市教育委員会, 加茂市立須田小学校児童, 2020.12.7.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会（委員長）
- 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員
日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議（特任幹事）
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究（C）, 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究代表者
 2. 2021年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 幼児の高這い走を発達させる運動遊びの環境構成要素の研究, 研究代表者
 3. 2021年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 積雪期における健康体操教室の継続要因の検証, 研究分担者
 4. 2021年度, 村上市幼児の体力向上事業, 研究委託, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際こども・福祉カレッジこども福祉教育学科・児童教育学科, こどもと体育, 2021.4.1-2022.3.31.
- 8 学内委員会活動 入試委員会（副委員長）, 身体教育研究センター（副センター長）, 人権委員会（調査委員）, 障がい者スポーツ検討プロジェクト委員

氏名：佐藤 晶子

- 1 研究題目 短期的なチアミン（ビタミンB1）の摂取制限がエネルギー代謝に及ぼす影響
- 2 論文

1. Sato A, Sato S, Omori G, Koshinaka K. Effects of Thiamin Restriction on Exercise-Associated Glycogen Metabolism and AMPK Activation Level in Skeletal Muscle. *Nutrients (JCR)*. 2022, 14(3), 710. (review)
 2. Koshinaka K, Honda A, Iizumi R, Miyazawa Y, Kawanaka K and Sato A. Egg White Protein Feeding Facilitates Skeletal Muscle Gain in Young Rats with/without Clenbuterol Treatment. *Nutrients (JCR)*. 2021, 13, 2042. (review)
- 3 学会等研究発表
1. 佐藤晶子, 越中敬一. 短期的なチアミン欠乏が骨格筋および肝臓の脂質代謝に与える影響, 第68回日本栄養改善学会学術総会 (誌上およびオンライン), 2021.10.1-10.2.
 2. 越中敬一, 田中優人, 田村理沙, 本田明日香, 佐藤晶子. 鉄欠乏性貧血状態が骨格筋のエネルギー代謝に与える影響, 第75回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.30.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会 (評議員), 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. The 8th Asian Congress of Dietitians 2022, プログラム委員会ポスター検討グループリーダー, 横浜市, 2022.8.19-8.21・2020.6-
- 5 社会活動
- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 職能団体機関誌, 日本栄養士会雑誌 (日本栄養士会), 管理栄養士の活動最前線 特定分野認定制度 公認スポーツ栄養士 自立した選手の育成を目指した大学チームでの支援活動, 64巻6月号
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人全日本アーチェリー連盟強化部科学委員, 日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 教務委員会, アクアヘルス推進プロジェクト研究センター, SHAINプロジェクト, JICA 草の根支援事業 (ハイズオン氏の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり)

氏名 : 山代 幸哉

- 1 研究題目 脳内情報を基にしたアスリートの慢性疼痛評価法と対処法の創出
- 2 論文
 1. Ikarashi K, Sato D*, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response inhibitory control varies with different sensory modalities. *Cerebral Cortex. JCR*. 2022 32(2) 275-285. (査読あり)
 2. Baba Y, Sato D, Otsuru N, Ikarashi K, Fujimoto T, Yamashiro K. Does long-term training in water immersion environment change interoception? *International Journal of Environmental Research and Public Health JCR* 2021 18(19) 10259. (査読あり)
- 3 報告書
 1. 山代幸哉, 基盤研究C, アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築, 科研費実績報告書 (代表)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生体磁気学会 (評議員), 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本体育学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本生体磁気学会, 評議委員会 (委員), オンライン, 6.16.

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 北区「ひと・まち」パートナーシップ事業 事前打ち合わせ 2021.12.10.
2. 北区「ひと・まち」パートナーシップ事業 動画撮影 2022.3.15.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度 科研費基盤研究（C），アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築（研究代表者）
2. 2021年度 科研費基盤研究（B），皮質－基底核ループの抑制機能を高め，技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発
3. 2019年度 科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーション－次世代感覚運動学習法の創出を目指して－（研究分担者）

2) 学内部活動の実績

1. 陸上競技部，全日本大学対校選手権大会，女子400mR，第8位，埼玉県熊谷市，2021.9.

7 学内委員会活動 大学院教育研究環境委員会（委員長），URA推進室，アドミッションオフィス室員

氏名：若月 弘久

1 研究題目 ①生徒指導論②バスケットボール指導論 指導方法に関する研究

2 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2021年度教員免許更新講習講師「中学生の体力の現状と課題」（主催：一般財団法人新潟県レクリエーション協会）2021.県立教育センター
2. バスケットボール教室（対象：U10.U12.U15，主催：新潟医療福祉大学男子バスケットボール部，開催日：毎月第2，第4月曜日）

2) 社会活動への参加協力

1. 豊栄バスケットボール協会U10.U12.U15クラブチーム「Team Kita」アドバイザー（毎週 水曜日）

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

北信越大学バスケットボール連盟（理事） 新潟県バスケットボール協会（成年男子監督）

3 その他の教育研究活動

1) 受賞，学位取得，資格取得

1. JBL公認C級ライセンス取得，更新（2019.4，2022.4）

2) 学内部活動の実績

1. 男子バスケットボール部 2021年度第73回全日本大学バスケットボール選手権北信越選手権 優勝

3) 学外兼務講師等

1. 2021年度 教員免許更新講習講師「中学生の体力の現状と課題」（主催：一般財団法人新潟県レクリエーション協会）

4 学内委員会活動 教職支援センター運営委員 新潟連携教育研究センター運営委員

氏名：市川 浩

報告事項なし

氏名：伊藤 篤司

- 1 研究題目 VR映像を用いたバスケットボール審判の力量を高めるシステムの開発，大学強化部学生における鉄欠乏性貧血と鉄代謝関連ホルモンに関する研究，立位と坐位による下肢血流に対する弾性ストッキングの有用性の研究，閉塞性動脈硬化症ASOにおける運動療法の新しい取り組み

2 論文

1. Maruyama S, Sekine C, Shagawa M, Yokota H, Hirabayashi R, Togashi Y, Hamano R, Ito A, Sato D, Edama M. Menstrual cycle Changes joint laxity in females -differences between eumenorrhea and oligomenorrhea-, 2022.2.7, 1-37, Journal of Clinical Medicine. (review)

3 学会等研究発表

1. Nishihara Y, Ito A. Differences in utterances when the fixed VTR images and the VR images are reproduced: From the utterances of the coaches in the women's college basketball game images. ECSS (欧州スポーツ科学学会) 2021.7 e-poster
2. 菊元孝則, 伊藤篤司, 小林真里奈, 若月弘久. 「大学生バスケットボール選手における functional movement screen と障害発生との関連性についての検証」, 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30. (オンライン開催)
3. 大徳尚司, 佐藤未希, 小林真里奈, 伊藤篤司, 中村雅俊, 東江由起夫. 大腿切断者の義足歩行運動による下肢血流動態の分析, 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30. (オンライン開催)

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会

5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞掲載, 新潟日報, 第73回全日本大学バスケットボール選手権大会出場に際して, 2021.12.2.
2. 新聞掲載, スポニチ, 第73回全日本大学バスケットボール選手権大会出場に際して, 2021.12.2.

- 2) 社会活動への参加協力

1. NBBA学生部会委員会, (委員) 2022.3.14, 新潟市, オンライン開催, 大会報告と年間収支報告, 次年度スケジュールについて
2. 北信越大学バスケットボール連盟, 令和3年度臨時理事会, (理事), オンライン開催, 2022.3.13, 次年度大会要項, スケジュールについて.

- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

北信越大学バスケットボール連盟(理事), 新潟県バスケットボール協会学生部会委員会

6 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. JBA公認S級コーチライセンス(2021.10.1), 日本スポーツ協会公認コーチデベロッパー(2021.12.5)

- 2) 学内部活動の実績

1. 女子バスケットボール部, 第73回全日本大学バスケットボール選手権大会出場, 東京(2021.12.7), 監督
2. 女子バスケットボール部, 第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会二次ラウンド出場, 新潟市(2021.11.27), 監督

- 7 学内委員会活動 アスレチックデパートメント推進委員会(委員長), 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名: 鵜瀬 亮一

- 1 研究題目 野球競技のコーチング, 熟達指導者研究

2 論文

1. 鵜瀬亮一, 中村絵美, 佐藤勉, 石川智雄, 佐藤和也. 新潟県中学野球試合における投手の登板人数および球数調査. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21 (2): 57-60. (査読あり)
2. 鵜瀬亮一. スポーツの指導言語を見直す. 体育の科学 2022.1; Vol.72 P26-30. (寄稿)
3. Use R, Nakamura E, Sato T, Ishikawa T, Sato K. The number of pitchers per game and pitches thrown by each pitcher in Junior High School before and after the introduction of the limited pitchers' rule in Niigata Prefecture, Japan. Niigata Journal of Health and Welfare.2022; in press. (査読あり)

3 報告書

1. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本教育工学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学野球教室, 中学生30名指導, 講師, 新潟市, 2021.8.4.
2. 新潟県野球連盟審判員・記録放送員育成研修会, 審判員20名・記録放送員30名, 試合演者, 長岡市, 2021.10.31.
3. 南魚沼市指導者講習会, 指導者20名, 講師, 南魚沼市, 2021.11.3.
4. 第8回野球審判技術向上講習会演者, 審判員60名, 練習演者, 新潟市, 2021.11.13.
5. 糸魚川市野球教室, 指導者30名, 小学生80名, 講師, 糸魚川市, 2021.11.14.
6. 全軟連コーチI養成講習会, 指導者30名, 講師, 新潟市, 2021.11.23.
7. 長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室, 中学生59名, 講師, 小千谷市, 2021.11.27.
8. 長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室, 小学生83名, 講師, 小千谷市, 2021.11.28.
9. 令和3年度砺波市中高生野球教室, 中学生84名 高校生40名, 講師, 富山県砺波市, 2021.12.5.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, スポーツニッポン 春季リーグ前特集記事 2021.4.2.
2. 新聞, 新潟日報 春季リーグ前特集記事 2021.4.3.
3. 新聞, 日刊スポーツ 春季リーグ前特集記事 2021.4.3.
4. Web Webスポルティーバ特集記事. 2021.5.7.
5. 新聞, スポーツニッポン 春季リーグ首位打者賞受賞記事 2021.6.10.
6. 新聞, スポーツニッポン 春季リーグベストナイン記事 2021.6.19.
7. 雑誌, 「甲子園2021」(日本文芸社), あの一球 あの試合 あの選手, 2021.8.15.
8. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説2021.7.22. 新津工業×新潟産業大学附属
9. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説2021.7.23. 東京学館新潟高校×新潟明訓高校
10. Web, 朝日新聞×ABC放送, 「バーチャル高校野球」解説2021.7.25. 新潟明訓高校×日本文理高校
11. テレビ, BSNゆうなび, ドラフト特集, 2021.8.23.
12. 新聞, スポーツニッポン, 秋季リーグ開幕前特集, 2021.8.25.
13. 雑誌, 大学野球 秋季リーグ戦展望号 NPBスカウト注目4年生 2021.9.6.
14. 新聞, 日刊スポーツ 秋季リーグ前特集記事 2021.9.11.
15. 新聞, 日刊スポーツ プロ志望届提出関連記事 2021.9.16.
16. テレビ, NST Newsタッチ, ドラフト前特集, 2021.9.20.
17. 雑誌, スタンダード新潟秋号, ドラフト特集記事, 2021.9.
18. 新聞, 新潟日報 秋季リーグ前特集記事 2021.10.1.
19. 新聞, スポーツニッポン全国版 秋季リーグ開幕 対山梨学院大学戦 2021.10.3.
20. 新聞, スポーツ報知全国版 秋季リーグ開幕 対山梨学院大学戦 2021.10.3.
21. 新聞, サンケイスポーツ全国版 秋季リーグ開幕 対山梨学院大学戦 2021.10.3.
22. 新聞, デイリースポーツ全国版 秋季リーグ開幕 対山梨学院大学戦 2021.10.3.
23. テレビ, UXスーパーJ新潟, ドラフト前特集, 2021.10.6.
24. Web, デイリー新潮, ドラフト前特集記事, 2021.10.6.

25. 新聞, スポーツニッポン全国版 ドラフト前特集個人記事, 2021.10.7.
26. 新聞, スポーツ報知全国版 ドラフト前特集個人記事, 2021.10.7.
27. テレビ, NST Newsタッチ, ドラフト前特集, 2021.10.8.
28. テレビ, NHK 新潟ニュース610, ドラフト前特集, 2021.10.8.
29. 新聞, 新潟日報, ドラフト前特集記事, 2021.10.9.
30. Web, デイリー新潮, ドラフト前特集記事, 2021.10.9.
31. 新聞, 日刊スポーツ ドラフト前特集記事, 2021.10.9.
32. 新聞, 朝日新聞全国版 ドラフト展望特集記事, 2021.10.10.
33. Web, 日刊スポーツ全国版 秋季リーグ上武大学戦記事, 2021.10.10.
34. Web, スポーツ報知全国版 秋季リーグ上武大学戦記事, 2021.10.10.
35. Web, 東京中日スポーツ 秋季リーグ上武大学戦記事, 2021.10.11.
36. テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番 ドラフト前中継, 2021.10.11.
37. テレビ, UXスーパーJ新潟, ドラフト指名会見, 2021.10.11.
38. テレビ, NST Newsタッチ, ドラフト指名会見, 2021.10.11.
39. テレビ, NHK 新潟ニュース610, ドラフト指名会見, 2021.10.11.
40. テレビ, BSNゆうなび, ドラフト指名会見, 2021.10.11.
41. 新聞, 新潟日報 ドラフト指名記事, 2021.10.12.
42. 新聞, スポーツニッポン ドラフト指名記事, 2021.10.12.
43. 新聞, 日刊スポーツ全国版 ドラフト指名記事, 2021.10.12.
44. 新聞, スポーツニッポン全国版 ドラフト指名記事, 2021.10.12.
45. 新聞, 朝日新聞新潟版 ドラフト指名記事, 2021.10.12.
46. 新聞, 読売新聞新潟版 ドラフト指名記事, 2021.10.12.
47. テレビ, NHK 新潟ニュース610 ドラフトから一夜明けて, 2021.10.12.
48. テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番 ドラフトから一夜明けて, 2021.10.12.
49. テレビ, NST Newsタッチ, ドラフトから一夜明けて, 2021.10.12.
50. テレビ, BSNゆうなび, ドラフトから一夜明けて, 2021.10.12.
51. 新聞, 新潟日報 社説記事, 2021.10.12.
52. 新聞, 新潟日報 ドラフトから一夜明けて練習再開の記事, 2021.10.12.
53. テレビ, NHK 新潟ニュース610, 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.14.
54. テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番, 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.14.
55. テレビ, NST Newsタッチ, 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.14.
56. テレビ, BSNゆうなび, 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.14.
57. テレビ, UXスーパーJ新潟, 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.14.
58. 新聞, スポーツニッポン全国版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
59. 新聞, スポーツニッポン新潟版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
60. 新聞, 新潟日報 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
61. 新聞, 日刊スポーツ全国版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
62. 新聞, 日刊スポーツ新潟版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
63. 新聞, 読売新聞新潟版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
64. 新聞, デイリースポーツ全国版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
65. 新聞, サンケイスポーツ全国版 阪神タイガース指名あいさつ, 2021.10.15.
66. 新聞, 日刊スポーツ全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
67. 新聞, 日刊スポーツ新潟版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
68. 新聞, 読売新聞新潟版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
69. 新聞, デイリースポーツ全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.

70. 新聞, サンケイスポーツ全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
71. 新聞, スポーツニッポン全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
72. 新聞, 読売新聞全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
73. 新聞, スポーツ報知全国版 平成国際大学戦完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17.
74. 新聞, 新潟日報 完全試合&奪三振記録樹立 2021.10.17
75. テレビ, NST Newsタッチ, 完全試合&最多奪三振試合について. 2021.10.18.
76. テレビ, UXスーパーJ新潟, 完全試合&最多奪三振試合について. 2021.10.18.
77. テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番, 完全試合&最多奪三振試合について. 2021.10.18.
78. Web, デイリースポーツ, 新潟医療福祉大学桐敷拓馬がプロを意識したきっかけとは. 2021.10.19.
79. 新聞, スポーツニッポン新潟版, 桐敷関連記事掲載. 2021.10.20.
80. テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番, ソフトバンクホークス指名あいさつ. 2021.10.20.
81. テレビ, NST Newsタッチ, ソフトバンクホークス指名あいさつ. 2021.10.20.
82. テレビ, UXスーパーJ新潟 ソフトバンクホークス指名挨拶. 2021.10.20.
83. テレビ, BSNゆうなび ソフトバンクホークス指名挨拶. 2021.10.20.
84. 新聞, スポーツニッポン新潟版 ソフトバンクホークス指名挨拶. 2021.10.21.
85. 新聞, 日刊スポーツ新潟版 ソフトバンクホークス指名挨拶. 2021.10.21.
86. 新聞, 新潟日報 ソフトバンクホークス指名挨拶. 2021.10.21.
87. 新聞, 新潟日報 完全試合に関する後日記事. 2021.10.22.
88. 新聞, デイリースポーツ全国版 秋季リーグ戦最終戦について. 2021.10.24.
89. 新聞, スポニチ新潟版 秋季リーグ戦最終戦について. 2021.10.24.
90. Web, デイリースポーツ 秋季リーグ戦最終戦について. 2021.10.24.
91. 新聞, 新潟日報 秋季リーグ戦個人タイトルに関する記事. 2021.10.27.
92. Web, Number Web マスクの窓から野球を見れば. 2021.10.27.
93. 新聞, スポーツニッポン新潟版, オータムカップ開幕記事. 2021.11.6.
94. 新聞&Web, 日刊スポーツ新潟版&Yahooニュース, NGT真下さんの監督インタビュー, 2021.11.13.
95. テレビ, NST Newsタッチ, 阪神タイガース仮契約. 2021.11.19.
96. テレビ, UX スーパーJ新潟, 阪神タイガース仮契約. 2021.11.19.
97. テレビ, NHK 新潟ニュース610, 阪神タイガース仮契約. 2021.11.19.
98. 新聞, 新潟日報 阪神タイガース仮契約. 2021.11.20.
99. 新聞, スポーツニッポン新潟版 阪神タイガース仮契約. 2021.11.20.
- 100.Web, デイリースポーツ, 阪神タイガース仮契約関連記事. 2021.11.20.
- 101.Web, スポーツ報知, 阪神タイガース仮契約関連記事. 2021.11.20.
- 102.Web, 日刊スポーツ, 阪神タイガース仮契約関連記事. 2021.11.20.
- 103.Web, スポーツニッポン, 阪神タイガース仮契約関連記事. 2021.11.20.
- 104.Web, サンケイスポーツ, 阪神タイガース仮契約関連記事. 2021.11.20.
- 105.テレビ, BSN ゆうなび, 阪神タイガース仮契約. 2021.11.22.
- 106.テレビ, TeNY 夕方ワイド新潟一番, 阪神タイガース仮契約. 2021.11.22.
- 107.新聞, スポーツニッポン新潟版, 秋季リーグ最多盗塁賞受賞記事. 2021.11.27.
- 108.Web&新聞 (関西版), デイリースポーツ, 阪神タイガースドラフト選手特集 (1). 2021.12.1.
- 109.Web&新聞 (関西版), デイリースポーツ, 阪神タイガースドラフト選手特集 (2). 2021.12.2.
- 110.Web&新聞 (関西版), デイリースポーツ, 阪神タイガースドラフト選手特集 (3). 2021.12.3.
- 111.Web&新聞 (関西版), スポーツニッポン, 阪神タイガースドラフト選手特集 (上). 2021.12.4.
- 112.Web&新聞 (関西版), スポーツニッポン, 阪神タイガースドラフト選手特集 (下). 2021.12.5.
- 113.新聞, 新潟日報, 新潟青陵高校講演会記事. 2021.12.9.
- 114.新聞, 新潟日報, ソフトバンクホークス入団発表記事. 2021.12.12.

- 115.Web, 日刊スポーツ, 阪神タイガース新入団選手施設見学記事. 2021.12.13.
- 116.Web, 東京スポーツ, 阪神タイガース新入団選手施設見学記事. 2021.12.13.
- 117.Web, サンケイスポーツ, 阪神タイガース新入団選手施設見学記事. 2021.12.13.
- 118.テレビ, UX スーパーJ新潟, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.13.
- 119.テレビ, NHK 新潟ニュース610, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.13.
- 120.テレビ, NST Newsタッチ, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.13.
- 121.Web, スポーツニッポン, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.13.
- 122.新聞, 新潟日報, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 123.新聞, スポーツニッポン新潟版, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 124.新聞&Web, デイリースポーツ全国版, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 125.Web, 東京スポーツ, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 126.Web, サンケイスポーツ, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 127.Web, スポーツニッポン, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 128.Web, 日刊スポーツ, 阪神タイガース入団発表. 2021.12.14.
- 129.Web, 日刊スポーツ, 桐敷投手壮行会関連記事. 2021.12.20.
- 130.Web, サンケイスポーツ, 桐敷投手鴻巣市長表敬訪問記事①. 2021.12.20.
- 131.Web, サンケイスポーツ, 桐敷投手壮行会関連記事. 2021.12.20.
- 132.Web, サンケイスポーツ, 桐敷投手鴻巣市長表敬訪問記事②. 2021.12.20.
- 133.テレビ&Web, テレビ埼玉, 桐敷投手鴻巣市長表敬訪問. 2021.12.20.
- 134.テレビ, UX スーパーJ新潟, 県内スポーツのこの1年を振り返る. 2021.12.20.
- 135.テレビ, BSN ゆうなび, 県内スポーツのこの1年を振り返る. 2021.12.23.
- 136.テレビ, UX スーパーJ新潟 桐敷投手佐藤琢磨投手大矢コーチに関する特集. 2022.1.10.
- 137.新聞&Web, スポーツニッポン全国版 阪神ドラ3桐敷 大学で磨いた「自主性」強みに即戦力としての活躍誓う. 2022.1.18.
- 138.Web配信番組, DAZN 「虎の素顔」桐敷拓馬強気にゲームを支配する. 2022.1.21.
- 139.新聞, スポーツニッポン新潟版 医福大坂井主将長打磨いてV導く. 2022.1.25.
- 140.新聞, スポーツニッポン新潟版 佐賀キャンプ中止記事掲載. 2022.2.23.
- 141.テレビ, スーパーJ新潟 ガッツリート 桐敷開幕一軍へ2022.3.14.
- 142.新聞, スポーツニッポン新潟版 新潟医療福祉大学VSアルビレックスBCオープン戦記事. 2022.3.24.
- 143.新聞, 新潟日報 新潟医療福祉大学VSアルビレックスBCオープン戦スコア掲載. 2022.3.24.
- 144.Web, 毎日新聞<スポーツの今>「社会との関わり」が選手を強くする 新潟医療福祉大野球部. 2022.3.26.
- 145.新聞, スポーツニッポン新潟版 先輩に続く! 医福大町屋自覚の2回零封. 2022.3.28.
- 146.テレビ, NSTニュース 阪神・桐敷拓馬(新潟医福大出身)がプロ初登板 6回3失点で交代. 2022.3.28.
- 147.テレビ, UX スーパーJ新潟 ガッツリート 阪神ドラフト3位桐敷投手初登板. 2022.3.28.
- 148.新聞, スポーツニッポン新潟版 春季リーグ注目選手菅井道選手特集記事. 2022.3.31.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
関甲新学生野球連盟(理事), 新潟県野球協議会(理事)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
1. 2020年度, 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究代表者
- 2) 学内部活動の実績
1. 硬式野球部, 2021年プロ野球ドラフト会議, 阪神タイガース3位指名, 2021.10.11.

2. 硬式野球部, 2021年プロ野球ドラフト会議, ソフトバンクホークス育成13位指名, 2021.10.11.

氏名: 越智 元太

- 1 研究題目 パフォーマンスを高めるコンディショニング法の開発, 運動が認知機能に与える影響とその神経基盤, 運動による脳疲労の機構と対処法の解明
- 2 論文
 1. Damrongthai C, Kuwamizu R, Suwabe K, Ochi G, Yamazaki Y, Fukuie T, Adachi K, Yassa MA, Churdchomjan W, Soya H. Benefit of human moderate running boosting mood and executive function coinciding with bilateral prefrontal activation. Scientific Reports. 2021; 11(1): 22657. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. Kuwamizu R, Suwabe K, Damrongthai C, Fukuie T, Ochi G, Hyodo K, Hiraga T, Nagano-Saito A, Soya H. Does dopaminergic function connect the link between aerobic fitness and prefrontal executive function? A combined sEBR-fNIRS study. ViDA 2021 (オンライン), 2021.6.22-6.24.
 2. 越智元太. 運動によって生じる中枢疲労とそのメカニズム. 日本スポーツ栄養学会 第7回大会 (オンライン), 2021.7.3-7.12. 【シンポジウム】
 3. 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 仮想現実環境 (VR) は運動時の気分を高めるか: VRヘッドセットを用いた予備的検討. 第76回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.30.
 4. 益城優芽, 越智元太, 山崎雄大, 桑水隆多, 弘山勉, 征矢英昭. 毛髪コルチゾールを用いた長距離アスリートの慢性ストレス評価: 個人内解析の有用性. 第76回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.30.
 5. 山崎雄大, 越智元太, 諏訪部和也, 李東旻, 征矢英昭. 低酸素暴露を用いたヒト海馬認知疲労モデルの開発: 心理状態が及ぼす影響の検討. 第76回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.30.
 6. 越智元太. 疲労困憊に至る漸増負荷運動は認知疲労を引き起こすか?. ARIHHPフォーラム 2022 (茨城・オンライン), 2022.3.19. 【シンポジウム】
 7. Ochi G, Kuwamizu R, Aoike N, Soya H, Sato D. Do graded exercise test leading to volitional exhaustion induced cognitive fatigue?. ARIHHPフォーラム 2022 (茨城・オンライン), 2022.3.19.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事, 学会誌編集委員), 日本体力医学会, 日本トレーニング科学会, 新潟県体育学会, 日本スポーツ栄養学会, 北米神経科学会, 欧州スポーツ科学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. PLOS ONE, 査読
- 5 会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. オンデマンド配信, 新潟医療福祉大学 Web 模擬講義, 脳機能を高めよう! ~VRを使った新たなトレーニング法の可能性~
 2. NEWS LETTER, 新潟骨を守る会 NEWS LETTER 第73号, 楽しい運動プログラムを見つけよう, 2022.3.21.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益社団法人全国大学体育連合関東支部 (運営委員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019, 若手研究, 運動による認知疲労の生理機構解明とそれを抑制するトレーニング法開発, 研究代表者
 2. 2021, 筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター 2021年度国立大学法人筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター公募型「共同利用・共同研究」,

オンライン測定システムを用いた身心状態と運動性認知疲労の関係の検討, 研究代表者

- 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所 (研究員), 学術委員会 (委員), 利益相反マネジメント委員会 (委員), 知的財産委員会 (委員)

氏名: 杵渕 洋美

- 1 研究題目 ドイツ・デンマークにおける職業教育訓練に関する研究 (比較・国際教育学), 資格枠組みに関する研究 (比較・国際教育学), 介護福祉分野における教育プログラム開発, 介護分野における人材還流のあり方研究
- 2 論文
 1. 杵渕洋美, 欧州における資格認証の動向とその『志向』, 早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊. 2021; 29(1): 103-112 (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 杵渕洋美, 杉崎弘周, 菊地克彦. 地域における高齢者の理解に関する授業実践の現状. 日本福祉教育・ボランティア学習学会第27回大会 (オンライン), 2021.11.27-11.28.
 2. 杵渕洋美. 資格枠組みのレベル矛盾克服に向けた課題—介護分野におけるインドネシアと日本の人材還流を事例として—, 日本比較教育学会研究発表会 (オンライン), 2021.12.11.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 関東教育学会, 日本カリキュラム学会, 日本職業教育学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, アジア教育学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 北区「ひと・まち」パートナーシップ支援事業, 新潟市北区, 2021.4.1-2022.3.31.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用, 研究代表者
 2. FY2021-2022, Economic Research Institute for ASEAN and East Asia, “Resilient Long-term Care for the Elderly under COVID-19 Pandemic”, 研究分担者
 - 2) 学内活動の実績
 1. 卓球部, 第68回春季北信越学生卓球選手権大会, 男子団体1部3位/女子団体3位, 新潟県, 2021.5.7-5.9, 第90回全日本大学総合卓球選手権大会出場, 京都府, 2021.7.1-7.4. (部長)
 2. 卓球部, 第87回全日本大学総合卓球選手権大会出場, 男子個人シングルス, 所沢市, 2021.10.28-10.31. (部長)
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (養成部会部会長), 社会連携推進センター運営委員会 (委員)

氏名: 熊崎 昌

- 1 研究題目 ラグビー競技者における脳振盪の発生状況や機能評価に関する研究 (スポーツ科)
- 2 論文
 1. 熊崎昌. 科研費若手研究, 衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発, 研究実施状況報告書, 2020-2022 (研究代表者)
 2. 細川由梨, 大伴茉奈, 熊崎昌, 田島千紘, 猪俣巴, 勝保凜香, 東海林理紗, 卷渕泰輝, 中山晴雄. 日本の大学スポーツ競技団体が一般公開しているスポーツ関連脳振盪に関する情報発信の内容. 日本アスレティックトレーニング学会誌 (協力学術研究団体). 2021. (査読有り, in press)
- 3 学会等研究発表
 1. 熊崎昌, 岡田武, 市川浩. 大学サッカー選手における試合時に受ける身体への衝撃. 第10回日本アスレ

ティックトレーニング学会学術大会（オンライン），2021.10.9-10.31.

2. 熊崎昌，市川浩，大森豪. 高校ラグビー選手における脳振盪発生時に受ける身体加速度. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会（オンライン），2021.11.13-12.6.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本体力医学会，日本臨床スポーツ医学会，日本アスレティックトレーニング学会（編集委員）
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会，査読
 2. 日本アスレティックトレーニング学会，編集委員，2021年度

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー，部活動指導者に知ってもらいたいアタマの怪我とその対応，講師，新潟市中学校体育連盟，新潟市中学校保健体育・部活動指導者，新潟県新潟市，2021.8.27.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟工業高校ラグビー部，北信越大会における大会帯同，トレーナー，新潟県長岡ニュータウン運動公園，2021.6.19-6.20.
 2. 北信越・東北・北海道学生陸上競技連盟，第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会，医務担当，新潟県新潟市陸上競技場，2021.7.3-7.4.
 3. 日本ラグビーフットボール協会，第6回TIDユースキャンプ（Bigman & Fastman Camp），トレーナー，大阪府堺市J-Green 堺，2021.12.17-12.19.
 4. 日本ラグビーフットボール協会，第8回TIDユースキャンプ（U19エキシビジョンマッチ），トレーナー，静岡県袋井市エコパスタジアム，2022.3.4-3.8.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会（幹事）

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，科研費若手研究，衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発（研究代表者）

7 学内委員会活動 国際交流委員会，アスリートサポート研究センター，運動機能医科学研究所，SHAINプロジェクト

氏名：小林 志郎

- 1 研究題目 陸上競技投擲種目における競技力向上に関する研究
- 2 論文
 1. 小林志郎. 円盤投における競技力向上を目的としたリバース導入について－女子大学生競技者1名を対象とした実践研究－，陸上競技研究，2021; 125(2): 42-50.（査読あり）
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本陸上競技学会，日本コーチング学会，陸上競技研究
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟陸上競技協会（理事），北信越学生陸上競技連盟（評議員），新潟県実業団陸上競技連盟（理事）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部，天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会，男子円盤投，4位，熊谷スポーツ文

化公園, 2021.9.17. (監督・コーチ)

2. 陸上競技部, 天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子ハンマー投, 7位, 熊谷スポーツ文化公園, 2021.9.19. (監督・コーチ)
3. 陸上競技部, 天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子走高跳, 8位, 熊谷スポーツ文化公園, 2021.9.18. (監督)
4. 陸上競技部, 天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 2位, 熊谷スポーツ文化公園, 2021.9.18. (監督)
5. 陸上競技部, 天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子4×100mリレー, 8位, 熊谷スポーツ文化公園, 2021.9.18. (監督)
6. 陸上競技部, 第105回日本陸上競技選手権大会, 女子ハンマー投, 5位, ヤンマースタジアム長居, 2021.6.26. (監督・コーチ)
7. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子円盤投, 3位, レモンガススタジアム平塚, 2021.6.6. (監督・コーチ)
8. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 女子ハンマー投, 8位, レモンガススタジアム平塚, 2021.6.4. (監督・コーチ)
9. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子三段跳, 6位, レモンガススタジアム, 2021.6.6 (監督)
10. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 女子走高跳, 8位, レモンガススタジアム平塚, 2021.6.4. (監督)
11. 陸上競技部, 2021日本学生陸上競技個人選手権大会, 男子走高跳, 優勝, レモンガススタジアム平塚, 2021.6.4. (監督)
12. 陸上競技部, 第37回U20日本陸上競技選手権大会, 男子円盤投, 優勝, ヤンマースタジアム長居, 2021.6.24. (監督・コーチ)
13. 陸上競技部, 第37回U20日本陸上競技選手権大会, 男子円盤投, 2位, ヤンマースタジアム長居, 2021.6.24. (監督・コーチ)
14. 陸上競技部, 第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子総合の部, 優勝, 新潟市陸上競技場, 2021.7.3-7.4. (監督)
15. 陸上競技部, 第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子総合の部, 優勝, 新潟市陸上競技場, 2021.7.3-7.4. (監督)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学, 陸上競技授業実践実習, 2021.4.8-9.30.

6 学内委員会活動 就職センター運営委員会, AD推進委員会 (スカウト部会長)

氏名: 佐藤 裕紀

- 1 研究題目 デンマークの生涯学習政策に関する研究 (比較・国際教育学), 生涯学習における学習成果の認証に関する研究 (生涯学習), 地域づくりにおける子どもと若者の参画に関する研究
- 2 著書
 1. 佐藤裕紀; 北欧留学情報センター編著, 社会人のための北欧留学ーデンマーク Folkehøjskoleガイド2022年版: 東京: ビネバル出版; 2021: 174-177.
- 3 論文
 1. 佐藤裕紀. 保健医療福祉専門職養成及び教員養成へのヒューマンライブラリー活用の可能性ー企画運営に携わった学生の語りの分析から. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021; 5: 4-13.
 2. 佐藤裕紀. 現職教員の声を聴く会開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021; 5: 21-23.
 3. 佐藤裕紀. 文献紹介・北欧教育研究会編著『北欧の教育最前線ー市民社会をつくる子育てと学び』. 比較教育学研究. 2022; 64: 210.

4. 日暮トモ子, 本柳とみ子, 吉田重和, 佐藤裕紀, 古阪肇, 鈴木賀映子. OECD「初任教員の養成に関する調査」(Initial Teacher Preparation Study)に係る各国報告書の翻訳(抄訳). 比較・国際教育学論集, 2021; 9: 21-44頁.
5. 佐藤裕紀. ICT社会において, 共に生きていくための教育を考えるーデンマークにおける実践を手掛かりに. 令和3年度中社連合誌, 2022: 7-12.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本生涯教育学会(常任理事), 日本ヒューマンライブラリー学会(理事), 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 日本教育政策学会, 日本学習社会学会, アジア比較教育学会, 異文化間教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本生涯教育学会, 第42回大会, 大会運営副委員長, 宮城とオンライン, 2021.11.27-11.28.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 金沢大学公開講座, 北欧の教育最前線ー北欧の若者と社会参加/インクルージョンを目指す教育と社会, 講師, 金沢大学, 一般市民, 金沢市, 2021.12.4.
2. 令和3年度ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風研修総会, 北欧の教育最前線ーデンマークの若者はなぜ投票し, 社会に参加するのか, 講師, ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, 学校教員, 五泉市, 2022.1.16.
3. ときわ会 東蒲・五泉支部冬季研修総会「オンライン研修会」, コミュニティスクールのこれからー社会的包摂の視点からー, 講師, ときわ会東蒲・五泉支部, 学校教員, 五泉市, 2022.2.5.
4. 北欧教育研究会講座, 北欧教育のいまを紐解く! 1人1人の声から学び合う社会へ, 講師, 北欧教育研究会;一般社団法人IFAS, 一般市民, オンライン, 2021.6.5.
5. 若者リーダーフォーラム(関東甲信越静ブロック), なぜデンマークの若者は投票し, 社会に参加するのか?ー当事者が参加できる仕掛けを考えるー, 講師, 公益財団法人明るい選挙推進協会, 大学生, オンライン, 2021.12.18.
6. 子ども見守りサポーター養成講座, 「北欧のとりくみに学ぶ~コドモ×オトナ×対話でつくる社会~」, 講師, 四街道市みんなで地域づくりセンター, 一般市民, オンライン, 2021.12.11.
7. 子ども見守りサポーター養成講座, 「北欧のとりくみに学ぶ~コドモ×オトナ×対話でつくる社会~」アフタートーク会, 講師, 四街道市みんなで地域づくりセンター, 一般市民, オンライン, 2022.1.9.
8. ジャパンホイスコーレDay, フォルケホイスコーレの10の教え, 語り手, ジャパンホイスコーレDay 2021準備委員会, 一般市民, オンライン, 2021.5.1.
9. デモクラシーフェスティバルジャパン, これからの生涯学習の話をしよう『第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理』に触れつつ, 講師, デモクラシーフェスティバル開催委員会, 一般市民, オンライン, 2021.10.31.
10. 第6回ヒューマンライブラリー学会研修会, コロナ下のヒューマンライブラリーと学会のこれから, 講師, 日本ヒューマンライブラリー学会, 研究者や一般市民, オンライン, 2021.10.31.

2) 社会活動への参加協力

1. ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, セミナー事前発表会, 指導, 新潟市・新潟県立生涯学習センター, 2021.12.12.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県生涯学習協会未来創造委員会(委員), ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風(スーパーバイザー)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割

に関する研究, 研究代表者

2. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
3. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 北欧諸国における教科書の中の多様性 (ダイバーシティ) の実相に関する研究, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学, 特別活動の指導法, 2021.10.1-12.3.
2. 新潟県立大学, 総合的な学習の時間の指導法, 2021.12.1-2022.2.28.
3. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校, 教育学, 2021.9.10-9.14.

- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員), 教務委員会 (委員), シティズンシップ教育実践研究センター (研究員)

氏名 : 下門 洋文

- 1 研究題目 水中環境におけるヒトの動作解析とそれによって起きる泳者周りの流れの可視化, 大学生の体力に関する疫学研究, 運動中のヒトが抱く身体感覚

2 報告書

1. 下門洋文. 若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明, 2020年度実施状況報告書, 2019.4-2022.3, 研究代表者
2. 高木英樹, 角川隆明, 中島求, 仙石泰雄, 下門洋文. 基盤研究 (B), 水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明, 2020年度実施報告書, 2020.4-2024.3, 研究分担者

3 学会等研究発表

1. 下門洋文, 山城昌一郎, 市川浩, 下山好充, 仙石泰雄, 高木英樹. スイマー足部周りの流れの可視化. 第49回可視化情報シンポジウム (横浜市, オンライン), 2021.9.9-9.11.
2. 千葉海勝, 山城昌一郎, 奈良梨央, 下門洋文, 市川浩, 下山好充. 平泳ぎキックの動作と流体力の関係. 日本水泳・水中運動学会2021年次大会 (大阪府泉南群熊取町, オンライン), 2021.10.23-10.24.
3. 星川慎吾, 山城昌一郎, 奈良梨央, 馬場康博, 下門洋文, 下山好充. 競泳における異なるリレースタートがパフォーマンスに与える影響. 日本水泳・水中運動学会2021年次大会 (大阪府泉南群熊取町, オンライン), 2021.10.23-10.24.
4. 山城昌一郎, 下門洋文, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下山好充, 千葉海勝, 久光哲也, 星川慎吾. 足関節背底屈運動の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響. 日本水泳・水中運動学会2021年次大会 (大阪府泉南群熊取町, オンライン), 2021.10.23-10.24.
5. Shimojo H, Chiba M, Nakazono Y, Koga D, Sengoku Y, Takagi H. The variety of wake structures in human leg kick swimming. ARIHHP国際フォーラム (つくば市, ハイブリッド), 2022.3.18-3.19.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会 (総務), 日本運動疫学会, European College of Sport Science, 可視化情報学会

2) 学術集会の主催

1. 日本水泳・水中運動学会, 2021年度日本水泳・水中運動学会年次大会, 学会事務局, オンライン開催, 2021.10.23-10.24.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2021.7.21.
2. 2021年度日本水泳・水中運動学会総会, 運営委員会, 大阪府泉南群熊取町 (オンライン), 2022.10.23.
3. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2022.2.21.
4. 新潟医療福祉学会, 査読委員
5. Journal of Sports Sciences, 査読委員

6. Sports Medicine, 査読委員

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 健康運動実践指導者実技試験審査員, 新潟市, 専門学校生, 2021.11.23.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌, スイミングライフ (インターナショナルスイミング), 選手・コーチに役立つスポーツ科学 Vol5. キック泳に関する研究の紹介, 2022.3.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科学研究費 若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明, 研究代表者
2. 2020年度, 科学研究費 基盤研究 (B), 水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明, 研究分担者

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 科学サポートスタッフ

7 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所 (広報担当)

氏名: 馬場 康博

1 研究題目 慣性センサを利用したオープンウォータースイミング評価法の開発に関する研究 (コーチング学)

2 論文

1. Baba Y, Sato D, Otsuru N, Ikarashi K, Fujimoto T, Yamashiro K. Does long-term training in a water immersion environment change interoception? International Journal of Environmental Research and Public Health 2021, 18(19), 10259. (査読あり)
2. Ikarashi K, Sato D, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response Inhibitory Control Varies with Different Sensory Modalities. Cereb Cortex. 2022; 32(2): 275-285. (査読あり)
3. Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 39(13): 1497-1503. (査読あり)

3 報告書

1. 馬場康博, 下山好充, 市川浩, 佐藤大輔. 若手研究, 研究成果報告書, オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の確立とレース分析法への応用, 2019-2021 (研究代表者)

4 学会活動

- 1) 所属学会 European College of Sport Science, Sports Medicine Australia, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本コーチング学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 東御市, 2022.1.16-1.24.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞掲載, 毎日新聞 (朝刊), 大学スポーツ 365・OWSの取組, 2021.11.7.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 東御市, 2022.1.16-1.24.
2. スポーツ庁ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, ボート競技, 外部有識者, 第3回検証・評価会議, 2022.3.5.

3. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング, 2021年度新潟県水泳連盟OWS委員会, 委員長, Web開催, 2022.2.21.
 4. 新潟県水泳連盟, 常務理事会, 理事会・評議委員会, 理事, 長岡市, 計6回. 2021.5-2022.3.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士 (健康学)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 水泳部, 世界ジュニア選手権 日本代表 2名 男女10km (中止), セーシェル諸島 2021.8. (コーチ)
 2. 水泳部, 全豪選手権 日本代表 1名, 女子5km (派遣中止), オーストラリア, 2022.2. (コーチ)
- 7 学内委員会活動 入試委員会

氏名：瀧野 礼奈

- 1 研究題目 バレーボールの指導法に関する研究 (コーチング学)
- 2 論文
 1. 阿部薫, 瀧野礼奈, 笹本嘉朝, 蓮野敢, 東海林藍. 大学女子バレーボール選手の競技用シューズへのインソール使用の効果—パフォーマンステストによる評価—, 靴の医学, 2020; 34(2): 48-52. (査読あり)
 2. 瀧野礼奈, 山田一典. 子どものボール操作向上を目指したコーディネーショントレーニングの実践. 新潟学園短期大学子ども学研究論集, 2021; (7): 79-85. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 蓮野敢, 阿部薫, 神田賢, 瀧野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 3次元足型計測器を用いたヒール高別の足部動態の計測—靴のボールラインの位置変化を靴型に反映させるための回帰式を得るために—. 第35回日本靴医学会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
 2. 中林功一, 阿部薫, 神田賢, 瀧野礼奈, 東海林藍, 蓮野敢, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 内反小趾に付帯する小趾回外角度の増加と開張率との関係性. 第35回日本靴医学会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
 3. 岡部有純, 阿部薫, 蓮野敢, 神田賢, 瀧野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部咲樹, 叶野愛羅. フットプリントを用いた異なる扁平足評価方法の比較—各方法の効果的な活用方法の検討—. 第35回日本靴医学会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
 4. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 神田賢, 瀧野礼奈, 東海林藍, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹. 立位時および座位時における足型寸法の関係性の検討—若年女性と高齢女性の回帰分析による比較—. 第35回日本靴医学会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
 5. 東海林藍, 阿部薫, 神田賢, 瀧野礼奈, 蓮野敢, 中林功一, 岡部有純, 岡部咲樹, 叶野愛羅. 軽度変形性股関節症の脚長差における足部疼痛に対するパッド調整—短脚補高と長脚内側ウェッジによる改善例—. 第35回日本靴医学会学術集会 (オンライン開催), 2021.9.3-9.4.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本バレーボール学会, 日本コーチング学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本体育学会, 日本運動生理学会, 日本靴医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. ヤングクラブチーム (チームK) バレーボール指導, 2019- (継続)
 2. 長岡商業高校バレーボール指導, 2019- (継続)
 3. JOC新潟県選抜バレーボール指導, 2014- (継続)
 4. 加茂市立石川小学校 6年生キャリア教育「生き方講座」講師, 女子バレーボール部公開練習, 2021.6.21.
 5. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室 (指導者対象講習会) 講師, ジュニア期の

指導法について, 2021.11.6.

6. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室. バレーボール指導, 2021.11.6.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 北信越国体 新潟 石川に力負け 成年女子Vリーグの実力を実感, 2021.8.23.
 2. インターネットスポーツメディア, スポーツブル, 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会新潟県代表決定戦女子決勝解説, 2021.11.3.
 3. 新聞, 日刊スポーツ, 全日本バレー大学女子選手権大会 医福大 過去最高8強狙う, 2021.11.25.
 4. 新聞, スポーツニッポン, 第68回全日本バレーボール大学女子選手権大会 医福大 速攻で8強, 2021.11.26.
 5. 新聞, 新潟日報, 29日からインカレバレー 新潟医福大 8強へいざ強豪との練習経て自信, 2021.11.27.
 6. 新聞, 新潟日報, 文武両道 仲間と一丸 ユニバス・アワーズ女性部門本田さん優秀賞, 2022.3.29.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 第42回北信越国民体育大会, バレーボール競技成年女子新潟県監督, 松本市, 準優勝, 2021.8.21-8.22.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県バレーボール協会(常任理事), 北信越大学バレーボール連盟(副会長), 信越大学バレーボール連盟(理事長), 新潟県大学バレーボール連盟(理事長)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バレーボール, 令和2年度全日本バレーボール大学男子・女子選手権大会北信越学連推薦チーム決定トーナメント戦, 優勝, 富山市, 2021.10.30-10.31. (監督)
 2. 女子バレーボール, 第68回全日本バレーボール大学女子選手権大会(全日本インカレ), ベスト16, 東京都, 2021.11.30-12.5. (監督)
 3. 女子バレーボール部, UNIVAS AWARDS 2021-22「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」優秀賞受賞 本田優季
- 7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会

氏名: 藤本 知臣

- 1 研究題目 寒冷環境下での体温調節反応とその調節メカニズムに関する研究, オープンウォータースイミング競技の安全性およびパフォーマンス向上のための生理学的研究, 暑熱環境下における体温上昇時のヒトのパフォーマンスに関する研究
- 2 論文
 1. Ikarashi K, Sato D, [Fujimoto T](#), Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response Inhibitory Control Varies with Different Sensory Modalities. *Cereb Cortex*. 32(2):275-285, 2021. doi: 10.1093/cercor/bhab207. (査読あり)
 2. [Fujimoto T](#), Fujii N, Dobashi D, Cao Y, Matsutake R, Takayanagi M, Kondo N, Nishiyasu T. Effects of low-intensity exercise on local skin and whole-body thermal sensation in hypothermic young males. *Physiol Behav*. 240:113531, 2021. doi: 10.1016/j.physbeh.2021.113531. (査読あり)
 3. Baba Y, Sato D, Otsuru N, Ikarashi K, [Fujimoto T](#), Yamashiro K. Does Long-Term Training in a Water Immersion Environment Change Interoception? *Int J Environ Res Public Health*. 18(19):10259, 2021. doi: 10.3390/ijerph181910259. (査読あり)
 4. 成田健造, [藤本知臣](#), 仙石泰雄. 競泳競技のインターバルトレーニングにおける運動強度とその実施順序の違いが生理的応答に及ぼす影響に関する事例研究. *スポーツパフォーマンス研究*. 13, 462-471, 2021. (査読あり)

3 報告書

1. 藤本知臣. 科研費 研究活動スタート支援, 研究成果報告書, 2019-2021年度, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 藤本知臣. ヒトの寒冷暴露時の皮膚血管収縮反応の新規メカニズムの解明 - 温度感受性TRPM8チャンネルの役割. ARIHHPフォーラム2022 シンポジウム “For the Cutting edge Collaborative Research in Human High Performance” (茨城・日本), 2022.3.19. 【特別講演】
2. 三浦愛子, 北樹乃, 若林斉, 藤本知臣, 前田享史, 亀谷俊満, 松下真美, 斉藤昌之. 褐色脂肪組織活性に応じたメンソール受容体刺激時の体温調節反応の個人特性. 日本生理人類学会第82回大会 (Online), 2021.10.29-10.31. (Online)
3. 藤本知臣, 土橋康平, 松竹涼子, 藤井直人, 西保岳. 動脈血二酸化炭素分圧低下が常体温時の局所皮膚温度感覚に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
4. 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 藤本知臣, 江玉睦明, 馬場康博, 山代幸哉. 感覚モダリティによる反応抑制の違い - 性差に着目して -. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
5. 若林斉, 三浦愛子, 北樹乃, 藤本知臣, 前田享史, 亀谷俊満, 松下真美, 斉藤昌之. 温熱的中立環境におけるメンソール溶液塗布による代謝亢進と褐色脂肪細胞活性の関係. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
6. 小島淳平, 片桐陽, 土橋康平, 藤本知臣, 西保岳, 藤井直人. TRPV1およびTRPM8活性が局所温変化時の皮膚血流および温度感覚に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
7. 三柳泉水, 一之瀬真志, 藤本知臣, 松竹涼子, 藤井直人, 西保岳. 間欠的息止めを伴う高強度運動中の呼吸頻度の違いが呼吸循環応答に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
8. 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 仮想現実環境 (VR) は運動時の気分を高めるか: VRヘッドセットを用いた予備的検討. 第76回日本体力医学会大会 (三重・日本), 2021.9.17-9.30. (オンデマンド発表)
9. 三浦愛子, 若林斉, 北樹乃, 藤本知臣, 前田享史, 亀谷俊満, 松下真美, 斉藤昌之. ヒト褐色脂肪組織活性とメンソール溶液塗布による代謝亢進の関係. 第35回運動と体温の研究会 (三重・日本), 2021.9.16. (オンデマンド発表)
10. 三浦愛子, 若林斉, 北樹乃, 藤本知臣, 前田享史, 亀谷俊満, 松下真美, 斉藤昌之. ヒト褐色脂肪細胞活性とメンソール溶液塗布による代謝亢進の関係. 温熱生理研究会2021 (愛知・日本), 2021.8.31. (オンデマンド発表)

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本スポーツパフォーマンス学会, 米国生理学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会誌 査読委員
 2. Frontiers in Psychology 査読委員
 3. Scientific Reports 査読委員

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021年度 日本健康運動指導士会 新潟県支部研修会, 最新の生理学研究をベースとしたコロナ禍における運動指導の実践, 講師, 日本健康運動指導士会, メディアシップ新潟, 2021.6.27.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. ネット記事, Research News (University of Tsukuba), 「You're Cooler Than You Think! Hypothermia May Go Unnoticed When Exercising in the Cold」, 2021.7.30.

2. ネット記事, Study Finds (41 Pushups, LLC), 「Cool factor: Hypothermia may go unnoticed while exercising in the winter」, 2021.8.21.
3. ネット記事, Psychreg (Psychreg Ltd), 「You're Cooler than You Think – Hypothermia May Go Unnoticed when Exercising in the Cold」, 2021.8.20.
4. ネット記事, EurekAlert! (American Association for the Advancement of Science, AAAS), 「You're cooler than you think! Hypothermia may go unnoticed when exercising in the cold」, 2021.8.19.
5. ネット記事, 筑波大学ARIHHP HP (国立大学法人 筑波大学 体育系 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター), 「藤本研究員 (当時, 現・新潟医療福祉大学 講師), 西保教授がスポーツ中の低体温症の発生要因を解明」, 2021.7.30.
6. ネット記事, TSUKUBA JOURNAL (国立大学法人 筑波大学), 「運動中は体温の低下を感じにくくなる～スポーツ中の低体温症の発生要因を解明～」, 2021.7.30.
7. ネット記事, つくばサイエンスニュース (公益財団法人 つくば科学万博記念財団), 「スポーツ中の「低体温症」の発生要因を解明—運動していると体温の低下を感じにくくなる: 筑波大学ほか」, 2021.7.30.
8. ネット記事, 医療NEWS Qlife Pro (株式会社QLife), 「スポーツ中の低体温症, 発生要因を解明—筑波大ほか」, 2021.7.30.
9. ネット記事, スポーツ栄養Web (一般社団法人日本スポーツ協会), 「運動中は体温低下に気づきにくい, スポーツ中の低体温症の原因が明らかに—筑波大学・新潟医療福祉大学」, 2021.8.23.
10. ネット記事, Science News (Science Daily), 「You're cooler than you think! Hypothermia may go unnoticed when exercising in the cold」, 2021.8.19.
11. ネット記事, Neuroscience News & Research (Technology Networks), 「Hypothermia More Likely To Go Unnoticed During Exercise」, 2021.8.21.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会, OWS世界選手権および世界ジュニア選手権日本代表科学サポート Zoom 講習会, 講師, Zoom 開催, 2022.1.18.
2. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会, OWS世界選手権および世界ジュニア選手権日本代表科学サポート, 生理データ測定およびフィードバック, 沖縄県石垣市, 2022.1.27-1.30.
3. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会, OWS世界選手権および世界ジュニア選手権日本代表科学サポート, 生理データ測定およびフィードバック, 東京都目黒区・日本大学水泳場, 2022.2.18-2.19.
4. 日本水泳連盟 オープンウォータースイミング委員会, OWS世界選手権および世界ジュニア選手権日本代表科学サポート, 生理データ測定およびフィードバック, 東京都目黒区・日本大学水泳場, 2022.2.25-2.26.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020-2022年度, 科学研究費 若手研究, 低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明—皮膚温度受容器の役割に着目して, 研究代表者
2. 2021年度, 筑波大学ARIHHP共同利用・共同研究公募事業, 寒冷負荷時の末梢血管収縮に対する温度感受性TRPチャネルの役割の解明, 研究代表者
3. 2021年度, トップラン・フォームズ株式会社共同研究, 月経周期による体温変化と人の神経機能に関する研究, 研究分担者

8 学内委員会活動 広報委員会, 運動機能医科学研究所 (所員), 入試問題検討部会 (数学), 学内奨励金審査委員

氏名：松浦 由生子

- 1 研究題目 アスリートの外傷障害予防に関する研究, スイマーズショルダーの発生メカニズムに関する研究
- 2 著書
 1. 松浦由生子, 金岡恒治; 池田浩 編. Monthly Book Medical Rehabilitation 種目別スポーツリハビリテーション診療; 水泳選手の腰部障害に対するリハビリテーション. 東京: 全日本病院出版会; 2021; p.21-26.
 2. 松浦由生子; 齊藤秀之 編. 明日の運動療法を磨く理学療法プラクティス『こだわり抜く筋力増強運動』; 水泳運動による筋持久力増強運動. 初版. 東京: 文光堂; (in press)
- 3 論文
 1. 松浦由生子. 競泳での障害発生メカニズムと対策法. バイオメカニクス研究. 2022; 26巻: p.32-38 (review)
 2. 松浦由生子, 松永直人, 金岡恒治. 競泳選手のモーターコントロール評価: 障害予防とパフォーマンス向上に向けて, 臨床スポーツ医学. 2021; 38(3): 318-323. (review)
- 4 報告書
 1. 松浦由生子. 若手研究, 競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
 1. 松浦由生子, 松永直人, 阿久澤弘, 大森豪, 金岡恒治. エリート競泳選手の背泳ぎ泳時の筋シナジー解析 肩関節障害既往有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 日本臨床スポーツ医学会誌, 29(4), S177, 2021.11.13-11.14.
 2. 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 伊藤涉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響 周波数特異性の検討. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 日本臨床スポーツ医学会誌, 29(4), S187, 2021.11.13-11.14.
 3. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉睦明, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 日本臨床スポーツ医学会誌, 29(4), S204, 2021.11.13-11.14.
 4. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤涉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 日本臨床スポーツ医学会誌, 29(4), S216, 2021.11.13-11.14.
 5. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副靭帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 日本臨床スポーツ医学会誌, 29(4), S235, 2021.11.13-11.14.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本理学療法士協会, 日本スポーツ理学療法学会 (研究推進委員会 委員), 日本水泳・水中運動学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 新潟県体育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本スポーツ理学療法学会, 研究推進委員会におけるセミナー企画, 推進実行委員, オンライン, 2021.11.5.
 2. 日本スポーツ理学療法学会, 研究推進委員会における大規模調査の企画, 推進実行委員, オンライン, 2021.12.13.
 3. 日本スポーツ理学療法学会, 研究推進委員会における講習会企画, 推進実行委員, オンライン, 2022.1.17.
 4. 日本スポーツ理学療法学会, 研究推進委員会における講習会企画, 推進実行委員, オンライン, 2022.3.30.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本水泳連盟ユニバーシアード代表選手 講習会, スイマーズショルダーの予防, 講師, 日本水泳連盟, ユニバーシアード代表候補選手, オンライン, 2021.8.19.
2. 日本水泳連盟 下部組織 日本水泳トレーナー会議 基礎講習会, 水泳選手におけるテーピング, 講師, 日本水泳トレーナー会議, 日本水泳トレーナー会議会員, オンライン, 2022.2.26.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟, 東京オリンピック代表選手へのメディカルチェックと科学サポート, 東京・国立スポーツ科学センター, 2021.4.11-4.14.
2. 日本水泳連盟, 東京オリンピック代表選手へのトレーナー活動, 東京・国立スポーツ科学センター, 2021.5.15-5.20.
3. 日本水泳連盟, 東京オリンピック代表選手へのトレーナー活動, 東京・国立スポーツ科学センター, 2021.6.10-6.15.
4. 日本水泳連盟, 東京オリンピック代表選手へのトレーナー活動, 東京・国立スポーツ科学センター, 2021.7.19-7.22.
5. 日本水泳連盟, 世界短水路代表合宿, 日本代表トレーナー, 長野県・GMOアスリートパーク湯の丸, 2021.11.21-11.30.
6. 日本水泳連盟, 日本代表選手へのトレーナー活動, 代表トレーナー, 静岡県, 2021.12.4-12.5.
7. 日本水泳連盟, ジュニア日本代表選手へのトレーナー活動, 代表トレーナー, 三重県, 2021.12.19.
8. 日本水泳連盟, 世界水泳日本代表選手へのメディカルチェックと科学サポート, 代表トレーナー, 東京・国立スポーツ科学センター, 2021.3.7-3.9.
9. 日本水泳連盟, WUG日本代表選手へのメディカルチェックと科学サポート, 代表トレーナー, 東京・国立スポーツ科学センター, 2022.3.30-3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

日本オリンピック委員会強化スタッフ（医科学スタッフ）, 日本水泳連盟医事委員会 委員, 日本水泳連盟科学委員会 委員, 日本水泳連盟 連携組織 水泳トレーナー会議 運営委員 学術研修部 副部長

4) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本スポーツ理学療法学会 研究推進委員会 委員

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 若手研究, 若手研究, 競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明, 研究代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 日本スポーツ協会公認 アスレティックトレーナー (2021.10.1)

9 学内委員会活動 広報委員会, アスリートサポート研究センター, AD推進機構運営委員会

氏名：三瀬 貴生

1 研究題目 成長期アスリートの運動器障害に関する研究, トレーナー教育に関する研究

2 論文

1. Mise T, Mitomi Y, Mouri S, Takayama H, Inoue Y, Inoue M, Akuzawa H, Kaneoka K. Hypomobility in Males and Hypermobility in Females are Risk Factors for Shoulder Pain Among Young Swimmers., J Sport Rehabil, 31(1), 17-23, 2021. DOI:<https://doi.org/10.1123/jsr.2020-0488>. (Review)
2. 松村優輝, 三瀬貴生, 渡辺輝也. バレーボールにおけるアタック動作の習得過程に関する縦断的検討—12年間の競技経験をもつ1名の女性アタッカーを対象として—, スポーツ運動学研究, (査読あり)印刷中.

3 学会等研究発表

1. 三瀬貴生, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 阿久澤弘, 押川智貴, 松永直人, 江玉睦明, 大森豪, 金岡恒治. Scapular Dyskinesiaが泳動作中の肩甲骨周囲筋活動及び肩甲骨挙動に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 日本臨床スポーツ医学会誌 (オンライン), 2021.11.
 2. 山城昌一郎, 下門洋文, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下山好充, 千葉海勝, 久光哲也, 星川慎吾. 足関節背底屈の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響. 日本水泳・水中運動学会 2021年次大会, 2021.10.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本柔道整復接骨医学会, 日本体育学会, 日本水泳・水中運動学会 (事務局), 新潟医療福祉学会, 日本陸上競技学会, スポーツ運動学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本アスレティックトレーニング学会, 第11回日本アスレティックトレーニング学会学術大会実行委員, 会場担当, つくば市, 2021.11-2022.7.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会誌 (協力学術研究団体), 査読
 2. 日本水泳・水中運動学会, 事務局, 会計
 3. Cureus, 査読
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本健康運動指導士会 新潟県支部研修会, 水泳動作におけるスポーツ外傷・障害の発生と予防について, 講師, 日本健康運動指導士会新潟支部, 受講者, メディアシップ (新潟), 2021.6.27.
 2. 公認水泳コーチ2 (専門科目) 養成講習会, ドライランドトレーニング, 講師, 日本水泳連盟, 水泳コーチ, 京都市文化会館, 2021.10.28.
 3. ACTオンラインセミナー, 水泳競技におけるトレーナー活動, 講師, ACT, 医療従事者, オンライン, 2021.12.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. (株) アクアシガータ, 成長期水泳選手のフィットネス測定, 新潟市, 2021.4.1-4.8.
 2. 第32回東京オリンピック水泳競技会場の医療支援, 選手用医療スタッフ, 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会, 2021.7.28-8.1.
 3. (株) アクアシガータ, 成長期水泳選手のフィットネス測定, 新潟市, 2021.9.10, 9.17.
 4. アクシーひがしスイミングスクール, ドライランドトレーニング指導, 新潟市, 2021.4-2022.3.
 5. 森ノ宮医療学園校友会, 代議員, 大阪市, 2021.4.1-2022.3.31.
 6. 京都水泳協会, 国体競泳京都代表チームのトレーナー帯同, コンディショニング指導, 三重県・スポーツの社 鈴鹿水泳場, 派遣中止
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ/水泳競技), 一般社団法人 新潟陸上競技協会 専門部委員会医科学部部員
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度-2022年度, 科学研究費助成事業 若手研究, 「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」, 三瀬貴生
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士 (スポーツ科学) (2022.1.22)
 - 3) 学内部活動の実績
 1. ダンス部, トレーニング指導, 2021.5-10. (アスレティックトレーナー)

4) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校 臨床工学技士科, 体育実習, 2021.10.1-2022.1.31.

7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所

氏名：森下 義隆

1 研究題目 優れたスポーツパフォーマンスを生み出す身体・用具の運動メカニズムに関する研究

2 論文

1. Morishita Y, Jinji T. Accuracy and error trends of commercially available bat swing sensors in baseball. Sports (JCR). 2022; 10(2): 21. (review)

2. Kidokoro S, Morishita Y. Relationship between impact characteristics and launch direction in softball hitting: A study involving elite players. PLOS ONE (JCR). 2021; 16(11): e0260520. (review)

3. 谷中拓哉, 森下義隆. 科学的知見を考慮した打球飛距離を伸ばすためのトレーニング・練習. トレーニング科学 (協力学術団体), 2021; 33(2): 87-95.

3 学会活動

1) 所属学会 日本バイオメカニクス学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本トレーニング科学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会, 新潟県体育学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本野球科学研究会第8回大会, 教育講座 (ランチタイムセミナー), パネリスト, 金沢市, 2021.11.27-11.28.

2. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読

3. スポーツ科学科学研究, 査読

4. バイオメカニクス研究, 査読

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. Baseball Geeks ウェビナー, スイング速度を高めるためのエクササイズ, 講師, オンライン, 2021.5.21.

2. KEIアドバンス, 大学1年生向けのスポーツ科学に関する教材制作, マンガ監修, オンライン, 2021.6.7-8.31.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費若手研究, 野球打撃におけるスイング速度と正確性の調整スキルの解明, 研究代表者

6 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 運動機能医科学研究所

氏名：吉松 梓

1 研究題目 多様なニーズを抱える児童・生徒への自然体験活動に関する研究 (野外教育学・臨床心理学)

2 論文

1. キャンプ白書編集タスクチーム, 青木康太郎, 福富優, 中丸信吾, 吉松梓, 他4名. キャンプ白書2021 第2章 2. 各種調査データからみたキャンプの現状. 2022.

3 学会等研究発表

1. 吉松梓, 坂本昭裕. 長期冒険キャンプにおける自己概念とボディイメージ変容の因果モデルの検討. 日本野外教育学会第24回大会 (Web開催), 2021.11.6-11.7.

2. 荒巻恵子, 針ヶ谷雅子, 太田正義, 中丸信吾, 野口和行, 吉松梓. スペシャルニーズ, インクルーシブ, ユニバーサル - 野外教育の現場で実践するには -. 日本野外教育学会第24回大会 (Web開催), 2021.11.6-11.7.

4 学会活動

- 1) 所属学会 Association for Experiential Education, 日本野外教育学会, 日本体育学会, 日本スポーツ心理学会, 日本臨床心理身体運動学会, 日本心理臨床学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 野外教育研究, 査読
 2. 新潟医療福祉学会誌, 査読
 3. スポーツ心理学研究, 査読

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021にじっこキャンプ, 実施代表者, Nijicco新潟にじっこキャンプの会, ひとり親家庭の小学生, 五頭連邦少年自然の家(阿賀野市)・海辺の森キャンプ場(新潟市), 2021.6.20(日帰り)・8.3-8.5(2泊3日)・10.9(日帰り), 計5日間.
 2. 令和3年度教員免許状更新講習(選択18時間), 教科指導や学級経営に生かす体験活動の指導, 自然体験活動の教育効果とプロセス, 講師, 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立磐梯青少年交流の家, 教員, 国立磐梯青少年交流の家, 2021.8.18.
 3. 自然体験活動総括指導者(NEALコーディネーター)養成講習会, 対象者理解, 講師, 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家, 教育関係者・社会人・一般, 国立岩手山青少年交流の家, 2021.12.1.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 市報, 市報にいがた, アウトドアを楽しもう, 2021.7.18.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金審査委員会(専門委員), 新潟市海辺の森交流拡大委員会(アドバイザー)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益社団法人日本キャンプ協会(公1事業運営委員), 公益社団法人日本キャンプ協会(キャンプ白書2021編集委員), 公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会(評議員)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 多様なニーズを対象とした自然体験活動の効果の可視化とモデルプログラムの開発, 研究代表者
 2. 2021年度, 子どもゆめ基金助成金, 2021にじっこキャンプ, 代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士(コーチング学)(2022.3.25)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 筑波大学体育センター, 共通科目「体育」ウインドサーフィン, 2021.8.30-9.2.

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 上田 純平

- 1 研究題目 児童青年を対象とした心の健康教育の開発・実践, ト라우マに対するメンタルヘルスリテラシーに関する研究, 心理アセスメント尺度に関する研究
- 2 論文
 1. 瀧井美緒, 上田純平, 伊藤隆博. 外傷後ストレスに対する認識尺度の作成および信頼性・妥当性の検討. 2021; 都市防災研究論文集8巻: 85-90. (査読あり)
 2. 瀧井美緒, 上田純平. 楽観性, 楽観的認知バイアス, 不安感受性と精神的健康との関連-医療系専門学校学生に焦点を当てた検討-. 2021; 岩手県立大学社会福祉学部紀要24巻: 69-78. (査読あり)

3. 上田純平, 瀧井美緒. 教員免許状取得を目指す大学生における不登校のしろうと理論. 2021; 岩手県立大学社会福祉学部紀要24巻: 79-88. (査読あり)
4. 針谷美智子, 坪川麻樹子, 上田純平. 教員採用選考検査に向けた人物評価試験対策講座に関する実践報告. 2021; 新潟医療福祉大学教職支援センター年報5巻: 24-27.

3 学会等研究発表

1. 瀧井美緒, 上田純平. トラウマのしろうと理論-体験者への関わりに着目した計量テキスト分析による検討-. 日本不安症学会第13回学術大会 (オンライン開催), 2021.6.
2. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家におけるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果. 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会 (オンライン開催), 2021.9.
3. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家によるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果-舞踊家の意識に着目した事例研究-. 新潟県体育学会令和3年度大会 (オンライン開催), 2021.10.
4. 瀧井美緒, 海山真穂, 丸山美菜, 長門万央, 上田純平. 専門職への相談経験と援助者に対する利益・コストの予期との関連-高校生を対象とした検討-. 日本認知・行動療法学会第47回大会 (オンライン開催), 2021.10.
5. 長門万央, 丸山美菜, 瀧井美緒, 上田純平. 中学生における睡眠問題と登校回避感情, 学校ストレスとの関連. 日本認知・行動療法学会第47回大会 (オンライン開催), 2021.10.
6. 丸山美菜, 長門万央, 上田純平, 関口真有, 瀧井美緒. 大学生における注意の制御とマインドフルネスが, 気晴らしと抑うつ傾向に与える影響. 日本認知・行動療法学会第47回大会 (オンライン開催), 2021.10.
7. 丸山美菜, 長門万央, 上田純平, 瀧井美緒. 確認的因子分析を用いた気晴らし尺度の因子構造の再検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン開催), 2021.10.
8. 瀧井美緒, 海山真穂, 丸山美菜, 長門万央, 上田純平. 援助要請スキル尺度におけるMIMICモデルを用いた高校生の性差DIFの検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン開催), 2021.10.
9. 長門万央, 丸山美菜, 瀧井美緒, 上田純平. 中学生の登校回避感情におけるMIMICモデルを用いた性差DIF検出の試行. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン開催), 2021.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本認知・行動療法学会, 日本認知療法・認知行動療法学会, 日本うつ病学会, 日本不安症学会, 日本トラウマティック・ストレス学会, 日本ストレスマネジメント学会, 新潟県公認心理師会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県教育庁, 公立学校スクールカウンセラー, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. にじっこサマーキャンプ, キャンプカウンセラー, 2021.8.4-8.5, 10.9.
 3. 岩手県立大学, 福祉心理学, 外部講師, 2021.11.19.
 4. 新潟県教育庁, 緊急支援スクールカウンセラー, 2021.11.
 5. 加茂暁星高等学校, ストレスマネジメント授業, 講師, 2022.1.20-2.21.

6 その他の教育研究活動

- 1) 学外兼務講師等
 1. 関西福祉大学, 青年期の発達心理, 2021.8.23-8.25.
 2. 新潟県立吉田看護専門学校, 教育学, 2021.9.3.

7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員), メンタルヘルス支援室 (委員)

氏名: 小林 真里奈

- 1 研究題目 バスケットボール競技の競技動作に関する研究, バスケットボール競技のコーチングについての研究
- 2 学会等研究発表

1. 小林真里奈. フリースロー時におけるボールリリースの手指動作の検証. 日本バスケットボール学会, 2021.12.18.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, スポーツ障害の防止と成長期スポーツ選手のセルフチェック等, 講師, 新潟市中体連, 中学校部活動指導者, 新潟市, 2021.8.27.
 2. 松浜中学校1学年 職業に関する学習「職業講和」, 働く人々の話を聞き, 自己の進路を考える, 講師, 新潟市立松浜中学校, 松浜中学校1年生, 2022.2.2.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立松浜中学校, バスケットボール競技の技術指導, 講師, 新潟市, 2021.12.13.
 2. 新発田中央高等学校, バスケットボール競技の技術指導, 講師, 新発田市, 2021.4-2022.3.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 第88回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 2次ラウンド(都道府県ブロック代表) 出場, 新潟, 2021.11.27. (コーチ)
 2. 女子バスケットボール部, 第72回全日本大学選手権(インカレ) 出場, 東京, 2021.12.7. (コーチ)

氏名：柴田 篤志

- 1 研究題目 助走を用いた片脚跳躍における踏切の評価に関する研究・跳躍競技者の競技発達に関する研究
- 2 論文
 1. 柴田篤志, 榎本靖士. 助走を用いる片脚跳躍における跳躍競技者の踏切脚の力発揮特性. 体育学研究(協力学術研究団体), 2022; 67: 35-48. 【査読あり】
 2. 杉浦澄美, 柴田篤志, 小山宏之, 尾縣貢, 木越清信. 女子走高跳における鉛直速度の獲得に影響をおよぼす踏切局面の技術的要因. 体育学研究(協力学術団体), 2021; 66: 827-839. 【査読あり】
 3. 水島淳, 梶谷亮輔, 九鬼靖太, 柴田篤志, 前田奎, 大山下圭悟, 尾縣貢. 児童を対象にした裸足による疾走指導の効果. 体育学研究(協力学術団体), 2021; 66: 701-714. 【査読あり】
 4. 木越清信, 山元康平, 柴田篤志, 犬井亮介. コーチング実践を通じた女子走幅跳のパフォーマンス構造モデルの検証. 陸上競技研究紀要. 2022; 17: 30-34.
 5. 犬井亮介, 植松倫理, 柴田篤志, 冨子あまね, 山元康平, 熊野陽人, 伊藤信之, 木越清信. 女子跳躍・混成競技者を対象としたパフォーマンス測定プロジェクトに関する報告. 陸上競技研究紀要. 2022; 17: 98-104. 【査読あり】
 6. 小山宏之, 柴田篤志, 清水悠, 荻山靖, 広川龍太郎. 2021年主要競技会における国内男子走幅跳選手助走最高スピード, 踏切前の接地位置と記録の関係. (日本陸連科学委員会研究報告 第20巻(2021) 陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2021), 陸上競技研究紀要. 2022; 17: 190-194.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本陸上競技学会, 日本体育科教育学会, International Society of Biomechanics in Sports
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本陸上競技連盟科学委員会, 協力スタッフ, READY STEADY TOKYOー陸上競技(東京2020テストイベント)における科学サポート, 国立競技場, 2021.5.9.
 2. 日本陸上競技連盟科学委員会, 協力スタッフ, 第105回日本選手権における科学サポート, ヤンマースタジアム長居, 2021.6.24-6.27.

3. 日本陸上競技連盟科学委員会, 協力スタッフ, 第インターハイにおけるバイオメカニクスデータの分析, 福井県栄陸上競技場, 2021.7.28-8.1.

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 陸上競技部, 日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 2位, 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場, 2021.9.17-9.19. (コーチ)
2. 陸上競技部, 日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子走高跳, 8位, 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場, 2021.9.17-9.19. (コーチ)

氏名: 下窪 拓也

- 1 研究題目 排外意識の規定要因の研究, メガスポーツイベントとナショナリズムの研究, スポーツ参加者の人口動態に関する研究

2 論文

1. Shimokubo T. Political regime and the impact of sporting success on national pride: a quasi-natural experiment in Germany. *International Journal of Sport Policy and Politics*. 2021; 14(1): 37-52. (review)
2. 下窪拓也. ダブルハードルモデル分析による運動習慣と社会経済的地位の関連の検証. *体育学研究*. 2021; 29(1): 41-54. (査読あり)
3. 下窪拓也. 失業率が日本人の排外意識に与える影響の(再)検証: 社会調査データの二次分析を通じて. *社会学評論*. 2021; 72(3): 312-326. (査読あり)

3 学会等研究発表

1. 下窪拓也. 社会的不安が排外意識に与える影響の再検討: 社会調査データの計量分析を通じて. 東北社会学会・東北社会学会第67回大会 (online), 2021.7.18.
2. 下窪拓也. オリンピックの開催が外国イメージに与える影響のメカニズムに関する一考察: ロンドンオリンピック開催時におけるロシアと北朝鮮への態度に着目した実証的検証. 日本体育・スポーツ・健康学会・日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会 (茨城), 2021.9.7.
3. 下窪拓也. 政治への不信感と排外意識の関連の検証: 交差遅延モデルによる分析. 数理社会学会・第71回数理社会学会大会 (岩手), 2021.9.4.
4. 下窪拓也. 東京オリンピックの開催がナショナリズムに与える影響 - 国への誇りに着目して -. 新潟医療福祉学会・新潟医療福祉学会学術集会 (新潟県), 2021.10.30.
5. 下窪拓也. 社会的不満が反移民意識に与える影響の検証. 日本社会学会・第94回日本社会学会大会 (東京), 2021.11.13.
6. 下窪拓也. 東京オリンピック開催がナショナルプライドに与えた影響の検証. 数理社会学会・第72回数理社会学会大会 (東京), 2021.3.13.
7. 下窪拓也. スポーツ観戦行動の社会経済的決定要因の検証. 日本スポーツ社会学会・日本スポーツ社会学会大会第31回大会 (神奈川), 2021.3.9.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 数理社会学会, 日本スポーツ社会学会, 東北社会学会 (庶務委員), 東北社会学研究会 (編集委員), 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. スポーツ庁, ASEAN-Japan Action Workshop on Promoting Physical Education Teacher Education (PETE) and Sport For People With Disability (SPD), ファシリテーター, Online, 2022.2.14-2.18.

6 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 博士（文学）（2022.3.25），専門社会調査士（2021.6.1）

氏名：高田 大輔

- 1 研究題目 体育授業における指導スタイルに関する研究，教職志望学生における実践的指導力の育成に関する研究，大学体育における車椅子バスケットボールの教育的効果の検討
- 2 著書
 1. 井上明人，高田大輔；今関豊一，福ヶ迫善彦，鈴木聡，荻原朋子編. 11 守備の思考・判断を育む！セレクトベースボール. 思考力を高める体育授業プラン. 1版. 東京：明治図書出版；2022：100-105.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会，日本体育科教育学会，日本スポーツ教育学会，日本教育工学会，体育授業研究会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 大学体育スポーツ学研究，編集委員
 2. 大学体育スポーツ学研究，査読委員
 3. 体育授業研究会，第25回体育授業研究会東京冬大会 WinterWebinar2，座長，東京都（オンライン），2021.12.25-12.26.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 小学校中堅教諭等資質向上研修 教科指導研修 体育，運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント，講師（講義・演習），福島県教育センター，小学校教員，福島市（オンライン），2021.6.23.
 2. 長岡市立大河津小学校校内授業研修会，高学年のボール運動における教材・教具づくりのポイント，講師（講義・指導講評），長岡市立大河津小学校，小学校教員，長岡市，2021.7.19.
 3. 令和3年度指導者プログラム実践研修会（スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託），スポーツ教育指導法Ⅰ スポーツの種目特性：種目特性と指導（教材・教具づくり）のポイント，講師（講義・演習），NPO法人希楽々，部活動指導者，外部指導者，保護者等，村上市，2021.9.21.
 4. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，小学校低学年におけるボールゲームの授業づくり・教材づくりについて，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2021.9.22.
 5. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，小学校高学年表現運動授業における児童の思考を促す指導について，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2021.9.29.
 6. 令和3年度指導者プログラム実践研修会（スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託），スポーツ教育指導法Ⅱ 指導計画・内容・評価の立て方，講師（講義・演習），NPO法人希楽々，部活動指導者，外部指導者，保護者等，村上市，2021.10.5.
 7. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2021，思考力を促す体育の授業づくりーよく考える児童の育成ー，講師（講演），新潟市立沼垂小学校，小・中学校教員，新潟市，2021.10.22.
 8. 沼垂小学校校内研修会，小学校における児童の関わり合い・思考を促す体育授業づくり，講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2021.11.25.
 9. 燕市スポーツ指導者講習会兼燕市スポーツサポーターバンク認定講習会，第2部スポーツ指導計画，内容，評価の立て方，講師（講義・演習），燕市教育委員会，小学校教員，スポーツ少年団指導者，各種協会会員等，燕市，2022.3.26.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員（研究サポート）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科，保健体育，2021.9.1-2022.3.19.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（企画・研究部会部会長），身体教育研究センター

氏名：中島 郁子

- 1 研究題目 アスリートのスポーツカウンセリング事例（臨床スポーツ心理学）、剣道と人間形成（臨床スポーツ心理学）、剣道競技者の風景構成法（臨床心理学）
- 2 著書
 1. 中島郁子, 内田善子, 齊藤茂, 坂中尚哉, 澁川賢一, 田口多恵, 中島法子, 本間徳子, 前田章, 松井幸太, 森岡貴久, 山本幸代, 吉村功: 中島登子編. 素顔のアスリート. 木立の文庫; 2021: 16-18, 56, 87-88, 108-110, 116-122.
- 3 学会等研究発表
 1. 中島郁子. 剣道選手のカウンセリング過程. 日本臨床心理身体運動学会第23回大会. 長野県. 2021.12.11.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本臨床心理身体運動学会(理事・研修委員), 日本スポーツ心理学会, 日本箱庭療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本武道学会, 日本体育学会, 日本心理学会, 日本スポーツ精神医学会, 身体運動文化学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本臨床心理身体運動学会, 日本臨床心理身体運動学会第23回大会, 大会実行委員, 松本市, 2021.12.11, 12.12・12.10-12.12.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床心理身体運動学会, 理事・研修委員, 2019.11-現在
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 講演会, 競技者の心理学, 講師, 東京学館新潟高校, 剣道部の生徒, 新潟市, 2021.5.30.
 2. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, ジュニア期の心の発達, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2021.11.1.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟県剣道連盟公式HP, 第76回国民体育大会(成年男女)新潟県予選会結果, 2021.5.23.
 2. 新潟県剣道連盟公式HP, 第42回北信越国体剣道競技結果, 2021.8.22.
 3. 新聞, 新潟日報, 新刊案内「素顔のアスリート」, 2021.7.4.
 4. 新聞, 新潟日報, 北信越国体県選手団, 2021.8.6.
 5. 新聞, 新潟日報, 北信越国体結果, 2021.8.23.
 6. 新潟県剣道連盟公式HP, 令和4年度全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選会結果, 2022.2.23.
 7. ラジオ, BSNラジオ, 高橋なんぐの金曜天国, 2022.2.25.
 8. 新潟市公式観光情報サイトHP, 第70回新潟市観光写真コンクール入賞作品, 2022.2.
 9. 新聞, 新潟日報, 第70回新潟市観光写真コンクールの結果発表, 2022.3.23.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 第42回北信越国体剣道競技, 監督, 長野県中野市, 中野市総合体育館, 2021.8.22.
 2. 第73回新潟県高等学校総合体育大会, 審判員, 新潟市, 鳥屋野総合体育館, 2021.6.5, 6.6.
 3. 令和3年度新潟市中学校体育大会, 審判員, 新潟市, 2021.6.26.
 4. 令和3年度北信越学生剣道優勝大会, 大会参与, 塩尻市, 2021.9.12.
 5. 令和3年度北信越学生剣道選手権大会, 大会参与, 福井市, 2021.9.25.
 6. 令和3年度新潟県高等学校剣道BSN杯, 審判員, 新潟市, 2021.1.8,9.
 7. 第63回北信越学生剣道優勝大会, 大会参与, 長野県, 2021.9.12.
 8. 第63回北信越学生剣道選手権大会, 大会参与, 福井県, 2021.9.23.
 9. 第59回北信越学生剣道新人大会, 大会参与, 石川県, 2021.11.28.
 10. 新潟県臨床心理士会多重債務者相談会, 臨床心理士相談員, 聖籠町, 2021.12.11.

- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
 - 日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第3者相談・調査委員会，特別委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 新潟市長賞（第70回新潟市観光写真コンクール・2022.2.22）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科（コミュニケーション技法）2021.5.1-9.16.
 2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科（心理学）2021.9.17-2022.1.31.
- 7 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター（相談員）

氏名：奈良 梨央

- 1 研究題目 背泳ぎスタートに関する研究
- 2 論文
 1. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021; 1-12. (査読有)
 2. Ikeda Y, Ichikawa H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 1-7. (査読有)
- 3 報告書
 1. 奈良梨央. 若手研究，背泳ぎスタートパフォーマンス向上のためのフィードバックシステムの構築，研究成果報告書，2019-2022. 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 池田祐介，市川浩，馬場康博，奈良梨央，下山好充. ドルフィンキック模擬動作はキック動作改善のための有効なトレーニング手段になり得るのか？日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
 2. 山城昌一郎，千葉海勝，星川慎吾，久光哲也，中村雅俊，三瀬貴生，下門洋文，下山好充. 足関節背底屈運動の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響，日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
 3. 千葉海勝，山城昌一郎，奈良梨央，下門洋文，市川浩，下山好充. 平泳ぎキックの動作と流体力の関係，日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
 4. 星川慎吾，山城昌一郎，奈良梨央，馬場康博，下門洋文，下山好充. 競泳における異なるリレースタートがパフォーマンスに与える影響. 日本水泳・水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会，日本水泳水中運動学会，日本コーチング学会，新潟医療福祉学会，NPO法人ジュース
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. Women in Sport女性スポーツ オンライン情報共有会2021，私が目指す共助コーチングについて，講師，NPO法人ジュース，コーチ，オンライン，2022.1.24.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 日本水泳連盟，ワールドユニバーシティーゲームズ候補選手強化合宿，コーチ，オンライン，2021.8.17-8.21.
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 奨励賞受賞（2021.10.23-10.24），共同研究者として. 日本水泳水中運動学会.

2. 優秀指導者賞 (2021.5.21), 新潟県水泳連盟

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ): オリンピック日本代表内定
2. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 2位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
3. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 2位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
4. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
5. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子50m自由形 3位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
6. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
7. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100mバタフライ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
8. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m平泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
9. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
10. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
11. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子100m自由形 6位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
12. 水泳部, 第97回 日本選手権水泳競技大会 兼第32回東京オリンピック競技大会代表選手選考会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームス2021代表選手選考会, 女子50m平泳ぎ 8位, 東京都, 2021.4.3-4.10. (コーチ)
13. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
14. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 優勝, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
15. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50mバタフライ 2位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
16. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子50m自由形 3位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
17. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100mバタフライ 4位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
18. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100mバタフライ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
19. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子50m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)

20. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m背泳ぎ 5位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
21. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 女子100m平泳ぎ 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
22. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m自由形 6位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
23. 水泳部, ジャパンオープン2021 (50m), 男子100m背泳ぎ 8位, 千葉県, 2021.6.3-6.6. (コーチ)
24. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 5位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
25. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ 7位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
26. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m自由形 8位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
27. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 男子4×100mメドレーリレー 8位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
28. 水泳部, 第97回日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー 7位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
29. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
30. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
31. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ 2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
32. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
33. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形 優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
34. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
35. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m平泳ぎ 7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
36. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
37. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
38. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
39. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形 6位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
40. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m背泳ぎ 5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
41. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m背泳ぎ 6位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
42. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m背泳ぎ 3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
43. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m背泳ぎ 4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
44. 水泳部, 第63回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ 4位, 東京都, 2020.10.17-

10.18. (コーチ)

45. 水泳部, 第63回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100mバタフライ 5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
46. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ): ワールドユニバーシティーゲームズ日本代表内定
47. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
48. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50mバタフライ 3位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
49. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100m自由形 6位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
50. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子100m背泳ぎ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ): ワールドユニバーシティーゲームズ日本代表内定
51. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子50m背泳ぎ 4位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
52. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50m背泳ぎ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
53. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子50m自由形 2位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
54. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 女子100mバタフライ 8位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)
55. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100mバタフライ 優勝, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ): 世界水泳日本代表内定
56. 水泳部, 国際大会日本代表選手選考会, 男子100mバタフライ 6位, 東京都, 2021.3.2-3.5. (コーチ)

氏名: 針谷 美智子

- 1 研究題目 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究, 小学校体育授業における運動技能水準下位児童に関する事例的研究
- 2 著書
 1. 針谷美智子, 第Ⅲ部第5章器械運動の教材づくり・授業づくり, 岡出美則ほか編著, 体育科教育学入門三訂版, 東京都:大修館書店: 171-181.
- 3 論文
 1. 針谷美智子, 近藤智靖, 鉄棒運動における運動技能水準下位児の学習成果に関する事例的研究: 毎年度の単元設定を3年間実施して, 体育学研究, 2021; 66: 853-868. (査読あり)
 2. 針谷美智子, 坪川麻樹子, 上田純平, 教員採用選考検査に向けた人物評価試験対策講座に関する実践報告, 新潟医療福祉大学教職支援センター年報, 2021; (5): 24-27.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会 (若手研究者委員会委員), 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, 第2回日本体育・スポーツ・健康学会 若手の回セミナー, 実行委員, 2021.10.1-2022.3.31.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, 第2回日本体育・スポーツ・健康学会 若手の回セミナー「キャリアの広げ方」, 座長, 2022.3.26.
 2. 日本体育・スポーツ・健康学会若手の会, vol.5 コラムリレー, 2022.1.5.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 東京都体操協会, 令和3年度体操競技2・3種審判講習会, 講師, 東京都渋谷区, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 2022.3.6.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 一般雑誌, 楽しい体育の授業 (明治図書出版), スモールステップでクリアできる! 鉄棒運動 挑戦意

欲を高める授業の工夫とは，2021.11.1発行.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本体操協会主催 第75回全日本体操個人総合選手権，審判員，群馬県高崎市，高崎アリーナ，2021.4.15-4.18.
2. 令和3年度新潟県体操競技選手権大会，審判員，新潟県上越市，リージョンプラザ上越，2021.5.4.
3. 日本体操協会主催 第60回NHK杯体操，審判員，長野県長野市，ビックハット，2021.5.15-5.16.
4. 第74回新潟県高等学校体操競技大会，審判員，新潟県上越市，上越市立上越体操場（ジムリーナ），2021.5.29.
5. 日本体操協会主催 第75回全日本体操種目別選手権，審判員，群馬県高崎市，高崎アリーナ，2021.6.5-6.6.
6. 令和3年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会，審判員，新潟県上越市，リージョンプラザ上越，2021.8.9-8.11.
7. 第76回国体関東ブロック大会体操競技大会兼第70回関東体操競技成年選手権大会，審判員，栃木県宇都宮市，日環アリーナ栃木，2021.7.17-7.18.
8. 2021年度東京都種目別大会，審判員，東京都北区，滝野川体育館，2021.8.13.
9. 第75回全日本学生体操競技選手権大会，審判員，静岡県静岡市，草薙総合運動場体育館，2021.9.1-9.4.
10. 第54回全日本シニア体操競技選手権大会，審判員，山形県酒田市，酒田市国体記念体育館，2021.9.22-9.23.
11. 令和3年度関東学生新人体操競技選手権大会・関東学生体操競技交流大会，審判員，茨城県ひたちなか市，笠松運動公園体育館，2021.9.22-9.23.
12. 第75回全日本体操団体選手権，審判員，東京都渋谷区，代々木公園第一体育館，2021.12.11.
13. 第76回全日本体操個人総合選手権女子トライアウト（映像審査），審判員，東京都港区，TKK新橋ビル，2022.3.27.
14. 第50回世界体操競技選手権大会，セクレタリー，福岡県北九州市，北九州市総合体育館，2022.10.18-10.24.

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人日本体操協会審判委員会（体操競技女子審判部員），東京都体操協会（役員）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，若手研究，小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の開発，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 体操競技国際審判員（2022.3）

7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名：山本 悦史

- 1 研究題目 プロスポーツ経営におけるマーケティング・ジレンマに関する研究（スポーツ経営学），ソーシャルガバナンスの形成過程におけるスポーツ組織の役割に関する研究（スポーツ社会学）

2 論文

1. 山本悦史，中西純司. Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相：ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察. スポーツ産業学研究（協力学術研究団体），2022；32(1)：97-116.（査読あり）
2. 本間崇教，山本悦史. スポーツ観戦におけるベネフィットと満足度の関係：アルビレックス新潟のホームゲーム観戦者の事例. 新潟体育学研究. 2022；40：67-72.（査読あり）

3 報告書

1. 山本悦史, 組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討. 若手研究, 科研費報告書, 2018-2020, 研究代表者.

4 学会等研究発表

1. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家におけるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果 - 大学生ダンサーの意識に着目した事例研究 -. 日本体育学会 (オンライン), 2021.9.7.
2. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家によるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果 - 舞踊家の意識に着目した事例研究 -. 新潟県体育学会令和3年度大会 (オンライン), 2021.10.23.
3. 本間崇教, 山本悦史. スポーツ観戦におけるベネフィットと満足度の関係: アルビレックス新潟のホームゲーム観戦者を対象とした事例研究. 新潟県体育学会令和3年度大会 (オンライン), 2021.10.23.
4. 山本悦史, 本間崇教. アルビレックス新潟ホームゲーム観戦者のセグメンテーション: 観戦動機尺度による非階層的クラスター分析を用いた検討. 新潟県体育学会令和3年度大会 (オンライン), 2021.10.23.
5. 山本悦史, 本間崇教. アルビレックス新潟のブランドイメージ: ファンの自由記述を用いた計量テキスト分析. 新潟医療福祉学会第21回学術集会 (オンライン), 2021.10.30.
6. 本間崇教, 山本悦史. 新型コロナウイルス感染症に対する意識とスポーツ観戦行動への意識の関係: アルビレックス新潟のファンを対象とした事例研究. 新潟医療福祉学会第21回学術集会 (オンライン), 2021.10.30.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本スポーツ産業学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツマネジメント学会, 組織学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. スポーツマネジメント研究, 査読
 2. International Journal of Sport and Health Science, 査読
 3. 体育・スポーツ経営学研究, 査読

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 公認スポーツ施設運営士養成講習会. 広報戦略. 講師, 公益財団法人日本スポーツ施設協会, 新潟市. 2021.9.15.
 2. 公認スポーツ施設運営士養成講習会. 指定管理者制度. 講師, 公益財団法人日本スポーツ施設協会, 新潟市. 2021.9.15.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. Web, SPORTS BUSINESS ONLINE, Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相: ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察, 2022.1.20.
 2. Web, Sportsnavi, Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相: ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察, 2022.2.15.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. アルビレックス新潟, 観戦者調査および顧客獲得に向けた助言等. 調査員, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査および顧客獲得に向けた助言等. 調査員, 2021.4.1-2022.3.31.
 3. 近畿日本ツーリスト株式会社, スポーツツーリズム関連の助成金獲得に向けた助言等. アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会, アスレティックデパートメント運営委員会 (ブランド力向上部会), シティズンシップ教育実践研究センター

氏名: 若井 由梨

- 1 研究題目 ダンス指導における「動きとイメージ」を促す指導言語, 教育現場におけるダンス指導の困難さ

2 論文

1. 若井由梨, 山崎史恵, 吉田重和. 教育現場における「表現運動・ダンス」指導時の困難さについて－新潟市内小中学校現職教員への実態調査をもとに－. 新潟医療福祉学会誌, 2021;第21巻(2):66-76. (査読有)

3 学会等研究発表

1. 若井由梨, 山本悦史, 上田順平. 舞踊家によるダンス指導が大学生ダンサーに及ぼす効果－大学生ダンサーの意識に着目した事例研究－. 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会(筑波大学・同時双方向オンライン開催), 2021.9.8.
2. 若井由梨, 山本悦史, 上田順平. 舞踊家によるダンス指導が大学生ダンサーに及ぼす効果－舞踊家の意識に着目した事例研究－. 新潟県体育学会(オンライン開催), 2021.10.23.

4 学会活動

- 1) 所属学会 体育スポーツ健康学会, 新潟体育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育科教育学会, コーチング学会, 舞踊学会, 舞踊教育学会, 日本女子体育連盟, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 木崎小学校運動会ダンス, 振付指導および[応援ダンス]審査員, 新潟市立木崎小学校, 全校生徒, 新潟市, 木崎小学校, 2021.5.13, 5.22.
2. 新潟県高等学校総合体育大会兼全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)予選会, 審査員, 高校体育連盟ダンス専門部, コンクール参加生徒, 長岡市立劇場, 2021.5.29.
3. 新潟市教員サークル「大海の会」, 教育現場における「表現運動・ダンス」指導時の困難さについて－新潟市内小中学校現職教員への実態調査をもとに－, 情報提供者, 大海の会代表大庭昌昭, 大海の会会員, オンライン開催, 2022.2.25.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県女子体育連盟, 理事会, 会の企画運営に関する会議, 事務局, 事務局, オンライン開催, 2021.4.1-2022.3.31.
2. 新潟県女子体育連盟, 夏期研修会, 企画運営, 事務局, オンライン開催, 2021.9.12.
3. 新潟県女子体育連盟, 第17回劇場で踊ろう!ダンスキッズ大集合!!, ダンス啓発活動, 事務局, 新潟市りゅーとびあ劇場, 2022.1.8.
4. 新潟県女子体育連盟, 総会, 事務局, オンライン開催, 2022.2.27.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本女子体育連盟(特別会員), 新潟県女子体育連盟(理事長兼事務局)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 若手研究, :「『イメージや動きの言語化』を促すダンス指導プログラムの考案」, 研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. ダンス部, 第40回あきた全国舞踊祭秋田モダンダンスコンクール, 群舞部門, 5位入賞, 秋田市, 2021.12.10-12.12. (監督)
2. ダンス部, 第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸), 創作コンクール部門, 入選(ベスト16相当), 神戸市, 2021.8.11-8.14.

3) 学外兼務講師等

1. 豊岡短期大学通信教育部, 子どもトリズム表現, 2021.9.21-9.22, 2022.3.23-3.24.

5) 看護学部

(1) 看護学科

氏名：塚本 康子

報告事項なし

氏名：松井 由美子

報告事項なし

氏名：石綿 啓子

1 研究題目 看護技術, 看護管理, 看護倫理

2 学会等研究発表

1. Ishiwata K, Akemi Suzuki. EXAMINATION OF CHANGES IN PERSON'S BODY PRESSURE WHILE SHAMPOOING PERSON IN BED, EAFONS2021: 24th EAST ASIAN FORUM of NURSING SCHOLARS Philippines 2021
2. Suzuki A, Ishiwata K, Funaki T. A Literature review on Factors Promoting Nursing Student's Understanding of Patients in Clinical Practice EAFONS2021: 24th EAST ASIAN FORUM of NURSING SCHOLARS Philippines 2021.
3. 加藤花奈子, 石綿啓子, 土田千歳. 一般病棟に勤務する新人看護師が抱える困難に関する文献検討, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
4. 小林真沙, 石綿啓子, 土田千歳. 終末期がん患者と関わる看護師の心理過程に関する文献検討, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
5. 菅祥希, 石綿啓子, 土田千歳. がん患者を支える家族の心理状況に関する文献研究, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
6. 藤田未来, 石綿啓子, 土田千歳. 看護におけるタッチングに関する文献研究, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
7. 高杉涼香, 石綿啓子, 土田千歳. 告知から治療期にあるがん患者の心理過程に関する文献研究, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
8. 星野南, 石綿啓子, 土田千歳. 乳がん患者のボディイメージに関する文献研究, 21th新潟医療福祉学会, 2021.
9. Suzuki A, Ishiwata K. A literature review on disaster preparedness of patient with dialysis therapy, ICN Congress Nursing Around the World 2-4 November 2021.
10. 石綿啓子, 鈴木明美. 患者を対象とした唾液アミラーゼを用いたストレス研究の動向と課題, 第41回日本看護科学学会学術集会, 2021.
11. 鈴木明美, 石綿啓子. わが国の看護基礎教育における感染症研究の動向, 第41回日本看護科学学会学術集会, 2021.
12. 今井雄二, 石綿啓子, 石塚敏子, 土田千歳. 看護学生の聴診法の教育における現状と課題, 第41回日本看護科学学会学術集会, 2021.

3 学会活動

1) 所属学会 日本看護学教育学会, 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本看護技術学会, 北日本看護学会, 日本農村医学会, 日本健康医学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Niigata Journal of Health and welfare, 論文査読を担当

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 三重県立総合医療センター看護部, 「倫理的配慮を意識した看護記録をしよう」, 研修講師, 三重県立

総合医療センター，2021.10.9.

5 学内委員会活動 FD・SD推進委員会

氏名：宇田 優子

1 研究題目 難病患者の災害への備え行動促進に関する要因など災害看護学，地域包括ケアシステム構築に関する公衆衛生看護及び地域看護活動の課題と検討

2 論文

1. 工藤由紀子，木下直彦，本間美知子，皆川璃子，宇田優子，石上和男，鈴木健司，柴山純一，瀧口徹. 40-60歳代成人における健康食品の利用形態とヘルスリテラシーとの関連. 新潟医療福祉学会誌. 2022.3；21（3）：121-131. 【査読あり】
2. 小山歌子，若狭一美，渡部和子，和田直子，宇田優子. 特別豪雪地帯・無医地区で高齢者の在宅見取りを可能にする条件 看取り家族の語りから. 新潟医療福祉学会誌. 2021.11；21（2）：9-18. 【査読あり】
3. 宇田優子，石塚敏子，稲垣千文，瀧口徹. 神経内科を標榜する診療所看護師の地域包括ケアシステム構築に関わる課題 地域連携と個別対応に着目した調査から. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 2021.9；44（3）：106-115. 【査読あり】

3 報告書

1. 宇田優子，稲垣千文，木下直彦，石塚敏子. 日本学術振興会科学研究費助成事業－外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－. 研究実施状況報告書. 2021；1-5.
2. 小山歌子，宇田優子，和田直子. 研究基盤C，特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築，成果報告書，2017-2021.

4 学会等研究発表

1. 宇田優子. 大雪が地域包括ケアに及ぼす影響 看護文献検討. 第80回日本公衆衛生学会. (東京)，2021.11.21-11.23.
2. 長部千寿，宇田優子. バヌアツ共和国マレクラ島住民の生活習慣の現状と課題. 第80回日本公衆衛生学会. (東京)，2021.11.21-11.23.
3. 小山歌子，和田直子，宇田優子. 特別豪雪地帯・山村過疎地域における高齢者の在宅看取りの可能性 終末期在宅療養希望の有無と関連因子. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会. (大阪)，2022.1.4-1.31. (配信).
4. 石塚敏子，宇田優子. 西日本豪雨で被災したパーキンソン病患者I事例の体験. 第23回日本災害看護学会(長岡)，2021.9.4-9.30. (配信)
5. 宇田優子. 雪とともに暮らすということ ～雪害と利雪～ 豪雪地域における看護活動の課題. 第23回日本災害看護学会. (長岡)，2021.11.21-11.23. 【シンポジウムの座長及びシンポジスト】
6. 岩野千尋，宇田優子. 新潟県内の訪問看護事業所における豪雪災害への備えに関する実態調査. 第21回新潟医療福祉学会. (新潟)，2021.10.30.
7. 高橋美帆，宇田優子. 喫煙している母親とその家族に対する保健師の取り組みに関する研究 妊娠から産後数年の母親への活動. 第21回新潟医療福祉学会. (新潟)，2021.10.30.
8. 近藤茉実，宇田優子. 都市型マンションで在宅療養を行う高齢者の災害時対応 1事例の結果. 第21回新潟医療福祉学会. (新潟)，2021.10.30.
9. 斎藤友誉，宇田優子. 大学2・3年（19歳以降の看護大学生）の子宮頸がん検診受診行動の要因についての実態調査 未受診の理由を中心に. 第21回新潟医療福祉学会. (新潟)，2021.10.30.
10. Koyama U, Uda Y, Wada N. Feasibility of caring for older adults at home until deaths in doctorless districts of heavy snowfall areas and contributing factors - comparing two districts of a single town -. 6th global network of public health nursing, 2022.1.8-1.9.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本災害看護学会（ネットワーク活動委員会委員，代議員兼任），日本難病看護学会（代議員，

編集委員会兼任), 日本公衆衛生学会 (認定専門家), 日本地域看護学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会, 世界災害看護学会 (理事)

2) 学術集会の主催

1. 日本災害看護学会第23回年次大会企画委員 (2021.9.開催)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2021年度さすけなぶるファシリテーター養成講座, 災害と人権「災害時要配慮者」, 講師, 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター, 災害時支援者, オンライン, 2021.11.20.
2. 2021年度新潟県保健師専門研修V, 企画・講義講師・全体進行, 新潟県, 県内行政機関に就業している10年目保健師, 新潟県庁, 2021.9.7と2022.2.22の2日間

2) 社会活動への参加協力

1. 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策保健所支援チームの登録, 2020.7.22.から継続

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市医療計画三分野合同会議委員, 新潟県国民保護協議会委員

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

全国保健師教育機関協議会の社員 (理事・国家試験委員会委員・推薦委員), 日本私立看護系大学協議会の正会員, 日本看護系大学協議会正会員 (災害連携教員), 新潟県大学災害支援連携協議会メンバー, 新潟県看護系大学等実習連絡協議会メンバー, 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員, 日本ALS協会新潟県支部会員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020-2023年度, 基盤C, 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象 -, 研究代表者

8 学内委員会活動 大学院委員会, 教務委員会, 安全衛生委員会 (委員長), 学内ワクチン接種対策チームメンバー

氏名: 貝瀬 友子

報告事項なし

氏名: 小山 歌子

1 研究題目 高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築に関する研究, 健康推進員等地区組織活動に関する研究, 公衆衛生看護活動に関する研究

2 報告書

1. 小山歌子, 宇田優子, 和田直子. 研究基盤 (C), 特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 成果報告書, 2017-2021, 研究代表者

3 学会等研究発表

1. 小山歌子, 藤安まゆみ, 長谷川由美, 宇田優子, 和田直子, 瀧口徹. 特別豪雪地帯・過疎地域における高齢者の在宅看取りの可能性 - 在宅看取りを可能とする地域の可否・延命治療希望の有無と関連因子 -. 第86回日本健康学会, 2021.11.13-11.14.
2. Koyama U, Uda Y, Wada N. Feasibility of caring for older adults at home until deaths in doctorless districts of heavy snowfall areas and contributing factors - comparing two districts of a single town -. 6th global network of public health nursing, 2022.1.8-1.9.
3. 小山歌子, 和田直子, 宇田優子. 特別豪雪地帯・山村過疎地域における高齢者の在宅看取りの可能性 - 終末期在宅療養希望の有無と関連因子 -. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2022.1.8-1.9.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 老年社会科学会, 日本健康学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
聖籠町健康づくり推進協議会（委員長）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究（C）, 特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 長岡崇徳大学, 公衆衛生看護学概論, 2021.10.1-2022.3.31. 長岡崇徳大学, チーム医療論, 2021.7.19.

氏名：小山 千加代

- 1 研究題目 老年看護に関する研究, 在宅・施設ケアにおける看取りに関する研究, 認知症看護に関する研究
- 2 論文
 1. 星野大輔, 小幡ひろみ, 小山千加代他：ステントグラフト内挿術を受けた後期高齢者の治療体験, 新潟大学保健学雑誌, 2021.3, 55-62（査読あり）
 2. 上岡千夏, 小山千加代：急性期病院における看護師と認知障害を伴う高齢患者との信頼構築のプロセス—看護実践の基盤となるもの—, 日本老年看護学会誌, 26(2), 2022年, 71-78（査読あり）
- 3 学会等研究発表
 1. 上岡千夏, 小山千加代. 急性期病院における看護師と認知障害を伴う高齢患者との信頼構築のプロセス, 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
 2. 宅井さやか, 小山千加代. インスリン使用高齢2型糖尿病患者の病とともに生きる経験, 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年看護学会（専任査読委員）, 日本看護科学学会（専任査読委員）, 日本臨床死生学会（副理事長）, 日本看護歴史学会（専任査読委員）, 日本医学哲学倫理学会（評議員2018-2020）, 日本ストレス学会（評議員2021まで）, 日本精神保健看護学会, 日本がん看護学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本老年看護学会 第26回学術集会 教育講演「特別養護老人ホームにおけるミューチュアル・アクションリサーチ」名古屋国際会議場, 2021.6.11-6.27.
 2. 日本老年看護学会, 第26回学術集会, 抄録査読委員, 2021.6.11-6.27.
 3. 日本臨床死生学会第26回学術集会, 企画運営委員, 抄録査読委員, 実行委員, 2021.10.2-10.3.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本老年看護学会, 専任査読委員
 2. 日本看護科学学会, 専任査読委員
 3. 日本看護歴史学会, 専任査読委員
 4. 日本臨床死生学会, 副理事長
 5. 日本ストレス学会, 評議員
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本生と死を考える会 講演会「看護・介護現場での生と死を考える」介護老人福祉施設における『より良い看取り』実現への取り組み：サイエンスとアートとして考える生と死のケア 看護師・介護士・会員 東京 2021.11.15.

2) 社会活動への参加協力

1. NPO法人緩和ケアサポートグループ・地域におけるがん患者の相談サポート・語らいの会・理事・月1回の開催（於 明治薬科大学東久留米サテライトキャンパス）
2. 目黒区社会福祉事業団・苦情解決第三者委員として目黒区社会福祉施設利用者との面談・年に3-4回
3. 新潟市北区南浜中学「家族の目・地域の目で支えあう地域社会を！」・1年生対象の認知症サポーター養成講座・2021.12.9.

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

目黒区社会福祉事業団・苦情解決第三者委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018-2022：基盤研究C（分担），在宅で妻を介護し看取った夫の特徴
2. 2020-2024：基盤研究C（連携），急性期病院における日常倫理に基づく認知症ケアの定着に向けた看護管理システムの構築

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院保健学研究科 博士論文 学外審査員 2021.8.3.

7 学内委員会活動 大学院教務委員会（拡大委員会）

氏名：吉浜 文洋

1 研究題目 精神看護領域の倫理，行動制限

2 論文

1. 吉浜文洋. アドボケイト：精神科看護の立場から ～従属的立場の援助職の倫理～ 「精神医療」第2号 [第5次] 2021；04 51-59.

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本精神科看護研修会 精神科看護基礎Ⅰ 看護倫理 講師 日本精神科看護協会 東京 2021.4.14.
2. 日本精神科看護研修会 精神科看護基礎Ⅰ 精神保健福祉法と行動制限最小化 講師 日本精神科看護協会 東京 2021.6.18.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 雑誌 精神科看護（精神看護出版）本との話 いますぐ彼を解きなさい イタリアにおける非拘束社会への試み（書評）2022.3.
2. 週刊紙 厚生福祉（時事通信社）打診 権利擁護の基礎としての対話 2021.7.2.
3. 週刊紙 厚生福祉（時事通信社）打診 新型コロナワクチンの「任意」接種 2021.9.28.
4. 週刊紙 厚生福祉（時事通信社）打診 身体拘束裁判雑感 2021.12.14.
5. 週刊紙 厚生福祉（時事通信社）打診 49歳問題 2022.3.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 千葉県精神医療センター院内医療安全調査委員会委員 2022.2-

氏名：石塚 敏子

1 研究題目 災害看護，シミュレーショントレーニング，看護学実習，反省的实践，看護技術教育

2 論文

1. 石塚敏子. 水害を体験したパーキンソン病者の行動と備え～看護職としてできることは何か，難病と在宅ケア，2021；27（3）：28-31.
2. 宇田優子，石塚敏子，稲垣千文，瀧口徹. 神経内科を標榜する診療所看護職の地域包括ケアシステム構築

に関わる課題～地域連携と個別対応に着目した調査から～日本プライマリ・ケア連合学会誌, 2021; 44
(3): 106-115. (査読あり)

3 報告書

1. 宇田優子, 稲垣千文, 石塚敏子, 木下直彦. 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象日本学術振興会研究成果報告書, 2019-2023, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 石塚敏子, 宇田優子. 西日本豪雨災害で被災したパーキンソン病者一事例の体験, 第23回日本災害看護学会 (長岡市), 2021.9.4-9.30.
2. 石綿啓子, 鈴木明美, 石塚敏子, 土田千歳, 今井雄二. 第41回日本看護科学学会学術集会 (名古屋市), 2021.11.19-12.28.
3. 今井雄二, 石綿啓子, 石塚敏子, 土田千歳. 第41回日本看護科学学会学術集会 (名古屋市), 2022.11.19-12.28.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本看護研究学会, 日本看護技術学会, 日本災害看護学会, 日本看護シミュレーション学会, 日本難病看護学会, 日本看護学会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会, 実習指導方法演習看護過程, 新潟県看護協会, 2021.10.5-10.19. (全4回)

2) 社会活動への参加協力

1. 日本看護系大学協議会災害支援対策委員会, 委員, 東京, 2021.2.6, 2022.1.11.
2. 新潟県看護系大学等災害支援連携協議会委員, 新潟市, 2021.9.28, 2022.3.30.
3. 全国パーキン病友の会新潟県支部集会, 運営補助, 新潟市, 2022.1.16.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤 (C) 看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象, 研究分担者

8 学内委員会活動 高等教育推進センター委員会, 同窓会・生涯学習連携推進委員会

氏名: 下山 博子

1 研究題目 看護職のワーク・エンゲイジメントに関する研究, セクシュアル・リプロダクティブヘルスケアに関する研究

2 論文

1. Hiroko S, Yasuko T. Factors associated with nursing professionals' attitudes toward abortion care. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2021; 21(1): 25-37. (review)

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本助産学会, 日本母性衛生学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本家族看護学会, 日本健康教育学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 公益社団法人新潟県看護協会, 労働環境改善推進研修会, 実行委員, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2021.7.13.
2. 公益社団法人新潟県看護協会, 看護職のWLB推進情報交換会, 実行委員, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2021.10.21.
3. 新潟県医療勤務環境改善支援センター, 医療従事者のWLB推進ワークショップ, 看護協会アドバイ

ザー，新潟市・新潟県医師会館，2021.11.30.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益社団法人新潟県看護協会（労働環境改善推進委員）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研基盤研究（C），助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発，研究代表者

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 博士（保健学）（2021.9.22），思春期保健相談士（2022.2.13）

3) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校看護学科，母性看護学，2021.4.1-9.30.

6 学内委員会活動 就職センター運営委員会，広報委員会

氏名：杉本 洋

1 研究題目 当事者活動，地域精神保健，ヘルスコミュニケーション，産業保健

2 論文

1. 杉本洋，関係の中で／関係としての「健康」の創造：仏教×人類学の視点から．仏教看護・ビハーラ．2022：16：40-52.（査読あり）
2. 杉本洋，紅林佑介．病気イベントを通じた無力からの生成．共創学会第5回年次大会予稿集．2021：86-89.（査読あり）
3. 和田直子，杉本洋．子育てと仕事の両立支援における産業看護職の役割．日本ウーマンズヘルス学会誌．2022：22(2)：61-68.（査読あり）
4. Kurebayashi Y，Sugimoto H．Self-compassion and Related Factors in Severe Mental Illness: A Scoping Review. Perspectives in Psychiatric Care. 2022: 1-18. (review)

3 学会等研究発表

1. 杉本洋，五十嵐紀子．コロナ禍における“生きやすさ”の発見：「コロナさんと一緒」をテーマとした当事者活動の展開．日本保健医療社会学会第47回大会（オンライン），2021.5.16.
2. Sugimoto H，Igarashi N．Vulnerability in Community Building by People with Illness. INC2021 13th International Nursing Conference（オンライン），2022.10.21-10.22.
3. 杉本洋．「表現」の観点から考察する健康：分有される自己の開かれた創造プロセスとして．日本文化人類学会大第55回研究大会（オンライン），2021.5.29.
4. 杉本洋．表現を通して巻き込まれるネットワーク．第35回日本保健医療行動科学会学術大会（オンライン），2021.6.27.
5. Sugimoto H．Care for Improving Health Defined as the Process of Creation: From the Practice of Performance Activities by People Experiencing illness. IUAES 2021 Yucatan Congress. (Online). 2021.11.10.
6. Sugimoto H，Kurebayashi Y．Reconsidering Control Ability: Emphasizing the Vulnerability of People with Mental Illness. INC 2021. (Online), 2021.10.21-10.22.
7. 杉本洋．エンパワメントと無力の狭間で：健康施策の豊饒化に向けての検討．第27回日本精神保健社会学会学術大会（オンライン），2021.11.23.
8. Sugimoto H．Health as the network of performance activities related to mental illnesses. Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology. (Online), 2021.7.29-7.31.
9. 和田直子，杉本洋．子育てと仕事の両立において女性労働者に必要な要因－職場復帰後1年未満で退職した女性労働者への調査．第21回新潟医療福祉学会（オンライン），2020.10.30.
10. Kurebayashi Y，Sugimoto H．Self-compassion and related interventions and factors in Severe Mental

Illness: a Scoping Review. INC 2021. (Online), 2021.10.21-10.22.

11. 杉本洋, 紅林佑介. 病気イベントを通じた無力からの生成. 共創学会第5回年次大会(オンライン), 2021.12.4.
12. 杉本洋. 負の側面の強調にみる関係としての「健康」の構想. 第29回日本健康教育学会(オンライン), 2021.9.12.
13. 五十嵐紀子, 杉本洋. 当事者活動が脆弱であることの意味. 第13回日本ヘルスコミュニケーション学会 学術集会(オンライン), 2021.10.3.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本保健医療行動科学学会, 日本精神保健社会学会, 共創学会, 日本文化人類学会, 日本保健医療社会学会, 日本健康教育学会, 文化看護学会, 日本ヘルスプロモーション学会, アートミーツケア学会, 日本仏教看護・ビハーラ学会, IUAES, 日本臨床死生学会, 日本ウーマンズヘルス学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. アートミーツケアオンラインジャーナル査読者
 2. 2021年度日本保健医療社会学会『保健医療社会学論集』査読委員
 3. 第52回日本看護学会抄録選考委員

5 社会活動

- 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市介護保険事業等運営委員会委員
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県看護協会新潟東支部役員(職能代表者)

- 6 学内委員会活動 入試委員会, 科研費対策委員会, 大学院教育研究環境委員会, シティズンシップ教育実践研究センター

氏名: 山口 典子

- 1 研究題目 ART(生殖補助医療)における諸問題に関する研究, 男女の妊孕性に関する研究, PCC・RLPに関する研究, 女性のライフステージ各期における諸問題に対する予防行動に関する研究, 新型NIPTに関する研究
- 2 論文
 1. 山口典子, 中村康香, 武石陽子, 川尻舞衣子, 跡上富美, 吉沢豊予子. 男性不妊患者の妊孕性に対する認識の実態. 日本不妊カウンセリング学会誌. 2021; 20(2): 113-120. (査読あり)
 2. 山口典子, 中村康香, 武石陽子, 川尻舞衣子, 跡上富美, 吉沢豊予子. 男性不妊患者が感じている通院に伴うストレスや負担の実態. 日本不妊カウンセリング学会. 2022; 21(1): 41-48. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 中村康香, 谷米望, 山口典子, アンガホッフア司寿子, 武石陽子, 川尻舞衣子, 吉田美香子, 吉沢豊予子. 将来的に挙児希望する生殖世代の男女を対象とした妊孕性知識・妊孕性リテラシー尺度の信頼性と妥当性の検証および関連要因. 第66回日本生殖医学会学術講演会(米子市+オンライン), 2021.11.11-11.12.
 2. アンガホッフア司寿子, 中村康香, 山口典子, 武石陽子, 川尻舞衣子, 吉田美香子, 吉沢豊予子. 子どもを希望する生殖世代の女性における家族形成およびキャリアプランと妊孕性リテラシー. 第66回日本生殖医学会学術講演会(米子市+オンライン), 2021.11.11-11.12.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本母性衛生学会, 日本生殖医学会, 日本女性医学学会, 日本生殖心理学会, 日本がん・生殖医療学会, 日本母性看護学会, 日本思春期学会, 日本助産学会, 日本生殖看護学会, 日本不妊カウンセリング学会, 日本遺伝看護学会, 北日本看護学会, 新潟母性衛生学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. 2021年度日本母性看護学会誌, 査読委員
 2. 2021年度日本助産学会誌, 査読委員
 3. 2021年度新潟医療福祉学会誌, 査読委員
 4. 第23回(2021)日本母性看護学会学術集会, 査読委員
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第7回東北ウィメンズヘルス研究会, 男性不妊を考えるー無精子症の診断を受けた男性への支援ー, 講師, 東北大学大学院医学系研究科ウィメンズヘルス看護学・周産期分野主催, 全国の看護職及び看護系大学院生・学部生, Zoomでのオンライン開催, 2021.8.28.
 2. 令和3年度看護学生公衆衛生・在宅・母性看護学実習指導者研修会, 実習指導の実際(母性看護学・助産学), 講師, 新潟県保健福祉部主催, 新潟県内産婦人科勤務の助産師・看護師, Zoomでのオンライン開催, 2021.10.20.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県・(株)アルビレックス新潟, 新型コロナウイルスワクチン大規模接種, ワクチン接種担当, デンカビックスワンスタジアム, 2021.8.30.
 2. 公益社団法人新潟県助産師会, 「妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会 Part 1」, 実行委員, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2021.7.10.
 3. 公益社団法人新潟県助産師会, 「母乳育児支援研修会」, 実行委員, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2021.10.2.
 4. 公益社団法人新潟県助産師会, 「妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会 Part 2」, 実行委員, 新潟市・新潟県看護研修センター, 2022.1.29.
 5. 日本不妊カウンセリング学会認定 不妊カウンセリング業務, 2021.4.1-2022.3.31.
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人新潟県助産師会(教育委員) 2021.4-2022.3.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態(研究代表者)
 2. 2017年度, 科研費基盤研究(C), 未婚男性における妊孕性の認識構造と「男性の妊孕性に対する自己認識尺度」の開発(研究代表者)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 母性看護学概論, 2021.4.1-9.30.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 学術委員会, 新潟医療福祉学会誌和文誌編集委員会, 新潟医療福祉学会評議員

氏名：渡邊 千春

- 1 研究題目 がんサバイバー, 生活調整
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本がん看護学会(会員, 査読委員), 日本緩和医療学会(会員), 日本看護研究学会(会員), M-GTA研究会(会員), 新潟医療福祉学会(会員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第36回日本がん看護学会学術集会 査読委員
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科学研究費補助金基盤C, 通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力

の解明, 研究代表者

- 4 学内委員会活動 教務委員会, 大学院入試広報委員会

氏名：井澤 玲奈

- 1 研究題目 高齢者看護学に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年看護学会, 日本看護科学学会, 東京女子医科大学看護学会, 新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 社会連携推進センター

氏名：稲垣 千文

報告事項なし

氏名：佐藤 真由美

- 1 研究題目 保育施設における保育者の感染防止スキル支援の検討, 乳幼児を持つ家族の感染予防の認知と実施状況, インドネシアの子どもの感染予防教育プログラム開発～ポストコロナ社会に向けて～, 看護学生の実習活用を目指したルーブリック評価の有用性
- 2 論文
 1. 佐藤真由美, 終末期看護論におけるインパクトシートの活用によるルーブリック評価の学習評価－主体的に取り組むためのルーブリック評価の活用－旭川大学保健福祉学部研究紀要, 2021; 13: 49-56.
- 3 学会等研究発表
 1. 佐藤真由美, 松井由美子, 安藤萌, 荒木恵子. 保育施設における保育者の感染防止スキル支援の検討. 新潟医療福祉学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本環境感染学会, 看護教育研究学会, 日本看護研究学会, 新潟医療福祉学会, 新潟小児看護研究会 (役員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟小児看護研究会, 小児在宅療養のための人口呼吸管理研修会, 企画, 運営, 会計, 新潟市, 2021.11.10.

氏名：中澤 紀代子

- 1 研究題目 母性看護学・助産学に関する研究, 助産師教育に関する研究, シミュレーション教育に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本シミュレーション医療教育学会, 日本看護シミュレーションラーニング学会, 日本遺伝看護学会, 新潟医療福祉学会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科学研究費助成金事業 基盤C, 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. ICM国際メディカル専門学科 看護学科, 母性看護学概論, 2021.4.13-9.30.
- 4 学内委員会活動 図書館・学習支援委員, ハラスメント相談員

氏名：外間 直樹

- 1 研究題目 精神病院において患者の自殺に遭遇した看護者を支援した師長の現状と課題

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本精神保健看護学会, 日本看護管理学会, 本日本健康医学学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学外兼務講師等
 1. ICM国際メディカル専門学科 看護学科, 精神看護学概論, 2021.9.1-2022.2.28.
- 3 学内委員会活動 人権保護委員会, 個人情報委員会, ハラスメント相談員

氏名：丸山 幸恵

- 1 研究題目 養護教諭のコーディネーション行動尺度開発の検討, 養護教諭が行う健康教育に関する研究
- 2 論文
 1. 青柳千春, 中村千景, 田村恭子, 丸山幸恵, 佐光恵子, 高橋珠実, 新井淑弘, 養護教諭が行う保健指導の実際と課題, 群馬大学共同教育学部紀要, 2021年;第56巻:69-82頁(査読あり)
 2. 中村千景, 青柳千春, 丸山幸恵, 田村恭子, 佐光恵子, 高橋珠実, 新井淑弘, 東日本大震災を経験した高校生に対する養護教諭の健康支援の実態と課題, 教育実践研究, 2021年;第38巻:149-158頁(査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 丸山幸恵, 笠巻純一, 「養護教諭のコーディネーション行動測定尺度開発」, 第67回日本学校保健学会(オンライン), 2021.11.6・11.7.
 2. 鈴木未奈美, 丸山幸恵, 「特別支援学校に勤務している学校看護師と養護教諭の連携における課題」, 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
 3. 冬の研究フォーラム, 「養護教諭のキャリアと教育保健」, コーディネーター, 日本教育保健学会, 新潟市, 2021.12.5. 【シンポジウム】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会, 日本養護教諭教育学会, 日本教育保健学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本教育保健学会, 第19回年次大会, 年次大会事務局長, 新潟市, 2022.3.5・3.6.
 2. 日本教育保健学会, 冬の研究フォーラム, 事務局長, 新潟市, 2021.12.5.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本教育保健学科, 冬の研究フォーラムシンポジウム, コーディネーター, 新潟市, 2021.12.5.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市養護教員会研修会, 「これから期待される養護教諭の専門性について」, 講師, 養護教員, 新潟市, 2021.10.8.
 2. 新採用養護教諭研修, 「養護教諭の職務Ⅱ 保健管理」, 講師, 新潟県教育委員会, 新採用養護教諭, 新潟市, 2021.6.9.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. ハローアルソン新潟支部, フィリピンスラム街における歯科保健ボランティア, 支援物資とりまとめ, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 養護教諭の輪「ほけんしつ」, 養護教諭研修, 指導, 上越市, 2021.4.1-2022.3.31.
- 6 学内委員会活動 入試委委員, 教職支援センター

氏名：和田 直子

- 1 研究題目 子育てと仕事の両立支援に関する研究, 産業看護職の資質能力に関する研究
- 2 論文
 1. 和田直子, 杉本洋, 子育てと仕事の両立支援における産業看護職の役割. 日本ウーマンズヘルス学会誌, 2022; 20(2): 59-66. (査読あり)
 2. 小山歌子, 若狭一美, 渡部和子, 和田直子, 宇田優子. 特別豪雪地帯・無医地区で高齢者の在宅看取りを

可能にする条件－看取り家族の語りから－. 新潟医療福祉学会誌, 2021; 21(2): 9-18. (査読あり)

3 報告書

1. 和田直子. 研究活動スタート支援, 子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明－新たな支援モデルの提唱にむけて, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 和田直子. 産業看護職による子育てと仕事の両立支援の現状. 第94回日本産業衛生学会 (松本市), 2021.5.18-5.21.
2. 和田直子. 産業看護職が捉える「子育てと仕事の両立における産業看護職の役割」. 第1回日本産業衛生学会産業看護部会学術集会 (東京, オンライン開催), 2021.9.4.
3. 和田直子, 杉本洋. 子育てと仕事の両立において女性労働者に必要な要因－職場復帰後1年未満で退職した女性労働者への調査, 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
4. 吉田七海, 和田直子. 入院に付き添う母親のストレスと対処行動について. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
5. 宮腰日和, 和田直子. 発達障害のある就労者に対する産業保健師の支援の現状について. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
6. 和田直子. 子育てと仕事の両立支援における産業看護職の困難感. 第10回日本産業看護学科学術集会 (千葉県市川市), 2021.11.6-11.7.
7. 和田直子. 子育てと仕事の両立支援における産業看護職の課題と可能性. 第80回日本公衆衛生学会総会 (東京), 2021.12.21-2022.2.23.
8. 和田直子. 産業看護職が捉えている子育てと仕事を両立している母親の力. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2022.1.8-1.9.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本産業衛生学会, 日本産業衛生学会産業看護部会, 日本産業看護学会 (研究編集委員), 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 新潟県産業看護部会, 新潟医療福祉学会, 日本ウーマンズヘルス学会, 日本子育て学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第94回日本産業衛生学会, セッション7「産業看護・産業疲労・感染症」座長, 松本市, 2021.5.21.

6 社会活動

- 1) 社会活動への参加協力
 1. 株式会社メディック, 従業員の健康相談, 新潟市, 2022.1.25.
 2. 新潟県・(株)アルビレックス新潟, 新型コロナウイルスワクチン大規模接種, ワクチン接種担当, デンカビックスワンスタジアム, 2021.8.25.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
全国保健師教育機関協議会関東・甲信越ブロック (会計担当)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020, 研究活動スタート支援, 子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明－新たな支援モデルの提唱にむけて, 研究代表
 2. 2017, 基盤研究 (C), 特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 研究分担
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 第94回日本産業衛生学会ダイバーシティー推進委員会委員長表彰 (2021.5.21)
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟地域産業保健センター, 登録保健師, 2021.4.1-2022.3.31.

8 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会, 教職支援センター運営委員会

氏名：阿部 文絵

- 1 研究題目 サブサハラ以南における母子保健
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 国際医療保健学会, 日本渡航医学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. JICA東京出前講座, ベナン共和国における母子保健, 講師, JICA東京, 新潟青陵大学福祉心理学部・看護学部1年生等265名, Zoom, 2021.6.25.
 2. SDGs課題追及インタビュー, みらいプロジェクト, 講師, 国際協力推進員新潟県JICAデスク, 小学生約50名, 見附市立葛巻小学校, 2021.7.8.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市食文化創造都市推進プロジェクト, アフリカ広場にいがた, 留学生によるアフリカ料理の紹介, 連携者, 新潟市・クロスパル新潟等, 2021.9-12.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 長崎大学熱帯医学研修修了 (2021.6.25)

氏名：荒木 恵子

- 1 研究題目 小児看護に関する研究, 小児シミュレーション教育に関する研究, 臨地実習指導者に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 佐藤真由美, 松井由美子, 荒木恵子, 安藤萌. 保育施設における保育者の感染防止スキル支援の検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
 2. 本間菜月, 安藤萌, 荒木恵子, 佐藤真由美, 松井由美子. 長期入院時のきょうだい支援に関する文献検討. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 看護科学学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会

氏名：安藤 萌

報告事項なし

氏名：今井 雄二

報告事項なし

氏名：岩野 千尋

- 1 研究題目 熟練訪問看護師の臨床判断に関する研究, 訪問看護事業所の雪害への備えに関する研究
- 2 論文
 1. 岩野千尋, 塚本康子. 熟練訪問看護師の訪問対象者に対する「なんとなく変」の気づきと臨床判断. 日本在宅看護学会誌, 2021; 10 (1): 22-31. (査読あり)
- 3 学会等研究発表
 1. 岩野千尋, 宇田優子. 新潟県内の訪問看護事業所における豪雪災害への備えに関する実態調査. 新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
 2. 高橋美帆, 岩野千尋, 宇田優子. 喫煙している母親とその家族に対する保健師の取り組みに関する研究 妊娠から産後数年の母親への活動. 新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
 3. 近藤茉実, 岩野千尋, 宇田優子. 都市型マンションで在宅療養を行う高齢者の災害時対応 1事例の結果.

新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

4. 齋藤友誉, 岩野千尋, 宇田優子. 大学2・3年(19歳以降の看護大学生)の子宮頸がん検診受診行動の要因についての実態調査 未受診の理由を中心に. 新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本在宅看護学会, 新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 新潟医療福祉学会奨励賞(2021.10.30)

氏名: 小栗 妙子

- 1 研究題目 異学年交流によるシミュレーション, 終末期実習へ向けた学びの工夫と効果の検討, コロナ禍におけるハイブリット型実習の現状と課題

2 学会等研究発表

1. 小栗妙子, 桶谷涼子. 終末期実習へ向けた学びの工夫と効果に関する検討, 第41回日本看護科学学会学術集会, オンライン開催, 2021.12.4-12.5.
2. 桶谷涼子, 小栗妙子. 成人急性期看護学での学内教授の取り組み・工夫に関する検討, 第41回看護科学学会学術集会, オンライン開催, 2021.12.4-12.5.
3. 元田貴子, 貝瀬雅弘, 寺田由紀子, 小栗妙子, 草間賢介, 高田恵理, 磨田百合子. 看護基礎教育と卒後教育の繋がりを考える, 第31回日本看護学教育学会, オンライン開催, 2021.8.18.

3 学会活動

- 1) 所属学会 看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本看護シミュレーション教育学会, 看護研究教育学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県看護協会 西支部, 震災体験者看護師が語る・防災・減災への教訓, 運営役員, 新潟県看護協会, 看護協会員, 新潟市, 2021.6.21.
2. 新潟県看護協会 東西支部, 新型コロナウイルス感染症対策, 運営役員, 新潟県看護協会, 看護協会員, 新潟市, 2021.10.23.

2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

- 新潟県看護協会 新潟西支部, 看護師職能I(幹事), 2021.4.1-2022.3.31.

氏名: 桶谷 涼子

1. 研究題目 新潟県内の特別養護老人ホームに勤務する介護・看護職員の新型コロナウイルス感染症に関連する職務体験とストレス, がん・生殖医療ネットワークにおける看護師役割の概念分析と協力体制強化ツールの開発, コロナ禍における, 成人急性期看護学での学内教授の取り組み・工夫に関する文献検討

5 学会等研究発表

1. 桶谷涼子, 板山稔, 角山裕美子, 藤田勇. 新潟県内の特別養護老人ホームに勤務する介護・看護職員の新型コロナウイルス感染症に関連する職務体験とストレス(第1報). 第23回日本看護学会年次大会, オンライン開催, 2021.9.4.
2. 角山裕美子, 桶谷涼子, 藤田勇, 板山稔. 新潟県内の特別養護老人ホームに勤務する介護・看護職員の新型コロナウイルス感染症に関連する職務体験とストレス(第2報). 第23回日本看護学会年次大会, オンライン開催, 2021.9.4.
3. 桶谷涼子, 小栗妙子. 成人急性期看護学での学内教授の取り組み・工夫に関する文献検討. 第41回看護科学学会学術集会, オンライン開催.
4. 小栗妙子, 桶谷涼子. 終末期実習へ向けた学びの工夫と効果に関する文献検討. 第41回看護科学学会学術集会, オンライン開催.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本がん看護学会, 日本看護科学学会, 日本災害看護学会, 日本母性衛生学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本災害看護学会, 第23回年次大会, 学内企画委員・大会事務局員, 長岡 (オンライン・オンデマンド), 2021.9.4・2019.9-2022.3.31.

氏名：後藤 千恵

報告事項なし

氏名：佐藤 郁美

- 1 研究題目 周産期メンタルヘルス, 父親のうつ, 乳児応急手当
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本助産学会, 日本周産期メンタルヘルス学会, 日本母性衛生学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 「令和3年厚生労働省告示第273号研修」, 講師, 公益社団法人日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 東映ホテル, 2021.9.18.
 2. 「令和3年厚生労働省告示第273号研修」, 講師, 公益社団法人日本診療放射線技師会, 診療放射線技師, 新潟医療福祉大学, 2022.3.5-3.6.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟助産教育ネットミーティング, 県内4大学間での情報共有, 書記, 2021.12.20.
 2. 新潟県大規模接種, ワクチン充填, ビックスワン, 2021.8.30.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 基盤研究C, 出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校, 母性看護学概論, 2021.6.8, 6.15, 6.22, 6.29.

氏名：宅井 さやか

- 1 研究題目 高齢者の病いととも生きる経験
- 2 学会等研究発表
 1. 宅井さやか, 遠藤和子, 内海香子, 藤澤由香, 有馬弥生, 本田千晶, 由浪有希子. 「精神疾患と共にある糖尿病患者さんの療養指導を皆さんはどうしていますか?」. 第26回日本糖尿病教育看護学会学術集会 (川崎市), 2021.9.18-9.19.
 2. 宅井さやか, 小山千加代. 「インスリン使用高齢2型糖尿病患者の病ととも生きる経験」. 第回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.9.18-9.19.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床死生学会, 一般社団法人日本老年看護学会, 日本糖尿病教育看護学会, 日本慢性看護学会, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 三条東高校 (医療専攻コース) 大学見学会, テーマ「医療の現状－看護師の役割と多職種連携－」: 演者, 対象: 三条東高校 (医療専攻コース) 2年生21名+教員1名=22名, 日時: 2021年8月5日 (オ

ンライン開催)

2. 日本文理高校 模擬講義体験 テーマ「医療の現状－看護師の役割と多職種連携－」, 演者, 対象: 日本文理高校2年生 46名 開催場所: 日本文理高校2021年10月7日(木) 14:05~14:50(一回目) 15:00~15:45(二回目)
3. 第22回長井・西置賜糖尿病懇話会講演会, テーマ「事例検討ガイドを使ってみよう」, 演者, 対象: 山形県内の医療従事者50名 日時 2021年10月2日(土) 13:55~16:05(オンライン開催)

氏名: 諸橋 麻紀

報告事項なし

氏名: 諸田 葉子

報告事項なし

氏名: 佐々木 沙織

- 1 研究題目 退職年度前後にある行政保健師がもつ退職後の(プラチナ)保健師活動に対する思い
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本公衆衛生看護学会(正会員), 新潟医療福祉学会

氏名: 志田 佑佳子

- 1 研究題目 ウィメンズヘルスに関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

氏名: 真保 加奈子

- 1 研究題目 20代女性における「いつか望む妊娠をする」ための主体的な避妊をふくむ月経セルフマネジメントの実態
- 2 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 新潟大学保健学研究科研究奨励金, 20代女性における「いつか望む妊娠をする」ための主体的な避妊をふくむ月経セルフマネジメントの実態, 研究代表者
 2. 2021年度, 新潟地域ヘルスケア体制を持続可能なものとする高度化人材育成事業, 20代女性における「いつか望む妊娠をする」ための主体的な避妊をふくむ月経セルフマネジメントの実態, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校看護学科, 母性看護学概論, 2021.4.13, 4.20.

氏名: 土田 千歳

- 1 研究題目 ドミニカ共和国のリプロダクティブヘルスについての研究
- 2 論文
 1. Konishi I, Matsui Y, Tsuchida C et al. Interprofessional clinical training with health professionals and Vietnamese healthcare students conducting home visits with patients with disabilities: a qualitative assessment using a single-case model. Niigata Journal of Health and Welfare, 2021. (review)
- 3 学会等研究発表
 1. 石綿啓子, 鈴木明美, 石塚敏子, 土田千歳, 今井雄二. 患者を対象とした唾液アミラーゼを用いたストレス研究の動向と課題, 第41回日本看護科学学会学術集会講演集, 248-248, 2021.

2. 今井雄二, 石綿啓子, 石塚敏子, 玉田千歳, 看護学生の聴診法の教育における現状と課題, 第41回日本看護化学会学会学術集会公演集, 309-309. 2021.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本国際保健医療学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 修士号 (2022.3)

氏名 : 花矢 鮎美

- 1 研究題目 なし

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床死生学会, 一般社団法人日本老年看護学会

- 2) 社会活動への参加協力

1. 南浜中学校1年生 認知症サポーター養成講座 2021.12.9 (南浜中学校ランチルームにて)

3 その他の教育研究活動

- 1) 学内部活動の実績

1. OrangeEducationサークル顧問

6) 社会福祉学部

(1) 社会福祉学科

氏名：丸田 秋男

- 1 研究題目 自治体における地域福祉政策の検証, 児童相談所におけるソーシャルワーク機能の検証, 学校ソーシャルワークに関する実践的研究
- 2 著書
 1. 丸田秋男他; ケアマネジメント事典, 初版, 東京, 中央法規出版; 2021: 16-17, 250-251.
 2. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 現代社会と福祉. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. クエスチョンバンク社会福祉士国家試験問題解説2022. 東京: メディックメディア; 2021: 85-119, 529-556.
 3. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. 社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2022. 東京: メディックメディア; 2021: 814-888.
 4. 丸田秋男他; 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号. 新潟: アサヒ印刷クリエイティブ; 2021.12.
 5. 丸田秋男他; 新潟医療福祉大学社会福祉学部20周年記念論集. 新潟: アサヒ印刷クリエイティブ; 2022.1.
- 3 報告書
 1. 丸田秋男他. 令和3年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書, 2022.3, 全体統括
- 4 学会等研究発表
 1. 小池由佳, 丸田秋男他. 新潟市における子育てソーシャルサポートに関する実証的研究. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟市), 2022.1.29.
 2. 中井良育, 丸田秋男他. 要支援高齢者の重度化予防に関する研究. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟市), 2022.1.29.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本地域政策学会(理事), 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本学校ソーシャルワーク学会, 日本子ども家庭福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本地域政策学会, 地域福祉計画分科会, 総括, 熊本市, 2021.6.20.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ケアマネジメント学会, ケアマネジメント事典編集委員
 2. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟ファミリー・サポート・センター会員研修, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 会員等, 新潟市, 2021.6.9, 10.8.
 2. 社会貢献事業・社会福祉士国家試験対策講座, 講師, 新潟県社会福祉士会, 施設職員等, 新潟市, 2021.7.24, 9.12.
 3. 新潟市子育て学習出前講座, 講師, 新潟市教育委員会, 保護者等, 新潟市, 2021.10.29(東青山小学校), 11.2(小合東小学校), 11.9(亀田小学校).
 4. 新潟県第三者評価, 講師, 新潟県, 評価調査者, 新潟市, 2021.8.6.
 5. 全国児童養護施設施設長研究協議会, 助言者, 全国児童養護施設協議会, 施設長等, 新潟市, 2021.10.27.
 6. 新潟県児童厚生員等養成研修会, 講師, 新潟県, 児童厚生員等, 柏崎市, 2021.11.19, 12.8.
 7. 阿賀野市自立支援協議会研修会, 講師, 阿賀野市, 施設職員等, 阿賀野市, 2021.11.24.
 8. 新潟市北区地域福祉推進フォーラム, 講師, 新潟市, 一般市民等, 2021.12.4.

9. 初級障がい者スポーツ指導員養成研修会, 講師, 新潟県等, 障がい者スポーツ指導員等, 新潟市, 2022.2.20.
 10. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会, 座長, 新潟市医師会, 医師会員・一般市民等, 新潟市, 2022.1.29.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟日報, 新潟医福大開学20年 学生の貢献し北区で浸透 新潟水俣病など支援 活動拡大連携強化へ, 2021.4.2.
 2. 新潟日報, 巣ごもりストレス解消を 南区社協が動画, 2021.5.1.
 3. 朝日新聞, 県人口戦後最少 続く流出／新潟県, 2021.10.23.
 4. 新潟日報, ひきこもり支援考える 来月4日にフォーラム, 2021.11.11.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 長岡市教育委員会, 少年サポートチーム専門員
 2. 新潟市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 3. 新発田市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 4. 新潟市教育委員会, 松浜小学校地域ふれあいスクール運営委員会委員
 5. 新潟市立南浜中学校, 学校評議員
 6. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 評議員
 7. 社会福祉法人新潟太陽福祉会, 理事
 8. 社会福祉法人フレンドランド福祉会, 理事
 9. 社会福祉法人中越福祉会, 評議員
 10. 社会福祉法人愛宕福祉会, 評議員
 11. 社会福祉法人皆幸希福祉会, 評議員
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県生涯学習審議会(会長), 新潟県水俣病施策推進審議会(委員長), 新潟県自立支援協議会(会長), 新潟県福祉サービス第三者評価事業推進委員会(委員長), 新潟県社会福祉審議会児童措置部(会長), 新潟県高齢者保健福祉推進協議会(会長), 新潟県再犯防止推進委員会(委員長), 新潟県魚沼基幹病院指定管理者評価・審査委員会(委員長), 新潟県燕芳災病院指定管理者評価・審査委員会(委員長), 新潟県立環境と人間のふれあい館運営委員会(委員長), 新潟市まち・ひと・しごと創生会議(座長), 新潟市社会福祉審議会(委員長), 新潟市地域福祉計画策定・推進委員会委員, 新潟市若者支援事業運営協議会(会長), 新潟市地域医療推進会議(副委員長), 新潟市在宅医療連携拠点整備運営委員会(委員長), 新潟市介護人材確保対策協議会(委員長), 新潟県社会福祉協議会第三者委員, 新潟市ファミリー・サポート・センター運営委員会(委員長), 新潟市社会福祉協議会子育てなんでも相談センターきらきら運営委員会(委員長), 新潟市社会福祉協議会苦情解決委員会委員, 新潟市医師会地域医療研究助成審査委員会(副委員長), 長岡市指定管理者選考委員会(委員長), 長岡市ながおかヘルシープラン21総合アドバイザー, 三条市自立支援協議会(会長), 柏崎市地域福祉計画推進会議(アドバイザー), 阿賀野市自立支援協議会(会長), 五泉市子ども・子育て会議(委員長), 新発田市いじめ等に関する再調査委員, 新潟市北区高齢者ケア会議委員
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 児童厚生員養成課程連絡協議会(会長)
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021-2023, 基盤研究(C)(一般), 地域福祉計画は上位計画として機能するか-政令指定都市の検証から-, 丸田秋男・渡邊敏文・青木茂
- 8 学内委員会活動 総務会, 危機管理委員会, 社会連携・同窓会推進機構

氏名：渡邊 敏文

1 研究題目 地域保健福祉における住民参加，介護福祉士養成教育における倫理教育

2 著書

1. 渡邊敏文，丸田秋男，寺田貴美代，河野聖夫，佐藤洋，武井恒美，鈴木昭，横山豊治，青木茂，五十嵐紀子，松本京介，渡邊豊，豊田典子，原口彩子，中井良育，渡辺恵，渡辺洋子，渡邊恵司，國兼明嗣，佐久間由紀，荒川大靖，山崎美夏；新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう。新潟：アサヒ印刷クリエイティブ；21.12.31.
2. 渡邊敏文，丸田秋男，山手茂，寺田貴美代，河野聖夫，五十嵐紀子，中井良育，阿部行宏，佐藤洋，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，渡辺恵，米林喜男；新潟医療福祉大学社会福祉学部20周年記念論集－社会福祉の教育と実践－。新潟：アサヒ印刷クリエイティブ；2022.1.10.
3. 渡邊敏文，星紀恵子，コロナ禍における創作リクレーション，新潟：株式会社ウィザップ；2021.10.14.

3 報告書

1. 渡邊敏文，佐久間由紀。北区特色ある区づくり事業大学生による家庭介護セミナー事業，令和3年度北区区づくり事業大学生による家庭介護セミナー事業実施報告書，2021.10.1-2022.3.31，研究代表
2. 渡邊敏文，丸田秋男，河野聖夫，佐藤洋，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，中井良育，渡辺恵。2021年度新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務実績報告書，2021.4-2022.3，研究分担
3. 渡邊敏文，丸田秋男，寺田貴美代，青木茂，中井良育，渡邊恵司，佐久間由紀，大坪美香。2021年度新潟水保病関連情報発信事業報告書（DVD），2021.4-2022.3，研究代表

4 学会等研究発表

1. 渡邊恵司，丸田秋男，渡邊敏文。次世代を担う人材育成と活力あるまちづくりに関する一考察－新潟市北区における「地域「ひと・まち」パートナーシップ」。日本地域政策学会2021年度第20回全国研究大会，個別発表，Web開催（日本地域政策学会ホームページ上），2021.6.19.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会，日本地域福祉学会（新潟地方委員），日本地域政策学会（常任理事，研究推進委員長，学術専攻委員会副委員長，甲信越・北陸支部事務局長），日本介護福祉教育学会，日本介護福祉学会，日本在宅ケア学会，日本精神保健福祉学会，日本保健医療社会学会，日本保健福祉学会，日本保健医療福祉連携教育学会，日本ケアマネジメント学会，日本社会福祉士会，日本介護福祉士会，日本精神保健福祉士協会，日本介護支援専門員協会，新潟医療福祉学会，北新潟地域づくり学会（はまなす学会）（副会長），新潟地域福祉実践研究会（会長）

2) 学術集会の主催

1. 日本地域政策学会第20回全国研究熊本大会，第4分科会（地域福祉分科会），地域福祉計画の政策的意義を問う（地域福祉計画部会），全国研究大会分科会設置担当，総括・企画，熊本大学 Web・対面併用開催，2021.6.19-6.20.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本地域政策学会，ポスターセッション審査，審査員，熊本市（Web・体面併用），2021.6.14-6.18.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 福祉用具専門相談員指定講習会，介護保険制度の考え方と仕組み，講師，一般社団法人新潟地域福祉協会，福祉用具販売事業所職員等，新潟市，2021.4.17.
2. 民児協アドバイザー派遣事業「地域版－活動強化方策の意義と作成手順について－」，講師，一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会（柏崎市民生委員児童委員協議会），柏崎市民生委員・児童委員，新潟県柏崎市産業文化会館文化ホール，2021.4.27.
3. 介護職員初任者研修，介護保険制度，講師，新潟県介護福祉士会，専門学校生，新潟市，2021.6.7.
4. 介護職員初任者研修，障害者自立支援制度，講師，新潟県介護福祉士会，専門学校生，新潟市，

2021.6.7.

5. 社会福祉職員スタートアップ研修（対面型），利用者本位のサービス提供を実現するために，講師，社会福祉施設職員，新潟市，社会福祉法人新潟県社会福祉協議会，2021.8.6.
 6. 第34回社会福祉士国家試験対策講座，高齢者に対する支援と介護保険制度，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会，社会福祉士国家資格取得希望社会人，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2021.8.7.
 7. 令和3年度民生委員児童委員リーダー研修会，「民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり～リーダーとして期待される効果的な民児協運営・定例会の役割～」，講師，新潟県民生委員児童委員協議会，新潟県内の民生委員児童委員，新潟市（Web研修），2021.10.15-12.26.
 8. 令和3年度第1回新潟市地域包括支援センター現任者研修会，ケアプラン検討会に関わる中で見えてきた課題～大学の立場から～，講師，新潟市（地域包括ケア推進課），新潟市地域包括支援センター職員，新潟市・新潟市産業振興センター，2021.10.27.
 9. 福祉用具専門相談員指定講習会，介護保険制度の考え方と仕組み，講師，一般社団法人新潟地域福祉協議会，福祉用具販売事業所職員等，新潟市，2021.11.14.
 10. 新潟水俣病ケアガイド研修（Web開催，オンデマンド型），生活領域を拡大させるための視点－新潟水俣病の視点から－，講師，新潟県福祉保健部生活衛生課，社会福祉専門職，2021.11.19.
 11. 令和3年度新潟市区自治協議会全体委員研修会，協働による地域課題の解決の必要性と，それを踏まえた自治協に求められる役割－組織の合意形成と調整能力としての役割－，講師，新潟市（市民協働課），新潟市自治協議会会員，新潟市黒崎市民会館，2021.12.9.
 12. 民児協アドバイザー派遣事業「地域住民への積極的なPR活動の展開，民生委員・児童委員のなり手確保について」，講師，一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会（長岡市民生委員児童委員協議会），長岡市柿地区民生委員・児童委員，新潟県長岡市豊田コミュニティセンター，2021.12.24.
 13. 福祉用具専門相談員指定講習会，介護保険制度の考え方と仕組み，講師，一般社団法人新潟地域福祉協議会，福祉用具販売事業所職員等，新潟市，2022.2.6.
 14. 農福連携推進シンポジウム in 新潟，教育現場における農福連携の取り組み－大学（学生）からの視点を中心に－，講師，新潟県農福連携推進連絡会議，新潟県民，Web開催，2022.2.24.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新潟市北区社会福祉協議会広報紙，新潟市社会福祉協議会新潟市北区社会福祉協議会，第40号『さわやか通信』，令和3年度北区地域福祉推進フォーラム「地域共生社会～生きづらさを抱える人への支援～」，令和4年3月1日発行
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟市北区社会福祉協議会，令和3年度自治・町内会長地域福祉研修会，基調報告「コロナ禍における自治・町内会運営の現状―今後の運営に向けて―」・活動報告コーディネーター，新潟市・新潟市北区文化会館，2021.8.5.
 2. 社会福祉法人新潟市有明福祉事業協会，救護施設有明荘50周年動画撮影，50年の歩み講話，新潟市，2021.10.15.
 3. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域ケア会議「認知症高齢者が自分らしく暮らせるために，地域でできることについて考えよう！」，アドバイザー，新潟市，2021.12.2.
 4. 新潟市北区社会福祉協議会，令和3年度新潟市北区地域福祉推進フォーラム，実践広告コーディネーター，新潟市・新潟市北区文化会館，2021.12.4.
 5. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，岡方圏域ケア会議「身寄りのない方への支援」，アドバイザー，新潟市岡方コミュニティセンター，2021.12.10.
 6. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，長浦圏域ケア会議「身寄りのない方への支援」，アドバイザー，新潟市長浦コミュニティセンター，2021.12.14.
 7. 新潟市地域包括支援センターくずつか，令和3年度第2回介護支援専門員連携会議及びサービス開発

事例検討会，アドバイザー，新潟市（豊栄さわやか老人福祉センター），2021.12.22.

8. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域ケア会議木崎中学校区，「認知症を身近なものとして捉え，早期発見・早期相談につなげるために，それぞれの立場でできることを考えよう」，アドバイザー，新潟市，2022.1.14.
9. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，「事例研究会」学習会，アドバイザー，新潟市長浦コミュニティセンター，2022.2.25.

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長，五泉市高齢者保健福祉市民会議委員，新潟県介護人材確保対策協議会委員，新潟市介護人材確保対策協議会委員，新潟市北区南浜地区青少年育成協議会理事，新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員，新潟市指定管理者第三者評価会議委員，新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員），新潟市北区高齢者ケア会議構成委員，新潟市北区社会福祉協議会監事，日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議座長，日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員・新潟県社会福祉現場実習等養成校連絡会会員，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会運営委員，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会教学マネジメントと介護福祉士教育新潟県代表，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック教員研修会実行委員会委員長，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会代表，日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会国家試験対策部会（分科会）・調査研究部会（分科会）委員，新潟市共同募金委員会北区分会監査人，新潟県農福連携推進連絡会議委員・幹事，新潟県優良農業経営体等表彰事業選考委員会委員農福連携の部審査委員，新潟県福祉サービス運営適正化委員会副委員長（利用援助調査委員会委員，苦情解決小委員会委員），新潟市立松浜小学校学校評議委員，新潟県老人福祉施設協議会理事，新潟県介護労働懇談会委員，新潟県福祉人材センター運営委員会委員，新潟県社会福祉協議会社会福祉研修事業運営委員会委員，社会福祉法人皆幸希福祉会理事，児童厚員養成課程連絡協議会事務局長，介護福祉士養成大学連絡協議会委員

5) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県社会福祉士会人材育成・スーパービジョン支援班運営委員会委員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者丸田秋男・佐久間由紀・大坪美香
2. 2021年度，新潟水俣病関連情報発信事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・寺田貴美代・青木茂・中井良育・渡邊恵司・佐久間由紀・大坪美香
3. 2021年度，大学生による家庭介護セミナー事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・佐久間由紀
4. 2021年度，地域活動活性化事業（民児協アドバイザー派遣事業）（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・中井良育
5. 2021年度，新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務（共同研究），研究代表者：丸田秋男，研究分担者：渡邊敏文・鈴木昭・河野聖夫・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・渡辺恵，中井良育
6. 2021年度，阿賀野川流域健康教室委託事業（共同研究），研究代表者：渡邊敏文，研究分担者：丸田秋男・佐藤洋

2) 学外兼務講師等

1. 開志専門職大学事業創造学部事業創造学科（地域産業研究Ⅱ（医療福祉）），非常勤講師，2021.4-9.
2. 新潟県立大学人間生活学部こども学科（社会福祉のニーズと政策），非常勤講師，2021.4-9.

8 学内委員会活動 社会連携推進センター運営委員会（委員）

氏名：青柳 親房

- 1 研究題目 高齢者介護における地域包括ケアシステム推進等の事例研究，年金を中心とする社会保障政策の総合的展開に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本年金学会，日本介護経営学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 立命館大学大学院特殊講義，介護経営1 社会保障政策，講師，大阪市（zoom対応），2021.4.10.
 2. 日本地域政策学会地域福祉分科会，地域福祉計画の政策的含意について，第一報告，熊本市（zoom対応），2021.6.20.
 3. 認知症ケア学会，講師・ディスカッション参加，四日市市（zoom対応），2021.7.5.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 社会福祉法人太陽の里，理事，三重県松阪市
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
全国健康保険協会新潟支部評議員（議長），新潟県地域包括ケアシステム推進会費委員8議長），新潟市北区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委委員（議長）
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 拓殖大学大学院地方政治行政研究科非常勤講師，社会保障政策論（院生・前期），高齢化社会と福祉（学部生・後期）2021.4-2022.3.

氏名：河野 聖夫

- 1 研究題目 対人援助スーパービジョン，スーパービジョン実践者（指導者）の育成プログラム，対人援助における臨床像の形成と言語化の枠組み（スーパービジョンと臨床像），医療ソーシャルワーカーのキャリア形成教育
- 2 著書
 1. 監修：丸田秋男，著者：山手茂，丸田秋男，渡邊敏文，寺田貴美代，河野聖夫，五十嵐紀子，中井良育，阿部行宏，佐藤洋，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，渡辺恵，米林喜男．第2章学部におけるキャリア形成教育プログラムの内容と意義（キャリア形成教育推進委員会）．社会福祉学部20周年記念 研究・実践論集－社会福祉の教育と実践－．新潟．新潟医療福祉大学社会福祉学部；2022：23-34.
 2. 監修：丸田秋男．著者：丸田秋男，渡邊敏文，寺田貴美代，河野聖夫，佐藤洋，武井恒美，鈴木昭，横山豊治，青木茂，五十嵐紀子，松本京介，渡邊豊，豊田典子，原口彩子，中井良育，渡辺恵，渡辺洋子，渡邊恵司，國兼明嗣，佐久間由紀，荒川大靖，山崎美香．社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう－個人の幸福を追求しつつ社会と連帯する福祉マインドを育むために－．新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号．新潟．新潟医療福祉大学社会福祉学部；2021：24-29.
- 3 論文
 1. 河野聖夫．ICTを活用した遠隔的スーパービジョン実践の方法と課題．医療社会事業．山梨県医療社会事業協会．2022；第25号：4-10．（査読あり）
 2. 河野聖夫．人材育成のシステム構築と人材養成への取り組み．社会福祉学部20周年記念 研究・実践論集－社会福祉の教育と実践－．新潟医療福祉大学社会福祉学部（監修：丸田秋男），2022；53-65.
 3. 中井良育，阿部行宏，丸田秋男，渡邊敏文，河野聖夫，佐藤洋，鈴木昭，青木茂，渡邊豊，渡辺恵．地域ケア会議における専門職による助言のサポート機能に関する考察．社会福祉学部20周年記念 研究・実践論集－社会福祉の教育と実践－．新潟医療福祉大学社会福祉学部（監修：丸田秋男），2022：76-90.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本ケアマネジメント学会，日本医療社会事業学会（日本医療ソーシャル

ワーカー協会), 大正大学社会福祉学会, 山梨社会福祉実践学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 特定非営利活動法人ろっきーず, 定例学習会, 講師, 特定非営利活動法人ろっきーず, 介護支援専門員・保健師・社会福祉士ほか, 塩尻市(オンライン), 2021.4.10, 6.20, 8.22, 10.17, 12.19, 2022.2.12.
2. 対人援助技術勉強会, スーパービジョン・スーパーバイザー養成研修, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 協会員受講修了者, 新潟市, 2021.4.24, 6.26, 8.28, 10.23, 12.11, 2022.2.26.
3. 令和3年度新潟県相談支援従事者現任研修, 人材育成の手法, 講義, 講師, 一般社団法人新潟県相談支援専門員協会, 相談支援員など, 新潟市(オンライン), 2021.7.13.
4. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の基盤と専門職, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市(オンライン), 2021.7.24.
5. ろっきーず公開講座, 人材育成とスーパービジョン, 講義, 講師, 特定非営利活動法人ろっきーず, 介護支援専門員・保健師・社会福祉士ほか, 塩尻市(オンライン), 2021.7.25.
6. ケアマネジメント研修会(飯綱町地域包括支援センター), 事例検討・事例演習, 講師, 飯綱町(オンライン), 2021.8.19, 2022.1.20.
7. スーパービジョン研修, 人材育成講座, 講義, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会会員有志, 医療ソーシャルワーカー, 新潟市, 2021.5.18, 7.21, 8.18, 10.20, 11.17, 12.15, 2022.1.19, 3.11.
8. 安曇野市社会福祉協議会(居宅介護支援事業所)職員研修, スーパービジョン, 安曇野市社会福祉協議会(居宅介護支援事業所), 介護支援専門員, 安曇野市, 2021.8.21.
9. 令和3年度ケアマネジメント研修, 対人援助の基礎視点とスーパービジョンの実践, 講義・スーパービジョン演習, 講師・スーパーバイザー, 高知市高齢者支援課, 主任介護支援専門員, 高知市(オンライン), 2021.9.9, 9.10.
10. 相談援助技術研修(スーパーバイザー養成コース), 岡山県地域包括・在宅介護支援センター協議会, 岡山県社会福祉協議会, 介護支援専門員・保健師・社会福祉士ほか, 岡山市(オンライン), 2021.9.12.
11. (株)はあとふるあたご職場研修, スーパービジョン・事例演習, スーパーバイザー, はあとふるあたご人事部, 新潟市(オンライン), 2021.9.17, 2022.3.14.
12. 令和3年度相談技法研修会, 「あなたの身近な相談相手に」～気軽に相談を受けるための傾聴・相談面接技法～, 講義, 講師, 新潟県民生委員児童委員協議会, 民生委員児童委員, 新潟市(オンデマンド), 2021.10.6.
13. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の理論と方法, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市(オンライン), 2021.10.16.
14. 相談援助職者養成一般研修, 地域貢献事業・講師, 企画・指導, 小布施町地域包括支援センター, 役場職員, 介護支援専門員, 地域包括支援センター職員, 町内福祉専門職等, 小布施町(オンライン), 2021.10.21.
15. 新潟市地域包括支援センター阿賀北(新潟市北区)困難事例検討会, 何かひっかかりのある事例検討, 事例検討, 講師・助言者, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 新潟市, 2021.11.8.
16. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会中堅フォローアップ研修, スーパービジョン, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 医療ソーシャルワーカー協会, 新潟市, 2021.11.21.
17. 介護老人保健施設支援相談員研修, 研修アドバイザー・ファシリテーター(講師), 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 支援相談員, 新潟市(オンライン), 2021.12.1.
18. 新潟市居宅介護支援事業連絡協議会北ブロック活動研修会, 障害や精神疾患のある家族支援困難ケー

スを通してスーパービジョンを学ぶ、講師・スーパーバイザー、新潟市在宅医療・介護連携ステーション、介護支援専門員ほか、新潟市北区、2021.12.3.

19. 医療ソーシャルワーカー新人研修／スーパービジョン研修、講義・グループスーパービジョン、講師・スーパーバイザー、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、医療ソーシャルワーカー、新潟市、2021.12.4, 12.5.
20. 須坂市介護支援専門員研修会、スーパービジョン研修、講義・事例演習、講師、須坂市地域包括支援センター地域支援係、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、須坂市（オンライン）、2021.12.6.
21. 千葉県介護支援専門員協議会、主任介護支援専門員研修ファシリテーター講習、指導者、千葉市（オンライン）、2021.12.10.
22. 千葉県主任介護支援専門員研修、対人援助者監督指導、講義・演習、講師、千葉県介護支援専門員協議会、千葉市（オンライン）、2022.2.7, 2.18, 2.19, 2.23.

2) 社会活動への参加協力

1. スーパービジョン実践研究会、スーパーバイザー養成講座・伝承、指導者、新潟市、2021.4, 2021.5, 2021.6, 2021.7, 2021.8, 2021.9, 2021.10, 2021.11, 2021.12, 2022.1, 2022.2, 2022.3.
2. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会、司会者／意見交換会進行、2021.6-2022.3.
3. 特定非営利活動法人ろっきーず、講師・運営顧問、オンライン、2021.4-8.
4. 小布施町地域包括支援センター、スーパービジョン、スーパーバイザー、小布施町、2021.4-2022.3.
5. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会（スーパービジョンの会 season4）、スーパービジョン研究会、指導者、新潟市、2021.4-2022.3.
6. 新潟県民生委員児童委員協議会、民児協アドバイザー派遣事業、課題を抱えた住民との関わり方や支援活動に関する事例学習、孤立する高齢者への支援について、長岡市大島地区民生委員児童委員協議会、長岡市、2021.11.25.

3) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県医療ソーシャルワーカー協会研修部会（アドバイザー）、非営利活動法人ろっきーず（長野県認定）（理事）

6 学内委員会活動 人権委員会（委員長）、個人情報保護委員会

氏名：佐藤 洋

1 研究題目 市町村保健師が行う子ども虐待事例の支援プロセスに関する研究、子どもの貧困に関する研究

2 著書

1. 丸田秋男, 鈴木昭, 佐藤洋, 渡邊敏文ほか. にいがたの障害者福祉とソーシャルワーク, 新潟医療福祉大学社会福祉学部, 2021.3.31, 15-26.
2. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 佐藤洋ほか. 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう, 新潟医療福祉大学社会福祉学部, 2021.12.31, 30-35.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本子ども虐待防止学会、中部M-GTA研究会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市民生委員児童委員協議会研修会、障害者への対応・接し方について、講師、新潟市民生委員児童委員協議会、民生委員児童委員、新潟ユニゾンプラザ、2021.5.25.
2. 福祉行政新任者研修会、支援者としてのコミュニケーションスキル、講師、新潟県社会福祉研修センター、行政職員、オンデマンド開催、2021.6.11.
3. 社会福祉士国家試験受験対策講座、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、講師、新潟県社会福祉協議会、受講申込者、オンデマンド開催、2021.7.24.

4. 湯沢町民生委員児童員協議会研修会, 湯沢町版活動強化方策の作成について, 講師, 湯沢町民生委員児童員協議会, 湯沢町健康センター, 2021.8.23.
 5. 下越地区家庭児童相談室連絡協議会研修会, 精神疾患を患った保護者の理解と対応について, 家庭児童相談員, 新潟市役所, 2021.10.5.
 6. 長岡市山本地区民生委員児童員協議会, 社会的孤立の状態にある世帯への支援について, 講師, 長岡市民生委員児童員協議会, 山本地区公民館, 2021.10.27.
 7. 新潟県児童委員研修会, 主任児童委員と連携した子育て・子育てを応援する地域づくり, 講師, 児童委員, オンデマンド開催, 2021.11.5.
 8. 柏崎市民生委員児童員協議会研修会, 柏崎市版活動強化方策の作成について, 講師, 柏崎市民生委員児童員協議会, 柏崎産業文化会館, 2021.12.3, 12.10.
 9. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 司会, 新潟市(委託事業), 介護事業に従事する専門職等, 区役所等, 2021.4.1-2022.3.31.
- 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県子ども貧困対策推進計画検討委員会(委員), 上越市いじめ問題再調査委員会(委員)
- 5 学内委員会活動 教務委員会, 障害者スポーツ検討プロジェクト

氏名: 鈴木 昭

報告事項なし

氏名: 武井 恒美

- 1 研究題目 児童虐待防止における機関連携に関する研究, 障害児者の地域生活支援に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県社会福祉士会, 日本地域政策学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第34回社会福祉士国家試験受験対策講座(新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業)講師「就労支援サービス」担当 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 社会福祉士受験予定者 新潟ユニゾンプラザ 2021.7.24.
 2. 第34回社会福祉士国家試験受験対策講座(新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業)講師「低所得者対策と生活保護制度」担当 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 社会福祉士受験予定者 新潟ユニゾンプラザ 2021.10.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 監事(2015.3-)
 2. NPO法人eばしょ結屋, 第三者委員(2017.4-)
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会会長, 五泉市総合計画審議会委員, 上越市いじめ問題再調査委員会副会長, 聖籠町子ども・子育て会議会長, 柏崎市福祉有償運送協議会会長

氏名: 寺田 貴美代

- 1 研究題目 外国人DV被害者とその子どもへの支援における国際連携プラットフォームの構築
- 2 著書
 1. 寺田貴美代, 多様性への理解と多文化共生. 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう. 初版. 新潟:アサヒ印刷クリエイティブ; 2022:18-23.
- 3 論文
 1. 寺田貴美代, 日本で暮らす外国人のDV被害と支援. 保健の科学. 2021;63(10):674-678. (査読あり)

2. 田村康平, 寺田貴美代, DV加害者更生の現状と課題－被害者と加害者間の新たな関係構築モデルの検討－, 新潟医療福祉学会誌, 2021, 21 (2) : 78-84. (査読あり)
- 4 報告書
 1. 寺田貴美代, 研究基盤 (C), 多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発, 2021年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2021.4.1-2022.3.31. (研究代表者)
- 5 学会等研究発表
 1. 寺田貴美代, 外国人DV被害者とその子どもたちへの支援上の課題: 母子生活支援施設における継続調査から, 新潟医療福祉学会・第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市・日本), 2021.10.31.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会 (査読委員), 日本社会福祉学会 (関東部会運営委員), 日本社会福祉学会 (関東部会編集委員), 福祉社会学会 (理事), 福祉社会学会 (20周年記念事業委員), 日本社会学会 (会員), 日本地域福祉学会 (会員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 福祉社会学会, 福祉社会学会第19回大会, 学術大会実施運営, オンライン, 2021.6.19-6.20.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本社会福祉学会 (査読委員)
 2. 日本社会福祉学会 (関東部会運営委員)
 3. 日本社会福祉学会 (関東部会編集委員)
 4. 福祉社会学会 (理事)
 5. 福祉社会学会 (20周年記念事業委員)
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 大学・ビジネス講座, 多様な人々と共に生きる社会を考えよう, 講師, 新潟市講師中等教育学校, 新潟市, 2021.7.10.
 2. 福島県地域福祉実践セミナー, 相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援, 参加協力, オンライン, 2021.10.30.
 3. 新潟水俣病関連情報発信事業, 3大学合同フォーラム, 報告学生の発表指導, 新潟医療福祉大学, 新潟市, 2022.3.6.
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 基盤C, 外国人DV被害者とその子どもたちに対する包括的支援体制の構築, 研究代表者
 2. 2021年度, 新潟県新潟水俣病関連情報発信事業, 研究分担者
- 9 学内委員会活動 入試委員会, 大学院教育研究環境推進委員会, アドミッションオフィス

氏名：藤沢 直子

報告事項なし

氏名：横山 豊治

報告事項なし

氏名：青木 茂

- 1 研究題目 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定プロセスに関する研究, 社会福祉協議会の組織・運営に関する研究, 民生委員・児童委員活動に関する研究, コミュニティソーシャルワーク機能に関する研究, 福祉教育・ボランティア学習に関する研究
- 2 著書

- 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏. 社会福祉を学ぶわたしの視座をみつけよう 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号. 新潟市: アサヒ印刷クリエイティブ; 2021年: 54-59.

3 報告書

- 青木茂, 丸田秋男, 藤沢直子, 荒川大靖. 児童健全育成推進財団助成研究, 児童館の果たすソーシャルワーク機能に関する実証的研究 - Evidence Based Practice (EBP) を目指して -, 2021, 研究代表者.

4 学会等研究発表

- 青木茂. 地域福祉計画に関する研究動向について. 日本地域政策学会第20回全国研究【熊本】大会 (Web), 2021.6.19-6.20. 【シンポジウム】
- 青木茂, 渡邊恵司. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴う地域福祉活動計画策定プロセスへの影響に関する一考察 - 新潟県内の2自治体の現状から -. 日本地域政策学会第20回全国研究【熊本】大会 (Web), 2021.6.19-6.20.

5 学会活動

- 所属学会 日本社会福祉学会, 日本地域政策学会 (甲信越・北陸支部事務局次長), 日本地域福祉学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 日本福祉文化学会, 新潟医療福祉学会 (理事)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- 新潟市地域包括支援センター新任研修, 地域包括支援センターに求められる役割と機能, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 地域包括支援センター職員, 新潟市中央区, 2021.5.21.
- 聖籠町民生委員児童委員研修, 民生委員児童委員活動を円滑に進めるために, 講師, 聖籠町, 聖籠町民生委員児童委員, 聖籠町, 2021.6.18.
- 認定社会福祉士基礎研修Ⅲ「地域開発・政策系科目Ⅰ」, 講師, 新潟県社会福祉士会, 社会福祉士, 新潟市中央区, 2021.9.18, 10.9.
- 介護福祉士会ファーストステップ研修, 家族や地域の支援力の活用と強化, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護福祉士, 新潟市中央区, 2021.10.8.
- 新潟市地域包括支援センター現任研修, 「機能強化事業」をテーマにした実践報告及び意見交換, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 地域包括支援センター職員, 新潟市中央区, 2021.10.27.
- 令和3年度福祉教育推進セミナー, 福祉教育とは, 講師・グループワークファシリテーター, 新潟県社会福祉協議会, 新潟県内社会福祉協議会職員, 2021.10.29 (基礎コース: 上越市), 2021.11.5 (実践コース: 長岡市).
- 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業, 地域福祉の理論と方法, 講師, 新潟県社会福祉士会, 社会福祉士試験受験予定者, 新潟市中央区, 2021.11.7.
- 支え合いマップづくり研修, 講師, 聖籠町健康福祉課・聖籠町社会福祉協議会, 聖籠町民, 聖籠町, 2021.11.14, 12.5.
- 民生委員児童委員中堅研修, 中堅リーダーとしての活動と役割について, 講師, 山梨県社会福祉協議会, 民生委員児童委員, 山梨県甲府市 (オンライン), 2021.12.2.
- コミュニティワーカー研修, フィールドソーシャルワーカーの基礎知識, 講師, 新潟市南区社会福祉協議会, 新潟市社協職員, 新潟市南区, 2021.12.17.
- 新潟市南区支え合いのしくみづくりフォーラム, コーディネーター, 新潟市南区社会福祉協議会, 新潟市南区民, 新潟市南区 (録画), 2022.1.22.
- 新潟市西蒲区社会福祉協議会地域福祉応援協力員養成研修, 地域福祉活動応援協力員に求められること, 講師, 新潟市西蒲区社会福祉協議会, 新潟市西蒲区民, 2022.3.19.
- 新潟市南区移動支援ワーキング, アドバイザー, 新潟市南区社会福祉協議会, 新潟市南区民, 新潟市南区 (オンライン), 2022.3.24.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 介護就業に若い視点を 医療福祉大学生 県へ提言, 2021.7.17.
2. 新聞, 福祉新聞, 新潟医療福祉大生 県に提言 認証制度, 就業環境など, 2021.8.2.
3. 新聞, 新潟日報, 新潟水俣病教訓継承を 県内3大学合同フォーラム, 2022.3.7.
4. NHK総合テレビ, 新潟ニュース610, 新潟水俣病を学ぶフォーラム, 2022.3.7.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県社会福祉協議会福祉教育推進会議, アドバイザー, 新潟市中央区, 2021.10-現在.
2. 新潟市東区社会福祉協議会, 理事, 新潟市東区, 2021.7.1-現在.
3. 新潟市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーク推進事業, スーパーバイザー, 新潟市中央区, 2021.9-現在.
4. 村上市社会福祉協議会第2期地域福祉計画策定委員会, 委員長, 村上市, 2021.6.25-2022.3.31.
5. 田上町社会福祉協議会地域福祉推進部会, アドバイザー, 2018.6.1-現在.
6. 聖籠町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会, 委員長, 2017.2.20-現在.
7. 聖籠町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会, 委員長, 2021.7.27-2024.7.26.
8. 聖籠町社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会, 委員長, 2018.7.1-現在.
9. 湯沢町社会福祉協議会地域福祉活動計画事業推進委員会, 委員長, 2021.4.1-2023.3.31.
10. 新潟市地域包括支援センター上土地亀サービス開発検討会, アドバイザー, 2012.7.1-現在.
11. 新潟市北区太田地域コミュニティ協議会外出支援検討委員会, アドバイザー, 2021.11.29-現在.

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

上越市地域福祉計画評価委員会(委員長), 村上市第2期地域福祉計画策定委員会(委員長), 新潟市南区地域福祉アクションプラン検討委員会(委員長), 新潟市南区高齢者ケア会議(議長)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するか-政令指定都市の検証から-, 研究分担者.
2. 2021年度, 児童健全育成推進財団, 児童館の果たすソーシャルワーク機能に関する実証的研究-Evidence Based Practice(EBP)を目指して-, 研究代表者.
3. 2021年度, 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 研究分担者.
4. 2021年度, 新潟県の人口減少を考える新潟医療福祉大学生集会, 研究分担者.
5. 2021年度, 新潟県民生委員児童委員協議会アドバイザー派遣事業, 研究分担者.

8 学内委員会活動 学術委員会, 倫理審査委員会, 就職センター運営委員会

氏名: 五十嵐 紀子

1 研究題目 介護職の表象に関する研究, 当事者活動の組織マネジメントに関する研究

2 著書

1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 鈴木昭, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう. 初版. 新潟:新潟医療福祉大学社会福祉学部; 2021: 60-65.
2. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 河野聖夫, 五十嵐紀子, 渡邊豊, 中井良育, 山手茂, 米林喜男. 新潟医療福祉大学社会福祉学部20周年記念論集. 一社会福祉の教育と実践一. 初版. 新潟:新潟医療福祉大学社会福祉学部; 2022: 58-67.

3 学会等研究発表

1. 杉本洋, 五十嵐紀子. コロナ禍における“生きやすさ”の発見-「コロナさんと一緒」をテーマとした当事者活動の展開-. 日本保健医療社会学会第47回大会(オンライン), 2021.5.16.

2. 五十嵐紀子, 石黒武人, 中西満貴典, 松本健太郎, 松島綾. 概念としての「コミュニケーション」再考—領域を超えた議論に向けて—. 日本コミュニケーション学会第50回年次大会 (オンライン), 2021.6.12. 【シンポジウム】
 3. 五十嵐紀子. 介護職の表象—再生と感動のストーリーに組み込まれる介護職—. 日本コミュニケーション学会第50回年次大会 (オンライン), 2021.6.12.
 4. 五十嵐紀子, 杉本洋. 当事者活動が脆弱であることの意味. 第13回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (オンライン), 2021.10.3.
 5. Sugimoto H, Igarashi N. Vulnerability in Community Building by People with Illness. INC2021 13th International Nursing Conference (オンライン), 2022.10.21-10.22.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本コミュニケーション学会 (副東北支部長), 日本ヘルスコミュニケーション学会 (代議員), 日本介護福祉教育学会, 仏教看護・ビハラー学会, 日本保健医療社会学会, Japan-US Communication Association, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本コミュニケーション学会, 第22回東北支部研究大会, 運営委員, オンライン開催, 2021.11.13.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 介護福祉士ファーストステップ研修, コミュニケーション技術の応用的な展開①②, 講師, 新潟県介護福祉士会, 介護従事者, 新潟市, 2021.7.18, 8.8.
 2. 教員免許状更新講習, コミュニケーション学概論, 講師, 新潟経営大学, 教員免許状更新講習受講対象者, 加茂市, 2021.8.21.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2021-22, 介護事業所レポート, 2021.9.30.
 2. Web, Beyond Health (日経BP), 猫と暮らせる老人施設, 「ペットロス」を防ぐ, 2021.12.3.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟はっぴー乳ライフ, ピンクリボン委員, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 日本対がん協会, リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた副実行委員長, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.
 3. 新潟市動物愛護協会, ねこ委員会委員, 新潟市, 2021.4.1-2022.3.31.
 - 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」(委員長), 新潟市環境審議会 (委員), 新潟市国民健康保険運営協議会 (委員), 新潟県乳がん検討委員会 (企画委員)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 博士号 (学術) (2022.3.25)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 長岡崇徳大学, コミュニケーション論, 2021.10.1-2022.3.31.
 2. 新潟食料農業大学, コミュニケーション論, 2021.9.1-2022.3.31.
 3. 青森中央学院大学, 対人コミュニケーション論, 2021.6.4, 2021.6.11.
- 7 学内委員会活動 FD・SD推進委員会 (委員長), 教務委員会, 高等教育推進委員会, シティズンシップ教育実践研究センター (研究員)

氏名 : スー マーク

報告事項なし

氏名：豊田 典子

- 1 研究題目 第2言語習得理論, 認知言語学, 内容重視学習 (CLIL), 児童情報科教育
- 2 著書
 1. 渡邊敏文, 丸田秋男, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏; 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号 ソーシャルワークと異文化コミュニケーション. 新潟: アサヒ印刷クリエイティブ; 2021.12.31.
 2. 佐藤誠悦著, Toyoda N (英訳). "Gone with the Tsunami", Japan, S&N Information Limited, March 2022.
- 3 論文
 1. Akiho-Toyoda N. Issues Related to Curriculum Development and Online Class Management for English CLIL Using Robot Programming, Proc. Japan Association Informatics Education Conference 2022, 2022; 4, pp19-21.
 2. 豊田典子, 巻頭言『「国際教育」の意義を考える』, 国際教育研究所 Newsletter 第87号, 2021; 第87号: pp1-13.
 3. 豊田典子, 教養のための英語教育から, 国際的な教育に向けて, 国際教育研究所 Newsletter, 2021; 第85号: pp (査読あり)
- 4 学会等研究発表
 1. 中西千春, 白石よしえ, 豊田典子, 山本恭子. 「効果的なプレゼンテーション指導法についての考察」, 国際教育研究所, 6月月例研究会, 発表, オンライン開催, 2021.6.29.
 2. 豊田典子, 住本時久. 実務経験を生かした英語科目の実践授業における Bloom's Taxonomy (改訂版) の位置づけ. 日本実務教育学会 (オンライン), 2021.11.7.
 3. 豊田典子. 「フィンランドにおけるマルチリンガリズム」, MHB学会, 3言語以上の言語習得勉強会, オンライン開催, 2021.11.7.
 4. Martin Sedagat, 豊田典子. 「Teacher Research in ICT Classroom」, Dr Roccaバイリンガル教育ワークショップ, 新潟, 2021.11.16.
 5. 豊田典子. 大学英語科目の授業におけるITリテラシとプログラミング教育の実践, 日本情報科教育学会, 東海・中部支部第17回研究会, オンライン, 2021.11.13.
 6. 豊田典子. ロボットプログラミングを活用した英語CLILのカリキュラム開発とオンラインクラスマネジメントの課題, 日本情報教育学会第4回研究会, オンライン, 2022.3.20.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 JACET, Asia TEFL, 日本情報科教育学会, 情報システム教育学会, 国際教育研究所, MHB学会, 小学校プログラミング研究会 (顧問)
 - 2) 学術集会の主催
 1. ICT & Language Learning 研究フルブライght研究者招聘プロジェクト, ICT & Language Learning 研究会, 主催・講演, 新潟教員・研究者向け 英語話者, オンライン及び新潟市, 2021.11.16.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. ICT & Language Learning 研究フルブライght研究者招聘プロジェクト, 日本招聘, 講演活動運営 2021.6.1-10.24.
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. ICT & Language Learning 研究フルブライght研究者招聘プロジェクト, ICT & Language Learning Webiner, 主催, 講演 教員・研究者・保護者・一般向け 2021.11.9.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. FMラジオ語学番組講師/パーソナリティ (2021.3)

2. FMラジオ語学番組講師／パーソナリティ（2021.4）
 3. 宮城テレビ 東日本大震災10年の思い 翻訳書，支援活動の取材 2022.3.11，3.14放映
 4. 東日本テレビ 東日本大震災現地訪問取材 2022.3.12放映
 5. NHKワールド，気仙沼テレビ 2022.3.11放映（東日本大震災復興支援活動）著作名の放映
 6. 新潟日報（2022.3.12）東日本大震災復興支援取材記事
 7. 朝日新聞（夕刊），神戸新聞，沖縄タイムス，他 メディア多数（東日本大震災復興翻訳著書取材記事掲載）
 8. 朝日新聞デジタル2022年3月11日11時17分，毎日新聞オンライン
- 3) 社会活動への参加協力
1. 一般社団法人Quality of Life Foundation医科学研究者国際活動支援協議会，海外医師招聘，通訳・翻訳，東京都，2021.4.23.
 2. 愛宕福祉会 愛宕の園デイサービス傾聴ボランティア 2021.5-2022.2.
 3. 一社）Quality of Life Foundation医科学研究者国際活動支援協議会チャリティ医学セミナー，海外医師招聘，翻訳，東京都コロンビア大使公邸，2021.10.12.
 4. 一社）Quality of Life Foundation医科学研究者国際活動支援協議会チャリティ医学セミナー，海外医師招聘，翻訳，東京都アルゼンチン大使公邸，2021.12.23.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 学外兼務講師等
1. 神田外語大学，英語総合Ⅲ，2021年度前期後期
 2. 東京家政大学，異文化コミュニケーション概論（教員課程），2021年度前期

氏名：松本 京介

- 1 研究題目 夢の心理学的研究（臨床心理学），心理臨床における非言語的アプローチ（心理劇・音楽表現）の理論的研究（臨床心理学），喪の作業（臨床心理学），臨床心理的地域援助（臨床心理学）
- 2 著書
 1. 松本京介；丸田秋男監修. こころに病いを持つとされる人を理解しようとするこころ. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう. 新潟県：アサヒ印刷クリエイティブ；2021：66-71.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会，日本心理劇学会，日本精神衛生学会，日本質的心理学会，新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. スーパービジョン研修，対人援助を行うコーディネーターの資質向上のための個人スーパービジョン，講師，新潟市社会福祉協議会，新潟市社会福祉協議会職員，新潟ユニオンプラザ，2021.8.5，9.2，11.30，12.14，2022.3.1，3.15.（全6回）
 2. 子育て学習出前講座，家庭教育の大切さ，講師，新潟市教育委員会・中央公民館，保護者，新潟市立小針小学校，2021.10.28.
 3. 第34回社会福祉士国家試験対策講座，心理学理論と心理的支援，講師，新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会，市民，新潟ユニオンプラザ，2021.11.7.
 4. ストレスマネジメント研修，ストレス及びメンタルヘルスの理解，講師，新潟県社会福祉協議会，社会福祉施設・事業所に勤務する福祉関係職員，新潟ユニオンプラザ，2021.11.19.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 市ヶ谷ひもろぎクリニック，音楽プログラムに関する業務，音楽プログラム担当者，東京都・市ヶ谷ひもろぎクリニック精神科デイケア，2021.12.4.

2. にいがた母の会, 心理カウンセリング業務, 心理カウンセラー, 新潟市・にいがた母の会, 2021.6.25-2022.3.25.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市精神保健福祉審議会(委員)
- 5 学内委員会活動 大学院委員会, 大学院入試広報委員会, 科研費対策委員会

氏名：渡邊 豊

- 1 研究題目 共に生きる地域社会づくりに関する研究, 社会福祉協議会に関する研究, 権利擁護に関する研究, 災害福祉に関する研究, 社会福祉法人の地域貢献に関する研究, ボランティア活動に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 渡邊豊.「感染症禍における新しい「福祉文化現場セミナー」の創造」.日本福祉文化学会・第32回全国大会(オンライン), 2021.10.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本福祉文化学会(理事・総務委員長), 日本地域福祉学会, 日本社会事業大学社会福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第1回), 実行委員長, 新潟市, 2021.6.6.
 2. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第2回), 実行委員長, 新潟市, 2021.7.4.
 3. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第3回), 実行委員長, 新潟市, 2021.8.1.
 4. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第4回), 実行委員長, 新潟市, 2021.9.5.
 5. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第5回), 実行委員長, 新潟市, 2021.10.3.
 6. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟・沼垂地区(第6回), 実行委員長, 新潟市, 2021.11.7.
 7. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin上越市安塚区細野集落, 実行委員長, 上越市, 2021.6.27.
 8. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin第1回北前船と福祉文化, 実行委員長, 出雲崎町, 2021.10.2.
 9. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナーin新潟市西蒲区間瀬地区, 実行委員長, 新潟市, 2021.11.21.
 10. 日本福祉文化学会, 福祉文化現場セミナー長岡市川口地区, 実行委員長, 新潟市, 2021.12.4.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 江南区ボランティア・市民活動センター運営委員会, 福祉教育とボランティア活動について, 講師, 新潟市江南区社会福祉協議会, 運営委員, 新潟市, 2021.10.26.
 2. 友愛訪問員研修会, みまもりってなにをするの?～友愛訪問員の見守り活動～, 講師, 新潟市江南区社会福祉協議会, 民生委員, 新潟市, 2022.3.7.
 3. 長岡市福祉コミュニティ推進の集い, みんなが笑顔になれる地域づくり, 講師, 長岡市社会福祉協議会, ボランティア, 市民, 長岡市, 2021.12.14.
 4. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の要請支援事業, 権利擁護と成年後見制度, 講師, 新潟県社会福祉士会ほか, 受講者, (オンライン), 2021.9.12.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟市江南区社会福祉協議会江南区ボランティア・市民活動センター情報紙「サロン・ド・ボラ」第48号, 令和2年度ボランティア研修会を開催しました!, 2021.4.1.
2. 地域ケアサポート魚沼「地域ケアサポート」第27号, 津南町と地域福祉, 2021.4.1.
3. 日本福祉文化学会ホームページ福シネマ文化倶楽部第3話, 「島にて」を観て, 2021.4.1.
4. 日本福祉文化学会ホームページ福シネマ文化倶楽部第6話, 「この世界に残されて」を観て新疆ウイグル自治区の人達を思う, 2021.4.16.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本福祉文化学会, 総会, 理事, (オンライン), 2021.10.31.
2. 日本福祉文化学会, 理事会, 理事, (オンライン), 2021.6.5.
3. 日本福祉文化学会, 理事会, 理事, (オンライン), 2021.10.30.
4. 日本福祉文化学会, 北陸ブロック事業推進会議, 理事, 柏崎市, 2021.6.6.
5. 日本福祉文化学会, 東北ブロック事業推進会議, 理事, (オンライン), 2021.6.18.
6. 新潟県国民健康保険連合会, 介護サービス苦情処理委員会, 委員, 新潟市, 2021.5.25.
7. 新潟県国民健康保険連合会, 介護サービス苦情処理委員会, 委員, 新潟市, 2022.3.24.
8. 新潟市社会福祉協議会, 評議員選任・解任委員会, 委員, 新潟市, 2021.6.15.
9. 新潟市社会福祉協議会, 評議員選任・解任委員会, 委員, 新潟市, 2022.3.18.

4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟県社会福祉協議会(第三者委員), 新潟県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会(委員), 新潟市福祉有償運送運営協議会(委員), 新潟市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会(委員), 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会(委員)

5) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟ボランティア連絡会(副会長)

5) 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 大学院入試・広報委員会

氏名: 大屋 未輝

1 研究題目 医療観察法における家族が保護者である心理的な負担に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本被害者学会(会員)

3 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟県養護教員研究会協議会, 養護教諭および教諭研修講師, 加茂市立図書館(オンライン対応), 2021.11.11.
2. 新潟県社会福祉協議会, 福祉従事者向け研修講師, 新潟ユニゾンプラザ(オンライン対応), 2021.10.7.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟地方裁判所(精神保健参与員), 新潟市精神障がい者地域移行部会地域生活を考える会(委員)

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人日本精神保健福祉士協会(新潟支部 顧問), 新潟県精神保健福祉士協会(顧問), 更生保護法人日本更生保護協会(会員)

氏名: 中井 良育

1 研究題目 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保・定着策, 介護予防に対する効果的な支援のあり方

2 著書

1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏. 社会福祉を学ぶわたしの視座をみつけよう, 初版, 新潟県:新潟医療福祉大学社会福祉学部; 2021:1-137頁.
2. 丸田秋男, 寺田貴美代, 五十嵐紀子, 中井良育. 新潟医療福祉大学社会福祉学部20周年記念論集-社会福祉の教育と実践-, 初版, 新潟県:新潟医療福祉大学社会福祉学部; 2022:1-90頁.

3 論文

1. 本宮亨, 宮崎則男, 渡辺陽一, 中井良育, 五十嵐保. 介護事業所の「魅力ある職場づくり」のための雇用管理改善への取り組み事例集(令和3年度新潟労働局委託事業 介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業). 2022:1-21頁.

4 学会等研究発表

1. 中井良育. 要支援高齢者の重度化予防に関する研究-「質」が保証されたケアマネジメントモデルの構築に向けて-. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟市・日本), 2022.1.29.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本社会福祉学会(会員), 日本地域政策学会(会員), 新潟医療福祉学会(会員), 日本介護福祉学会(会員)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会調査の基礎, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2021年度(第34回)社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2021.9.12.
2. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会理論と社会システム, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2021年度(第34回)社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2021.11.7.
3. 社会福祉施設職場研修担当職員研修, これからの福祉人材育成と推進方法等, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2021.12.2-12.3.
4. 民児協アドバイザー派遣事業, 町内会活動等と民生委員・児童委員活動との連携強化, 講師, 一般社団法人新潟県民生委員児童委員協議会, 長岡市神田コミュニティセンター, 2021.9.30.
5. 民児協アドバイザー派遣事業, 地域版 活動強化方策の作成, 講師, 一般社団法人新潟県民生委員児童委員協議会, 十日町市松代公民館, 2021.12.7.

2) 社会活動への参加協力

1. 介護労働安定センター新潟支部・第一回雇用管理改善企画委員会, 事業方向性の確認及び事業所選定, 委員, 新潟県建設会館, 2021.5.17.
2. 介護労働安定センター新潟支部・第二回雇用管理改善企画委員会, 事業の進捗状況を踏まえた検証及び地域ネットワーク・コミュニティ合同研修会とワーキンググループの開催について, 委員, 新潟テルサ, 2021.10.29.
3. 介護労働安定センター新潟支部・第三回雇用管理改善企画委員会, 事業総括及び取組事例の周知・活用について, 委員, 新潟テルサ, 2022.2.25.

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

公益財団法人介護労働安定センター新潟支部・雇用管理改善企画委員

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

日本社会福祉士会(会員)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 研究分担者
2. 2021年度, 新潟市医師会地域医療研究助成事業, 要支援高齢者の重度化予防に関する研究-「質」が

保証されたケアマネジメントモデルの構築に向けてー, 研究代表者

3. 2021年度, 科学研究費補助金 若手研究, 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保に関する研究, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 事業創造大学院大学, 福祉ビジネス特講, 2021.10.1-2022.3.31.

8 学内委員会活動 入試委員会, 大学院教務委員会

氏名：原口 彩子

- 1 研究題目 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 精神障害者の農業起業の可能性

2 学会等研究発表

1. 田邊琳太郎, 原口彩子, 雑草自分語り^が自己覚知に与える影響 人間・植物関係学会2021年大会(オンライン・日本), 2020.9.4-9.5.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 人間・植物関係学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療社会学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. シニアカレッジ「生きがいの再構築と地域貢献」, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2021.8.26-8.27.
2. 「そのとき家族はどうすれば?心の支えとなることとは～抱え込まない勇気を～」, 講師, 燕市健康福祉部社会福祉課, 燕市役所, 2021.11.20.
3. 「自殺防止対策のゲートキーパーの役割」, 講師, 新潟市健康推進課, Zoom, 2022.2.16.
4. 「無力の畏れとともにそばにいたいということ」, 講師・企画, 傾聴サロンにこっと, 新潟市北区文化会館, 2022.3.27.

2) 社会活動への参加協力

1. ももかわ桃源郷倶楽部, 村上かみはやし地区町おこしイベント, ボランティア(ゼミ生とともに), 村上市桃川地内, 2021.10.10.

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 発達クリニックぱすてる, 臨床心理士, 2021.4.1-2022.3.31.

6 学内委員会活動 教務委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会, シティズンシップ教育実践研究センター(Citizenship education practical research center)

氏名：渡辺 恵

- 1 研究題目 DV/児童虐待被害母子への支援

2 著書

1. 渡辺恵, 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴代美, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 国兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美香. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号「社会福祉を学ぶ私の視座を見つけよう」: 新潟医療福祉大学社会福祉学部: 2021: 96-101.

3 報告書

1. 渡辺恵, 社会学及びその関連分野, DV/児童虐待被害母子への効果的支援とはなにか. 母子生活支援施

設入所からの検討, 研究成果報告書「DV/児童虐待被害母子への支援に関する調査」, 令和3年度～令和4年度, 渡辺恵

4 学会活動

1) 所属学会 日本地域政策学会, 日本子ども虐待防止学会, 新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 令和3(2021)年度, 研究活動スタート支援, DV/児童虐待被害母子への効果的支援とは何か, 母子生活支援施設からの検討, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県消防学校第32期救急科教育訓練, 社会保障・社会福祉, 2021.11.26.

2. 新潟県消防学校第33期救急科教育訓練, 社会保障・社会福祉, 2022.1.28.

6 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会

氏名: 渡辺 洋子

1 研究題目 特養の看取り, 特養介護職員, 特徴入居者, 特養EOLケア, 特養の看取り研修

2 著書

1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏. 「⑰『ケア(care)する』こと」『社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう』, 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット増刊号, アサヒ印刷クリエイティブ, 2021.12.31: 102-107頁.

3 報告書

1. 渡辺洋子. 若手研究, 特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究, 令和3年度実施状況報告書, 令和3年度～6年度, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 渡辺洋子. 介護職員によるEOLケア尺度に関する研究-因子分析による妥当性及び信頼性. 新潟医療福祉大学学術集会, 2021.10.30.

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉大学会員, 日本社会福祉学会員, 日本介護福祉学会員, 日本老年社会科学会員, 日本女子大学社会福祉学会員

2) 学会等でのその他の活動

1. 社会福祉学会関東部会「社会福祉学評論」和文査読

2. 新潟医療福祉大学「新潟医療福祉大学学会誌」和文査読

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 令和3年度, 若手研究, 特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究, 研究代表者

2. 令和3年度, 新潟医療福祉大学外部資金獲得奨励金, 特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究, 研究代表者

7 学内委員会活動 学生委員

氏名: 今井 理恵

1 研究題目 ジャナル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発(英語教育学), 応用言語学の新しい成果を活かす学校英語教育の研究(英語教育学および応用言語学), 内外の応用言語学研究で新しく提案される概念や枠組みを, 日本語を母語とする学習者に対する学校英語教育においてどのように活用できるかを探

る研究（英語教育学および第二言語習得理論），日本人学習者のための批判的思考力測定テストの開発（外国語教育）

2 著書

1. 飯野厚，田嶋美砂子，稲垣善律，今井理恵，大畑甲太，加藤淳，将司敬子，外山徹，藤井彰子，藤吉大介，和田俊彦，Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication II. 東京：三省堂；2021：1-174.（印刷中）

3 論文

1. 峯島道夫，藤田賢，五十嵐光緒，今井理恵，石井博之，清水真弓，三浦孝，中村義実，山本孝次. 「ヒューマニスティックな観点から見た高校 Communication 英語 I の教科書分析」 Journal of Humanistic English Education in Japan, 1: 100-108.（原著論文）[査読有り]
2. 峯島道夫，今井理恵. 「読みにおける発問の役割についての一考察：人間性の伸長に資する評価発問をめざして」. Journal of Humanistic English Education in Japan, 2021; 1: 27-69.（原著論文）[査読有り]
3. 今井理恵，峯島道夫. 「新中学校英語教科書におけるジャンルとテキストタイプの情報—中学校英語でのジャンル準拠指導の実行可能性調査—」. 中部地区英語教育学会紀要. 51号, 241-248.（原著論文）[査読有り]

4 学会等研究発表

1. 今井理恵，峯島道夫，松沢伸二. 「新中学校英語教科書でのジャンルとテキストタイプの明示的指導：読むこと・書くこと」全国英語教育学会 第46回長野研究大会（オンライン），2021.8.8.
2. 松沢伸二，今井理恵，峯島道夫. 「新中学校英語教科書でのジャンルとテキストタイプの明示的指導：聞くこと・話すこと」全国英語教育学会 第46回長野研究大会（オンライン），2021.8.8.
3. 今井理恵，松沢伸二，峯島道夫. 「ジャンルの目的に正対する発問課題の検討：中学校英語におけるジャンル準拠リーディング指導のために」関東甲信越英語教育学会 第45回群馬研究大会（オンライン），2021.12.11.

5 学会活動

- 1) 所属学会 中部英語教育学会，関東甲信越英語学会，全国英語教育学会，日本教科教育学会，The Japan Association for Language Teaching (JALT)，新潟大学教育学部英語教育学会，Association of International Studies and Regional Development (AISRD)，Humanistic English Education Study Group (HEESG)，新潟医療福祉学会

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科学研究費補助金基盤研究（C），ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発，研究代表（継続）
2. 2020年度，科学研究費補助金基盤研究（C），英語コミュニケーション能力と人間性を高める英語授業の活動・タスク・授業モデル開発，研究分担者（継続）
3. 2022年度，科学研究費補助金基盤研究（C），英語授業を改善する4技能5領域でのジャンル正対課題と教授・学習サイクルの開発，研究代表者（新規）

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 教育学博士（2022.3.23）

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学，教職実践演習特別講義，10.18，11.8.

7 学内委員会活動 国際交流専門委員会，AO入試室員

氏名：國兼 明嗣

- 1 研究題目 『触法障害者の福祉サービス受け入れに必要なこと～就労継続支援B型事業所全国アンケートの結果から～』

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本司法福祉学会, 日本社会福祉士学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公益社団法人新潟県社会福祉士会 社会貢献事業 新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業
2021年度社会福祉士国家試験対策講座2021.10.16 新潟ユニゾンプラザ

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報「骨髄バンク ドナー登録伸び悩み」2022.1.16.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県社会福祉士会「生活支援班会議」2021.5.30, 8.1, 8.29, 10.23, 12.5, 生活支援班研修実施
2021.8.28.
2. 新潟県社会福祉士会「役員会議」2021.6.21, 10.29, 11.19, 2022.2.4, 2.25, 「総会」2021.6.12, 「新
入会員説明会」2021.6.27
3. 新潟県老人福祉施設協議会「理事会」2021.6.18, 11.12.

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県社会福祉士会(理事), 新潟県老人福祉施設協議会(理事)

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2021年度, 公益財団法人ユニバーサル財団, 罪を犯した障害者の福祉サービス受け入れに必要なこと,
研究代表者

5 学内委員会活動 交通安全委員会, 学生委員会

氏名: 佐久間 由紀

1 研究題目 介護職員の就労環境改善への取り組みの意識に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本介護福祉学会(正会員)

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県社会福祉協議会「社会福祉施設職員等スタートアップ研修」外部講師, 8.5.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市北区葛塚中学校「福祉学習得を通して大学生から生き方を学ぶ」, 10.18.
2. 新潟市北区家庭介護セミナー, 11.13, 12.5.

氏名: 渡邊 恵司

1 研究題目 精神科病院からの地域移行支援・地域定着支援に関する研究, ピアサポーターとの協働に関する研究

2 著書

1. 渡邊敏文, 丸田秋男, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏; 新潟医療福祉大学社会福祉学部フックレット増刊号 社会福祉を学ぶわたしの視座を見つけよう. 新潟:アサヒ印刷クリエイティブ; 2021.12.31.

3 学会等研究発表

1. 渡邊恵司, 丸田秋男, 渡邊敏文. 「次世代を担う人材育成と活力あるまちづくりに関する一考察-新潟市北区における「地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業」の取り組みから-」. 日本地域政策学会第20回全国研究大会(熊本大学オンライン開催), 2021.6.19.

2. 青木茂, 渡邊恵司. 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大に伴う地域福祉活動計画策定プロセスへの影響に関する一考察－新潟県内の2自治体の現状から－. 日本地域政策学会第20回全国研究大会 (熊本大学オンライン開催), 2021.6.19.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本病院・地域精神医学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会, 日本精神保健福祉士協会, 新潟県精神保健福祉士協会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本地域政策学会第20回全国研究大会. 地域福祉計画分科会「地域福祉計画の政策的意義を問う」. 討論者. 熊本大学オンライン開催. 2021.6.19.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 社会福祉職員スタートアップ研修, 「社会福祉のあゆみと社会福祉政策の動向－福祉従事者が大切にしなければいけないことの再考－」, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟市, 2021.8.3.
 2. 第34回社会福祉士国家試験受験対策講座, 「福祉行財政と福祉計画」, 講師, 新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会, 新潟市, 2021.9.12.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県水俣病情報発信事業, 3大学フォーラム, オンライン開催, 2022.3.6.
 2. NPO法人新潟市精神障害者自助グループココカラ, 理事, 新潟市
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 新潟県精神保健福祉士協会 (代議員)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2021年度, 基盤研究 (C), 地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究, 荒川大靖・山口智・渡邊恵司
- 7 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会, 広報委員会

氏名：荒川 大靖

- 1 研究題目 地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究, 児童厚生員の質的向上及び人材育成に関する研究
- 2 論文
 1. 青木茂, 丸田秋男, 藤沢直子, 荒川大靖. 児童館の果たすソーシャルワーク機能に関する実証的研究. 2021.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ソーシャルワーク学会, 日本地域政策学会, こども学会
- 4 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. ミニコミ誌, にぽにぽ (新潟日報販売店グループ), 地域にとってかけがえのない存在新潟医療福祉大の「レクアの学生」, 2021.10.5.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市北区ふゆっこまつり実行委員会, 北区における子育て支援ネットワークの構築に向けたイベント開催, 副実行委員長, 新潟市北区, 2022.2.19・2.20.
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 社会福祉法人七穂会中長期計画策定委員会 (副委員長)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2021年度, 基盤研究 (C), 地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究, 荒川大靖・山口智・渡邊恵司
 2. 2021年度, 健全育成研究助成, 児童館の果たすソーシャルワーク機能に関する実証的研究, 研究代表者: 青木茂・研究分担者: 丸田秋男, 藤沢直子, 荒川大靖. 2021年
- 2) 学内部活動の実績
1. レクア.コム部, 社会貢献活動の推進 (コロナ禍での活動方向の模索)
 2. 学生ボランティアセンター, 副顧問
- 6 学内委員会活動 広報委員会

氏名: 大坪 美香

報告事項なし

氏名: 山崎 美夏

- 1 研究題目 女性介護職の労働環境に関する研究, 介護福祉士養成教育, 介護福祉教育学
- 2 著書
 1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 河野聖夫, 佐藤洋, 武井恒美, 鈴木昭, 横山豊治, 青木茂, 五十嵐紀子, 松本京介, 渡邊豊, 豊田典子, 原口彩子, 中井良育, 渡辺恵, 渡辺洋子, 渡邊恵司, 國兼明嗣, 佐久間由紀, 荒川大靖, 山崎美夏. 社会福祉を学ぶわたしの視座をみつけよう. 新潟: (有) アサヒ印刷クリエイティブ; 2021.12: 132-137.
- 3 論文
 1. 山口智, 山崎美夏. 「障害者の生涯スポーツの普及に向けて」新潟医療福祉学会誌 2021; 21(1): 83-83.
 2. 山口智, 山崎美夏. 「地域共生社会に向けたパラダイムシフトへの要因-障害福祉分野の場合-」.新潟医療福祉学会誌 2021; 21(1): 112-112.
 3. 山口智, 山崎美夏. 「地域共生社会における余暇活動の重要性-障害福祉の場合-」新潟医療福祉学会誌 2021; 21(1): 113-1123.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本生活支援学会, 日本介護福祉教育学会

7) 医療経営管理学部

(1) 医療情報管理学科

氏名：福島 正巳

報告事項なし

氏名：柴山 純一

- 1 研究題目 病院の経営診断・改善手法の研究，早期治療体制を目指した病院の部門別業務体制と経済性の評価，病院部門効率化方策の研究
- 2 著書
 1. 柴山純一，加見谷将人，中田精三，宇佐美光司，粕田晴之，酒井順哉，松田和久，北野達也，小泉和夫，石黒克典；医療機器安全実践必携ガイド（第5版）医療概論編．編集 柴山純一，東京：エム・イー振興協会；2021. 21-44, 95-104.
 2. 瀧口徹，藤谷克己，木下直彦，石上和男，柴山純一，鈴木健司，森脇健介，西川薫，淡島正浩，坂井さなえ，前田理歩，深井穂博，平田幸夫，本間美知子．アクティブ公衆衛生学ラーニング副読本 医療関係職種国家試験模擬問題集．ウィネット；印刷中.
- 3 論文
 1. 柴山純一．DPC/PDPSにおける機能評価係数Ⅱは病院経営へのインセンティブとなっているか．新潟医療福祉学会誌．2021; 21 (2)：2-8. 総説，依頼論文．
 2. 前田理歩，木下直彦，高野晃輔，皆川璃子，鈴木健司，石上和男，柴山純一，瀧口徹．新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生（大学院生）の学習意欲等に及ぼしている影響．新潟医療福祉学会誌．2022; 22(2). 印刷中.
- 4 学会等研究発表
 1. 柴山純一，阿部有矢，石川愛梨，小野茉佳，岡田すみれ，松井志帆，山田日和．新潟県における救急搬送件数の地域差の検討；第21回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2021.10.
 2. 柴山純一．医療を取り巻く環境指標の経時的相違．第96回日本医療機器学会大会（大阪，Web），2021.10.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本手術医学会（評議員），日本医療機器学会，日本診療情報管理学会，日本医療・病院管理学会，日本医療情報学会，日本医療マネジメント学会，医療の質・安全学会，病院経営管理士会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌 和文誌査読
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 柴山純一．2021年度更新ポイント取得セミナー，医療を取り巻く環境指標の経時的相違，講師，日本医療機器学会，2022.3.29.
- 7 学内委員会活動 総務会，将来計画機構，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，高等教育推進センター運営委員会，就職センター運営委員会

氏名：石浦 章一

- 1 研究題目 アルツハイマー病出現のメカニズムと食物ワクチンによる治療
- 2 著書
 1. 石浦章一．小説みたいに楽しく読める生命科学講義．東京：羊土社；2021：1-303.
 2. 石浦章一．63章 脳と心の遺伝哲学．学問の英知に学ぶ 第6巻 ログスドン編集部編．東京：ヌース出版；2022：10-47.

3 論文

1. 石浦章一, 榊太一. サイエンスコミュニケーションのいま. 現代化学. 2021; 4月号: 22-26.
2. 石浦章一. 新型コロナとサイエンスコミュニケーション. 現代化学. 2021; 5月号: 28-30.
3. 石浦章一. 大学初年次教育に求められるもの. 現代化学. 2021; 12月号: 58-59.
4. 石浦章一. 教科「理数」の目指すもの. 遺伝. 2022; 76, 005.

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 黒沢尻北高校 探究活動 大学から課題研究への期待, 高校1, 2年生, 2021.4.23.
2. 巣鴨高校 進学後援会 大学での学問とは, 高校1年生, 2021.7.16.
3. 鹿児島ラ・サール高校 進学後援会 コロナ下での大学での新しい学び, 高校1, 2年生, 2021.10.16.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. NHK カルチャーラジオ 科学と人間 (老化を防ぐ最新医学) 全13回 (2021.4.2-6.25)

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

日本学術振興会 国際事業委員会(委員長)

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 京都先端科学大学(客員教授), 科学概論
2. 東京大学(非常勤講師), サイエンスライティング

6 学内委員会活動 高等教育推進センター運営委員会(オブザーバー)

氏名: 石上 和男

1 研究題目 保健・医療・福祉の政策評価(行政における政策, 介護予防事業, 特定健診・特定保健指導, がん検診・がん登録)

2 論文

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2021年度報告書.
2. 佐藤隆子, 栗原桂, 石上和男. 聾学校に在籍する人工内耳装用児の聴取能力と言語力の関係. ろう教育科学. 2022; 63(3): 1-12. (査読あり)
3. Inaba H, Marina F. Rziankina, Hoshino F, Takano K, Ksennila E. Potapova, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Self-Assessment of Health Status and Willingness to Be Vaccinated in Adolescents from the Niigata Prefecture and the Khabarovsk Region during COVID-19. Healthcare. 2022; 184-194. (査読あり)
4. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tsuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents :Analysis of the 2015Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 21(2): 64-81. (査読あり)
5. 小田島あゆ子, 葭原明弘, 石上和男. 地域在住高齢者を対象とした口腔機能訓練が与える頸部可動域の改善効果. 口腔衛生学雑誌. 2022; 72(1): 11-17. (査読あり)
6. Ruan Qi, Huyen Tai Thanh, Yen Luong Thi Hai, Saito S, Ishigami K, Takiguchi T, Suzuki K. Relationship between mental health and non-permanent employment in the early stage of the COVID-19 pandemic in Japan: A cross-sectional nationwide web-based study. Niigata Journal of Health and Welfare. 2021; 21(1): 38-50. (査読あり)
7. 土田直美, 波多野誠, 磯部澄枝, 鈴木一恵, 瀧口徹, 石上和男. 災害食関連企業におけるBCP策定状況と策定に関連する要因. 新潟医療福祉学会. 2021; 21(2): 42-50. (査読あり)
8. Inaba H, Marina F. Rziankina, Sventlana A, Kostromina, Sakaguchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S,

- Ishii N, Saito T, Takano K, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Weight Perception and Diet Behavior of Japanese and Russian Adolescent Girls. Health . 2021; 13(04): 405-415. (査読あり)
9. Takano K, Kinoshita N, Ishigami K, Takiguchi T, Shibayama J, K. V. Zhmerenetsky, N. V. Voronina, M. F. Rzyankina, Y. G. Kowalsky, E. V. Sazonova, Y. V. Yankovskaya, A. S. Sharov, T. B. Agievich, O. L. Marina, Z. M. Van, A. I. Drofeev. Comparative study of life functions of older people and supply of them with essential micro-and macro elements in separate regions of Japan and Russia. Far Eastern Medical Journal. 2021; 2021(1): 5-12. (査読あり)
 10. 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 「実家の茶の間・紫竹」における参加者とのつながりの構造要因. 新潟市医師会報, 2021: 600号: 1-5.
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本口腔衛生学会, 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟歯学会, 日本災害食学会, 老年歯科医学会, 日本診療情報管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本地理学会
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和3年度シニアカレッジ新潟特別講義－見聞を広めよう－, 新潟県・新潟県社会福祉協議会主催, 上越2021.10.22. 長岡10.25. 新潟10.18.
 2. 令和3年度シニアカレッジ新潟講演会(同窓会事業), -安心して暮らせる老後社会に向けて-, 2021.12.6.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 福祉にいがた オアシス21 (No.98), 令和3年度シニアカレッジ新潟卒業式「感染禍に屈せず学び続け 石上学長が激励」2021.12月号.
 2. 福祉にいがた オアシス21 (No.97), 令和3年度シニアカレッジ新潟「令和3年度 順調に講座重ねる 石上学長メッセージ」2021.8月号.
 3. 福祉にいがた オアシス21 (No.99), 令和4年度シニアカレッジ新潟入学新入生募集「学ぶ喜び 知る楽しさ 尽きぬ興味」2022.3月号.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県社会福祉協議会(理事), シニアカレッジ新潟(学長, 運営委員会委員長), 新潟県高齢者記念品選定委員会委員長, 新潟市海辺の森交流拡大委員会アドバイザー, 南浜コミ協健康福祉住民大学学長
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度～2022年度 介護予防における大学との連携事業(新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センターが受託)(共同研究者)
 2. 2019年度～2021年度, 基盤研究(C)(一般), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査, 栗原桂・泉修司・廣田栄子・石上和男
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟県立看護大学大学院非常勤講師
 2. ロシア極東医科大学連携教授, ロシア極東医科大学学会誌特別編集委員.
- 6 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会(オブザーバー)

氏名: 佐藤 弘

- 1 研究題目 漢方医学の現代医学・医療における役割
- 2 学会等研究発表
 1. 佐藤弘, 医の心 公益社団法人東京都鍼灸師会【設立70周年特別企画】「鍼灸師のための漢方診療講座」(東京都), 2021.6.27.
 2. 蛸子慶三, 木村容子, 伊藤隆, 佐藤弘, 大学病院における医療連携と鍼灸 第71回日本東洋医学会学術

総会（仙台市），2021.8.13-8.15.（シンポジウム）

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本東洋医医学会（監事），日本内科学会，日本消化器病学会，日本肝臓学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 婦人科疾患と漢方 講演会 東京 2021.4.10.
2. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 めまいと漢方 講演会 東京 2021.6.12.
3. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 慢性疲労と漢方 講演会 東京 2021.8.6.

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 東京女子医科大学，東洋医学系講義6 治療総論（2），2021.6.21.

氏名：鈴木 健司

- 1 研究題目 COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明

2 論文

1. Qi R, Thanh HTT, Hai YLT, Saito S, Ishigami K, Takiguchi T, Suzuki K. Relationship between mental health and non-permanent employment in the early stage of the COVID-19 pandemic in Japan: A cross-sectional nationwide web-based study. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2021; 21: 38-50. (review)

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本内科学会，日本消化器病学会（評議員），日本消化器内視鏡学会，日本消化器免疫学会（評議員），アメリカ消化器病学会（AGAF），アメリカ内科学会

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度，科研費基盤研究（C），COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明，研究代表者

氏名：瀧口 徹

- 1 研究題目 I. 地理疫学研究 1) 新型コロナウイルス感染症の全国自治体感染パターン分析 2) 高齢者医療費の全国都道府県単位，市区町村単位の偏在性分析 3) 新型コロナウイルス感染症治療機関（病院）の医療従事者に対する地域住民の偏見・差別もしくは激励等の意識に関する研究 4) 公衆衛生対策（各種ワクチン，フッ化物利用によるう蝕予防）の受け入れ状況の国際比較

2 論文

1. Ruan Qi, Huyen Tran Thi Thanh, Yen Luong Thi Hai, Saito S, Ishigami K, Takiguchi T, Suzuki K. 1: Relationship between mental health and non-permanent employment in the early stage of the COVID-19 pandemic in Japan: A cross-sectional nationwide web-based study, *Niigata Journal of Health and Welfare*, 21(1): 38-50, 2021.
2. 玉田直美，波多野誠，磯部澄枝，鈴木一恵，瀧口徹，石上和男：災害食関連企業におけるBCPの策定状況と策定に関連する要因，*新潟医療福祉会誌*，21(2): 42-50，2021.
3. 工藤由紀子，木下直彦，本間美知子，皆川璃子，宇田優子，石上和男，鈴木健司，柴山純一，瀧口徹：40-60歳代成人における健康食品の利用形態とヘルスリテラシーとの関連，*新潟医療福祉会誌*，21(3): 121-131，2021.
4. 前田理歩，木下直彦，高野晃輔，皆川璃子，鈴木健司，石上和男，柴山純一，瀧口徹：新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生（大学院生）の学習意欲等に及ぼしている影響，*新潟医療福祉会誌*

誌, 22(2): in print, 2021.

3 学会等研究発表

1. 小林房代, 谷川奈々, 山田智子, Luong Thi Hai Yen, 木下直彦, 石上和男, 瀧口徹: 生産年齢人口層における介護保険制度に関する理解(知識)度を上げる要因は何か?. 新潟医療福祉学会誌, 21(1): 130. 2021.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(理事), 日本公衆衛生学会, 日本口腔衛生学会(名誉会員), 日本診療情報管理学会, 日本老年医学会, 日本老年歯科学会, 日本国際医療保健学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本災害看護学会, 日本精神看護学会, 日本健康教育学会

5 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
社会福祉法人 鴻鵠の会(理事)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2021年度 基盤研究(C) 歯の保存状況と生命予後に関する地域住民を対象とした30年コホート研究. 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 神奈川歯科大学(特任教授), 疫学統計, 2021.10-2022.1.
 2. 新潟看護大学大学院博士課程(非常勤講師), 公衆衛生政策論, 2021.5-7.

7 学内委員会活動 学術委員会(委員)

氏名: 西尾 正輝

- 1 研究題目 デイサースリアの基礎研究および治療技法の開発, 摂食・嚥下障害の基礎研究及び治療技法の開発

2 著書

1. 西尾正輝(単著): 高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム(MTPSSE)第1巻 総論. 学研メディカル秀潤社, 2021, 1-119.
2. 西尾正輝(単著): 高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム(MTPSSE)第2巻 可動域拡大運動プログラム. 学研メディカル秀潤社, 2021, 1-264.
3. 西尾正輝(単著): 西尾正輝: 高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム(MTPSSE)第3巻 レジスタンス運動プログラム. 学研メディカル秀潤社, 2021, 1-320.
4. 西尾正輝(単著): お口の元気力アップ運動 可動域拡大運動セット. インテルナ出版, 2022.
5. 西尾正輝(単著): お口の元気力アップ運動 レジスタンス運動セット. インテルナ出版, 2022.
6. 西尾正輝(単著): 高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム(MTPSSE)記録用紙. インテルナ出版, 2021.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本音声言語医学会(評議員・査読委員), 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(評議員・査読委員), 日本言語聴覚士協会, 日本デイサースリア臨床研究会(会長・理事・学術部部長・編集委員長), International Association of Logopedics and Phoniatrics (IALP), Academic Society for Quality of Life (Director of the Review Board Committee), 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会, 日本スピリチュアルケア学会, 日本回想療法学会, 日本嚥下障害臨床研究会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本音声言語医学会誌, 評議員, 査読委員
 2. 日本デイサースリア臨床研究会誌, 会長, 理事, 編集委員長, 査読委員
 3. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌, 評議員, 査読委員

4. Academic Society for Quality of Life : Director of the Review Board Committee
5. Journal of Communication Disorders : Editor for the Editorial System
6. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, e-ラーニング講師
7. 日本語聴覚士協会生涯学習システム専門基礎認定講師
8. 新潟脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会顧問

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 西尾正輝：誤嚥性肺炎の予防の仕方. 濁川コミュニティ協議会, 濁川コミュニティセンター, 2021.11.14.
2. 西尾正輝：第35回標準ディサースリア検査講習会, 2011, 11.5-11.8.

氏名：井上 弘樹

- 1 研究題目 医療の判断と意思決定に関する研究 (医学統計学・計算数学・保健経済学), 健康影響ならびに医療の質の評価と仮説探索ならびに仮説検証に関する研究 (疫学), 薬剤有害事象のシグナル検出に関する研究 (薬剤疫学), 医療情報のデータマネージメントに関する研究 (医療情報学), ベイズ統計学的手法を視覚化した医学判断ツールの開発 (医学統計学・医学判断学)

2 論文

1. 井上弘樹, 内山八郎. R-Shinyを用いた, インタラクティブなベイズ推測視覚化のためのスマートフォンアプリの開発と評価. 新潟医療福祉学会誌. 2022; 第21巻3号: 108-120. (査読あり)
2. Inoue H, Uchiyama H. Development of Introductory Software on Bayesian Inference Modeling for Stan and R. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022; 21(2): 82-98. (review) (in press)

3 学会等研究発表

1. Uchiyama H, Uchiyama C, Inoue H. Psychosocial Changes during the COVID-19 Pandemic on Student and Adult Populations in Japan. The 10th Annual Meeting of the Japan Association of International Liberal Arts (オンライン開催), 2022.3.19.
2. 井上弘樹, 内山八郎. スマートフォンやタブレット上で動作する, インタラクティブなベイズ統計的シグナル検出法の視覚化アプリ開発の試み. 第26回日本薬剤疫学会学術総会 (東京都港区, ハイブリッド開催), 2021.11.26-11.28.
3. 井上弘樹, 内山八郎. B.I.T.の機能追加実装とリリースの報告. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
4. 井上弘樹, 内山八郎. スマートフォン用ベイズ推測視覚化アプリ開発で得られた経験. 第21回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2021.10.30.
5. 井上弘樹. 検査的中率をグラフ表示と同時に算出するスマートフォン対応アプリ開発の試み. 第68回日本臨床検査医学会学術集会 (富山市, ハイブリッド開催), 2021.11.11-11.14.
6. 井上弘樹, 内山八郎. スマートフォンに対応したNNT (治療必要数) のベイズ推測視覚化アプリ開発の試み. 第11回日本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会学術大会 日本社会薬学会第39年会合同大会 (WEB開催), 2021.9.4-9.5.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本ソフトウェア科学会, 日本臨床検査医学会, 日本薬剤疫学会, 日本疫学会, International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research, 日本内科学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本消化器病学会, 日本公衆衛生学会, 日本社会薬学会, 日本医療情報学会, 日本国際教養学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新型コロナワクチン県内大規模接種にて問診業務に従事. デンカビッグスワンスタジアムにて.

2022.9.1.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 日本公衆衛生学会認定専門家・認定番号491 (2021.4.1)

7 学内委員会活動 入試委員会, 健康管理センター運営委員会, 安全衛生委員会, ハラスメント調査委員会

氏名: 木下 直彦

1 研究題目 質量分析計を用いたプロテオーム解析研究, 機械学習によるシミュレーション研究, 日本語の形態素解析に関する研究, ITスキルに関連する研究

2 論文

1. 前田理歩, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 皆川璃子, 鈴木健司, 石上和男, 柴山純一. 新型コロナウイルス禍による急激なメディア授業化が大学生(大学院生)の学習意欲等に及ぼしている影響. 新潟医療福祉学会誌(印刷中)(査読あり)
2. 工藤由紀子, 木下直彦, 本間美知子, 皆川璃子, 宇田優子, 石上和男, 鈴木健司, 柴山純一, 瀧口徹: 40-60歳代成人における健康食品の利用形態とヘルスリテラシーとの関連. 新潟医療福祉学会誌, 21(3):121-131, 2021.

3 報告書

1. 佐藤成登志, 小西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉, 新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編, 介護予防における大学との研究事業(2021年度報告書), 2022.3. 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 小林房代, 谷川奈々, 山田智子, Luong Thi Hai Yen, 木下直彦, 石上和男, 瀧口徹: 生産年齢人口層における介護保険制度に関する理解(知識)度を上げる要因は何か?. 新潟医療福祉学会誌, 21(1):130. 2021.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 情報処理学会, 日本バイオインフォマティクス学会, 日本プロテオーム学会, HUPO (Human Proteome Organization), 日本診療情報管理学会, 日本老年歯科学会, 日本災害看護学会

6 社会活動

1) 職能団体(協会, 士会等)の委員

- 新潟市医師会SWAN ネット運営部会(オブザーバ), にいがたデジタルコンテンツ推進協議会(幹事)

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学生体液バイオマーカーセンター研究員, 2015.3- (継続)

氏名: 寺島 和浩

1 研究題目 3次元運動解析のための解析システムの開発, 情報リテラシー教育に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本機械学会, バイオメカニクス学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本生体医工学会, 日本ロボット学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 新潟医療福祉学会

3 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, AO入試室

氏名: 伊藤 嘉高

1 研究題目 アクターネットワーク理論と医療社会学

2 論文

1. 伊藤嘉高. コロナ禍における「地域社会」の共同性／公共性. 地域社会学会ジャーナル. 2021; 1: 75-79.
 2. 伊藤嘉高. コロナ禍の「社会」を組み直す. 社会学研究. 2021. 106: 37-56.
 3. 伊藤嘉高. 書評 デュルケーム／デュルケーム学派研究会著 中島道男・岡崎宏樹・小川伸彦・山田陽子編『社会学の基本 デュルケームの論点』(学文社, 2021年), 保健医療社会学論集. 2022; 32(2): 142-143.
 4. 中西淑美, 伊藤嘉高. 自己に正当性がある対人コンフリクト状況下における看護師の協働的対応—社会的属性と医療メデイエーション教育に着目し. 医療コンフリクト・マネジメント. 2022; 8: 33-44.
- 3 学会等研究発表
1. 伊藤嘉高. COVID-19以後のツーリズムと地域社会—Mimi Sheller のモビリティ・ジャスティス論を踏まえて. 立命館大学人文科学研究Webinar シンポジウム「ツーリズム・モビリティーズを問い直す」, 2022.1.23.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本医療・病院管理学会, 日本医療マネジメント学会, 日本保健医療社会学会, 日本社会学会, 科学社会学会, 地域社会学会, 日本都市学会, 東北社会学会, 東北社会学研究会, 東北都市学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読.
 2. 日本都市学会, 査読.
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 診療情報管理士 (2022.3)
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会 (連携総合ゼミ実行部会長)

氏名：坂井 さなえ

- 1 研究題目 診療情報（録）管理士の関連学術活動についての現状調査
- 2 学会等研究発表
 1. 坂井さなえ. 診療情報（録）管理士の関連学術活動についての現状調査. 日本診療情報管理学会. 10.7-11.6. (オンデマンド配信)
 2. 坂井さなえ, 丸山晃仁, 笠原大維, 松村桃花, 吉川颯哉, 黒井綾乃, 山崎広裕. RE視点で見るインシデントにおける医療従事者たちの対応力. 新潟医療福祉学会学術集会. 10.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療情報管理学会, 日本診療情報管理士学会
- 4 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名：川口 規子

- 1 研究題目 潜在的待機児童のニーズに関する研究, 医師事務作業補助者の業務と医療安全について
- 2 学会等研究発表
 1. 但野翔太, 樋浦咲希, 八幡真悠, 川口規子. 医師事務作業補助者の業務と医療安全について, 日本医療秘書学会第19回学術大会 (オンライン), 2022.2.20.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本医療秘書学会, 日本医療秘書実務学会
- 4 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 広報委員会

氏名：澤田 雄介

報告事項なし

氏名：高野 晃輔

- 1 研究題目 フレイルに関する国際共同研究, 各種調査質問紙票におけるテキスト分析, 地域包括ケアシステムに関する研究
- 2 論文
 1. Inaba H, Marina F, Rziankina, Svetlana A, Kostromina, Sakauchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S, Ishii N, Saito T, Takano K, Konstantin V, Zhmerenetsky, Ishigami K. Weight Perception and Diet Behavior of Japanese and Russian Adolescent Girls. Health. 2021; 13(04): 405-415. (review)
 2. К.Такано, Н.Киношита, К.Исигами, Т.Такигучи, Дз.Сибаяма, К.В.Жмеренецкий, Н.В.Воронина, М.Ф.Рзянкина, Ю.Г.Ковальский, О.В.Лемещенко, Е.Н.Сазонова, Ю.В.Янковская, А.С.Шаров, Т.Б.Агиевич, О.И.Маркина, З.М.Ван, А.Л.Дорофеев. Сравнительное изучение жизненных функций пожилых людей и их обеспеченности эссенциальными микро- и макроэлементами в отдельных регионах Японии и России. Дальневосточный медицинский журнал. 2021; 2021(1): 5-12. (review)
 3. 高野晃輔, 前田理歩, 谷賢太郎. 規制改革実施計画(2017年)前後の遠隔医療分野における研究傾向分析. 日本遠隔医療学会雑誌. 2021; 17(2): 152-155. (査読あり)
 4. Inaba H, Marina F, Rziankina, Hoshino F, Takano K, Kseniia E Potapova, Konstantin V Zhmerenetsky, Ishigami K. Self-Assessment of Health Status and Willingness to Be Vaccinated in Adolescents from the Niigata Prefecture and the Khabarovsk Region during COVID-19. Healthcare (Basel, Switzerland). 2022; 10(2). (review)
 5. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業 2021年度報告書. 2022;
- 3 学会等研究発表
 1. Takano K, Minagawa R, Namizuka A, Tomiyama N, Kinoshita N, Suzuki K, Takiguchi T, Ishigami K. Changes in the number of people infected with COVID-19 in Niigata Prefecture and the efforts of Niigata University of Health and Welfare. Round Table with International Participation «OPEN ISSUES OF THE NOVEL CORONAVIRUS (COVID-19) INFECTION TREATMENT AND PREVENTION» (Khabarovsk, Russia), 2021.4.23.
 2. 高野晃輔, 前田理歩, 谷賢太郎. 規制改革実施計画(2017年)前後の遠隔医療分野における研究傾向分析. 第25回日本遠隔医療学会学術大会(岐阜市), 2021.10.10.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 言語処理学会, 情報処理学会, 日本公衆衛生学会, 日本診療情報管理学会, 日本精神保健看護学会, 日本病院・地域精神医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 測定者, 新潟市北区太郎代高齢者, 新潟市北区太郎代, 2021.12.14.
 2. 2021年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 測定者, 津南町高齢者, 津南町, 2021.12.15.
 3. 2021年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業, 体力測定, 測定者, 新潟市北区南浜高齢者, 新潟市北区南浜, 2021.12.17.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立南浜中学校, 吹奏楽部演奏指導, 新潟市, 2021.11.30-12.21.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市北区・海辺の森交流拡大委員会(アドバイザー)
- 6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2021年度～2023年度，新潟県受託事業，介護予防における大学との連携事業，ロコモティブ症候群予防研究センター（研究分担者）

7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会，教務委員会

氏名：谷 賢太郎

1 研究題目 視覚障がい者向けの救急救命支援アプリケーションの開発，災害避難シミュレーション，視覚障がい者向け入力デバイスの開発

2 学会等研究発表

1. 谷賢太郎，近藤正紀. 3Dプリンタを用いた触覚のみで遊べるユニバーサルデザイン遊具開発についての検討，LIFE2020-2021（オンライン開催），2021.9.16-9.18.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，電子情報通信学会，日本生活支援工学会，大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会

4 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科研費若手研究，視覚障がい者を対象とした心肺蘇生法支援及び教育を行うWebアプリ開発，研究代表者
2. 2021年度，科研費若手研究，六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発，研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟国際情報大学（情報処理演習1），2021.4.1-9.31
2. 新潟国際情報大学（情報処理演習2），2021.10.1-2022.3.31.

5 学内委員会活動 教務委員会，科研費対策委員会

氏名：波多野 誠

1 研究題目 障害者福祉に関する研究，災害食に関する研究，Na/Kに関する研究，大学生アルバイトに関する研究

2 論文

1. Suzuki K, Hatano M, Takeuchi M, Watanabe Y, Tsuchida N, Ishigami K. Dietary Patterns and Sodium-to-Potassium Ratio of Niigata Prefecture Residents: Analysis of the 2015 Niigata Prefecture Health and Nutrition Survey, Niigata Journal of Health and Welfare, 21(2): 64-81, 2022. (review)

3 学会等研究発表

1. 波多野誠，坂上慎，大野雅弘，小出佳奈，葦沢巧，服部李穂：大学生アルバイトにおけるワーク・エンゲイジメント，新潟医療福祉学会誌，21（1）：108，2021.

4 学会活動

- 1) 所属学会 障害学会，日本公衆衛生学会，日本公衆衛生看護学会，日本栄養改善学会，日本災害食学会，新潟医療福祉学会

5 学内委員会活動 入試委員会，社会連携推進センター運営委員会

氏名：前田 理歩

報告事項なし

8) プロジェクト研究センター

(1) アクアヘルス推進プロジェクト研究センター

①研究テーマ

1. 個人的特性に応じたオーダーメイド水中運動プログラムの開発
2. 水泳のトレーニングに関する研究
3. 「泳げる」ヒトの脳内表象から新たな水泳教育プログラムを開発する

②センター名簿

センター長	：下山好充	健康スポーツ学科	教授
副センター長	：佐藤大輔	健康スポーツ学科	教授
研究員	：西原康行	健康スポーツ学科	教授
研究員	：佐藤晶子	健康スポーツ学科	講師
研究員	：下山博子	看護学科	准教授
研究員	：市川 浩	健康スポーツ学科	講師
研究員	：馬場康博	健康スポーツ学科	講師

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行, 生田孝至, 姫野完治. 教師のわざ 研究の最前線. 東京：一荃書房；2022：196-222.

2. 論文

1. 西原康行, 内山渉. バスケットボールコーチの再現認知における発話の特徴：固定カメラ映像とVR映像による熟達コーチと未熟達コーチの違い. 体育学研究（協力学術研究団体）. 2022；67：113-124.（査読あり）
2. Ikarashi K, Sato D*, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response inhibitory control varies with different sensory modalities. Cerebral Cortex (JCR). 2022; 32(2): 275-285. (review)
3. Baba Y, Sato D, Otsuru N, Ikarashi K, Fujimoto T, Yamashiro K. Does long-term training in water immersion environment change interoception?. International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR). 2021; 18(19): 10259. (review)
4. 市川裕代, 佐藤大輔. メディアを用いた運動介入が知的障がい児の生活機能に及ぼす影響. アダプト・スポーツ科学（協力学術団体）. 2022.（印刷中）（査読あり）
5. Sato D. The unique neuromodulation using water immersion. Niigata Journal of Health and Welfare. 2021; 21(1): 44603.
6. Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 39(13):1497-1503.（査読あり）
7. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021: 1-12.（査読有）
8. Sato A, Sato S, Omori G, Koshinaka K. Effects of Thiamin Restriction on Exercise-Associated Glycogen Metabolism and AMPK Activation Level in Skeletal Muscle. Nutrients (JCR). 2022, 14(3), 710. (review)
9. Koshinaka K, Honda A, Iizumi R, Miyazawa Y, Kawanaka K, Sato A. Egg White Protein Feeding Facilitates Skeletal Muscle Gain in Young Rats with/without Clenbuterol Treatment. Nutrients (JCR). 2021, 13, 2042. (review)

3. 報告書

1. 馬場康博, 下山好充, 市川浩, 佐藤大輔. 若手研究, 研究成果報告書, オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の確立とレース分析法への応用, 2019-2021（研究代表者）

4. 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Research on reproduction recognition of sports instructors using VR video. 20th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria < Webinar >). 2021.8.21-8.23.
2. Nishihara Y. How to grasp the competence of physical education teachers in Japan. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig < Webiner >), 2021.9.5. 【特別講演】
3. 西原康行. 大学スポーツの教学マネジメントの実践. 第3回全国大学体育スポーツ研究フォーラム (京都:立命館大学<Zoom>), 2021.8.3. 【教育講演】
4. 下門洋文, 山城昌一朗, 市川浩, 下山好充, 仙石泰雄, 高木英樹. スイマー足部周りの流れの可視化. 可視化情報シンポジウム 2021, 2021.9.
5. 池田祐介, 市川浩, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. ドルフィンキック模擬動作はキック動作改善のための有効なトレーニング手段になり得るのか? 日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
6. 山城昌一朗, 千葉海勝, 星川慎吾, 久光哲也, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下門洋文, 下山好充. 足関節背底屈運動の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響, 日本水泳水中運動学会. 2021.10.23-10.24, オンライン開催
7. 千葉海勝, 山城昌一朗, 奈良梨央, 下門洋文, 市川浩, 下山好充. 平泳ぎキックの動作と流体力の関係, 日本水泳水中運動学会, 2021.10.23-10.24, オンライン開催
8. 星川慎吾, 山城昌一朗, 奈良梨央, 馬場康博, 下門洋文, 下山好充. 競泳における異なるリレースタートがパフォーマンスに与える影響. 日本水泳・水中運動学会, 2021.10.23-10.24, オンライン開催
9. 佐藤晶子, 越中敬一. 短期的なチアミン欠乏が骨格筋および肝臓の脂質代謝に与える影響, 第68回日本栄養改善学会学術総会 (誌上およびオンライン), 2021.10.1-10.2.
10. 越中敬一, 田中優人, 田村理沙, 本田明日香, 佐藤晶子. 鉄欠乏性貧血状態が骨格筋のエネルギー代謝に与える影響, 第75回日本体力医学会大会 (オンライン), 2021.9.17-9.30.

5. 学会活動

1. The 8th Asian Congress of Dietitians 2022, プログラム委員会ポスター検討グループリーダー, 横浜市, 2022.8.19-8.21・2020.6-

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2021.4.17.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2021.4.25.
3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.5.22-5.23.
4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.5.29-5.30.
5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.6.12-6.13.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2021.7.30-8.1.
7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2021.10.30.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2021.11.27.
9. PR TIMES, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7
10. JIJI.COM, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7
11. Mapion ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7

12. Excite ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
13. WMR Tokyo, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
14. BIGLOBE ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
15. 東奥日報プラス, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
16. 産経ニュース, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
17. 財経新聞, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
18. 製薬オンラインNEWS, 耳・皮膚からの感覚情報は, 行動を抑制するために欠かせない!, 2021.7.7.
19. TOPPAN FORMS 社HP, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
20. SANSPO.COM, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
21. Excite ニュース, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
22. NIKKEI, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
23. 製薬オンラインNEWS, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
24. @press, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
25. PORTALFIELD News, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
26. HEAD TOPICS 日本, 新潟医療福祉大学とトッパンフォームズが共同研究, 2022.2.28.
27. 公益財団法人日本水泳連盟水泳コーチ4養成講習会, ナショナルコーチによる指導技術, 講師, 日本水泳連盟コーチ4資格取得申請者, オンライン, 2021.12.6.
28. 公益財団法人日本水泳連盟2021年度公認水泳コーチ4研修会(共通IV), コーチング法, 講師, 日本水泳連盟コーチ4資格取得者, オンライン, 2021.9.15.
29. 令和3年度新潟県高等学校教育研究会保健体育部会全県研究会, ゼロからのチーム作り・オリンピック選手の輩出, 講師, 新潟県高校教諭, 対面, 2021.11.4.
30. 新潟市中学校教頭会12月定例会議人材育成部による研修, ゼロからのチームづくり〜オリンピックまでの道のり〜, 講師, 新潟市中学校教頭, 対面, 2021.12.17.
31. 第7回ARIHHPコーチング・カフェ 競泳パフォーマンス向上のための科学, 経験と科学的根拠に基づいたコーチング, 講師, 筑波大学, 全国のコーチ, オンライン, 2021.12.24.
32. 新潟西ロータリークラブ定例会, 新潟からのチャレンジ〜ゼロからオリンピックまでの道のり〜, 講師, 新潟西ロータリークラブ, 対面, 2022.3.31.
33. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 東御市, 2022.1.16-1.24.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞【囲み記事】, 新潟日報, 近づく五輪開幕, 2021.6.27.
2. 新聞, 新潟日報, 五輪戦いの後, 2021.8.20.
3. 新聞, 新潟日報, 休日部活動 どう対応?, 2021.1.17.
4. TV, UX: ゆうナビ, プロとして再び夢の舞台へ, 2022.3.8.
5. 新聞掲載, 毎日新聞(朝刊), 大学スポーツ365・OWSの取組, 2021.11.7.
6. 新聞, 毎日新聞(全国紙), 日本選手権水泳競技大会に出場する水泳部について紹介され, 下山 好充 監督の創部から現在に至る苦労や育成方法などについてコメントや写真などが掲載された, 2021.4.3.
7. 新聞, にいがた経済新聞(WEB), 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された, 2021.4.21.
8. テレビ, UX新潟テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され, 本学内にて報告会を開催したことなどが放映された, 2021.4.21.

9. テレビ, TeNYテレビ新潟, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され, 本学内にて報告会を開催したことなどが放映された. 2021.4.21.
10. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され, 本学内にて報告会を開催したことなどが放映された. 2021.4.21.
11. テレビ, NST新潟総合テレビ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され, 本学内にて報告会を開催したことなどが放映された. 2021.4.21.
12. テレビ, BSN新潟, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督について紹介され, 本学内にて報告会を開催したことなどが放映された. 2021.4.21.
13. 新聞, 新潟日報, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
14. 新聞, 毎日新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
15. 新聞, 朝日新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
16. 新聞, 読売新聞, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
17. 新聞, スポニチ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
18. 新聞, 日刊スポーツ, 東京2020オリンピック競泳日本代表の水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチに選出された下山 好充 監督が凱旋し, 本学内にて報告会を開催したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.4.22.
19. 新聞, 新潟日報モア(WEB), 競泳 新潟県選手権にてオリンピックに向けた壮行会が実施されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)や下山 好充 監督のコメントや写真などが掲載された. 2021.5.30.
20. 新聞, 新潟日報, 東京五輪に出場する水沼 尚輝 選手(本学職員)の指導者として下山 好充 監督について紹介され, 下山監督の指導論や水沼選手への思いなどがコメントや写真とともに掲載された. 2021.7.15.
21. 新聞, 毎日新聞(WEB), 東京五輪に出場する水沼 尚輝 選手(本学職員)の指導者として下山 好充 監督について紹介され, 下山監督の指導論や水沼選手への思いなどがコメントや写真とともに掲載された. 2021.7.22.
22. 新聞, 新潟日報スポーツモア(WEB), 下山 好充 監督の指導方法について特集され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)へのアプローチやコメントなどが写真とともに掲載された. 2021.8.2.
23. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 水沼選手の経歴や下山 好充 監督のコメントなどが写真とともに掲載された. 2021.8.2.
24. 新聞, 朝日新聞(WEB), 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 科学的なトレーニングや下山 好充 監督の指導が水沼選手の成長につながったことが写真とともに

- 掲載された。2021.8.3.
25. 新聞, 朝日新聞, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 科学的なトレーニングや下山 好充 監督の指導が水沼選手の成長につながったことが写真とともに掲載された。2021.8.3.
 26. テレビ, UX新潟テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 27. テレビ, TeNYテレビ新潟, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 28. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 29. テレビ, NST新潟総合テレビ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 30. テレビ, BSN新潟, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表チームのコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことなどが放映された。2021.8.26.
 31. 新聞, 読売新聞オンライン(WEB), 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 32. 新聞, スポニチ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 33. 新聞, 日刊スポーツ, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 34. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が本学内にて行われた報告会に参加したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.8.27.
 35. テレビ, UX新潟テレビ, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 36. テレビ, NHK新潟テレビ, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 37. テレビ, BSN新潟, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督がオンラインにて新潟市長を表敬したことが放映された。2021.9.9.
 38. 新聞, 新潟日報, 東京五輪競泳競技に出場した水沼 尚輝 選手(本学職員)と日本代表のコーチとして参加した下山 好充 監督が新潟市長にオンラインで結果報告したことが紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.9.11.
 39. PR TIME(WEB), 「UNIVAS AWARDS 2021-22」が発表されたことについて紹介され, 下山 好充 監督がコーチ・オブ・ザ・イヤーに選出されたことが掲載された。2022.3.11.
- 3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 4. 石川県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」，地域と学校の融合，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 6. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」，地域と学校の融合，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 7. 燕市総合型地域スポーツクラブ，アドバイザー，2021.4.1-2022.3.31.
 8. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム，OWSナショナルチーム合宿，コーチ，東御市，2022.1.16-1.24.
 9. スポーツ庁ジャパン・ライジングスター・プロジェクト，ボート競技，外部有識者，第3回検証・評価会議，2022.3.5.
 10. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング，2021年度新潟県水泳連盟OWS委員会，委員長，Web開催，2022.2.21.
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018年度，科研費基盤研究（C），保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発，研究分担者
 2. 2018年度，科研費基盤研究（B），授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築，研究分担者
 3. 2019年度，科研費基盤研究（B），VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発，研究代表者
 4. 2019年度，科研費挑戦的研究（萌芽），水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発，研究代表者
 5. 2021年度，科研費基盤研究（B），皮質-基底核ループの抑制機能を高め，技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発，研究代表者
 6. 2021年度，トッパン・フォームズ株式会社共同研究，月経周期による体温変化と人の神経機能に関する研究，研究代表者
 7. 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-，研究分担者
 8. 2019年度，科研費基盤研究（C），ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか？単関節動作による検討，研究分担者
 9. 2018年度，科学研究費補助金基盤研究（C），水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発，研究代表者
 10. 2019年度，科研費基盤研究（C），短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響，研究代表者

（2）言語発達支援センター（Language Development Center）

①研究テーマ

1. 言語発達障害児の語彙特徴に関する研究
2. 機能性構音障害児の語彙力に関する研究
3. 発達障害児と家族への心理的支援実践に関する研究

②センター名簿

センター長：吉岡 豊，言語聴覚学科，准教授
副センター長：山岸達弥，言語聴覚学科，教授

研究員 : 石本 豪, 言語聴覚学科, 講師

研究員 : 栞原 桂, 言語聴覚学科, 講師

③主な活動内容

8. 著書

1. 能登谷晶子, 諏訪美幸編著: 池田泰子, 大塚満美子, 折戸真須美, 木村聖子, 外山稔, 三村邦子, 藪腰文佳, 弓削明子, 吉岡豊, 症例から学ぶ 子どもの構音障害. 初版. 東京: 建帛社; 2022年: 103-115, 121-127.

9. 論文

1. 石本豪, 加茂勇. 子どもと家族の物語を聴き, 支え, 創る. 教育科学研究会. 教育. 2021; 6月号: 80-89.

10. 学会等研究発表

1. 石本豪, 吃音に伴う過去のネガティブな記憶に対し, ブレインスポットティングを適用した一事例. 日本コミュニケーション障害学会・第46回学術講演会(新潟市), 2021.7.31.

11. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 上越特別支援教育研究会 言語・難聴部研修会, 構音の仕組みと機能性構音障害-構音の基礎, 評価の流れ, 訓練-, 講師, 上越特別支援教育研究会, 特別支援学級(言語・難聴)担当教員, Zoom, 2021.6.8.
2. 中野小屋中学校区学校保健委員会講話, ストレスに負けない心と体を育てる, 講師, 中野小屋中学校区学校保健委員会, 児童・生徒および地域住民, 中野小屋中学校, 2021.10.14.

2) 社会活動への参加協力

1. 阿賀町役場, 言葉の相談会, 助言者, 阿賀町・やまぶきの里, 5.15, 8.21, 9.11, 11.13, 12.25, 2002.3.5・2021.4-2022.3.
2. 新潟聾学校, 評議員, 新潟市・持ち回り審議, 2021.4-2022.3.
3. 水原小学校, 言葉の教室指導・助言, 助言者, 水原市・水原小学校, 2021.12.2.
4. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業, 新潟市スクールカウンセラー, 2021.4-2022.3.

(3) 医療経済・QOL研究センター (Center for Health Economics & QOL Research)

①研究テーマ

1. 国内の薬剤, 医療技術に関する費用対効果の研究
2. 費用効用分析に用いるモデリングの研究
3. 種々の疾患や健康状態に対する健康関連QOL, とくに効用値の測定
4. 国内における費用効果比や効用値に関するデータベースの構築

②センター名簿

センター長: 能登真一, 作業療法学科

客員研究員: 森脇健介, 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット (CHEERS) 准教授

客員研究員: 泉 良太, 聖隷クリストファー大学 作業療法学科 教授

客員研究員: 齋藤翔太, 聖路加国際大学 臨床疫学HTAセンター 特任講師

③主な活動内容

1. 論文

1. Noto S, Miyazaki M, Takeuchi H, Saito S. Relationship between hemodialysis and health-related quality of life: a cross-sectional study of diagnosis and duration of hemodialysis. Renal Replacement Therapy. 2021; 7, Article number: 62. (査読あり)

2. Noto S, Saito S, Shiroyiwa T, Fukuda T. Estimation of Lifetime QALYs Based on Lifestyle Behaviors. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2021; 18(19): 9970. (査読あり)
 3. Iwatani T, Noto S, Tsugawa K. Changes in Health State Utility Values in Japanese Patients with End-Stage Breast Cancer. *Current Oncology*. 2021; 28(5): 4203-4212. (査読あり)
 4. Shiroyiwa T, Noto S, Fukuda T. Japanese Population Norms of EQ-5D-5L and Health Utilities Index Mark 3: Disutility Catalog by Disease and Symptom in Community Settings. *Value Health*. 2021; 24(8): 1193-1202. (査読あり)
 5. Kishimoto K, Noto S. Changes in Health-Related Quality of Life After Driving Cessation in Older Adults. *Asian J Occup Ther*. 2022; 18: 1-8. (査読あり)
 6. Obata H, Izumi T, Yamashita M, Mitsuma W, Suzuki K, Noto S, Morimoto T, Isobe M. Characteristics of Elderly Patients with Heart Failure and Impact on Activities of Daily Living: A Registry Report from Super-Aged Society. *J Card Fail*. 2021; 27(11): 1203-1213. (査読あり)
 7. Shiroyiwa T, Ikeda S, Noto S, Fukuda T, Stolk E. Valuation Survey of EQ-5D-Y Based on the International Common Protocol: Development of a Value Set in Japan. *Med Decis Making*. 2021; 41(5): 597-606. (査読あり)
 8. Shiroyiwa T, Hagiwara Y, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Iwamoto T, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Randomized Controlled Trial of Paper-Based at a Hospital versus Continual Electronic Patient-Reported Outcomes at Home for Metastatic Cancer Patients: Does Electronic Measurement at Home Detect Patients' Health Status in Greater Detail? *Med Decis Making*. 2022; 42(1): 60-67. (査読あり)
 9. Ishihara K, Izawa KP, Noto S, Shimizu I. Physical and Mental Functions of Cardiovascular Diseased Patients Decrease During the State of Emergency Initiated by the COVID-19 Pandemic in Japan. *Reviews on Recent Clinical Trials*. 2021; 16(3): 316-321. (査読あり)
 10. Saito S, Qi R, Tran HTT, Suzuki K, Takiguchi T, Noto S, Ohde S, Takahashi O. A nationwide web-based survey of factors associated with depressive symptoms among Japanese workers. *International Journal of Social Psychiatry*. 2021 :207640211017586. (査読あり)
 11. Morimoto K, Moriwaki K, Kaneyasu T, Nakayama H, Shimozuma K. Cost-Effectiveness of Nab-Paclitaxel and Gemcitabine Versus Gemcitabine Monotherapy for Patients with Unresectable Metastatic Pancreatic Cancer in Japan. *Value Health Reg Issues*. 2022 Mar; 28: 54-60. (査読あり)
 12. Mizumoto M, Fuji H, Miyachi M, Soejima T, Yamamoto T, Aibe N, Demizu Y, Iwata H, Hashimoto T, Motegi A, Kawamura A, Terashima K, Fukushima T, Nakao T, Takada A, Sumi M, Oshima J, Moriwaki K, Nozaki M, Ishida Y, Kosaka Y, Ae K, Hosono A, Harada H, Ogo E, Akimoto T, Saito T, Fukushima H, Suzuki R, Takahashi M, Matsuo T, Matsumura A, Masaki H, Hosoi H, Shigematsu N, Sakurai H. Proton beam therapy for children and adolescents and young adults (AYAs): JASTRO and JSPHO Guidelines. *Cancer Treat Rev*. 2021 Jul; 98: 102209. (査読あり)
 13. Ohde S, Moriwaki K, Takahashi O. Cost-effectiveness analysis for HbA1c test intervals to screen patients with type 2 diabetes based on risk stratification. *BMC Endocr Disord*. 2021; 21(1): 105. (査読あり)
 14. 泉良太, 能登真一, 佐野哲也, 鈴木達也. 回復期リハビリテーション病棟における健康関連QOLの変化と代理人回答の一致度について－脳卒中患者へのEQ-5D-5Lによる評価－. *日本臨床作業療法研究* 2021 ; 8 : 31-36. (査読あり)
2. 学会等研究発表
1. Noto S, Izumi R, Shiroyiwa T. Validity of a new Japanese multiplicative, multi-attribute utility

function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities Index Mark 3 and the Nippon Health Index. ISOQOL 28th Annual Conference (Virtual Event), 12-28 October 2021.

2. 能登真一, 斎藤剛史, 泉良太. 健康関連QOLの測定特性に関する研究—HUI3とEQ-5D-5Lの比較—, 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
 3. 麦井直樹, 能登真一, 染矢富士子, 濱口儒人, 松下貴史. 全身性強皮症におけるEQ-5D-5LとHAQによるQOLの3年後の追跡調査. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
 4. 泉良太, 佐野哲也, 能登真一. 運動器, 心大血管疾患, 呼吸器患者における作業療法前後での健康関連QOLの変化と特徴. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
 5. 平野萌, 関山佑一, 能登真一, 関本充史, 竹中佐江子. もしましセラピーの試行から得られた1知見—作業療法士の電話による遠隔ケアサービスの可能性—. 第55回日本作業療法学会 (バーチャル), 2021.9.10-10.17.
3. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況
1. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究, 能登真一・研究代表者
 2. 2021年度, 科研費挑戦的研究 (萌芽), AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発, 能登真一・研究代表者
 3. 2020年度, 科研費基盤研究 (A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 能登真一・研究分担者
 4. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 泉良太・研究代表者, 能登真一・研究分担者
 5. 2021年度, 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 能登真一, 森脇健介・研究分担者
 6. 2021年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金, 能登真一・研究代表者
 7. 2017年度, 科研費基盤研究 (B), 粒子線治療の費用対効果評価のための標準的な手法とデータに関する研究, 森脇健介・研究代表者
 8. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 脳卒中のLearning Healthcare Systemに関する研究, 森脇健介・研究分担者
 9. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 費用対効果を含む多様な価値基準を統合した新たな医療政策意思決定支援システムの開発, 森脇健介・研究分担者
 10. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 二次性MRに対するカテーテル修復術のレスポンス同定と費用対効果分析, 森脇健介・研究分担者

(4) ロコモティブ症候群予防研究センター (Research Center for Locomotive Syndrome Prevention)

①研究テーマ

1. 県内市町村, 新潟市北区住民へのロコモ予防に貢献するために支援システムの研究. 実践を行う.
2. 運動器慢性疼痛における諸因子の調査研究を行う.
3. 産業保健における運動器慢性疼痛予防についての支援システムの研究・実践を行う.

②センター名簿

センター長 : 佐藤成登志 理学療法学科 教授
副センター長 : 山本智章 新潟リハビリテーション病院 院長
研究員 : 古西 勇 理学療法学科 教授
研究員 : 神田 賢 義肢装具自立支援学科 助教
研究員 : 鈴木祐介 理学療法学科 助教
研究員 : 立石 学 新潟リハビリテーション病院 技士長

研究員 : 高野義隆 新潟リハビリテーション病院 部長
客員研究員 : 小林量作 新潟リハビリテーション大学
客員研究員 : 北村拓也 新潟リハビリテーション大学

③主な活動内容

1. 著書

1. 嶋昌史, 藤野雄次, 松田雅弘, 田屋雅信, 神田賢, PT臨床評価ガイド 第1版 東京: 医学書院; 2022年: 324-332.

2. 論文

1. 北村拓也, 木村慎二. 認知行動療法に基づく運動促進法. ペインクリニック. 2021年; 42: S255-S263.
2. Kanda M, Kitamura T, Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck pain and shoulder pain (Katakori in Japanese). J of physical therapy science. 2021; 33(6): 489-494.
3. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡邊慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. Journal of Spine Research. 2021; 12: 851-858.
4. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡邊慶, 佐藤成登志. 直立位と体幹屈曲位および伸展位における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較-. Journal of Spine Research. (印刷中)
5. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2021年度報告書. 2021.3.
6. Kimura S, Hosoi M, Otsuru N, Iwasaki M, Matsubara T, Mizuno Y, Nisihara M, Murakami T, Yamazaki R, Ijiro H, Anno K, Watanabe K, Kitamura T, Yamada S. 34) A Novel Exercise Facise Facilitation Method in Combination with Cognitive Behavioral Therapy Using the Ikiiki Rehabilitation Notebook for Intractable Chronic Pain: Technical Report and 22 Cases. Healthcare. 2021; 9(9): 1-16.
7. 岩崎円, 木村慎二, 大鶴直史, 北村拓也. いきいきリハビリノートを使用した診療-理学療法士として-. 日本運動器疼痛学会誌. 2021年; 13(3): 214-220.

3. 報告書

1. 北村拓也. 若手研究B, 非特異的腰痛患者における体幹前傾保持時間が身体に及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2017-2021, 研究代表者
2. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究(C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者
3. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究(C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究分担者

4. 学会等研究発表

1. 北村拓也. 慢性腰痛に対する理学療法の考え方. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会(新潟市), 2021.9.4-9.5.
2. 北村拓也. 慢性腰痛を有する脊柱変形患者への理学療法. 新潟リハビリテーション研究会(新潟市), 2021.9.13.
3. 佐藤成登志. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 大会長基調講演, 講師, 関東甲信越ブロック協議会, 協議会会員・他, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
4. Kanda M, Sato N, Kitamura T, Watanabe K. Intramuscular circulation of lumbar multifidus in different trunk positions on sitting-Comparison between subjects with and without LBP-. ISSLS Virtual Annual Meeting, 2021.6.2-6.4.

5. [Kanda M](#), [Sato N](#), [Kitamura T](#), Watanabe K. Effects of neck and shoulder pain and the position of the head and neck on the intramuscular circulation of the cervical muscles. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 6. [Kanda M](#), [Sato N](#), [Kitamura T](#), Watanabe K. Intramuscular Circulation of Lumbar Multifidus in Different Trunk Positions in Standing. ISOTT 2021 online conference. 2021.7.26-7.30.
 7. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる立位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較. 第29回日本腰痛学会 (オンライン), 2021.10.22-10.23.
 8. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる立位肢位における腰部多裂筋の組織血流量の経時的変化について. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 (新潟), 2021.9.4-9.5.
 9. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 慢性肩こりに対する定量的評価確立の検討. 第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会 (新潟), 2021.9.4-9.5.
 10. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する理学療法効果と効果が期待できる患者特性. 第29回日本腰痛学会 (東京都+オンライン), 2021.10.22-10.23.
 11. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛に対する理学療法効果-介入から症状軽減までの期間検証-. 第14回日本運動器疼痛学会 (オンライン), 2021.11.20-12.5.
5. 学会活動
1. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 準備委員, 演題管理部長, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 日本理学療法教育学会 査読委員
 3. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 学会長, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
 4. 日本理学療法士学会 認定理学療法士, 査読委員
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 厚生労働省慢性疼痛事業第1回新潟県慢性疼痛研修会. 講師, 2021.8.29. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom) テーマ:「慢性疼痛に対する運動療法を知ろう」
 2. 厚生労働省慢性疼痛事業第2回新潟県慢性疼痛研修会. ファシリテータ, 2022.1.23. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom)
 3. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2021.4.17-4.18.
 4. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 上越市, 2021.10.9-10.10.
 5. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 新潟市, 2021.9.11-9.12.
 6. 臨床実習指導者講習会, 講師, 全国リハビリテーション学校協会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・新潟県理学療法士会, 理学療法士・作業療法士, 村上市, 2022.3.5-3.6.
 7. 第25回新潟県老人福祉施設研究大会, 特別分科会「介護領域での科学的視点 科学的介護・職業性腰痛」, 講師, 新潟県老人福祉施設協議会, 新潟県老人福祉施設協議会会員・他, オンライン開催, 2021.9.8-9.14.
 8. スポーツ指導者講習会, ロコモ・サルコペニア・フレイル予防, 講師, 新潟市開発公社スポーツロモーション課, スポーツ指導員, 新潟市, 2021.11.12.
 9. 市町村の見える化に向けたマッピング講習会, 講師, 新潟県高齢福祉保健課, 新潟県内市町村・県地域振興局, 新潟市, 2021.11.19.
 10. 新潟県看護協会村上支部研修会, コロナ禍を健康に過ごすための予防方法, 新潟県看護協会村上支部, 紙面発表, 2021.12-

11. 全国リハビリテーション学校協会，第1回理学療法士作業療法士専任教員養成講習会，講師，オンライン，2022.3.3.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. TV TeNY（テレビ新潟），新潟一番，フレイル特集，2022.2.1.
 2. 新聞，新潟日報，車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望，2022.1.
 3. TV TeNY（テレビ新潟），車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望，2022.1.
 4. TV BSN新潟，車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望，2022.1.
 5. TV NHK新潟，車いす利用者が新潟シティマラソンに参加できるように新潟市に要望，2022.1.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 令和3年度厚生労働省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業 新潟県WG委員兼コーディネーター，2021.4-2022.3.（2）
 2. 臨床実習指導者講習会 世話人，新潟市（2），村上市（1），2021.4-2022.3.
 3. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会，準備委員会，Zoom，2021.4-2022.3.（8）
 4. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会，学術部会，Zoom，2021.4-2022.3.（3）
 5. （公社）新潟県理学療法士会，広報部会，Zoom，2021.4-2022.3.（2）
 6. 新潟県高齢者保健福祉計画・新潟県高齢者保健福祉推進協議会委員会（新潟県リハビリテーション専門職代表・委員）
 7. 新潟県循環器病対策推進協議会委員会（新潟県リハビリテーション専門職代表・委員）（2回）
 8. （一社）日本運動器理学療法学会，研究部（脊柱後弯姿勢に対する外来理学療法の効果検証），Cisco・Zoom，2021.3-2022.4.（4）
 9. （公社）日本理学療法士協会・組織運営委員会，組織運営，県代表，web，2021.4-2022.3.（3回）
 10. （公社）日本理学療法士協会・代議員総会，総会，県代表代議員，web，2021.6.5.
 11. （公社）日本理学療法士協会・士会支援事業，全国士会代表，web，2021.4-2022.3.（4回）
 12. （公社）日本理学療法士協会・倫理委員会，全国士会代表，Web，2021.5.7.
 13. （公社）新潟県理学療法士会・総会，会長，新潟，2021.6.27.
 14. （公社）新潟県理学療法士会・理事会，会長，新潟，2021.4-2022.3.（6回）
 15. （公社）新潟県理学療法士会・関連会議，会長，新潟，2021.4-2022.3.（21回）
 16. （公社）新潟県理学療法士会・第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会会議，学会長，web，2021.4-9.（9回）
 17. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議，県代表，web，2021.4-2022.3.（2回）
 18. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議，会長，新潟，2021.4-2022.3.（6回）
 19. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議，会長，新潟，2021.4-2022.3.（6回）
 20. 胎内市福祉保健課，介護予防における大学との連携事業・住民調査説明，胎内市，2021.4.28.
 21. 新潟市秋葉区役所健康福祉課，介護予防における大学との連携事業・調査，新潟市秋葉区，2021.10.27.
 22. 粟島浦村保健福祉課，地域ケア個別会議，専門職助言者，オンライン，2021.9.17.
 23. 胎内市福祉保健課，介護予防における大学との連携事業・調査，胎内市，2021.11.22.
 24. 糸魚川市福祉事務所，介護予防における大学との連携事業・調査，糸魚川市，2021.11.24.
 25. 新潟市秋葉区役所健康福祉課，介護予防における大学との連携事業・調査，新潟市秋葉区，2021.11.30.
 26. 胎内市福祉保健課，介護予防における大学との連携事業・調査，胎内市，2021.12.7.
 27. 新潟市北区島見町自治協議会，介護予防における大学との連携事業・調査，新潟市北区島見町，2021.12.10.
 28. 新潟市北区太郎代自治協議会，介護予防における大学との連携事業・調査，新潟市北区太郎代，

2021.12.14.

29. 新潟市北区太夫浜自治協議会, 介護予防における大学との連携事業・調査, 新潟市北区太夫浜, 2021.12.16.

7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2017年度(継続), 科研費若手B, 非特異的腰痛疾患における体幹前傾位保持時間が身体に及ぼす影響について, 北村拓也・研究代表者
2. 2019年度(継続), 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 神田賢・研究代表者
3. 2019年度(継続), 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 佐藤成登志・北村拓也・研究分担者
4. 2021年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志・研究代表者
5. 2021年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 神田賢・小林量作・古西勇・鈴木裕介・研究分担者
6. 2020年度(継続), 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志・研究代表者
7. 2020年度(継続), 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 神田賢・北村拓也・研究分担者

(5) シティズンシップ教育実践研究センター (Citizenship Education Practical Research Center)

①研究テーマ

1. QOLサポーター育成に必要なシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
2. 地域資源を活用したシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
3. 上記教育プログラムの開発, 実践に伴う調査

②センター名簿

センター長: 西原康行, 健康スポーツ学科, 教授
研究員: 吉田重和, 健康スポーツ学科, 教授
研究員: 佐藤裕紀, 健康スポーツ学科, 講師
研究員: 山本悦史, 健康スポーツ学科, 助教
研究員: 五十嵐紀子, 社会福祉学科, 准教授
研究員: 原口彩子, 社会福祉学科, 講師
研究員: 杉本 洋, 看護学科, 准教授

③主な活動内容

1. 著書

1. 佐藤裕紀, 北欧留学情報センター編著, 社会人のための北欧留学ーデンマーク Folkehøjskoleガイド 2022年版: 東京: ビネバル出版; 2021: 174-177.
2. 西原康行, 生田孝至, 姫野完治, 教師のわざ 研究の最前線. 東京: 一荃書房; 2022: 196-222.

2. 論文

1. 佐藤裕紀, 保健医療福祉専門職養成及び教員養成へのヒューマンライブラリー活用の可能性ー企画運営に携わった学生の語りの分析から. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021; 5: 4-13.
2. 佐藤裕紀, 現職教員の声を聴く会開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021; 5: 21-23.
3. 佐藤裕紀, 文献紹介・北欧教育研究会編著『北欧の教育最前線ー市民社会をつくる子育てと学び』. 比較教育学研究. 2022; 64: 210.
4. 日暮トモ子, 本柳とみ子, 吉田重和, 佐藤裕紀, 古阪肇, 鈴木賀映子, OECD「初任教員の養成に関する調査」(Initial Teacher Preparation Study)に係る各国報告書の翻訳(抄訳), 早稲田大学比較

教育研究会研究紀要. 2021; 4: 25-42頁.

5. 佐藤裕紀. ICT社会において、共に生きていくための教育を考えるーデンマークにおける実践を手掛かりに. 令和3年度中社連合誌. 2022; 7-12.
 6. 西原康行, 内山渉. バスケットボールコーチの再現認知における発話の特徴: 固定カメラ映像とVR映像による熟達コーチと未熟達コーチの違い. 体育学研究 (協力学術研究団体), 2022; 67: 113-124. (査読あり)
 7. 杉本洋. 関係の中で/関係としての「健康」の創造: 仏教×人類学の視点から. 仏教看護・ビハーラ. 2022; 16: 40-52.
 8. 山本悦史, 中西純司. Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相: ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察. スポーツ産業学研究 (協力学術研究団体), 2022; 32(1): 97-116.
 9. 本間崇教, 山本悦史. スポーツ観戦におけるベネフィットと満足度の関係: アルビレックス新潟のホームゲーム観戦者の事例. 新潟体育学研究. 2022; 40: 67-72.
 10. 吉田重和, 森光雄. 新潟県教育委員会・新潟県内私立大学 教員養成連絡協議会 開催報告開催報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2021; 5: 62-63.
3. 報告書
1. 山本悦史. 組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討. 若手研究. 科研費報告書, 2018-2020, 研究代表者.
4. 学会等研究発表
1. Nishihara Y. Research on reproduction recognition of sports instructors using VR video. 20th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria <Webinar >). 2021.8.21-8.23.
 2. Nishihara Y. How to grasp the competence of physical education teachers in Japan. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig <Webinar >), 2021.9.5. 【特別講演】
 3. 西原康行. 大学スポーツの教学マネジメントの実践. 第3回全国大学体育スポーツ研究フォーラム (京都: 立命館大学<Zoom>), 2021.8.3. 【教育講演】
 4. 杉本洋, 五十嵐紀子. コロナ禍における“生きやすさ”の発見ー「コロナさんと一緒」をテーマとした当事者活動の展開ー. 日本保健医療社会学会第47回大会 (オンライン), 2021.5.16.
 5. 五十嵐紀子, 石黒武人, 中西満貴典, 松本健太郎, 松島綾. 概念としての「コミュニケーション」再考ー領域を超えた議論に向けてー. 日本コミュニケーション学会第50回年次大会 (オンライン), 2021.6.12. 【シンポジウム】
 6. 五十嵐紀子, 杉本洋. 当事者活動が脆弱であることの意味. 第13回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (オンライン), 2021.10.3.
 7. Sugimoto H, Igarashi N. Vulnerability in Community Building by People with Illness. INC2021 13th International Nursing Conference (オンライン), 2022.10.21-10.22.
 8. 杉本洋. 「表現」の観点から考察する健康: 分有される自己の開かれた創造プロセスとして. 日本文化人類学会大第55回研究大会 (オンライン), 2021.5.29.
 9. 杉本洋. 表現を通して巻き込まれるネットワーク. 第35回日本保健医療行動科学学会学術大会 (オンライン), 2021.6.27.
 10. Sugimoto H. Care for Improving Health Defined as the Process of Creation: From the Practice of Performance Activities by People Experiencing illness. IUAES 2021 Yucatan Congress. (Online), 2021.11.10.
 11. Sugimoto H, Kurebayashi Y. Reconsidering Control Ability: Emphasizing the Vulnerability of People with Mental Illness. INC 2021. (Online), 2021.10.21-10.22.

12. 杉本洋. エンパワメントと無力の狭間で：健康施策の豊饒化に向けての検討. 第27回日本精神保健社会学会学術大会（オンライン）, 2021.11.23.
 13. 杉本洋, 紅林佑介. 病気イベントを通じた無力からの生成. 共創学会第5回年次大会（オンライン）, 2021.12.4.
 14. 杉本洋. 負の側面の強調にみる関係としての「健康」の構想. 第29回日本健康教育学会（オンライン）, 2021.9.12.
 15. Sugimoto H. Health as the network of performance activities related to mental illnesses. Biennial Conference of the Asian Association of Social Psychology. (Online), 2021.7.29-7.31.
 16. 杉本洋, 五十嵐紀子. コロナ禍における“生きやすさ”の発見：「コロナさんと一緒」をテーマとした当事者活動の展開. 第47回日本保健医療社会学会学術大会（オンライン）, 2021.5.16.
 17. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家におけるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果－大学生ダンサーの意識に着目した事例研究－. 日本体育学会（オンライン）, 2021.9.7.
 18. 若井由梨, 山本悦史, 上田純平. 舞踊家によるダンス指導が大学生ダンサーにもたらす効果－舞踊家の意識に着目した事例研究－. 新潟県体育学会令和3年度大会（オンライン）, 2021.10.23.
 19. 本間崇教, 山本悦史. スポーツ観戦におけるベネフィットと満足度の関係：アルビレックス新潟のホームゲーム観戦者を対象とした事例研究. 新潟県体育学会令和3年度大会（オンライン）, 2021.10.23.
 20. 山本悦史, 本間崇教. アルビレックス新潟ホームゲーム観戦者のセグメンテーション：観戦動機尺度による非階層的クラスター分析を用いた検討. 新潟県体育学会令和3年度大会（オンライン）, 2021.10.23.
 21. 山本悦史, 本間崇教. アルビレックス新潟のブランドイメージ：ファンの自由記述を用いた計量テキスト分析. 新潟医療福祉学会第21回学術集会（オンライン）, 2021.10.30.
 22. 本間崇教, 山本悦史. 新型コロナウイルス感染症に対する意識とスポーツ観戦行動への意識の関係：アルビレックス新潟のファンを対象とした事例研究. 新潟医療福祉学会第21回学術集会（オンライン）, 2021.10.30.
 23. 田邊琳太郎, 原口彩子, 林咲希, 江畑佑希. 雑草自分語り自己覚知に及ぼす影響. 人間・植物関係学会2021年大会（オンライン）, 2021.9.5.
5. 学会活動
1. 日本生涯教育学会, 第42回大会, 大会運営副委員長, 宮城県仙台市とオンライン, 2021.11.27-11.28.
 2. スポーツマネジメント研究, 査読
 3. International Journal of Sport and Health Science, 査読
 4. 体育・スポーツ経営学研究, 査読
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 金沢大学公開講座, 北欧の教育最前線－北欧の若者と社会参加／インクルージョンを目指す教育と社会, 講師, 金沢大学, 一般市民, 金沢市, 2021.12.4.
 2. 令和3年度ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風研修総会, 北欧の教育最前線－デンマークの若者はなぜ投票し, 社会に参加するのか, 講師, ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, 学校教員, 五泉市, 2022.1.16.
 3. ときわ会 東蒲・五泉支部冬季研修総会「オンライン研修会」, コミュニティスクールのこれから－社会的包摂の視点から－, 講師, ときわ会東蒲・五泉支部, 学校教員, 五泉市, 2022.2.5.
 4. 北欧教育研究会講座, 北欧教育のいまを紐解く！1人1人の声から学び合う社会へ, 講師, 北欧教育研究会；一般社団法人IFAS, 一般市民, オンライン, 2021.6.5.
 5. 若者リーダーフォーラム（関東甲信越静ブロック）, なぜデンマークの若者は投票し, 社会に参加

- するのか？－当事者が参加できる仕掛けを考える－，講師，公益財団法人明るい選挙推進協会，大学生，オンライン，2021.12.18.
6. 子ども見守りサポーター養成講座，「北欧のとりくみに学ぶ～コードモ×オトナ×対話でつくる社会～」，講師，四街道市みんなで地域づくりセンター，一般市民，オンライン，2021.12.11.
 7. 子ども見守りサポーター養成講座，「北欧のとりくみに学ぶ～コードモ×オトナ×対話でつくる社会～」アフタートーク会，講師，四街道市みんなで地域づくりセンター，一般市民，オンライン，2022.1.9.
 8. ジャパンホイスコーレDay，フォルケホイスコーレの10の教え，語り手，ジャパンホイスコーレDay 2021準備委員会，一般市民，オンライン，2021.5.1.
 9. デモクラシーフェスティバルジャパン，これからの生涯学習の話をしよう『第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理』に触れつつ，講師，デモクラシーフェスティバル開催委員会，一般市民，オンライン，2021.10.31.
 10. 第6回ヒューマンライブラリー学会研修会，コロナ下のヒューマンライブラリーと学会のこれから，講師，日本ヒューマンライブラリー学会，研究者や一般市民，オンライン，2021.10.31.
 11. 新潟県教育庁，部活動の地域移行，講師，新潟県教育庁（スポーツ庁事業），新潟市，2021.4.17.
 12. 新潟県教育庁，部活動の地域移行，講師，新潟県教育庁（スポーツ庁事業），燕市，2021.4.25.
 13. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2021.5.22-5.23.
 14. 日本スポーツ協会，上級コーチ養成研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2021.5.29-5.30.
 15. 日本スポーツ協会，共通Ⅲコーチ研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2021.6.12-6.13.
 16. 日本スポーツ協会，共通Ⅲコーチ研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2021.7.30-8.1.
 17. 新潟県村上市教育委員会，コーチの資質，講師，村上市（新潟県教育庁），2021.10.30.
 18. 新潟県燕市教育委員会，コーチの資質，講師，燕市（新潟県教育庁），2021.11.27.
 19. 公認スポーツ施設運営士養成講習会．広報戦略．講師，公益財団法人日本スポーツ施設協会，新潟市．2021.9.15.
 20. 公認スポーツ施設運営士養成講習会．指定管理者制度．講師，公益財団法人日本スポーツ施設協会，新潟市．2021.9.15.
 21. シニアカレッジ「生きがいの再構築と地域貢献」，講師，新潟県社会福祉協議会，新潟ユニゾンプラザ，2021.8.26-8.27.
 22. 「そのとき家族はどうすれば？心の支えとなることとは～抱え込まない勇気を～」，講師，燕市健康福祉部社会福祉課，燕市役所，2021.11.20.
 23. 「自殺防止対策のゲートキーパーの役割」，講師，新発田市健康推進課，Zoom，2022.2.16.
 24. 「無力の畏れとともにそばにいるということ」，講師・企画，傾聴サロンにこっと，新潟市北区文化会館，2022.3.27.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新聞【囲み記事】，新潟日報，近づく五輪開幕，2021.6.27.
 2. 新聞，新潟日報，五輪戦いの後，2021.8.20.
 3. 新聞，新潟日報，休日部活動 どう対応？，2021.1.17.
 4. TV，UX：ゆうナビ，プロとして再び夢の舞台へ，2022.3.8.
 5. Web，Beyond Health（日経BP），猫と暮らせる老人施設，「ペットロス」を防ぐ，2021.12.3.
 6. Web，SPORTS BUSINESS ONLINE，Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相：ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察，2022.1.20.

7. Web, Sportsnavi, Jクラブ経営におけるビジネス化戦略とローカル化戦略の諸相：ABCDモデルを用いたマーケティング・ジレンマの発生可能性の推察, 2022.2.15.

3) 社会活動への参加協力

1. ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風, セミナー事前発表会, 指導, 新潟市・新潟県立生涯学習センター, 2021.12.12.
2. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
3. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
4. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
5. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
6. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
7. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
8. 燕市総合型地域スポーツクラブ, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
9. 新潟はっぴー乳ライフ, ピンクリボン委員, 新潟市, 年間を通じた活動.
10. 日本対がん協会, リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた副実行委員長, 新潟市, 年間を通じた活動.
11. 新潟市動物愛護協会, ねこ委員会委員, 新潟市, 年間を通じた活動.
12. アルビレックス新潟, 観戦者調査および顧客獲得に向けた助言等. 調査員, 2021.4.1-2022.3.31.
13. 新潟アルビレックスBC, 観戦者調査および顧客獲得に向けた助言等. 調査員, 2021.4.1-2022.3.31.
14. 近畿日本ツーリスト株式会社, スポーツツーリズム関連の助成金獲得に向けた助言等. アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.

7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2018年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
3. 2021年度, 科研費基盤研究 (B), 北欧諸国における教科書の中の多様性 (ダイバーシティ) の実相に関する研究, 研究分担者
4. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
5. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
6. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
7. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者
8. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 比較教育研究におけるISCED活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者

(6) スポーツカウンセリング研究センター (Sports Counseling Research Center)

①研究テーマ

1. 競技力向上につながる心理的サポートの実践および研究
2. 専門家養成としての大学院生の実践的教育システムの構築
3. スポーツカウンセリングにおける来談ニーズおよび来談傾向の調査

②センター名簿

センター長：山崎史恵

研究員：中島郁子，助教

客員研究員：齋藤大将，新潟県健康づくりスポーツ医科学センター非常勤

③主な活動内容

1. 著書

1. 中島郁子，内田善子，齋藤茂，坂中尚哉，澁川賢一，田口多恵，中島法子，本間徳子，前田章，松井幸太，森岡貴久，山本幸代，吉村功：中島登子編，素顔のアスリート。木立の文庫；2021：16-18, 56, 87-88, 108-110, 116-122.

2. 学会等研究発表

1. 中島郁子，剣道選手のカウンセリング過程。日本臨床心理身体運動学会第23回大会。長野県。2021.12.11.

3. 学会活動

1. 日本体育・スポーツ・健康学会，第71回大会シンポジウム「SDGsとスポーツとの接点を探る」，企画・司会，筑波大学，2021.9.7.
2. 日本スポーツ心理学会，第48回大会シンポジウム「東京オリンピック・パラリンピック後の意識および社会改革を考えるースポーツ心理学（者）の役割ー」，座長，日本大学，2021.11.27.

4. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 燕市ジュニアスポーツ指導者研修会，地域スポーツとスポーツカウンセリング，講師，燕市スポーツ少年団，スポーツ指導者，燕市吉田産業会館，2021.7.31.
2. 村上市指導者育成プログラム研修会，スポーツ心理学Ⅰ，講師，村上市NPO法人希楽々，スポーツ指導者，神林総合体育館，2021.10.19.
3. 第9回新潟医療福祉大学同窓会連携研修会，第1部特別講演&第2部パネルディスカッション，「心」を窓口にあスリートを支援する，講師，新潟医療福祉大学同窓会，同窓生，新潟市，2021.12.4.
4. 講演会，競技者の心理学，講師，東京学館新潟高校，剣道部の生徒，新潟市，2021.5.30.
5. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業，ジュニア期の心の発達，講師，柏崎市スポーツ協会，スポーツ指導者，柏崎市，2021.11.1.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会，スポーツ選手のためのメンタル支援事業，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，相談員，新潟市，2021.4.1-2022.3.31.

5. その他の活動

1) スポーツカウンセリングによるアスリート支援

月曜日（12時10分～13時10分，16時30分～19時30分）

火曜日（12時10分～13時10分，16時30分～19時30分）

木曜日（12時10分～13時10分）

金曜日（16時30分～19時30分）

2) 競技関係者を対象としたスポーツカウンセリング活動

対象：地域のアスリート，本学アスリート，本学OB・OG（実業団等）アスリート，指導スタッフ等

来談者数：学外競技者1名（有料），本学OB／OG 1名，本学強化クラブ選手6名（前年度継続3名，新規3名），のべ面接数として年間61回の相談面接（1回50分）を実施

(7) アスリートサポート研究センター (Athlete Support Research Center)

①研究テーマ

1. 本学強化クラブにおける外傷・障害状況調査とデータベース構築
2. 本学女子強化クラブ選手の障害, 栄養, 睡眠状況, 貧血調査とサポート体制の構築
3. 第5中足骨骨折予防のための超音波検診
4. 脳震盪の病態解明と発症予防に関する研究
5. 前十靭帯発症予防の積極的介入研究
6. 新潟医療福祉大学, 新潟リハビリテーション病院, NSGの3者連携プロジェクト

②センター名簿

- センター長 : 大森 豪, 健康スポーツ学科, 教授
副センター長 : 江玉睦明, 理学療法学科, 教授
研究員 : 稲葉洋美, 健康栄養学科, 教授
研究員 : 埜 晴雄, 健康スポーツ学科, 教授
研究員 : 菊元孝則, 理学療法学科, 講師
研究員 : 熊崎 昌, 健康スポーツ学科, 講師
研究員 : 三瀬貴生, 健康スポーツ学科, 講師
研究員 : 松浦由生子, 健康スポーツ学科, 講師
研究員 : 平林 怜, 理学療法学科, 講師
研究員 : 星野美美, 健康栄養学科, 講師
研究員 : 横田裕丈, 理学療法学科, 助教
研究員 : 関根千恵, 理学療法学科, 助教
研究員 : 阿久澤弘, 理学療法学科, 助教
研究員 : 石垣智恒, 理学療法学科, 助教

③主な活動内容

1. 論文

1. [Edama M](#), [Inaba H](#), [Hoshino E](#), Natsui S, Murayama S, [Omori G](#). The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. Peer J. 2021; DOI10.7717/peerj.11092. PMID: 33868810. (review)
2. Nishino K, Koga H, Koga Y, Tanaka M, Nawata A, Endoh K, Arakawa M, [Omori G](#). Association of isometric quadriceps strength with stride and knee kinematics during gait in community dwelling adults with normal knee or early radiographic knee osteoarthritis. Clin Biomech. 2021; E-pub, PMID: 33770532, DOI: 10.1016/j.clinbiomech.2021.105325. (review)
3. [Hanawa H](#), Fujii Y, Abe T, Inomata T. Exercise-induced myonectin may influence iron metabolism. 第25回日本心不全学会, 岡山市, 2021.10.2.
4. [Edama M](#), Takabayashi T, [Yokota H](#), [Hirabayashi R](#), Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surgical and Radiologic Anatomy. 2021. Oct; 43(10): 1691-1695. (review)
5. Ikuta T, Yoshioka K, Matsuzawa K, Maruyama S, [Edama M](#)*. Influence of Continuous Elbow Valgus Stress on the Medial Elbow Joint Space. Orthopaedic Journal of Sports Medicine. 2021 Oct 11; 9(10): 23259671211045983. doi: 10.1177/23259671211045983. (review)
6. Ikezu M, Kudo S, [Edama M](#), Ueda M, Kubo T, Hirata M, Watanuki M, Takeuchi H, Kaneiwa J, Iizuka Y, Hayashi H. Sites of flexor-pronator muscle injury and relationship between ulnar collateral ligament injury and flexor-pronator muscle injury in baseball players: A retrospective cohort study. Journal of shoulder and elbow surgery. 2022 Feb 18; S1058-2746(22)00231-2. (review)

7. [Hoshino F](#), [Inaba H](#), [Edama M](#), Natsui S, Maruyama S, [Omori G](#). Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes. *Healthcare*. *Healthcare* 2022, 10(4), 663. (review)
 8. Shagawa M, Maruyama S, [Sekine C](#), [Yokota H](#), [Hirabayashi R](#), Hirata A, Yokoyama M, [Edama M](#). Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. *BMC Musculoskeletal and Disord*. 18; 22(1): 886. (査読あり)
 9. [Sekine C](#), Matsunaga N, Kaneoka K. Changes in Lumbopelvic Motion and Trunk Muscle Activity during 2000 m Rowing Ergometer Trial. *Int J Sport Health Sci* (協力学術団体), 2021; 19, 47-57. (review)
 10. [Hirabayashi R](#), [Edama M](#), Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Effects of clenching strength on exercise performance: Verification using spinal function assessments. *Sports Health (JCR)*. 2021 May 29; 19417381211014836. (review)
 11. Maruyama S, Yamazaki T, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, [Hirabayashi R](#), [Edama M](#). Relationship Between Anterior Knee Laxity and General Joint Laxity During the Menstrual Cycle. *Orthop J Sports Med (JCR)*. 2021 Mar 29; 9(3): 2325967121993045. (review)
 12. 大森豪. 成長期スポーツ診療の留意点. *日本臨床スポーツ医学会誌* 2021; 29: 142-143. (査読あり)
 13. 大森豪. 新潟県のスポーツ医療を支える－新潟県スポーツドクター協会とその活動. *新潟県医師会報* 2021; 861: 17-19.
 14. 稲葉洋美. スポーツ選手（高校生と大学生）の食と栄養, *食と医療*, 20, 42-47, 2022.
 15. 平林愴, [江玉睦明](#), 大西秀明. 噛みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証. *デサントスポーツ科学 Vol. 43*. (in press) (査読あり)
2. 報告書
1. [平林愴](#). 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者
 2. [江玉睦明](#). 基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者.
 3. 久保雅義, 高林知也, 須田 裕紀, [江玉睦明](#), 基盤研究C, 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究分担者.
3. 学会等研究発表
1. [稲葉洋美](#), 加藤雅菜, 齋藤真美, 土田杏奈, 丸山梨央, 夏井紗野, 小林真里奈, [菊元孝則](#), [星野美美](#). 寮生活をしている高校生アスリートに対する補食の指導, 第7回日本スポーツ栄養学会, オンライン開催, 2021.7.11.
 2. [稲葉洋美](#), [江玉睦明](#), [星野美美](#), 海和美咲, [菊元孝則](#), [熊崎昌](#), [伊藤渉](#), [平林愴](#), 大森豪. 捕食の摂取習慣が摂取エネルギーおよび栄養素量に与える影響, 第32回日本臨床スポーツ医学会 (東京都), 2021.11.13-11.14.
 3. 内山柝, [江玉睦明](#), 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵. 工藤良大, 坪野啓, [横田裕丈](#), [平林愴](#), [関根千恵](#), [大森豪](#), 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション, 第32回日本臨床スポーツ医学会 (東京都), 2021.11.13-11.14.
 4. [星野美美](#), [稲葉洋美](#), [江玉睦明](#), [菊元孝則](#), [熊崎昌](#), [伊藤渉](#), [平林愴](#), 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食生活状況との関連, 第32回日本臨床スポーツ医学会 (東京都), 2021.11.13-11.14.
 5. [松浦由生子](#), 松永直人, [阿久澤弘](#), [大森豪](#), 金岡恒治. エリート競泳選手の背泳ぎ泳時の筋シナジー解析－肩関節障害既往有無による比較－第32回日本臨床スポーツ医学会 (東京都), 2021.11.13-

11.14.

6. 三瀬貴生, 栗田剛寧, 鎌切翔平, 阿久澤弘, 押川智貴, 松永直人, 江玉睦明, 大森豪, 金岡恒治. Scapular Dyskinesiaが泳動作中の肩甲骨周囲筋活動及び肩甲骨挙動に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
7. 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響-周波数特異性の検討-, 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
8. 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における大幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
9. 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
10. 菊元孝則, 小林真理奈, 江玉睦明, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
11. 熊崎昌, 市川浩, 大森豪. 高校ラグビー選手における脳震盪発生時に受ける身体加速度. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
12. 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
13. 丸山紗枝, 関根千恵, 舎川真侑, 横田裕丈, 平林愴, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
14. 坪野啓, 工藤亮太, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山新, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
15. 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副韌帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
16. 鈴木秀知, 西野勝敏, 田中正栄, 大森豪. Vertical Stop Jump Taskの衝撃吸収局面における鉛直床反力と膝関節運動との関係. 第32回日本臨床スポーツ医学会(東京都), 2021.11.13-11.14.
17. 南千裕, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉睦明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
18. 本田優季, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉睦明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
19. 武田真依, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉睦明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会. 2021.9.17-9.30.
20. 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会. 2021.12.11-12.12.
21. 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 江玉睦明. 重量物挙上動作における体幹筋活動解析-体幹筋トレーニングの即時効果検討-. 第21回新潟医療福祉学会.

2021.10.30.

22. 平林 脩, 江玉 睦明, 横田 裕丈, 関根 千恵, 武田 真依, 山田 勇輝, 大西 秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学学会学術大会 (web), 2021.12.16-12.18.
23. 平林 脩, 江玉 睦明, 横田 裕丈, 関根 千恵, 武田 真衣, 本田 優季, 南千 裕, 山田 勇輝, 大西 秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会 (web), 2021.10.23-10.24.
24. 平林 脩, 武田 真衣, 山田 勇輝, 本田 優季, 南千 裕, 関根 千恵, 横田 裕丈, 大西 秀明, 江玉 睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会 (web), 2021.9.17-9.30.

4. 学会活動

1. 新潟スポーツ傷害フォーラム, 第9回フォーラム, 会長, 新潟市, 2021.11.9. (大森)
2. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市, 2022.3.26. (大森)
3. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会「一般演題」, 座長, Web開催, 2021.12.11-12.12. (江玉)
4. 新潟医療福祉学会, 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 運営局長, 新潟市, 2021.10.30. (江玉)

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市中体連部活指導者研修会, 成長期のスポーツ傷害-腰椎分離症-, 講師, 新潟市体育連盟, 中学校教員, 新潟市, 2021.8.27. (大森)
2. 令和3年度新潟県教育委員会中堅教諭資質向上研修, 子供の成長とスポーツ傷害, 講師, 新潟県教育委員会, 養護教員, 新潟市, 2021.10.1.
3. 令和3年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会, 中高年者と運動 (整形外科系), 講師, 日本スポーツ協会, スポーツドクター, 東京都, 2021.10.9. (大森)
4. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」シンポジウム, 次世代型女性ジュニア・アスリートのスポーツ傷害予防に向けて, 講師, 立命館大学主催, Web開催, 2022.2.12. (江玉)

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. Webサイト, 毎日新聞, 「オンラインシンポジウムのご案内「次世代型女性ジュニアアスリートのスポーツ傷害予防に向けて」」2022.2.7. (江玉)
2. web, PR TIMES, 咬合強度によって運動パフォーマンスに変化をもたらすことを科学的に解明, 2021.5.7. (平林)

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学, 新潟リハビリテーション病院, NSG, 3者連携プロジェクト. (大森, 江玉, 稲葉)
2. 東京オリンピック競技大会, 選手村ポリクリニック医療支援スタッフ, 東京都, 2021.7.21-7.26. (江玉)
3. 第68回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会, 東京都, メディカルサポート, 2021.11.30-12.2. (江玉)
4. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2020.9.19. (平林)
5. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 総理大臣杯全日本サッカートーナメント北信越大会, 新潟市, 2021.6.19. (平林)
6. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第70回全日本大学サッカー選手権大会, 相模原市. 2021.12.7-12.11. (平林)

6. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2021年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト(女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」, 月経周期におけるコンディション不良に対する運動器機能と中枢神経機能からアプローチする新たなトレーニング法・傷害予防法の開発, 研究代表者。(江玉)
2. 2021年度, 公益財団法人 日本スポーツ医学財団研究助成金, 月経周期異常の女性アスリートにおける関節弛緩性の周期的変化, 研究分担者。(江玉)
3. 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 研究代表者(関根)
4. 2021年度, 財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 嘔みしめがもたらす運動パフォーマンスの影響: 脊髄機能による検証(研究代表者)(平林)

(8) 身体教育研究センター (Physical Education Research Center)

①研究テーマ

1. ヒトを対象とした運動発達・身体能力向上, 身体教育に関する研究

②センター名簿

センター長 : 西原康行
 副センター長: 佐近慎平
 研究員 : 杉崎弘周
 研究員 : 鵜瀬亮一
 研究員 : 高田大輔

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行, 生田孝至, 姫野完治. 教師のわざ 研究の最前線. 東京: 一荃書房; 2022: 196-222.
2. 井上明人, 高田大輔; 今関豊一, 福ヶ迫善彦, 鈴木聡, 荻原朋子編. 11 守備の思考・判断を育む! セレクトベースボール. 思考力を高める体育授業プラン. 1版. 東京: 明治図書出版; 2022: 100-105.
3. 森良一, 荒井信成, 上田敏子, 木原慎介, 黒川修行, 杉崎弘周, 助友裕子, 藤原昌太, 物部博文. 中学校・高等学校保健科教育法 改訂版2刷. 東京: 東洋館出版社; 2021: 73-94, 183-195.
4. 植田誠治, 杉崎弘周(編著), 今関豊一, 石井里佳, 大塚幹太, 片岡千恵, 木原慎介, 久保元芳, 久保田美穂, 佐見由紀子, 徐広孝, 長岡知, 物部博文, 山田浩平, 横嶋剛, 渡部基. 中学校・高等学校保健科教育法. 東京: 建帛社; 2022: 5-11.

2. 論文

1. 西原康行, 内山渉. バスケットボールコーチの再現認知における発話の特徴: 固定カメラ映像とVR映像による熟達コーチと未熟達コーチの違い. 体育学研究(協力学術研究団体), 2022; 67: 113-124. (査読あり)
2. 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士, 金子勝司(2022) 幼児の高遠い走を発達させる運動遊びの環境構成要素の研究, 自由時間研究47. (印刷中)
3. 積雪期における健康体操教室の継続要因の検証~場で感じる楽しさとつながりに着目して~本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平, 自由時間研究47. (印刷中)
4. 中曽根裕, 佐近慎平, 橋浦孝明, 金子勝司(2022) 伝承遊びの環境が及ぼす運動との関連性~保育者養成課程に所属する学生の身体的有能さの認知に着目して~, 総合人間科学8号. (査読あり, 印刷中)
5. 橋浦孝明, 佐近慎平, 中曽根裕, 金子勝司(2022) コロナ禍における短期大学生の余暇生活の実態調査-行っていた余暇活動とその想いに着目して- 総合人間科学8号. (査読あり, 印刷中)
6. 鵜瀬亮一, 中村絵美, 佐藤勉, 石川智雄, 佐藤和也. 新潟県中学野球試合における投手の登板人数および球数調査. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21(2): 57-60. (査読あり)

7. 鵜瀬亮一. スポーツの指導言語を見直す. 体育の科学 2022.1; Vol.72 P26-30. (寄稿)
 8. Use R, Nakamura E, Sato T, Ishikawa T, Sato K. The number of pitchers per game and pitches thrown by each pitcher in Junior High School before and after the introduction of the limited pitchers' rule in Niigata Prefecture, Japan. Niigata Journal of Health and Welfare. 2022 : in press. (査読あり)
 9. 杉崎弘周, 物部博文, 上地勝, 藤原昌太, 山田浩平, 沢田真喜子, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治. 学校における保健・安全に関する対応場面での課題と教員養成段階での教育の必要性: 養護教諭への全国調査の結果から. 体育学研究 (協力学術団体), 2021; 66 : 623-630. (査読あり)
 10. Okayama M, Nagaoka T, Sugisaki K. Cancer Screening Rate and Related Factors in the Japanese Child-Rearing Generation. Healthcare (JCR). 2022; 10(3): 508. <https://doi.org/10.3390/healthcare10030508>. (review)
 11. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした小学校での実践 (1). 体育科教育. 2021; 69 (4) : 74-77.
 12. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした小学校での実践 (2). 体育科教育. 2021; 69 (5) : 64-67.
 13. 高橋薫, 物部博文, 藤原昌太, 杉崎弘周, 上地勝. 出生コホートによるう歯保有率の都道府県別差異. 横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学. 2022; 5 : 265-277.
3. 報告書
1. 佐近慎平, 西原康行, 杉崎弘周, 市川浩. 研究基盤 (C), 幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発, 研究成果報告書, 2021-2023, 研究代表者
 2. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
4. 学会等研究発表
1. Nishihara Y. Research on reproduction recognition of sports instructors using VR video. 20th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria <Webinar >). 2021.8.21-8.23.
 2. Nishihara Y. How to grasp the competence of physical education teachers in Japan. European Physical Education Symposium in Leipzig University (Leipzig <Webinar >), 2021.9.5. 【特別講演】
 3. 西原康行. 大学スポーツの教学マネジメントの実践. 第3回全国大学体育スポーツ研究フォーラム (京都: 立命館大学 <Zoom >), 2021.8.3. 【教育講演】
 4. 佐近慎平, 市川浩, 杉崎弘周. 幼児の四つ這い位走の類型化の検討, 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会 (茨城), 2021.9.7-9.9.
 5. 佐近慎平. 幼児の四つ這い位走の発達に伴う四つ這い走の類型配列改善に関する研究. 日本発育発達学会第20回大会 (東京), 2022.3.20-3.21.
 6. 佐近慎平, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 小池和幸, 仲野隆士. 初等教育における主体的・能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発—レクリエーション指導/支援技術を活用したパラリンピック教育—. 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 (東京), 2021.9.18.
 7. 本多理紗, 金子勝司, 佐近慎平, 中曽根裕, 蔵満保幸, 新井貢. ネットワーク構築につながる健康体操教室の継続要因について—長期継続している中高年者に着目をして—. 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議 (東京), 2021.9.18.
 8. 杉崎弘周, 岡崎勝博, 小倉加奈子, 齋藤治俊, 近藤真庸. 感染症の授業を考える, 日本保健科教育学会第6回研究大会 (オンライン), 2021.12.5. 【シンポジウム】 (協力学術団体)
 9. 杉崎弘周, 物部博文, 片岡千恵. 中学生のストレス対処の経験, 日本保健科教育学会第6回研究大会 (オンライン), 2021.12.5. (協力学術団体)
 10. 杉崎弘周. 新潟県におけるがん教育, 日本教育保健学会第19回年次大会 (オンライン),

2022.3.5.【シンポジウム】

11. 岡山陸美, 杉崎弘周. 子育て世代のがん検診を受けようと思う気持ちに影響する要因, 日本教育保健学会第19回年次大会(オンライン), 2022.3.6.

5. 学会活動

1. 公益財団法人日本レクリエーション協会, 令和3年度日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校研究連絡会議, 実行委員, 東京, 2021.9.18.
2. 体育授業研究会, 第25回体育授業研究会東京冬大会 WinterWebinar2, 座長, 東京都(オンライン), 2021.12.25-12.26.
3. 日本教育保健学会, 第19回年次大会, 年次大会長, オンライン開催, 2022.3.5-3.6.
4. 日本保健科教育学会, 第5回研究大会, 実行委員, オンライン開催, 2021.12.5.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2021.4.17.
2. 新潟県教育庁, 部活動の地域移行, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 燕市, 2021.4.25.
3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2021.5.22-5.23.
4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2021.5.29-5.30.
5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2021.6.12-6.13.
6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2021.7.30-8.1.
7. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市(新潟県教育庁), 2021.10.30.
8. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市(新潟県教育庁), 2021.11.27.
9. 新潟県オリンピック・パラリンピック教育地域セミナー, 新潟県のオリンピック・パラリンピック教育について, 講師, 新潟県教育庁, 新潟県オリンピック・パラリンピック教育推進員, 新潟県庁, 2021.5.18.
10. 令和3年度3区(北・東・江南)合同保育研修会, 明日から実践できる幼児への楽しさが先導する運動指導, 講師, 北・東・江南区役所健康福祉課, 北区・東区・江南区公・私立保育園・幼稚園・認定こども園・認可外保育施設等保育者, 新潟市, 2021.10.26.
11. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業, 地域専門人材養成研修, 講師, 新潟県県民生活・環境部, 新潟市, 2021.11.2.
12. 新潟医療福祉大学社会連携推進センター運営委員会社会連携事業, 愛宕福祉会ドリームカレッジへの運動指導, 講師, 新潟医療福祉大学社会連携推進センター運営委員会, 社会福祉法人愛宕福祉会ドリームカレッジ利用者, 新潟市, 2021.11.25, 12.2, 12.9, 12.10.
13. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業, 運動遊び」モデル研修会, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟県幼児・保育者, 長岡市, 2021.9.14.
14. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業, 運動遊び」普及啓発セミナー, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟県幼児・保育者, 長岡市, 2021.9.14.
15. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業, 運動遊び」モデル研修会, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟県幼児・保育者, 弥彦村, 2021.10.14.
16. 令和3年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業, 運動遊び」普及啓発セミナー, 講師, 新潟県スポーツ協会, 新潟県幼児・保育者, 弥彦村, 2021.10.14.
17. 新潟県オリンピック・パラリンピック教育地域ワークショップ, 新潟県のオリンピック・パラリンピック教育について, 講師, 新潟県教育庁, 新潟県オリンピック・パラリンピック教育推進員, 新

潟県庁, 2022.2.7.

18. 村上市幼児の体力向上事業, 令和3年度村上市幼児の体力向上事業報告会, 講師, 村上市こども課, 総合型スポーツクラブ担当者, 新潟県村上市, 2022.3.11.
19. 小学校中堅教諭等資質向上研修 教科指導研修 体育, 運動のおもしろさに誘い込む教材づくりのポイント, 講師(講義・演習), 福島県教育センター, 小学校教員, 福島市(オンライン), 2021.6.23.
20. 長岡市立大河津小学校校内授業研修会, 高学年のボール運動における教材・教具づくりのポイント, 講師(講義・指導講評), 長岡市立大河津小学校, 小学校教員, 長岡市, 2021.7.19.
21. 令和3年度指導者プログラム実践研修会(スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託), スポーツ教育指導法Ⅰ スポーツの種目特性:種目特性と指導(教材・教具づくり)のポイント, 講師(講義・演習), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2021.9.21.
22. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校低学年におけるボールゲームの授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2021.9.22.
23. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年表現運動授業における児童の思考を促す指導について, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2021.9.29.
24. 令和3年度指導者プログラム実践研修会(スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託), スポーツ教育指導法Ⅱ 指導計画・内容・評価の立て方, 講師(講義・演習), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2021.10.5.
25. 沼垂小学校全国公開研究会 体育まつり2021, 思考力を促す体育の授業づくりーよく考える児童の育成ー, 講師(講演), 新潟市立沼垂小学校, 小・中学校教員, 新潟市, 2021.10.22.
26. 沼垂小学校校内研修会, 小学校における児童の関わり合い・思考を促す体育授業づくり, 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2021.11.25.
27. 燕市スポーツ指導者講習会兼燕市スポーツサポーターバンク認定講習会, 第2部スポーツ指導計画, 内容, 評価の立て方, 講師(講義・演習), 燕市教育委員会, 小学校教員, スポーツ少年団指導者, 各種協会会員等, 燕市, 2022.3.26.
28. 健康講話, 健康な生活と睡眠の大切さ, 講演講師, 三条市立第四中学校, 生徒, 三条市立第四中学校, 2021.5.25.
29. 保健教育実践講座, 学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2021.6.25.
30. がん教育総合支援事業研修会, がん教育の現状と高等学校におけるがん教育, 新潟県教育庁保健体育課, 受講生, 新潟県庁, 2021.6.29.
31. がん教育に関する指導者研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 群馬県教育委員会, 受講者, オンライン, 2021.7.15.
32. 全国養護教諭連絡協議会第23回研修会, 『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指した保健授業, 研修会講師, 全国養護教諭連絡協議会, 受講者, オンライン, 2021.8.
33. 保健教育実践講座, 保健教育における主体的・対話的で深い学び, 研修会講師, 新潟県立教育センター, 受講者, 新潟県立教育センター, 2021.9.21.
34. がん教育啓発研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 鳥取県教育委員会, 受講者, オンライン, 2021.10.5.
35. 養護教諭研修会, 学校における保健教育の在り方, 研修会講師, 新潟市教育委員会, 受講者, 新潟市教育センター, 2021.10.28.
36. がん教育に関する研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 兵庫県教育委員会, 受講者, 兵庫県民会館, 2021.12.7.
37. がん教育研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 北海道教育委員会, 受講者, 北見市民会館, 2021.12.22.

38. がん教育研修会, 学校におけるがん教育の考え方・進め方, 研修会講師, 富山県教育委員会, 受講者, オンライン, 2022.1.27.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞【囲み記事】, 新潟日報, 近づく五輪開幕, 2021.6.27.
 2. 新聞, 新潟日報, 五輪戦いの後, 2021.8.20.
 3. 新聞, 新潟日報, 休日部活動 どう対応?, 2021.1.17.
 4. TV, UX:ゆうナビ, プロとして再び夢の舞台へ, 2022.3.8.
 5. WEB, 新潟日報モア, 「県障害者スポーツ大会」について, 2022.4.5.
 6. 新聞, 新潟日報, 「県障害者スポーツ大会」について, 2022.4.5.
 7. WEB, 新潟日報モア, 「障害者スポーツ」から「パラスポーツ」へ, 2022.4.19.
 8. 新聞, 新潟日報, 「障害者スポーツ」から「パラスポーツ」へ, 2022.4.19.
 9. WEB, 時事通信, 東京パラリンピック, 2021.9.2.
 10. WEB, グノシー, 東京パラリンピック, 2021.9.2.
 11. 新聞, 新潟日報, 幼児の運動習慣を向上させる県の支援事業のモデル研修会, 2021.10.26.
 12. WEB, Jpubb, 幼児の運動習慣を向上させる県の支援事業のモデル研修会, 2021.11.11.
 13. 新聞, 新潟日報, 「パラスポーツ体験会&講演会」, 2021.12.3.
 14. 新聞, 新潟日報, 加茂市の須田小学校でパラスポーツを体験する授業, 2021.12.10.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
 3. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
 4. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
 5. 燕市総合型地域スポーツクラブ, アドバイザー, 2021.4.1-2022.3.31.
 6. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山居町保育園, 2021.7.6.
 7. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立猿沢保育園, 2021.7.8.
 8. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立高南保育園, 2021.7.13.
 9. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第一保育園, 2021.7.15.
 10. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立館越保育園, 2021.7.20.
 11. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市第二保育園, 2021.7.21.
 12. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立瀬浪保育園, 2021.7.28.
 13. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立岩船保育園, 2021.8.2.
 14. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山辺里保育園, 2021.8.3.
 15. 村上市, 幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立金屋保育園, 2021.8.5.

16. 村上市幼児の体力向上事業公開講座，体育・運動遊び指導，講師，村上市，村上市幼児・保育者，村上市立そらいろ保育園，2021.8.6.
 17. 新潟県教育庁，加茂市立須田小学校パラスポーツ体験講座，パラリンピック教育，講師，新潟県教育庁教育委員会・加茂市教育委員会，加茂市立須田小学校児童，2021.12.7.
 18. 新潟医療福祉大学野球教室，中学生30名指導，講師，新潟市，2021.8.4.
 19. 新潟県野球連盟審判員・記録放送員育成研修会，審判員20名・記録放送員30名，試合演者，長岡市，2021.10.31.
 20. 南魚沼市指導者講習会，指導者20名，講師，南魚沼市，2021.11.3.
 21. 第8回野球審判技術向上講習会演者，審判員60名，練習演者，新潟市，2021.11.13.
 22. 糸魚川市野球教室，指導者30名，小学生80名，講師，糸魚川市，2021.11.14.
 23. 全軟連コーチⅠ養成講習会，指導者30名，講師，新潟市，2021.11.23.
 24. 長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室，中学生59名，講師，小千谷市，2021.11.27.
 25. 長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室，小学生83名，講師，小千谷市，2021.11.28.
 26. 令和3年度砺波市中高生野球教室，中学生84名 高校生40名，講師，富山県砺波市，2021.12.5.
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018年度，科研費基盤研究（C），保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発，研究分担者
 2. 2018年度，科研費基盤研究（B），授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築，研究分担者
 3. 2019年度，科研費基盤研究（B），VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発，研究代表者
 4. 2020年度，若手研究，VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み，研究代表者
 5. 2021年度，科研費基盤研究（C），幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発，研究代表者
 6. 2021年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，幼児の高這い走を発達させる運動遊びの環境構成要素の研究，研究代表者
 7. 2021年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，積雪期における健康体操教室の継続要因の検証，研究分担者
 8. 2021年度，村上市幼児の体力向上事業，研究委託，研究代表者
 9. 2019年度，科研費基盤研究（B），インクルーシブながん教育実現のための総合的研究，研究代表者
 10. 2021年度，科研費挑戦的研究（萌芽），ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価，研究代表者
 11. 2021年度，科研費基盤研究（C），学校医の資源ネットワークマップによる地域・学校保健連携促進モデルの開発，研究分担者
 12. 2021年度，科研費基盤研究（C），教員の保健・安全の資質・能力育成に関するデジタル学習教材の開発，研究分担者
 13. 2021年度，科研費基盤研究（C），子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用，研究分担者
 14. 2021年度，科研費基盤研究（C），「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討，研究分担者

(9) 栄養科学研究センター

①研究テーマ

1. 全世代を対象とした栄養ケア・サポートに関する研究

②センター名簿

センター長 : 稲葉洋美, 教授
副センター長 : 岩森 大, 講師
研究員 : 永井 徹, 教授
研究員 : 澁谷顕一, 准教授
研究員 : 田村典子, 准教授
研究員 : 増田紘之, 助教
客員研究員 : 佐藤直人, 助手 山形県立米沢栄養大学
客員研究員 : 海和美咲, 助手 相模女子大学

③主な活動内容

1. 論文

1. Tamura N, Shimizu K, Shiozaki S, Sugiyama K, Nakayama M, Goto S, Takagi S, Goto S. Important regulatory role of erythrocytes on platelet adhesion to the von willebrand factor on the wall under blood conditions. *Thrombus Haemost* 2021. DOI:10.1055/a-1677-9499.
2. Tamura N, Goto S, Yokota H, Goto S. Contributing Role of Mitochondrial Energy Metabolism on Platelet adhesion, activation and thrombus formation under blood flow conditions. *Platelets* 2022. DOI: <https://doi.org/10.1080/09537104.2022.2046722>.
3. Inaba H, Marina F. Rziankina, Hoshino F, Takano K, Kseniia E. Potapova, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Self-Assessment of health status and willingness to be vaccinated in adolescents from the Niigata prefecture and the Khabarovsk region during COVID-19, *Healthcare*, 10(2), 184, 2022. (査読あり)
4. Inaba H, Marina F. Rziankina, Svetlana A. Kostromina, Sakauchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S, Ishii N, Saito T, Konstantin V. Zhmerenetsky, Ishigami K. Weight perception and diet behavior of Japanese and Russian adolescent girls. *Health*, 13, 405-415, 2021. (査読あり)
5. 稲葉洋美, 永桶久美, 小日向桃香, 阿部菜生, 佐野翠, 平松采弓, 海和美咲, 澁谷顕一. 共食者の存在と他者の摂食量情報がヒトの摂食量に与える影響, *日本家政学会誌*, 73, 4, 212-217, 2022. (査読あり)
6. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テクスチャ改善したテイクアウトメニューの検証と喫食時に及ぼす影響, *地域ケアリング*, 24, 1, 60-66, 2022. (査読あり)
7. 岩森大, 澁谷顕一, 永井徹, 稲葉洋美. 嚥下障害予防に向けた固形食へのとろみ付与効果, *アグリバイオ*, 6, 2, 139-144, 2022. (査読あり)
8. 稲葉洋美. スポーツ選手(高校生と大学生)の食と栄養, *食と医療*, 20, 42-47, 2022.
9. 介護予防における大学との連携事業 2021年度報告書, 作成・執筆 新潟医療福祉大学, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 佐藤直人, 海和美咲 (分担)
10. 永井徹, 岩森大, 北林紘, 坂井邦彦, 齋藤泰晴. 地域高齢者の舌圧と栄養状態に関わる横断分析 舌圧は栄養状態に関わる食品摂取の多様性と関連するのか?. *地域ケアリング*. 2021;23(5): 36-41. (査読あり)

2. 報告書

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 稲葉洋美, 岩森大, 永井徹, 澁谷顕一, 田村典子, 増田紘之, 佐藤直人, 海和美咲, 野村友紀, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2021年度報告書, 2021.4-2022.3, 分担者

3. 学会等研究発表

1. Tamura N. important Physical Regulatory Roles of Erythrocytes on Platelet Adhesion Under Blood Flow Conditions. ESCHM-ISCH-ISB 2021. (Fukuoka/Japan), 2021.7.7.
2. 稲葉洋美, 坂内元気, 伊藤澪奈, 海和美咲, 星野美美, 石上和男. HBSC質問紙を用いた思春期男女の健康行動. 第62回日本食生活学会学術集会 (オンライン), 2021.5.
3. 稲葉洋美, 坂内元気, 伊藤澪奈, 海和美咲, 石井なるみ, 石上和男. 日本とロシアの思春期女子生徒における自身の体重認知と食習慣の関係. 日本家政学会第73回大会 (オンライン), 2021.5.
4. 稲葉洋美, 永桶久美子, 小日向桃香, 阿部菜生, 佐野翠, 平松采弓, 海和美咲, 澁谷顕一. 他者の存在と摂食量情報が摂食量に与える影響. 第68回日本栄養改善学会学術総会 (オンライン), 2021.10.
5. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2021.11.
6. Hattori (Inaba) H., Kaiwa M., Ishii N, Hoshino F, Ishigami K. Report on Food and Health of Japanese 15-year-old Boys and Girls-Comparison of Special Promotion Class and Regular Class. Interregional Conference with International Participation, Schoolchildren Health (Khabarovsk, Russia), Online, 2021.4.28. 【招待講演】
7. Inaba H., Ishigami K, Takano K, Hoshino F, Rziankina Marina Fedorovna, Potapova K.E., M.D, Comparative self-assessment of the health status of 15-year-old schoolchildren of Khabarovsk and Niigata city in the context of the new coronavirus infection COVID-19 pandemic, II -nd Far Eastern International Medical Congress, Current problems of pediatrics and neonatology, (Khabarovsk, Russia), Online, 2021.10.12. 【招待講演】
8. Hoshino F, Kojima A, Yano A, Yamamoto H, Natsui S, Inaba H. Research on dietary supplement use by Japanese high school students, American Society for Nutrition, 2021.6.7-6.10, America Online.
9. 稲葉洋美, 加藤稚菜, 齋藤真美, 土田杏奈, 丸山梨央, 夏井紗野, 小林真里奈, 菊元孝則, 星野美美. 寮生活をしている高校生アスリートに対する補食の指導, 第7回日本スポーツ栄養学会, 2021.7. Online.
10. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
11. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 高野晃輔, Marina F Rziankina, 石上和男. COVID-19感染症拡大下の高校生における主観的健康度悪化に与える因子, 第21会新潟医療福祉学会, 新潟, 2021.10.30.
12. 斎藤トシ子, 渡辺優奈, 竹内瑞希, 稲葉洋美. オンラインによる栄養教育実習および基礎臨床実習の試み, 第10回日本栄養学教育学会, オンライン開催, 2021.9.25.
13. 岩森大, 澁谷顕一, 稲葉洋美. テイクアウトメニューにおけるテクスチャー改善が喫食時評価に及ぼす影響, 第21回新潟医療福祉学会, 新潟, 2021.10.30.
14. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食生活状況との関連, 第31回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
15. 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
16. 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉睦明, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関

節可動域との関連性, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.

17. 江玉陸明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側副韌帯横走線維束の肘外反制動機, 第32回日本臨床スポーツ医学会, 東京, 2021.11.13-11.14.
18. 永井徹, 齋藤泰晴, 石月公美子, 堂井真理, 坂井邦彦, 庭山雅幸, 高橋忍, 吉田可奈子, 遠藤沙保里, 野崎彰子, 山石理恵, 笠原純子, 今井亜希, 北林紘. 舌の運動機能は食品摂取の多様性と関連するの
か?: 地域高齢女性における検討. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会(神戸市), 2021.7.21-
7.22.
19. 永井徹, 齋藤泰晴. 回復期リハビリテーション患者における栄養状態と匂い感度の関連. 第36回日
本臨床栄養代謝学会学術集会(神戸市), 2021.7.21-7.22.
20. Nagai T, Nunokawa K, Tokairin N, Honma K, Saito Y, Iwamor H, Miyaoka Y. Utility of food odors
in facilitating subjective appetites of convalescent rehabilitation patients. World Dysphagia
Summit 2021 (Nagoya, Japan), 2021.8.20-8.22.
21. 永井徹, 齋藤泰晴, 高橋忍, 坂井邦彦. 地域高齢者における匂い評価と栄養状態および口腔状態の検
討. 第68回日本栄養改善学会学術集会(オンライン開催), 2021.10.1-10.2.
22. 永井徹. 臨床栄養教育と臨床実習における現状と課題. 第43回日本臨床栄養学会総会 第42回日本臨
床栄養協会総会 第19回大連合大会(オンライン開催), 2021.10.2-10.3. 【シンポジウム】

4. 学会活動

1. 日本血栓止血学会 代議員

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. いきいきセミナー, 新潟市公民館事業, フレイル対策を楽しく学ぶ, 新潟市横越地区公民館, 高齢
者, 新潟市, 2021.7.23.
2. 関川村介護予防講演会, サルコペニア予防, 関川村役場, 高齢者, 関川村, 2021.9.24.
3. いまさら聞けない? しろね塾, 新潟市公民館事業, まだ間に合う! フレイル予防対策実践講座, 新
潟市白根地区公民館, 高齢者, 新潟市, 2022.3.25.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報, 運動と栄養でサルコペニア予防, 2022.4.10.
2. 新聞, 新潟日報, 食・メンタル支援に感謝 新潟医福大に「銅」報告, 2021.10.9.
3. 新聞, 新潟日報, 感染禍で25%「体調悪化」, 2022.3.21.

6. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2020年度, 科研費若手研究, 疑似的他者の存在によるおいしさと脳活動の変化についての研究,
海和美咲, 研究代表者
2. 2021年度, 科研費基盤研究(C), サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの
実証研究, 永井徹, 研究代表者
3. 2019年度, 科研費基盤研究(C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 永井徹,
研究分担者

(10) 脳卒中リハビリテーションセンター (Stroke rehabilitation research center)

①研究テーマ

1. 脳卒中患者の歩行障害に関わる因子の解明と有効な理学療法プログラムの開発

②センター名簿

センター長 : 犬飼康人, 理学療法学科, 准教授

副センター長: 小股 整, 新潟リハビリテーション病院, 医師

研究員 : 椿 淳裕, 理学療法学科, 教授

研究員 : 大西秀明, 理学療法学科, 教授
客員研究員 : 渡邊慎平, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法士
客員研究員 : 諏佐貴大, 新潟リハビリテーション病院, 理学療法士

③主な活動内容

1. 著書

1. 渡辺学, 竹村美穂, 溝部朋文, 福富利之, 佐藤房郎, 万治淳史, 大沼俊博, 徳田和宏, 和田善行, 浅川康吉, 石井慎一郎, 深田和浩, 澤田明彦, 浅井仁, 諸橋勇, 犬飼康人, 松田雅弘, 若梅一樹, 金子文成, 高杉潤, 沖田学, 藤野雄次, 阿部浩明, 門馬博, 植田耕造, 信迫悟志, 増田司, 中村学, 鈴木俊明. 運動学・神経学エビデンスから結ぶ脳卒中理学療法. 1版. 東京: 中外医学社; 2021: 164-176.

2. 論文

1. Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. *Eur J Pain*. 2022 Feb; 26(2): 349-355. (査読あり)
2. Miyaguchi S, Inukai Y, Hashimoto I, Otsuru N, Onishi H. Sleep affects the motor memory of basketball shooting skills in young amateurs. *Journal of Clinical Neuroscience*. 2022 Feb; 96: 187-193. (査読あり)
3. Kojima S, Miyaguchi S, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Otsuru N, Onishi H. The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. *Brain Sciences*. 2021 Nov 12; 11(11): 1494. (査読あり)
4. Miyaguchi S, Inukai Y, Mitsumoto S, Otsuru N, Onishi H. Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. *Behavioural Brain Research*. 2022 Apr 29; 424: 113805. (査読あり)

3. 学会等研究発表

1. 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第19回日本神経理学療法学会学術大会. 2021.12.18-12.19. (教育講演)
2. 犬飼康人. 感覚障害と運動制御・学習. 日本神経理学療法学会 第22回サテライトカンファレンス 山梨. 2021.10.3. (シンポジスト)

4. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 札幌医科大学保健学部第6回集学的理学療法セミナー, 脳卒中後の姿勢調節障害の解釈と非侵襲的脳刺激を用いた治療戦略, 講師, 札幌医科大学保健学部, 理学療法士等, オンライン, 2021.11.19.
2. 脳卒中リハビリテーション研究センター主催オンラインセミナー, 運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法(基礎編), 講師, 新潟医療福祉大学脳卒中リハビリテーション研究センター, 理学療法士等, オンライン, 2022.2.5.

5. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 大西秀明, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費基盤研究(B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕, 研究代表者
3. 2020年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響, 犬飼康人, 研究代表者
4. 2021年度, Panasonic共同研究, 末梢神経刺激とバランス能力に関する研究, 犬飼康人, 研究代表者

9) 運動機能医科学研究所

①研究テーマ

1. 感覚運動機能連関の神経基盤の解明
2. 運動制御および感覚運動学習過程に関する研究
3. 膜性疼痛の生理・病態・心理・治療に関する研究
4. 運動刺激による神経-筋-骨格系の機能的変化に関する研究
5. 運動と呼吸循環応答および脳循環応答に関する研究
6. 運動機能障害に対するリハビリテーションに関する研究と開発
7. 身体運動分析及び行動分析に関する研究
8. アスリート脳に関する研究
9. 健康増進のための運動プログラムの開発
10. サルコペニアやフレイルに対する栄養リハビリテーションに関する研究

②研究員

所長	：大西秀明	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
副所長	：佐藤大輔	健康科学部健康スポーツ学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：久保雅義	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：椿 淳裕	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：大山峰生	リハビリテーション学部作業療法学科／教授（運営委員・研究員）
所員	：能村友紀	リハビリテーション学部作業療法学科／教授（研究員）
所員	：山本智章	新潟リハビリテーション病院／院長（運営委員・研究員）
所員	：田口 徹	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	：相馬俊雄	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	：江玉睦明	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	：児玉直樹	医療技術学部診療放射線学科／教授（研究員）
所員	：大鶴直史	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	：芝田純也	リハビリテーション学部理学療法学科／教授（研究員）
所員	：八坂敏一	健康科学部健康栄養学科／教授（研究員）
所員	：山代幸哉	健康科学部健康スポーツ学科／准教授（研究員）
所員	：犬飼康人	リハビリテーション学部理学療法学科／准教授（研究員）
所員	：菊元孝則	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：中村雅俊	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：高橋英明	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：堀田一樹	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：須田裕紀	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科／講師（研究員）
所員	：藤井 豊	医療技術学部臨床技術学科／講師（研究員）
所員	：下門洋文	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：熊崎 昌	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：三瀬貴生	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：森下義隆	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：越智元太	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：藤本知臣	健康科学部健康スポーツ学科／講師（研究員）
所員	：齊藤 慧	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：玉越敬悟	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：小島 翔	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）
所員	：井上達朗	リハビリテーション学部理学療法学科／講師（研究員）

所員 : 高林知也 リハビリテーション学部理学療法学科/講師 (研究員)
 所員 : 宮口翔太 リハビリテーション学部理学療法学科/講師 (研究員)
 所員 : 伊藤 涉 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 横田裕丈 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員/D2)
 所員 : 太田大樹 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 鈴木祐介 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 浅尾章彦 リハビリテーション学部作業療法学科/講師 (研究員)
 所員 : 平林 怜 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 長坂和明 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 関根千恵 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 北谷亮輔 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 田宮 創 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 池上 諒 リハビリテーション学部理学療法学科/助教 (研究員)
 所員 : 大野 健 医療技術学部診療放射線学科/助教 (研究員)
 所員 : 櫻井典子 医療技術学部診療放射線学科/助教 (研究員/D1)

大学院生: 秦偉 翔 (D3/椿)

大学院生: 小島 将 (D2/椿)

大学院生: 五十嵐小雪 (D1/佐藤)

大学院生: 渡邊 拓 (D1/大西)

大学院生: 佐藤 成 (D1/中村(雅))

大学院生: 瞿 丹妮 (M2/椿)

大学院生: 丸山紗永 (M2/江玉)

大学院生: Le Cong Dat (M2/佐藤)

大学院生: 八幡 薫 (M2/中村(雅))

大学院生: 五十嵐眸実 (M2/大鶴)

大学院生: 川上沙輝 (M2/大西)

大学院生: 大槻智史 (M2/大鶴)

大学院生: Anthony Laigo (M1/久保)

大学院生: 堺 大輝 (M1/大鶴)

大学院生: 神居 寧 (M1/大西)

大学院生: 大倉百合絵 (M1/大西)

大学院生: 鈴木孝昇 (M1/大西)

大学院生: 井上創太 (M1/田口)

大学院生: 舍川真侑 (M1/江玉)

大学院生: 山田勇輝 (M1/江玉)

大学院生: 富樫亮弥 (M1/江玉)

大学院生: 渡邊貴博 (M1/久保)

大学院生: 高見澤怜 (M1/椿)

大学院生: 一杉直樹 (M1/椿)

大学院生: 松橋日和 (M1/椿)

大学院生: 吉田麗玖 (M1/中村)

大学院生: 菊地雄大 (M1/久保)

③主な活動内容

1. 著書

1. 芝田純也, 美馬達哉. 脳律動操作による脳機能介入 - tACSの基礎と応用 -. Medical Science

- Digest. 2021年5月号：北隆館；2021：20-23.
2. 芝田純也, 美馬達哉. Transcranial static magnetic stimulation (tSMS) の基礎と応用. Annual Review 神経；2021: (株) 中外医学社；2021：44202.
 3. 芝田純也, 美馬達哉. tSMS. Clinical Neuroscience. 第39巻7号: (株) 中外医学社；2021：900-902.
 4. 井上達朗. オステオサルコペニア－骨粗鬆症とサルコペニアの併存－. 臨床栄養. Vol.140 No.1：医歯薬出版；2022：13-15.
 5. 田宮創. 下肢慢性創傷がある患者への運動指導. 糖尿病ケア. 第18巻6号：MCメディカ出版；2021：39-43.
 6. 平林愔. 脊髄相反性抑制増強法の効果的な介入法. 日本基礎理学療法学会誌. in press：日本基礎理学療法学会；2021：.
 7. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者の歩行能力を向上させる体幹ベルト付下肢装具. 地域ケアリング. 23巻11号：北隆館；2021：80-82.
 8. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者に対する杖の機能と効果. 地域ケアリング. 23巻11号：北隆館；2021：91-94.
 9. 北谷亮輔. 脳卒中後患者に対する歩行ニューロリハビリテーション－ニューロモデュレーションの応用－. 愛知県理学療法学会誌. 33巻2号：；2021：76-83.
 10. 田口徹. 運動器の痛みのメカニズム. いたみの教科書「疼痛医学」ダイジェスト版.：医学書院；2021：24-25.
 11. 大西秀明. 体性感覚情報処理と脳活動. PTジャーナル. 第55巻：医学書院；2021：1067-1072.
 12. 谷中拓哉, 森下義隆. 科学的知見を考慮した打球飛距離を伸ばすためのトレーニング・練習. トレーニング科学. 第33巻2号；2021：87-95.
 13. 高林知也. スポーツ障害に対する筋力増強運動－足関節障害－. 明日の運動療法を磨く理学療法プラクティス. こだわり抜く筋力増強運動：文光堂；2022：in-press.
 14. 高林知也. 足関節・足部機能障害. 理学療法ガイドライン. 第2版：医学書院；2021：481-494.
 15. 田宮創. 運動療法の実際. 腎臓病療養指導士のためのCKD指導ガイドブック. 第1版：東京医学社；2021：137-149.
 16. 森下義隆. スポーツ知への招待：KEIアドバンス；2021：1-173.
 17. 野上雅史, 浅尾章彦, 山本伸一. 脳血管障害に対する上肢機能アプローチ－重度運動麻痺患者に対する上肢機能の活動・生活場面への展開－. 作業療法ジャーナル. 第55巻4号：三輪書店；2021：337-341.
 18. 江玉睦明. 組織修復と機能回復. アスレティック教本. 第4章：文光堂；2022：44571.
 19. Hoheisel U, Taguchi T, Mense S. Nociception: the thoracolumbar and crural fascia as sensory organs. Fascia: The Tensional Network of the Human Body (2nd eds): The Science and Clinical Applications in Manual and Movement Therapy.: Elsevier; 2021: 179-187.
 20. 金子文成, 大西秀明, 他. 経頭蓋磁気刺激の理学療法領域における使用に関する声明. 理学療法学；in press
 21. 犬飼康人, 他. 随意運動システムと脳卒中理学療法. 運動学・神経学エビデンスと結ぶ脳卒中理学療法：中外医学社；2022：in press.
2. 論文
- 1) 国際誌
 - (1) Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Otani H. Classification by degree of twisted structure of the fetal Achilles tendon. Surg Radiol Anat. 2021; 43(10): 1691-1695.
 - (2) Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Syagawa M,

- Togashi R, Yamada Y, Otani H. Number of fiber bundles in the fetal anterior talofibular ligament. *Surg Radiol Anat.* 2021; 43(12): 2077-2081.
- (3) Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Effects of transcranial random noise stimulation timing on corticospinal excitability and motor function. *Behav Brain Res.* 2021; 414: 113479.
 - (4) Ikarashi H, Otsuru N, Yokota H, Nagasaka K, Igarashi K, Miyaguchi S, Onishi H. Influence of Catechol-O-Methyltransferase Gene Polymorphism on the Correlation between Alexithymia and Hypervigilance to Pain. *Int J Environ Res Public Health.* 2021; 18(24).
 - (5) Ikarashi K, Sato D, Fujimoto T, Edama M, Baba Y, Yamashiro K. Response Inhibitory Control Varies with Different Sensory Modalities. *Cereb Cortex.* 2022; 32(2): 275-285.
 - (6) Ikuta T, Yoshioka K, Matsuzawa K, Maruyama S, Edama M. Influence of Continuous Elbow Valgus Stress on the Medial Elbow Joint Space. *Orthop J Sports Med.* 2021; 9(10): 23259671211045983.
 - (7) Kasahara K, Yoshida R, Yahata K, Sato S, Murakami Y, Aizawa K, Konrad A, Nakamura M. Comparison of the Acute Effects of Foam Rolling with High and Low Vibration Frequencies on Eccentrically Damaged Muscle. *J Sports Sci Med.* 2022; 21(1): 112-119.
 - (8) Matsuzawa K, Edama M, Otsuki T, Maruyama S, Ikezu M, Kageyama I. Relationship between morphology of transverse bundle of ulnar collateral ligament and adjacent tissues. *Surg Radiol Anat.* 2021; 43(10): 1603-1607.
 - (9) Sato S, Yoshida R, Kiyono R, Yahata K, Yasaka K, Nosaka K, Nakamura M. Cross-education and detraining effects of eccentric vs. concentric resistance training of the elbow flexors. *BMC Sports Sci Med Rehabil.* 2021; 13(1): 105.
 - (10) Sato S, Yoshida R, Kiyono R, Yahata K, Yasaka K, Nunes J P, Nosaka K, Nakamura M. Elbow Joint Angles in Elbow Flexor Unilateral Resistance Exercise Training Determine Its Effects on Muscle Strength and Thickness of Trained and Non-trained Arms. *Front Physiol.* 2021; 12: 734509.
 - (11) Sato S, Yoshida R, Murakoshi F, Sasaki Y, Yahata K, Nosaka K, Nakamura M. Effect of daily 3-s maximum voluntary isometric, concentric, or eccentric contraction on elbow flexor strength. *Scand J Med Sci Sports.* 2022; 32(5): 833-843.
 - (12) Shagawa M, Maruyama S, Sekine C, Yokota H, Hirabayashi R, Hirata A, Yokoyama M, Edama M. Comparison of anterior knee laxity, stiffness, genu recurvatum, and general joint laxity in the late follicular phase and the ovulatory phase of the menstrual cycle. *BMC Musculoskelet Disord.* 2021; 22(1): 886.
 - (13) Tsubono K, Kudo R, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Maruyama S, Shagawa M, Togashi R, Yamada Y, Edama M. Changes in medial elbow joint space when difference in contraction strength of flexor-pronator muscle under elbow valgus stress. *J Shoulder Elbow Surg.* 2022.
 - (14) Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Copers adopt an altered dynamic postural control compared to individuals with chronic ankle instability and controls in unanticipated single-leg landing. *Gait Posture.* 2022; 92: 378-382.
 - (15) Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Watanabe T, Kubo M. Copers exhibit altered ankle and trunk kinematics compared to the individuals with chronic ankle instability during single-leg landing. *Sports Biomech.* 2022: 1-13.
 - (16) Watanabe H, Kojima S, Nagasaka K, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Otsuru N, Onishi H. Gray Matter Volume Variability in Young Healthy Adults: Influence of Gender Difference and Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype. *Cereb Cortex.* 2021.
 - (17) Yoshioka K, Matsuzawa K, Ikuta T, Maruyama S, Edama M. Changes in Medial Elbow Joint

- Space When Elbow Valgus Stress Is Applied at Different Limb Positions and Loads In Vivo. *Orthop J Sports Med.* 2021; 9(11): 23259671211045981.
- (18) Nakamura M, Konrad A, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Yoshida R, Yasaka K, Murakami Y, Sanuki F, Wilke J. Local and Non-local Effects of Foam Rolling on Passive Soft Tissue Properties and Spinal Excitability. *Front Physiol.* 2021; 12: 702042.
 - (19) Nakamura M, Konrad A, Ryosuke K, Sato S, Yahata K, Yoshida R, Murakami Y, Sanuki F, Wilke J. Sex Differences in the Mechanical and Neurophysiological Response to Roller Massage of the Plantar Flexors. *J Sports Sci Med.* 2021; 20(4): 665-671.
 - (20) Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Yasaka K, Yahata K, Konrad A. Comparison Between Foam Rolling With and Without Vibration on Passive and Active Plantar Flexor Muscle Properties. *J Strength Cond Res.* 2021.
 - (21) Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Murakami Y, Yasaka K, Yahata K, Konrad A. Acute Effect of Vibration Roller With and Without Rolling on Various Parts of the Plantar Flexor Muscle. *Front Physiol.* 2021; 12: 716668.
 - (22) Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Nishishita S, Knorad A. Relationship between changes in passive properties and muscle strength after static stretching. *J Bodyw Mov Ther.* 2021; 28: 535-539.
 - (23) Mise T, Mitomi Y, Mouri S, Takayama H, Inoue Y, Inoue M, Akuzawa H, Kaneoka K. Hypomobility in Males and Hypermobility in Females are Risk Factors for Shoulder Pain Among Young Swimmers. *J Sport Rehabil.* 2022; 31(1): 17-23.
 - (24) Ota H, Takebe H, Mizumura K, Taguchi T. Responses of cutaneous C-fiber afferents and spinal microglia after hindlimb cast immobilization in rats. *J Physiol Sci.* 2021; 71(1): 19.
 - (25) Inoue T, Maeda K, Satake S, Matsui Y, Arai H. Osteosarcopenia, the co-existence of osteoporosis and sarcopenia, is associated with social frailty in older adults. *Aging Clin Exp Res.* 2022; 34(3): 535-543.
 - (26) Inoue T, Shimizu A, Satake S, Matsui Y, Ueshima J, Murotani K, Arai H, Maeda K. Association between osteosarcopenia and cognitive frailty in older outpatients visiting a frailty clinic. *Arch Gerontol Geriatr.* 2022; 98: 104530.
 - (27) Yagi T, Inoue T, Ogawa M, Shimada Y, Heguri Y, Okada R, Iwata S, Kishimoto M. Sarcopenia affects activities of daily living recovery and hospitalization costs in older adults in convalescent rehabilitation wards. *Eur Geriatr Med.* 2021; 12(6): 1237-1245.
 - (28) Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Nagasaka K, Onishi H, Kodama N. Induction of Relaxation by Autonomous Sensory Meridian Response. *Front Behav Neurosci.* 2021; 15: 761621.
 - (29) Hirabayashi R, Edama M, Saito A, Yamada Y, Nawa R, Onishi H. Effects of Clenching Strength on Exercise Performance: Verification Using Spinal Function Assessments. *Sports Health.* 2022; 14(3): 404-414.
 - (30) Kondo S, Inoue T, Yoshida T, Saito T, Inoue S, Nishino T, Goto M, Sato N, Ono R, Tangoku A, Katoh S. Impact of preoperative 6-minute walk distance on long-term prognosis after esophagectomy in patients with esophageal cancer. *Esophagus.* 2022; 19(1): 95-104.
 - (31) Ohno K, Ohkubo M, Zheng B, Watanabe M, Matsuda T, Kwee I L, Igarashi H. GlyCEST: Magnetic Resonance Imaging of Glycine-Distribution in the Normal Murine Brain and Alterations in 5xFAD Mice. *Contrast Media Mol Imaging.* 2021; 2021: 8988762.
 - (32) Otsuru N, Ogawa M, Yokota H, Miyaguchi S, Kojima S, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Auditory change-related cortical response is associated with hypervigilance to pain in healthy volunteers. *Eur J Pain.* 2022; 26(2): 349-355.

- (33) [Nakamura M](#), [Yoshida R](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), Murakami Y, Kasahara K, Fukaya T, Takeuchi K, Nunes J P, Konrad A. Comparison Between High- and Low-Intensity Static Stretching Training Program on Active and Passive Properties of Plantar Flexors. *Front Physiol.* 2021; 12: 796497.
- (34) [Kitatani R](#), Maeda A, Umehara J, Yamada S. Different modulation of oscillatory common neural drives to ankle muscles during abrupt and gradual gait adaptations. *Exp Brain Res.* 2022; 240(3): 871-886.
- (35) [Nakamura M](#), [Yoshida R](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), Murakami Y, Kasahara K, Fukaya T, Takeuchi K, Nunes J P, Konrad A. Cross-education effect of 4-week high- or low-intensity static stretching intervention programs on passive properties of plantar flexors. *J Biomech.* 2022; 133: 110958.
- (36) [Nakamura M](#), Kasahara K, [Yoshida R](#), [Yahata K](#), [Sato S](#), Murakami Y, Aizawa K, Konrad A. The Effect of Static Compression via Vibration Foam Rolling on Eccentrically Damaged Muscle. *Int J Environ Res Public Health.* 2022; 19(3).
- (37) [Nakamura M](#), Konrad A, Kasahara K, [Yoshida R](#), Murakami Y, [Sato S](#), Aizawa K, Koizumi R, Wilke J. The Combined Effect of Static Stretching and Foam Rolling With or Without Vibration on the Range of Motion, Muscle Performance, and Tissue Hardness of the Knee Extensor. *J Strength Cond Res.* 2022.
- (38) [Miyaguchi S](#), [Inukai Y](#), Hashimoto I, [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Sleep affects the motor memory of basketball shooting skills in young amateurs. *J Clin Neurosci.* 2022; 96: 187-193.
- (39) [Kojima S](#), [Miyaguchi S](#), [Yokota H](#), [Saito K](#), [Inukai Y](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). The Number or Type of Stimuli Used for Somatosensory Stimulation Affected the Modulation of Corticospinal Excitability. *Brain Sci.* 2021; 11(11).
- (40) [Inoue T](#), Iida Y, Takahashi K, Shirado K, Nagano F, Miyazaki S, Takeuchi I, Yoshimura Y, Momosaki R, Maeda K, Wakabayashi H. Nutrition and Physical Therapy: A Position Paper by the Physical Therapist Section of the Japanese Association of Rehabilitation Nutrition (Secondary Publication). *JMA J.* 2022; 5(2): 243-251.
- (41) [Inoue T](#), Takeuchi I, Iida Y, Takahashi K, Nagano F, Miyazaki S, Shirado K, Yoshimura Y, Momosaki R, Maeda K, Wakabayashi H. Disease-specific Nutritional Physical Therapy: A Position Paper by the Japanese Association of Rehabilitation Nutrition (Secondary Publication). *JMA J.* 2022; 5(2): 252-262.
- (42) [Fujii Y](#), Abe T, Ikegami K. Diabetic Pathophysiology Enhances Inflammation during Extracorporeal Membrane Oxygenation in a Rat Model. *Membranes (Basel).* 2021; 11(4).
- (43) [Nakamura M](#), [Sato S](#), Sanuki F, Murakami Y, Kiyono R, [Yahata K](#), [Yoshida R](#), Fukaya T, Takeuchi K. Effects of hot pack application before high-intensity stretching on the quadriceps muscle. *International Journal of Therapy And Rehabilitation.* 2021; 28(10): 1-10.
- (44) [Sakurai N](#), Takahashi S, Takahashi D, [Kodama N](#). The Usefulness of Bone Suppression Image-Based Temporal Subtraction Processing for the Improvement of Lung Nodule Detection on Chest Radiograph Images. *Journal of JART-English edition.* 2021; 7: 28-35.
- (45) [Sekine C](#), Matsunaga N, Kaneoka K. Changes in lumbopelvic motion and trunk muscle activity during 2000 m rowing ergometer trial. *International Journal of Sport and Health Science.* 2021: 202048.
- (46) [Nagasaka K](#), [Otsuru N](#), Sato R, [Watanabe H](#), [Sakurai N](#), [Ohno K](#), [Kodama N](#), [Onishi H](#). Cortical signature related to psychometric properties of pain vigilance in healthy individuals: a voxel-based morphometric study. *Neuroscience Letters.* 2022: 136445.
- (47) [Suzuki Y](#), Iijima H, [Nakamura M](#), Aoyama T. Rate of force development in the quadriceps of

- individuals with severe knee osteoarthritis: A preliminary cross-sectional study. *PloS one*. 2022; 17(1): e0262508.
- (48) [Morishita Y](#), Jinji T. Accuracy and Error Trends of Commercially Available Bat Swing Sensors in Baseball. *Sports*. 2022; 10(2): 21.
 - (49) [Asao A](#), Wada K, [Nomura T](#), Shibuya K. Time course changes in corticospinal excitability during repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery. *Neuroscience Letters*. 2022; 771: 136427.
 - (50) [Asao A](#), Hoshino Y, [Nomura T](#), Shibuya K. Effect of repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery on the corticospinal excitability of antagonist muscles. *NeuroReport*. 2021; 32(10): 894-898.
 - (51) [Miyaguchi S](#), [Inukai Y](#), Mitsumoto S, [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Gamma-transcranial alternating current stimulation on the cerebellum and supplementary motor area improves bimanual motor skill. *Behavioural Brain Research*. 2022; 424: 113805.
 - (52) [Asao A](#), [Nomura T](#), Shibuya K. Effects of Repetitive Peripheral Magnetic Stimulation through Hand Splint Materials on Induced Movement and Corticospinal Excitability in Healthy Participants. *Brain Sciences*. 2022; 12(2): 280.
 - (53) [Sato D](#). The unique neuromodulation using water immersion. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2021; 21(1): 2-11.
 - (54) [Tamakoshi K](#), Maeda M, Murohashi N, Saito A. Effect of exercise from a very early stage after intracerebral hemorrhage on microglial and macrophage reactivity states in rats. *NeuroReport*. 2022; 33(7): 304-311.
 - (55) [Edama M](#), Matsuzawa K, [Yokota H](#), [Hirabayashi R](#), [Sekine C](#), [Maruyama S](#), Sato N. Elbow valgus stability of the transverse bundle of the ulnar collateral ligament. *BMC Musculoskelet Disord*. 2021; 22(1): 873.
 - (56) [Shibata S](#), Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H, Mima T. Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations. *Sci Rep*. 2021; 11(1): 8261.
 - (57) Baba Y, [Sato D](#), [Otsuru N](#), [Ikarashi K](#), [Fujimoto T](#), [Yamashiro K](#). Does Long-Term Training in a Water Immersion Environment Change Interoception? *Int J Environ Res Public Health*. 2021; 18(19).
 - (58) Inai T, [Takabayashi T](#), [Edama M](#), [Kubo M](#). Effects of step length and cadence on hip moment impulse in the frontal plane during the stance phase. *PeerJ*. 2021; 9: e11870.
 - (59) Damrongthai C, Kuwamizu R, Suwabe K, [Ochi G](#), Yamazaki Y, Fukuie T, Adachi K, Yassa M A, Churdchomjan W, Soya H. Benefit of human moderate running boosting mood and executive function coinciding with bilateral prefrontal activation. *Sci Rep*. 2021; 11(1): 22657.
 - (60) Konrad A, Mocnik R, [Nakamura M](#). Effects of Tissue Flossing on the Healthy and Impaired Musculoskeletal System: A Scoping Review. *Front Physiol*. 2021; 12: 666129.
 - (61) Yanase K, Ikezoe T, [Nakamura M](#), Saeki J, Yagi M, Hirono T, Tamezawa T, Motomura Y, Ibuki S, Ichihashi N. Effective muscle elongation positions for the neck extensor muscles: An ultrasonic shear wave elastography study. *J Electromyogr Kinesiol*. 2021; 60: 102569.
 - (62) Takeuchi K, Akizuki K, [Nakamura M](#). The acute effects of high-intensity jack-knife stretching on the flexibility of the hamstrings. *Sci Rep*. 2021; 11(1): 12115.
 - (63) Takeuchi K, [Sato S](#), Kiyono R, [Yahata K](#), Murakami Y, Sanuki F, [Yoshida R](#), [Nakamura M](#). High-Intensity Static Stretching in Quadriceps Is Affected More by Its Intensity Than Its Duration. *Front Physiol*. 2021; 12: 709655.

- (64) Konrad A, [Nakamura M](#), Bernsteiner D, Tilp M. The Accumulated Effects of Foam Rolling Combined with Stretching on Range of Motion and Physical Performance: A Systematic Review and Meta-Analysis. *J Sports Sci Med*. 2021; 20(3): 535-545.
- (65) Koyanagi Y, Fukushi I, [Nakamura M](#), Suzuki K, Oda N, Aita T, Seki H. The effect of body weight-supported overground gait training for patients with Parkinson's disease: A retrospective case-control observational study. *PLoS One*. 2021; 16(7): e0254415.
- (66) Reiner M, Tilp M, Guilhem G, Morales-Artacho A, [Nakamura M](#), Konrad A. Effects of a Single Proprioceptive Neuromuscular Facilitation Stretching Exercise With and Without Post-stretching Activation on the Muscle Function and Mechanical Properties of the Plantar Flexor Muscles. *Front Physiol*. 2021; 12: 732654.
- (67) Takeuchi K, Akizuki K, [Nakamura M](#). Time course of changes in the range of motion and muscle-tendon unit stiffness of the hamstrings after two different intensities of static stretching. *PLoS One*. 2021; 16(9): e0257367.
- (68) Konrad A, Tilp M, [Nakamura M](#). A Comparison of the Effects of Foam Rolling and Stretching on Physical Performance. A Systematic Review and Meta-Analysis. *Front Physiol*. 2021; 12: 720531.
- (69) Fukushi I, [Nakamura M](#), Kuwana S I. Effects of wearing facemasks on the sensation of exertional dyspnea and exercise capacity in healthy subjects. *PLoS One*. 2021; 16(9): e0258104.
- (70) Takeuchi K, Akizuki K, [Nakamura M](#). Association between static stretching load and changes in the flexibility of the hamstrings. *Sci Rep*. 2021; 11(1): 21778.
- (71) Nishida S, [Ito W](#), Ohishi T, [Yoshida R](#), [Sato S](#), [Nakamura M](#). The Effect of Ankle Position on Peak Eccentric Force during The Nordic Hamstring Exercise. *J Sports Sci Med*. 2022; 21(1): 43-48.
- (72) Miyahara K, Nishimaru H, Matsumoto J, Setogawa T, [Taguchi T](#), Ono T, Nishijo H. Involvement of Parvalbumin-Positive Neurons in the Development of Hyperalgesia in a Mouse Model of Fibromyalgia. *Front Pain Res (Lausanne)*. 2021; 2: 627860.
- (73) Murase S, Kobayashi K, Nasu T, Kihara C, [Taguchi T](#), Mizumura K. Synergistic interaction of nerve growth factor and glial cell-line derived neurotrophic factor in muscular mechanical hyperalgesia in rats. *J Physiol*. 2021; 599(6): 1783-1798.
- (74) Uta D, Tsuboshima K, Nishijo H, Mizumura K, [Taguchi T](#). Neuronal Sensitization and Synaptic Facilitation in the Superficial Dorsal Horn of a Rat Reserpine-induced Pain Model. *Neuroscience*. 2021; 479: 125-139.
- (75) Kosugi N, Oshiyama C, [Kodama N](#), Niwa S I. Predictability of a favorable outcome in schizophrenia associated with positive effects of "music therapy incorporated into cognitive remediation". *Schizophr Res*. 2021; 238: 52-53.
- (76) Nozoe M, Yamamoto M, Masuya R, [Inoue T](#), Kubo H, Shimada S. Prevalence of Malnutrition Diagnosed with GLIM Criteria and Association with Activities of Daily Living in Patients with Acute Stroke. *J Stroke Cerebrovasc Dis*. 2021; 30(9): 105989.
- (77) Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, [Inoue T](#), Ohno T, Nomoto A, Ueshima J, Ishida Y, Nagano A, Kayashita J, Mori N. Accuracy of the Simplified Nutritional Appetite Questionnaire for Malnutrition and Sarcopenia Screening among Older Patients Requiring Rehabilitation. *Nutrients*. 2021; 13(8).
- (78) Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, [Inoue T](#), Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Delayed Dysphagia May Be Sarcopenic Dysphagia in Patients After Stroke. *J Am Med Dir Assoc*. 2021;

22(12): 2527-2533 e2521.

- (79) Ueshima J, Maeda K, Shimizu A, [Inoue T](#), Murotani K, Mori N, Satake S, Matsui Y, Arai H. Diagnostic accuracy of sarcopenia by "possible sarcopenia" premised by the Asian Working Group for Sarcopenia 2019 definition. *Arch Gerontol Geriatr.* 2021; 97: 104484.
- (80) Ueshima J, Maeda K, Ishida Y, Shimizu A, [Inoue T](#), Nonogaki T, Matsuyama R, Yamanaka Y, Mori N. SARC-F Predicts Mortality Risk of Older Adults during Hospitalization. *J Nutr Health Aging.* 2021; 25(7): 914-920.
- (81) Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Kayashita J, Ohno T, Nomoto A, Ueshima J, Ishida Y, [Inoue T](#), Mori N. Texture-Modified Diets are Associated with Poor Appetite in Older Adults who are Admitted to a Post-Acute Rehabilitation Hospital. *J Am Med Dir Assoc.* 2021; 22(9): 1960-1965.
- (82) Saito T, Ono R, Tanaka Y, Tatebayashi D, Okumura M, Makiura D, Inoue J, Fujikawa T, Kondo S, [Inoue T](#), Maniwa Y, Sakai Y. The effect of home-based preoperative pulmonary rehabilitation before lung resection: A retrospective cohort study. *Lung Cancer.* 2021; 162: 135-139.
- (83) Oshikawa T, Takaki N, Nakamura K, Kubota R, Adachi G, Akuzawa H, [Sekine C](#), Kaneoka K. Change in the activity of trunk and lower limb muscles during 2000-m rowing. *J Med Invest.* 2022; 69(1.2): 45-50.
- (84) Morishita S, [Hirabayashi R](#), [Tsubaki A](#), Aoki O, Fu J B, [Onishi H](#), Tsuji T. Relationship between balance function and QOL in cancer survivors and healthy subjects. *Medicine (Baltimore).* 2021; 100(46): e27822.
- (85) Oyanagi K, [Tsubaki A](#). Effects of increased respiratory rate on cortical oxygenated hemoglobin during low-intensity exercise. *Respir Physiol Neurobiol.* 2021; 291: 103691.
- (86) Inagaki Y, Sato R, Uchiyama T, [Kojima S](#), Morishita S, [Qin W](#), [Tsubaki A](#). Sex Differences in the Oxygenation of the Left and Right Prefrontal Cortex during Moderate-Intensity Exercise. *Int J Environ Res Public Health.* 2021; 18(10).
- (87) Usui N, Yokoyama M, Nakata J, [Suzuki Y](#), [Tsubaki A](#), [Kojima S](#), Inatsu A, Hisadome H, Uehata A. Association between social frailty as well as early physical dysfunction and exercise intolerance among older patients receiving hemodialysis. *Geriatr Gerontol Int.* 2021; 21(8): 664-669.
- (88) Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, [Tsubaki A](#), Morishita S, Igarashi K, Narita I. Comparison of muscle strength between hemodialysis patients and non-dialysis patients with chronic kidney disease. *J Phys Ther Sci.* 2021; 33(10): 742-747.
- (89) Usui N, Uehata A, Nakata J, Inatsu A, [Tsubaki A](#), Saitoh M, Izumi T, Chiba Y, [Kojima S](#), [Suzuki Y](#). Effect of blood volume change related to intensity of intradialytic aerobic exercise on hemodialysis adequacy: a pilot study. *Int Urol Nephrol.* 2022; 54(6): 1427-1434.
- (90) Shirai N, Yamamoto S, Osawa Y, [Tsubaki A](#), Morishita S, Nitami S, Narita I. Fear of falling and physical activity in hemodialysis patients: a pilot study. *Renal Replacement Therapy.* 2021; 7(1): 1-7.
- (91) Yoshino A, [Otsuru N](#), Okada G, Tanaka K, Yokoyama S, Okamoto Y, Yamawaki S. Brain changes associated with impaired attention function in chronic pain. *Brain Cogn.* 2021; 154: 105806.
- (92) Kimura S, Hosoi M, [Otsuru N](#), Iwasaki M, Matsubara T, Mizuno Y, Nishihara M, Murakami T, Yamazaki R, Ijiri H, Anno K, Watanabe K, Kitamura T, Yamada S. A Novel Exercise Facilitation Method in Combination with Cognitive Behavioral Therapy Using the Ikiiki

- Rehabilitation Notebook for Intractable Chronic Pain: Technical Report and 22 Cases. Healthcare (Basel). 2021; 9(9).
- (93) Fukaya T, Konrad A, [Sato S](#), Kiyono R, [Yahata K](#), Yasaka K, Onuma R, [Yoshida R](#), [Nakamura M](#). Comparison Between Contract-Relax Stretching and Antagonist Contract-Relax Stretching on Gastrocnemius Medialis Passive Properties. *Front Physiol.* 2021; 12: 764792.
- (94) Konrad A, Kasahara K, [Yoshida R](#), [Yahata K](#), [Sato S](#), Murakami Y, Aizawa K, [Nakamura M](#). Relationship between Eccentric-Exercise-Induced Loss in Muscle Function to Muscle Soreness and Tissue Hardness. *Healthcare (Basel).* 2022; 10(1).
- (95) Kassiano W, Costa B, Nunes J P, Antunes M, Kunevaliki G, Castro E S P, Felipe J P, Cyrino L T, Cunha P M, Cyrino E S. Does resistance training promote enough muscular strength increases to move weak older women to better strength categories? *Exp Gerontol.* 2021; 149: 111322.
- (96) Sasaki R, [Miyaguchi S](#), [Onishi H](#). Effect of brain-derived neurotrophic factor gene polymorphisms on motor performance and motor learning: A systematic review and meta-analysis. *Behav Brain Res.* 2022; 420: 113712.
- (97) Sasaki R, [Kojima S](#), [Onishi H](#). Do Brain-Derived Neurotrophic Factor Genetic Polymorphisms Modulate the Efficacy of Motor Cortex Plasticity Induced by Non-invasive Brain Stimulation? A Systematic Review. *Front Hum Neurosci.* 2021; 15: 742373.
- (98) Sasaki R, [Watanabe H](#), [Miyaguchi S](#), [Otsuru N](#), [Ohno K](#), [Sakurai N](#), [Kodama N](#), [Onishi H](#). Contribution of the brain-derived neurotrophic factor and neurometabolites to the motor performance. *Behav Brain Res.* 2021; 412: 113433.
- (99) Pham M V, [Miyaguchi S](#), [Watanabe H](#), [Saito K](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Effect of Repetitive Passive Movement Before Motor Skill Training on Corticospinal Excitability and Motor Learning Depend on BDNF Polymorphisms. *Front Hum Neurosci.* 2021; 15: 621358.
- (100) Sakai S, [Saito K](#), [Kojima S](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Grating orientation task trial numbers for short- and long-term tactile discrimination learning. *J Clin Neurosci.* 2021; 93: 195-199.
- (101) Sato K, [Inoue T](#), Maeda K, Shimizu A, Murotani K, Ueshima J, Ishida Y, Ogawa T, Suenaga M. Early Wearing of Knee-Ankle-Foot Orthosis Improves Functional Prognosis in Patients after Stroke. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2022; 31(3): 106261.
- (102) Sato K, [Inoue T](#), Maeda K, Shimizu A, Ueshima J, Ishida Y, Ogawa T, Suenaga M. Undernutrition at Admission Suppresses Post-Stroke Recovery of Trunk Function. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2022; 31(4): 106354.
- (103) Kidokoro S, [Morishita Y](#). Relationship between impact characteristics and launch direction in softball hitting: A study involving elite players. *PLoS One.* 2021; 16(11): e0260520.
- (104) Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda T, Nakae T, Nishida S, Inano R, [Shibata S](#), Kikuchi T, Arakawa Y, Yoshida K, Ikeda A, Miyamoto S. Effects of propofol on cortico-cortical evoked potentials in the dorsal language white matter pathway. *Clin Neurophysiol.* 2021; 132(8): 1919-1926.
- (105) Inada T, Kobayashi K, Kikuchi T, Matsushashi M, Matsumoto R, Takahashi Y, Nakae T, [Shibata S](#), Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S. Effects of a stable concentration of propofol on interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy. *Epileptic Disord.* 2021; 23(2): 299-312.
- (106) Watanabe T, Mima T, [Shibata S](#), Kirimoto H. Midfrontal theta as moderator between beta oscillations and precision control. *Neuroimage.* 2021; 235: 118022.
- (107) Ikezu M, Kudo S, [Edama M](#), Ueda M, Kubo T, Hirata M, Watanuki M, Takeuchi H, Kaneiwa

- J, Iizuka Y, Hayashi H. Sites of flexor-pronator muscle injury and relationship between ulnar collateral ligament injury and flexor-pronator muscle injury in baseball players: A retrospective cohort study. *J Shoulder Elbow Surg.* 2022.
- (108) Nishida S, Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Yasaka K, Yoshida R, Nosaka K. Relationship between Nordic hamstring strength and maximal voluntary eccentric, concentric and isometric knee flexion torque. *PLoS One.* 2022; 17(2): e0264465.
- (109) Ishida Y, Shimizu A, Maeda K, Murotani K, Inoue T, Ueshima J, Nagano A, Mori N. A Score to Predict Home Discharge for Patients With Stroke in Rehabilitation Units. *J Am Med Dir Assoc.* 2022.
- (110) Konrad A, Nakamura M, Paternoster F K, Tilp M, Behm D G. A comparison of a single bout of stretching or foam rolling on range of motion in healthy adults. *Eur J Appl Physiol.* 2022.
- (111) Konrad A, Bernsteiner D, Reiner M M, Nakamura M, Tilp M. An Intense Warm-Up Does Not Potentiate Performance Before or After a Single Bout of Foam Rolling. *Journal of Sports Science and Medicine.* 2022; 21(2): 145-152.
- (112) Shimizu A, Fujishima I, Maeda K, Murotani K, Ohno T, Nomoto A, Nagami S, Nagano A, Sato K, Ueshima J, Inoue T, Shimizu M, Ishida Y, Kayashita J, Suenaga M, Mori N. Association between food texture levels consumed and the prevalence of malnutrition and sarcopenia in older patients after stroke. *Eur J Clin Nutr.* 2022.
- (113) Fujita M, Yoshimura M, Nakamura M, Hojo T, Fukuoka Y. Anaerobic performance after 3-day consecutive CO₂-rich cold-water immersion in physically active males. *J Exerc Sci Fit.* 2022; 20(2): 148-154.
- (114) Ejiri Y, Uta D, Ota H, Mizumura K, Taguchi T. Nociceptive chemical hypersensitivity in the spinal cord of a rat reserpine-induced fibromyalgia model. *Neurosci Res.* 2022.
- (115) Shimotsu R, Hotta K, Ikegami R, Asamura T, Tabuchi A, Masamoto K, Yagishita K, Poole D C, Kano Y. Vascular permeability of skeletal muscle microvessels in rat arterial ligation model: in vivo analysis using two-photon laser scanning microscopy. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol.* 2021; 320(6): R972-R983.
- (116) Oyanagi K, Kitai T, Yoshimura Y, Yokoi Y, Ohara N, Kohara N, Sakai N, Honda A, Onishi H, Iwata K. Effect of early intensive rehabilitation on the clinical outcomes of patients with acute stroke. *Geriatr Gerontol Int.* 2021; 21(8): 623-628.
- (117) Hoshino F, Inaba H, Edama M, Natsui S, Maruyama S, Omori G. Sleep Quality and Nutrient Intake in Japanese Female University Student-Athletes: A Cross-Sectional Study. *Healthcare (Basel).* 2022; 10(4).
- (118) Nashimoto S, Inoue T, Hotta K, Sugito Y, Iida S, Tsubaki A. The safety of exercise for older patients with severe aortic stenosis undergoing conservative management: A narrative review. *Physiol Rep.* 2022; 10(8): e15272.

2) 国内誌

- (1) 井上達朗, 飯田有輝, 高橋浩平, 白土健吾, 長野文彦, 宮崎慎二郎, 竹内泉, 吉村芳弘, 百崎良, 前田圭介, 若林秀隆. 栄養と理学療法：日本リハビリテーション栄養学会理学療法士部会によるポジションペーパー. *リハビリテーション栄養.* 2021; 2(5): 226-234.
- (2) 井上達朗, 竹内泉, 飯田有輝, 高橋浩平, 長野文彦, 宮崎慎二郎, 白土健吾, 吉村芳弘, 百崎良, 前田圭介, 若林秀隆. 病態別栄養理学療法：日本リハビリテーション栄養学会理学療法士部会によるポジションペーパー. 2021; 2(5): 217-225.
- (3) 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 変形性股関節症の進行を遅延させるためのバイオメカニクス研究. *日本基礎理学療法学雑誌.* 2021; 24(1): 26-32.

- (4) ブラウン章子, 井上達朗, 佐藤圭祐, 大城あゆみ, 尾川貴洋, 末永正機, 前田圭介. 回復期リハビリテーション病棟に入院した高齢脳梗塞患者の発症から入院までの日数と入院時栄養状態, 退院時日常生活動作との関連. *リハビリテーション栄養*. 2021; 2(5): .
- (5) Nguyen Dang Khoa, 徳永由太, 高林知也, 稲井卓真, 久保雅義. 足関節内反捻挫者の膝関節制限による足関節不安定性評価. *バイオメカニズム学会誌*. 2021; 45(4): 245-250.
- (6) 徳永由太, 高林知也, 久保雅義. ハムストリングスが膝関節伸展作用を発揮できる股・膝関節角度条件の同定. *新潟医療福祉学会誌*. 2022; 21(3): 100-107.
- (7) 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. サルコペニアは回復期リハビリテーション病棟での実績指数に影響する. *理学療法学*. 2022; in press.
- (8) 片山広大, 富田望, 二瓶穂香, 高橋徹, 栗原勇人, 芝田純也, 美馬達哉, 大須理英子, 熊野宏昭. 経頭蓋静磁場刺激が自己注目状態時の前頭前野に与える影響の予備的検討. *早稲田大学臨床心理学研究*. 2021; 21(1): 35-41.
- (9) 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 井口啓太, 高橋一哲, 高橋良光, 渡邊博昭, 池上喜久夫, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用マイクロバブルの許容圧力の検討. *超音波検査技術*. 2022; 47(1): 13-21.
- (10) 市川裕代, 佐藤大輔. メディアを用いた運動介入が知的障がい児の生活機能に及ぼす影響. *アダプト・スポーツ科学*. 2022; in press.
- (11) 古谷友希, 田村由馬, 田宮創, 小川将, 北濱真司, 元山猛, 中谷祐己, 安隆則. 2型糖尿病患者における脈波伝播速度に影響する因子の検討. *日本糖尿病理学療法雑誌*. 2022; 1(1): 89-102.
- (12) 高橋治憲, 田村由馬, 工藤玲佳, 須藤誠, 寺島雅人, 鶴見知己, 谷池雄太, 田宮創, 三村大輔, 小倉佳子, 堀江康人, 星合愛, 上野明日香, 安隆則. 透析患者のリハビリテーション参加に関する単施設横断調査. *総合理学療法研究会雑誌*. 2021; 1(2): 26-34.
3. 学会等研究発表
- 1) 国際学会・筆頭
- (1) Kikuchi Y, Ito W, Takabayashi T, Kikumoto T, Kubo M. Does hip internal rotation range affect the center of pressure during crossover cutting? European College of Sport Science, 2021.9.8-9.11.
- (2) Inoue T, Maeda K, Satake S, Matsui Y, Arai H. Osteosarcopenia, the co-existence of osteoporosis and sarcopenia, is associated with social frailty in older adults. 7th Asian conference for sarcopenia and frailty, 2021.10.5-10.6.
- (3) Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. TRPA1 contributes to lengthening contraction-induced muscular mechanical hyperalgesia. The 4th International TRP Meeting (TRP2021) (2020_0915-0917, Hybrid) (オンラインポスター, 英語), 2021.9.15-9.17.
- (4) Ohno K, Sakurai N, Kodama N. Brain metabolic alterations in anxiety disorder: ¹H MRS study. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (23AACRT), 2021.11.12-11.14.
- (5) Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tokunaga Y, Kojima S, Qin W, Onishi H. Cerebral blood volume and oxygen exchange in the prefrontal cortex changes during and after 20-min moderate-intensity cycling exercise. Asia Prevent, 2021.6.19-6.20.
- (6) Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Kojima S, Qin W, Onishi H. Cerebral blood volume and cerebral oxygen exchange in the motor-related area during and after a 20-min moderate-intensity cycling exercise: A near-infrared spectroscopy vector analyses. 48th Annual International Society on Oxygen Transport to Tissue meeting, 2021.7.25-7.30.
- (7) Sakurai N, Ohno K, Kasai S, Kodama N. Elucidation of brain function in the relaxation effect

of ASMR. The 23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists (23AACRT), 2021.11.12-11.14.

(8) Sato D. The aqua-neuroscience and its application in JAPAN. ICEBAT webinar, 2021.6.6.

2) 国際学会・共同

(1) Kuwamizu R, Suwabe K, Damrongthai C, Fukuie T, Ochi G, Hyodo K, Hiraga T, Nagano-Saito A, Soya H. Does dopaminergic function connect the link between aerobic fitness and prefrontal executive function? A combined sEBR-fNIRS study. ViDA 2021, 2021.6.22-6.24.

(2) Katanosaka K, Taguchi T, Takatsu S, Mizumura K, Naruse K, Katanosaka Y. Involvement of transient receptor potential vanilloid 2 (TRPV2) in mechanical nociception of adult mice. The 4th International TRP Meeting (TRP2021), 2021.9.15-9.17.

(3) Ishii Y, Asami T, Sakai W, Hotta K, Morishita S, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Effect of moderate-intensity one-leg pedaling exercise on prefrontal cortex oxygenation and executive function. 3rd International Neuroergonomics Conference, 2021.9.11-9.15.

3) 国内学会・筆頭

(1) 西須一紗, 関根千恵, 林はるな, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. ジャンプヘディングシュート動作における体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2021.11.13-12.6.

(2) 林はるな, 関根千恵, 西須一紗, 平林怜, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 大森豪, 江玉睦明. 質量予測不一致による重量物挙上動作時の体幹筋活動解析. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2021.11.13-12.6.

(3) 山本勘太, 関根千恵, 横田裕丈, 平林怜, 西須一紗, 林はるな, 大森豪, 江玉睦明. 陸上男子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度: 腰痛既往の有無による比較. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2021.11.13-12.6.

(4) 志賀恭介, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 頭頂間溝への経頭蓋直流電流刺激が反応抑制機能に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

(5) 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

(6) 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

(7) 平塚栞, 高林知也, 雪松憂月, 石山晴貴, 渡辺千夏, 菊元孝則, 伊藤涉, 久保雅義. 扁平足者におけるランニング時の足部と下腿間の運動連鎖. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.25.

(8) 西口ほのか, 高林知也, 久保雅義. ランニング時の足部接地パターンの違いが腓腹筋筋活動に与える影響. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.31.

(9) 石山晴貴, 高林知也, 平塚栞, 雪松憂月, 鈴木駿佑, 伊藤涉, 菊元孝則, 久保雅義. 扁平足の arch height flexibility が short foot exercise 中の母趾外転筋筋活動および内側縦アーチ角度に与える影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.

(10) 丸山雄基, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる一定時間の触覚刺激介入が選択反応能力に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

(11) 丸山雄基, 小島翔, 大西秀明. 静的及び動的な触覚刺激介入が触覚刺激の移動方向識別能力に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

(12) 田邊かこ, 小島翔, 大西秀明. 視覚情報の提示条件の違いが Active Touch 介入効果に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

(13) 羽二生未来, 大鶴直史, 長坂和明, 五十嵐眸実, Gomez-Tames Jose, 平田晃正, 大西秀明. 鳥皮質刺激に対する心拍応答変化は, 失感情に関連する. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会,

2021.10.23-10.24.

- (14) 高橋世奈, 大鶴直史, 原正之, 長坂和明, 五十嵐眸実, 大西秀明. 失感情症と偽の内受容フィードバックに対する応答性. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (15) 松下育美, 清水杏菜, 羽入田泰彦, 大滝悠真, 秦偉翔, クタンニ, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 椿淳裕. 一側の断続的なハンドグリップ運動が実行機能及び左右前頭前野の脳酸素化動態及び実行機能に与える影響. 第25回酸素ダイナミクス研究会, 2021.9.25-9.26.
- (16) 南千裕, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真依, 本田優季, 江玉睦明. 3分間の静的ストレッチが神経筋機能とジャンプパフォーマンスに及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (17) 本田優季, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 武田真衣, 南千裕, 江玉睦明. 局所振動刺激が関節運動に及ぼす影響. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (18) 武田真依, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 江玉睦明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 被験者の注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (19) 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (20) 坪野啓, 工藤亮大, 伊藤溪, 大矢多恵, 内山祈, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 江玉睦明. 手指屈筋群の収縮強度の違いが肘外反制動機能に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (21) 内山祈, 江玉睦明, 富樫亮弥, 伊藤溪, 大矢多恵, 工藤亮大, 坪野啓, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 後脛骨筋付着部位のバリエーション. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2022.3.27-3.29.
- (22) 川鍋ゆりか, 横田裕丈, 那須仁世, 高橋穂乃花, 平林愴, 関根千恵, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が痛覚知覚に及ぼす影響-自律神経活動の変調との関連-. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (23) 渡邊拓, 小島翔, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激が一次体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (24) 佐藤成, 吉田麗玖, 八幡薫, Joo Pedro Nunes, Kazunori Nosaka, 中村雅俊. 異なる関節角度における片側の等張性レジスタンストレーニングによる筋肥大・筋力増強およびcross-educationの比較. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (25) 秦偉翔, クタンニ, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 椿淳裕. 40分運動中の前頭前野酸素化ヘモグロビンと呼気終末二酸化炭素分圧との関係. 第25回酸素ダイナミクス研究会, 2021.9.25-9.26.
- (26) 秦偉翔, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, クタンニ, 松橋日和, 椿淳裕. ワーキングメモリ機能が異なる被験者に対する適切な運動時間の検討. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (27) 小島将, 臼井直人, 稲津昭仁, 椿淳裕, 繁竹真人, 千葉康雄, 椿淳裕, 上畑昭美. 維持血液透析患者における腹部の脂肪体十分婦徒然脂肪, 心血管イベントの関連. 第12回透析運動療法研究会, 2021.1.30.
- (28) 五十嵐小雪, 佐藤大輔, 藤本知臣, 江玉睦明, 馬場康博, 山代幸哉. 感覚モダリティによる反応抑制の違い-性差に着目して-. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.19.
- (29) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 長坂和明, 宮口翔太, Jose Gomez-Tames, 平田晃正, 大西秀明. 背外側

- 前頭前野に対する tACS が痛み知覚に及ぼす効果の検討. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (30) 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ランダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (31) 渡邊貴博, 高林知也, 久保雅義. 後足部・中足部・前足部間の coordination variability はランニング立脚期のサブフェーズ間で異なる. 第 21 回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (32) Le Van Thiet, 伊藤渉, 高林知也, 久保雅義. LOWER EXTREMITY MUSCLE CONTRIBUTIONS TO ANTEROPOSTERIOR AND VERTICAL ACCELERATION OF CENTER OF MASS DURING FIRST STANCE IN SPRINTING OF SOCCER PLAYERS. 第 21 回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (33) 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. Coper はランニング時に慢性足関節不安定症を有する者や健常者とは異なる足部内協調性パターンを呈する. 第 27 回日本バイオメカニクス学会大会, 2021.11.6-11.7.
- (34) 神居寧, 小島翔, 大西秀明. 後頭頂葉への経頭蓋直流電気刺激は下肢視覚追従課題の成績を向上させる. 第 51 回日本臨床神経生理学会学術大会, 2021.12.16-12.18.
- (35) 神居寧, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 刺激部位の異なる末梢神経電気刺激が下肢反応時間および脊髄反射に及ぼす影響. 第 27 回脳機能とリハビリテーション研究会 学術集会, 2021.9.18-9.21.
- (36) 堺大輝, 大鶴直史, 長坂和明, 横田裕丈, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 主観的疲労感は運動開始に対する予測的心活動制御と関連する. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (37) クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 森下慎一郎, 椿淳裕. 高強度インターバル運動と中強度持続運動を用いた異なる運動様式間での脳酸素動態と心循環応答の比較. 第 25 回酸素ダイナミクス研究会, 2021.9.25-9.26.
- (38) 松橋日和, 本間友也, 高見健太郎, 西山瑠奈, 堀田一樹, 井上達朗, 森下慎一郎, 秦偉翔, クタンニ, 椿淳裕. 静脈駆血による乳酸濃度の上昇および上肢クランク運動中の呼吸・循環の応答日本心臓リハビリテーション学会. 第 6 回関東甲信越支部地方会, 2021.10.16.
- (39) クタンニ, 秦偉翔, 松橋日和, 堀田一樹, 井上達朗, 田宮創, 池上諒, 椿淳裕. 高強度インターバル運動中の前頭前野における酸素動態の変化: 近赤外分光法による計測日本心臓リハビリテーション学会. 第 6 回関東甲信越支部地方会, 2021.10.16.
- (40) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み感受性増大とその脊髄機構. 第 36 回脳機能とリハビリテーション研究会, 2021.9.18-9.24.
- (41) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスがもたらす痛みとその脊髄機構. 第 26 回日本基礎理学療法学会, 2021.10.23-10.24.
- (42) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットへの化学的痛み刺激による脊髄後角ニューロンの興奮性増大. 第 21 回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (43) 丸山紗永, 関根千恵, 舎川真佑, 横田裕丈, 平林愴, 富樫亮弥, 山田勇輝, 佐藤大輔, 大森豪, 江玉陸明. 月経周期異常を有する女性における関節弛緩性の変化. 第 32 回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (44) Danni Qu, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Cortical oxygenation changes of high-intensity interval exercise versus moderate-intensity continuous exercise. 第 47 回日本微小循環学会総会, 2022.3.19-3.20.
- (45) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. ラット青斑核の電気刺激によって生じる皮質神経活動の電気生理学的特徴. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム, 2021, 2021.9.3-9.5.

- (46) 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる後部島皮質神経活動の電気生理学的特徴－脳卒中後疼痛モデルラットを対象とした研究－. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (47) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質神経活動の時空間的動態の解明－膜電位感受性色素を用いた光学イメージング. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (48) 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 扁桃体中心核の電気刺激によって生じる島皮質神経活動の電気生理学的特徴－脳卒中後疼痛モデルを対象とした研究－. 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム, 2021, 2021.9.3-9.5.
- (49) 鈴木孝昇, 長坂和明, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 青斑核の電気刺激によって生じる大脳皮質の神経応答. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
- (50) 大槻智史, 長坂和明, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛モデルラットにおける扁桃体－島皮質神経回路の神経活動の変化. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
- (51) 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽によって喚起される情動と灰白質容積との関連－Voxel based morphometryを用いた検証－. 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 2021.9.19-9.25.
- (52) 井上達朗, 三栖翔吾, 田中利明, 笈哲也, 垣内優芳, 中馬優樹, 小野玲. 19項目で構成したModified Frailty Indexは大腿骨近位部骨折患者のADLを予測できるか. 第32回兵庫県理学療法学会学術大会 44395
- (53) 井上達朗, 前田圭介, 永野彩乃, 清水昭雄, 上島順子, 室谷健太, 佐藤圭祐, 椿淳裕. 大腿骨近位部骨折患者における低栄養, サルコペニア, フレイルと介入ストラテジー:ナラティブレビュー. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2021.7.21-7.22.
- (54) 井上達朗, 前田圭介, 佐竹昭介, 松井康素, 荒井秀典. オステオサルコペニアと社会的フレイルは横断的に関連する. 第8回サルコペニア・フレイル学会, 2021.11.6-11.7.
- (55) 井上達朗. 誤嚥性肺炎と食べる支援－早期離床・早期リハと誤嚥性肺炎－. 第11回日本リハビリテーション栄養学会, 2021.1.16-1.17.
- (56) 越智元太. 運動によって生じる中枢疲労とそのメカニズム. 日本スポーツ栄養学会第7回大会, 2021.7.3-7.12.
- (57) 越智元太, 藤本知臣, 佐藤大輔. 仮想現実環境 (VR) は運動時の気分を高めるか:VRヘッドセットを用いた予備的検討. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (58) 下門洋文, 山城昌一郎, 市川浩, 下山好充, 仙石泰雄, 高木英樹. スイマー足部周りの流れの可視化. 第49回可視化情報シンポジウム, 2021.9.9-9.11.
- (59) 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 大学陸上短距離選手における仙腸関節障害の頻度調査. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2021.11.13-12.6.
- (60) 関根千恵, 横田裕丈, 平林愴, 山本勘太, 西須一紗, 林はるな, 江玉睦明. 陸上女子短距離選手の体幹筋筋厚と筋輝度:腰痛既往の有無による比較. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (61) 関根千恵, 林はるな, 西須一紗, 平林愴, 横田裕丈, 高林知也, 山本勘太, 江玉睦明. 重量物挙上動作における体幹筋活動解析－体幹筋トレーニングの即時効果検討－. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (62) 宮口翔太, 三本柊士, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳および補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

- (63) 高林知也, 江玉睦明, 徳永由太, 稲井卓真, 久保雅義. 数理モデルを用いたシミュレーション解析による膝蓋大腿関節ストレスの性差. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (64) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 徳永由太, 久保雅義. 膝関節屈曲角度と膝関節伸展モーメントの変化が膝蓋腱張力に与える影響—モデルシミュレーション研究—. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.31.
- (65) 高林知也, 江玉睦明. ランニング中における前額面上の足関節, ショパール関節, リスフラン関節モーメントの違い. 第46回日本足の外科学会学術集会, 2021.11.11-11.12.
- (66) 高林知也. 扁平足におけるランニング中の足部内キネマティクス. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (67) 三瀬貴生, 栗田剛寧, 鎌苅翔平, 阿久澤弘, 押川智貴, 松永直人, 江玉睦明, 大森豪, 金岡恒治. Scapular Dyskinesisが泳動作中の肩甲骨周囲筋活動及び肩甲骨挙動に及ぼす影響. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (68) 芝田純也, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激 (tSMS) の基礎とその可能性. 計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門シンポジウム, 2021 第36回生体・生理工学シンポジウム, 2021.9.3-9.5.
- (69) 芝田純也, 湯川喜裕, 小金丸聡子, 水口雅俊, 下村亮太, 中村一仁, 美馬達哉. 健側半球への低頻度反復経頭蓋磁気刺激は慢性期脳卒中患者の上肢運動機能を改善させる. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (70) Shibata S, Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H, Mima T. Transcranial Static Magnetic Stimulation over the Primary Motor Cortex Increases the Theta Power in Local Spontaneous Electroencephalogram Oscillations. 第44回日本神経科学大会, 2021.7.28-7.31.
- (71) 芝田純也, 渡邊龍憲, 湯川喜裕, 水口雅俊, 下村亮太, 市村幸盛, 桐本光, 美馬達哉. 経頭蓋静磁場刺激による脳波への影響: tSMS-EEG計測によるネットワーク分析. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会, 2021.12.16-12.18.
- (72) 小島翔, 大鶴直史, 宮口翔太, 長坂和明, 齊藤慧, 犬飼康人, 大西秀明. 機械的触覚刺激を用いたPaired Pulse Depressionと二点識別覚機能との関連. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (73) 森下義隆. スポーツ科学とテクノロジーを活用したZ世代の選手育成法—スマートフォンアプリ「nextshot」がフライボール革命を加速させる! 日本野球科学研究会第8回大会, 2021.11.27-11.28.
- (74) 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 池田法子, 古西幸夫, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の麻痺側下肢への荷重効果. 第10回日本支援工学理学療法学会学術大会, 2021.12.4-12.5.
- (75) 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 池田法子, 古西幸夫, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の麻痺側足関節の運動制御機構. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (76) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛の骨格筋における神経成長因子の発現局在. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (77) Ota H, Washizawa L, Hayashi K, Katanosaka Y, Katanosaka K, Kashio M, Tominaga M, Taguchi T, Mizumura K. Involvement of TRPA1 but not TRPV2 in rodent models of lengthening contraction-induced muscular mechanical hyperalgesia. 第44回日本神経科学学会, 2021.7.22-7.24.
- (78) 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋および筋膜における神経成長因子の

- 発現定量. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (79) 太田大樹, 大井理史, 田口徹. 遅発性筋痛発症因子の筋および筋膜における発現変化の部位差. 第14回日本運動器疼痛学会, 2021.11.20-12.5.
- (80) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットにおける機械受容チャンネルTACANの発現増大. 第43回日本疼痛学会, 2021.12.10-12.11.
- (81) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの筋における機械受容チャンネルTmem120Aの発現増大. 第7回日本筋学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (82) 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. ¹H-MRSを用いた不安症状を反映した脳代謝物質変化の検出. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (83) 大野健, 計良妙, 大久保真樹, 渡辺将樹, 松田豪, 五十嵐博中. グリシンCEST-MRイメージング法の開発とアルツハイマー病モデルマウスへの応用. 第64回日本脳循環代謝学会学術集会, 2021.11.12-11.13.
- (84) 中村雅俊, 佐藤成, 吉田麗玖, 八幡薫, Andreas Konrad. フォームローラー介入が腓腹筋筋腱複合体に及ぼす影響の検討—振動付きフォームローラーの有用性の検討—. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (85) 長坂和明, 山本真憂, 川上守, 大槻智史, 大鶴直史, 大西秀明. 脳卒中後疼痛ラットモデルにおける高次運動皮質の薬理的抑制が疼痛様行動に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会(北海道), 2021.10.23-10.24.
- (86) 田宮創. センタリズムの変容にアプローチした理学療法士による糖尿病性腎症への重症化予防. 第8回日本糖尿病療養指導学術集会, 2021.7.24-7.25.
- (87) 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 工藤玲佳, 伴場信之, 星合愛, 安隆則. 糖尿病腎臓病患者における座位行動の変革を加えた新たな運動指導プログラムの開発日本心臓リハビリテーション学会. 第6回関東甲信越支部地方会, 2021.10.16.
- (88) 田口徹. 筋・筋膜性疼痛の特徴とメカニズム. 第55回日本ペインクリニック学会, 2021.7.22-7.24.
- (89) Taguchi T, Ota H, Takebe H. Unchanged nociceptor activities and activated spinal microglia in a rat pain model induced by persistent hindlimb immobilization. 第44回日本神経科学大会, 2021.7.28-7.31.
- (90) 田口徹. 筋・筋膜性疼痛研究の最新トピックス. 新潟リハビリテーション研究会, 2021.9.13.
- (91) 田口徹, 片野坂友紀, 太田大樹, 片野坂公明. 細径線維受容器終末のTRPV2チャンネルを介した機械痛覚の末梢神経機構. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (92) 田口徹. 運動器疼痛の基礎～皮膚の痛みとは似て非なるものなり～. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (93) 田口徹, 太田大樹. 外耳内圧可変装置の開発と安全性の検討. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (94) 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの筋湿重量と神経栄養因子の発現変化. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (95) 田口徹, 若月康次, 片野坂公明, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの下腿筋膜における神経栄養因子の発現変化. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (96) 田口徹, 若月康次, 太田大樹. 線維筋痛症モデルラットの筋侵害受容器応答の電気生理学的解析. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (97) 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. モノアミン枯渇による脊髄後角ニューロンの興奮性増大に対する抗うつ薬の効果. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (98) 田口徹, Ulrich HOHEISEL, Siegfried MENSE. 脊髄後角ニューロンの二重標識による腰部筋侵害受容の脳内投射の可視化. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

- (99) 田口徹, 太田大樹. 筋・筋膜性疼痛研究のアップデート. 第14回日本運動器疼痛学会, 2021.11.20-12.5.
- (100) 田口徹, 太田大樹, 竹部陽菜. 長期ギプス固定による不活動性疼痛モデルラットでは侵害受容器活動は変化せず脊髄ミクログリアが活性化する. 第43回日本疼痛学会, 2021.12.10-12.11.
- (101) 田口徹. 運動による骨格筋の力学的適応(繰り返し効果)におけるヒアルロン酸(糖鎖)の役割. AMED-CREST「メカノバイオロジー機構の解明による革新的医療機器及び医療技術の創出」, 2021年度領域会議, 2022.1.19-1.20.
- (102) Taguchi T, Ota H, Takebe H. Changes in nociceptor activities and dorsal horn microglia in response to persistent hindlimb immobilization in rats. 第99回日本生理学会, 2022.3.16-3.18.
- (103) 平林愔, 武田真衣, 山田勇輝, 本田優季, 南千裕, 関根千恵, 横田裕丈, 大西秀明, 江玉睦明. 末梢刺激による相反性抑制増強法: 注意対象に着目. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (104) 平林愔, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真衣, 本田優季, 南千裕, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が脊髄機能と関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (105) 平林愔, 江玉睦明, 横田裕丈, 関根千恵, 武田真依, 山田勇輝, 大西秀明. 反復他動運動が関節運動機能に及ぼす影響: 注意対象に着目して. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会, 2021.12.16-12.18.
- (106) 北谷亮輔, 梅原潤, 廣野哲也, 山田重人. リズム聴覚刺激を用いた歩行適応の学習効果の促進と保続効果の向上. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (107) 櫻井典子, 田中桃花, 大野健, 笠井聡, 児玉直樹. 甘味と苦味の刺激に対する若者の脳機能の解明. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (108) 太田大樹, 大井理史, 片野坂公明, 田口徹. 伸張性収縮後のラット筋におけるTACANの発現増大. 第99回日本生理学会大会, 2022.3.16-3.18.
- (109) 太田大樹. 遅発性筋痛ラットモデルの筋におけるTmem120AおよびTmem120Bの発現解析. AMEDメカノバイオ令和3年度領域会議, 2022.1.18-1.19.
- (110) 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. 肘尺側側副韌帯横走線維束の肘外反制動機能. JOSKAS/JOSSM meeting, 2021.6.17-6.19.
- (111) 江玉睦明, 高林知也. 胎児を用いたアキレス腱の捻れ構造の検討. 第46回日本足の外科学会学術集会, 2021.11.11-11.12.
- (112) 江玉睦明, 高林知也. 胎児を用いた前距腓韌帯の線維束数の検討. 第46回日本足の外科学会学術集会, 2021.11.11-11.12.
- (113) 江玉睦明, 松澤寛大, 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 松浦由生子, 大森豪. 肘尺側側副韌帯横走線維束の肘外反制動機能. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (114) Ikezu M, Kudo S, Edama M, Hayashi H. MRI Signal Intensity Changes Site of the Flexor-Pronator Muscles in Japanese Baseball Players. JOSKAS/JOSSM meeting, 2021.6.17-6.19.
- (115) 横田裕丈, 江玉睦明, 平林愔, 関根千恵, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす周波数特異的效果. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (116) 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 伊藤渉, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 稲葉洋美, 松浦由生子, 大森豪, 江玉睦明. 経皮的迷走神経刺激が心拍数に及ぼす影響-周波数特異性の検討-. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.12.16-12.18.
- (117) 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 川鍋ゆりか, 那須仁世, 高橋穂乃花, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 江玉睦明, 大西秀明. 経皮的迷走神経刺激による自律神経活動の変調と疼痛抑制効果

- の関連. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
- (118) Ohno K, Kera T, Ohkubo M, Watanabe M, Matsuda T, Igarashi H. GlyCEST: Magnetic Resonance Imaging of Glycine—Normal Distribution in the Brain and Alterations in 5xFAD Mice. 第11回生理解研—霊長研—新潟脳研 合同シンポジウム, 2022.2.17-2.18.
- (119) Tsubaki A, Danni Qu, Tamiya H, Hotta K. Acute hypotension induced by thigh cuff release and cerebral oxygenation change. 第47回日本微小循環学会総会, 2022.3.19-3.20.
- (120) 菊元孝則, 伊藤篤司, 小林真里奈, 若月弘久. 大学生バスケットボール選手における functional movement screen と障害発生との関連性についての検証. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (121) 菊元孝則, 伊藤篤司, 小林真里奈, 若月弘久. functional movement screen と障害発生との関連性についての検証. 第8回日本バスケットボール学会学術大会, 2021.12.18.
- (122) 菊元孝則, 水谷準, 信田純一, 上松大輔. バスケットボール選手における慢性足関節不安定症の病態分類. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.19.
- (123) 菊元孝則, 小林真里奈, 江玉陸明, 伊藤渉, 稲葉洋美, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 平林愔, 関根千恵, 松浦由生子, 久保雅義, 大森豪. バスケットボール選手の足関節靭帯再損傷と荷重位での足関節可動域との関連性. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (124) 菊元孝則, 水谷準, 松田孝史, 八子元気, 岡田洋和, 宮坂大, 近良明. バスケットボール選手に対する大規模アンケートによる足関節捻挫の実態調査. 第34回日本臨床整形外科学会, 2021.10.4-10.29.
- (125) 越智元太. 疲労困憊に至る漸増負荷運動は認知疲労を引き起こすか? ARIHHP フォーラム, 2022, 2022.3.18-3.19.
- (126) Tamiya H, Hoshiai M, Nakatani Y, Yasu T. Short term Effects of the sodium glucose transporter (SGLT) -2 inhibitor Dapagliflozin on hemorheology in type 2 diabetes. 第47回日本微小循環学会総会, 2022.3.19-3.20.
- (127) 田宮創, 田村由馬, 鶴見知己, 中谷祐己, 伴場信之, 星合愛, 安隆則. 糖尿病性腎症の重症化予防における理学療法士としての役割. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2022.3.26-3.27.
- (128) Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Effect of Sepsis on Microvascular Oxygen Pressure in Rat Diaphragm. 第47回日本微小循環学会, 2022.3.19-3.20.
- (129) Hitosugi N, Hotta K, Tamiya H, Tsubaki A. Skeletal muscle interstitial oxygen partial pressure from rest to contractions in the rat cecal ligation and puncture model. 第47回日本微小循環学会, 2022.3.19-3.20.
- (130) Takamizawa R, Hotta K, Hitosugi N, Tamiya H, Tsubaki A. Transcapillary PO₂ gradients in contracting muscles of diabetes. 第47回日本微小循環学会, 2022.3.19-3.20.
- (131) 浅水俊輔, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ストレプトシン投与による糖尿病発症は腎酸素分圧に影響しない—リン光クエンチング法を用いた検討—. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2022.3.26-3.27.
- (132) 三留慶吾, 堀田一樹, 藤井豊, 池上諒, 田宮創, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. ラット骨格筋の毛細血管血流は高濃度酸素の吸入により減少する. 第25回酸素ダイナミクス研究会・第27回医用近赤外線分光法研究会合同開催, 2021.9.25-9.26.
- (133) 小島将, 白井直人, 椿淳裕. 理学療法士の視点から考える医療・職種連携. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2022.3.26-3.27.
- (134) 高橋英明, 高木悠佑. 2型糖尿病モデルラットの脛骨近位端における骨細胞の変化—骨小腔と Sclerostin の組織学的検討—. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (135) 川上紗輝, 犬飼康人, 五十嵐眸実, 渡邊拓, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 小脳への経頭蓋ラ

ンダムノイズ刺激が小脳抑制および皮質脊髄路興奮性に与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.

- (136) 高橋朋弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激が立位姿勢における前庭脊髄機能に及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (137) 高橋ひろな, 犬飼康人, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. 前庭ノイズ電流刺激がファンクショナルリーチテストに及ぼす影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (138) 犬飼康人, 鈴木遥香, 宮口翔太, 大鶴直史, 大西秀明. スラックライントレーニングの即時的効果にnGVGが与える影響. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (139) 犬飼康人. 運動を発現する神経メカニズム. 第19回日本神経理学療法学会学術大会, 2021.12.18-12.19.

4) 国内学会・共同

- (1) 千葉海勝, 山城昌一郎, 奈良梨央, 下門洋文, 市川浩, 下山好充. 平泳ぎキックの動作と流体力の関係. 日本水泳・水中運動学会 2021年次大会, 2021.10.23-10.24.
- (2) 星川慎吾, 山城昌一郎, 奈良梨央, 馬場康博, 下門洋文, 下山好充. 競泳における異なるリレースタートがパフォーマンスに与える影響. 日本水泳・水中運動学会 2021年次大会, 2021.10.23-10.24.
- (3) 山城昌一郎, 下門洋文, 中村雅俊, 三瀬貴生, 下山好充, 千葉海勝, 久光哲也, 星川慎吾. 足関節背底屈の有無によるキックスタートパフォーマンスへの影響. 日本水泳・水中運動学会 2021年次大会, 2021.10.23-10.24.
- (4) 松田滉平, 長坂和明, 加藤隼平, 肥後範行. マカクサル内包梗塞後における運動野の可塑的構造変化: voxel-based morphometry および樹状突起の組織解析による検証. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (5) 益城優芽, 越智元太, 山崎雄大, 桑水隆多, 弘山勉, 征矢英昭. 毛髪コルチゾールを用いた長距離アスリートの慢性ストレス評価: 個人内解析の有用性. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (6) 山崎雄大, 越智元太, 諏訪部和也, 李東旻, 征矢英昭. 低酸素暴露を用いたヒト海馬認知機能疲労モデルの開発: 心理状態が及ぼす影響の検討. 第76回日本体力医学会大会, 2021.9.17-9.30.
- (7) 稲井卓真, 高林知也, 江玉陸明, 久保雅義. 歩行速度と立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスの関係性. 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 2021.10.23-10.24.
- (8) 松田滉平, 長坂和明, 加藤隼平, 肥後範行. Structural plasticity of primary motor and premotor cortices based on voxel-based morphometry and histological analysis of dendritic arborization after internal capsular infarcts in macaque monkeys. 第44回日本神経科学学会, 2021.7.28-7.31.
- (9) 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. ラット前脛骨筋表層および深層での筋線維横断面積の組織学的比較. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (10) 宮原謙一郎, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットの骨格筋における形態変化. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (11) 宮原謙一郎, 坪島功幸, 西条寿夫, 田口徹. トレッドミル運動による線維筋痛症モデルマウスの抑うつ軽減効果. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (12) 稲井卓真, 高林知也, 江玉陸明, 久保雅義. 昇段動作の速度と股関節内・外転モーメントインパルスの関係性. 第9回日本運動器理学療法学会学術大会, 2021.9.11-9.12.
- (13) 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 島田雄輔, 平郡康則. サルコペニアが回復期リハビリテーション病棟入棟患者の実績指数, 入院コストに与える影響. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2021.7.21-7.22.
- (14) 中村純也, 井上達朗, 上田雄也, 内田一彰, 小野玲. 地域在住高齢者におけるフレイルをスクリー

- ニングする反復唾液嚥下試験 (RSST) カットオフ値の検討. 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 2021.7.21-7.22.
- (15) 上島順子, 前田圭介, 清水昭雄, 井上達朗, 室谷健太, 森直治, 佐竹昭介, 松井康素, 荒井秀典. Asian Working Group for Sarcopenia 2019の定義による「サルコペニアの可能性」がサルコペニアを診断する精度. 第8回サルコペニア・フレイル学会, 2021.11.6-11.7.
- (16) 古谷友希, 田村由馬, 田宮創, 寺島雅人, 鶴見知己, 高橋もも, 小川将, 中谷祐己, 北濱眞司, 元山猛, 安隆則. 2型糖尿病患者における動脈硬化の重症度別影響因子の検討. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会,
- (17) 鶴見知己, 田村由馬, 田宮創, 寺島雅人, 竹内真由, 上野明日香, 下山正博, 中谷祐己, 堀江康人, 安隆則. 3か月間の透析中の神経電気刺激による血糖コントロール指標の経時的変化. 日本心臓リハビリテーション学会第6回関東甲信越支部地方会,
- (18) 稲井卓真, 藤本雅大, 高林知也, 小林吉之. 転倒経験の有無が歩行中の前額面上の下肢関節モーメントに与える影響. 第42回バイオメカニズム学術講演会, 2021.11.27-11.28.
- (19) 今井佑大, 高林知也, 菊元孝則, 伊藤渉, 石井健史, 久保雅義. 外反母趾の重症度の違いがランニング動作時の足部内アライメントに及ぼす影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (20) 西村明人, 伊藤渉, 高林知也, 菊元孝則, 久保雅義. ローイング動作における漕距離が腰部の姿勢と腰部伸展筋活動に与える影響について. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (21) 平田萌々花, 伊藤渉, 菊元孝則, 高林知也, 堀田一樹, 久保雅義. 大学生女性アスリートにおける慢性足関節不安定症を有する者とcoperのカットアップ動作中の運動学的特徴の違い. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (22) 内田貴洋, 相馬俊雄, 布施優一, 神田基生, 川上史嗣, 川原誓子, 池田法子, 松下功. 変形性股関節症の人工股関節全置換術施行患者における早期歩行獲得時の股関節回旋運動の変化. 第9回運動器理学療法学会学術大会, 2021.9.11-9.12.
- (23) 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における下肢の筋電図学的解析. 第10回日本支援工理学療法学会学術大会, 2021.12.4-12.5.
- (24) 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における遊脚下肢の筋電図学的検討. 第37回日本義肢装具学会学術大会, 2021.10.16-10.17
- (25) 古西幸夫, 相馬俊雄, 丹保信人. 体幹ベルト付下肢装具歩行における下肢の筋電図学的解析. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
- (26) 内田貴洋, 相馬俊雄, 布施優一, 神田基生, 川上史嗣, 川原誓子, 池田法子, 松下功. 変形性股関節症患者における人工股関節全置換術が歩行早期の股関節回旋運動に及ぼす影響. 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 2021.10.30.
- (27) 津村諒, 高野義隆, 高林知也, 山本智章. 大腿骨近位部骨折術後早期の基本動作能力と退院時歩行能力の関連—Cumulated Ambulation Score (CAS) を用いた検討—. 日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会, 2022.3.4-3.5.
- (28) 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoidが主要臓器に及ぼす影響—小動物を用いた検討—. 第46回日本超音波検査学会, 2021.5.8-5.9.
- (29) 阿部拓也, 藤井豊, 埴晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. Sonazoid投与時の循環動態の変動—ラット造影超音波検査モデルを用いた検討—. 第70回日本医学検査学会, 2021.5.15.
- (30) 阿部拓也, 藤井豊, 渡邊博昭, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤の許容圧力の検討. 第9回日臨技北日本支部医学検査学会, 2021.11.1.
- (31) 阿部拓也, 藤井豊, 川村宏樹, 久保野勝男, 長濱大輔, 渡邊博昭. Flash Glucose monitoring

- systemの動物実験への応用. 第94回新潟県臨床検査学会, 2021.12.4.
- (32) 阿部拓也, 藤井豊. 大学院生視点からの研究室紹介と今後の展望. 第46回日本体外循環技術医学会大会, 2021.10.16.
- (33) 石田優利亜, 清水昭雄, 前田圭介, 室谷健太, 井上達朗, 上島順子, 森直治. 脳卒中患者の自宅退院予測スコアの妥当性の検討. 第24・25回病態栄養学会年次学術集会, 2022.1.28-1.30.
- (34) 上島順子, 前田圭介, 石田優利亜, 清水昭雄, 井上達朗, 野々垣知行, 松山怜実, 山中洋介, 永野彩乃, 森直治. SARC-Fは高齢の急性期病院入院患者の30日死亡リスクを予測する. 第24・25回病態栄養学会年次学術集会, 2022.1.28-1.30.
- (35) Ikezu M, Kudo S, Edama M, Hayashi H. MRI Signal Intensity Changes Site of the Flexor-Pronator Muscles in Japanese Baseball Players. JOSKAS/JOSSM meeting, 2021.6.17-6.19.
- (36) 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手の補食摂取習慣と栄養素等摂取状況. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (37) 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 強化指定クラブ所属大学女子選手における睡眠状況と食習慣との関連. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (38) 池津真大, 工藤慎太郎, 江玉睦明, 植田瑞穂, 久保貴敬, 竹内大樹, 兼岩淳平, 平田正純, 林英俊. 野球選手における肘尺側副韌帯損傷と屈曲回内筋群損傷の関係. 第32回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 2021.11.13-12.6.
- (39) 川村拓実, 伊藤渉, 江玉睦明. タックル姿勢における頭部の位置が肩関節外旋角度に及ぼす影響. 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 2021.12.11-12.12.
- (40) 丸山拓也, 伊藤渉, 三富咲恵, 金子未来, 佐藤俊光, 渡部莉那, 江玉睦明, 山本智章, 大森豪, 富山泰行. スポーツ選手におけるACL再建術後の復帰時のACL-RSIスコアと膝関節屈曲・伸展等速性筋力との関係. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2021.9.4-9.5.
- (41) 齋藤寛代, 小澤祐治, 新山祐貴, 平田萌々花, 小澤哲也, 佐藤隆一, 堀田一樹, 椿淳裕, 山中祐路. ウェアラブル型NIRSを用いた急性期脳卒中患者におけるベッドアップ時の大脳皮質酸素動態変化. 第37回神奈川県理学療法士学会, 2021.11.22-11.29.
- (42) 佐藤隆一, 小澤哲也, 小澤祐治, 大山由廉, 霜田直史, 武井章哲, 椿淳裕, 堀田一樹. 365日リハビリテーション体制に向けた公立病院におけるレジデント制度導入について. 第4回日本理学療法管理研究会学術大会, 2021.12.4-12.5.
- (43) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み感受性増大とその脊髓機構. 第36回脳機能とリハビリテーション研究会, 2021.9.18-9.24.
- (44) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスがもたらす痛みとその脊髓機構. 第26回日本基礎理学療法学会, 2021.10.23-10.24.
- (45) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスモデルラットへの化学的痛み刺激による脊髓後角ニューロンの興奮性増大. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (46) 梅津拓喜, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットにおける脊髓後角ミクログリアの活性化に対するトレッドミル運動の予防効果の検証. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (47) 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルラットの下腿筋膜における遺伝子発現の定量. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (48) 大井理史, 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛モデルにおける機械受容チャンネルTACANの発現. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (49) 萩原拓海, 太田大樹, 田口徹. 線維筋痛症モデルラットに対するトレッドミル運動を用いた筋痛予防効果の行動学的検証. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (50) 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 胸腰部傍脊柱起立筋群における圧痛閾値ヒートマップの作製. 第

21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.

- (51) 花田亘平, 太田大樹, 田口徹. 腰背部への伸張性収縮負荷によるヒト筋・筋膜性腰痛モデルの開発. 第21回新潟医療福祉学会, 2021.10.30.
- (52) 垣内優芳, 井上達朗. 高齢肺炎入院患者の自己排痰可否を判断する咳嗽力の基準値. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 2022.2.19.
- (53) 八木拓磨, 井上達朗, 小川真人, 岡村正嗣, 島田雄輔, 平郡康則, 岡田梨沙, 岩田脩聡. 骨格筋量指数(SMI)は回復期リハビリテーション病棟での実績指数を低下させる. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 2022.2.20.
- (54) 小林光, 井上達朗, 小川真人, 阿部貴文, 田中利明, 垣内優芳. GLIM基準で診断した低栄養は大腿骨近位部骨折患者の急性期の歩行能力を予測するか. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 2022.2.21.
- (55) 白井信行, 井上達朗, 山本卓, 椿淳裕. 血液透析患者における偶発的な転倒と栄養関障の関連: Narrative review. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 2022.2.22.
- (56) 宮本明, 中島活弥, 栗本由美, 南谷さつき, 石川淳, 鈴木裕也, 内田学, 高橋浩平, 小泉千秋, 井上達朗, 森下元賀, 久保高明, 森憲一, 山田実, 吉田剛. 一般会員が栄養・嚥下理学療法の研究を進めるうえで必要としていること~第4回栄養・嚥下理学療法部門研究会アンケート調査より~. 第6回日本栄養・嚥下理学療法研究会, 2022.2.23.
- (57) 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎. 動的バランス機能は血液透析患者の転倒回数と関連する. 第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2022.3.26-3.27.
- (58) 橋本和哉, 岩田健太郎, 稲垣優太, 市瀬裕也, 木村優太, 佐藤大地, 本田明広, 椿淳裕. くも膜下出血患者の早期離床の可否を左右する要因の視覚化. STROKE2022, 2022.3.17-3.20.

4. 学会活動

- (1) Journal of Sports Sciences, 査読委員
- (2) スポーツ科学研究, 査読
- (3) バイオメカニクス研究, 査読
- (4) Gait & Posture, 査読
- (5) Journal of Applied Biomechanics, 査読
- (6) Journal of Biomechanics, 査読
- (7) Journal of Multidisciplinary Healthcare, 査読
- (8) Plos One, 査読
- (9) Sports Biomechanics, 査読
- (10) 日本アスレティックトレーニング学会, 査読
- (11) International Journal of Molecular Sciences, 査読
- (12) Journal of Pain Research, 査読
- (13) Journal of Neuroinflammation, 査読
- (14) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (15) Frontiers in Neuroscience, 査読
- (16) Current Diabetes Reviews, 査読
- (17) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (18) Diagnostics, 査読
- (19) Pain, 査読
- (20) Current Protein & Peptide Science, 査読
- (21) Current Issues in Molecular Biology, 査読
- (22) Journal of Inflammation Research, 査読
- (23) The Open Dentistry Journal, 査読

- (24) Current Alzheimer Research, 査読
- (25) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読委員
- (26) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (27) 日本疼痛学会, 代議員
- (28) 日本生理学会, 評議員
- (29) 第43回日本疼痛学会, 座長
- (30) CNS & Neurological Disorders-Drug Targets, 査読
- (31) Healthcare, 査読
- (32) Life, 査読
- (33) Brain Sciences, 査読
- (34) Current Bioactive Compounds, 査読
- (35) 日本スポーツ理学療法学会, 機関誌委員
- (36) Medical Science Monitor Basic Reaserch, 査読
- (37) 基礎理学療法学, 査読
- (38) 栃木県理学療法士会, 査読
- (39) 日本老年療法学会, 評議員・広報委員
- (40) 日本糖尿病理学療法学会, 評議員・ガイドライン委員会
- (41) Healthcare, 査読
- (42) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (43) 理学療法学, 査読委員
- (44) Physical Therapy Research, 査読委員
- (45) Frontiers in Physiology, 査読
- (46) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (47) 日本循環器理学療法学会, 評議員
- (48) 日本呼吸理学療法学会, 評議員
- (49) 医用近赤外線分光法研究会, 世話人
- (50) Frontier in Human Neuroscience, Review editor
- (51) International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor
- (52) Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer
- (53) 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員長
- (54) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (55) 日本生理人類学会, 査読委員
- (56) Journal of Physiological Anthropology, 査読委員
- (57) Sports Medicine - Open, 査読
- (58) Clinical Biomechacs, 査読
- (59) Frontiers in Sports and Active Living, 査読
- (60) Research Quarterly for Exercise and Sport, 査読
- (61) Plos One, 査読
- (62) BMC Musculoskeletal Disorders, 査読
- (63) Frontier in Neurogy, 査読
- (64) Plos One, 査読
- (65) Frontiers in Physiology, 査読
- (66) Physiotherapy Theory and Practice, 査読
- (67) Frontiers in Rehabilitation Sciences, 査読
- (68) Frontiers in Physiology, 査読

- (69) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (70) Physiotherapy Theory and Practice, 査読
- (71) J Sport Sci & Med, 査読
- (72) Symmetry, 査読
- (73) 理学療法学, 査読
- (74) Journal of Sport Rehabilitation, 査読
- (75) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
- (76) Frontiers in Physiology, 査読
- (77) 日本理学療法士協会・足関節ガイドライン委員会, 班員
- (78) IFSPT コンピテンシー翻訳ワーキンググループ, 班員
- (79) International Journal of Sports and Exercise Medicine, 査読
- (80) Pain, 査読
- (81) Cureus, 査読
- (82) 日本臨床工学技士会, 第6期学術機構運営委員会委員
- (83) 日本体外循環技術医学会, 学術委員会研究推進部会部会員
- (84) 日本人工臓器学会, 評議員, 研究推進部会員
- (85) Membranes, 査読
- (86) Journal of Artificial Organs, 査読
- (87) 日本臨床工学技士会会誌, 査読
- (88) Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
- (89) 日本栄養・嚥下理学療法研究会, 理事
- (90) 日本老年療法学会, 理事, 広報委員長
- (91) 日本臨床栄養代謝学会, 学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人
- (92) 日本リハビリテーション栄養学会, 代議員, 理学療法士部会役員
- (93) 日本骨粗鬆学会, 骨粗鬆症リハビリテーション委員会 委員
- (94) The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle, 査読
- (95) The Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle, 査読
- (96) Progress in Rehabilitation Medicine, 査読
- (97) Journal of General and Family Medicine, 査読
- (98) Geriatrics & Gerontology International, 査読
- (99) 学会誌 JSPEN, 査読
- (100) サルコペニア・フレイル学会誌, 査読
- (101) リハビリテーション栄養, 査読
- (102) 第7回日本予防理学療法学会, 演題査読
- (103) 第6回栄養・嚥下理学療法研究会, 演題査読
- (104) MDPI, 査読
- (105) frontiers in Systems Neuroscience, 査読
- (106) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (107) (一社) 日本スポーツ理学療法学会, 評議員
- (108) (一社) 日本基礎理学療法学会, 評議員
- (109) (一社) 日本基礎理学療法学会, 「理学療法士の超音波画像診断装置使用に関する検討委員会」委員長
- (110) (一社) 日本基礎理学療法学会, 「人体解剖学実習検討委員会」委員
- (111) (一社) 体表解剖学研究会, インストラクター
- (112) 新潟スポーツ理学療法研究会, 副代表

- (113) (一社)新潟県サッカー協会, 医科学委員
- (114) 新潟スポーツ障害フォーラム, 理事
- (115) 足の構造と機能研究会, 理事
- (116) Scientific reports, 査読
- (117) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (118) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (119) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (120) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (121) Journal of Clinical Medicine, 査読
- (122) Anatomical science international, 査読
- (123) Anatomical science international, 査読
- (124) Physical Therapy Research, 査読
- (125) Physical Therapy Research, 査読
- (126) Physical Therapy Research, 査読
- (127) Surgical and Radiologic Anatomy, 査読
- (128) Surgical and Radiologic Anatomy, 査読
- (129) 第9回日本運動器理学療法学会学術大会 演題査読, 査読
- (130) 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会 演題査読, 査読
- (131) 理学療法学, 査読委員
- (132) Journal of Clinical Medicine, Topic Editor
- (133) 基礎理学療法学, 査読
- (134) Journal of rehabilitation and neurosciences, 査読委員
- (135) 脳機能とリハビリテーション研究会, 理事・学術大会実行員副部長
- (136) 脳機能とリハビリテーション研究会, 演題査読
- (137) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (138) Physiotherapy Theory and Practice, 査読
- (139) Journal of Foot and Ankle Research, 査読
- (140) 第21回新潟医療福祉学会学術集会, 実行委員(運営局)
- (141) 日本介護予防・健康づくり学会誌, 査読委員
- (142) Journal of Physiological Anthropology, 査読委員
- (143) International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読委員
- (144) Experimental Brain Research, 査読委員
- (145) 日本介護予防・健康づくり学会, 学術委員
- (146) 日本呼吸理学療法学会誌,
- (147) 日本循環器理学療法学会誌, 編集委員
- (148) Frontiers in Human Neuroscience, section Brain Imaging and Stimulation:, 査読
- (149) 日本基礎理学療法学会, 副理事長
- (150) 日本臨床神経生理学会, 評議員
- (151) 日本生体磁気学会, 評議員
- (152) 全国大学理学療法学会教育学会, 理事長
- (153) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (154) American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 査読
- (155) Behavioural Brain Research, 査読
- (156) Biocell, 査読
- (157) Brain Research, 査読

- (158) Molecular Neurobiology, 査読
- (159) 新潟医療福祉学会誌, 査読
- (160) Pharmaceuticals, 査読
- (161) Recent Patents on Inflammation & Allergy Drug Discovery, 査読
- (162) The Anatomical Record, 査読
- (163) 第26回日本基礎理学療法学会, 演題査読
- (164) 理学療法学, 査読委員
- (165) Physical Therapy Research, 査読委員
- (166) 理学療法学, 査読
- (167) Physical Therapy Research, 査読
- (168) 日本神経理学療法学会, 評議員
- (169) 神経理学療法学会, 編集副委員長
- (170) 神経理学療法学会, 査読
- (171) Brain stimulation, 査読
- (172) Brain stimulation, 査読
- (173) Brain stimulation, 査読
- (174) Brain stimulation, 査読
- (175) Brain topography, 査読
- (176) Experimental Neurology, 査読
- (177) 第26回ペインリハビリテーション学会, 演題査読
- (178) 第25回ペインリハビリテーション学会, 座長
- (179) 第26回日本基礎理学療法学会, プログラム編集委員
- (180) 日本生体磁気学会, 理事
- (181) 日本ペインリハビリテーション学会, 代議員
- (182) 日本運動器疼痛学会, 代議員
- (183) 理学療法学, 査読委員
- (184) Frontiers in human neuroscience誌, review editor
- (185) Frontiers in Physiology誌, review editor
- (186) Frontiers in Pain Research誌, review editor

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- (1) Baseball Geeks ウェビナー, 最新のスポーツ科学で迫る打撃の極意 ホームランを打つための真実, パネリスト, (株)ネクストベース, 野球関係者, オンライン, 2021.5.21.
- (2) zoomセミナー, 足部バイオメカニクス, 講師, 広島国際大学, PT, 大学院生, 学部生, オンライン, 2021.6.22.
- (3) zoomセミナー, 第1回Rのプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, PT, スポーツトレーナー, オンライン, 2021.5.29.
- (4) zoomセミナー, 第2回Rのプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, PT, スポーツトレーナー, オンライン, 2021.7.10.
- (5) zoomセミナー, 第3回Rのプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, PT, スポーツトレーナー, オンライン, 2021.8.7.
- (6) zoomセミナー, 第4回Rのプログラミングを用いた基礎から始めるスポーツ統計学セミナー, 講師, アルクラボ, PT, スポーツトレーナー, オンライン, 2021.8.21.
- (7) 専門理学療法士(基礎理学療法学会)更新セミナー, ヒト対象の基礎的研究(バイオメカニクス研究), 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, e-learning教材,

- (8) COVID-19 ワクチン職域接種, COVID-19 ワクチン職域接種, 医師, 新潟医療福祉大学, 新潟市, 2021.7-8.
- (9) 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 水泳動作におけるスポーツ外傷・障害の発生と予防について, 講師, 日本健康運動指導士会新潟県支部, 健康運動指導士, 新潟市, 2021.6.27.
- (10) 公認水泳コーチ2 (専門科目) 養成講習会, ドライランドトレーニング, 講師, 日本水泳連盟, 水泳コーチ, 京都市, 2021.10.28.
- (11) 専門理学療法士 (基礎理学療法学会) 更新セミナー, 動物実験系の基礎, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, e-learning教材,
- (12) 専門理学療法士 (基礎理学療法学会) 更新セミナー, 遅発性筋痛の基礎研究, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, e-learning教材,
- (13) 西大和リハビリテーション研修会, 高齢骨折患者におけるサルコペニア・フレイルの最新の知見, 講師, 西大和リハビリテーション病院, 医療従事者, オンライン,
- (14) 神戸市立西神戸医療センターNST講演会, サルコペニア・フレイルの最新の知見, 講師, 神戸市立西神戸医療センター, 医療従事者, オンライン,
- (15) 桑名病院リハビリテーション研修会, サルコペニア・フレイルの最新の知見, 講師, 桑名病院, 医療従事者, オンライン,
- (16) 神戸大学大学院保健学研究科 OBセミナー, 老年栄養のcurrent topics, 講師, 神戸大学大学院保健学研究科, 医療従事者, オンライン,
- (17) リハビリテーション栄養 オンラインサロン, 栄養理学療法とは, 講師, 日本リハビリテーション栄養学会, 医療従事者, オンライン,
- (18) フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック, トキめき会, 企画・運営・測定, 慶應義塾大学, 佐渡市民 66名, 佐渡市, 2021.6.11-6.12.
- (19) フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック, トキめき会, 企画・運営・測定, 慶應義塾大学, 佐渡市民 38名, 佐渡市, 2021.9.3-9.4.
- (20) 令和3年度新潟県厚生連言語聴覚士研修会, 嚥下障害や循環器疾患を有する対象者への介入の視点, 講師, 新潟県厚生連, 言語聴覚士, 新潟市, 2021.7.17.
- (21) 日本離床学会 教育セミナー, 慢性腎不全の治療と腎臓リハビリテーション, 講師, 日本離床学会, 医療従事者, オンライン, 2021.4.3.
- (22) 足の外科学会webiner: 足関節背屈制限改善のコツ, 綺麗な足の曲げ方を考える! -機能解剖に基づくアプローチ-, 足関節背屈制限を呈した症例に対する理学療法, パネリスト, 足の外科学会, 医師, 理学療法士, オンライン, 2021.5.12.
- (23) 新潟市社会福祉協議会 高齢者福祉大学, 栄養と運動で伸ばそう健康寿命, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 地域住民, 新潟市, 2021.11.16.
- (24) 医療法人社団六心会 恒星病院講演会, サルコペニア・フレイルの最新の知見, 講師, 神戸市立西神戸医療センター, 医療従事者, オンライン, 2021.12.8.
- (25) 足の外科学会webiner: 足関節背屈制限改善のコツ, 綺麗な足の曲げ方を考える! -機能解剖に基づくアプローチ-, 足関節背屈制限を呈した症例に対する理学療法, SNS (足の外科学会) 記事, 足の外科学会, 医師, 理学療法士, オンライン, 2021.5.12.
- (26) 第29回千葉県臨床工学技士会勉強会 第1部, 研究計画の立て方, 講師, 千葉県臨床工学技士会, 臨床工学技士, オンデマンド, 2021.11.1-11.30.
- (27) 第29回千葉県臨床工学技士会勉強会 第2部, 論文の検索方法と読み方のポイント, 講師, 千葉県臨床工学技士会, 臨床工学技士, オンデマンド, 2021.11.1-11.30.
- (28) 兵庫県介護支援専門員協会 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会 (STEP II) 合同研修会, 栄養とリハビリテーションの基本-NSTでの取り組みを交えて-, 講師, 兵庫県介護支援専門員協会 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会, 医療従事者, オンライン, 2022.2.6.

- (29) 専門理学療法士（基礎理学療法学会）更新セミナー，脳機能イメージング法と痛みの脳内情報処理，講師，日本理学療法士協会，理学療法士，オンライン，2022.1.23.
- (30) 第2回新潟県慢性疼痛研修会，運動療法を知ろう，講師，厚生労働省，医師，療法士，心理士，オンライン，2021.10.24.
- (31) 第26回日本基礎理学療法学会 共催シンポジウム，痛みの多様性を考える，講師，日本基礎理学療法学会，理学療法士，オンライン，2021.11.20-12.5.
- (32) 第14回日本運動器疼痛学会 認知行動療法に基づく「第3世代いきいきリハビリノート」を用いた運動促進法講習会，身体症状への治療と成績，講師，日本運動器疼痛学会，医師，療法士，心理士，オンライン，2021.10.3.
- (33) 畿央大学第1回 痛みのニューロリハビリテーション研究会，ヒトが痛みを経験する脳内メカニズム，講師，畿央大学，療法士，オンライン，2021.7.3.
- (34) 第55回日本作業療法学会 企画セミナー，慢性疼痛患者に対する認知行動療法，講師，日本作業療法士協会，作業療法士，オンライン，2021.9.10.
- (35) 広島大学オンライン公開講座，デジタル時代のリハビリ医療，講師，広島大学，一般の方，オンライン，2022.1.29.
- (36) 日本物理療法学会【JSEARTウェビナー】，疼痛と非侵襲的脳刺激，講師，日本物理療法学会，理学療法士，オンライン，2021.6.18.
- (37) zoomセミナー，筋・腱・靭帯の構造と機能解剖－肘関節編－，講師，WoW Factor & Co，理学療法士，オンライン，2021.4.25.
- (38) 足の外科学会 webiner：足関節背屈制限改善のコツ，綺麗な足の曲げ方を考える！－機能解剖に基づくアプローチ－，足関節背屈制限を呈した症例に対する理学療法，司会，日本足の外科学会，医師，理学療法士，オンライン，2021.5.12.
- (39) 新潟県厚生連理学療法士研修会，肉眼解剖学的見地から紐解く関節可動域制限，講師，新潟県厚生連，理学療法士，新潟市，2021.6.13.
- (40) 秋田県理学療法士会 研修会，下肢の機能解剖に基づいた理学療法，講師，秋田県理学療法士協会，理学療法士，オンライン，2021.7.17.
- (41) 新潟市中体連部活動指導者研修会，新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー，企画・運営，新潟市中体連，中学教諭，新潟市，2021.8.27.
- (42) zoomセミナー，筋・腱・靭帯の構造と機能解剖－足関節編－，講師，WoW Factor & Co，理学療法士，オンライン，2021.9.4.
- (43) 第9回日本運動器理学療法学会 オープニングセミナー，機能解剖学の視点からみた運動器障害，講師，日本運動器理学療法学会，理学療法士，オンライン，2021.9.11.
- (44) encounter オンラインセミナー，The大腿直筋 構造と肉離れの復帰，講師，株式会社 encounter，医師，理学療法士，オンライン，2020.9.25.
- (45) セラピストフォーライフ研修会，解剖学的視点からみたスポーツ障害，講師，一般社団法人 セラピストフォーライフ，理学療法士，オンライン，2021.10.3.
- (46) 第2回体表解剖学研究会，膝関節屈曲可動域制限の追求～解剖学・体表解剖学の知識・技術の応用～，講師，一般社団法人 体表解剖学研究会，理学療法士，オンライン，2021.10.19.
- (47) 第3回体表解剖学研究会，体表解剖学のススメー3つの異なる領域例－，企画・運営，一般社団法人 体表解剖学研究会，理学療法士，オンライン，2021.12.15.
- (48) 第46回日本足の外科学会シンポジウム，アキレス腱の捻れ構造とその機能的役割について，講師，日本足の外科学会，医師，理学療法士，東京都，2021.11.11.
- (49) スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」シンポジウム，次世代型女性ジュニア・アスリートのスポーツ傷害予防に向けて，講師，立命館大学，療法士，一般の方，オンライン，2022.2.12.

- (50) 第12回先進整形外科エコー研究会, 肘関節外側の筋腱構造の解剖学的特徴, 講師, 先進整形外科エコー研究会, 医師, 理学療法士, オンライン, 2022.2.20.
- (51) トレーナー研修会, 機能解剖学的知見から紐解くスポーツ傷害, 講師, (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー岡山県協議会, 理学療法士, アスレティックトレーナー, オンライン, 2022.2.27.
- (52) セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士, オンライン, 2022.3.6.
- (53) セラピストフォーライフ研修会, 膝関節の屈曲制限に対する機能解剖学, 講師, 一般社団法人セラピストフォーライフ, 理学療法士, オンライン, 2022.3.13.
- (54) 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, スペシャルオーラルセッション, 座長, 関東甲信越ブロック理学療法士協会, 理学療法士, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
- (55) 第26回日本基礎理学療法学会学術大会, 一般演題, 座長, 日本基礎理学療法学会学術大会, 理学療法士, オンライン, 2021.10.23-10.24.
- (56) 第8回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 一般演題, 座長, 日本スポーツ理学療法学会学術大会, 理学療法士, オンライン, 2021.12.11-12.12.
- (57) 畿央大学第1回痛みのニューロリハビリテーション研究会, 中枢性脳卒中後疼痛の病態メカニズム—基礎研究からの知見—, 講師, 畿央大学, 療法士, オンライン, 2021.7.3.
- (58) 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 基礎研究と臨床現場を繋ぐオンライン, 企画・運営, 脳機能とリハビリテーション研究会, 医療関係者, 研究者, 大学教員, オンライン, 2021.9.19-9.25.
- (59) 脳機能とリハビリテーション研究会WEB研修会, 脳画像の特徴と読影法を学び, 臨床で活用しよう, 講師, 脳機能とリハビリテーション研究会, 医療関係者, 研究者, 大学教員, オンライン, 2021.12.12.
- (60) 計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2021, シンポジウム オーラルセッション“Neuromodulation”, 座長・オーガナイザー, 計測自動制御学会, 研究者, 大学教員, 大学院生, オンライン, 2021.9.3-9.5.
- (61) 第6回日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越地方会, Liveシンポジウム3 かかりつけ医や介護との連携, 座長, 日本心臓リハビリテーション学会, 研究者, 医療従事者, オンライン, 2021.10.16.
- (62) 新潟県理学療法士会主催技術研修会(循環器)「循環器疾患の理学療法の基礎」, トピックス:腎不全, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, オンライン, 2022.2.23.
- (63) フレイル一次予防を目的とした計測とフィードバック, トキめき会, 企画・運営・測定, 慶應義塾大学, 佐渡市民 50名, 佐渡市, 2021.12.24-12.25.
- (64) 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, ポスターセッション(内部障害系), 座長, 関東甲信越ブロック理学療法士協会, 理学療法士, 新潟市, 2021.9.4-9.5.
- (65) 第19回日本神経理学療法学会 シンポジウム, 経頭蓋磁気刺激(TMS)使用に関するガイドラインと日本基礎・神経理学療法学会としてのステートメン, 講師, 日本神経理学療法学会, 理学療法士, オンライン, 2021.12.18-12.19.
- (66) 第61回近畿理学療法学会学術大会, 体性感覚と皮質活動, 講師, 近畿理学療法学会, 理学療法士, オンライン, 2022.1.16.
- (67) 理学療法と非侵襲的脳刺激に関する小委員会, 有識者招聘会議, 委員, 日本基礎理学療法学会, 理学療法士, オンライン, 2022.3.5.
- (68) 2022 レジデントフォーラム(PT・OT・ST), 社会から求められる専門職育成～レジデント制度は未来に何をもちたかを考える～, 講師, レジデントフォーラム, 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士, オンライン, 2022.3.12.

- (69) 医学書院・座談会，理学療法教育のこれから，討論，医学書院，理学療法士，オンライン，2022.3.19.
- (70) 2021年度日本理学療法士教員協議会，理学療法士教育のターニングポイント～指定規則改正の先を見据えて～，企画・運営・司会，全国大学理学療法学会，理学療法士，オンライン，2022.3.26.
- (71) 専門理学療法士（基礎理学療法学会）更新セミナー，専門理学療法士（基礎理学療法学会）更新e-learningコンテンツ，編集，日本理学療法士協会，理学療法士，
- (72) 2021年度認定必須研修会（基礎），e-learningコンテンツの作成，編集，日本理学療法士協会，理学療法士，オンライン，
- (73) 2021年度認定必須研修会（基礎），オンラインセミナー，講師，日本理学療法士協会，理学療法士，オンライン，2021.8.22.
- (74) 第6回集学的理学療法セミナー，オンラインセミナー，講師，札幌医科大学保健医療学部，理学療法士・作業療法士・言語聴覚士，オンライン，2021.11.19.
- (75) 日本神経理学療法学会 サテライトカンファレンス，オンラインセミナー，司会・パネリスト，日本神経理学療法学会，理学療法士，オンライン，2021.10.3.
- (76) 第19回日本神経理学療法学会，一般演題，座長，日本神経理学療法学会，理学療法士，オンライン，2021.12.18.
- (77) 運動麻痺・痙縮の改善を目的とした脳卒中患者に対する電気刺激療法（基礎編），オンラインセミナー，企画・運営・講師・司会，脳卒中リハビリテーション研究センター，理学療法士・作業療法士，オンライン，2022.2.5.

6. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

- (1) 2019年度，科研費基盤研究（A），知覚学習イノベーション～次世代感覚運動学習法の創出を目指して～，大西秀明，研究代表者.
- (2) 2021年度，科研費基盤研究（B），皮質-基底核ループの抑制機能を高め，技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発，佐藤大輔，研究代表者.
- (3) 2019年度，科研費基盤研究（B），遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証，田口徹，研究代表者.
- (4) 2021年度，科研費基盤研究（B），触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開，小島翔，研究代表者.
- (5) 2019年度，科研費基盤研究（B），慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略，大鶴直史，研究代表者.
- (6) 2020年度，科研費基盤研究（B），酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証，椿淳裕，研究代表者.
- (7) 2021年度，科研費基盤研究（C），マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案，宮口翔太，研究代表者.
- (8) 2020年度，科研費基盤研究（C），地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価，児玉直樹，研究代表者.
- (9) 2020年度，科研費基盤研究（C），遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明，太田大樹，研究代表者.
- (10) 2020年度，科研費基盤研究（C），脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明，相馬俊雄，研究代表者.
- (11) 2019年度，科研費基盤研究（C），アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～，江玉睦明，研究代表者.
- (12) 2021年度，科研費基盤研究（C），扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明，久保雅義，研究代表者.

- (13) 2019年度, 科研費基盤研究 (C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築, 山代幸哉, 研究代表者.
- (14) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明, 久保雅義, 研究代表者.
- (15) 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発, 能村友紀, 研究代表者.
- (16) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 体外式膜型人工肺モデルラットにおける骨格筋収縮時の酸素・循環動態の解明, 堀田一樹, 研究代表者.
- (17) 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 齊藤 慧, 研究代表者.
- (18) 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発, 玉越敬悟, 研究代表者.
- (19) 2021年度, 科研費基盤研究 (C), 痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定, 八坂敏一, 研究代表者.
- (20) 2021年度, 科研費研究活動スタート支援, 座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明, 田宮創, 研究代表者.
- (21) 2020年度, 科研費研究活動スタート支援, 温熱刺激が筋肥大を誘発する新規機構の解明とその応用: 温度感受性チャンネルに着目して, 池上諒, 研究代表者.
- (22) 2021年度, 科研費国際共同研究強化B, 感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価, 児玉直樹, 研究代表者.
- (23) 2019年度, 科研費若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明, 下門洋文, 研究代表者.
- (24) 2019年度, 科研費若手研究, 運動による認知疲労の生理機構解明とそれを抑制するトレーニング法開発, 越智元太, 研究代表者.
- (25) 2020年度, 科研費若手研究, 野球打撃におけるスイング速度と正確性の調整スキルの解明, 森下義隆, 研究代表者.
- (26) 2021年度, 科研費若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者.
- (27) 2020年度, 科研費若手研究, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 高林知也, 研究代表者.
- (28) 2019年度, 科研費若手研究, ストレッチングによる筋スティフネス減少メカニズムの解明, 中村雅俊, 研究代表者.
- (29) 2020年度, 科研費若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 大野健, 研究代表者.
- (30) 2021年度, 科研費若手研究, 視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案, 北谷亮輔, 研究代表者.
- (31) 2020年度, 科研費若手研究, 泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用, 三瀬貴生, 研究代表者.
- (32) 2021年度, 科研費若手研究, 競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明, 関根千恵, 研究代表者.
- (33) 2020年度, 科研費若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 平林怜, 研究代表者.
- (34) 2020年度, 科研費若手研究, 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳-脊髄の可塑性変化の解明, 浅尾章彦, 研究代表者.
- (35) 2020年度, 科研費若手研究, 脳律動の個人特性に合わせた皮質活動の変調が二点識別覚へ及ぼす

- 影響の解明, 横田裕丈, 研究代表者.
- (36) 2020年度, 科研費若手研究, 膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者.
 - (37) 2020年度, 科研費若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立, 長坂和明, 研究代表者.
 - (38) 2021年度, 科研費若手研究, シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用, 芝田純也, 研究代表者.
 - (39) 2020年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響, 犬飼康人, 研究代表者.
 - (40) 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 須田裕紀, 研究代表者.
 - (41) 2020年度, 科研費若手研究, 衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発, 熊崎昌, 研究代表者.
 - (42) 2020年度, 科研費若手研究, 低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明－皮膚温度受容器の役割に着目して－, 藤本知臣, 研究代表者.
 - (43) 2021年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷の評価アルゴリズムの開発, 伊藤渉, 研究代表者.
 - (44) 2020年度, 科研費若手研究, 早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発－関節加速度を用いて－, 鈴木祐介, 研究代表者.
 - (45) 2020年度, 科研費挑戦的研究(開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化, 大西秀明, 研究代表者.
 - (46) 2019年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 佐藤大輔, 研究代表者.
 - (47) 2016年度, AMED, CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 田口徹, 研究代表者.
 - (48) 2021年度, JST, 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム, オープンイノベーション機構連携型研究領域, 人々を軸にあらゆる情報をオープンに活用する基盤「PeOPLe」によるライフノベーションの創出, 堀田一樹, 研究分担者.
 - (49) 2020年度, スポーツ庁, 委託事業, 女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究, 月経周期におけるコンディション不良に対する運動器機能と中枢神経機能からアプローチする新たなトレーニング法・傷害予防法の開発, 江玉睦明, 研究代表者.
 - (50) 2020年度, 厚生労働省, 厚生労働科学研究費, 障害者政策総合研究事業, 障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究, 大西秀明, 研究分担者.

10) 学内における研究助成金の採択状況

(1) 研究奨励金 採択一覧表

①スタート支援研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	井上達朗	理学療法学科	サルコペニアの簡易診断を目指した新しい筋量指標の開発
2	吉田皓文	診療放射線学科	深層学習と多断面再構成法を組み合わせた小児心臓CTの3次元自動認識法の研究
3	櫻井典子	診療放射線学科	個人でストレスリダクションを可能とするASMRレコメンドシステムの開発
4	田宮 創	理学療法学科	交感神経活性化に着目した座りすぎに伴う下肢血管機能障害の機序解明と予防戦略の開発
5	村山 稔	義肢装具自立支援学科	脳卒中片麻痺患者の歩行練習に使用する短下肢装具用膝関節伸展補助具の効果
6	土田千歳	看護学科	ドミニカ共和国の農村部における思春期妊娠の実態調査及び予防戦略の開発
7	柴田篤志	健康スポーツ学科	基礎的ジャンプテストを応用した跳躍競技アスリートにおける特異的な下肢力発揮能力の解明と評価方法の開発
8	阿部拓也	臨床技術学科	共役リノール酸による新たな非アルコール性脂肪肝炎の予防法・治療法の創出 - 脂肪を摂って脂肪を取る -
9	笠井 聡	診療放射線学科	胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および予後予測に関する研究
10	竹内瑞希	健康栄養学科	和風出汁に含まれる旨味物質及びリンの定量 - 透析患者の食事管理からの検討 -
11	五十嵐紀子	社会福祉学科	コロナ禍における医療福祉職のメディア表象分析
12	下窪拓也	健康スポーツ学科	メガスポーツイベントの開催が社会的希望およびナショナリズムに与える影響に関する実証的研究：2021年東京オリンピックを事例として
13	小林真里奈	健康スポーツ学科	バスケットボール競技におけるシュート動作の再現性と世代間での比較
14	藤目智博	作業療法学科	母指CM関節における長母指外転筋による動的支持性について
15	星野美美	健康栄養学科	小学生女子児童のやせ願望、メディア利用状況の実態とその関連における横断研究～若年女性のやせ問題解決の一助となる教育プログラムの提案にむけて～

②基盤形成研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	藤井 豊	臨床技術学科	ECMO患者の酸化ストレスおよび炎症反応抑制に向けた基礎研究 - アスタキサンチンの抗酸化作用に注目して -
2	大山峰生	作業療法学科	効果的な筋再教育方法の構築
3	山本悦史	健康スポーツ学科	プロスポーツにおけるCSV経営の普及に向けた包括的研究
4	多々良俊哉	視機能科学科	視線解析技術の眼科検査への応用展開
5	川上心也	健康栄養学科	個体のエネルギー摂取不足が卵子の発育に与える影響
6	東江由起夫	義肢装具自立支援学科	3Dスキャナ・3Dプリンタを活用した脳血管障害片麻痺者の短下肢装具の実用化研究
7	前田史篤	視機能科学科	大学生におけるスマホ老眼の実態調査と眼の健康を考えたスマートフォン使用に関する社会提言
8	織部祐介	診療放射線学科	動植物を用いた低線量放射線による刺激効果の解明
9	森田邦恵	臨床技術学科	培養細胞上清のExoRNA解析によるメラノーマ新規腫瘍マーカーの探索
10	上田純平	健康スポーツ学科	MIMICモデルを用いたDIF検出による児童青年の抑うつ性の性差の検討
11	生方北斗	視機能科学科	Goldmann視野計検査における視標の軌道と検査結果の関係性について
12	関本道治	視機能科学科	体型に合わせたマンモグラフィ検査における個人平均乳腺線量推定の研究
13	市川 浩	健康スポーツ学科	クロール泳中のキック動作は推進力を発揮することは可能か？

	研究者	所属学科	研究課題
14	木下直彦	医療情報管理学科	新型コロナウイルス患者受入れ病院関係者に対する地域住民の嫌忌行動の社会的分析
15	高橋英明	理学療法学科	力学的過負荷により変形性膝関節症に至る軟骨変性機序の解明
16	大和田均	救急救命学科	救急隊によるポケットフェイスマスクを用いた肺の酸素化と感染のリスクの検証
17	杉本 洋	看護学科	自らのダメさを表現することから生み出される「健康」：分有される自己概念の創造プロセスとしての健康観の構想に向けて
18	澁谷顕一	健康栄養学科	甘いという情動がどのような神経経路で咀嚼時の脳循環を変化させるのか

③ステップアップ研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	動的な触圧覚刺激が一次運動野の興奮性を向上させる神経基盤の解明
2	椿 淳裕	理学療法学科	繰り返す血圧変動によって生じる大脳皮質毛細血管および導管動脈の血流変動の評価と差異の検証
3	大鶴直史	理学療法学科	慢性疼痛に対する新たな遠隔治療戦略 (Tele-CBT) の検証
4	田口 徹	理学療法学科	ストレス誘発性疼痛の神経・分子機構解明と理学療法
5	宮口翔太	理学療法学科	小脳領域のオシレーション変調による新たな運動学習プログラムの考案
6	平林 怜	理学療法学科	脳刺激と末梢刺激のニューロモデュレーション：脊髄機能と運動機能による検討
7	太田大樹	理学療法学科	筋・筋膜性疼痛症候群における筋膜特異的因子の同定と機能解明
8	江玉睦明	理学療法学科	アキレス腱の捻れ構造はいつの時期に形成されるのか？ - 胎児・幼児・児童遺体を用いた解剖学的研究 -
9	佐藤大輔	健康スポーツ学科	他者と協調して共同で活動する能力の可視化とその神経基盤解明 - 共助コーチング学の創生に向けて -
10	菊元孝則	理学療法学科	大規模調査による慢性足関節不安定症の病態に基づいたタイプ分類
11	相馬俊雄	理学療法学科	脳卒中片麻痺者の体幹ベルト付下肢装具歩行における麻痺側下肢の筋緊張抑制作用の持続効果
12	高林知也	理学療法学科	扁平足者の足部筋骨格特性を考慮したランニング中の足部内在筋および足底腱膜負荷の定量化
13	玉越敬悟	理学療法学科	脳卒中早期リハビリテーションの開始時点を決める血液バイオマーカーの開発
14	関根千恵	理学療法学科	スポーツ動作における筋の協調性を視覚化する
15	長坂和明	理学療法学科	意欲と運動を結ぶ脳内リンク-脳幹部意欲中枢と一次運動野の機能的繋がり意義の解明-
16	犬飼康人	理学療法学科	前庭ノイズ電流刺激とバランストレーニングの融合がもたらす相乗効果の検証
17	堀田一樹	理学療法学科	敗血症モデルラットの横隔膜に対する電気刺激中の血流・酸素動態
18	山代幸哉	健康スポーツ学科	経頭蓋ランダムノイズ刺激の脳内作用機序の解明
19	高橋良光	臨床技術学科	透析用カテーテルの内腔数の違いが治療に与える影響 ~ブタの血液と血管を用いた評価と新規選択基準の提案~
20	伊藤 渉	理学療法学科	「切り返し」による膝前十字靭帯損傷の新しいリスクアセスメント法の構築
21	小島 翔	理学療法学科	運動錯覚と触圧覚刺激を組み合わせたアクティブタッチ錯覚による新たな体性感覚機能向上アプローチの開発
22	中村雅俊	理学療法学科	定期的なストレッチング介入においてストレッチング強度は筋の柔軟性変化に重要な要素であるか？
23	横田裕丈	理学療法学科	経皮的迷走神経刺激 (tVNS) と経頭蓋直流電流刺激 (tDCS) の同時適用が痛覚知覚に及ぼす影響の解明
24	池上 諒	理学療法学科	温度感受性チャネルである TRPV1 を標的とした新規筋肥大法の探求：細胞内カルシウムイオン濃度に着目して
25	児玉直樹	診療放射線学科	COVID-19の早期発見と重症化予測を可能にするコンピュータ支援診断システムの開発
26	齊藤 慧	理学療法学科	末梢電気刺激の刺激効果を決定づける個人の脳情報特性の特定

	研究者	所属学科	研究課題
27	浅尾章彦	作業療法学科	反復末梢性磁気刺激による脊髄反射の神経変調の解明：経皮的電気刺激および局所性振動刺激との比較
28	鈴木祐介	理学療法学科	変形性膝関節症患者における股関節外転筋の筋力維持率は、階段昇降能力にどのような影響を及ぼすのか？
29	長谷川晃	診療放射線学科	深層学習による CCTA 画像からの冠動脈低吸収プラークの自動分類
30	郷 貴博	義肢装具自立支援学科	体積が過大な不適合ソケットの定量的判別を目的とした客観的評価指標の確立
31	芝田純也	理学療法学科	脳から始まる運動意思：超低周波交流刺激による自発運動開始の制御
32	佐々木一真	臨床技術学科	時間-周波数解析を用いた維持血液透析患者に関する研究

(2) 学長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	募集なし		

(3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	佐藤大輔	理学療法学科	月経周期による皮質-基底核ループの変動と抑制機能との関係
2	犬飼康人	理学療法学科	小脳に対する経頭蓋ランダムノイズ刺激が運動学習効率に及ぼす効果とその効果メカニズムの解明
3	椿 淳裕	理学療法学科	下肢への骨格筋電気刺激は有酸素運動と同等の大脳皮質の活性化および認知機能の改善をもたらすか？
4	戸田春男	視機能科学科	Goldmann 視野計検査練習用シミュレーションシステム実習中の生理学的指標の検討
5	大鶴直史	理学療法学科	高精度脳内電界シミュレーションによる tACS の鎮痛効果向上戦略
6	椿 淳裕	理学療法学科	くも膜下出血患者の座位開始に関連する因子の検討
7	江玉陸明	理学療法学科	月経周期異常の女性アスリートにおける関節弛緩性の周期的変化
8	大鶴直史	理学療法学科	感覚情報の判別能力を向上させる非侵襲的脳刺激効果の細胞メカニズムの解明
9	椿 淳裕	理学療法学科	無症候性および症候性の透析関連低血圧発生時の局所脳酸素飽和度の変化と血圧・循環動態の関連
10	椿 淳裕	理学療法学科	回復期病棟入院の脳卒中患者において、睡眠の質は身体機能改善に役立つのか

(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
1	青木 茂	社会福祉学科	研究助成金	児童健全育成推進財団
2	浅尾章彦	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
3	安達哲浩	救急救命学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
4	荒川大靖	社会福祉学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
5	伊藤 涉	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
6	犬飼康人	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
7	今西里佳	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
8	岩森 大	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
9	鵜瀬亮一	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
10	宇田優子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
11	内山 信	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
12	大石如香	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
13	太田大樹	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
14	大野 健	診療放射線学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
15	大松健太郎	救急救命学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
16	越智元太	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
17	織部祐介	診療放射線学科	科研費国際共同研究加速基金 研究分担者	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
18	神蔵貴久	救急救命学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
19	川村宏樹	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
20	神田 賢	義肢装具自立支援 学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
21	菊元孝則	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
22	北上守俊	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
23	北谷亮輔	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
24	杵渕洋美	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
25	久保雅義	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
26	熊崎 昌	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
27	栞原 桂	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
28	郷 貴博	義肢装具自立支援 学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
29	齊藤 慧	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
30	斎藤トシ子	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
31	佐近慎平	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
32	佐々木一真	臨床技術学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
33	佐藤晶子	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
34	佐藤郁美	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
35	佐藤敏郎	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
36	芝田純也	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
37	下門洋文	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
38	鈴木健司	医療情報管理学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
39	鈴木祐介	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
40	須田裕紀	義肢装具自立支援 学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
41	関根千恵	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
42	相馬俊雄	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
43	外川 佑	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
44	高橋良光	臨床技術学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
45	高林知也	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
46	多々良俊哉	視機能科学科	研究助成金 研究代表者	永井エヌ・エヌ知覚科学振興財 団
47	谷賢太郎	医療情報管理学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
48	玉越敬悟	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
49	田村俊暁	言語聴覚学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
50	寺田貴美代	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
51	戸田春男	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
52	中井良育	社会福祉学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
53	永井 徹	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
54	長坂和明	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本透析医会
55	奈良梨央	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
56	能村友紀	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
57	萩原康雄	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
58	長谷川晃	診療放射線学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
59	塙 晴雄	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
60	原口彩子	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
61	針谷美智子	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
62	平林 怜	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
63	藤井 豊	臨床技術学科	AMED-CREST 研究分担者	日本医療研究開発機構
64	藤本知臣	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
65	前田 雄	義肢装具自立支援 学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
66	増田紘之	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
67	松浦由生子	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
68	丸田秋男	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
69	三瀬貴生	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
70	宮口翔太	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	(株)ライト製作所
71	村田憲章	視機能科学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
72	山口典子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
73	山崎貴子	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
74	山代幸哉	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
75	横田裕丈	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
76	吉松 梓	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
77	若井由梨	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
78	和田直子	看護学科	科研費研究活動スタート支援 研究代表者	日本学術振興会
79	渡辺洋子	社会福祉学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
80	池上 諒	理学療法学科	科研費研究活動スタート支援 研究助成金	日本学術振興会 日本健康開発財団
81	石井雅子	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者 めがねのまち眼育推進事業	日本学術振興会 福井県鯖江市
82	江玉陸明	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者 令和3年度「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」	日本学術振興会 スポーツ庁
83	大鶴直史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 研究分担者	日本学術振興会
84	大西秀明	理学療法学科	科研費基盤研究 (A) 研究代表者	日本学術振興会
			科研挑戦的研究 (開拓) 研究代表者	日本学術振興会
			科研挑戦的研究 (開拓) 研究代表者	日本学術振興会
			科研挑戦的研究 (萌芽) 研究分担者	日本学術振興会
			厚労科研費 研究分担者	厚生労働省
85	大森 豪	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			共同研究契約	ヨネックス(株)
86	越中敬一	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			共同研究契約	日本新薬(株)
87	小島 翔	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			研究助成金	立石科学技術振興財団
88	児玉直樹	診療放射線学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A)	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B)	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
			受託研究契約	くりもと歯科医院
89	佐宗亜衣子	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
90	佐藤大輔	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
91	佐藤成登志	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			委託事業契約	新潟県
82	佐藤裕紀	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
93	澤田純明	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究 (萌芽) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費国際共同研究加速基金 研究代表者	日本学術振興会
			科研費学術変革領域研究 (A) 研究分担者	日本学術振興会
94	杉崎弘周	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
95	田口 徹	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			AMED-CREST	日本医療研究開発機構
96	椿 淳裕	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)地球快適化インスティテュート
97	中村雅俊	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
			受託研究契約	(株)インディバ・ジャパン
			受託研究契約	(株)ドリームファクトリー
			受託研究契約	岩谷産業(株)
98	奈良貴史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	群馬県埋蔵文化財調査事業団
99	西原康行	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
100	能登真一	作業療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			寄附金	クレコンメディカルアセスメント(株)
101	堀田一樹	理学療法学科	科研費基盤研究 (C)	日本学術振興会
			OPERA 事業	JST
102	増田 修	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
103	森下義隆	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (S) 研究分担者	日本学術振興会
104	八坂敏一	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (S) 研究分担者	日本学術振興会
105	吉田重和	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
106	渡邊敏文	社会福祉学科	受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟市
107	渡辺優奈	健康栄養学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)ナチュラルサイエンス

11) 外部資金の獲得状況

(1) 文部科学省及び日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表

(円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2018	2021	基盤研究 (B)	杉崎弘周	インクルーシブながん教育実現のための総合的研究	17,160,000
2	2018	2021	若手研究	間宮靖幸	DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討	4,030,000
3	2019	2023	基盤研究 (A)	大西秀明	知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-	44,200,000
4	2019	2021	基盤研究 (B)	西原康行	VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発	15,600,000
5	2019	2021	基盤研究 (B)	田口 徹	遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証	17,940,000
6	2019	2022	基盤研究 (B)	大鶴直史	慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	17,030,000
7	2019	2022	基盤研究 (C)	寺田貴美代	多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発	4,420,000
8	2019	2021	基盤研究 (C)	栗原 桂	新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査	4,420,000
9	2019	2021	基盤研究 (C)	大森 豪	変形性膝関節症の病態解明-長期疫学および新しい運動学的アプローチ	4,030,000
10	2019	2022	基盤研究 (C)	戸田春男	ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善	4,290,000
11	2019	2021	基盤研究 (C)	埴 晴雄	サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与える影響の検証	4,160,000
12	2019	2021	基盤研究 (C)	江玉睦明	アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~	4,160,000
13	2019	2021	基盤研究 (C)	神田 賢	骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立	4,420,000
14	2019	2021	基盤研究 (C)	山代幸哉	アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築	4,160,000
15	2019	2021	基盤研究 (C)	佐藤晶子	短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響	2,470,000
16	2019	2021	基盤研究 (C)	越中敬一	組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討	4,290,000
17	2019	2022	基盤研究 (C)	岩森 大	とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究	4,290,000
18	2019	2021	挑戦的 研究 (萌芽)	佐藤大輔	水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発	6,240,000
19	2019	2021	若手研究	萩原康雄	再考：海と山の縄文人 -四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する-	4,160,000
20	2019	2023	若手研究	若井由梨	「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導プログラムの考案	3,900,000
21	2019	2022	若手研究	大松健太郎	AR(拡張現実)技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発	3,380,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
22	2019	2021	若手研究	中村雅俊	ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明	4,160,000
23	2019	2021	若手研究	馬場康博	オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の確立とレース分析法への応用	4,160,000
24	2019	2021	若手研究	下門洋文	泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明	4,290,000
25	2019	2021	若手研究	針谷美智子	小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の開発	2,730,000
26	2019	2021	若手研究	須田裕紀	義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化	4,030,000
27	2019	2021	若手研究	越智元太	運動による認知疲労の生理機構解明とそれを抑制するトレーニング法開発	4,290,000
28	2020	2023	基盤研究(B)	澤田純明	日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する	17,550,000
29	2020	2023	基盤研究(B)	奈良貴史	長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討	17,550,000
30	2020	2023	基盤研究(B)	佐宗亜衣子	縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明	17,810,000
31	2020	2023	基盤研究(B)	椿 淳裕	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	17,940,000
32	2020	2022	基盤研究(C)	吉田重和	比較教育研究における ISCED 活用の可能性―日蘭の職業教育プログラムを事例として	1,690,000
33	2020	2023	基盤研究(C)	斎藤トシ子	加齢性疾患・フレイル予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究10年後追跡	4,420,000
34	2020	2022	基盤研究(C)	山口典子	男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態	4,420,000
35	2020	2022	基盤研究(C)	児玉直樹	地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価	4,160,000
36	2020	2023	基盤研究(C)	宇田優子	外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 -神経難病患者対象-	3,770,000
37	2020	2022	基盤研究(C)	佐藤成登志	看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証	4,290,000
38	2020	2023	基盤研究(C)	内山 信	難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討	3,900,000
39	2020	2022	基盤研究(C)	相馬俊雄	脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明	4,290,000
40	2020	2022	基盤研究(C)	齊藤 慧	知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発	4,290,000
41	2020	2022	基盤研究(C)	太田大樹	遅発性筋痛における機械感受性イオンチャンネルの役割の解明	4,420,000
42	2020	2022	基盤研究(C)	玉越敬悟	脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発	4,290,000
43	2020	2022	基盤研究(C)	能村友紀	非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発	4,290,000
44	2020	2023	基盤研究(C)	佐藤敏郎	運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態、履物、関節痛との関係	4,160,000
45	2020	2022	基盤研究(C)	池田祐介	水中ドルフィンキックのための専門的技術トレーニング法の開発	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
46	2020	2022	基盤研究 (C)	吉松 梓	多様なニーズを対象とした自然体験活動の効果の可視化とモデルプログラムの開発	4,290,000
47	2020	2022	基盤研究 (C)	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明	4,290,000
48	2020	2023	挑戦的 研究 (開拓)	大西秀明	小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化	25,740,000
49	2020	2024	国際共同 研究加速 基金(国 際共同研 究強化 (B))	澤田純明	東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明	18,850,000
50	2020	2022	若手研究	鵜瀬亮一	VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み	3,380,000
51	2020	2022	若手研究	大野 健	化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発	3,380,000
52	2020	2022	若手研究	神藏貴久	救命のために努力をしてくれた人を救える社会に ～損害補償の実態と動向～	4,160,000
53	2020	2021	若手研究	菊元孝則	膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明	4,160,000
54	2020	2023	若手研究	田村俊暁	時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発	4,030,000
55	2020	2023	若手研究	北上守俊	高次脳機能障害者に対する科学的根拠に基づいた就労支援プログラムの開発	4,160,000
56	2020	2022	若手研究	鈴木祐介	早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発-関節加速度を用いて-	4,290,000
57	2020	2022	若手研究	長坂和明	島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立	3,770,000
58	2020	2022	若手研究	犬飼康人	小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響	4,160,000
59	2020	2022	若手研究	浅尾章彦	反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳-脊髄の可塑的変化の解明	4,160,000
60	2020	2021	若手研究	横田裕丈	脳律動の個人特性に合わせた皮質活動の変調が二点識別覚へ及ぼす影響の解明	4,160,000
61	2020	2021	若手研究	高林知也	RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明	4,160,000
62	2020	2021	若手研究	平林 怜	反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発	4,160,000
63	2020	2022	若手研究	熊崎 昌	衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発	4,290,000
64	2020	2022	若手研究	三瀬貴生	泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用	4,160,000
65	2020	2022	若手研究	奈良梨央	背泳ぎスタートパフォーマンス向上のためのフィードバックシステムの構築	3,640,000
66	2020	2022	若手研究	渡辺優奈	妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に着目して～	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
67	2020	2022	若手研究	長谷川晃	虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発	4,160,000
68	2020	2022	若手研究	藤本知臣	低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明-皮膚温度受容器の役割に着目して-	4,160,000
69	2020	2023	若手研究	松浦由生子	競泳選手の肩関節障害の発生要因の解明	4,160,000
70	2020	2021	若手研究	森下義隆	野球打撃におけるスイング速度と正確性の調整スキルの解明	3,770,000
71	2020	2021	研究活動 スタート 支援	和田直子	子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明-新たな支援モデルの提唱に向けて	2,600,000
72	2020	2021	研究活動 スタート 支援	池上 諒	温熱刺激が筋肥大を誘発する新規機構の解明とその応用: 温度感受性チャンネルに着目して	2,860,000
73	2021	2023	基盤研究 (B)	村田憲章	弱視発見率の向上に関する研究: 視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生	13,520,000
74	2021	2024	基盤研究 (B)	能登真一	健康状態の選好形成に影響を与える心理的概念の研究	16,640,000
75	2021	2024	基盤研究 (B)	小島 翔	触圧覚刺激に対する皮質応答および個人差の解明と脳卒中リハビリテーションへの展開	17,030,000
76	2021	2024	基盤研究 (B)	佐藤大輔	皮質-基底核ループの抑制機能を高め、技能定着を促進する運動学習パラダイムの開発	17,680,000
77	2021	2023	基盤研究 (C)	丸田秋男	地域福祉計画は福祉分野の上位計画として機能するか-政令指定都市の検証から-	1,430,000
78	2021	2025	基盤研究 (C)	山崎貴子	給食施設での栄養評価のためのデータ構築: 調理による成分変化と成分表計算値との比較	4,290,000
79	2021	2023	基盤研究 (C)	杵渕洋美	子どもの高齢者理解を深める福祉教育プログラムの開発と学校教育現場への応用	4,160,000
80	2021	2025	基盤研究 (C)	荒川大靖	地域における健全育成の環境づくりに対する移動児童館活動の効果に関する研究	3,900,000
81	2021	2023	基盤研究 (C)	石井雅子	子どもの視力低下のメカニズムを解明-近視抑制法の探索-	4,030,000
82	2021	2023	基盤研究 (C)	佐近慎平	幼児の転倒時に手をつき顔を守る動作学習のための保育者の四つ這い位運動指導法開発	3,900,000
83	2021	2023	基盤研究 (C)	安達哲浩	VRを活用した臨地実習前メディア授業教材の製作	4,160,000
84	2021	2023	基盤研究 (C)	原口彩子	「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討	2,990,000
85	2021	2023	基盤研究 (C)	川村宏樹	多発性骨髄腫患者にて分子標的薬ゲラツムマブによる輸血検査偽陽性の新規回避法の確立	4,160,000
86	2021	2023	基盤研究 (C)	八坂敏一	痛みと痒みのラベルドライン神経回路における脊髄後角モジュールの同定	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
87	2021	2023	基盤研究 (C)	鈴木健司	COVID-19が日本の非正規雇用者のメンタルヘルスにもたらしたインパクトの解明	4,160,000
88	2021	2023	基盤研究 (C)	佐藤郁美	出産準備教室における乳児応急手当教育システムの開発と有効性の検証	4,030,000
89	2021	2023	基盤研究 (C)	堀田一樹	体外式膜型人工肺モデルラットにおける骨格筋収縮時の酸素・循環動態の解明	4,160,000
90	2021	2024	基盤研究 (C)	大石如香	認知症早期診断のための質感認知障害と物体認知障害の関係性および神経基盤の解明	4,160,000
91	2021	2023	基盤研究 (C)	宮口翔太	マイクロオフライン学習の強化による新たな運動学習プログラムの考案	4,160,000
92	2021	2024	基盤研究 (C)	久保雅義	扁平足のタイプ別に基づく足部ランニング障害の発生機序と治療法の解明	4,160,000
93	2021	2023	基盤研究 (C)	増田紘之	代謝伝達物質としての乳酸から見えてきた、活動筋-交感神経フィードバック神経回路	4,160,000
94	2021	2024	基盤研究 (C)	永井 徹	サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究	4,160,000
95	2021	2025	基盤研究 (C)	外川 佑	リモート実車評価システムと患者教育・療法士育成プラットフォームの構築	4,290,000
96	2021	2024	基盤研究 (C)	前田 雄	3Dプリンタへ応用する脳卒中片麻痺者の評価用短下肢装具に関する研究	4,030,000
97	2021	2024	基盤研究 (C)	郷 貴博	下腿義足ソケットの快適性向上を目指した3D-CADによるソケット設計手法の確立	3,640,000
98	2021	2023	基盤研究 (C)	今西里佳	地域在住高齢者の排泄改善プログラムの効果検証-介護予防・転倒予防を目指して-	4,160,000
99	2021	2023	挑戦的 研究 (萌芽)	杉崎弘周	ストレス対処の技能に関する教育プログラムの開発と評価	6,370,000
100	2021	2023	挑戦的 研究 (萌芽)	能登真一	AIソフトを用いた認知症予防のための遠隔リハビリテーション技術の開発	6,370,000
101	2021	2024	国際共同 研究加速 基金(国 際共同研 究強化 (B))	児玉直樹	感染性呼吸器疾患の予後予測を可能にするトリアージ型診断支援システムの開発と評価	19,110,000
102	2021	2023	若手研究	中井良育	医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保に関する研究	2,730,000
103	2021	2024	若手研究	伊藤さゆり	本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の開発	4,680,000
104	2021	2022	若手研究	関根千恵	競技スポーツ選手の仙腸関節性腰痛の発生機序解明	4,680,000
105	2021	2023	若手研究	伊藤 渉	「切り返し」によるACL損傷の評価アルゴリズムの開発	4,550,000
106	2021	2024	若手研究	谷賢太郎	六点入力方式を利用したモバイル端末向け新型入力装置の開発	4,550,000
107	2021	2022	若手研究	高橋良光	透析用カテーテルの機能不全を防止する自動制御装置の開発	4,550,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
108	2021	2023	若手研究	佐々木一真	透析患者のシャント音を用いたバスキュラーアクセス機能評価に関する研究	4,680,000
109	2021	2024	若手研究	渡邊洋子	特別養護老人ホームで最期を迎えた入居者へのEOLケア理論生成に関する研究	2,730,000
110	2021	2023	若手研究	北谷亮輔	視覚変位状態での姿勢制御時の分配性注意機能の解明と半側空間無視への介入手段の考案	4,680,000
111	2021	2024	若手研究	芝田純也	シン磁場刺激を実装したマルチモーダルアプローチによるヒト脳可塑性の解明と応用	4,680,000
112	2021	2022	研究活動 スタート 支援	田宮 創	座位時間の延長に伴う毛細血管および導管動脈の機能変化と機序解明	3,120,000
113	2021	2022	研究活動 スタート 支援	渡辺 恵	DV児童虐待被害母子への効果的支援とは何か。母子生活支援施設入所からの検討	1,170,000
114	2021	2022	研究活動 スタート 支援	笠井 聡	胸部単純X線画像を用いた肺年齢推定によるCOPDの早期検出および患者介入の実現	2,860,000

(2) 厚生労働科学研究費補助金 採択一覧表
該当なし

(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧

令和3年度

(金額単位：千円)

	大学名	件数	直接費	間接費	合計
1	新潟大学	785	1,248,760	374,628	1,623,388
2	長岡技術科学大学	109	294,000	88,200	382,200
3	新潟医療福祉大学	114	173,200	51,960	225,160
4	上越教育大学	53	78,900	23,670	102,570
5	新潟県立大学	25	25,000	7,500	32,500
6	新潟工科大学	12	19,900	5,970	25,870
7	新潟薬科大学	16	19,600	5,880	25,480
8	新潟県立看護大学	16	15,200	4,560	19,760
9	新潟食料農業大学	6	14,900	4,470	19,370
10	新潟青陵大学	8	7,700	2,310	10,010
11	長岡造形大学	5	7,400	2,220	9,620
12	新潟国際情報大学	9	6,900	2,070	8,970
13	国際大学	9	6,000	1,800	7,800
14	開志専門職大学	4	4,300	1,290	5,590
15	新潟経営大学	4	2,800	840	3,640
16	日本歯科大学新潟短期大学	2	1,700	510	2,210

	大 学 名	件数	直接費	間接費	合計
17	新潟産業大学	1	1,700	510	2,210
18	敬和学園大学	3	1,100	330	1,430
19	新潟リハビリテーション大学	1	1,000	300	1,300
20	長岡崇徳大学	1	800	240	1,040
21	事業創造大学院大学	1	700	210	910

12) 新潟医療福祉学会

- ・ 会員数と構成（2022年3月31日現在）

会員数 357名

- ・ 学会誌の発行（和文誌・英文誌）

2021年10月 新潟医療福祉学会誌・和文誌第21巻第1号（第21回新潟医療福祉学会学術集会特集）

2021年11月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第21巻第2号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第21巻第1号

2022年3月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第21巻第3号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第21巻第2号

- ・ 学術集会の開催

第21回新潟医療福祉学会学術集会

開催日：2021年10月30日（土）

開催方式：Webおよび誌上開催

大会長：新潟医療福祉大学リハビリテーション学部長 大西秀明教授

概要：主要テーマ「チーム医療・多職種連携に求められる人材育成と医工連携」として、特別講演およびシンポジウムの他、一般演題126題の研究発表等が行われた。

- ・ 評議委員会、総会の開催

評議委員会 開催日：2021年6月23日（水）

会場：Zoomによるオンライン開催

総会 開催日：2021年10月30日（土）

会場：Teamsによるオンライン開催

8. 図書館

- 1) 蔵書数※ 139,774点
 2) 年間受入冊数※ 5,773点
 3) 利用状況
 (1) 開館日数 295日
 (2) 開館時間 2,902時間
 (3) 入館者数 81,002人
 (4) 貸出冊数 19,344冊
 4) データ推移
 (1) 蔵書データ

	図書			視聴覚 資料	雑誌			電子ジャーナル※※	
	蔵書数	和書	洋書		種数	和雑誌	洋雑誌	種数	うち国外
2016年	111,002	98,519	10,038	2,445	1,389	1,126	263	7,105	5,844
2017年	117,595	104,803	10,251	2,541	1,422	1,157	265	7,191	5,883
2018年	121,749	111,132	10,617	2,593	1,435	1,168	267	8,518	7,068
2019年	129,137	118,292	10,845	2,753	1,448	1,181	267	8,536	7,086
2020年	131,610	120,557	11,053	2,879	1,459	1,192	267	8,732	7,163
2021年	136,802	125,622	11,180	2,972	1,472	1,205	267	7,397	6,122

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼	複写受付	学外者 ※※※
	日	人	冊	件	件	人
2016年	290	215,938	38,399	1,158	1,508	899
2017年	310	255,396	39,006	1,099	1,343	756
2018年	306	268,078	42,879	1,088	1,207	1,124
2019年	305	247,326	41,330	922	974	1,054
2020年	234	47,357	13,950	671	613	60
2021年	295	81,302	19,344	764	841	132

※視聴覚資料数含む

※※購読契約電子ジャーナル種数

※※※一般学外者の入館者数

9. 学生関係

1) 収容定員

(1) 学部

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	—	480名
	作業療法学科	50名	—	200名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
	義肢装具自立支援学科	40名	—	160名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	—	400名
	視機能科学科	50名	—	200名
	救急救命学科	55名	—	220名
	診療放射線学科	90名	—	360名
健康科学部	健康栄養学科	40名	—	160名
	健康スポーツ学科	250名	5名	910名
看護学部	看護学科	107名	3名	434名
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	5名	490名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	5名	330名
合 計		1,142名	18名	4,504名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	収容定員
医療福祉学 研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	42名
			作業療法学分野		
			言語聴覚学分野		
			義肢装具自立支援学分野		
			医療技術安全管理学分野		
			視覚科学分野		
		救急救命学分野			
		健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	20名
			健康スポーツ学分野		
			看護学分野		
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	10名
			保健医療福祉マネジメント学分野		
	医療情報・ 経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	8名	
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10名	30名	
合 計				50名	110名

2) 入試広報活動

(1) 学部

オープンキャンパスの開催

期日	内容	
5月8日(土)・9日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,119名参加
6月12日(土)・13日(日) 19日(土)・20日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 2,139名参加
6月21日(月)～7月23日(金)	高校教諭対象入試WEB説明会	高等学校教諭 60校78名参加
7月10日(土)・11日(日) 17日(土)・18日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 2,251名参加
8月7日(土)・8日(日) 9日(土)～15日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 3,419名参加
8月7日(土)・8日(日)	来場型オープンキャンパス	高校生・保護者等 99名参加
9月18日(土)・19日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,842名参加
10月23日(土)・24日(日) 30日(土)・31日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 2,012名参加
11月20日(土)・21日(日) 22日(月)・23日(火)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,256名参加
12月11日(土)・12日(日) 18日(土)・19日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,698名参加
1月1日(土)～10日(月) 22日(土)・23日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,003名参加
2月11日(金)～20日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 220名参加
3月19日(土)・20日(日) 26日(土)・27日(日) 4月9日(土)・10日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,035名参加

(2) 大学院

①大学院説明会等の開催

期日	内容	
5月25日(火)	大学院説明会「教えて!大学院①」	学部生, 大学院生 19名参加
6月29日(火)	大学院説明会「教えて!大学院②」	在学生, 大学院生 8名参加
7月25日(日)	大学院夏のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 28名参加
8月5日(木)	大学院説明会「教えて!大学院③」	学部生, 大学院生 10名参加
8月26日(木)	大学院説明会「教えて!大学院④」	学部生, 大学院生 18名参加
9月10日(金)	大学院秋のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 25名参加
11月13日(土)	大学院冬のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 19名参加
12月7日(火)	大学院説明会「教えて!大学院⑤」	学部生, 大学院生 4名参加
1月18日(火)	大学院説明会「教えて!大学院⑥」	学部生, 大学院生 14名参加
3月10日(木)	大学院春のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 21名参加

②在学生向け大学院説明 学部生対象の自由科目「研究プロジェクト演習(UROP)」履修説明会の際, 大学院進学の魅力や修士課程学費減免特待生制度等についての紹介を行った。その他, 学科からの要望に応じ, 随時個別に大学院概要の説明等を行った。

③学会誌等への広告掲載, ホームページ・SNS等の活用 各種学会誌, 各種団体等の会報誌・ホームページへの大学院広告ならびにバナー広告の掲載を行った。また, 新潟医療福祉大学大学院ホームページ, Twitter, 異業種交流会501メールマガジン等で, 大学院イベント情報, 入試情報等の周知を行った。

3) 入学者選抜方法

(1) 学部

学部	学科	入学定員	選抜区分別募集人員														
			総合型選抜						学校推薦型選抜				社会人等特別選抜	大学入学共通テスト利用選抜		一般選抜	
			A方式 (主体性重視型)	B方式 (基礎教養重視型)	C方式 (スポーツ重視型)		D方式 (基礎学力重視型)	公募制		指定校制	前期日程	後期日程		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程
					前期日程	後期日程		前期日程	後期日程								
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	12名	6名	若干名	—	18名	10名	—	14名	若干名	9名	3名	37名	8名		
	作業療法学科	50名	5名	3名	若干名	—	6名	4名	—	9名	若干名	4名	—	15名	2名		
	言語聴覚学科	40名	7名	2名	—	—	2名	2名	—	10名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	義肢装具自立支援学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	4名	2名	4名	若干名	3名	2名	9名	2名		
医療技術学部	臨床技術学科	100名	10名	3名	—	—	9名	6名	—	11名	若干名	8名	2名	45名	4名		
	視機能科学科	50名	10名	2名	若干名	—	4名	5名	2名	9名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	救急救命学科	55名	9名	2名	若干名	—	7名	5名	—	8名	若干名	3名	2名	15名	2名		
	診療放射線学科	90名	10名	2名	—	—	9名	6名	—	10名	若干名	6名	2名	41名	2名		
健康科学部	健康栄養学科	40名	5名	3名	—	—	5名	6名	—	6名	若干名	2名	—	10名	2名		
	健康スポーツ学科	250名	40名	15名	75名	10名	5名	10名	—	25名	若干名	20名	3名	40名	5名		
看護学部	看護学科	107名	14名	8名	—	—	8名	13名	—	12名	若干名	4名	2名	41名	3名		
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	22名	7名	若干名	—	3名	8名	2名	30名	若干名	7名	2名	33名	3名		
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	12名	4名	若干名	—	2名	5名	2名	20名	若干名	8名	2名	20名	2名		
合計		1,142名	164名	59名	75名	10名	80名	84名	8名	168名	若干名	78名	24名	326名	39名		

健康スポーツ学科・看護学科・社会福祉学科・医療情報管理学科では、上記に加え3年次編入学選抜を実施。

3年次編入学定員／健康スポーツ学科；5名 看護学科；3名 社会福祉学科；5名 医療情報管理学科；5名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	試験区分別募集人員			
					一般	国際貢献活動経験者等	外国人留学生	学内推薦*
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	21名			
			作業療法学分野					
			言語聴覚学分野					
			義肢装具自立支援学分野					
			医療技術安全管理学分野					
			視覚科学分野					
			救急救命学分野					
	放射線情報学分野							
	健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	10名				
		健康スポーツ学分野						
看護学分野								
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	5名					
	保健医療福祉マネジメント学分野							
医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	4名					
	医療福祉学専攻							—
合計				50名	50名			

*学内推薦は修士課程のみ

4) 入学者選抜試験結果

(1) 学部

① 1年次入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数 (第1志願)	合格者数 (第2志願)	実質倍率	入学者数
リハビリテーション学部	理学療法学科	120	751	6.3	656	231	—	2.8	131
	作業療法学科	50	189	3.8	178	103	28	1.7	51
	言語聴覚学科	40	90	2.3	80	68	22	1.2	40
	義肢装具自立支援学科	40	91	2.3	84	76	15	1.1	48
医療技術学部	臨床技術学科	100	521	5.2	452	239	—	1.9	104
	視機能科学科	50	80	1.6	74	71	43	1.0	51
	救急救命学科	55	286	5.2	259	75	1	3.5	60
	診療放射線学科	90	541	6.0	457	210	—	2.2	91
健康科学部	健康栄養学科	40	241	6.0	210	78	0	2.7	44
	健康スポーツ学科	250	461	1.8	435	394	35	1.1	259
看護学部	看護学科	107	724	6.8	615	329	—	1.9	127
社会福祉学部	社会福祉学科	120	282	2.4	254	251	42	1.0	124
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80	257	3.2	234	155	9	1.5	97
合計		1,142	4,514	4.0	3,988	2,280	195	1.7	1,230

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数(第1志願)で算出。

② 3年次編入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
健康科学部	健康スポーツ学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
看護学部	看護学科	3	2	0.7	2	0	0.0	0
社会福祉学部	社会福祉学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
医療経営管理学部	医療情報管理学科	5	1	0.2	1	1	1.0	1
合計		18	5	0.3	5	3	1.7	3

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21	17	17	17	17	
			作業療法学分野		3	3	3	3	
			言語聴覚学分野		0	0	0	0	
			義肢装具自立支援学分野		3	3	3	3	
			医療技術安全管理学分野		1	1	1	1	
			視覚科学分野		3	3	3	3	
			救急救命学分野		2	2	2	2	
			放射線情報学分野		4	4	4	4	
		健康科学専攻	健康栄養学分野		10	3	3	3	3
			健康スポーツ学分野			11	11	11	11
			看護学分野			4	4	4	4
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野		5	0	0	0	0
			保健医療福祉マネジメント学分野			1	1	1	1
	医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理学分野	4	2	2	2	2		
修士課程小計				40	54	54	54	54	
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10	16	16	16	16		
合計				50	70	70	70	70	

5) 在籍学生数 (2022年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
リハビリテーション学部	理学療法学科	137	129	131	121	518
	作業療法学科	49	47	43	39	178
	言語聴覚学科	39	43	39	41	162
	義肢装具自立支援学科	42	43	38	39	162
医療技術学部	理学療法学科				5	5
	作業療法学科				2	2
	言語聴覚学科				0	0
	義肢装具自立支援学科				0	0
	臨床技術学科	103	99	99	87	388
	視機能科学科	49	47	42	46	184
	救急救命学科	53	50	52	53	208
	診療放射線学科	93	85	87	83	348
健康科学部	健康栄養学科	40	42	41	41	170
	健康スポーツ学科	252	212	214	205	883
	看護学科				1	1
看護学部	看護学科	109	101	105	105	420
社会福祉学部	社会福祉学科	110	123	126	130	489
医療経営管理学部	医療情報管理学科	84	85	90	88	347
合計		1,160	1,106	1,107	1,086	4,459

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	1年生	2年生	合計
保健学専攻	理学療法学分野	20	13	33
	作業療法学分野	1	5	6
	言語聴覚学分野	0	1	1
	義肢装具自立支援学分野	1	4	5
	医療技術安全管理学分野	1	1	2
	視覚科学分野	0	2	2
	救急救命学分野	1	0	9
健康科学専攻	健康栄養学分野	4	5	1
	健康スポーツ学分野	8	6	14
	看護学分野	4	2	6
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	2	2	4
	保健医療福祉マネジメント学分野	0	3	3
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4	5	9
合計		46	49	95

②博士後期課程

専攻	1年生	2年生	3年生	合計
医療福祉学専攻	11	12	25	48

6) 異動学生数 (2022年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
リハビリテーション学部	理学療法学科	1年生	3	3		0	0	0
		2年生	3	5		3	0	4
		3年生	4	3		2	0	7
		4年生	3	1		0	0	0
	作業療法学科	1年生	1	2		0	0	0
		2年生	0	2		2	0	0
		3年生	2	0		0	0	0
		4年生	1	2		0	0	0
	言語聴覚学科	1年生	1	1		0	0	0
		2年生	0	2		0	0	0
		3年生	0	2		0	0	0
		4年生	0	1		1	0	0
	義肢装具自立支援学科	1年生	0	3		1	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	1
		4年生	0	0		0	0	0
医療技術学部	理学療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	3
	作業療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		1	0	0
	言語聴覚学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	0
	義肢装具自立支援学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	1	0
	臨床技術学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	0		1	0	1
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	1		0	0	0
	視機能科学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	救急救命学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	4		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	1	0		0	0	0
診療放射線学科	1年生	0	2		0	0	0	
	2年生	3	1		1	0	0	
	3年生	3	0		0	0	0	
	4年生	0	1		0	0	4	
健康科学部	健康栄養学科	1年生	1	4		0	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	健康スポーツ学科	1年生	0	4	0	0	2	0
		2年生	2	5	1	0	0	0
		3年生	0	3	0	0	1	0
		4年生	1	3	0	0	0	0

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
健康科学部	看護学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	0
看護学部	看護学科	1年生	0	2		0	0	0
		2年生	0	4		0	0	0
		3年生	1	0		0	0	1
		4年生	0	0		0	0	0
社会福祉学部	社会福祉学科	1年生	1	1	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	0	0	0
		3年生	0	0	0	0	0	0
		4年生	0	0	0	0	0	0
医療経営管理 学部	医療情報管理学科	1年生	1	0	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0	1	0
		3年生	0	0	2	0	0	0
		4年生	0	1	0	0	0	0
合計			33	71	3	12	5	21

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
保健学専攻	理学療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	作業療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	1
	言語聴覚学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康栄養学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	医療技術安全管理分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
健康科学専攻	健康栄養学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康スポーツ学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	看護学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	1
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	保健医療福祉マネジメント学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
医療情報・経営管理学 専攻	医療情報・経営管理学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
合計			1	0	0	2

②博士後期課程

(人)

専攻	学年	休学者	退学者	満期退学者	除籍者	復学者
医療福祉学専攻	1年生	0	0	0	1	0
	2年生	0	0	0	0	0
	3年生	1	0	0	0	2
合計		1	0	0	1	2

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生委員会、交通安全委員会を中心に学内および居住地域での生活マナー・駐車マナー、学内挨拶向上を目的とした標語の募集と表彰、学生の被害防止、危険薬物使用防止等の指導に加え、危機管理委員会および健康管理センターと連携し、新型コロナウイルス感染予防対策の注意喚起を実施。

- ① 駐車場使用指導・・・学内駐車場の安全管理、違反者に対するマナー指導。
- ② 生活指導・・・・・・学内外におけるマナー・生活指導、アパート居住者に対し騒音等に関する注意喚起等。
- ③ 犯罪被害防止・・・警察へ近隣パトロールの依頼、不審者情報の発信。
- ④ 危険薬物使用防止・警察との連携による薬物乱用防止講演会の開催。
- ⑤ 感染予防指導・・・定期的に感染予防情報を発信し理解促進を実施。

(2) オリエンテーション

各学年に対し学生生活や履修手続等について、WEB形式による全体オリエンテーションを実施した。また、学科別オリエンテーションで学外実習や就職等についての説明を行った。

(3) 健康診断

学部生全員と大学院生・研究生の希望者を対象として健康診断を実施した。

(4) 心理相談

精神科医師（男性）と臨床心理士（男性、女性）による心理相談をWEB形式および管理棟1階の応接室を相談室として週4回行った。

- ① 相談日：月曜日 午前11時10分～午後3時30分
水曜日 午前11時10分～午後3時30分／第1、第3水曜日 午後4時00分～午後5時00分
木曜日 午後2時00分～午後5時00分
金曜日 午後12時10分～午後4時30分
- ② 相談員：精神科医師／臨床心理士
- ③ 相談件数：322件（前期178件、後期144件）

(5) 奨学金制度（2022年3月31日現在）

① 本学独自の奨学金制度（給付型）

名称	新潟医療福祉大学奨学金	新潟医療福祉大学学資融資奨学金
内容	対象者に奨学金を給付	対象者に教育ローンの利子相当額を給付
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、且つ成績が優秀な学生	経済的な理由により修学が困難である学生
給付金額	25万円（年額）	融資元本300万円を上限とする教育ローンの当該年度の利子相当額
採用人数	30名（2年～4年次）	50名を上限
選考方法	書類審査および面接	書類審査および面接
募集時期	10月	10月
採用者数実績	30名	13名

② 日本学生支援機構奨学金

貸与型

学年	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子※）	合計
1年生	269件	380件	649件
2年生	245件	459件	704件
3年生	272件	410件	682件
4年生	243件	321件	564件
合計	1,029件	1,570件	2,599件

※年利率3%を上限とする変動制

給付型

学年	給付奨学金
1年生	120件
2年生	114件
3年生	84件
4年生	67件
合計	385件

(6) 学生寮

2018年4月に開寮した学生寮「N-Village 伍桃」は、2021年4月に寮4期生294名が入寮した。寮生による学生寮組織「寮友会」として、「学修プログラム委員会」「衛生委員会」「催事委員会」「広報活動委員会」の4つの委員会を組織・運営し、単なる生活の場としての機能にとどまらず、将来、QOLサポーターとして働くための基礎となる学修プログラムおよびレクリエーションを実施した。

- ① 学修プログラム委員会の主な活動・・・「定期テスト攻略会」を開催し、卒業時期にも関わる重要科目「神経科学」の定期テスト対策を実施した。
- ② 衛生委員会の主な活動・・・「年末大掃除大賞」を開催し、清掃用具などを配布することで、寮生が住居内を清掃し、冬休みの帰省前等の節目に全ユニットで自発的に清掃活動を行うという意識付けを行った。
- ③ 催事委員会の主な活動・・・「ハロウィンイベント」「クリスマスビンゴ」を開催し、コロナ禍であっても感染対策に留意し、寮生同士の交流を行った。
- ④ 広報活動委員会の主な活動・・・学生寮内での感染予防の取り組みや、催事活動などを取材し、学生寮ブログに掲載した。

(7) 学友会

文化活動およびスポーツ活動ならびに地域活動を通じ、会員相互の親睦、資質の向上および健康の増進を図り、大学生生活の充実に貢献することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。大学側とともに定例協議会を実施し、コロナ禍での学友会のあり方や活動方針などを確認した。学友会が中心となりWEB形式による桃迎会（クラブ・サークル勧誘会）や伍桃祭（大学祭）の企画・運営を行った。

① 顧問

佐藤敏郎	健康スポーツ学科	教授
間宮靖幸	作業療法学科	助教
渡辺洋子	社会福祉学科	講師
森下義隆	健康スポーツ学科	講師
倉部崇史	事務局学務部	学生課

② 役員

会長	本山雅大	理学療法学科
副会長	本間嶺太	診療放射線学科
会計	奥村和樹	救急救命学科

(8) 大学祭

第21回大学祭「オンライン伍桃祭」を10月10日（日）に開催した。第20回に引き続き、コロナ禍においてオンライン開催とし、クラブ・サークル活動や学内行事が制限される中で創意工夫し学生生活の充実や学生満足度に貢献した。

(9) クラブ活動

強化指定クラブ12団体

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
1	男子バスケットボール部	笹岡 司	若月弘久（監督）
2	女子バスケットボール部	井澤萌乃夏	西原康行（部長）・伊藤篤司（監督）

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
3	水泳部	野際陽向	下山好充（監督）
4	陸上競技部	神山 連	小林志郎（監督）
5	男子サッカー部	宗像利公	秋山隆之（部長）・佐熊裕和（監督）
6	女子サッカー部	熊倉彩華	秋山隆之（部長）・草木克洋（監督）
7	ダンス部	小林真花	脇野哲郎（部長）・若井由梨（監督）
8	女子バレーボール部	本田優季	吉田重和（部長）・濱野礼奈（監督）
9	硬式野球部	大島享也	佐藤敏郎（部長）・佐藤和也・ 鵜瀬亮一（監督）
10	卓球部	鈴木裕大	品田穂雄（監督）
11	男子バレーボール部	星 朋希	久保晃（監督）
12	テニス部	荒岡宏輔	西海幸頼（監督）

体育系クラブ12団体，文化系クラブ13団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
13	ソフトボール部	熊木龍之介	山崎史恵
14	軟式野球部	渡邊尚也	高田大輔
15	アルティメット部Scarlet	板垣志音	佐藤敏郎
16	学友会卓球部	佐藤奨真	笹本嘉朝
17	硬式テニス部	船木竣太	西海幸頼
18	バトミントン部	吉田紗彩	佐藤裕紀
19	剣道部	高橋頌吾	中島郁子
20	フットサル部	丸山雄基	山本悦司
21	男子ハンドボール部	但野翔太	岩森 大
22	女子ハンドボール部	殿広亜未	岩森 大
23	アスレティックトレーナー部	安藤凜人	熊崎 昌，三瀬貴生
24	よさこい部 舞桃会	菊地華奈	江玉睦明
25	園芸部	牧孝 則	阿部 薫
26	茶道部	伊藤友紀	五十嵐紀子
27	和太鼓部	中川昂大	高野晃輔
28	吹奏楽部	酒井杏菜	高野晃輔
29	手話部	龍田 栞	佐久間由紀
30	写真部	岩脇隆祐	山崎貴子
31	レクア. コム部	田村晴勇	丸田秋男，荒川大靖
32	軽音楽部	野瀬春希	木下直彦
33	VICON部	大滝 航	江原義弘
34	栄養サポート部	木戸浦涼葉	澁谷顕一
35	Spring Board	神戸美柚	久保雅義
36	ピアエデュケーション部	岩崎奈美	山口典子
37	さーびす～20歳からの子宮頸がん予防～	小宮山紘規	藤井 豊

合計37団体

(10) 学生表彰

①2021年度学部卒業式において、下記の表彰が行われた

学部：99名 3団体 大学院：5名

賞	所属	氏名	受賞理由
学長賞 (学業成績 優秀)	理学療法学科	松下 晴菜	各学科で最も優秀な成績を修めた
	作業療法学科	佐藤 優里奈	
	言語聴覚学科	齋藤 ほのか	
	義肢装具自立支援学科	酒井 英樹	
	臨床技術学科	北脇 薫	
	視機能科学科	嘉藤 莉奈	
	救急救命学科	仲川 一斗	
	診療放射線学科	村岡 直義	
	健康栄養学科	東海林 佳奈	
	健康スポーツ学科	大溪 麻央	
	看護学科	堅田 真美	
	社会福祉学科	諏佐 真香	
	医療情報管理学科	川崎 優香	
学長賞 (学業成績 優秀)	医療福祉学専攻	秦 偉翔	博士後期課程で最も優秀な成績を修めた
	健康科学専攻	宮本 真菜	修士課程で最も優秀な成績を修めた
学長賞 (課外活動 個人)	男子サッカー部	シマブク カズヨシ	J2リーグ アルビレックス新潟入団
	女子サッカー部	唐橋 万結	WEリーグ ちふれASエルフェン埼玉入団
	女子サッカー部	塚本 奈緒	WEリーグ ちふれASエルフェン埼玉入団
	硬式野球部	桐敷 拓馬	NPB 阪神タイガース入団
	硬式野球部	佐藤 琢磨	NPB ソフトバンクホークス入団
優秀賞 (学業成績 優秀)	理学療法学科	高橋 朋弥	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	理学療法学科	丸山 雄基	
	理学療法学科	岩谷 佳樹	
	理学療法学科	笠原 一希	
	理学療法学科	内山 祈	
	理学療法学科	久保 恵	
	理学療法学科	那須 仁世	
	理学療法学科	工藤 亮大	
	作業療法学科	高頭 和葉	
	作業療法学科	山田 侑莉	
	作業療法学科	左近 みずき	
	言語聴覚学科	山田 瑞季	
	言語聴覚学科	若林 大蔵	
	義肢装具自立支援学科	松本 健太郎	

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績 優秀)	義肢装具自立支援学科	早坂 彩奈	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	臨床技術学科	高橋 桃子	
	臨床技術学科	近 絢瀬	
	臨床技術学科	持立 智生	
	臨床技術学科	佐藤 志保	
	臨床技術学科	坂上 雅子	
	臨床技術学科	池田 ちひろ	
	臨床技術学科	熊谷 栄一郎	
	視機能科学科	牛久 穂奈美	
	視機能科学科	三浦 千夏	
	視機能科学科	古泉 優花	
	救急救命学科	星野 顕弘	
	救急救命学科	山岸 大輝	
	救急救命学科	山崎 海	
	診療放射線学科	捧 奈央	
	診療放射線学科	三浦 菜々	
	診療放射線学科	原 鈴香	
	診療放射線学科	三浦 睦記	
	診療放射線学科	水落 菜月	
	診療放射線学科	大越 朱音	
	健康栄養学科	菊地 都妙	
	健康栄養学科	山崎 麻未	
	健康スポーツ学科	余村 花梨	
	健康スポーツ学科	唐橋 万結	
	健康スポーツ学科	川上 真穂	
	健康スポーツ学科	吉川 凪	
	健康スポーツ学科	藤田 真輝	
	健康スポーツ学科	工藤 由宇	
	健康スポーツ学科	穴澤 沙也可	
	健康スポーツ学科	青木 悠太	
	健康スポーツ学科	羽田 星流	
	健康スポーツ学科	遠山 宜志	
	健康スポーツ学科	河井 美月	
	健康スポーツ学科	瓜生 小春	
健康スポーツ学科	棚谷 小梅		
健康スポーツ学科	佐藤 宇志		
看護学科	増村 奈緒		

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (学業成績 優秀)	看護学科	田中 桃子	学業成績が特に優秀で人物に優れていた
	看護学科	山下 真理奈	
	看護学科	池上 悠	
	看護学科	藤田 未来	
	看護学科	小池 帆乃佳	
	看護学科	武村 瞳	
	社会福祉学科	川俣 晃太	
	社会福祉学科	田部 未久	
	社会福祉学科	佐藤 瑞希	
	社会福祉学科	蓮池 理紗	
	社会福祉学科	長谷川 彩音	
	社会福祉学科	渡部 悠大	
	社会福祉学科	成海 友香	
	社会福祉学科	小竹 隼	
	医療情報管理学科	小嶋 果歩	
	医療情報管理学科	五十嵐 麻衣	
	医療情報管理学科	小島 万奈	
	医療情報管理学科	佐藤 未麗	
医療情報管理学科	伊藤 美乃里		
優秀賞 (学業成績 優秀)	医療福祉学専攻	横田 裕丈	学業・研究に熱心に取り組む、特に優れた論文を執筆した。
	保健学専攻	丸山 紗永	
	保健学専攻	八幡 薫	
優秀賞 (課外活動 個人)	水泳部	加藤 永遠	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mメドレーリレー8位入賞 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会 50m平泳ぎ5位入賞
	水泳部	盛 音葉	第62回日本選手権(25m)水泳競技大会 50mバタフライ7位入賞
	水泳部	余村 花梨	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mフリーリレー7位入賞 第96回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mフリーリレー8位入賞
	男子サッカー部	松本 雄真	J3リーグ カターレ富山入団
	女子サッカー部	熊倉 彩華	なでしこリーグ1部ニッパツ横浜FCシーガルズ入団
	陸上競技部	穴澤 沙也可	天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー8位入賞
	陸上競技部	大浦 拓徳	日本学生陸上競技個人選手権 男子砲丸投 8位入賞
陸上競技部	笠原 理瑚	天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー8位入賞	
陸上競技部	堀井 遥樹	日本学生陸上競技個人選手権 男子走高跳 優勝	

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動 個人)	陸上競技部	涌井 珠里	天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100mR 8位入賞
優秀賞 (課外活動 団体)	ダンス部		アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ2018 審査員賞受賞
	軟式野球部		第41回全日本大学軟式野球選手権大会準決勝進出(全国大会3位相当)
優秀賞 (社会活動 個人)	医療情報管理学科	渡部 隆哉	IBM主催, Master the Mainframe プログラミングコンテスト2020 優秀賞
優秀賞 (学術活動 団体)	田村一好連携基礎ゼミ		スポーツ庁主催「第3回パブコン~もしもあなたがスポーツ庁長官だったら~」優秀賞受賞

②学部在学学生表彰：23名

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動 個人)	水泳部	山崎 光	第63回日本選手権(25m)水泳競技大会 50m背泳ぎ3位入賞
	水泳部	津田 萌咲	第97回日本選手権競技大会 50mバタフライ4位
	水泳部	鈴木 海渡	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mメドレーリレー8位入賞
	水泳部	笹原 世玲菜	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mフリーリレー7位入賞
	水泳部	早坂 亮	第63回日本選手権(25m)水泳競技大会 50m背泳ぎ5位入賞
	水泳部	武中 香奈枝	第97回日本学生選手権水泳競技大会 女子100m自由形8位入賞
	水泳部	熊澤 将大	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mメドレーリレー8位入賞
	水泳部	永尾 美友	第97回日本選手権水泳競技大会QWS競技 女子5km第4位
	水泳部	本山 空	OWSオーシャンズカップ男子10km 第4位
	水泳部	船本 愛子	第97回日本学生選手権水泳競技大会 4×100mフリーリレー7位入賞
	軟式野球部	渡邊 尚也	全日本大学軟式野球連盟(全23連盟231大学)の中から23名のみ選出される大学日本代表主将として選出.
	硬式野球部	坂井 翔太	関甲新学生野球連盟令和三年度秋季リーグ戦 最高出塁打者賞 最多安打打者賞 最多打点打者賞
	硬式野球部	大久保 翔太	関甲新学生野球連盟令和三年度春季リーグ戦 首位打者賞 最多安打打者賞 新人賞 ベストナイン
	陸上競技部	エパサカ テレサ	第105回日本陸上競技選手権 女子ハンマー投 5位入賞
	陸上競技部	小川 ひかり	天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー 8位入賞

賞	所属	氏名	受賞理由
優秀賞 (課外活動 個人)	陸上競技部	泉井 陸	2021日本学生陸上競技個人選手権 男子三段跳 6位入賞
	陸上競技部	中町 真澄	第37回U20日本陸上競技選手権 男子円盤投 優勝
	陸上競技部	蓑輪 夢未	天皇賜杯第90回日本学生陸上競技対校選手 権大会 女子走高跳 8位入賞
	陸上競技部	北原 博企	第37回U20日本陸上競技選手権 男子円盤投 2位入賞
	救急救命学科	佐鳥 詞音	2021年10月7日16時頃、新潟市中央区の 東堀通りを自家用車で走行中、道端で転倒 し腕を押さえてうずくまっている状態の高 校生を発見し、最寄りの医療機関(整形外 科)へ移送。翌日、高校生の母親から本学 へ感謝の意を伝える連絡があった。感謝の 意を込めて現金を手渡そうとしたが、本学 学生らは頑なに受け取らなかったというこ とで、その行動にも感激された。これらの 行為は社会的に高く評価され本学の名誉を 高めるだけではなく、本学学生の模範とな るものである。
	救急救命学科	西川 大輔	
	健康スポーツ学科	鎌倉 ゆず	
優秀賞 (学術活動 個人)	義肢装具自立支援学科	岡部 有純	日本整形靴技術協会雑誌第5号へ投稿→優 秀論文賞受賞 論文名:「ダウン症候群における扁平足研 究の実態」

(11) 海外研修

新型コロナウイルス感染症の世界的まん延により、実施することはできなかった。

(12) 学習支援センター

数学、解剖学・生理学、物理、化学、日本語表現を指導する講師および専属の事務兼コーディネーターを配置し、学習支援業務を行っている。感染症対策として、個別指導・基礎セミナーは主にオンラインで行った。

基礎セミナーは従来の専門科目の基礎に加え、「誰でも・気軽に・受講できる」をコンセプトにした短時間のセミナー「プチセミナー」を実施した。e-Campusのサイト上に専門科目の基礎に関する動画を公開し、学生が必要な時にいつでも学べる環境を提供した。また、幅広い学力層を対象に、学生の知的好奇心に応える学習コンテンツ“デジタルライブラリー”を開設した。

従来の外部講師と大学院生による個別指導とは別に、学部生による学習支援活動である“学習支援ピアサポーター”の運用を開始した。7学科14名を学習支援ピアサポーターに任命し、後期に活動を行った。1年生を中心に延べ37名が利用し、受講者アンケートでは60%が「受講内容を理解できた」、97%が「また利用したい」と回答した。

新入生を対象に、入学前セミナーと履修登録サポートデスクをオンラインで実施した。入学前セミナーはRemedial Coursesのサイト上で学習動画を公開した。履修登録サポートデスクは、在学生50名がボランティアとして参加し、新入生333名が利用した。

- ① 個別指導のべ利用件数・・・1,611件
- ② セミナー受講者数・・・1,559名
- ③ e-Campusの専門科目基礎に関する動画公開数・・・26種 44本
- ④ デジタルライブラリー 動画公開数・・・24本
- ⑤ 動画配信による入学前セミナー総視聴回数・・・2,850回

8) 強化指定クラブ成績

【水泳部】

・東京2020オリンピック競技大会 ※水沼尚輝選手（職員）、下山好充監督（HS教授）が日本代表に選出。

男子 100m バタフライ 準決勝進出（全体10位）
 男子 4×100m メドレーリレー 6位（第3泳者 バタフライ） アジア・日本新記録樹立

・第97回日本選手権水泳競技大会

男子 50m 自由形 3位（松井浩亮 職員）
 男子 100m 自由形 6位（松井浩亮 職員）
 男子 50m バタフライ 2位（水沼尚輝 職員）
 男子 100m バタフライ 優勝（水沼尚輝 職員）

※今大会において優勝および派遣標準記録突破し東京2020オリンピック競泳日本代表決定。

男子 50m バタフライ 3位（田中優弥 職員）
 男子 100m バタフライ 5位（田中優弥 職員）
 女子 100m 自由形 6位（佐藤 綾 職員）
 女子 50m 平泳ぎ 8位（深澤 舞 職員）
 女子 100m 平泳ぎ 5位（深澤 舞 職員）
 女子 50m バタフライ 4位（津田萌咲 HS3）
 女子 50m 背泳ぎ 5位（山崎 光 HS3）

・ジャパンオープン2021

男子 50m 自由形 3位（松井浩亮 職員）
 男子 100m 自由形 6位（松井浩亮 職員）
 男子 50m バタフライ 優勝（水沼尚輝 職員）
 男子 100m バタフライ 優勝（水沼尚輝 職員）
 男子 50m バタフライ 2位（田中優弥 職員）
 男子 100m バタフライ 4位（田中優弥 職員）
 女子 100m 平泳ぎ 6位（深澤 舞 職員）
 女子 50m 背泳ぎ 5位（山崎 光 HS3）
 女子 100m 背泳ぎ 5位（山崎 光 HS3）
 女子 50m バタフライ 4位（津田萌咲 HS3）
 女子 100m バタフライ 4位（津田萌咲 HS3）
 男子 1500m 自由形 7位（本山 空 HS1）
 男子 100m 背泳ぎ 8位（早坂 亮 HS2）

・第63回日本選手権水泳競技大会（25m）

男子 50m バタフライ 優勝（水沼尚輝 職員）
 男子 100m バタフライ 優勝（水沼尚輝 職員）
 男子 50m バタフライ 3位（田中優弥 職員）
 男子 100m バタフライ 2位（田中優弥 職員）
 男子 50m 自由形 優勝（松井浩亮 職員）
 男子 100m 自由形 4位（松井浩亮 職員）
 女子 50m 自由形 6位（佐藤 綾 職員）
 女子 100m 自由形 4位（佐藤 綾 職員）
 女子 50m 平泳ぎ 7位（深澤 舞 職員）
 女子 100m 平泳ぎ 3位（深澤 舞 職員）
 女子 200m 平泳ぎ 3位（深澤 舞 職員）
 女子 50m バタフライ 4位（津田萌咲 HS3）

女子 100m バタフライ 5位 (津田萌咲 HS3)
 女子 50m 背泳ぎ 3位 (山崎 光 HS3)
 女子 100m 背泳ぎ 4位 (山崎 光 HS3)
 男子 50m 背泳ぎ 5位 (早坂 亮 HS2)
 男子 100m 背泳ぎ 6位 (早坂 亮 HS2)

・第97回日本学生選手権水泳競技大会

女子 100m 背泳ぎ 5位 (山崎 光 HS3)
 女子 100m 自由形 8位 (武中香奈枝 HS2)
 女子 100m バタフライ 7位 (津田萌咲 HS3)
 女子 4×100m フリーリレー 7位 (武中, 笹原, 船本, 余村)
 男子 4×100m メドレーリレー 8位 (早坂, 加藤, 鈴木, 熊澤)

・OWS オーシャンズカップ2021

男子 10km 4位 (本山 空 HS1)
 女子 10km 4位 (永尾美友 HS1)

※本大会の結果, 2021年OWS世界ジュニア選手権日本代表選手に本山, 長尾が選出された.

・第97回日本選手権水泳競技大会 OWS 競技

女子 10km 8位 (永尾美友 HS1)

【陸上競技部】

・第95回北信越学生陸上競技対校選手権大会

男子総合優勝 11連覇 / 女子総合10連覇

・第43回北日本学生陸上競技対校選手権大会

男子総合優勝 / 女子総合優勝 ※初の男女総合優勝

・2021日本学生個人陸上競技選手権大会

男子 走高跳 優勝 (堀井遥樹 HS4)
 男子 円盤投 3位 (中町真澄 HS2)
 男子 三段跳 6位 (泉井 陸 HS2)
 男子 砲丸投 8位 (大浦拓徳 HS4)
 女子 走高跳 8位 (蓑輪夢未 HS2)
 女子 ハンマー投 8位 (エパサカ・テレサ HS3)

・第89回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子 走高跳 2位 (堀井遥樹 HS4)
 男子 円盤投 4位 (中町真澄 HS2)
 女子 走高跳 8位 (蓑輪夢未 HS2)
 女子 ハンマー投 7位 (エパサカ・テレサ HS3)
 女子 4×400m リレー 8位 (小川, 穴澤, 笠原, 涌井)

・第105回日本陸上競技選手権大会

男子 走高跳 9位 (堀井遥樹 HS4)
 女子 ハンマー投 5位 (エパサカ・テレサ HS3)

・第37回U20日本陸上競技選手権大会

男子 円盤投 優勝 (中町真澄 HS2)
 男子 円盤投 2位 (北原博企 HS1)
 男子 ハンマー投 9位 (佐々木健介 HS1)

・第39回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 22位 (保科, 棚谷, 吉田, 田中, 鈴木, 佐藤)

・第33回出雲駅伝全日本大学選抜駅伝競走 渡部遼太郎 (HS1) / 北信越学連選抜6区 区間16位

【男子サッカー部】

- ・新潟日報杯・共同通信杯 第26回新潟県サッカー選手権大会 優勝（天皇杯新潟県代表）
- ・天皇杯JFA第101回全日本サッカー選手権大会 出場
- ・第49回北信越大学サッカーリーグ（1部） 優勝
- ・第45回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会 優勝
- ・第45回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会 ベスト16
- ・第70回全日本大学サッカー選手権大会 ベスト16
- ・第47回北信越フットボールリーグ（1部） 3位
- ・インディペンデンスリーグ北信越大会 優勝
- ・第19回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル 出場

【女子サッカー部】

- ・第30回全日本大学女子サッカー選手権大会 ベスト16
- ・2021北信越女子サッカーリーグ（1部） 2位

【男子バスケットボール部】

- ・第55回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選 優勝
- ・第73回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場

【女子バスケットボール部】

- ・第55回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会 2位
- ・第73回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場

【男子バレーボール部】

- ・令和3年度全日本大学バレーボール大会男子・女子選手権大会
北信越学連推薦チーム決定トーナメント戦 2回戦敗退

【女子バレーボール部】

- ・令和3年度全日本大学バレーボール大会男子・女子選手権大会
北信越学連推薦チーム決定トーナメント戦 北信越代表権獲得
- ・第68回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト16

【硬式野球部】

- ・令和3年度関甲新学生野球連盟 春季1部リーグ 4位
- ・令和3年度関甲新学生野球連盟 秋季1部リーグ 3位
- ・令和3年度関甲新学生野球連盟 フレッシュトーナメント（新人戦） 2回戦 不戦敗
- ・令和3年度関甲新学生野球連盟 オータムカップ 予選リーグ敗退

【ダンス部】

- ・第33回全日本大学ダンスフェスティバル（神戸） 決戦進出
- ・第40回あきた全国舞踊祭モダンダンスコンクール 群舞部門5位

【卓球部】

- ・第68回春季北信越学生卓球選手権大会1部（団体の部） 男子3位, 女子3位
- ・第90回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部） 男子初出場
- ・第87回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部・男子シングルス） 初出場（原 慶彦 HS2）
- ・第69回秋季北信越学生卓球選手権大会1部（団体の部） 男子3位, 女子3位
- ・第62回北信越学生卓球新人選手権大会（団体の部） 男子2位
- ・第62回北信越学生卓球新人選手権大会（個人の部・男子シングルス） 優勝（武藤大和 HS2）

【テニス部】

- ・令和3年度北信越学生テニストーナメント大会（男子シングルス） ベスト8（岩間太陽 HS1）
- ・令和3年度全日本学生テニス選手権大会（男子シングルス） 初出場（岩間太陽 HS1）

- ・令和3年度北信越大学テニス王座決定試合（団体戦）
男子2部優勝・1部昇格
女子3部優勝・2部昇格
- ・令和3年度北信越学生テニス選手権大会（女子ダブルス）
3位（成海HS1・高桑PT1）
- ・令和3年度北信越学生室内テニス選手権大会（男子シングルス）
3位（高沢峻平 SW3）

9) 国家試験・資格試験結果（2022年5月17日現在）

種 別	本 学				全 国
	受験者数	合格者数	合格率	前年実績	合格率
理学療法士	113	113	100%	96.7%	79.6%
作業療法士	39	37	96.6%	96.6%	80.5%
言語聴覚士	37	32	86.5%	79.4%	75.0%
義肢装具士	34	22	64.7%	81.1%	68.5%
臨床工学技士	83	73	88.0%	92.9%	80.5%
臨床検査技師	76	51	67.1%	81.2%	75.4%
視能訓練士	45	44	97.8%	97.8%	91.8%
救急救命士	52	52	100%	96.2%	91.3%
診療放射線技師	74	69	93.2%	—	86.1%
管理栄養士	41	38	92.7%	97.8%	65.1%
健康運動指導士	18	18	100%	85.0%	非公開
アスレティックトレーナー（実技）※	1	1	100%	66.7%	非公開
看護師	104	102	98.1%	98.8%	96.5%
保健師	52	43	82.7%	100.0%	93.0%
助産師	5	5	100%	100.0%	99.7%
社会福祉士	121	61	50.4%	53.3%	31.1%
精神保健福祉士	13	12	92.3%	100.0%	65.6%
介護福祉士	20	20	100%	100.0%	72.3%
診療情報管理士	31	23	74.2%	48.1%	66.7%
診療報酬請求事務能力認定試験	59	43	72.9%	25.0%	38.5%
基本情報技術者試験	6	2	33.3%	66.7%	40.1%

10) 就職状況

(1) 就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数
		週当たり	年間		
就職センター	9	5	246	8:45~17:00	6,753

(2) 求人状況

学科	件数	人数
理学療法学科	1,130	2,705
作業療法学科	1,211	2,810
言語聴覚学科	993	1,974
義肢装具自立支援学科	184	304
臨床技術学科	760	1,297
視機能科学科	185	228
救急救命学科	68	369
診療放射線学科	291	437

学科	件数	人数
健康栄養学科	311	616
健康スポーツ学科	90	213
看護学科	1,014	3,084
社会福祉学科	1,924	5,261
医療情報管理学科	497	1,167
その他	1,063	2,969
計	9,721	23,434

(3) 学科別就職状況

学科	卒業者数	就職希望者数	進学者数	就職者数	内定率(%)
理学療法学科	120	96	17	96	100.0%
作業療法学科	43	39	1	39	100.0%
言語聴覚学科	40	36	0	36	100.0%
義肢装具自立支援学科	39	32	2	32	100.0%
臨床技術学科	86	79	0	75	94.9%
視機能科学科	45	45	0	45	100.0%
救急救命学科	52	44	4	44	100.0%
診療放射線学科	74	63	6	63	100.0%
健康栄養学科	41	37	2	36	97.3%
健康スポーツ学科	202	173	15	172	99.4%
看護学科	105	100	4	100	100.0%
社会福祉学科	130	122	0	122	100.0%
医療情報管理学科	87	83	2	83	100.0%
計	1,064	949	53	943	99.4%

※進学者の進学先は大学院，大学，専門学校を含む。

(4) 都道府県別就職状況

都道府県	就職者数	都道府県	就職者数
北海道	5	石川県	11
青森県	3	福井県	3
岩手県	4	山梨県	2
宮城県	22	長野県	30
秋田県	16	岐阜県	3
山形県	45	静岡県	7
福島県	47	愛知県	16
茨城県	8	三重県	1
栃木県	5	大阪府	7
群馬県	16	兵庫県	6
埼玉県	45	滋賀県	1
千葉県	27	京都府	5
東京都	93	広島県	5
神奈川県	33	福岡県	8
新潟県	442	長崎県	1
富山県	26	合計	943

10. その他

1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園

(1) 定員

19名（0歳児4名 1歳児4名 2歳児6名 3歳児0名 4歳児3名 5歳児2名）

(2) 園児数

2021年度園児数：19名（従業員枠 10名 地域枠9名）

内訳：0歳児4名（地域枠2名） 1歳児4名（地域枠2名） 2歳児6名（地域枠4名）

3歳児0名 4歳児3名（地域枠1名） 5歳児2名（地域枠1名）

(3) 2021年度の主な行事

6月 七夕

9月 ミニ運動会

10月 芋ほり，ハロウィンパレード

11月 親子トマト収穫体験，勤労感謝デーイベント

12月 クリスマス会

3月 卒園式

(4) その他

5歳児園を対象に南浜小学校と保小連携事業を実施

2) 新型コロナウイルスワクチン職域接種

(1) 実施期間

① 1回目接種：2021年7月5日から2021年9月27日まで

② 2回目接種：2021年8月2日から2021年10月25日まで

(2) 各回の接種人数

	1回目	2回目	計
学部生	3,077	3,064	6,141
大学院生	43	43	86
教職員	191	191	383
その他※	1,198	1,191	2,389
計	4,509	4,489	8,998

※その他は、非常勤講師，研究生，新潟食料農業大学，事業創造大学院大学，NSGグループ職員，本学取引先業者等

学校法人 新潟総合学園
新潟医療福祉大学年報

2021（令和 3）年度

発行日 2022年10月1日

編集・発行 新潟医療福祉大学
〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL : 025-257-4455
FAX : 025-257-4456
URL : <https://www.nuhw.ac.jp/>

印刷 株式会社ウイザップ